

acdseeTM 写真館 2026
究極



目次

章 1: はじめに	22
ACDSee 写真館 2026 究極 へようこそ	22
ACDSeeの利点	22
ユーザーガイドの使用	22
ACDSee のユーザーインターフェイスについて	23
管理 モード	23
メディアモード	23
表示 モード	23
現像 モード	24
編集 モード	24
人物 モード	24
365 モード	24
ダッシュボードモード	24
でモードを切り替える ACDSee 究極	25
管理 モードを使用する	25
管理 モードペインについて	25
管理 モード ドロップダウン メニュー	27
ユーザーの好みに合わせて管理 モードペインを開いたり閉じたりすることができます。	27
ペインを移動する	27
ペインを固定する	28
ペインを重ねてタブとして表示する	28
ペインのサイズを変更する	28
レイアウトを既定設定に戻す	28
メディアモードの使用	29
ヘッダーボタンバー	29
マイフォルダー	30
表示 エリア	30
グリッドとフルスクリーン表示を切り替える	30
フィルター	30
並べ替えとグループ	31
グループ・バイとプロパティーズ・ペイン	31
メディア モード内のナビゲーション ボタン	31
メディア モード内での画像の削除	31
表示 モードを使用する	31
フル スクリーンで画像を表示する	32
表示 モードペインを使用する	32
画面下のツールバーを使用する	33
表示 モードで Windows Touch Gestures™を使用する	36
管理 モードに切り替える	36

現像および編集モードを使用する	36
ワークフロー	36
人物モードを使う	44
名前付きビュー	44
名前のないビュー	44
人物ビュー	45
フォルダベイン	45
365 モードを使用する	45
画像をアップロードする	45
ダッシュボードモードを使用する	46
ファイルのカタログ化	46
ダッシュボードモードのタブ	46
章 2: ヘルプを表示する	48
クイックスタートガイドを使用する	48
その他のリソースとサポートを見る	48
ヘルプメニューの使用	48
オンラインヘルプと私たちのコミュニティ	48
章 3: 管理モード	49
ACDSee ホームページ	49
クイック検索バー	50
検索ボタン	50
アクションボタン	50
ACDSee 究極でファイルをインポートする	51
Windows [自動再生] ダイアログボックスを使用してファイルをインポートする	51
特定デバイスの種類からファイルをインポートする	51
RAW + JPEG オプション	52
リムーバブル デバイスについて	52
デバイスから写真をインポートする	52
スキャナから写真をインポートする	56
CD または DVD から写真をインポートする	56
ディスクから写真をインポートする	57
名前の変更テンプレートを作成する	57
Lightroom® データベースをインポートする	59
モバイルによる画像の操作	60
ACDSee Mobile Sync を使用して、モバイル デバイスから ACDSee に画像を送信する	61
はじめに	62
画像とビデオを送信する	62
モバイル同期のトラブルシューティング	63
[ファイル一覧] ベインでファイルを参照する	63

ファイル一覧ペインを使用する	63
オーバーレイアイコンの表示を変更する	67
ファイル一覧ペインを最大化する	67
ファイルの作成と管理	67
フォルダペインで参照する	68
複数のフォルダを選択する	68
フォルダの作成と管理	68
ACDSee タブを使ったブラウジング	69
起動時の動作	69
ACDSee タブの管理	69
タブを閉じる	69
タブの移動 (ナビゲーション)	70
タブ間のファイル転送	70
ACDSee タブでのペインとオプションの管理	70
ACDSee タブを使用した検索の実行	70
Microsoft OneDrive™ の使用	70
日時またはイベントごとにファイルを参照する	71
イベントモードに説明やサムネイルを追加する	74
お気に入りファイルを参照する	74
ショートカットペインを開く	74
ショートカットを作成する	74
新規フォルダを作成する	75
ショートカットまたはフォルダを削除する	75
RAWファイルを閲覧する	75
AI キーワード	76
AI キーワードの使用	76
カタログペインで AI キーワードを検索:	77
[整理] タブで AI キーワードを使用する:	77
管理モードで顔を検出する	79
顔データの埋め込み、取得、インポート	80
表示を変更する	80
詳細表示をカスタマイズする	81
ファイルにフィルタを適用する	81
ファイルをグループ化する	82
ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには	83
ファイル一覧からグループを削除するには	83
1 つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには	83
ファイルを並べ替える	84
列のヘッダーでファイルを並べ替える	84
ファイルのカスタム並び替え	84

ファイルを選択する	85
画像をプレビュー表示する	85
情報パレット	86
画像を回転する	86
画像を比較する	87
画像バスケットに画像を集める	89
【管理】モードで【現像設定】を表示する	90
現像調整内容のコピーと貼り付け	90
画像を復元する	91
ACDSee アクティビティマネージャーを使用する	91
アクティビティマネージャーを開く	91
キュー内のアクティビティ	91
通知	92
アイドルアクティビティ	93
履歴	93
履歴のクリア	94
アクティビティマネージャーオプション:	95
ACDSee 究極でのファイルのカタログ化・管理	96
カタログペインで整理する	96
カテゴリ	96
人物	97
キーワード	97
AIキーワード	97
重要度	97
カラーラベル	97
自動 カテゴリ	97
保存済み検索	97
スペシャルアイテム	98
データベースとACDSee 究極 埋め込まれたデータ	98
イーजीセレクトバー	99
完全一致/部分一致	99
カテゴリを作成する	100
カテゴリを管理する	100
アクセスのしやすいカテゴリーセットを作成する	101
カテゴリと重要度の割り当てと検索	101
サムネイルビューで重要度をすばやく割り当てる	101
【カタログ】ペインでカテゴリと重要度を設定する	102
【プロパティ】ペインでカテゴリと重要度を設定する	103
ファイルからカテゴリや重要度を削除する	104
カラーラベルを割り当てる	104

カラーラベル セットを作成 する	104
カラーラベルを割り当てる	105
ラベルに割り当てられたファイルを検索 する	107
カラーラベルとカラーラベルセットを削除 する	107
コレクションを作成 する	107
コレクションセット	109
スマート コレクション	109
【プロパティ】ペインを使用 する	110
【プロパティ】ペインの構成	111
メタデータ タブ	111
【整理】 タブ	111
【ファイル】 タブ	112
ACDSee メタデータをファイルに埋め込む	112
画像の自動表示による参照とカタログ化	112
管理 モード	113
キーワードとカテゴリ	113
キーワード	113
カテゴリ	114
表示 モード	114
マップ ペインを使用 する	114
マップ ペインを使用したワークフロー	116
ファイルにメタデータを追加し、プリセットを使用 する	116
メタデータのコピーと貼り付け	117
ACDSee と IPTC 間の カテゴリとキーワードの埋め込みとインポート	118
メタデータプリセット	118
ファイルからメタデータを削除 する	119
メタデータ表示の管理	120
階層 キーワードの作成と割り当て	121
キーワードを作成 する	121
キーワードを管理 する	122
クイックキーワードを作成 する	123
キーワードのインポートとエクスポート	124
ファイルのコピーと移動	124
画像をクリップボードにコピー する	125
ファイルまたはフォルダを貼り付ける	126
ファイルを置き換える / 上書き する	126
ファイル名やフォルダ名を変更 する	126
プライベートフォルダにファイルを入れる	127
画像またはファイルにタグを付ける	128
自動 カテゴリから IPTC キーワードを削除 する	129

画像プロパティの日時を変更する	130
ファイルを別のコンピュータにバックアップする	131
同期を更新または削除する	132
保存されている同期を起動する	132
フォトマージを使って結合する	132
オプションの設定	133
フォーカスタッキングによるマージ	133
HDR画像の作成	134
HDRの撮影	134
パノラマ作成(パノラマステッチング)	135
ACDSee 究極で検索	136
クイック検索 バーを使用する	137
高度な検索 パネルを使用する	141
高度な検索 パネルエリア	141
検索プリセット	141
ソース	141
基準	142
履歴	142
オプション	142
高度な検索 パネルでの選択基準	142
ブラウズ検索を使用する	144
ブラウズ検索 ペインで検索範囲を設定する	144
ブラウズ検索 を使用する際のヒント	145
ブラウズ検索 パネルを非表示にする	145
自動カテゴリで検索する	145
よく使うカテゴリを識別する	146
自動 カテゴリ検索を絞り込む	146
重複ファイルを検索する	146
ファイルの削除と名前変更	147
画像をすばやく検索する	148
ACDSee 究極とファイルを共有する	148
スクリーン キャプチャを実行する	148
電子メールで画像を送信する	150
ACDSee 365 で共有 / メール送信する	151
スライドショーを表示、設定する	152
スライドショーとスクリーン セーバーを共有する	155
デスクトップ スライドショーを作成する	155
ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方	156
PDF を作成する	156
PowerPoint プレゼンテーションを作成する	157

HTMLアルバムを作成する	158
ウェブサイト写真をアップロードする	159
画像に情報を追加する/調整する	159
一括情報とサイズ変更	160
ACDSee を Flickr で承認する	160
Flickr アカウントを作成する	161
既定設定を編集する	161
Flickr アップローダの設定	162
画像にタグを付ける	164
画像をアップロードする	164
Flickr アップローダ プラグインへようこそ	166
承認する	166
コンタクトシートを作成する	166
ファイルのアーカイブを作成する	168
アーカイブを展開する	168
画像とドキュメントを印刷する	169
プリンタ オプションを設定する	170
カスタム印刷レイアウトを作成する	172
画像サイズと位置を設定する	172
印刷調整の設定をする	172
ページにテキストを追加する	173
コンタクトシート オプションを設定する	173
一括処理について	174
AI超解像の使用	175
一括エクスポートを行う	177
エクスポート ステータス	177
複数の画像をエクスポートするには:	178
複数の画像を別のファイル形式に変換する	181
変換 ステータス	181
複数の画像を別のファイルフォーマットに変換するには:	181
複数の画像を回転/反転する	182
回転/反転済みファイルのオプションを設定する	183
複数画像のサイズを変更する	184
リサイズ ステータス	184
複数画像のサイズを変更するには:	185
ファイルのオプションを設定する	188
複数の画像の露出を調整する	189
一括露出処理オプションを調整する	190
複数のファイル名を変更する	191
複数画像のカラープロファイルを変更する	195

編集の一括処理	195
回転の一括処理オプション	199
トリミングの一括処理オプション	199
サイズ変更の一括処理オプション	200
色の一括処理オプション	202
チャンネル ミキサの一括処理オプション	203
セピアの一括処理オプション	204
露出の一括処理オプション	204
Light EQ™ の一括処理オプション	206
ノイズ除去の一括処理オプション	206
シャープネスの一括処理オプション	207
ピネットの一括処理オプション	207
テキストオーバーレイの一括処理オプション	208
透かしの一括処理オプション	211
現像の一括処理を使用する	212
データベース ACDSee 究極 について	214
ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む	215
ACDSeeとIPTCの間にカテゴリとキーワードを埋め込む	216
埋め込み保留中アイコン	216
データの埋め込みが必要なファイルを表示する	217
ファイルに埋め込まれている ACDSee メタデータを取得する	217
データベースからフォルダを除外する	217
ファイルをデータベースにカタログ化する	217
ACDSee インデクサーについて	221
カタログとデータベース。	221
複数のデータベースの作成と切り替え	221
旧バージョンのデータベースを変換する	222
データベース情報をインポートする	222
他のソースからファイル情報をインポートする	223
フォトディスクをインポートする	223
アルバムをインポートする	223
Description ファイルの使い方	223
データベース情報をエクスポートする	224
ファイル一覧を作成する	224
データベースをバックアップする	225
データベース バックアップのヒントと手順	226
バックアップスケジュール	226
バックアップの保存先	226
バックアップサイズ	227
バックアップからデータベース情報を復元する	227

データベースのメンテナンス	227
データベースを最適化する	228
取り込むデータベース用にドライブをマップする	228
サムネイルとメタデータの再構築	228
ファイルを隔離する	229
プラグインを使用する	229
プラグインの種類	229
プラグインを管理する	229
プラグインを無効にする	230
プラグインの優先順序を変更する	230
プラグインのプロパティとヘルプを表示する	230
ACDSee SeeDrive™	230
ACDSee 365 のファイルを SeeDrive™ で管理する	231
アップロードする	232
ダウンロードする	232
フォルダを公開/非公開にする	232
ACDSee SeeDrive™ で共有およびダウンロードする	233
ACDSee SeeDrive™ でフォルダを共有する	233
ACDSee SeeDrive™ でフォルダの URL をコピー & 貼り付けてフォルダを共有する	234
 章 4: メディアモード	 236
メディアモードの使用	236
ヘッダーボタンバー	236
マイフォルダー	237
表示エリア	237
グリッドとフルスクリーン表示を切り替える	237
フィルター	237
並べ替えとグループ	238
グループ・パイとプロパティーズ・ペイン	238
メディアモード内のナビゲーションボタン	238
メディアモード内での画像の削除	238
 章 5: 表示モード	 239
自動レンズで画像をプレビューする	239
Light EQ™	240
RAW 画像を表示する	240
画像を回転する	240
ヒストグラムを使用する	241
表示モードで顔検出と顔認識を使用する	241
候補	242
画像送りで画像を表示する	243

表示モードで画像にテキストを表示する	243
画像テキストを隠す	244
画像の一部を選択する	244
表示モードでファイルプロパティを表示する	245
ドキュメントの表示	245
表示モードでPDFファイルを表示する	246
表示モードでプリセットを適用する	247
ブラシファイルを表示する/使用する	248
ビデオとオーディオファイルを再生する	248
オーディオおよびビデオファイルを自動再生する	248
メディアツールバー	249
動画のフレームを画像として保存する	249
画像に音声を追加/編集する	249
画像にオーディオを録音する	250
画像とドキュメントを表示モードで印刷する	251
表示モードとフォルダを同期する	252
画像をデスクトップの壁紙に設定する	253
オフライン画像を表示する	253
フォトディスクを再結合する	254
別のアプリケーションでファイルを表示する	254
オリジナルの表示	254
変更の確定	255
画像の色深度を変更する	255
拡大/縮小	255
ズームレベルを設定する	256
画像を自動で拡大/縮小する	257
ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する	258
拡大された画像のパンニング	258
パンを固定する	259
画像の特定領域を拡大表示する	259
章 6: 現像モード	260
現像モードを使用する	260
画像を現像する	260
保存とキャンセル	260
オリジナルの設定に戻す	261
画像表示コントロール	261
画像を表示する	263
分割表示による現像モード変更のプレビュー	263
表示をカスタマイズする	264
元に戻す、やり直し	264

現像モードでのカラーピッカーの使用	264
元に戻す/やり直しボタンを使用する	264
現像モードでプリセットを使用する	265
現像プリセットペインの使用	265
現像プリセットペインでのカテゴリの使用	266
プリセットを作成して適用する他の方法	266
1つの画像にプリセットを適用する	268
複数の画像にプリセットを一括適用する	269
プリセットの名前を変更する	269
プリセットを削除する	269
プリセットをインポートおよびエクスポートする	269
画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする	270
現像設定を共有する	274
オリジナルファイルを復元する	274
現像設定をコピーアンドペーストする	275
現像スナップショットを取る	276
スナップショットの閲覧	277
現像で画像を保存する	277
画像を保存する	277
ACDSee での画像の変更の保存方法	278
現像モードで現像設定を表示する	282
現像モードのマスキング	283
ブラシコントロールの調整	284
現像モードでのマスクの管理	285
AIオブジェクト工具の使用	286
AIオブジェクト工具	287
デベロッパブラシを使用する	289
スマートブラシ	294
グラデーションツールを使用する	294
グラデーション ツール	295
放射状グラデーションツールを使用する	297
放射状グラデーション ツール	297
輝度範囲ツールの使い方	299
輝度範囲工具	299
カラーレンジツールの使い方	301
カラーレンジ工具	301
現像モードでのピクセルターゲティング	303
カラーまたはトーンを調整する対象	303
ピクセルターゲティングペイン	305
調整タブについて	314

保存 とキャンセル	314
全般調整を使用する	315
eV に関するテクニカル解説	316
ホワイトバランスを調整する	316
ライティングを調整する	317
ベーシックLight EQ™	318
標準のLight EQ™	318
高度なLight EQ™	320
グラフ	320
カラーEQで色を調整する	322
カラーホイールで色を調整する	326
ピクセルターゲティングのカラーホイール	328
トーンホイールで色調を調整する	328
トーンカーブを調整する	329
ソフト フォーカスを調整する	330
現像モードのエフェクトを適用する	331
写真 エフェクト	331
カラーオーバーレイ	331
グラデーション マップ	331
グレインを追加	332
クロス処理効果 とロモ	332
LUT を使用してカラー グレーディング	332
現像モードでブレンド モードと不透明度を使用する	333
不透明度	333
ブレンドモード	333
スプリットトーンを調整する	335
トリミング後のピネットを追加	336
RAW ファイル用の出力色空間を選択する	336
ディテール タブについて	336
保存 とキャンセル	337
シャープネス	337
ノイズを除去する	338
RAW ノイズリダクションのデフォルト	339
スキントーンを調整する	340
色収差の補正	341
ジオメトリ タブについて	342
保存 とキャンセル	342
レンズの歪みを補正する	343
回転 & 傾きを直す	344
透視を補正する	345

トリミング	346
トリミング ウィンドウのサイズを変更する	346
レンズのヴィネット補正	347
修復タブについて	348
保存 とキャンセル	348
赤目を補正する	349
画像を修復する	349
章 7: 編集モード	352
編集モードを使用する	352
現像モードから編集モードへの切り替え	352
画像を編集する	352
現像設定またはオリジナルの設定に戻す	353
元に戻す、やり直し	353
AIアクション / ヒストグラム / カラーペイン	355
ヒストグラムと画像の表示 コントロールについて	356
編集モードでのカラーピッカーの使用	357
元に戻す/やり直しボタンを使用する	357
編集モードでプリセットを使用する	357
プリセットをインポートおよびエクスポートする	358
オリジナルの設定または現像済み設定に復元する	358
オリジナルの画像に復元する	358
現像済みの設定に復元する	358
編集モードで画像を保存する	358
画像を保存する	358
ACDSee での画像の変更の保存方法	359
Photoshop® プラグインを適用する	363
編集ブラシを使う	364
編集ブラシ	364
スマートブラシ	366
グラデーションツールを使用する	366
グラデーション ツール	367
放射状グラデーションツールを使用する	367
放射状グラデーション ツール	368
ブレンドモードと透明度について	369
透明度	369
ブレンドモード	369
ルーラーとガイドラインを追加する	371
フィルタ内のチャンネルフィルタリング	372
ピクセルターゲット	373
カラーまたはトーンを調整する対象	373

ピクセルターゲティングペイン	374
ACDSee アクションで調整を記録・適用する	383
記録を適用する	385
[管理] モードのとき	385
[表示] モードのとき	385
編集 モードのとき	385
アクション カテゴリを管理する	388
記録 カテゴリを管理する	388
アクションを共有する	389
AIアクションの使用	389
選択範囲を使用する	390
選択範囲 ツール	391
オーバーレイ オプション	392
選択範囲 ツールを使う	392
AI選択 ツールの使用	395
ツールを組み合わせて使用する	397
選択範囲を調整する	398
選択範囲を絞り込む	398
輝度選択	399
チャンネルの選択	399
色情報 チャンネル	399
チャンネル選択のダイアログインターフェイス	399
編集またはエフェクトを選択範囲に適用する	400
スマート削除 ツールを使用する	401
輝度/色の範囲	402
色/トーンによるターゲティング調整	402
輝度/色の範囲	403
選択バスケットに選択範囲を集める	412
レイヤーを使用する	413
調整レイヤーを使用する	418
調整レイヤーと設定	419
レベル調整レイヤーオプション	419
カーブ調整レイヤー オプション	419
RGB 調整レイヤー オプション	420
色追加調整レイヤー オプション	421
写真エフェクト調整レイヤー オプション	421
かすみ除去調整レイヤー オプション	422
ポストライズ調整レイヤー オプション	423
しきい値調整レイヤー オプション	423
カラー LUT レイヤーオプション	423

レイヤーでマスクを使用する	423
マスクのプロパティ	426
マスクの柔軟性	427
特定の色とトーンからレイヤー マスクを作成する	428
ピクセルターゲティングペイン	429
画像からレイヤーマスクを作成する	438
レイヤーとしてのテキストの追加	438
テキストを追加する	438
テキストツールの操作	439
動的:	439
フレーム:	440
パス:	440
テキストツールのキーボードショートカットとマウスショートカット	440
テキストでルーラーとガイドラインを使用	442
テキストのラスタライズ	442
テキストとしてメタデータを追加	442
キャンバスのサイズを変更する	443
ドラッグによるサイズ変更	443
サイズ変更と配置	443
レイヤーのエフェクトを適用する	444
周波数分離でレタッチする	448
画像をリタッチする	450
フォーカス・スタッキングによるマージ	451
HDR 画像の作成	452
HDR用写真の撮影	452
自動位置合わせを使用する	453
自動ブレンドを使用する	454
AI ノイズ除去	455
AI ノイズ除去の適用方法:	455
AI 顔編集	456
空の置き換え	459
空の置換を使用するには:	460
空の選択:	460
カスタム空の追加:	460
空を調整する:	460
赤目を補正する	461
画像を修整する	461
スマート消去	463
スキントーンを調整する	463
ブレンド モードについて	464

特殊効果 フィルタについて	466
画像に描画を追加する	466
画像に透かしを追加する	473
枠線を追加する	474
ユーザー定義のテクスチャやエッジを追加する	477
テクスチャ	477
エッジ	478
ピネットを追加する	478
チルトシフト効果を追加する	480
グレイン エフェクトを追加する	481
特殊効果: 曇りガラス	481
特殊効果: ブラインド	482
特殊効果: ブルースチール	483
特殊効果: Bob Ross	484
特殊効果: 膨張	485
特殊効果: マンガ	486
特殊効果: ノスタルジア	487
特殊効果: 雲	487
コラージュ エフェクトを適用する	488
特殊効果: カラーエッジ	489
特殊効果: 等高線	490
特殊効果: クレヨン画	490
クロスハッチ エフェクトを適用する	491
特殊効果: ペンキ画	491
特殊効果: ドラマチック	492
エッジ検出 エフェクトを適用する	493
特殊効果: エンボス	493
特殊効果: 柔毛エッジ	494
特殊効果: グルूम	495
特殊効果: ネオン効果	496
グラデーションマップ エフェクトを適用する	497
特殊効果: グラナイト	497
特殊効果: グランジ	498
特殊効果: 揺れ	499
ロモ エフェクトを適用する	500
特殊効果: ミラー	500
ネガ エフェクトを適用する	501
特殊効果: オイルペイント	501
古い効果を適用する	502
オートン エフェクトを適用する	503

特殊効果:輪郭	504
鉛筆画 エフェクトを適用する	504
特殊効果:写真	505
特殊効果:ピクセル爆発	505
特殊効果:モザイク	506
特殊効果:ボスタライズ	507
特殊効果:霞み	508
特殊効果:光線ぼかし	508
特殊効果:雨	509
特殊効果:波紋	510
特殊効果:飛散タイル	511
セピア エフェクトを適用する	512
特殊効果:70年代	513
特殊効果:金属シート	513
特殊効果:シフト	514
特殊効果:アングル	515
ソーベル エフェクトを適用する	516
特殊効果:ソラリゼーション	516
特殊効果:くすみ	517
特殊効果:ステンドグラス	517
特殊効果:太陽スポット	518
特殊効果:渦巻き	519
しきい値エフェクトを適用する	520
特殊効果:地形図	520
特殊効果:ウォーター	521
特殊効果:ウォータードロップ	522
特殊効果:波	523
特殊効果:織り	524
特殊効果:風	525
特殊効果:カスタムフィルタ(曇り込み効果)	526
画像を回転する	527
画像を反転する	528
画像をトリミングする	529
トリミング ウィンドウのサイズを変更する	529
遠近の歪みを補正する	530
歪みを補正する	531
レンズの歪みを自動補正する	532
画像のサイズを変更する	533
ピクセルのサイズ変更 オプションと効果	534
液状化 ツールを使用して歪み付加 とレタッチ処理を実行する	536

画像の露出を調整する	537
画像のレベルを調整する	538
レベルを自動調整する	540
編集モードでトーンカーブの調整	541
ライティングを調整する	542
[1-ステップ] タブを使用する	543
[ベーシック] タブを使用する	543
[標準] タブを使用する	544
[アドバンス] タブを使用する	545
スライド	545
グラフ	545
霞みを除去する	549
覆い焼き・焼きこみ	550
画像の一部に覆い焼き、焼きこみを適用する	550
ホワイトバランスを調整する	551
カラーEQで色を調整する	552
カラーホイールで色を調整する	554
ピクセルターゲティングのカラーホイール	556
トーンホイールで色調を調整する	556
フィルタ内のチャンネルフィルタリング	557
グレースケール画像を作成する	558
スプリットトーンを調整する	560
LUT を使用してカラー グレーディング	560
カラーLUTを作成する	561
ヒストグラムを使用する	562
色の設定 ダイアログボックスを使用する	562
標準 タブ	563
カスタム タブ	563
カラーを選択する/調整する	563
画像をシャープにする	564
画像をぼかす	565
ノイズとノイズ除去について	567
レガシーバージョンからノイズリダクションを適用してACDSee 究極に画像を読み込む	568
ノイズを除去する	568
ノイズを追加する	571
ディテールを調整する	572
明瞭度を調整する	573
色収差の補正	574
 章 8: 人物モード	 576
人物モードを使う	576

名前付きビュー	576
名前のないビュー	576
人物ビュー	577
フォルダベイン	577
名前付きビュー	577
名前のないビュー	578
名前のないビューでの画像と顔の削除:	579
人物ビュー	580
割り当てられた顔ベイン	580
顔の名前変更	580
提案された顔ベイン	580
章 9: 365 モード	582
365 モードを使用する	583
ACDSee 365 アカウントの作成	583
ACDSee 365 への画像のアップロード	583
フォルダを自動的に Web に同期するように設定する	584
公開または非公開のフォルダを作成する	585
重要度設定システムを変更する	586
画像をダウンロードする	586
転送マネージャを使用する	587
章 10: ダッシュボード モード	588
ダッシュボードモードを使用する	588
ファイルのカタログ化	588
ダッシュボードモードのタブ	588
章 11: PICAVIEW	590
ACDSee PicaView について	590
ACDSee クイックビュー を使う	590
クイックビュー で Windows Touch Gestures™ を使用する	592
章 11: オプションと設定	593
全般オプションを設定する	593
画像の自動表示オプションの設定	594
【モード設定オプション】を設定する	594
バッチ操作オプションの設定	594
一括 AI 超解像オプションの設定	595
ACDSee をデフォルトの写真ビューアとして設定する	598
管理モード オプションを設定する	598
ACDSee ホームページオプションの設定	599

クイックサーチオプションの設定	600
【顔の検出と認識】オプションを設定する	601
AI キーワード オプションの設定	603
ファイル一覧ペイン オプションを設定する	603
サムネイル情報オプションを設定する	606
サムネイルのスタイル オプションを設定する	608
詳細表示オプションを設定する	609
プレビュー ペイン オプションを設定する	609
フォルダペインオプションを設定する	610
カタログ ペイン オプションを設定する	611
カレンダー ペイン オプションを設定する	611
CD/DVD管理 オプションを設定する	612
プロパティ ペイン オプションを設定する	613
ファイル管理オプションを設定する	613
カラーマネージメント オプションを設定する	614
データベースオプションを設定する	617
メディアモードのオプションを設定する	618
表示モードのオプションを設定する	619
人物モードオプションを設定する	621
表示オプションを設定する	622
現像および編集モードオプションの設定	623
ルーラーとガイドラインのオプションを設定する	625
ACDSee 365 オプションを設定する	625
ACDSee Showroom オプションを設定する	626
ACDSee クイックビュー オプションを設定する	627
メディア オプションを設定する	628
ACDSee インデクサー オプションを設定する	628
ACDSee PicaView オプションを設定する	629
ACDSee Mobile Sync オプションを設定する	630
文書ファイルの種類オプションを設定する	630
インポートオプション	631
ACDSee を複数のモニタで使用する	631
管理モード	632
表示モード	632
現像および編集モード	632
カスタム作業領域を作成する	632
ペインとパネルを自動非表示にする	633
タスクペインを使用する	633
ツールバーをカスタマイズする	633
ツールバーを表示/非表示にする	633

ツールバーの内容をカスタマイズする	634
管理モード:	634
表示モード:	634
ツールバーをリセットする	635
ツールバーとペインの位置をカスタマイズする	635
ペインを非表示にする	635
表示、現像、編集モードでペインやツールバーを固定する	635
表示、現像、編集モードでペインやツールバーを固定する	636
カスタムメニューを作成する	636
外部エディタを設定する	637
キーボードショートカットをカスタマイズする	639
表示テーマを変更する	639
JPEGオプションを設定する	640
章 12: ショートカット	641
管理モードのキーボードショートカット	641
管理モードのマウスショートカット	650
レンダーペインのショートカット	651
表示モードのキーボードショートカット	651
表示モードのマウスショートカット	663
メディアモードのキーボードショートカット	664
現像/編集モードのキーボードショートカット	664
現像/編集モードのマウスショートカット	696
365 モードのキーボードショートカット	697
365 モードのマウスショートカット	699
ACDSee PicaView のキーボードショートカット	699
章 13: ファイルフォーマット	700
サポートされるファイルフォーマット ACDSee 究極	700
RAW ファイルについて	705
ファイルの関連付け	705
用語集	707

章 1: はじめに



ACDSee 写真館 2026 究極 へようこそ

業界をリードするデジタル写真およびドキュメント管理ソフトウェア、ACDSeeへようこそ。

ACDSeeの利点

- **トータルワークフローコントロール。** ACDSeeを中心に写真のワークフローを構築すれば、違いに気がつくでしょう。柔軟なカタログ機能、比類のない表示速度、強力なフォトエディタを備えたACDSeeは、世界中の忙しいプロおよび上級アマチュア写真家に選ばれています。大幅に改善されたRAW処理、メタデータツールのフルセット、比類のない表示速度が追加されて、完全に統合された写真編集および管理ソリューションが得られます。
- **Light EQ™を含む特許取得済みの画像処理技術を搭載。** ACDSeeのLight EQ™ツールを支える特許取得済みのLight EQ™ ツールは、シングル露出でHDR画像を作り出すアルゴリズムによって、写真のダイナミックレンジを正確かつ合理的に拡大し、信じられないほどリアルでその場の雰囲気を醸し出すような画像を作り出します。
- **広範に渡る画像編集ツール** デジタル イメージの作成、編集、修整が可能です。赤目修整、トリミング、シャープネス、ぼかしなどのツールや写真の修復、修整ツールを是非お試しください。画像編集ツールを使えば、露出調整、変換、サイズ変更、名前の変更、回転などの機能を複数のファイルに一括して適用することも可能です。
- **カスタマイズ可能なUI** 完全にカスタマイズ可能なユーザーインターフェースで、ツールや機能にすばやくアクセスすることができます。画面のレイアウトや画像の順番、ツールバーの表示その他数多くのオプションをお好みに合わせてカスタマイズすることが可能です。
- **優れた構造化機能** ACDSeeなら、カメラからコンピュータに画像をインポートしたり、ファイルの分類や評価だけでなく、あらゆるサイズの数百から数十万もの画像からなる画像コレクションを管理することができます。サムネイルのプレビューから選択したり、プロパティの詳細リストを使用してファイルを並べ替えるなどの作業も瞬時に実行可能です。探している画像が見つからない？問題ありません。ACDSeeにはさまざまな検索ツールの他、重複を避けるための「画像の比較」機能が備わっています。
- **コンテキスト依存のヘルプ。** ACDSee には、アプリケーション内を移動する際に役立つ、豊富なコンテキスト依存のヘルプ素材が用意されています。機能を使用する時に **F1** を押すと、関連するオンラインヘルプページが開きます。

ユーザーガイドの使用

このユーザーガイドは、ACDSeeソフトウェアを最大限に活用するのに役立ちます。モードと機能によって分類されており、ガイド全体を通して、ACDSeeを最大限に活用するのに役立つアイコンが示されています。



メモは、アクションを実行するときに考慮すべき事項です。



ヒントは、作業を最適化する方法です。



警告は、アクションを実行するときに考慮すべき事項です。

さらにガイダンスが必要な場合は、[クイックスタートガイド](#)または [その他のリソースとサポートを見つける](#)を確認してください。

プロの写真家のための総合写真管理ソリューションであるACDSeeをお選びいただきありがとうございます。

ACDSee のユーザーインターフェイスについて

ACDSee 究極のユーザーインターフェイスは、写真やメディアファイルを閲覧、表示、編集、管理するために使用できるさまざまなツールや機能への簡単なアクセスを提供します。ACDSee 究極では、管理、メディア、表示、開発、編集、人物、365、ダッシュボードの8つのモードをすばやく切り替えることができます。

管理モード

1

管理モードは、画像の参照や管理を行うためのユーザーインターフェイスです。このモードは、デスクトップのショートカットアイコンをクリックしてACDSee 究極を起動する際、常に表示されます。ほとんどのペインは、オプション設定によるカスタマイズできます。

管理モードは15のペインで構成されますが、使っていない場合ほとんどペインは閉じています。[ファイル一覧ペイン](#)は常に表示されており、現在のフォルダの内容、最後の検索結果、フィルタ適用の条件に一致するデータベース内のファイルなどが表示されます。**管理**モードの一番下にあるステータスバーには、現在選択されているファイル、フォルダ、またはカテゴリの情報が表示されます。

表示モードでは、メディアファイルの再生を再生したり、フル解像度の画像を1枚ずつ表示したりすることができます。また、画像プロパティペインを表示したり、画像の一部を拡大表示したり、カラー情報を詳しく表示したりすることも可能です。

管理モードには、ツールバーと一連のドロップダウンメニューもあります。ツールバーには、ホームフォルダ、およびフォルダ内を前後に移動するためのボタンがあります。ドロップダウンメニューを使用すると、最も一般的なタスクにすばやくアクセスできます。

メディアモード

2

メディアモードは、管理モードで参照した、もしくはACDSeeデータベースにカタログ化したフォルダを表示・アクセスするACDSeeのデータベース駆動型の強力な機能です。ACDSeeによって**管理**されるメディア資産のこの合理化された整頓されたビューでは、任意の組み合わせでの並べ替え、グループ化、およびフィルタリングが行えます。

表示モード

3

表示モードでは、メディアファイルを再生し、画像やドキュメントを1つずつ最高の解像度で表示します。ペインを開いて、画像のプロパティを表示したり、さまざまな倍率で画像の領域を表示したり、詳細な色情報を調べたりすることもできます。

表示モードを開くには、画像またはドキュメントを選択し、[表示モード]タブをクリックします。**表示**モードのフィルムストリップを使用すると、フォルダ内の全ファイルをすばやく切り替えて**表示**することができます。**表示**モードには、一般的に使用されているコマンドのショートカットが表示されているツールバーがあり、ウィンドウの下部には、現在のイメージやメディアファイルに関する情報が表示されるステータスバーがあります。

現像モード

4

非破壊的な画像の調整はほとんど**現像**モードで行われます。その後、画像を**[編集]**に移行し微調整できます。画像の露出、ホワイトバランス、カラープロファイルを調整したり、画像をシャープにしたり、ノイズ除去をしたりするには、**現像**モードの非破壊編集ツールを使います。

現像モードは非破壊で、パラメトリック編集で、RAW変換環境です。パラメトリック編集とは、**現像**モードで画像編集を行う際、**編集**モードで行うように実際の画像ピクセルを調整するのではなく、調整の指示を作成するということです。**現像**モードの非破壊処理は常に相互作用し、決まった順番で適用することによって最高の画像品質を引き出します。RAWファイルを扱う場合、可能な限りRAW画像データを使用して調整を適用します。

編集モード

5

現像モードで画像の非破壊的な調整をした後、**編集**モードで赤目除去などのピクセルベースのさまざまな編集ツールを使用して画像を微調整します。

編集モードはすでに RGB にレンダリングされている画像データを扱います。編集はその順番通りに変換されたRGBデータに個別に適用されます。この編集方式により、ユーザーはピクセルを完全にコントロールし、自由な創造性によって正確な調整を適用することができます。選択範囲やブレンドモードなどの利用が可能なもの編集モードの特徴です。

人物モード

6

人物モードは、業界をリードするACDSeeの顔検出および認識機能と最先端の機械学習アプリケーションの融合から生まれました。あらゆる分野の写真家は、クライアント、家族、などの人物を区別するための専用スペースを利用できます。顔を統合、名前変更、削除したり、AIアシスタントからラベル付けの提案を受けて、類似したものをグループ化することで、名前をつけていない人物を管理できます。

365 モード

7

365モードでは、365.acdsee.com に簡単に画像をアップロードして、自分の連絡先と共有・公開することができます。**365**モードでは、コンピューター内の画像を選択し、365.acdsee.comに直接ドラッグアンドドロップできます。

ダッシュボードモード

8

ダッシュボードモードでは、ファイル、カメラ、ACDSeeデータベースとEXIF情報に基づいたデータベース統計情報にすばやくアクセス・閲覧できます。**ダッシュボード**モードはお使いのデータベース情報に依存しているため、このモードを最大限に活用するにはカタログの作成が重要になります。

でモードを切り替える ACDSee 究極

ACDSee 究極では、管理、メディア、表示、開発、編集、人物、365、ダッシュボードの8つのモードをすばやく切り替えることができます。

ACDSee 究極では、管理、メディア、表示、編集、ダッシュボードの5つのモードをすばやく切り替えることができます。

モードボタンはACDSee 究極 のウィンドウの右上にあります：



モードからモードへの切り替えをするには：

次のいずれかのモードボタンをクリックします：

- **管理**：写真のインポート、閲覧、整理、比較、検索、印刷などを行うためのモードです。
- **メディア**：画像のコレクション全体が日付別に表示されます。
- **表示**：写真を表示したり、拡大表示して細かい部分を確認するためのモードです。
- **現像**：現像ツールの非破壊的能力を使用してすべての画像を調整します。
- **編集**：ピクセルベースの編集ツールを使用して、写真の修整や画質の向上を行います。
- **人物**：ACDSeeの顔認識によって識別された顔を表示します。
- **365**：365.acdsee.com に画像をアップロードして、友人や世界中のユーザーと画像共有するためのモードです。
- **ダッシュボード**：ファイル、カメラ、データベース統計情報へのアクセスや閲覧を簡単に行うことができます。

管理モードを使用する

管理モードでは、ファイルや画像の参照、並べ替え、カタログ作成、操作、共有を行うことができます。異なるツールやペインを組み合わせ、高度な検索やフィルタオプションを設定したり、画像やメディアファイルのサムネイルをプレビュー表示をすることができます。

スクリーン右上部にあるボタンをクリックして、他のモードに素早く切り替えることも可能です。

管理モード内のペインはカスタマイズが可能で、移動、サイズ変更、非表示、固定または閉じることができます。また、ペインを重ねてタブとして表示することも可能です。必要なペインにのみアクセスができるので、画面を効率的に使用することができます。

表示したいペインが表示されない場合は、左上のメインツールバーの[ペイン]をクリックして、ペインを選択してください。

管理モードペインについて

管理モードは次のペインで構成されています。

ファイル一覧	このペインには現在選択されているフォルダの 内容 、最後の検索結果、ブラウズ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。ファイル一覧ペインはカスタマイズ可能で、ファイルの表示方法やサムネイルのサイズ変更を行うことができます。
フォルダ	このペインには、Windows エクスプローラのフォルダツリーのような、コンピュータの フォルダ構成が表示 されます。フォルダペイン からフォルダを選択し、フォルダの内容をファイル一覧ペインに表示することができます。ファイル一覧に複数フォルダの内容を表示するには、左ペインにある各フォルダのイージー セレクトボックスをクリックします。
カレンダー	このペインには、ファイルと関連付けられた日付をもとにファイルを管理したり検索することのできる カレンダーが表示 されます。
ショートカット	このペインには、お気に入りの画像、ファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットが表示されます。画像、ファイル、フォルダを ショートカットペイン にドラッグすると、オリジナルの画像に全く影響も与えることなく、オリジナルのショートカットが作成されます。
詳細検索	このペインでは、強力な高度な検索ユーティリティへのアクセスを提供します。検索したいタイプを指定し、高度検索ペインのフィールドに検索条件を入力することができます。 また、検索を保存して名前を付けることもできます。検索プリセットは、高度検索ペインとカタログペインの両方にリストされています。高度検索ペインでは、ドロップダウンリストから「検索プリセット」を選択して再度実行することができます。カタログペインでは、検索プリセットはオートカテゴリーの下にリストされ、検索プリセット名をクリックするだけで再度実行することができます。
プレビュー	このペインには、ファイル一覧ペインで現在選択されている画像またはメディアファイルの サムネイルプレビュー とヒストグラム が表示されます。また、プレビュー ペインでメディアファイルを再生するか、または最初のフレームのみを表示するかどうか指定することができます。
ブラウズ検索	このパネルは、フォルダー、カタログ、およびカレンダーペインからの入力を組み合わせて、 ファイルリストペイン内のファイルのリスト を特定の条件セットに一致するものに制限します。[ブラウズ検索ペイン] の検索条件を細かく変更することで、検索結果のファイル数を調整することができます。[ブラウズ検索] パネルには [表示] メニューからアクセスできます。
カタログ	この ペイン には、カテゴリ、自動カテゴリ、人物評価、色ラベル、キーワード、および保存済み検索をリストアップし、ファイルの並べ替えと管理を簡略化します。また、カタログ ペインの「スペシャル アイテム」の機能を使用して、コンピュータにあるすべての画像をすばやく表示したり、現在のフォルダ内にある未 カテゴリ ファイルを表示することができます。
タスク	このペインには、メニューやツールバーから、 頻繁に使われているボタンやコマンド のメニューが表示されます。このメニューは、ACDSee内での現在の記憶装置内のロケーションや選択によって動的に変化します。
プロパティ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルまたはフォルダの プロパティとメタデータ が表示されます。プロパティペインを使用して、ファイルやデジタル画像に含まれる EXIF メタデータ のデータベース情報を表示および編集することができます。
マップ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルの マップ上にマークされた場所 が表示されます。マップを使用して場所を表示したり、ファイルの地図上の場所をマークしたりすることができます。
画像バスケット	ファイルやフォルダを参照する際、バスケット内に気に入った画像を 一時保存する 。これらの画像をすべて 1つのフォルダに移動させなくても、これらの画像の編集、印刷、共有を実行できます。
アクティビティ マネージャー	アクティビティ マネージャーには、「待機中のアクティビティ」、「アイドル状態のアクティビティ」、「アクティビティ履歴」の 3 つのセクションがあります。 待機中のアクティビティ: ACDSee に画像をインポートすると、[待機中のアクティビティ] セクションにその進行状況が表示されます。これらはいつでも一時停止またはキャンセルできます。 アイドル状態のアクティビティ: 顔検出の実行および AIキーワードのスキャンを行うと、スキャンが必要な

ファイル数を表示するカウンターが表示されます。RAW 画像プレビューが生成されると、その進行状況が [アイドル状態のアクティビティ] の下に表示されます。

履歴: 前回 ACDSee を起動してから完了した [待機中のアクティビティ] の履歴を表示します。

管理モード ドロップダウン メニュー

管理モードのドロップダウンメニューから、頻繁に使用するタスクにアクセスすることができます。ドロップダウンメニューは次の 6 つにグループ分けされています:

- **作業領域:** カスタマイズした作業領域のレイアウトを保存したり、既定の作業領域にリセットすることができます。
- **インポート:** カメラやその他のデバイスから画像をインポートすることができます。
- **一括:** 一括編集に必要な処理を実行することができます。
- **作成:** ここでスライドショーファイル、PDF、PowerPoint プレゼンテーション、CD/DVD、オンラインアルバム、アーカイブを作成することができます。
- **スライドショー:** スライドショーを実行したり、スライドショーの設定を行うことができます。
- **送信:** オンラインのフォトサイトや FTP、またはメールで写真を共有します。
- **編集:** 簡単にアクセスできるように外部エディターをリストアップすることができます。
- **アクション:** 選択した画像で [ACDSee アクション](#) を実行できます。

ユーザーの好みに合わせて管理モードペインを開いたり閉じたりすることができます。

また、複数のペインを移動、フロート、重ねてタブとして表示したりして、管理モードウィンドウのレイアウトをカスタマイズすることも可能です。

管理モード内で、ペインを開いたり閉じたりするには:

[ペイン] をクリックし、表示/非表示にするペインを選択します。

ペインを移動する

固定ペインまたはフローティングペインを新しい場所に移動することができます。1 つのペインを移動するのはもちろん、重なった複数のペインをまとめて移動することもできます。

ペインを移動するには:

1. 移動したいペインのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが希望する場所に表示されたら、マウスボタンを放します。
3. 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定ペインまたはフローティングペインを移動するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- ペインのタブを新しい場所にドラッグします。この方法では 1 つのペインだけを移動することができます。
- ペインのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。この方法では、重なったペインを同時に移動することができます。



デュアルモニターをご利用の場合、ペインをセカンドモニターに移動して、メインモニターのスペースを有効に使うことができます。

ペインを固定する

管理モード内でペインを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内外の両方に矢印を持ったブルーのコンパスです。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

管理モード内でペインを固定するには:

1. ペインのタイトルバーまたはタブをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。
2. ウィンドウの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。
3. ファイラー一覧ペイン、また他のブラウザペインの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの内側にある矢印上でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

ペインを重ねてタブとして表示する

ワークフローに合わせて、カスタムの順序に重ねて表示することができます。

ペインを重ねてタブとして表示するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ペインのタイトルバーを別のペインのタイトルバーまでドラッグし、濃い色のマーキーが表示された後にマウスボタンを放します。
 - ペインを別のペイン内にドラッグし、ドッキングコンパスの中心でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。
2. ペインの順序を変更するには、タブを右または左にドラッグします。
3. ペインを別々に表示するには、ペインのタブをデスクトップ上の別の場所にドラッグします。

ペインのサイズを変更する

固定またはフロートしているかに関係なく、管理モード内のすべてのペインをサイズ変更できます。

固定されているペインのサイズを変更するには:

1. ペインの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが矢印と線に表示されるまでホールドします。
2. ペインの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更するには:

ペインの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドした状態で、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。

レイアウトを既定設定に戻す

すべてのペインは、[管理]、[メディア]、[現像]、[編集]、および[人物]モードでいつでもデフォルトの位置に復元できます。

レイアウトをリセットするには:

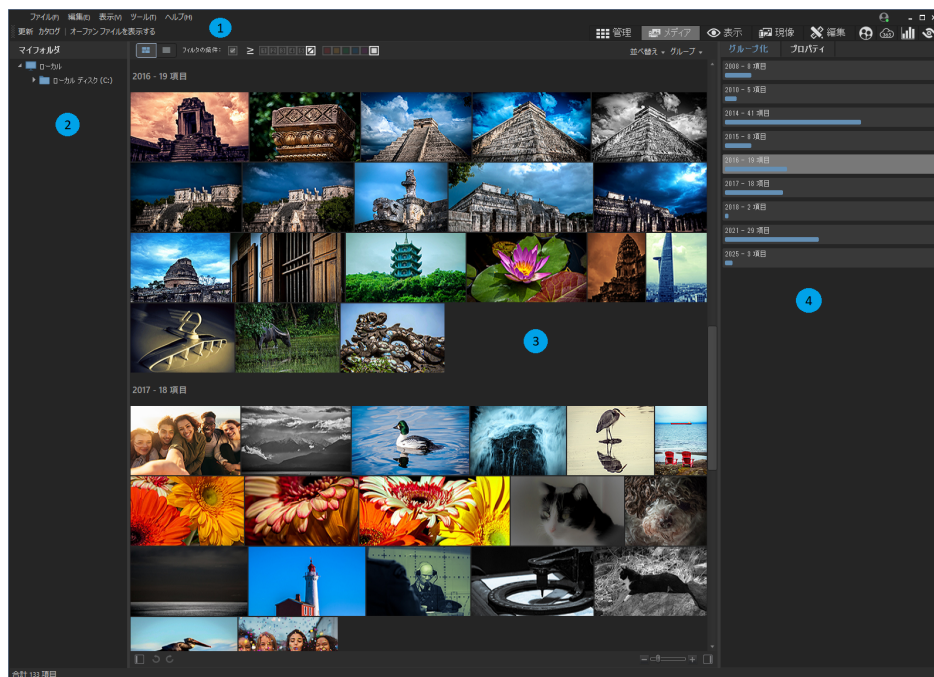
[表示]>[レイアウトをリセット]をクリックします。

メディアモードの使用

メディアモードは、デジタル資産管理のための簡素化されたデータベース駆動アプローチを提供します。**管理**モードで閲覧されたフォルダと、ACDSeeデータベースにカタログ化されたフォルダだけが、ACDSeeによって管理された写真とビデオのクラッタフリーなビューを提供するように、**メディアモード**で表示されます。

メディアモードのインターフェイスは、4つの独立した機能領域に分かれています：

1. [ヘッダーボタンバー](#)
2. [マイフォルダー](#)
3. [表示領域](#)
4. [グループ化とプロパティ](#)



ヘッダーボタンバー

メインメニューのすぐ下にあるヘッダーボタンバーには、以下の3つのボタンが含まれています：

- リフレッシュ
- カタログ
- オーファン・ファイルを表示

ヘッダーボタンバーオプション

リフレッシュ	マイフォルダー ペインのフォルダー・ツリーとディスプレイエリア ペインをリフレッシュします。
カタログ	ファイルのカタログについての詳細は、 データベース内のファイルのカタログ を参照してください。
オーファン・ファイルを表示	見つからないファイルをオーファンとしてマークされたファイルを表示します。オーファンはセピア色で表示されます。

マイフォルダー

画面の左側にある**マイフォルダー** ペインは、**管理** モードで閲覧したすべてのフォルダーで構成されたシンプルなフォルダー・ツリーです。**メディア** モードから**マイフォルダー** ペインに追加のフォルダーを追加するには、上記の[カタログファイル\(ファイルをカタログ化\)](#) ツールを使用します。

マイフォルダー ペインはデフォルトでは非表示になっています。**マイフォルダー** ペインを表示するには、表示エリアの左下にある隠す/表示するアイコン  をクリックしてください。

マイフォルダー ペイン内のメディアを含むフォルダーをクリックすると、表示エリアのコンテンツを選択されたフォルダーのメディアにフィルタリングすることができます。

表示エリア

表示エリアのペインが画面の大きな中央部分を占め、主にフィルター、ソート、またはグループ化できる画像や動画を表示するために使われます。

画像や動画をダブルクリックすると、それらをフルスクリーンで表示します。フルスクリーンで表示された動画は **メディア** モードを離れずに再生できます。フルスクリーンの画像や動画をダブルクリックすると、グリッド表示に戻ります。

個々のメディア・アセットを右クリックすると、以下のオプションを含むコンテキストセンシティブ・ヘルプ・メニューが表示されます：

- **表示:表示** モードでメディアアセットを開きます。
- **開発:開発** モードでメディアアセットを開きます。
- **編集:編集** モードでメディアアセットを開きます。
- **左回転**: 左回転するには **Ctrl + L** を押します。
- **右回転**: 右回転するには **Ctrl + R** を押します。
- **ファイルエクスプローラーで表示**: メディアアセットのファイルの場所をファイルエクスプローラーで開きます。

グリッドとフルスクリーン表示を切り替える

表示エリアのペインのフィルターオプションの左隣の上部左端にあるトグルボタンを選択することで、**グリッドとフルスクリーン** 表示を切り替えることができます。

フィルター

有効にした場合、**フィルター** ツールバーは、特定のメタデータに基づいて表示エリアのペインに表示される結果を調整するために非常に強力です。

表示エリアのペインのメディアアセットをフィルターするには、次のいずれかの組み合わせから選択します：

- **タグ付け** チェックボックスを有効にして、タグ付きの画像のみを表示します。
- **レーティング** から選択して、特定のレーティングを持つメディアのみを表示します。レーティングの左側のボタンを選択することで、結果が選択したレーティング以下、以上、または一致するメディアを含むかどうかを選択できます。
- **カラーラベル** から選択して、特定のラベルが付けられたメディアのみを表示します。



フィルター・パイ ツールの変更は、「グループ・パイ」ペインで表示される結果に影響します。

並べ替えとグループ

メディア・アセットの直上に位置し、「表示エリア」ペインの右側にある「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンは、「表示エリア」ペインの内容を変更するために使用されます。「フィルター・バイ」フィールドにより表示されるメディア・アセットの数を絞り込むのとは異なり、「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンの結果は、表示されるメディア・アセットの数を変更しません。「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンの結果は、前方または後方に並べ替えることができます。



「グループ」フィールドでの選択は、「グループ・バイ」ペインで表示される結果に影響します。

グループ・バイとプロパティーズ・ペイン

画面の右側に位置する「グループ・バイ」ペインは、「フィルター・バイ」ドロップダウンと「グループ」ドロップダウンで選択されたグループのメディア・アセットのリストを表示します。「プロパティーズ」ペインは、IPTC、EXIF、および重要なACDSeeメタデータなどの主要な詳細を表示します。「グループ・バイ」および「プロパティーズ」ペインを表示するには、表示エリアの右下にある非表示/表示アイコン  をクリックします。

「グループ・バイ」ペインの結果は、前方または後方にグループ分けすることができます。

各グループタブ内の青いバーは、グループに含まれるメディア・アセットの数を表しています。

「グループ・バイ」ペインのタブをクリックすると、「表示エリア」ペインに選択したグループが表示されるようになります。

メディアモード内のナビゲーションボタン

画像をフルスクリーン表示している場合、クライアントはウィンドウの左側または右側にカーソルを合わせて、表示されたナビゲーション矢印をクリックすることで、画像を間を移動できます。

メディアモード内での画像の削除

メディアモード内で画像を削除する方法は3つあります：

- 画像を右クリックして、コンテキストメニューから「削除」を選択します
- 画面の上部の「編集」ドロップダウンをクリックして、「削除」を選択します
- 画像を1回クリックして、「Delete」キーを押します

表示モードを使用する

表示モードでは、画像やドキュメント、メディアファイルを実寸サイズで、または 拡大または縮小して 表示することができます。連続した複数の画像を表示することも可能です。

表示モードは、次の4つのメイン領域で構成されています。

- **表示領域:** 表示モードのメイン領域で、現在選択されている画像、ドキュメント、またはメディアファイルが表示されます。拡大、縮小表示など、表示方法をカスタマイズすることができます。
- **画面下のツールバー:** メイン表示領域の下にあるツールバーは、ズームやスクロールツールといった頻繁に使用されるツールやコマンドへのショートカットボタンを提供します。大きいまたは小さいアイコンをツールバーに使用するか、またはツールバーを表示しないかなどカスタマイズが可能です。
- **フィルムストリップ:** メインの表示領域の下に位置して、現在選択されているフォルダ内、または管理モードで選択された画像ファイルグループのサムネイルが表示されます。最下部のスクロールバーを使って画像ファイル間を素早く移動したり、「次へ」または「戻る」ボタンを使って前後の画像に移動したりします。

- **ステータス バー:** ウィンドウの最も下に位置するステータス バーには、現在選択されている画像またはメディア ファイルの情報とプロパティが表示されます。編集が可能な、重要度やカラーラベル、タグのアイコンも表示されます。

画像またはファイルの [EXIF](#)、[IPTC](#) および [ACDSee メタデータ情報](#) を表示モードのプロパティペインに表示することもできます。また、[ナビゲータ](#)、[虫めがね](#)、[ヒストグラム](#) ペインを表示し、各画像の詳細情報を確認することも可能です。

表示モードで画像、ドキュメント、またはメディアファイルを開くには:

管理 モードのファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します:

- ファイルを選択して、**Enter**キーを押します。
- ファイルを選択して、**[表示]**モードボタンをクリックします。
- ファイルをダブルクリックします。
- 画像、ドキュメント、またはメディアファイルを右クリックし、**[表示]**を選択します。

表示モードで複数の画像を開くには:

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインから複数の画像を選択します。
2. **Enter**キーを押します。
3. 画像をいろいろと移動するには、次の操作を行います:
 - 連続した画像ファイルの次の画像を表示するには、**[次へ]**をクリックします。
 - 連続した画像ファイルの前の画像を表示するには、**[戻る]**をクリックします。

フル スクリーンで画像を表示する

モニタの画面全体に画像ファイルを表示することができます。フルスクリーン モードでは、ウィンドウのボーダー、メニューバー、ステータスバー、ツールバーが非表示になり、画像のみ表示されます。画像を常にフルスクリーン モードで表示したい場合は、このオプションを表示モードの既定値として設定することができます。

フルスクリーンモードで画像ファイルを表示するには:

1. 表示モードで画像または複数の画像を開きます。
2. **[表示]>[全画面表示]**をクリックします。
3. 画像ファイルを右クリックして、表示モードのツールおよびオプションのコンテキストメニューを表示します。

フルスクリーン モードを終了するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- **F** キーを押します。
- 画像ファイルを右クリックして、**[表示] > [フルスクリーン]**を選択します。



表示モードで、ショートカットキーの **F** キーを使用すると、フルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

表示モードペインを使用する

表示モードペインを開くには:

1. 表示モードで画像を開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [ペイン]>[[アクションブラウザ](#)]をクリックし、画像上で[ACDSeeアクション](#)の実行や管理を行います。
 - [ペイン] > [[ヒストグラム](#)] をクリックして、画像のヒストグラムを表示します。
 - [ペイン] > [[虫めがね](#)] をクリックして、マウスカーソルの場所を拡大表示します。
 - [ペイン] > [[ナビゲータ](#)] をクリックして、拡大画像のサムネイルを表示します。
 - [ペイン]>[[ページビュー](#)]をクリックして、複数ページの画像の[[ページビュー](#)]パネルを開きます。
 - [ペイン] > [[プロパティ](#)] をクリックして、画像の IPTC、EXIF、ACDSee メタデータを表示します。
 - [ペイン]>[[顔検出](#)]をクリックして、[検出された顔](#)を表示して、名前を付けます。
 - [ペイン]>[[現像設定](#)]をクリックして、現像モードで画像に加えられた調整を表示します。

画面下のツールバーを使用する

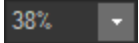
画面下のツールバーを使用すれば、よく使うツールにすばやくアクセスできます。



これらのツールは、画像ファイルを表示している時しか使用できません。

画面下のツールバー

	画像バスケットに追加	画像をアクティブな画像バスケットに追加する。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。
	顔ツール	ACDSee顔検出を使用して、画像内の人物を検出します。識別された顔に名前を付けることができます。
	スクロール	表示モードウィンドウのサイズよりも画像を大きくズームすると、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。
	選択	画像の一部を四角形で選択します。
	ズーム	画像をズーム表示します。クリックすると拡大表示に、右クリックすると縮小表示に切り替わります。
	フルスクリーン	画像をフルスクリーンで表示します。 F キーを押して、フルスクリーン表示に切り替えます。
	外部エディタ	ユーザーの選択した外部エディタでファイルを開きます。
	アクションブラウザペイン	[アクションブラウザ]ペインを開くと、編集モードのすべての調整の記録し、編集を「再生」して他の画像へ編集を適用できます。アクションブラウザで編集モードで利用可能な調整を使って複数の写真を一括編集できます。さらに、調整レイヤーを使用して記録を適用した後、編集モードで画像を開き、レイヤードエディターでレイヤーの調整を続けて、非破壊的な画像編集ができます。
	自動ライトEQ	画像のLightEQ™調整を自動的にプレビューします。
	自動レンズ	実際にファイルにフィルターを適用せずに、画像のいくつかのフィルターをプレビューします。

	スナップショット	画像に加えられた調整を保存します。編集プロセスのスナップショット保存ポイントは、いつでも元に戻すことができます。プリセットとは異なり、スナップショットは画像に直接保存されるため、スナップショットの保存を切り替えることができます。
	自動切り替え	自動表示を使えば、タグ、重要度、ラベル、カテゴリ、またはキーワードを追加しながら画像をすばやく移動できます。
	顔の輪郭を表示するには:	画像内の顔の周りにボックスを配置します。
	ツールバー オプション	[ボタンの追加または削除]メニュー項目を含むメニューを作成します。
	下側のパネルを非表示	下部のフィルムストリップを非表示にします。
	ナビゲータ	拡大表示された画像の上にクイックナビゲータペインが表示されます。(このボタンは、スクリーンサイズより大きい画像が拡大表示された場合にのみ有効になります。)
	ズーム スライダー	表示モードで表示される画像のサイズをコントロールします。スライダーをドラッグして調整します。
	ズーム ドロップダウンリスト	ドロップダウンリストから、希望のズームを選択します。
	ズームの固定	現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用します。ズーム レベルを変更すると、変更したズームレベルが表示するすべての画像に適用されます。
	原寸サイズ	画像の実寸サイズで表示します。
	ウィンドウに合わせて表示する	表示モードのサイズに合わせて画像を表示します。
	オン RAW デコード/埋め込みプレビュー	現像されていないRAW画像を表示する場合、ツールバーで [RAW デコード/埋め込みプレビュー]スイッチを利用でき



オフ

ます。RAW表示については「[RAW画像](#)」を表示するを参照してください。

表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用する

Windows Touch Gestures™ 対応のデバイスをお持ちの場合、表示モードから Windows Touch Gestures™ を使用して画像を素早く表示することができます。

表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用するには:

表示モードで画像を開きます。

- 画像上をスワイプして画像を1枚ずつスクロールします。この方法は、表示モードの左下にあるフィルムストリップファイル一覧からも使用することができます。
- 一方方向にゆっくりとホールドおよびスワイプして、フォルダ内の画像を行き来して表示することができます。
- 画像をホールドして放すと、画像をマウスで右クリックしたときと同じ操作が実行できます。
- 画像をダブルタップして、ACDSeeの管理モードに戻ります。
- 画面に指を2本当てて広げると拡大し(ピンチアウト)、2本の指を合わせるように狭めると縮小します(ピンチイン)。
- 画像を100%以上縮小したあとは、画像を指でパンすることができます。

管理モードに切り替える

表示モードから、いつでも管理モードに戻ることができます。

表示モードから管理モードに戻るには:

以下のいずれかの操作を行います。

- 画像をダブルクリックします。
- **[管理]** モードボタンをクリックします。

現像および編集モードを使用する

現像モードは非破壊で、パラメトリック編集で、RAW 変換環境です。パラメトリック編集とは、現像モードで画像編集を行う際、編集モードで行うように実際の画像ピクセルを調整するのではなく、調整の指示を作成することです。現像モードの非破壊処理は完全に相互作用し、決まった順番で適用されることによって最高の画像品質を引き出します。RAW ファイルを扱う場合、可能な限りRAW 画像データを使用して調整を適用します。

編集モードはすでに RGB にレンダリングされている画像データを扱います。RAW ファイルを現像モードから編集モードに切り替えると、フル解像度の画像データは、現像の指示が適用された 16 ビット RGB 画像に変換されます。編集モードでは各操作は完全に独立しています。編集はその順番通りに変換された RGB データに個別に適用されます。この編集方式により、ユーザーはピクセルを完全にコントロールし、自由な創造性によって正確な調整を適用することができます。選択範囲やブレンドモードなどの利用が可能なものの編集モードの特徴です。

ワークフロー

RAW 画像の調整のほとんどは、RAW 画像データを扱える現像モードで行います。その後、より限定された RGB 画像データでの微調整が可能編集モードで、最終調整を行います。

例えば、現像モードで RAW 画像のホワイトバランスを調整すると、RAW 変換時に適用される色温度をコントロールすることになります。編集モードでホワイトバランスを調整した場合は、既にレンダリング済みの RGB データに色かぶりの調整をするだけとなり、画像の質が下がり、ポストライゼーション (カラーパンディング) を引き起こす可能性があります。

現像モード、編集モードの処理能力

まずは現像モードで作業

その後編集モードで作業

[現像] モードでは RAW、JPEG およびその他の形式 ファイルを非破壊編集することができます。

- 画像の修整はまず現像モードで行ってください。現像モードは画像調整のほとんどを行うところです。
- 以前に行った画像調整をいつでも微調整することができます。現像済みの画像を再度現像モードで開くと、前回の設定がそのまま残っています。そのため、いつでも画像を開いて、最後に使用した設定をリセットしたり、調整したりすることができるため大変便利です。
- 変更を行うと、それらは別個のファイルに記録され、オリジナルファイルには一切変更を加えません。現像モードで画像を開くと、その都度オリジナルの画像に変更を適用することになります。これにより、画像の非破壊編集が可能になっています。
- 現像設定はいつでも破棄してオリジナルの状態に戻すことができます。オリジナル画像はあらゆる形式で保存されます。

[現像] モードでは次の作業が可能です：

- 画像の調整：露出、ホワイトバランス、ライティング、色、トーンカーブ、ソフトフォーカス、効果、スプリットトーン、切り抜き後の周辺光量補正などのツールの使用や、RAW 画像の出力色空間の設定を行います。
- シャープネス、ノイズ除去、スキン調整、色収差のツールを使用して、ディテールを調整します。
- ジオメトリの修正：レンズの歪み、回転 & 傾きを直す、透視、トリミング、ヴィネット補正などのツールを使用します。
- 画像の赤目を修正し、傷を取り除きます。

画像の一部だけ編集したい場合には、編集モードの各ツールを使用します。画像の一部をさらに微調整するには選択範囲ツールを使用します。

- 画像の一部に選択的に調整を適用するには編集ツールを使用します。
- 枠線やテキスト、透かし、特殊エフェクトなどの最終調整を画像に行います。
- ピクセル編集ツールを使用して、赤目を補正したり画像から傷を除去したりします。
- 変更はいつでも破棄して現像設定やオリジナルの設定に戻すことができます。現像設定に戻せば、設定は設定当時のままです。

[編集] モードでは次の作業が可能です：

-
- [選択範囲](#)
ツールまたは[編集ブラシ](#)を使用して、画像の一部に編集を適用します。
 - [レイヤーペイン](#)を使用して、レイヤーを使った複雑な加工を画像に施すことができます。
 - [\[ピクセルターゲット\]](#)を使用して、ピクセルを色とトーンで選択して調整します。
-

-
- 傷を取除き、スキントーンを調整し、色収差または赤目を補正します。
 - 、透かし、枠線、ビネット、ティルトシフト、粒子効果、特殊効果、描画を追ま加す。
-

-
- トリミ
ング、反転、サイズ変更、回転、液状化、遠近の補正、レンズの歪み補正、および樽形歪みと糸巻き形歪みは。
-

- 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、Light EQTM、かすみ除去、および焼きこみツールを使用したライティング調整。

- ホワイトバランスやカラーEQ、モノクロヘノ変換、スプリットトーン、カラーLUTツールを使って色を調整します。
- シャープネス、ノイズ除去、ノイズ追加、ディテールプラシ、ぼかし、明瞭度のツールを使用して、画像にディテールを追加する。



管理モードでは画像を簡単にグループ化できますので、現像済みや編集済みの画像を見つけるのも簡単です。**グループ** ドロップダウンメニューから**[処理状況]**を選択したり、カラーラベルを使用して、ワークフローを設定することができます。



現像モードや編集モードを終了するにはキーボードの **Esc** を押します。

人物モードを使う

人物モードは、人物のすべての画像を管理するための専用スペースです。

人物モードにアクセスするには、モードバーの**人物**モードアイコンを選択するか、メインメニューの**管理**モードから**[ツール]>[人物を管理]**の順に選択します。

人物モードには3つのビューがあります：

- 名前付き
- 名前なし、および
- 人物

名前付きビューと名前なしビューには、ボタンバーの結果グリッドのすぐ上にある**名前付き**ボタンと**名前なし**ボタンからアクセスできます。人物ビューにアクセスするには、**名前付き**ビューで人物の顔画像をダブルクリックします。モードスイッチツールをクリックして、選択したサムネイルを**表示**、**開発**、または**編集**モードに直接移動します。1つのサムネイルをダブルクリックすると、画像が表示モードに入ります。



すべてのビューで、顔をクリックして選択するか、**Ctrl + クリック**、**Shift + クリック**で複数選択します。



名前なしビューと**人物**ビューの両方で、**[顔のサムネイルの表示]**  アイコンと**[ソース画像のサムネイル]**  アイコンを切り替えて、顔のサムネイルまたはソース画像全体を表示します。

名前付きビュー

人物モードの**名前付き**ビューには、ACDSee写真データベースで名前が割り当てられた人物の画像が全て表示されます。識別された人物の画像は、統合(「Rob」、「Robby」、「Bobby」などの類似した名前を持つ人々の場合)、名前の変更、削除できます。人物をダブルクリックすると、その方の**人物**ビューが開き、その人物に割り当てられたすべての顔が確認し、AIによる提案を承認または拒否できます。



名前付き表示では、各人に割り当てられた顔の数が表示される。**9999**人以上の顔を割り当てることができます。

名前のないビュー

人物モードの**名前のない**ビューには、名前が割り当てられていない顔が表示されます。

名前のないビューは、顔画像の上にあるボタンバーの右端にあるドロップダウンリストを切り替えることで、**グループ化された顔**と**グループ化されていない顔**でフィルタリングできます。

グループ化では、表示が2つのペインに分割されます。上のペインにはグループ化された顔が表示され、それぞれの右下に検出された類似する顔の数を示す数字が表示されます。下のペインには、顔の総数と、選択したグループに関連付けられた顔の両方が表示されます。**グループ化**された顔は、人物モードのAIがそれらをグループ化することを提案するほど、構造が十分に似ています。

グループ化されていない場合、ビューには、データベース内の名前のないすべての顔がグリッド状に並んで表示されます。**グループ化されていない**画像は、AIによって生成されたグループが適用されていない顔画像の全てです。

名前のないビューは、名前のない顔の名前の割り当てや削除など、名前のない顔を管理するために使います。

人物ビュー

人物モードの人物ビューは1人の人物に関連するすべての顔画像を表示します。

人物ビューは、次の2つの領域で構成されています：

- **[割り当てられた顔]**ペイン、以前にその名前で割り当てられた顔画像のコレクション、および
- **提案された顔**ペイン、AIがその人物と一致する可能性を示唆する顔のコレクション。



人物ビューには、名前付きビューからしかアクセスできません。

フォルダペイン

[フォルダ]ペインは、結果をフォルダで絞り込むために使います。クリックして単一のフォルダを選択するか、**Ctrl + クリック**、**Shift + クリック**、またはフォルダ名の左側にある簡単な選択の矢印をクリックして複数選択します。

[フォルダ]ペインは結果グリッドの左側にあり、次の2つのビューがあります。

- **管理** モードでアクセスされた顔画像を含むフォルダを拡張して表示するツリービュー、および
- 顔画像を含むフォルダのフラットに並べた一覧ビュー。

[フォルダ]ラベルの右側にある[表示]ボタンを使用して、ツリービューと一覧ビューを切り替えます。

[フォルダ]ラベルの下にある[フォルダの更新]アイコンを使用して、現在のフォルダの選択をクリアします。

365 モードを使用する

365 モードを使用して、seedrive.acdsee.com に画像をアップロードすることができます。seedrive.acdsee.com は、ACDSee 究極ユーザー同士で画像を共有したり、画像を保存するサービスです。365 モードとseedrive.acdsee.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。

365 モードには次の2つがあります：seedrive.acdsee.com と転送です。「seedrive.acdsee.com」では、ユーザーのseedrive.acdsee.com アカウントで画像を参照したり、アカウントの設定を変更したりすることができます。[転送]のスクリーンは2つに分割されています。画面の下半分にはコンピュータに保存されている画像が表示され、上半分にはお客様のseedrive.acdsee.com アカウントが表示されます。画面の下部に表示されているコンピューター内の画像をクリックし、画面の上部にドラッグするだけで、画像をseedrive.acdsee.com アカウントにアップロードできます。



365 モードの画像を、「現像」または「編集」モードで開いて現像処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「現像」または「編集」モードで開きます。

画像をアップロードする

seedrive.acdsee.com アカウントに画像をアップロードするには：

1. 365 モードで、[サインイン]をクリックします。
2. アカウントにログインします。
3. **転送**をクリックします。

上下に分割されたスクリーンが表示されます。下半分の領域にはコンピュータに保存されている画像が表示されます。

4. アップロードする画像を選択します。複数の写真を選択するには、キーボードの **Shift** キーまたは **Ctrl** キーを押します。
5. スクリーンの上半分の領域に画像をクリックアンドドラッグして、seedrive.acdsee.com アカウントにアップロードします。



seedrive.acdsee.com アカウントにアップロードすることができる画像には、サイズの制限がありません。

ダッシュボードモードを使用する

ダッシュボードモードでは、ファイル、カメラ、データベースの統計情報を1か所で簡単に監視できます。カメラデータは画像のメタデータから収集され、ファイル情報はACDSeeデータベースから分析されます。最も正確な情報を表示するために、ファイルが[カタログ化](#)されていることを確認してください。

ファイルのカタログ化

ファイルをカタログ化するには、次のいずれかの操作を行います：

- ツール|データベース| **カタログ**に移動します。
- 管理モードでフォルダを参照します。

ダッシュボードモードのタブ

ダッシュボードモードは4つのタブで構成されており、それぞれ異なる視点でデータを確認できます：

- **概要タブ**：写真のアクティビティとデータベースステータスのハイレベルな概要を表示します。
 - 上部のグラフには、月別または年別の写真数が表示されます。ドロップダウンメニューを使用して年別表示と月別表示を切り替え、「前へ」および「次へ」ボタンを使用して期間を移動できます。
 - グラフの下には以下の情報が表示されます：
 - **データベースの概要**：データベースの総サイズ、ファイルとフォルダの総数、最終バックアップ日。
 - **カメラの概要**：最も使用されたカメラ、カメラの総数、お気に入りのISO設定。
 - **ファイルの概要**：画像およびビデオファイルの数、お気に入りのファイル形式、お気に入りの画像解像度。



このタブは、写真コレクションとデータベースの健全性をすばやくチェックするのに役立ちます。

- **データベースタブ**：データベースに関する詳細情報を表示し、サイズ、構造、バックアップステータスを追跡できます。
 - **データベースの総サイズ**：データベースのファイルパスが含まれます。
 - **ファイル情報**：画像ファイル、ビデオファイル、その他のファイルの内訳。
 - **フォルダ情報**：参照したフォルダ、参照したリモートフォルダ、参照したリムーバブルフォルダの数。
 - **孤立したアセット**：孤立したファイルとフォルダの数を表示します。
 - **ACDSeeデータベースのバックアップ**：最終バックアップ日を表示し、データが安全であることを確認できます。
 - **サムネイル情報**：サムネイルキャッシュのサイズと、サムネイルを持つ画像の数が含まれます。



このタブを使用して、データベースのパフォーマンスを監視し、バックアップとサムネイルが最新であることを確認してください。

- **カメラタブ**：カメラとレンズの使用状況を表示します。
 - **カメラの概要** パネル(左側)には、最も使用されたカメラ、レンズ、焦点距離、絞り、シャッタースピード、ISOがハイライト表示されます。

- メイン画面には以下が含まれます:
 - カメラ、レンズ、焦点距離別の写真数を、パーセンテージの内訳とともに示す円グラフ。
 - 絞り、シャッタースピード、ISO別の写真数を示す棒グラフ。
- これらのグラフは、**表示 | グラフ**からオン/オフを切り替えることができます。



このタブは、最も頻繁に使用するレンズや設定など、撮影の習慣を理解するのに役立ちます。

- **ファイルタブ:** 画像およびビデオファイルに関する情報を表示します。
 - **ファイルの概要**セクション(左上)には、ファイルの総数、お気に入りのファイル形式、最も一般的な画像解像度が表示されます。
 - 2つの円グラフでファイル形式とビット深度の内訳を表示し、凡例にパーセンテージが表示されます。
 - 棒グラフには、コレクション内の上位20個の画像解像度が表示されます。



このタブでは、最も頻繁に扱うファイルの種類についての洞察が得られます。

章 2: ヘルプを表示する

クイックスタートガイドを使用する

このクイックスタートガイドにより、ACDSee のもっとも重要な機能に関する簡単な説明を参照することができます。出だしの2ページには、ユーザーのワークフローを簡略化するためのいくつかの設定に関する説明が記載されています。これらのページの後のクイックスタートガイドの左側には、一連のリンクが含まれており、これらのリンクをクリックしてACDSeeの主な機能のツアーを見ることができます。または、[次へ]ボタンを使用することもできます。

クイックスタートを閉じるには:

ダイアログボックスの左下コーナーにある[起動時に常に表示する]オプションからチェックマークを解除して、[閉じる]をクリックします。

クイックスタートガイドを再表示するには:

メニューバーの[ヘルプ] > [クイックスタートガイド]をクリックします。

クイックスタートガイドを使って、その他の情報にアクセスするには:

クイックスタートガイドの左手にある各リンクをクリックするか、[次へ]ボタンをクリックして、ツアーをご覧ください。

オプションを設定するには:

最初のページで、[参照]ボタンをクリックして、ACDSeeが今後開くフォルダーを選択します。

2番目のページで、[選択]ボタンをクリックして、ACDSeeデータベースに記録するフォルダーを選択します。

また、2番目のページでは、右側のドロップダウンメニューから間隔を選択して、ACDSeeがデータベースのバックアップを通知する頻度を指定できます。

その他のリソースとサポートを見る

ヘルプメニューの使用

ACDSeeメニューバーの[ヘルプ]メニューには、プラグインのヘルプファイルを開くためのリンクと、更新、ニュースレターやシステム要件を見つけることができるACDSee Webサイトにリンクするオプションが含まれています。他のリンクをクリックすると、登録ページ、またはコミュニティに参加してACDSeeフォーラムに参加できるコミュニティホームページに移動します。[ヘルプ]メニューでは、ライセンスコードを入力して、ACDSeeの試用版をフルバージョンに変換することもできます。

[ヘルプ]をクリックすると、オンラインヘルプファイルを含むオンラインとオフラインのヘルプ資料へのリンクメニューが表示されます。このメニューは、[ヘルプの内容]をクリックしてオンラインでいつでも開くことができます。ヘルプメニューから、ビルド内プラグインヘルプ、ソフトウェアとそのモードのナビゲートに役立つクイックスタートガイド、ソフトウェア、ライセンスとお使いのバージョンに関する情報を提供するこの製品についてにアクセスすることもできます。

F1キーを押して、関連するヘルプファイルページをアプリケーション内で開きます。

[カスタマーサポート](#)へのリンクもあります。

オンラインヘルプと私たちのコミュニティ

アプリ内ヘルプメニューにあるオンラインヘルプへのリンクに加えて、YouTubeチャンネルに関する総合的なチュートリアルがあり、他のACDSeeユーザーとソフトウェアについて話し合うことのできるオンラインフォーラムが用意されています。[ACDSeeコミュニティ](#)にアクセスすると、ブログ、チュートリアルビデオ、フォーラム、オンラインレッスンを見ることができます。

章 3: 管理モード

管理モードは、画像の参照および管理を行うためのユーザーインターフェイスです。管理モードは、デスクトップのショートカットアイコンをクリックしてACDSee 究極を起動する際、常に表示されます。

管理モードでは、以下の操作が可能です：

- [ACDSee ホームページ](#)では、検索や主要な機能に素早く簡単にアクセスできます。
- デバイス、CD、DVD、またはディスクから[写真をインポート](#)します。
- [ファイルとフォルダーを参照](#)します。
- ファイルにタグを付け、カテゴリ、カラーラベル、重要度、キーワード、その他のメタデータを追加して、[ファイルのカタログを作成](#)します。
- [ファイルを検索](#)し、保存済み検索を作成します。
- ファイルの電子メール送信、スライドショーの作成、お気に入りの写真Webサイトへの画像のアップロードなど、[ファイルを公開および共有](#)します。
- [ファイルを公開および共有](#)します、ファイルの電子メール送信、スライドショーの作成、お気に入りの写真Webサイトへの画像のアップロードなどが含まれます。
- [画像を印刷](#)します。
- [ACDSee アクティビティマネージャー](#)でキュー内のアクティビティとアイドルアクティビティを管理できます。
- [複数のファイルの編集または現像](#)を行います。
- [ACDSee 究極 データベース](#)の管理とメンテナンスを行います。
- メタデータを適用すると、フォルダーの次の画像に自動的に[進み](#)ます。
- 画像内の顔を[検出](#)します。
- [現像](#)モードで画像に加えられた調整を表示します。

ACDSee ホームページ

プログラムを起動すると、デフォルトで**ACDSee ホームページ**が表示されます。この動作は[起動オプション](#)で変更できます。ホームページでは検索や主要な機能に素早く簡単にアクセスできるため、プロジェクトの作業をスムーズに開始できます。



フォルダーの閲覧や検索の実行は、新しいタブで開きます。詳細については、[ACDSee タブによるブラウズ](#)を参照してください。

ACDSee ホームページには 3 つのエリアがあります。

1. [クイック検索バー](#)
2. [検索ボタン](#)
3. [アクションボタン](#)



クイック検索 バー

ホームページ上部のクイック検索バーを使用して、ファイルやフォルダーを素早く特定します。クイック検索オプションを使用して検索を絞り込んだり拡張したりでき、結果をファイルリストペインで確認できます。

クイック検索バーを制御するには 3 つの方法があります。

- **テキストの消去:** クイック検索では、検索条件を入力できます。**X** をクリックすると、現在クイック検索バーにあるテキストが削除されます。
- **検索の開始:** 虫眼鏡をクリックするか、**Enter** キーを押します。
- **検索パラメーターの調整:** オプションメニューを使用して、検索パラメーターを設定します。

詳細については、[クイック検索バーの使用](#)を参照してください。

検索ボタン

ホームページには、素早くアクセスできるように定義済みの検索が 5 つ用意されています。

- **最近変更されたファイル:** デフォルトで、過去 1 週間以内に更新されたファイルを表示します。この検索では、Windows の「更新日時」フィールドを使用します。
- **最近追加されたファイル:** デフォルトで、過去 1 週間以内に追加されたファイルを表示します。この検索ではデフォルトで「撮影日」を使用しますが、ホームページオプションで「データベースへの追加日」に変更することもできます。
- **最近変更されたファイルおよび最近追加されたファイルの対象期間は、ボタンの右上隅にあるオプションメニュー、または [ACDSee ホームページ オプション](#)で調整できます。**
- **タグ付き:** タグ付けされているファイルを表示します。詳細については、[画像にタグを付ける](#)を参照してください。
- **埋め込み保留中:** ACDSee メタデータが適用されているが、まだ埋め込まれていないファイルを表示します。詳細については、[ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む](#)を参照してください。
- **名前のない名前:** 名前が割り当てられていない、検出された顔が含まれるファイルを表示します。詳細については、「[管理モードで顔を検出する](#)」を参照してください。

アクションボタン

検索ボタンの下に、ホームページには 5 つのアクションボタンがあります。

- **新しい画像:** 新しい画像のパラメーターを設定できるダイアログを開きます。詳細については、[新しい画像の作成](#)を参照してください。
- **インポート:** 画像を追加するための**インポート ウィンドウ**を開きます。オプションメニュー  を使用して、デバイス、スキャナー、ディスク、CD/DVD などのインポート元を選択します。詳細については、[ACDSee でファイルをインポートする](#)を参照してください。

 インポートは、選択した**インポート元**に基づいてのみ実行されます。

- **データベース:** デフォルトで [データベースのバックアップ] ダイアログを開きます。オプションメニュー  で設定を変更することにより、[ACDSee データベース最適化 ウィザード] または [データベースのメンテナンス] ウィンドウを開くように変更できます。詳細については、[データベースのバックアップ](#)、[データベースの最適化](#)、および [データベースのメンテナンス](#)を参照してください。
- **重複の検索:** [重複探査機] ダイアログを開き、データベース内の重複ファイルを特定できます。詳細については、[重複ファイルの検索](#)を参照してください。
- **ファイルのカタログ化:** 新しいファイルをカタログ化するための [ファイルのカタログ化] ダイアログを開きます。詳細については、[データベースでのファイルのカタログ化](#)を参照してください。

ACDSee 究極でファイルをインポートする

ACDSee 究極を使って、デジタルカメラ、フラッシュデバイス、CDやDVDなどのリムーバブルデバイスから画像をダウンロードできます。[管理] モードで、[ファイル]>[インポート]>[ディスクから]のオプションを使用すると、ネットワークおよびマッピング可能なあらゆる種類のディスクやドライブから、元のフォルダやサブフォルダ構造を保持したままファイルをインポートすることもできます。

Windows [自動再生] ダイアログボックスを使用してファイルをインポートする

デジタルカメラや他のデバイスとコンピュータが接続されると、Windows の [自動再生] ダイアログボックスが表示され、以下から1つを選択するようにメッセージが表示されます。

- **ACDSeeを使用して画像をインポートする:** このオプションを選択して、[インポート]ダイアログボックスを開きます。ここでファイルの名前を変更したり、バックアップ、保存先を指定します。インポートの設定に名前を付けて保存し、後でそれを再度使用することも可能です。RAW とJPEGの両方のフォーマットで撮影可能なカメラを使っている場合には、取り込み日とRAW + JPEG オプションの詳細設定を作成することができます。また、特定のファイルやプロジェクト用に、名前の変更テンプレートを作成することも可能です。
- **ACDSeeを使用して写真を管理する:** ACDSee内のファイルを参照するには、このオプションを選択します。ファイルをインポートするか、デバイスから直接ファイルをコピー/貼り付けすることができます。
- **Windowsを使用して写真とビデオをインポートする:** Windowsを使用してファイルをインポートしたい場合は、このオプションを選択します。

ご利用になっているコンピュータにインストールされているアプリケーションによって、上記以外のオプションから選択することが可能な場合があります。

 コンピュータがデバイスをドライブとして認識しない場合は、デバイスの取扱説明書を参照してドライブとして搭載する方法を確認します。あるいは、カードリーダーを使用してメモリーカードにアクセスします。

特定デバイスの種類からファイルをインポートする

詳細につきましては、以下の一覧から該当するデバイスの種類を選択してください。

- [デバイスから写真をインポートする](#)
- [CDまたはDVDから写真をインポートする](#)
- [ディスクから写真をインポートする](#)

RAW + JPEG オプション

写真のインポートに使われるデバイスのタイプに関係なく、元のカメラがRAW ファイル形式とJPEG ファイル形式の両方を対応する場合は、画像のインポートを目的のワークフローに合わせて調整できます。

RAW + JPEG インポートオプションを設定するには：

1. **[ACDSeeインポート]**ダイアログで、左下の**[詳細...]** ボタンをクリックします。
2. **[高度なインポートオプション]**ダイアログで、**[RAW + JPEG]** フィールドセットに移動します。
3. 次のいずれかを有効にします：
 - ・ **インポート先として選択したフォルダに両方を配置：** RAW ファイルとJPEG ファイルの両方を、**ACDSeeインポート**ダイアログの**[場所]** フィールドセットで決定されたフォルダにインポートします。
 - ・ **サブフォルダにJPEGを配置：** **[サブフォルダ名]** フィールドで設定したサブフォルダにJPEG ファイルのみを配置します。
 - ・ **RAWをサブフォルダーに配置：** **[サブフォルダー名]** フィールドで識別されたサブフォルダーにRAW ファイルのみを配置します。
4. **[JPEGをサブフォルダーに配置]** または **[RAWをサブフォルダーに配置]** ラジオボタンが有効になっている場合は、**[サブフォルダー名]** フィールドに名前を入力してください。
5. **[高度なインポートオプション]**ダイアログで**[OK]** をクリックします。
6. **[ACDSeeインポート]**ダイアログで**[インポート]** をクリックします。



[サブフォルダーにJPEGを配置] が有効になっている場合、一致するRAWがあるかどうかに関係なく、すべてのJPEGがサブフォルダーに配置されます。**[サブフォルダにRAWを配置]** を有効にする場合にも同じことが当てはまります。一致するJPEGがあるかどうかに関係なく、すべてのRAW画像がサブフォルダに配置されます。

リムーバブル デバイスについて

デジタルカメラ、スキャナ、メモリーカードからACDSeeで画像を取り込む方法は何通りかあります。デバイスとコンピュータの接続方法についての詳細は、ご利用になっているデバイスのヘルプ ファイルまたはマニュアルをご参照ください。リムーバブル デバイスの種類は下記の通りです。

- ・ **USBリムーバブル デバイス：** リムーバブル デバイスには、USBカードリーダーを使ってコンピュータと接続できるメモリーカード、コンピュータのスロットに直接挿入できるカメラのメモリーカード、フラッシュドライブなどがあります。USBリムーバブル デバイスはご利用になっているコンピュータによって検出され、リムーバブル ドライブとして表示されます。
- ・ **Windows Image Acquisition(WIA)：** Windows Image Acquisition(WIA) ドライバーを使用してコンピュータと通信するカメラとスキャナー。Canon製カメラなど、一部のカメラはWIAを使用します。ACDSee 究極ではWIAプロトコルを自動的に検出します。



オーディオまたはビデオ ファイルをコピーおよび表示するには、**DirectX 9.0c** および**QuickTime**が必要です。

デバイスから写真をインポートする

[インポート元] ダイアログボックスには、カメラ、カードリーダー、フラッシュドライブ、その他の大容量記憶装置からのインポートに関するオプションが多数用意されています。数回のクリックでファイルを手軽にインポートすることができます。あるいは、いくつかのオプションから選択してワークフローを効率化したり、インポートごとに複数のタスクを実行したりすることもできます。

[インポート] ダイアログボックスでは、日付またはファイルの種類別に、デバイス上に存在するファイルのサムネイルが表示されます。サムネイルのサイズを変更して、希望するファイルとデバイスに残しておくファイルを区別し、選択したものだけを表示します。

ファイルのインポート先フォルダやサブフォルダを選択したり、インポート中にファイルのバックアップを作成したり、名前を変更したり、カメラにオプションがある場合には自動回転させたりすることができます。**[詳細設定]** では、使用する日付を変更したり、RAWとJPEGファイルの両方のフォーマットを扱うカメラを使用している場合、これらのファイルの保存先を指定したりすることが可能です。

インポート中に、カテゴリ、IPTC、ACDSee メタデータを追加してファイルを整理することもできます。

また、これらの設定をプリセットとして保存し、後で使用することができます。



カメラがリムーバブルドライブとしてコンピューターに接続されている場合は、ファイル一覧やフォルダーペインから写真をコピーするだけの操作を実行することもできます。ACDSee 究極はリムーバブルデバイスを検出し、フォルダーペインに表示するためです。使用するカメラがコンピューターにどう接続されるのかよくわからない場合は、[\[ACDSeeを使用してファイルをインポートする\]](#)の[リムーバブルデバイスについて]を参照してください。



一部のキャノン製カメラなど、ご利用になっているカメラの機種によっては、Windows Image Acquisition (WIA) ドライバを使ってコンピューターとコミュニケーションするものがあります。ご利用のデバイスがこれらのプロトコルを使用している場合、[ファイル]>[インポート]メニューを選択し、[デバイスから]をクリックしてインポートしてください。ACDSee 究極はこれらのプロトコルを自動検出します。

【インポート元】ダイアログボックスを使って写真をダウンロードするには以下の手順を実行します：

1. カメラまたはデバイスをコンピューターに接続します。カメラの電源が入っているか、またケーブルがコンピューターと適切に接続されているかを確認します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの[自動再生]ダイアログボックスが表示されたら、**[ACDSeeを使って画像をインポート]**を選択します。
 - コンピューターに複数のデバイスが接続されている場合は、インポート元のデバイスを一覧から選択し、**[OK]**をクリックします。
 - [管理]モードで、[ファイル]>[インポート]>[デバイスから]をクリックします。
 - キーボードの **Alt + G** を押します。
3. 以下で解説されているように、インポートダイアログボックスのオプションを設定します。
4. **[インポート]**をクリックします。
5. インポートした写真を参照するには、[インポート完了]のダイアログボックスが表示された際に、**[はい]**をクリックします。新規タブが開き、結果が表示されます。詳しくは、[ACDSeeタブを使ったブラウジング](#)をご覧ください。



カメラからオーディオやビデオファイルをダウンロードする際、DirectX 9.0c およびQuickTimeが必要です。

インポート元 オプション

インポートする項目を選択

インポートする項目を選択

次のいずれかを選択してインポートする項目をコントロールします。

- **新規ファイル:** 過去にインポートしていないファイルのみをインポートします。
- **すべてのファイル:** すべてのファイルをインポートします。
- **カスタム:** 選択したファイルをインポートします。ファイルのチェックボックスをオン/オフにすることでインポートするファイルをコントロールします。

表示方法

日付

作成されたすべての日付け別に、ファイルがグループ分けされて表示されます。日付の横にあるチェックボックスをオンにすると、その日の選択を解除することができます。日付すべての選択を解除するには、[**すべての日付**] チェックボックスをオフにします。

ファイルの種類

ファイルの種類別に、ファイルがグループ分けされて表示されます。ファイルの種類のあるチェックボックスをオフにすると、そのファイルの種類の選択を解除することができます。ファイルの種類すべての選択を解除するには、[**すべてのファイルの種類**] チェックボックスをオフにします。

すべて表示

デバイス上に含まれる、すべてのファイルのサムネイルが表示されます。

選択されたものを表示

インポート用に選択されたファイルのサムネイルのみが表示されます。

インポートプリセットを選択

【インポート設定】ドロップダウンメニュー

最近使用されたインポート設定の名前が表示されます。次から1つ選択します。

- **現在の設定:** 現在の設定をインポートに使用します。
- **最近使用した設定:** 前回のインポート時に適用した設定を使用します。
- **なし:** 現在のインポート設定をすべてクリアします。

インポート設定の保存



現在選択されているインポート設定に名前を付けて保存しますので、後で同じ設定を使用することができます。インポート設定を保存(編集)するには、[**保存**] アイコンをクリックして新規の名称を入力(または既存の設定を再保存)します。

インポート設定の新しい名前が、ドロップダウンメニューに表示されるようになります。

インポート設定の削除



【インポート設定】ドロップダウンメニューで現在選択されているインポート設定を削除します。

場所

【保存先を選択】ドロップダウンメニュー

最近使用された保存先の名前が表示されます。次から1つ選択します。

1. **前回の保存先:** 前回のインポート時と同じ保存先を使用します。
2. **なし:** 現在の保存先設定をすべてクリアします。

【サブフォルダに格納する】ドロップダウンメニュー

次の定義済みサブフォルダオプションを表示します。

- **名前による単一フォルダ:** [名前]フィールドに入力した名前を付けたサブフォルダを作成します。[名前]フィールドはこのオプションを選択すると有効になります。新規に入力された名前のフォルダ内に、すべてのファイルが格納されます。
- **今日の日付による単一フォルダ:** 今日の日付をフォルダ名にしたフォルダを作成し、ファイルすべてをそのフォルダ内に格納します。
- **今日の日付でネストされたフォルダ:** 上下にネストされた一連のフォルダを、今日の日付および[形式]フィールドで選択した形式に基づいて作成します。例で示されているようにフォルダが作成され、すべてのファイルは一番下のフォルダに格納されます。

	・ ファイルの日付でネストされたフォルダ: ファイルの日付 および[形式]フィールドで選択した形式に基づいて、一連のネストフォルダを複数作成します。[形式]フィールドはこのオプションを選択すると有効になります。例で示されているようにフォルダが作成され、ファイルは各日付の付いた一番下のフォルダに格納されます。 ・ ファイルの日付でフォルダを分ける: [形式] ドロップダウンオプションで選択した形式に沿った個々のファイルの日付に合わせて、個別のフォルダを作成します。 ・ サブフォルダ名を保持する: インポート時に [ディスクから] オプションを使用する場合、既存のフォルダ名を保持します。例えば、フラッシュドライブやCDに複雑に構成されたサブフォルダが含まれている場合、フォルダツリーを変更せずにそのままインポートされます。
フォーマット	入れ子になったフォルダ オプション用のフォーマットが表示されます (上記を参照ください)。
例	現在選択されている設定でフォルダを作成した場合の、入れ子フォルダの例が表示されます (上記を参照ください)。
【バックアップ先】ドロップダウンメニュー	[格納先] で選択したサブフォルダと全く同じ複製フォルダを使用して、バックアップファイルのセットを作成します。 次のいずれかの操作を行います。 ・ [参照] をクリックしてから、バックアップ先として使用する既存フォルダを指定します。 ・ [参照] に続き [フォルダの新規作成] をクリックして、バックアップ先となる新規フォルダを作成します。  既存のACDSeeメタデータはバックアップコピーに含まれますが、インポート時に追加されたカタログ設定 (IPTCまたはACDSeeメタデータ) は一切含まれません。
ファイル	
【ファイル名を変更する】ドロップダウンメニュー	定義済みの名前の変更テンプレートを使用して、インポート時に名前が変更されます。 ・ 日付 / 時刻 - ファイル名: ファイルを作成した日付と時刻に元のファイル名をつなげて、各ファイルの名前を作成します。 ・ 日付 / 時間: ファイルを作成した日付と時刻を使用して、各ファイルの名前を作成します。 ・ カメラ - 連番: カメラの名前と1から始まる連番を併せて、各ファイルの名前を作成します。 ・ 日付 / 時間 - 連番: ファイルを作成した日付と時刻に1から始まる連番を併せて、各ファイル名を作成します。 ・ カメラ - ファイル名: カメラの名前と元のファイル名を併せて、各ファイルの名前を作成します。 カスタムの名前の変更テンプレートを作成し保存した場合も、このリストに表示されます。
編集	[名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開き、 <u>名前の変更用テンプレートを自由に作成して保存</u> することができます。
【メタデータを適用】ドロップダウンメニュー	保存されたメタデータのプリセット名を選択するか、管理のプリセットを選択して [メタデータプリセットの管理] ダイアログを開きます。
カスタマイズ	プロパティ ペイン メタデータ タブ: ACDSeeとIPTCメタデータをフィールドに入力して、インポートするファイルに追加します。 プロパティ ペイン カテゴリ タブ: インポートしたファイルを、このタブで選択したカテゴリに振り分けます。カテゴリは複数選択することができます。
画像を自動回転する	ご利用になっているカメラが、このオプションに必要な情報を作成する機種の場合、インポート時に画像が自動回転されます。

インポート後にソースから項目を削除する

インポート後に、インポートした項目を元の場所から削除します。

アドバンス

ACDSeeデータベースの日付

ファイルの日付やRAWとJPEGファイルの格納先などを指定することができる [アドバンス インポート オプション] ダイアログ ボックスが開かれます。

ACDSee 究極 データベースを設定するには次のうちの1つをファイルの日付として使用する必要があります：

- **EXIFの日付**：カメラが画像に埋め込んだEXIFの日付を使用します。
- **ファイルの更新日時**：ファイルが前回更新された日付を使用します。
- **特定の日付**：カレンダーのドロップダウン矢印をクリックして、指定した日付を使用します。

RAW+JPEG

RAWとJPEGファイルの格納先を、次から1つ選択します。

- **両方のファイルを指定先フォルダに格納する**：[インポート元] ダイアログ ボックスの [保存先] で選択したフォルダに、RAWとJPEGファイルを格納します。
- **JPEGファイルをサブフォルダに格納する**：[インポート元] ダイアログ ボックスの [保存先] で選択したフォルダに、RAWファイルを格納します。続いて、このオプションを選択すると有効になるサブフォルダ名 フィールドに入力した、新規サブフォルダ名を作成します。すべてのJPEGファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。
- **JPEGファイルをサブフォルダに格納する**：[インポート元] ダイアログ ボックスの [保存先] で選択したフォルダに、RAWファイルを格納します。続いて、このオプションを選択すると有効になるサブフォルダ名 フィールドに入力した、新規サブフォルダ名を作成します。すべてのJPEGファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。



IPTCフィールドに設定した値は、対応するEXIFフィールドに反映されます。

スキャナから写真をインポートする

ACDSeeを使って画像をスキャンし、それをアクセス可能な特定の場所にインポートします。

スキャンした画像の保存先フォルダを指定するには：

1. [ツール]>[オプション]>[管理モード]をクリックします。
2. [管理モード]ページの[スキャン保存先] セクションで、[フォルダの参照] ボタンをクリックします。
3. [フォルダの参照] ダイアログで、スキャンした画像の保存先フォルダを選択します。
4. [OK]を押します。

画像をスキャンするには：

1. [管理]モードで、[ファイル]>[インポート]>[スキャナー取り込み]をクリックします。
2. スキャン設定を自由に構成します。スキャンダイアログがWindowsによりコントロールされているため、これらの設定はお使いのOSとACDSeeのバージョンにより異なります。
3. フォルダペインを使ってスキャン済み画像の保存先として設定した場所に進みます。

CDまたはDVDから写真をインポートする

[インポート元] ダイアログボックスまたは [フォルダペイン](#) を使用して、CDまたはDVDから写真をダウンロードできます。インポートする前に、他のフォルダを参照するようにCDを参照して、どの写真をインポートするか確認してから、新しい場所にコピー&貼り付けすることができま

す。

[インポート] ダイアログを使用すると、サブフォルダオプションを設定して、フォルダ名を含む複雑なフォルダ構造をそのままインポートすることが可能です。インポートしながら画像を整理したり、バックアップフォルダを作成したりすることもできます。

CDまたはDVDから写真をインポートするには:

1. ドライブにCDまたはDVDを挿入します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの[自動再生]ダイアログボックスが表示されたら、**[ACDSeeを使って画像をインポート]**を選択します。
 - 複数のCDまたはDVDがお使いのコンピュータに接続されている場合、使用したいデバイスを選択し、**[OK]**をクリックします。
 - [管理]モードで、**[ファイル]>[インポート]>[CD/DVDからインポート]**の順にクリックします。
3. [インポート元]ダイアログボックスで、適用したい**[インポート元]**オプションを選択し、**[インポート]**をクリックします。
4. インポートした写真を参照するには、[インポート完了]のダイアログボックスが表示された際に、**[はい]**をクリックします。新規タブが開き、結果が表示されます。詳しくは、[ACDSeeタブを使ったブラウジング](#)をご覧ください。

ディスクから写真をインポートする

ACDSee 究極を使用すると、他のストレージデバイス、コンピュータ、ネットワークなどから、簡単に写真をインポートできます。コンピュータがマップできるあらゆるデバイスに対応しています。リムーバブルドライブやネットワーク、ディスクやその他のコンピュータと接続すると、ACDSee 究極の[フォルダ]ペインにリムーバブルドライブとして表示され、そこから参照・確認できます。ファイルをACDSeeにコピー&ペーストするだけです。

複雑なフォルダ構造のディスクやドライブから写真をインポートしようとしている、あるいはインポートしながら名前変更やバックアップファイルを作成して整理したい場合には、[インポート]ダイアログボックスを使用します。このダイアログボックスには、インポート中に行うことができるタスクの設定が備えられています。

ディスクから写真をインポートするには:

1. ディスクとコンピュータを接続します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - Windowsの[自動再生]ダイアログボックスが表示されたら、**[ACDSeeを使って画像をインポート]**を選択します。
 - コンピュータにディスクやドライブを複数接続している場合は、使用したいデバイスを選択し、**[OK]**をクリックします。
 - [管理]モードで、**[ファイル]>[インポート]>[デバイスから]**をクリックします。
3. [フォルダの参照]ダイアログボックスから、リムーバブルドライブまたはデバイスを指定し、**[OK]**をクリックします。
4. [インポート元]ダイアログボックスで、使用したい**オプション**を選択し、**[インポート]**をクリックします。
5. インポートした写真を参照するには、[インポート完了]のダイアログボックスが表示された際に、**[はい]**をクリックします。新規タブが開き、結果が表示されます。詳しくは、[ACDSeeタブを使ったブラウジング](#)をご覧ください。

名前の変更テンプレートを作成する

[インポート]ダイアログを使って、ハードドライブに画像がコピーされている間、各ファイルに固有の名前を付けるテンプレートを作成したり、それに名前を付けて保存したりすることができます。画像をインポートする度に、テンプレートを再利用することも可能です。名前の変更テンプレートは、連番、カスタムの名前、各ファイル特定の情報を含むことができます。異なる種類のファイルに、異なる名前変更テンプレートを作成・保存できます。例えば、異なるカメラや異なるタイプのファイルに、異なる名前変更テンプレートを設定できます。

ファイル名変更のテンプレートを作成するには:

1. [インポート] ダイアログボックスから、[次に名前を変更する] を選択します。
2. ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します：
 - **日付/時間 - ファイル名**: 画像 ファイルの撮影日 と時間にオリジナルのファイル名を付けられた形で、ファイルの名前が変更 されます。
 - **日付/時間**: ファイルの撮影日 と時間を使った形で、ファイルの名前が変更 されます。
 - **カメラ - 連番**: カメラ名 と連番を使った形で、ファイルの名前が変更 されます。
 - **日付/時間 - 連番**: ファイルの撮影日 と時間に連番が付けられた形で、ファイルの名前が変更 されます。
 - **カメラ - ファイル名**: カメラ名 と各 ファイルのオリジナル名 が付けられた形で、ファイルの名前が変更 されます。
3. カスタムのテンプレートを作成 する、あるいはシステムのテンプレートに追加 するには、[編集] をクリックします。
4. [名前の変更テンプレート] ダイアログボックスで、以下の表で解説 されているオプションから選択 します。
5. [OK] をクリック します。



[ビデオとオーディオ ファイルはスキップ] チェックボックスをオンにすると、インポート中にビデオまたはオーディオ ファイルの名前は変更 されません。

名前の変更テンプレートオプション

システム テンプレートのドロップダウン リスト	ドロップダウン リストをクリックして、定義済みのシステム テンプレートを選択します。
新規の名前の変更テンプレート 	[新規の名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開かれます。カスタムのテンプレートに使用する名前を入力します。テンプレートの使用目的、または含んでいる情報がすぐにわかるようなテンプレートの名前を付けるように注意します。例えば、カメラ名_撮影者のような名前を付けます。 [保存] をクリックすると、システム テンプレートのドロップダウン リストにその名前が追加されます。
削除します 	現在選択されているテンプレートをドロップダウン リストから削除します。定義済みのシステム テンプレートは削除できませんのでご注意ください。
名前の変更テンプレート	このフィールドを使用して、名前の変更テンプレートを作成します。撮影者の名前を入力した後、アンダースコアを入れて、その次に続くエレメントから区別しやすいように、また読みやすいように気をつけます。 次のプレースホルダを使って、各ファイルが固有名を持つようにします： • * を挿入します。ファイルの名前が変更される際、* (アスタリスク) がオリジナルのファイル名になります。 • # を挿入します。ファイルの名前が変更される際、# (シャープ記号) が連番になります。多数のファイルがある場合は、いくつかの#を挿入します。例えば、### と入力すると、名前が変更された最初のファイルには001、次のファイルには002という風に番号が振られます。1000 以上のファイルをインポートする場合は、# を最低 4 つ (####) 挿入するようにします。 • メタデータのプレースホルダである <> を挿入します。これらの括弧内に指定されたデータが、名前の変更時に置き換えられます。例えば、<カメラ: モデル名> を選択すると、カメラのモデル名が各ファイル名に挿入されます。
メタデータの挿入	クリックすると、[プロパティの選択] ダイアログボックスが開かれます。メタデータの一覧からテンプレートに使用するデータを選択します。
例	[名前の変更テンプレート] フィールドに入力する、あるいはプレースホルダを追加するにつれ、[例] に表示されるテンプレートが変わります。
ビデオとオーディオ ファイルはスキップ	名前の変更中、ビデオとオーディオ ファイルの名前は変更されません。

Lightroom® データベースをインポートする

Adobe® Lightroom® Database インポーターを使用すると、コレクション、キーワード、重要度、カラーラベルを Lightroom® から ACDSeeへインポートできます。キーワード階層は、インポートに選択された画像に埋め込まれているかどうかに関わらず、インポートを行います。



スマートコレクションまたはLightroom CCカタログはインポートできず、Lightroom Classicカタログのみをインポートできます。



Lightroom® を開いたままインポートを開始することはできません。



Lightroom®にある階層とACDSee 究極にあるコレクションの階層が同じ場合、これらのコレクションは統合されます。

Lightroom® データベースをインポートするには：

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]>[Lightroomデータベース]の順に選択します。
2. Adobe Lightroom Database インポーターで [次へ] を押します。
3. 重要度、ラベル、コレクション、キーワードなど、ACDSeeにインポートしたいデータベース情報のチェックボックスをチェックします。
4. [場所] フィールドの隣にある [参照] ボタンを使用して、Lightroom® データベースファイルの場所に移動します。



既定の設定で、フィールドには Lightroom® のデータベース保存場所が表示されるようになっているため、データベースを移動した場合のみ参照が必要になります。

5. [次へ]を押します。
6. 概要をチェックして、表示されている情報が正しいことを確認します。間違っている場合は、[戻る] ボタンを使用して前のページに戻り、訂正します。
7. [次へ]を押します。正常に完了した項目の隣には緑のチェックマークが表示され、失敗した項目の隣には赤いチェックマークが表示されます。
8. [完了]を押します。

LightroomはAdobe Inc.の登録商標です。

モバイルによる画像の操作

ACDSeeを使えば、お使いの携帯電話上で、画像へのアクセス、画像の閲覧、表示、削除、コピー、貼り付けを実行できます。モバイルデバイス上で画像を編集 または作成 するには、画像をローカル フォルダにコピーする必要があります。

ACDSee を使って携帯電話上で画像にアクセスするには:



モバイル デバイスでファイル共有が有効になっていることを確認します。

1. 携帯電話のプラグインを使って、ACDSeeを開きます。
2. 管理モードで、フォルダペインを使用して、[この PC/ コンピュータ] のお使いの電話に進みます。
3. フォルダペインまたはファイル一覧ペインを使用して、対象の画像に進みます。画像は通常、DCIM というフォルダに保存されています。



ACDSee により、プロパティペインに、お使いのデバイスから提供されたファイル情報が表示されます。

携帯電話に保存されている画像を表示するには:

ファイル一覧ペインで画像をダブルクリックします。



フィルムストリップを使うと、フォルダ内のその画像に進むことができます。

ACDSeeで、携帯電話に保存されている画像を他のフォルダにコピーするには:

[ファイルリスト]ペインで、画像を選択し、次のいずれかを実行します。

- 右クリックして、[コピー]を選択します。別のフォルダを参照し、右クリックして [貼り付け] を選択します。
- 右クリックして [フォルダにコピー] を選択... [フォルダにコピー] ダイアログで、保存先 フォルダを選択して、[OK] をクリックします。
- [編集] メニューから、[コピーする]をk、Ctrl + Cを押します。次に、宛先フォルダーで、[編集] メニュー、[貼り付け]をクリックするか、Ctrl + Vを押します。

ACDSee を使って携帯電話から画像を削除するには:



お使いのモバイル デバイスの設定を、PC を使ってファイルを削除できるように変更する必要があります。

[ファイルリスト]ペインで、画像を選択し、次のいずれかを実行します。

- 右クリックして[削除]を選択します。
- **DEL**を押します。
- [編集]メニューから、削除をクリックします。

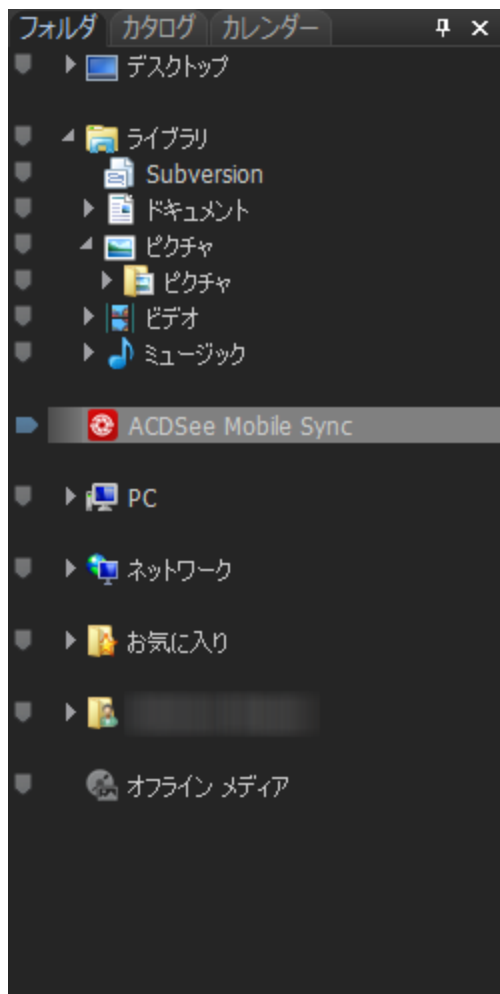
ACDSee Mobile Sync を使用して、モバイル デバイスから ACDSee に画像を送信する

ACDSee Mobile Sync アプリを使って、モバイル デバイスから PC の ACDSee 写真館 に写真やビデオを直接送信できます。この無料アプリは、iOS の場合は Apple App Store で、Android の場合は Google Play ストアで入手できます。



ACDSee Mobile Sync は、ACDSee 究極 に送信する写真を追跡し、カラーボーダーにより、新規アイテムと未送信アイテムを区別します。

管理 モードでフォルダペインの ACDSee Mobile Sync ノードアイコンをクリックすると、ACDSee 究極 に送信した画像にアクセスできます。



はじめに

アプリをダウンロードするには、次のことができます。

- iOS の場合は、[Apple App Store](#) でダウンロードできます。App Store の検索 バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。
- Android の場合は [Google Play ストア](#) でダウンロードできます。Play ストアの検索 バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。

お使いのデバイスで ACDSee Mobile Sync アプリのインストールが完了したら、アプリを開きます。表示される指示に従って、アプリに写真へのアクセスを許可し、ターゲット(PC上のACDSee)を割り当てます。アプリがターゲットを見つけられない場合は、PCにあるクイックレスポンス(QR)コードをスキャンできます。

QRコードを開くには、次のいずれかを実行します。

- [ツール]、[**ACDSee Mobile Syncの詳細を表示...**]を開きます
- 通知領域で、ACDSeeアプリアイコンを右クリックし、[**ACDSee Mobile Syncの詳細を表示**]を選択します

次に、モバイルデバイスのカメラを使用してQRコードをスキャンし、ACDSeeソフトウェアをターゲットとして追加します。

QRコードをスキャンできない場合は、ホスト名またはIPアドレスを使用してACDSeeソフトウェアをターゲットとして追加することもできます。

ホスト名またはIPアドレスを使用してACDSeeソフトウェアをターゲットとして追加するには:

1. PCと同じWiFiネットワーク上にいることを確認してください。
2. Mobile SyncアプリのQRスキャナーページで、[**QRコードなしで追加**]を選択します。



イントロをスキップした場合、または他のターゲットを追加したい場合は、[設定]に移動して[**ターゲットの追加**]を選択すると、スキャナーページを再度開くことができます。

3. ホスト名またはIPアドレスを入力し、ポートを入力します。この情報は、PCで[**ACDSee Mobile Syncの詳細を表示**]を選択すると、QRコードの上に表示されます。
4. ターゲットの名前が表示されます。そして、[**このターゲットを追加**]を選択します。
5. これにより、ACDSeeソフトウェアがターゲットとして追加され、写真やビデオを送信できるようになります。



ACDSee Mobile Sync を使って写真やビデオを送信するには、**ACDSee 究極** を実行している PC と同じ WiFi ネットワークに接続する必要があります。

画像とビデオを送信する

ACDSee Mobile Sync アプリからACDSeeに画像や動画を送信することができます。ACDSee Mobile Sync は、送信済みアイテムを追跡し、ACDSee 究極 に送信したアイテムが受領された時点で、右下に表示されるポップアップがアイテムが受領されたことを通知します。管理モードでフォルダペインのACDSee Mobile Sync ノードアイコンをクリックすると、受信済みファイルを確認できます。

すべての新しいアイテムを送信するには、[**送信**]ボタンを押します。[**送信**]ボタンを押し続けると、選択した写真とビデオがデフォルトのターゲットに送信されます。

特定のアイテムを送信するには、そのアイテムを選択して [**送信**] ボタンを押します。



アプリ内のコンテキストメニューでさらに特殊な選択オプションを使用できます。



ハードドライブ上の ACDSee Mobile Sync フォルダの位置をカスタマイズできます。[「ACDSee Mobile Sync オプションを設定する」](#)を参照してください。

モバイル同期のトラブルシューティング

Mobile Syncを使用するためのデバイスの接続に問題がある場合は、[ACDSee Mobile Sync Web](#)ページのトラブルシューティングガイドを確認してください。

[ファイル一覧]ペインでファイルを参照する

[ファイル一覧] ペインは、管理モードの中央に位置する大きなペインです。このペインには、現在選択されているフォルダの内容、最後の検索結果、ブラウズ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。

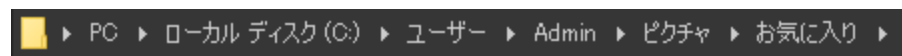
既定設定では、ファイルはサムネイルでファイル一覧ペインに表示されます。しかし、ファイル一覧ペインの表示は、サムネイルから詳細、一覧、アイコン、タイル、フィルムストリップに変更することができます。名前順、サイズ、プロパティ、などでファイルを並べ替えることも可能です。フィルタを使用して、ファイル一覧ペインに表示されるファイルの種類を指定することも可能です。

ファイル一覧ペインを使用する

ファイル一覧ペインは、コンテンツバー、ファイル一覧ドロップダウンリスト、ファイル一覧ツールバーの3つのセクションで構成されています。サムネイル上に表示されるオーバーレイアイコンは、その画像またはドキュメントに関する追加情報（処理済、ジオタグ済みなど）を示し、また重要度、タグ、ラベルなどを設定することも可能です。

コンテンツバー

コンテンツバーはファイル一覧ペインの最上部に位置し、現在参照しているフォルダのパスが表示されます。[フォルダペイン]を使用している場合、コンテンツバーにはパスまたは現在参照しているフォルダのパスが下記のように表示されます。



[カタログペイン]を使用してカテゴリや重要度でファイルを参照する場合、コンテンツバーには選択されたカテゴリが下記のように表示されます。



カレンダーペインで参照している場合、コンテンツバーには日付の範囲が表示されます。また、検索ペインを使用している場合、検索条件の概要が表示されます。

ファイル一覧ドロップダウンリスト

フィルタ	重要度やカテゴリなど、フィルタオプションの一覧が表示されます。[高度なフィルタ]を選択してカスタムフィルタを作成することも可能です。
グループ	ファイル一覧ペインで、ファイルのグループ化に使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
並べ替え	[ファイル一覧]ペインで、ファイルの並べ替えに使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
表示	[ファイル一覧]ペインで、ファイルの表示オプションの一覧が表示されます。
選択	ファイル選択オプションの一覧が表示されます。

ファイル一覧ツールバー

	バスケットに追加	選択された画像を画像バスケットに追加します。
	左に回転	選択された画像を左へ回転します。
	右に回転	選択された画像を右へ回転します。
	画像の比較	画像の比較ビューアに選択された画像を表示します。
	自動先送り	自動先送りを使えば、タグ、重要度、ラベル、カテゴリ、またはキーワードを追加しながら画像をすばやく移動できます。
	ズーム スライダー	[ファイル一覧]ペインのサムネイルの大きさをコントロールできます。スライダーをドラッグしてサムネイルの大きさを設定します。
	写真	選択したフォルダの内容をサムネイルで表示します。
	一覧表示	選択したフォルダの内容をファイル一覧として表示します。

オーバーレイアイコン

アイコン	名前	説明	説明
	サウンド / サウンドの再生	埋め込みオーディオまたは関連付けられたオーディオがある場合に 표시됩니다。サウンドアイコンをクリックして、埋め込まれたサウンドの再生が開始されると2番目のアイコンが表示されます。	左クリックして埋め込みオーディオを再生します。
	重要度	ACDSee 究極 データベース内のファイルに重要度が設定されている場合に 표시됩니다。	
	カラーラベル	カラーラベルが設定されている場合に 표시됩니다。	
	埋め込み保留中	ファイルに未書き込みのACDSee 究極 データベース内のファイルに ACDSee メタデータが設定されている場合に 표시됩니다。	右クリックして次のどちらかの操作を選択してください： • ACDSee メタデータを埋め込む：メタデータをファイルに書き込みます。 • 埋め込み保留中のアイコンの消去：オーバーレイアイコンは消えますが、メタデータはファイルに書き込まれません。
	ファイル フォーマット	ファイル フォーマットが表示されます。	クリックすると、[プロパティ]ペインのファイルタブにあるファイル情報、画像属性、および EXIF メタデータ (概要)が表示されます。
	カテゴリ	カテゴリが適用されている場合に 표시됩니다。	[プロパティ]ペインの整理タブにあるカテゴリセクションを左クリックして開きます。

アイコン	名前	説明	説明
	コレクション	ファイルがコレクションに追加されている場合に 표시됩니다。	
	ショートカット	別のファイルへのショートカットが適用されている場合に 표시됩니다。	
	オフライン	ファイルがオフラインデバイスに格納されている場合に 표시됩니다。	
	除外された項目	ファイルが ACDSee 究極 データベースから除外されている場合に 표시됩니다。	
	タグの付いた項目	タグが適用されている場合に 표시됩니다。	
	タグの付いていない項目	タグが適用されていない場合に 표시됩니다。	
	ジオタグの付いた項目	ジオタグが適用されている場合に 표시됩니다。	クリックして[マップ]ペインを開きます。
	自動回転	ファイルが自動回転されている場合に 표시됩니다。	左クリックしてオリジナル画像自体を回転し、EXIF 情報を更新します。
	現像済み	ファイルが現像されている場合に 표시됩니다。	
	編集済み	ファイルが編集されている場合に 표시됩니다。	
	スナップショット	ファイルに現像スナップショットが添付されている場合に 표시됩니다。	表示モードで画像を開き、[スナップショット]ボタンをクリックして、保存したスナップショットを表示します。

オーバーレイ アイコンの表示 を変更 する

オーバーレイ アイコンを表示 するかどうか、色 で表示 するかどうか、どのアイコンを色 で表示 するかを変更 できます。

オーバーレイ アイコンの表示 を変更 するには:

管理 モードの[ファイル一覧]ペインの一番上で、次のいずれかを実行 します:

- [表示] > [オーバーレイ モードの切替] を選択して、オーバーレイ アイコンの表示、グレースケールで表示、カラーで表示 を切り替えます。(【I】キーをクリックして、利用可能なモードを切り替えます。
- [表示] > [オーバーレイのハイライト] をクリックして、どのアイコンをカラーで表示 するかを選択 します。(【L】キーをクリックして、利用可能なオプションを選択 します。



すべてのオーバーレイ アイコンには適用 されませんのでご注意ください。どのアイコンを表示 するかについての詳細は [サムネイル 情報 オプションを選択 する](#) をご確認ください。

ファイル一覧 ペインを最大化 する

スクリーンのスペースを最大限に使用 するために、管理 モードの他のペインをすべて隠し、ファイル一覧ペインを最大化 することができます。管理 モードで表示 される領域は、ファイル一覧ペインと現在使用中のツールバーのみに なります。

ファイル一覧ペインを最大化 するには:

1. [表示] > [ファイル一覧の最大化] をクリック します。
2. ファイル一覧ペインとツールバーのみを表示 するには、[表示] > [フル スクリーン] を選択 します。
3. 管理 モードに戻るには、右上隅の [フル スクリーンを閉じる] ボタンをクリック します。

ファイルの作成 と管理

ファイル一覧ペインでは、ファイルの作成、削除、および名前の変更を実行してファイルを管理 することができます。

新しい画像を作成するには:

ブランクのまったく新しい画像を作成 することができます。

1. 管理 モードで、[ファイル] > [新規] > [画像...] に移動、または編集 モードで [ファイル] > [新規画像...] に移動 します。
 2. [新しい画像] ダイアログで、画像名と寸法を入力 します。ドロップダウンメニューを使用して、測定単位をカスタマイズ できます。
-  幅または高さはいずれも、16,000ピクセルを超えて設定 することはできません。
3. [アスペクト比]の横にあるドロップダウンリストから、アスペクト比を選択 します。[カスタム] オプションを使用して、独自の比率を定義 できます。ドロップダウンで比率を選択 し[削除] ボタンを押すことで、比率を削除 することもできます。
 4. [解像度]の横で、[インチあたりのドット数] フィールドを使用して解像度を指定 します。
 5. [背景のコンテンツ] ドロップダウンメニューから画像の背景色を選択 するか、[透明な背景を使用] チェックボックスをオンに します。
 6. [ビット数] ドロップダウンメニューから、画像を32ビットと64ビットのいずれにするかを選択 します。
 7. [OK] を押 します。新しい画像が.acdcフォーマットで開 きます。



[アイコンの保存] をクリックし、名前を入力して[OK] をクリックして、新しい画像の設定を保存 できます。

ファイルを管理 するには:

以下のいずれかの操作を行 います。

ファイルを削除するには、ファイル一覧ペインでファイルを右クリックし、コンテキストメニューから[削除]を選択するか、「Delete」を押します。

ファイルの名前を変更するには、ファイルを右クリックして、コンテキストメニューから[名前の変更]を選択するか、F2を押します。新規ファイル名を入力し、Enterキーを押すこともできます。

フォルダペインで参照する

フォルダペインには、Windows エクスプローラのフォルダツリーと同じスタイルでコンピュータのフォルダ構成が表示されます。フォルダペインで1つまたは複数のフォルダを選択し、そのフォルダの内容をファイル一覧ペインに表示することができます。フォルダペインでは、クラウド上で同期しているドライブがノードとして表示され、他のフォルダと同様に参照することができます。

また、このペインを使用して、お気に入りファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットを作成することもできます。そうすると、特定のファイルを検索することなく、ショートカットペインですばやくアクセスすることができます。

フォルダペインを使ってフォルダを参照すると、ACDSee 究極のデータベースはそのフォルダ内の画像、ドキュメント、メディアファイルをカタログ化します。

フォルダペインを開くまたは閉じるには:

管理モードで、[ペイン]>[フォルダ]をクリックします。

大容量格納デバイスやデジタルカメラのようなリムーバブルデバイスを接続すると、フォルダペイン内ではドライブ名が自動的に設定された別のドライブとして認識されます。

フォルダペイン内をクリックするだけで、デバイスとそのコンテンツにアクセスすることができます。

複数のフォルダを選択する

イージーセレクトバーは、フォルダペインおよびカタログペインの左側にある次のような縦列のバーです: 。イージーセレクトバーを使用して複数のフォルダ、カテゴリ、重要度を選択し、ファイル一覧ペインに該当するファイルを表示することができます。

イージーセレクトバーを適用するには:

フォルダペインで、表示したい各フォルダの左にあるインジケータを選択します。

また、イージーセレクトバーを[ブラウズ検索]ペインで使用することも可能です。

フォルダの作成と管理

フォルダペインおよびファイル一覧ペインでは、ハードディスクにあるフォルダの作成、削除、名前の変更、移動を実行して、ファイルを管理することができます。

フォルダを管理するには:

1. フォルダペインで、追加、削除、名前の変更をしたいフォルダを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - フォルダを作成するには、[ファイル]>[新規]をクリックし、[フォルダ]を選択します。新規フォルダの名前を入力し、Enterキーを押します。
 - フォルダを削除するには、フォルダを選択してDeleteキーを押します。
 - フォルダ名を変更するには、名前を変更するフォルダを選択し右クリックし、[名前の変更]を選択します。新規フォルダの名前を入力し、Enterキーを押します。



CD-ROMなどの読み取り専用のファイルシステム上のドライブやフォルダの名前を変更することはできません。

ACDSee タブを使ったブラウジング

管理モードの ACDSee タブを使用すると、複数のフォルダや検索結果などを一つのウィンドウ内で開いて管理することができます。新規タブで簡単にフォルダを開いたり、検索結果を後で参照できるように保持したり、必要に応じて複数の検索を切り替えて実行したりすることが可能です。

管理モードでアセットを扱う場合、最大 **25** 個のタブを開くことができます。

起動時の動作

起動時の動作を設定するには、**ツール | オプション** を選択し、**管理モード**を選択します。

ACDSee 起動時の動作を以下の 4 つから設定できます：

- **ACDSee ホームページを開く** 起動時に ACDSee ホームページを表示します。
- **開始フォルダを開く** 指定した開始フォルダを新しいタブで表示します。また、新しいタブを開く際の初期フォルダも決定します。
- **最後のアクティブなタブを再度開く** ACDSee を終了する前に使用していた最後のアクティブなタブを再開します。
- **以前のすべてのタブを再度開く** アプリケーションを終了する前に開いていたすべてのタブを復元します。

ACDSee タブの管理

新規タブで開始フォルダを開く

開始フォルダを新規タブで開くには、以下のいずれかの操作を行います：

- 現在表示されているタブの右側にある **+** をクリックします。
- タブバー上で右クリックし、**新規タブ** を選択するか、**Ctrl + T** を押します。
- 任意のフォルダを右クリックし、**新規タブで開く** を選択します。



開始フォルダ(ホームフォルダ)は管理モードのオプションで変更できます。[管理モードのオプションを設定する](#)を参照してください。

新規タブで特定のフォルダを開く

特定のフォルダを新規タブで開くには、以下のいずれかの操作を行います：

- フォルダを右クリックし、**新規タブで開く** を選択します。ファイル一覧ペインやフォルダペインからこの操作が可能です。
- フォルダを中クリックします。
- タブバーを右クリックし、**重複** を選択するか、**Alt + D** を押します。現在選択されているタブが複製されます。

タブを閉じる

一つのタブを閉じる

複数のタブを開いている場合、以下のいずれかの方法で個々のタブを閉じることができます：

タブの X をクリックする。	2 つ以上のタブが開いている場合に表示されます。
タブを中クリックする。	クリックしたタブを閉じます。
タブを右クリックして タブを閉じる を選択するか、 Ctrl + W を押します。	現在選択しているタブを閉じます。

複数のタブを閉じる

複数のタブを開いている場合、以下のいずれかの操作で複数のタブを閉じることができます：

タブを右クリックし、 他のタブをすべて閉じる を選択する。	選択したタブ以外のすべてのタブを閉じます。
タブを右クリックし、 左側のタブをすべて閉じる を選択する。	選択したタブより左側にあるすべてのタブを閉じます。
タブを右クリックし、 右側のタブをすべて閉じる を選択する。	選択したタブより右側にあるすべてのタブを閉じます。



管理モードでは、常に最低 1 つのタブが開いた状態になります。

タブの移動(ナビゲーション)

キーボードショートカットを使用して、タブ間を素早く移動できます：

次のタブへ移動	Ctrl + Page Down または Ctrl + Tab を押します。
前のタブへ移動	Ctrl + Page Up または Ctrl + Shift + Tab を押します。

タブ間のファイル転送

移動したいアセットを選択して、タブ間でファイルをドラッグ&ドロップすることができます。ファイルを目的のタブまでドラッグし、タブの上で少し待つとそのタブに切り替わります。その後、ファイルリスト内にドロップしてください。

ACDSee タブでのペインとオプションの管理

管理モードでは、多くのオプションとペインをタブごとに個別にカスタマイズできます。これには、**フィルタ**、**グループ**、**表示**オプションの設定や、**フォルダ**、**カタログ**、**カレンダー**、**詳細検索**ペインが含まれます。新規タブを開くと、その設定は直前に選択されていたタブから複製されます。**ACDSee**を終了するとすべてのタブが閉じますが、再起動時には最後にアクティブだったタブのオプションが復元されます。

ACDSee タブを使用した検索の実行

検索は各タブ内で行われるため、新規タブを開いて作業を続けることで検索結果を保持でき、いつでも元の検索タブに戻ることができます。**詳細検索**、**カタログ**、**カレンダー**ペインでの検索や選択内容は各タブに固有であるため、複数のタブで異なる検索結果を比較することが可能です。

Microsoft OneDrive™ の使用

フォトスタジオから直接Microsoft OneDrive™を使用することで、データの移行なしですべての写真にアクセスできます。

ローカルとクラウドへのアクセス：

OneDrive™内でのブラウジング時に、ファイルがPCに自動的にダウンロードされるか、またはクラウド上に保管されるかを選択するオプションがあります。

ファイルのコンテキストメニュー：

フォルダーズペイン内のOneDrive™フォルダー、または個々のファイルを右クリックすると、次のコンテキストメニューオプションが表示されます：

- **常にこのデバイスに保持：**このオプションを選択すると、選択したファイルやフォルダーの一時的なダウンロードと、PC上のローカルコピーを保持するようにOneDrive™に指示します。

- **スペースを解放する:** このオプションを選択すると、OneDrive™に選択したファイルやフォルダーのダウンロードを拒否するように指示し、すべてのローカルコピーを削除します。これにより表示されるデータが制限されますが、PC上のスペースを空けることができます。

OneDrive™は、次の3つの方法でファイルを保存して表示します:

- **ローカル:**  空のグリーンチェックマークサークルを持つファイルは、OneDrive™から一時的にPCにダウンロードされていることを示しています。OneDrive™は将来、サーバーと同期する際に自動的にファイルをオフロードする可能性があります。
- **常にローカル:**  塗りつぶされたグリーンチェックマークサークルを持つファイルは、常にこのデバイスに保持するように設定されていることを示しています。OneDrive™はサーバーとの同期時にファイルのローカルコピーを保持するようにして、PC上でいつでもファイルを利用できるようにします。
- **クラウド:**  クラウドアイコンを持つファイルは、現在クラウド内にも存在し、ダウンロード/閲覧可能であることを示しています。



クラウドファイルは、表示、開発、編集モードに移動すると自動的にダウンロードされます。大きなファイルをアクセスする場合は、モードを切り替えたり、ファイルを切り替えたりするまで、通常よりも時間がかかる可能性があります。

OneDrive™ステータス列:

次のいくつかの方法でOneDrive™のファイルのステータスを確認できます:

管理するモードでは、フィルムストリップ、サムネイル、タイルビューで自動的にファイルのステータスを確認できます。サムネイル & 詳細、詳細ビューにOneDriveステータスを追加できます。

サムネイル & 詳細、詳細にOneDriveステータスを追加するには:

1. 画像ファイルの上部にある「表示」をクリックし、サムネイル&詳細、または詳細を選択します。
2. 詳細ヘッダーバーを右クリックし、「詳細を選択...」を選択します。
3. 「ファイルのプロパティ」をクリックし、「OneDriveの状態」をクリックし、「追加->」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。



リストとアイコンビューでは、OneDriveの状態が表示されません。

OneDrive™上のファイルにメタデータを表示および埋め込む

EXIF および IPTC メタデータは、ファイルをPCにダウンロードするまで表示されません。

ファイルがクラウド上にもある場合でも、新しい ACDSee メタデータを追加できます。

ファイルに ACDSee メタデータを埋め込みたい場合は、[ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む](#)をご覧ください。

OneDrive™ へのファイルの移動:

OneDrive™の外側から1つ以上のファイルを選択して、右クリックしてコンテキストメニューを開き、**OneDrive への移動**を選択します。ファイルは、ルートOneDrive™フォルダーに移動されます。



個人用とビジネス用の OneDrive™の両方を接続している場合は、どちらからでも選択できます。

日時またはイベントごとにファイルを参照する

カレンダーペインでは、ファイルに関連付けられた日付を使って、画像やメディアファイルを管理したり参照することができます。カレンダーペインには、イベント、年、月、日のビューモードとフォトカレンダーが用意されています。フォトカレンダーは、各月で撮影された日付けに基づいてサムネイルを表示します。カレンダーペインの日付をクリックすると、その日と関連付けられているファイルの一覧が表示されます。

カレンダーペインを開くには:

管理 モードで、[ペイン] > [カレンダー] をクリックします。

メインブラウザの左手、[フォルダ] と [カタログ] タブの間にカレンダー ペインが開かれます。



カレンダーペインに画像を表示するには、画像の含まれているフォルダを参照したことがあるか、カタログファイルウィザードを使用してカタログ化を行っており、ACDSee 究極 データベースにその情報が含まれている必要があります。



[フォトカレンダー] を使用する場合、該当月の画像が含まれている特定日にのみサムネイルが表示されます。画像の含まれていない日は空白で表示されます。

カレンダー ペインの表示 オプション

	イベントモード	カレンダー ペインをイベントモードに切り替えます。イベント モードでは、指定されたイベントに該当する画像または メディアファイルが表示されます。月の横には、画像、または メディアファイルが含まれている日数が表示されます。月の領域を展開すると、該当する画像数と日にちが表示されます。説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。
	年モード	カレンダー ペインを年 モードに切り替えます。年 モードでは、年ごとに分割されたテーブルが表示されます。各 テーブルの上部には、そのテーブルの年度が表示されます。年の横には、該当年に含まれている画像または メディアファイルの数が表示されます。画像または メディアファイルが含まれている月は、ハイライト表示で区別されます。
	月モード	カレンダー ペインを月 モードに切り替えます。月ードでは、月ごとに分割されたテーブルが表示されます。各 テーブルの上部には、そのテーブルの月が表示されます。月の横には、該当月に含まれている画像または メディアファイルの数が表示されます。画像または メディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。
	日モード	カレンダー ペインを日 モードに切り替えます。日 モードでは、日ごとに分割されたテーブルが表示されます。各 テーブルの上部には、そのテーブルの日が表示されます。日の横には、該当日に含まれている画像または メディアファイルの数が表示されます。画像または メディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。
	フォトカレンダー	カレンダー ペインをフォトカレンダー モードに切り替えます。フォトカレンダーは、月別のカレンダーに画像の含まれた日をサムネイルで表示します。サムネイル上にマウスを移動すると、その日に含まれている最初の 4 画像がポップアップで表示されます。サムネイルをクリックすると、該当日に含まれているすべての画像がファイル一覧に表示されます。カレンダーの右上隅に、該当月に含まれる画像の合計数が表示されます。タイトルバーをドラッグ別の場所にフロートさせ、ペインのコーナーをドラッグしてサイズ変更をすると、サムネイルのサイズを大きくまたは小さく変更することができます。
	オプション	カレンダー ペイン オプション を使って、ファイルの管理に使用する日を指定します。例えば以下のように日付を設定し、表示を素早く切り替えることができます： ・ ACDSee 究極 データベースがファイルをカタログ化した日付 ・ 画像の撮影日時 ・ ファイルの更新日時 ・ ファイルの作成日時（コンピュータにロードされた日） [ACDSee オプション] を選択して [カレンダー] ダイアログを開き、フィルタ、週の始まりや時計の表示形式などを設定します。
	目次	イベント日の一覧を表示します。  イベントモードでのみ利用 できます。



イベントビュー以外のすべてのビューで、**Shift +左矢印**または **Shift +右矢印** を使用して、画像付きの日付間を移動できます。たとえば、月表示では、8月、9月、11月に写真を撮った場合、**Shift +右矢印**を使用して、10月の空の月をスキップします。

イベントモードに説明やサムネイルを追加する

イベントモードに説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。



カレンダー タイトル バーを右クリックして、[フロート]を選択してペインを新しい場所に移動できます。

イベントモードの特定日に説明を追加するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. [イベントの説明をここに入力します] をクリックし、ハイライト表示されたテキストを新規入力された説明に置き換えます。
3. **Enter** キーを押すか、説明領域外の任意の場所をクリックします。これで説明の内容が保存されます。

イベントモードまたはフォトカレンダーにある特定のサムネイルを選択するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. 該当日をクリックして、ファイル一覧ペインに画像またはメディアファイルを表示します。
3. 該当日のサムネイル領域に、画像またはメディアファイルをクリック & ドラッグします。

マウスボタンをリリースすると、サムネイルが保存されます。既定サムネイルをリセットするには、該当サムネイルを右クリックし、[既定サムネイルの復元] を選択します。

イベントモードで日付一覧をナビゲートするには:

1. 特定グループを展開または折りたたむには、グループヘッダーの左横にある **+/-** をクリックします。
2. 全グループを展開または折りたたむには、[全グループの展開] または [全グループの折りたたみ] を選択します。
3. 複数のグループ間をスクロールするには、[ファイル一覧] スクロールバーの下にある [次のグループ] または [前のグループ] ボタンをクリックします。
4. [カレンダー] ペインのスクロールバーの下にある [目次] ボタンをクリックして、希望する日付を選択します。

お気に入りファイルを参照する

お気に入りのファイルへすぐにアクセスできるショートカットを作成することができます。

ショートカット ペインを開く

[ペイン] から [ショートカット] をクリックする。

ショートカットを作成する

ショートカット ペイン内では、フォルダやファイルへのショートカットを作成したり、実行ファイルを起動したりすることができます。また、お気に入りのショートカットはフォルダのように、コピー、移動、名前の変更、削除することができます。実行ファイルのショートカットを使用して、ACDSee内から別のアプリケーションを起動することもできます。[ファイル] 一覧ペインからファイル、フォルダ、実行ファイルをショートカットペインに直接ドラッグすることでも、ショートカットを作成することができます。

ショートカット ペインにファイルを追加するには:

1. ファイル一覧ペインから、ファイル、フォルダまたは実行ファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 選択したアイテムを右クリックし、[ショートカットに追加]を選択します。
 - [ファイル]から[ショートカットに追加]をクリックします。
3. 新規ショートカット名を入力し、[OK]をクリックします。

新規フォルダを作成する

ショートカットを管理しやすいように、ショートカットペイン内では、フォルダまたはフォルダツリー全体を作成することが可能です。

新規フォルダを作成するには：

1. ショートカットペイン内で、ショートカット、または既に作成されているフォルダを右クリックし、[新規作成]、[フォルダ]を選択します。
2. 新規フォルダの名前を入力し、**Enter** キーを押します。

 ショートカットとして適用されているファイルまたはフォルダを移動するとリンクが壊れるため、それ以降ショートカット機能が適切に起動しないことになります。

ショートカットまたはフォルダを削除する

ショートカットペイン内では、ショートカットまたはフォルダを削除することができます。

ショートカットまたはフォルダを削除するには：

ショートカットペインで、ショートカットまたはフォルダを右クリックし、[削除]をクリックしてから、[はい]をクリックして、ショートカットまたはフォルダの削除を確認します。

RAWファイルを閲覧する

RAWファイルはネガと同様、表示する前に現像や処理を行う必要があります。閲覧するのにRAWファイルをすべて現像しなければならないのは大変不便です。ACDSee 究極 では写真を閲覧するのにRAWファイル进行处理する必要はありません。ACDSee 究極 で基本的な処理が行われます。

RAWファイルに写真のサムネイルが埋め込まれている場合は、ACDSee 究極 がそのサムネイルを管理モードで表示します。埋め込まれているサムネイルの画質が粗いこともあります。ACDSee 究極 はまず埋め込まれたサムネイルを管理モードで表示した後、高画質のサムネイルを作成して再表示します。この処理はウィンドウの下部にあるステータスバーで確認することができます。

高画質サムネイルの表示に時間がかかりすぎる場合は、このオプションをオフにすることができます。(管理モードで[ツール] > [オプション]の順にクリックして[ファイル一覧]を選択し、[高画質サムネイルの作成]チェックボックスをすべてオフにします。)RAWファイルに写真のサムネイルが埋め込まれていない場合は、ACDSee 究極 が高画質のサムネイルを即座に作成して管理モードで表示します。

 [高画質サムネイルの作成]オプションをオフにすると表示が速くなりますが、RAW画像のサムネイルの画質は粗いままとなります。

ACDSee 究極 はデータベースを検索し、以前にRAWファイルを現像したことがあるかどうかを確認します。RAWファイルの現像設定が見つかった場合、その設定を使用して管理モードで高画質のサムネイルを表示します。

サムネイルは一度作成されるとACDSee 究極 のデータベースに保存されるため、次回から取得と表示にかかる時間が短くなります。

AI キーワード

AI キーワードは、別の角度からのアプローチを提供することで、画像検索から当て推量を排除します。AI キーワードを実行すると、画像に最も適したキーワードに基づいてキーワードが自動的に画像に適用されます。たとえば、海岸線の写真には、写真に含まれる要素に応じて、「水域」、「傘」、または「ビーチ」が含まれる可能性があります。

ACDSeeは、ブラウズすると自動的にファイル情報とサムネイルをデータベースに追加します。このプロセスをカタログ化と呼びます。閲覧中のフォルダがカタログ化されると、ACDSeeは画像内のAIキーワードを検出するプロセスを開始します。他のフォルダを開くと、ACDSeeは最近表示したフォルダ内のAIキーワードを優先的にスキャンし、キューの先頭に配置してから、残りの画像の処理を続行します。スキャンの進行状況は、[アクティビティマネージャー](#)のアイドルアクティビティセクションで確認できます。アクティビティマネージャーペインは、デフォルトではアプリケーションの右側にあります。**Ctrl + Shift + 6**を押すか、[アクティビティマネージャー](#) | [アクティビティマネージャー](#)を開きます。ACDSeeは、AIキーワードが完了するか、手動で一時停止またはオフにするまでスキャンを続けます。



GPUでAI機能を利用するには、DirectX 12 フィーチャーレベル 12_0 以上が必要です。お使いのGPUのサポートレベルを確認するには、dxdiag.exe ツールを実行して [ディスプレイ] タブを確認するか、デバイスの公式仕様書を参照してください。GPUが要件を満たしていない場合でも、AI機能は代わりにCPUを使用して実行されます。

AI キーワードの使用

デフォルトでは、ACDSee 写真館 2026 究極を初めて実行するときに、AI キーワードが有効になります。画像を閲覧すると、AI キーワードが自動的に実行され、すべての画像のキーワードが検出されます。

次の手順を実行して、AI キーワードを手動で実行することもできます。

画像を選択した状態で、[AI] をクリックします。AI キーワード | AI キーワードを実行します。

AI キーワードのスキャン:

右下隅に、スキャンのためにキューに入れられた画像の数が表示されます。この表示の上にマウスを置くと、現在スキャンされているファイル名のツールチップが表示されます。

キューが大きくなりすぎてリセットしたい場合は、画面を右クリックしてコンテキストメニューからAI分析キューのクリアを選択するか、AIを選択します。 | AI分析キューをクリアします。その後、スキャンしたい特定の写真を参照できます。

参照したフォルダでAIキーワードが実行されると、検出されたキーワードを[カタログ ウィンドウ](#)に表示できます。および[プロパティペイン](#)の「整理」タブ。

[プロパティ] ペインでは、選択した画像のAIキーワードをスキャンすることもできます。管理モードで画像を選択すると、プロパティペインがキューをオーバーライドし、選択した画像をすぐにスキャンします。

AI キーワードを有効または無効にするには:

ツールを選択 | オプション | [AI キーワード] をクリックし、[画像内のキーワードを自動的に検出する] チェックボックスをオンまたはオフにします。

選択した画像の AI キーワードを削除するには:

管理モードで選択した画像のAIキーワードデータを削除できます。

1. 管理モードで、1 つ以上の画像を選択します。
2. AIを選択 | AI キーワード | AI キーワードを削除します。

これらの画像はキーワードがスキャンされたものとしてマークされたままとなり、AI キーワードによってトリガーされない限り、AI キーワードは再スキャンしません。コマンド、または[AI キーワードを再実行するオプションを有効にする](#)。

選択した画像に対して AI キーワードを再実行するには:

管理モードでは、AI キーワードに選択した画像を強制的に再スキャンさせることができます。

1. 管理モードで、1 つ以上の画像を選択します。
2. AIを選択 | AI キーワード | AI キーワードを実行します。

カタログ ペインで AI キーワードを検索:

カタログ ペイン内の階層内のすべての**AI**キーワードを並べ替えて表示できます。。リスト内で目的のキーワードをクリックすると、特定のキーワードに割り当てられた写真をすばやく検索できます。**建築**などの親キーワードには、キーワード「**タワー**」に割り当てられた写真など、すべてのサブキーワードの写真が含まれます。**+** をクリックしてグループを開き、サブキーワードを選択してさらに絞り込みます。[クイック検索バー](#)と[高度な検索ペイン](#)。

[整理] タブで AI キーワードを使用する:

AIキーワードは、[プロパティ] ペイン内の [整理] タブから表示および整理できます。[AI キーワード] グループには、選択した画像に対して検出されたキーワードが入力されます。

AI キーワードの選択:

ファイル ツリーで **AI** キーワード を選択または選択解除するには 6 つの方法があります。

- **左クリック:** キーワードを左クリックすると、その**AI**キーワードが選択されます。左クリックするだけで他の選択項目をクリックすると、現在のキーワードの選択が解除され、新しいキーワードが選択されます。
- **Ctrl クリック:** CTRL キーを押しながらキーワードを左クリックすると、その **AI**キーワード が選択されます。他の場合は、キーワードが選択されている場合、選択項目に追加されます。CTRL を押しながら選択項目をもう一度クリックすると、現在の選択項目からそのキーワードの選択が解除されます。
- **Shift クリック:** SHIFT キーを押しながらキーワードを左クリックすると、その **AI**キーワード が選択されます。すでにキーワードを選択している場合は、最後に選択したキーワードと最後に選択したキーワードの間にあるすべてのキーワードが追加されます。
- **簡単選択バー:** 各 **AI** キーワードの左側には、簡単選択バーがあります  を左クリックできます。簡易選択バーを左クリックすると、アイコンが水平方向に回転し、それに並んでいるキーワードが選択されます。必要に応じて、簡易選択バーをクリックして選択項目を追加または削除できます。
- **すべて選択:** の下にある **[すべて選択]**  をクリックします。**[AI キーワード]** ツリーですべての **[AI キーワード]** を選択します。
- **選択をクリア:** の下にある **[選択をクリア]**  をクリックします。**[AI キーワード]** ツリーで、すべての **[AI キーワード]** の選択を解除します。



AI キーワードは、選択範囲の一部にのみその **AI** キーワードが含まれる場合、斜体で表示されます。それ以外の場合、**AI** キーワードは標準のフォントスタイルになります。

AI キーワードを ACDSee キーワードに割り当てる:

検出された **AI** キーワードは、次の 2 つの方法のいずれかで ACDSee キーワードに直接割り当てることができます。

- 画像を選択し、キーワードが **[AI キーワード]** リストに表示されている状態で、リスト内でキーワードを見つけて **[+]** ボタンをクリックします。
- 画像が選択され、キーワードが **[AI キーワード]** リストに表示されている状態で、リスト内のキーワードを選択し、**[選択を割り当て]** をクリックします .

複数の画像が選択されている場合に AI キーワードを割り当てる:

複数の画像を選択すると、**[AI キーワード]** グループには、選択した画像のいずれかに含まれるすべてのキーワードが表示されます。これらの **AI** キーワードのいずれかが、**[すべて割り当て]**、**[選択項目を割り当て]** を使用して **ACDSee** キーワードに割り当てられると、またはその他の方法を使用した場合、割り当てられた **AI** キーワードは、**AI** キーワード が含まれていた画像の **ACDSee** キーワードにのみ表示されます。見つかりました。

例:

- ・ 画像 A には AI キーワード「猫、犬」が含まれています
- ・ 画像 B には AI キーワード「犬、象」が含まれています
- ・ 画像 C には AI キーワード「猫、象」が含まれています

3 つの画像をすべて選択し、[すべて割り当て] を使用してキーワード猫 を割り当てると、猫 が **ACDSee** に表示されます。画像 A と C のキーワードですが、画像 B にはありません。

割り当てボタンの外観:

「整理」タブの「割り当て」ボタンの外観は、いくつかの要因に応じて変わります。

1. AI キーワードを含む選択した画像に通常のキーワードとして割り当てられていない場合は、**プラス**として表示されます。**プラス** をクリックすると、AI キーワードを含む選択したすべての画像に割り当てられます。
2. AI キーワードを含む画像の一部に割り当てられている場合、**灰色のチェックマーク**として表示されます。**灰色のチェックマーク** をクリックすると、AI キーワードを含む選択したすべての画像に割り当てられます。
3. AI キーワードを含むすべての画像に割り当てられている場合、**青いチェックマーク**として表示されます。**青色のチェックマーク** をクリックしても何も起こりません。

例:

- ・ 画像 A には、AI キーワード「猫」が**検出され、ACDSee** キーワードとして**割り当てられています**。
- ・ 画像 B には AI キーワード「Cat」が**検出されましたが、ACDSee** キーワードとして**割り当てられていません**
- ・ 画像 C には AI キーワード「Cat」が AI として**検出されていません**。キーワード。

AI キーワード「Cat」について、各選択の結果を示す次の表を検討してください。

選択範囲	テキスト	ボタンの割り当て
A	標準	青いチェックマーク
B	標準	プラス
C	該当なし	該当なし
A と B	標準	灰色のチェックマーク
A と C	斜体	青いチェックマーク
B および C	斜体	プラス
A、B、C	斜体	灰色のチェックマーク

画像に対して**検出されたすべての AI キーワードを割り当てるには:**

画像を選択し、キーワードが [AI キーワード] リストに表示されている状態で、[すべて割り当て] をクリックします 。

画像から **AI キーワードを削除する:**

- ・ 画像が選択され、キーワードが [AI キーワード] リストに表示されている状態で、リスト内でキーワードを見つけて、 ボタン。
- ・ 画像が選択され、キーワードが [AI キーワード] リストに表示されている状態で、リスト内のキーワードを選択し、[選択項目を削除] をクリックします .

画像に対して**検出されたすべての AI キーワードを削除するには:**

画像を選択し、キーワードが AI キーワード リストに表示されている状態で、[すべて削除]  をクリックします。

AI キーワードのフィルタリング:

AIキーワードをフィルタリングするには、**[AIキーワードをフィルタリング]** テキスト フィールド をクリックして任意の単語を入力します。表示される **AIキーワード** は、入力時に動的にフィルタリングされます。

管理モードで顔を検出する

ACDSee は、ファイル情報とサムネイルを、ファイルを参照する際、データベースに自動追加します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。閲覧しているフォルダがカタログ化されると、ACDSee は画像内の顔を検出する処理を開始します。他のフォルダを開くと、ACDSee は最初のフォルダで顔のスキャンを続行し、後続のフォルダはキューに入れられます。管理モードの右下隅でスキャンの進行状況を確認できます。ACDSee は、閲覧したフォルダで顔検出が完了するまでスキャンを続けます。スキャンの進行状況は、**アクティビティマネージャー**の**アイドルアクティビティ**セクションで表示できます。デフォルトでは、アプリケーションの右側に**アクティビティマネージャー**ペインがあります。**Ctrl + シフト + 6**を押すか、**ペイン | アクティビティマネージャー**に進みます。ACDSeeは、顔検出が完了するまで、または手動で一時停止またはオフにするまでスキャンを続けます。

顔のスキャン:

アクティビティマネージャーの**アイドルアクティビティ**セクションには、スキャン中 キュー内の画像数が表示されます。

キューが大きくなりすぎてリセットしたい場合は、**アイドルアクティビティ**セクションの右上にあるオプションギアを使ってクリアできます。また、顔検出セクションの右側にあるトグルを反転させて、いつでもオフにすることができます。



表示モードで、画像ごとに画像上の顔を検出することもできます。画像を開くと顔検出が各画像の顔をスキャンします。

閲覧したフォルダで顔検出を実行した後、表示モードで画像を開くことができ、表示モードでは顔の輪郭が表示されます。表示モードで検出された顔に名前を割り当てることができます。

顔検出を有効または無効にするには:

[ツール]から[オプション]、[顔検出]をクリックし、[顔検出を有効にする]チェックボックスをオンまたはオフにします。

表示モードで検出された顔に名前を割り当てると、カタログペインの[人物]グループを使用して、画像内の人物に基づいて写真を検索できます。クイック検索パートと検索ペインで名前を検索することもできます。人物 マネージャを使用して、顔検出で顔に割り当てられた名前を管理できます。

選択した画像の顔検出と顔認識を削除するには:

管理モードで選択した画像の顔検出および顔認識データを削除できます。

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. **[AI]**から**[AI顔検出]**、**[顔を削除]**を選択します、または画像を右クリックし、**AI機能 | AI顔検出 | [選択したものを削除]**を選択します。

これらの画像は、顔検出を有効にするコマンド、または顔検出を有効にするオプションによってトリガーされない限り、顔がスキャンされたものとしてマークされ、**顔検出**は再スキャンしません。

選択した画像で顔検出を再実行するには:

管理モードで、選択した画像を顔検出で強制的に再スキャンできます。

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. **[AI]**から**[AI顔検出]**、**[顔の再検出]**を選択します、または画像を右クリックして、**AI機能 | AI顔検出 | 顔の再検出**を選択します。

選択した画像で顔認識を再実行するには:

選択された画像の中で手動で名前を付けていない顔で顔認識を再試行して、ACDSeeが顔に割り当てた誤った名前を修正することができます。この動作を実行すると、ACDSeeの顔認識が割り当てた名前すべてがクリアされますが、手動で入力された名前は残ります。続いてACDSeeは、手動で入力した名前に基づいて、名前の付いていない顔の認識を試みます。

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. **[AI]**から**[AI顔検出]**、**[顔認識を再実行]**を選択します、または画像を右クリックして、**AI機能 | AI顔検出 | 顔認識を再実行**を選択します。



自動ネーミング機能は、自動ネーミングオプションが有効になっている場合のみ使用できます。

顔データの埋め込み、取得、インポート

顔検出機能を実行すると、「顔データ」が作成され、データベースに追加されるため、埋め込み保留中アイコンがトリガーされます。顔データは、ACDSee メタデータと同様に、画像のXMP ファイルに埋め込まれます。顔データもファイルに埋め込むことで、共有したり、復元したり、新しいデータベースで使用したりできるようになります。

顔データを埋め込むには:

[ACDSee メタデータの埋め込み]ダイアログを使用して、顔データを埋め込むことができます。ファイルに ACDSee メタデータを埋め込むを参照してください。

ファイルに埋め込まれた顔データを取得するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **[AI]**から**[AI顔検出]**、**[ACDSee 顔データのインポート]**を選択します。
- **[ツール]**から**[データベース]**、**[カタログ ファイル]**を選択します。**[カタログファイル]**ダイアログの**[カタログファイルからインポート]**セクションで、**[ACDSee 顔データ]**チェックボックスをオンにします。**スタート**を押します。

LightroomまたはPicasaから埋め込み顔データをインポートするには:

1. 管理モードで、別のアプリケーションに顔データを埋め込んだ画像を選択します。
2. **[AI]**、**[AI顔検出]**の順に選択します。**Lightroom**または**Picasa**の顔データをインポートします。
3. 既存の顔データを上書きして、別のプログラムの顔データをファイルに追加するかどうかを尋ねる警告ダイアログがポップアップ表示されます。それでよければ**[OK]**を選択します。
4. 顔データがインポートされ、顔データがデータベースに追加されます。

表示を変更する

ファイル一覧ペインでは、サムネイルプレビュー、ファイルの詳細など、ファイルのさまざまな表示を選択することができます。また、サムネイルの外観やサイズをカスタマイズしたり、[詳細]の表示で表示する情報を指定したりすることができます。

ファイル一覧ペインを変更するには:

管理モードで、ファイル一覧ペインの**[表示]**から次のいずれかを選択します。

表示

サムネイル+詳細	一覧にファイル名と詳細を表示し、[ファイル名]列にサムネイルプレビューが追加されます。
フィルムストリップ	ファイル一覧ペインの下部に、ファイルのサムネイルプレビューを横一列に表示します。拡大されたプレビューペインには、現在選択されている画像のプレビューが表示されます。
サムネイル	ファイル一覧ペインにあるすべての画像とメディアファイル（そして一部のドキュメント形式）のサムネイルプレビューを表示します。サムネイルの外観をカスタマイズしたり、サムネイルと一緒に表示される情報を指定することができます。
タイル	サムネイルプレビューとファイル情報が含まれる「タイル」に、ファイル一覧ペインの各ファイルを表示します。ズームスライダを使用して、タイルのサイズを変更することができます。
アイコン	一覧にあるファイルを、各ファイル形式に適用されている既定の大きなシステムアイコンで表示します。
一覧	ファイル名とファイル拡張子の一覧を表示します。
詳細	ファイル名と、サイズ、フォーマット、作成日などの各ファイルの詳細を含むリストが表示されます。下記に説明されているように、[詳細]表示モードの外観をカスタマイズしたり、表示される情報を指定することができます。
オーバーレイモードの切替	オーバーレイアイコンの非表示、グレースケールで表示、カラーで表示を切り替えます。「[J]」キーで選択します。
オーバーレイのハイライト	カラー表示するオーバーレイアイコンを選択します。「[J]」キーで切り替えます。

詳細表示をカスタマイズする

[詳細]表示モードを設定して、列を自動的にサイズ変更するようにしたり、グリッドラインを表示または非表示にしたり、行の入力項目を選択するとその行全体が選択されるようにしたりすることができます。また、[詳細]表示モードの外観を変更したり、表示する列を選択したり、列の順序をカスタマイズすることも可能です。

列の選択や列の順序の変更をするには:

1. 管理モードでファイル一覧のドロップダウンから[表示] > [詳細の選択]をクリックします。
2. [詳細の選択]ダイアログボックスで、以下のいずれかの操作を行います。
 - 列を追加するには、[利用可能な詳細]ペインにあるフォルダ名または詳細の名前を選択し[追加]をクリックします。フォルダを追加すると、そのフォルダ内にあるすべての詳細の名前が追加されます。
 - 列を削除するには、[現在表示されている詳細]ペインにあるフォルダ名または詳細の名前を選択し[削除]をクリックします。
 - 列をファイル一覧ペインの左側に移動するには、[現在表示されている詳細]ペインで該当する列の名前を選択し、[上に移動]をクリックします。
 - 列をファイル一覧ペインの右側に移動するには、[現在表示されている詳細]ペインで該当する列の名前を選択し、[下に移動]をクリックします。
3. [OK]をクリックします。



既定の列の名前のみを[現在表示されている詳細]ペインに表示するには、[リセット]をクリックします。また、ファイル一覧ペインでは、列のヘッダーをドラックして移動させることも可能です。縦線は列が挿入される場所を示します。

ファイルにフィルタを適用する

フィルタの条件オプションを使用して、[ファイル一覧]ペインに表示されるファイルの種類を設定することができます。

【ファイル一覧】ペインのフィルタを設定するには：

以下のいずれかの操作を行います：

- **【表示】**>**【フィルタ条件】**をクリックし、フィルタオプションを選択します。
- **【フィルタ】** ドロップダウンをクリックし、フィルタオプションを選択します。



サムネイルがすべて隠れてしまった場合には、**【フィルタ】** から**【すべて】**を選択すると再表示されます。

カスタムフィルタを作成するには：

1. 以下のいずれかの操作を行います：

- **【表示】**から**【フィルタ条件】**、**【高度なフィルタ】**をクリックします。
- **【フィルタ】**ドロップダウンをクリックし、**【高度なフィルタ】**を選択します。

2. **【フィルタ条件の適用】**を選択します。

3. 以下のいずれかのオプションを選択またはクリアすると、**【ファイル一覧】**ペインに選択されたファイルの種類が表示 / 非表示されます。

- **画像ファイルの表示**
- **メディアファイルの表示**
- **PDFファイルを表示する**
- **フォルダを表示**
- **アーカイブファイルの表示**
- **Officeドキュメント示する**
- **【隠しファイルとフォルダを表示する】**を選択して、オペレーティングシステムでは通常表示されないファイルやフォルダを表示します。
- **【THMファイルを表示する】**を選択して、サムネイルファイルを表示します。
- **【XMPファイルを表示する】**を選択してXMP サイドカーファイルを表示します。

4. **【OK】**をクリックします。

ファイルをグループ化する

【ファイル一覧】で膨大な量の画像を参照しなければならないといった場合には、**【グループ化】**を使用して別のグループに仕分けると、参照が楽になります。グループ化することで、特定の画像を探しやすくなります。例えば、複数のカメラを使用する場合には、画像撮影に使用したカメラの機種別に画像をまとめることができます。同様に、画像を別のファイルフォーマットで保存する場合には、フォーマット別に画像をまとめることもできます。



グループ化は、**【サムネイル】**、**【サムネイル + 詳細】**、**【詳細】**、**【タイル】**、**【アイコン】**表示でのみ利用可能です。

ファイル一覧でファイルをグループ化するには：

1. ファイルが含まれているフォルダを参照します。

2. 以下のいずれかの操作を行います。

- **【表示】**メニューから**【グループ化】**をクリックし、グループオプションを選択します。
- **【グループ】** ドロップダウンをクリックし、グループオプションを選択します。

ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには

特定グループを展開または折りたたむには:

グループヘッダーの左横にある[展開]または[折りたたみ]矢印をクリックします。

全グループを展開または折りたたむには:

[全グループの展開]または[全グループの折りたたみ]を選択します。

閉じられたグループの画像プレビューを表示するには:

グループのヘッダー上にマウスをポイントします。

複数のグループ間をスクロールするには:

[ファイル一覧] スクロールバーの下にある[次のグループ]または[前のグループ] ボタンをクリックします。

目次を表示するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [表示] メニューから[グループ化]、[目次]をクリックします。
- [グループ] ドロップダウン リストから[目次]をクリックします。
- ファイル一覧 スクロールバーの下にある[目次] ボタンをクリックします。

特定のグループに素早くジャンプするには:

1. 目次を表示します。
2. 表示したいグループをクリックします。

グループを並べ替えるには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [表示] メニューから[グループ化]をクリックし、[昇順]または[降順]を選択します。
- [グループ] ドロップダウンをクリックし、[昇順]または[降順]を選択します。

ファイル一覧からグループを削除するには

1 つのグループを削除するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [表示] メニューから[グループ化]、[なし]をクリックします。
- [グループ] ドロップダウン リストから[なし]をクリックします。

1 つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには

グループ内のファイルを選択するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- グループのヘッダーをクリックし、そのグループ内の全ファイルを選択します。
- **Ctrl** キーを押しながら、複数グループのヘッダーをクリックし、それらのグループに含まれているファイルをすべて選択します。

ファイルを並べ替える

管理モードでは、異なるファイルプロパティによってファイルを並べ替えることで、すばやく画像を管理したり、特定のファイルを検索したり、類似する属性のファイルを作成したりすることができます。

ファイル一覧の項目を並べ替えるには：

1. **[表示] > [並べ替え]** をクリックし、並べ替えオプションを選択します：
 - ファイル名
 - サイズ **(KB)**
 - 画像タイプ
 - 更新日時
 - 画像プロパティ
 - キャプション
 - 重要度
 - タグ付き
 - その他 (メタデータ、EXIF、ファイルプロパティ、画像の属性、IPTC情報またはマルチメディアの属性で並べ替え)
2. 並べ替えの方向を設定するには、**[表示] > [並べ替え]** をクリックし、次のいずれかを選択します：
 - 昇順に並べ替え
 - 降順に並べ替え



並べ替え設定は、新規の設定が選択されるまで変更されません。例えば、重要度でファイルを並べ替えた場合、他の並べ替え設定を選択するまで、重要度別にファイルが並べ替えられたままになります。

列のヘッダーでファイルを並べ替える

列のヘッダーを使用して、「詳細」表示モードのファイルをすばやく並べ替えることができます。

列のヘッダーを使用してファイルを並べ替えるには：

1. 列のヘッダーをクリックします。矢印が表示されたら、並べ替える方向を指定します。
2. 並べ替える方向を変更するには、列のヘッダーをもう一度クリックします。

ファイルのカスタム並び替え

カスタム並べ替えを使用して、ファイル一覧ペインで表示されているファイルの順序を変更することができます。**[カスタム並べ替え]** で変更されたファイルの順序は、順序が再度変更されるか、または**[カスタム並べ替え]** が削除されるまで ACDSee 究極 によって自動的に保持されます。

ファイルの並べ替え順序をカスタマイズするには：

1. 1 つ以上のファイルを選択します。
2. 選択したファイルを、ファイル一覧の新しい場所にドラッグします。



カスタム並べ替えを削除するには、**[表示] > [並べ替え]** を選択し、**[カスタム並べ替えの削除]** を選択します。

ファイルを選択する

ファイル一覧ペインでは、すべてのファイルやフォルダを一度に選択したり、現行フォルダにあるすべてのファイルを選択したり、画像ファイルのみを選択することができます。

また、選択範囲をすべてクリアにすることもできます。ファイル一覧に新しいファイルが追加される度にそれらのファイルを自動的に選択するオプションも用意されています。[ツール]メニューから、[オプション]、このオプションを設定する[ファイルリスト]をクリックします。

ファイルやフォルダを選択するには:

- ファイルを選択するにはサムネイルをクリックします。
- **Ctrl**キーを押しながらクリックして、複数のファイルを選択します。
- **Shift +** クリックで、連続した複数のファイルを選択します。



ファイル一覧ペインの端の部分をクリックすると選択を解除します。

メニューからファイルやフォルダを選択するには:

1. [管理] モードで[編集]をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **すべて選択**: 現在のフォルダ内のすべてのファイルとサブフォルダを選択します。
 - **すべてのファイルを選択**: 現在のフォルダ内のすべてのファイルを選択します。
 - **すべての画像を選択**: 現在のフォルダ内のすべての画像ファイルを選択します。
 - **タグの付いた画像を選択**: フォルダの場所に関係なく、タグの付いたすべての画像を選択します。
 - **重要度で選択**: 重要度の一覧を表示し、選択した重要度が付いているすべてのファイルを選択します。
 - **選択のクリア**: 現在の選択を解除します。
 - **選択範囲の反転**: 初めに選択した範囲以外のすべてのファイルを選択します。

画像をプレビュー表示する

プレビューペインでは、画像、オーディオ、ビデオファイルのプレビューを表示することができます。デフォルト設定では、プレビューペインには画像のEXIF情報の主要な部分が表示されます。プレビューペインで現在選択されている画像またはメディアファイルのサムネイルを表示するよう設定することができます。プレビューペインのサイズを変更してサムネイルのサイズを調整したり、画面のお好きな位置にペインを移動することができます。

プレビューペインを使って、選択した画像のヒストグラムを表示することも可能です。

プレビューペインを開くまたは閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [ペイン]から[プレビュー]をクリックします。
- **CTRL + Shift + P**を押します。

プレビューペインに表示する情報を選択するには:

画像を表示している時にプレビューペインに表示されているオプションをカスタマイズできます。(画像を表示するには、[ツール]>[オプション]>[プレビュー]の順に移動し、[画像の表示]チェックボックスをオンにします。)[プレビュー]ペインで画像を右クリックし、[画像と情報]を選択して、次のいずれかを選択します。

- **画像の表示**: 画像のプレビューのみを表示します。
- **情報の表示**: 画像のEXIF情報を表示します。これは情報パレットと呼ばれます。

- **ヒストグラムの表示:** 画像のヒストグラムを表示します。

情報パレット

情報パレットは、ACDSeeの左下にある、画像の EXIF情報の最も有用な要素に素早くアクセスすることができます。含まれる情報:

- カメラ名とレンズ モデル
- 寸法
- ファイル サイズ
- 露出プログラム
- ホワイトバランス
- 測光モード
- フラッシュ
- RAW (RAWでないファイルの場合はブランク)
- ISO
- 絞り値
- シャッター速度
- 露出補正
- 焦点距離



アイコンの意味がわからない場合は、その上にマウス ポインタを移動すると説明がポップアップ表示されます。

プレビュー情報をカスタマイズするには:

プレビュー ペインの情報パレットの下に表示する情報をカスタマイズすることができます。既定では、画像の撮影日時が表示されます。

1. プレビュー ペインの情報パネルの下に表示されている日時を右クリックします。
2. **[プレビュー情報を選択...]**をクリックします
3. **[詳細の選択]**ダイアログ ボックスで、**[現在表示されている詳細]**の下に表示されている項目を選択して**[削除]**ボタンをクリックします。
4. **[選択可能な詳細]**から項目にチェックを入れて選択し、**[追加]**ボタンをクリックします。
5. **[OK]**をクリックします。

オーディオまたは動画 ファイルをプレビューするには:

1. **[ツール]>[オプション]>[プレビュー]**をクリックします。
2. **[オーディオおよびビデオクリップのプレビュー]**チェックボックスを選択します。
3. **[OK]**をクリックします。



情報パレットは表示モード、現像モードおよび編集モードでも表示されます。**[情報パレット]**をオフにするには、**[ペインメニュー]**の**[情報パレット]**の選択を解除します。

画像を回転する

管理および表示モードのツールバーにある**[回転]**アイコンを使用して、画像を回転することができます。



未処理のJPEG画像を回転するには、ACDSee 究極 は可逆圧縮の回転を実行しますので、情報を失うことはありません。

画像を回転するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、1 つ以上のファイルを選択します。
2. スクリーン下にあるツールバーの **[左に回転]** または **[右に回転]** ボタンをクリックします。

回転 アイコン



左に回転

画像を左に 90 度回転します。



右に回転

画像を右に 90 度回転します。

画像を比較する

「画像の比較」機能を使用して、複数の画像を比較することができます。選択した画像のプロパティ、メタデータ、ピクセルの強度レベルを比較して、類似する点と異なる点の両方をハイライトします。好きな方の画像をハードディスク上の新しい場所に保存したり、管理モードで画像にタグを付けて、後で削除、移動、名前の変更、編集を行ったりすることができます。

画像を比較するには:

1. ファイル一覧 ペインから、比較する複数の画像を選択します。
2. **[ツール]>[画像の比較]** をクリックします。**[画像比較ビューア]** には最大 4 画像まで表示することができます。
3. 表示する画像を変更するには、次の 1 つ以上を実行します。
 - 比較リストの画像を右クリックし、**[アクティブビューへ送信]** をクリックします(選択された画像は淡い色のボックスで表示されます)。
 - 比較一覧から、**[画像比較ビューア]** のボックスに画像を直接ドラッグします。
 - **[画像比較ビューア]** で画像を右クリックし、**[次の画像]** または **[前の画像]** を選択します。
 - **[画像比較ビューア]** で画像を右クリックし、**[ファイル]>[ビューアから削除]** を選択するか、画像ツールバーから **[削除]** アイコンをクリックします。
4. タグを追加するには、次のいずれかを実行します:
 - 比較リストで、右側にある画像の下にあるチェックボックスをチェックします。
 - **[画像比較ビューア]** で、画像を右クリックし、**[タグ]** を選択するか、画像ツールバーにある **[タグ]** アイコンをクリックします。
 - 左手下にある **[すべてをタグ]** をクリックして全画像にタグを追加するか、**[すべてのタグを解除]** をクリックして**全画像からタグ**を解除します。
5. 画像に重要度を設定するには、画像を右クリックし、**[重要度の設定]** をクリックしてから、その画像に適切な重要度を選択します。
6. 画像にカテゴリを設定するには、画像を右クリックし、**[カテゴリの設定]** をクリックしてから、その画像に適切なカテゴリを選択するか、必要に応じてカテゴリを作成します。
7. 右下隅にある **OK** をクリックします。

画像の比較 ツールバー

	前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
	次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
	拡大	選択された画像を拡大します。
	縮小	選択された画像を縮小します。
	ズーム メニュー	ズーム オプションのメニューを開きます。次のオプションから選択してください。 • 実寸表示: オリジナルのサイズで画像を表示します。 • 画面に合わせて表示: 画像比較ビューアに収まる最大サイズで画像を表示します。 • 幅に合わせて表示: 画像比較ビューアの幅に合わせて画像を表示します。 • 高さに合わせて表示: 画像比較ビューアの高さに合わせて画像を表示します。 • ズーム固定: 現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用して表示します。ズームが調整されると、表示されるすべての画像にそのズーム レベルが適用されます。 • 倍率指定: ズーム オプションを選択することができるダイアログ ボックスが開かれます。
	パンの固定	画像を特定の領域にズーム / パンする際、画像比較ビューアですべての画像の同一領域を表示するように、画像のパンした領域を固定します。
	露出警告を表示する	ピクセルが露出 オーバーまたはアンダーである領域を示します。
	プロパティ	画像比較ビューアに各画像のプロパティを表示します。[メタデータの設定] ボタンをクリックして、表示させるプロパティを指定します。 画像の比較ツールは、各画像の下に指定されたプロパティを表示します。異なるプロパティの値は太字で表示されます。近い値のプロパティは通常のフォントで表示されます。
	ヒストグラム	画像比較ビューアに画像のヒストグラムを表示します。
	メタデータの設定	ダイアログ ボックスを開き、画像比較ビューアに表示する画像のメタデータを選択します (プロパティ  が オンになっていることを確認してください)。
	1 画像	画像比較ビューアに 1 つの画像を表示します。
	2 画像	画像比較ビューアに 2 つの画像を表示します。
	3 画像	画像比較ビューアに 3 つの画像を表示します。

	4 画像	画像比較ビューアに 4 つの画像を表示します。
	プロパティ ペイン	1 画像が表示されている場合は、プロパティ、ヒストグラム、虫めがね、ナビゲータペインを開きます。
	ヘルプ	ヘルプ ファイルを開きます。

画像 ツールバー

画像の比較ツールに表示される各画像の下には、ツールバーが設定されています。このツールバーを使用して、各画像を調整することができます。

	保存	新規のファイル名、異なるファイル フォーマットで保存 することができるダイアログが登場します。
	前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
	次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
	拡大	画像を拡大します。
	縮小	画像を縮小します。
	削除します	ハードドライブから画像を削除します。
	削除	比較リストから画像を削除します。
	タグ	画像にタグを付けると、画像の比較ツールを閉じて、画像が選択された状態になります。

画像 バスケットに画像を集める

画像バスケットを使うと、さまざまな場所やフォルダにある画像やメディアファイルを集めて維持することができます。画像バスケットにアイテムを入れると、ACDSee 究極 のツールや機能を使ってファイルを編集、共有、表示できるようになります。最大 5 つの画像バスケットを作成し、同時に使用することができます。

画像バスケットを開くには:

管理モードで、[ペイン]>[画像バスケット]>[新しい画像バスケット]をクリックするか、[Ctrl + Shift + 9]を押します。この手順を繰り返すことで、最大 5 つの画像バスケットを開くことができます。

イメージバスケットにファイルを追加するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [ファイル一覧] ペインで追加したいファイルを選択します。アイテムを画像バスケットにドラッグします。
- [ファイル一覧] ペインで、選択したファイルを右クリックし、コンテキストメニューから[画像バスケットに追加]を選択します。この方法は、表示モードでも使用できます。
- [ファイル一覧] ペインで、追加したいファイルを選択し、**Ctrl + B**を押します。この方法は、表示モードでも使用できます。



最後に操作した画像バスケットは、「アクティブな」バスケットと見なされます。これは、バスケット名の横に星印で示されます。アクティブなバスケットは、管理モードまたは表示モードでコンテキストメニューまたはキーボードショートカットを使用するときに画像が追加されるバスケットです。



Windows エクスプローラから画像をドラッグして画像バスケットに追加することもできます。

画像バスケットからファイルを削除するには:

画像バスケットで、ファイルを右クリックし、[画像バスケットから削除]を選択するか、**Alt + X**を押します。

すべてのファイルを削除するには、バスケットを右クリックして[バスケットを空にする]を選択します。

画像バスケットの名前を変更するには:

画像バスケットで、右クリックしてコンテキストメニューから[画像バスケットの名前を変更]を選択します。[画像バスケットの名前を変更]ダイアログで、フィールドに名前を入力し、[OK]を押します。

画像バスケットを削除するには:

画像バスケットで、右クリックしてコンテキストメニューから[画像バスケットを削除]を選択するか、**Ctrl + Shift + -**を押します。画像バスケットを削除しても、その中の画像は削除されません。

[管理]モードで[現像設定]を表示する

現像設定 ペインを使用すると、現像モードで自分の画像に加えられた調整を表示できます。



画像を現像しないと、現像設定 ペインには値が一切表示されません。

現像設定ペインを開くには:

管理モードで、[ペイン]、[現像設定]をクリックします。

[現像設定]を表示するには:

1. 現像済みオーバーレイアイコンが付いている画像を選択します。
2. [現像設定]ペインでグループを展開し、各調整値を表示します。



現像調整内容のコピーと貼り付け

現像モードで実行した調整内容をコピーして、現像設定 ペインの他の画像に貼り付けることができます。

[現像設定]をコピーして他の画像に貼り付けるには:

1. 画像を選択します。
2. 現像設定 ペインで、[コピー]ボタンを押します。
3. 調整内容を貼り付ける画像を選択します。
4. [貼り付け]ボタンを押します。

画像を復元する

[復元]ボタンを押すと、画像を元の状態に復元することもできます。

画像を元の状態に戻すには、以下の手順を実行します：

1. 画像を選択します。
2. [現像設定]ペインで、[復元]ボタンを押します。

ACDSee アクティビティマネージャーを使用する

ACDSee アクティビティマネージャーを使用すると、以下のようなバックグラウンドアクティビティを監視および管理できます：

キュー内のアクティビティ

- インポート
- エクスポート
- リサイズ
- ファイル形式の変換
- 現像設定の適用

 アクティビティマネージャーを使用して実行される機能は、メニュー内で横に **+** が表示されます。

アイドルアクティビティ

- AIキーワード
- 顔検出
- RAW 画像プレビュー

アクティビティマネージャーを開く

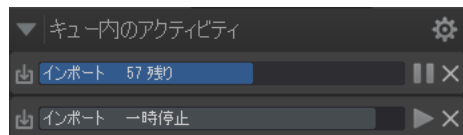
アクティビティマネージャーを開くには、**管理モード**で以下のいずれかの操作を行います：

- ペイン | アクティビティマネージャーをクリックします。
- ステータスバーの **アクティビティマネージャー** アイコンをクリックします。

キュー内のアクティビティ

インポートやその他の実行中のアクティビティは、**アクティビティマネージャー**の **キュー内のアクティビティ** セクションで確認できます。

アクティビティがキューに入ると、すぐに開始されるか、すでに進行中のアクティビティがある場合は **待機中** の状態で開始される場合があります。バーは **アクティビティ**の進行状況を表し、数字はスキャンする残りの画像数を表します。



現在実行中の **アクティビティ**は、**一時停止** ボタンをクリックして一時停止できます。

現在一時停止中の **アクティビティ**は、**再生** ボタンをクリックして再開できます。

実行中または一時停止中の **アクティビティ**は、**閉じる**  ボタンをクリックしていつでもキャンセルできます。

アクティビティを一時停止すると、すべてのキュー内のアクティビティを一時停止 が選択されていない限り、次の キュー内のアクティビティ がすぐに開始されます。



複数の キュー内のアクティビティを同時に実行でき、最大6つまで可能です。同時に実行できる数は CPU に依存します。

キュー内のアクティビティの **再生** ボタンをクリックすると、実行中の1つ以上の **アクティビティ**が一時停止し、クリックされた **アクティビティ**がリストの一番上にジャンプしてすぐに開始されます。

完了した **アクティビティ**は **履歴** セクションに表示され、各 **アクティビティ**によって完了したファイルのリストを表示できます。詳細については、[履歴](#) を参照してください。

キュー内の**アクティビティ**で利用可能なオプションのリストを表示するには、キュー内の**アクティビティ**の右側にある歯車ボタン  をクリックします。[キュー内のアクティビティオプション](#) を参照してください。

現在実行中の**アクティビティ**は、常に **キュー内のアクティビティ**リストの一番上に表示されます。これらの**アクティビティ**が完了して **履歴** に移動すると、次の **キュー内のアクティビティ**がリストの一番上に移動して開始されます。一時停止中の **アクティビティ**は、**キュー内のアクティビティ**内でドラッグアンドドロップして処理順序を並べ替えることができます。



一時停止中の**アクティビティ**を、現在実行中の **アクティビティ**より上にドラッグすることはできません。

競合やデータの損失を防ぐ

アクティビティはバックグラウンドで実行されるため、ACDSee 究極 は複数の**アクティビティ**が同じファイルにアクセスする際のファイルの競合を防ぐために特定の方法を使用します。

- 画像が**アクティビティ**のキューに入っている状態で、その画像を **編集** または **現像** モードに移行させると、その画像はキュー内の**アクティビティ**によってスキップされます。
- 同じファイルを変更する複数の**アクティビティ**を同時に実行することはできません。
- 新しいファイルを作成する**アクティビティ**は、同じフォルダに対する他の**アクティビティ**と並行して実行することはできません。
- **管理**、**表示**、または **メディア** モードでファイルを読み書きするコマンドは、そのコマンドが完了するまで**アクティビティ**を一時停止させます。一時停止された**アクティビティ**はその後自動的に再開します。
- ACDSee 究極 を再起動するオプションやコマンド(レイアウトのリセットなど)は、**アクティビティ**の実行中はブロックされます。
- データベースおよびライセンスのコマンドを実行するには、ACDSee 究極 が再起動する前に**アクティビティ**をキャンセルする必要があります。

通知

アクティビティがキューに入れられたときや完了したとき、**アクティビティマネージャー**の通知が画面の右下に表示されます。

- **表示** をクリックすると、**アクティビティマネージャー** が開きます。
- **参照** をクリックすると、**アクティビティ**の出力ファイルが含まれるフォルダが新しいタブで開きます。
- ミュートする通知をカスタマイズするには、**ツール | オプション... | アクティビティマネージャー** に移動します。
- 各通知には **X** の隣に **その他のオプション ...** メニューがあり、通知から直接通知設定を調整できます。
- 通知には**アクティビティ**のステータスが表示されます。**アクティビティステータス**の詳細については、[履歴](#) を参照してください。

通知ステータス

通知ステータスには4つの可能性があります：

- **完了**：**アクティビティ**が正常に完了した場合、通知には **完了** と表示されます。
- **エラーありで完了**：**アクティビティ**は完了したが、いずれかのファイルにエラーがある場合、通知には **エラーありで完了** と表示されます。

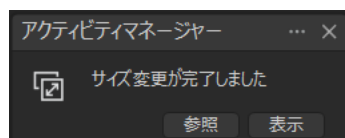
❗ アクティビティでエラーが発生した場合、ファイルに警告が出たりスキップされたりしたとしても、通知には常にエラーが表示されます。

- **スキップされたファイルありで完了**：アクティビティは完了したが、1つ以上のファイルがスキップされた場合、通知には **スキップされたファイルありで完了** と表示されます。

❗ ファイルがアクティビティによってスキップされ、エラーが発生していない場合、通知には常にスキップされたと表示されます。

- **警告ありで完了**：アクティビティは完了したが、いずれかのファイルに警告がある場合、通知には **警告ありで完了** と表示されます。

エラー、スキップされたファイル、または警告を伴ってアクティビティが完了した場合、通知に **注意アイコン**  が表示されます。



アイドルアクティビティ

アセットが **AI** キーワード、**AI** 顔検出、または **RAW** 画像プレビューの生成のためにスキャンされている間、その進行状況は **アクティビティマネージャー** の **アイドルアクティビティ** セクションで確認できます。ここでは、現在のステータス、完了までの残りアセット数を確認でき、右側のスイッチで各ツールを素早く無効にすることができます。



RAW 画像プレビューは、高速表示のために **RAW** 画像を現像した後に自動的に作成されます。**RAW** 画像プレビューを無効にすることはできません。

アイドルアクティビティの状態：

アイドルアクティビティには、次の4つの状態のいずれかがあります：

待機中： 	待機中 の状態では、キューにファイルが追加されると残りのアセット数が増加します。これは、ファイルの閲覧、カタログ化、またはインポート中に発生します。
スキャン中： 	スキャン中 の状態では、ツールは積極的に AI キーワードまたは 顔を検出しており、ファイルが完了するにつれて残りの数が減少します。
無効： 	無効 の状態では、ツールは手動で停止されており、再度オンにするまで実行されません。
完了： 	完了 の状態では、ツールはキュー内のファイルの処理を終了しています。

アイドルアクティビティ で利用可能なオプションのリストを表示するには、**アクティビティマネージャー** の **アイドルアクティビティ** の右側にある歯車ボタン  をクリックします。[アイドルアクティビティオプション](#) を参照してください。

履歴

キュー内のアクティビティが完了した場合、または **高度な検索** が実行された場合、それらは **アクティビティマネージャー** の **履歴** セクションに表示されます。

実行された **高度な検索** については、**履歴** 内のエントリをクリックすると、条件がプリロードされた状態で **高度な検索** ペインが開きます。



究極 が終了すると、履歴セクションは自動的にクリアされます。

完了した **キュー内** のアクティビティについては、**詳細表示** ボタン  をクリックして、完了した各 **アクティビティ** のアセットの包括的なリストを表示できます。

各履歴エントリの **詳細表示** には、以下のフィールドが表示されます：

- **ステータス**：ステータスには、成功、エラー、警告、スキップの4つの状態があります。
 - **成功**：アクションは正常に完了しました。
 - **エラー**：アクションは完了しましたが、エラーのため1つ以上のファイルが作成/変更されませんでした。
 - **スキップ**：アクションは完了しましたが、他で使用中であるなどの理由で1つ以上のファイルがスキップされました。
 - **警告**：アクションは完了しましたが、1つ以上のファイルに警告が発行されました。



エラーまたはファイルスキップを伴って完了したアクティビティは、履歴に **注意アイコン**  が表示されます。

- **ファイル名**：ソースファイルのファイル名を表示します。
- **詳細**：アクションの結果を表示します。
- **ソース**：変更されたファイルのソース場所を表示します。
- **保存先**：変更されたファイルの保存先を表示します。

エクスポートおよび現像設定の適用では、**詳細表示** にいくつかの異なるフィールドが含まれます：

- **エクスポート**： **ファイル名** と **詳細** の間に追加の **プリセット** フィールドが含まれます。複数のエクスポートプリセットが使用された場合、各出力ファイルに使用されたプリセットが表示されます。
- **現像設定の適用**：保存先は常にソースファイルであるため、**保存先** フィールドは含まれません。

履歴のクリア

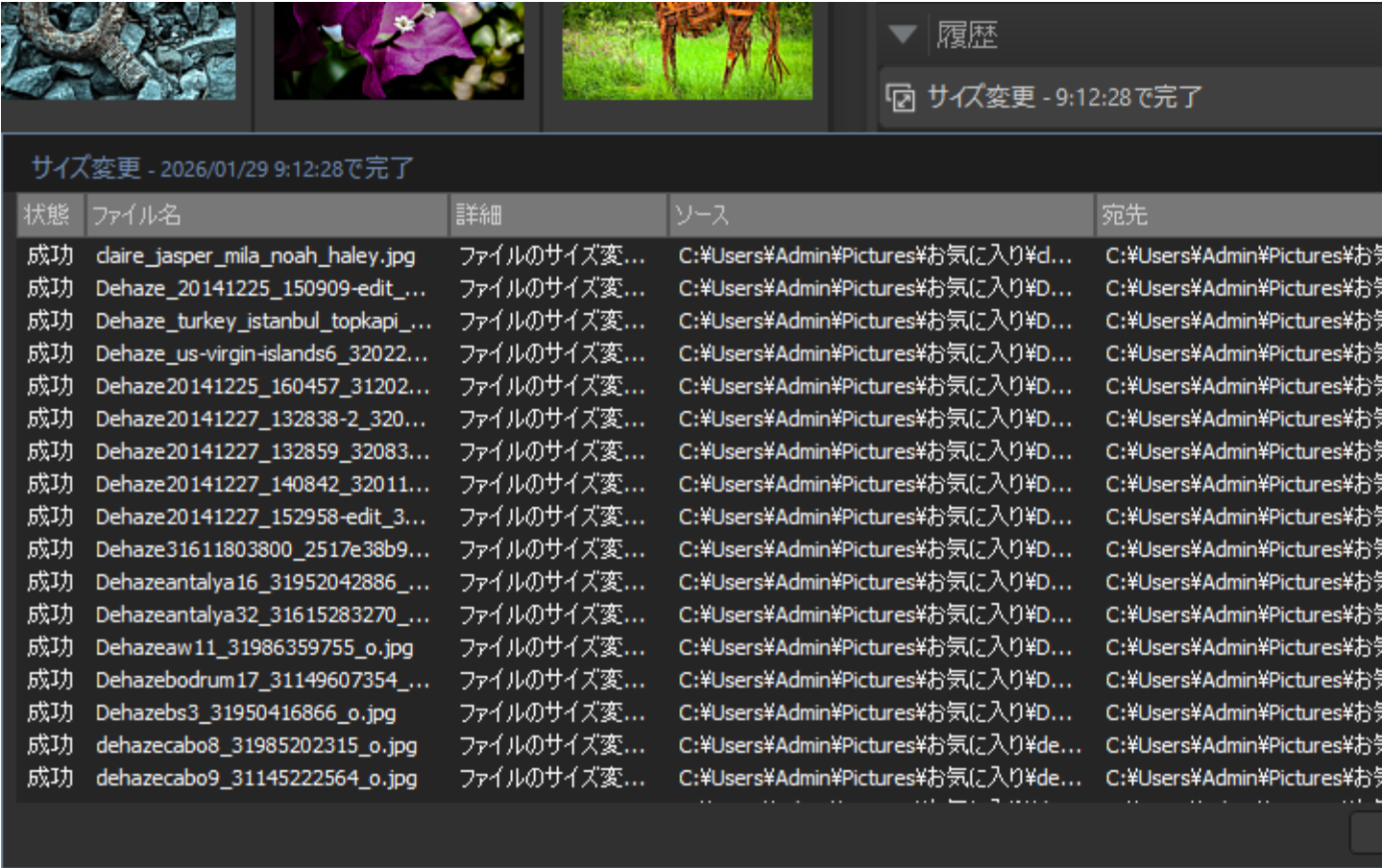
履歴内の項目は、個別に、または一度にすべてクリアできます。

項目を1つずつクリアするには：

履歴内の項目の右側にある **閉じる**  をクリックします。

履歴全体を一度にクリアするには：

履歴の右側にある **アクティビティ履歴をクリア**  ボタンをクリックします。



アクティビティマネージャーオプション:

キュー内 および アイドルアクティビティの右側にある歯車アイコンをクリックすると、利用可能なオプションのリストが表示されます:

キュー内のアクティビティオプション:

キュー内のすべてのアクティビティを一時停止/再開

キュー内のすべてのアクティビティを一時停止 または再開します。

キュー内のすべてのアクティビティをクリア

アクティブまたは一時停止中のすべてのアクティビティを **キュー内のアクティビティ** からクリアします。

キュー内のすべてのアクティビティを一時停止

キュー内のすべてのアクティビティを一時停止すると、**キュー内のすべてのアクティビティを再開** が有効になるまで、各アクティビティの **再生** ボタンが無効になります。

アイドルアクティビティオプション:

AIキーワードと顔検出を無効化/有効化	クリックして AIキーワードおよび顔検出 ツールを無効または有効にします。AIキーワードおよび AI顔検出 は、スイッチをオン  からオフ 、またはその逆にクリックすることでも手動で無効または有効にできます。
AIキーワードキューをクリア	AIキーワードキューからすべての項目を削除します。
AI顔検出キューをクリア	AI顔検出キューからすべての項目を削除します。
AIキーワードと顔検出キューをクリア	AIキーワードおよび顔検出 キューからすべての項目を削除します。

ACDSee 究極でのファイルのカatalog化・管理

閲覧、表示、編集の機能に加え、ACDSee 究極 には画像やメディア ファイルを整理して並べ替えるのに便利な統合管理 ツールが搭載されています。この統合管理 ツールには、一括処理機能(複数のファイルを同時に変更したり調整したりできるツール)、カテゴリや重要度のシステム、大切な画像情報を保有する強力なデータベースなどがあります。

ACDSee 究極 の一括処理機能を使い、エクスポート、名前の変更、サイズ変更、回転、EXIF情報の追加、露出調整を、1つの画像、画像グループ、フォルダ内のすべてのファイルに対してすべて一度に実行することができます。カテゴリ、カラーラベル、重要度のシステムにより、仮想のフォルダ構造を作成して、ワンクリックで関連した画像やメディアを表示することができます。

ACDSee 究極 では、ファイルのプロパティ、画像情報をアクセスしやすいプロパティペインに表示します。ACDSee メタデータなどのファイル情報を直接追加、編集することができます。また、作成者、説明、メモ、キーワードのファイルへの追加や、カテゴリや重要度の割り当ての調整を同時に実行することができます。

カatalogペインで整理する

[カatalog] ウィンドウは、ファイルを整理、管理、検索するためのツールが多数用意されているため、管理モードで最も便利なウィンドウの1つです。ファイルを [カatalog] ウィンドウのカテゴリ、評価、キーワード、またはカラー ラベルにドラッグしてファイルを割り当て、すばやく整理できます。[自動カテゴリ] セクションを使用すると、ファイル サイズ、キーワード、シャッター スピードなどの特定の情報を持つファイルを検索できます。[保存された検索] セクションでは、カスタム検索を作成して実行できます。[イメージ ウェル] などの特別な項目を使用すると、ワンクリックでコンピュータ上のすべての画像が表示されます。また、[未分類] をクリックしてまだカテゴリに属していない画像のみを表示することもできます。

カatalog ペインを開くには:

管理モードで、[ペイン] | [カatalog] をクリックします。カatalog。

カatalog ペインが左側に開き、[フォルダー] ペインと[カレンダー] ペインのタブが表示されます。

カテゴリ

カテゴリを使用すると、ファイルを内容と関連したセクションに簡単に整理することができます。ファイルにカテゴリを適用しても、そのファイルがフォルダから移動されたり、コピーが作成されることはありません。カテゴリはユーザーの希望にあわせてシンプルあるいは複雑に設定することができ、カテゴリの名前もユーザーが指定することができます。ユーザーが一目見ただけでわかるように、異なる種類のアイコンが用意されています。ファイルがカテゴリに割り当てられると、カテゴリ別に検索、並べ替え、グループ化ができるようになります。

ファイルをカテゴリに適用する方法の1つに、ファイル一覧からファイルを選択し、希望するカテゴリ上に直接ドロップする方法があります。色付きのアイコンを選択して、カテゴリを識別して、**J** キーを使って利用できるアイコンを選ぶこともできます。ファイルには複数のカテゴリを適用できますが、アイコンは1つのみとなります。包括的なカテゴリ管理を行うには、[プロパティペインの\[整理\]タブを使用します](#)。

人物

カタログ ペインの[人物]グループには、[表示 モードの顔検出](#) ペインで割り当てた人物の名前が表示されます。顔検出で識別されている場合は、名前を選択して、その人物が写っているすべての写真を表示できます。顔検索 オプションを設定すると、[人物]グループの右上隅にある設定 メニュー (ギアアイコン) を使用して、割り当てられた名前、推奨 ネーム、またはその両方を表示 するかどうかを設定 できます。

顔に名前を割り当てるには、[人物モード](#)を使用します。

キーワード

キーワードを使用して、ファイルを階層 に編成できます。[\[プロパティ\]ペインの\[整理\]タブ](#)で、階層 キーワードを作成して割り当てる ことができます。キーワードは、ドラッグアンドドロップを使用して、[画像にすばやく追加](#)できます。また、キーワードを右 クリックを使用して、コンテキストメニューで管理 することもできます。

AI キーワード

ここで、検出されたすべての [AIキーワード](#)を検索 できます。AIキーワードは、トップレベルのキーワードとサブキーワードの階層 に分類 されます。たとえば、キーワード **Tree** は **Nature** のサブキーワードです。AIキーワードを選択 すると、選択したキーワードが検出 されたすべての画像がすくに表示 されます。

重要度

画像やファイルに **1** から **5** までの重要度を適用 することができます。重要度を適用 すると、重要度に基づいて検索、並べ替え、管理 ができるだけでなく、重要度やカテゴリ、自動 カテゴリと組み合わせてこれらの作業を行 うこともできます。ファイルに複数の重要度を適用 することはできませんのでご注意ください。重要度が適用 されているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にその数字が表示 されます。重要度は、[カテゴリと重要度の割り当てと検索](#)で管理 できます。

カラーラベル

カラーラベルと使 ってファイルをカタログ化 することができます。ワークフローの異なるステージを異なる色で表示 することができます。写真 またはドキュメントを確認 する際に[カラーラベルを割り当て](#)て、それに従って名前を変更 することができます。

自動 カテゴリ

ほとんどのデジタルカメラは、写真撮影時に、そのファイルに関する情報を作成し埋め込みます。この情報はメタデータと呼ばれ、カメラ名や機種、ファイルのサイズ、シャッター速度、撮影時のカメラ設定などがあります。ACDSee 究極はこの情報を使用して、自動 カテゴリを作成します。[自動 カテゴリを使用して検索](#)して、メタデータを持つ画像を見つけることができます。例えば特定のサイズの写真、特定のカメラで撮影した写真など、単一 または複数の自動 カテゴリを選択 してファイルを探 することができます。また、プロパティペインでメタデータを追加 することもできます。

保存済み検索

同じ検索条件を頻繁に使うような場合、その条件をプリセットとして保存し、後で使用すると便利です。保存済み検索は、検索ペインの上部およびカテゴリペインに表示 されます。カテゴリペインでは、名前をシングルクリックする、あるいはイーजीーセレクト バーの白いチェックボックスをクリックするだけで使用可能です。

カタログ ペインで保存済み検索を新規作成するには:

1. カatalog ペインの [保存済み検索]領域にある **[新規の保存済み検索]**アイコンをクリックします。
[検索] ペインが開かれます。
2. 検索条件を入力したら**[保存済み検索]** アイコンをクリックします。

カタログ ペインの [保存済み検索] と、検索 ペインの [保存済み検索] ドロップダウン リストに新規の保存済み検索が表示されます。



保存された情報が不足している検索プリセットは、**検索テンプレート**としてカタログペインに*を付けて表示されます。**検索テンプレート**は、情報が不足しているため結果を返すことはできません。代わりに、アドバンスドサーチペインで不足している情報を追加することができます。例えば、**レーティング 5**に常に画像を検索したいが、毎回異なるキーワードで検索したい場合、レーティングの条件が設定され、キーワードの条件が毎回入力されるように保存された**検索テンプレート**を作成できます。

スペシャルアイテム

スペシャル アイテムを使用して、データベース内の全画像、未分類の画像を素早く表示することができます。次のいずれかを選択します。

- **イメージ ウェル:** ACDSee 究極データベースにカタログ化されているすべての画像を表示します。画像コレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。
- **動画:** ACDSee 究極データベースにカタログ化されているすべての動画を表示します。ACDSeeでサポートされているすべての動画フォーマットが結果に表示されます。ファイルコレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。
- **埋め込み保留中:** データベースのデータが変更され、まだファイルに情報が埋め込まれていないすべてのファイルが表示されます。
- **未分類:** データベース内にカタログ化された画像で、カテゴリに分類されていないものが表示されます。
- **キーワードなし:** データベース内にカタログ化された画像で、ACDSeeキーワードが割り当てられていないものを表示します。
- **名前のない顔:** 顔が1つ以上検出されていても名前が付けられていないすべての写真を表示します。
- **顔の自動名前付け:** ACDSee が顔認識を使用して自動的に名前を付けた1つ以上の顔を含むすべての写真を表示します。



自動ネーミング機能は、**自動ネーミング**オプションが有効になっている場合のみ使用できます。

- **推奨ネーム:** すべての写真に推奨ネームが表示されます。このアイテムを使用して、画像コレクション全体の候補をすばやく確認または拒否することができます。
- **タグ:** ファイルコレクション内のタグが付けられている全ての画像が表示されます。

データベースとACDSee 究極 埋め込まれたデータ

ファイルの評価またはカテゴリに割り当てると、この情報は ACDSee 究極データベースに保存されます。必要に応じて、この情報を個々のファイルに埋め込んで、ファイルの再配置や共有を簡単にしたり、必要に応じてファイルから情報を取得したりすることもできます。データベースでは、情報は常に特定のファイルに関連付けられています。ACDSee 究極 (Windows エクスプローラーなどの) 以外のアプリケーションを使用してファイルを移動または名前変更すると、ファイルとACDSee 究極データベース間のリンクが切断されます。これが発生し、各ファイルに情報を埋め込んだ場合は、データベースを再構築してすべての情報を取得できます。

プロパティペインを使用して、キャプションやキーワードなどを ACDSee 究極 データベースに追加することも可能です。時間をかけてカテゴリやキーワード、注記などを適用すると、ファイルの検索や整理が楽になります。[プロパティペインを使った整理](#) の方法について学びましょう。



ACDSee は XMP を使用して、各ファイルに ACDSee メタデータを埋め込みます。XMP をサポートするファイル形式やファイル拡張子は一部のみです。これらには、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD、TIF、AVIF、および JPEG-XL が含まれます。これらのファイル形式の場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれているため、ACDSee 以外の場所でファイル名の変更や移動を行っても、ACDSee メタデータを保持することができます。RAW や ABR など、現在 XMP をサポートしていない形式の場合、ACDSee メタデータは元のファイルと同じフォルダに保存される「サイドカーファイル」に書き込まれます。サイドカーファイルはファイル本体とは別のファイルであるため、名前の変更や移動を行う際は常にセットで行う必要があります。そうしない場合、ACDSee メタデータが永久に失われる恐れがあります。

イージーセレクトバー

イージーセレクトバーは、フォルダペインおよびカタログペインの左側にある縦列のバーです。これらはこのようになります：。イージーセレクトバーを使用して複数のフォルダやカテゴリを選択し、ファイル一覧ペインにそれらの内容を表示することができます。カタログペインでイージーセレクトバーを使用して、カテゴリ、重要度、自動カテゴリ、保存済み検索、スペシャルアイテムの組み合わせを選択することも可能です。例えば、重要度 1 の付けられている画像で [人物] カテゴリが適用されているすべての画像など、ユーザーの希望する組み合わせで表示することができます。

また、イージーセレクトバーをブラウズ検索ペインで使用することも可能です([表示]から[ブラウズ検索])。

完全一致/部分一致 ボタンとイージーセレクトを合わせて使用すれば、カタログペインは特定条件でファイルを探すことができるパワフルな検索ツールとなります。

イージーセレクトバーを適用するには:

フォルダペインまたはカタログペインで、表示したい各項目の左にあるインジケータを選択します。インジケータは、選択した項目の方に方向が変わります。



カテゴリや重要度、またそれらのコンビネーションを選択し、条件に一致するファイルがない場合、空白のサムネイルと共にファイル一覧にメッセージが表示されます。ファイルを含んだフォルダに素早く戻るには、[戻る] をクリックします。

カタログ化されたファイルを表示するには:

1 つ以上のカテゴリ、重要度、自動カテゴリ、保存済み検索またはスペシャルアイテムを選択します。その分類に割り当てられたファイルは、ファイル一覧ペインに表示されます。

ファイル一覧の上部にあるコンテンツバーに、現在選択されているカテゴリやアイテムが表示されます。ブラウズ検索ペインを使用し、特定のフォルダ内にある特定のカテゴリ、重要度またはアイテムに絞り込んでブラウズすることができます。

完全一致/部分一致

カタログペインには、完全一致/部分一致 ドロップダウン リストが 2 つ備えられています。ペインの上部にあるリストはカテゴリ用、中部にあるリストは保存済み検索用です。完全一致/部分一致 オプションを使用すると、ファイル一覧に表示されるサムネイルが次のように絞り込まれます:

- **完全一致:** 選択されたカテゴリまたは検索のすべてに一致する画像のみが表示されます。カテゴリまたは検索の両方またはすべてと一致するファイルが、ファイル一覧に表示されます。完全一致はより排他的です。完全一致を使用すれば、表示されるファイルの数を減らし、検索結果をより限定的な条件で絞ることができます。
- **部分一致:** 選択されたカテゴリまたは検索のいずれかに一致する画像が表示されます。ファイル一覧には、選択されたカテゴリまたは検索のいずれかに当てはまるファイルが表示されます。部分一致はより包括的です。

カタログ アイコン

	カテゴリ	カテゴリに割り当てられているファイルを識別します。
	重要度 1 ~ 5	ファイルの重要度を表示します。
	新規の保存済み検索	保存済み検索を新規作成することが可能な検索ペインが開かれます。
	イージーセレクト インジケータ (選択済み)	カテゴリ、重要度、自動カテゴリまたはその他のアイテムを選択し、ファイル一覧ペインに表示します。
	イージーセレクト インジケータ (選択解除)	カテゴリ、重要度、自動カテゴリまたはその他のアイテムの選択を解除します。ファイル一覧ペインには表示されません。
	部分一致/完全一致	ファイル一覧ペインに表示される画像をコントロールします。



カタログ ペインでアイコンを非表示にするには、[ツール] > [オプション] をクリックし、[カタログ] を選択します。[オプション] ダイアログボックスで、[アイコンを表示 する] チェックボックスをオフにします。

カテゴリを作成する

プロパティペインのカテゴリタブでカテゴリを作成、管理することができます。ご自身の用途にあったカテゴリを簡単にカスタマイズすることができます。

プロパティペイン のカテゴリタブを選択し、カテゴリの作成、名前変更、削除、移動を行うことができます。[ペイン] から [カテゴリ] を選択しても **カテゴリ** にアクセスできます。

カテゴリを作成するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - カタログ ペインで、[カテゴリ] を右クリックし、[新規 カテゴリ] を選択します。
 - 管理 モードで、[編集] > [カテゴリの設定] > [新規 カテゴリ] をクリックします。
- 次のいずれかを選択します。
 - トップ階層に新規 カテゴリを作成 する
 - 選択したカテゴリにサブ カテゴリを作成 する
- サブ カテゴリを作成した場合、ドロップダウン リストからトップ階層 (親となるカテゴリ) を選択します。(カタログ ペイン内 のカテゴリを右クリックすると、既定設定として、新規サブ カテゴリがそのカテゴリの下に追加されます。
- [名前] フィールドに新規 カテゴリ名 を入力します。
- [OK] をクリックします。



新規に上部階層のカテゴリを作成する場合、アイコンを選択するとカテゴリの識別が簡単になります。アイコンのドロップダウンは、[ACDSee オプション] ダイアログの [カタログ] サブメニューにある [アイコンを表示 する] チェックボックスがオンの場合に表示されます。管理 モードで、[ツール] | [オプション] をクリックし、[カタログ] を選択します。

カテゴリを管理 する

カテゴリを管理するには:

カタログ ペインにあるカテゴリを選択し、次のいずれかの操作を実行します:

- 名前を変更するには、カテゴリを右クリックで選択し、[編集] を選択します。
- カテゴリを削除するには、削除したいカテゴリを右クリックし、[削除] を選択します。

カタログ ペインのカテゴリグループ:

- カテゴリを別の場所に移動するには、カテゴリを新規の場所にドラッグします。

カテゴリを削除中:

ファイル・リスト・ペインの右にあるプロパティ・ペインで、以下のいずれかを行う:

- オルガン] タブで、削除したい **カテゴリ** を右クリックし、コンテキストメニューから **カテゴリを削除** を選択します。
- オルガンタブで、削除したいカテゴリの左にあるイーजीセレクトバーをクリックし、**選択したカテゴリを削除** を押します。

ファイル・リスト・ペインの左にあるカタログ・ペインで、以下のいずれかを実行する:

- 削除したい **カテゴリ** を右クリックし、コンテキストメニューから **カテゴリを削除** を選択します。

すべての未割り当てカテゴリを削除中:

アセットが割り当てられていないカテゴリは、**すべての未割り当てカテゴリを削除** オプションですばやく削除できます。S

- ツール | メタデータ | **すべての未割り当てカテゴリを削除中** をクリックします。

カテゴリのフィルタリング:

[プロパティ] ペインの **[整理]** タブ内でカテゴリをフィルタリングするには、[フィルタ カテゴリ] テキストフィールドをクリックして任意の単語を入力します。表示されるカテゴリは、入力時に動的にフィルタリングされます。

アクセスのしやすいカテゴリセットを作成する

カテゴリのリストが長かったり、対象別にカテゴリを分けたい場合などは、カテゴリセットの作成機能が便利です。

カテゴリセットを作成するには:

1. セット内に必要なカテゴリを作成します。
2. プロパティ ペインで、[クイック カテゴリ] ドロップダウン リストをクリックし、**[新規のクイック カテゴリ セット...]** を選択します。
3. [行 と列] ドロップダウン メニューから値を選択して、セットの行 と列の数をカスタマイズします。
4. 通常使用するカテゴリを入力フィールドに入力します。サブカテゴリにはパイプキーを使用します。例: 例: A|B|C
5. **[保存]** ボタンをクリックします。
6. **[OK]** をクリックします。このカテゴリはクイックカテゴリ ドロップダウンリストに表示されます。
7. 1 つ以上のファイルを選択してカテゴリセットのボタンをクリックします。そのカテゴリが選択したファイルに割り当てられます。現在選択されているファイルに割り当てられているカテゴリはボタンテキスト色が変わり、現在選択されているファイルの一部 (すべてではない) にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。



カテゴリボタン名はカテゴリツリーのカテゴリ名と一致するようにしてください。

カテゴリと重要度の割り当てと検索

ファイルを移動したり、コピーを作成することなく、画像に重要度や 1 つまたは複数のカテゴリを適用することが可能です。



[管理] モードで [プロパティ] ペインまたは [カタログ] ペインが表示されていない場合は、[ペイン] から [プロパティ]、または [ペイン] から [カタログ] を選択します。

サムネイルビューで重要度をすばやく割り当てる

重要度の数字は他のアプリケーションでお気に入りの星を付けるようなものです。気に入った写真には高い重要度を、そうでないものには低い重要度を設定するとよいでしょう。

重要度を割り当てるには:

1. サムネイル画像上にマウスポインタを移動してグレーの斜め線が入ったボックスを表示します。
2. グレーのボックスをクリックして重要度を選択します。

サムネイル上にマウスを移動してホバーアイコンから重要度を選択:

- 1.



2.



3.



キーボードショートカットを使用して重要度を設定するには **Ctrl+ 0-5** を押します。

[カタログ] ペインでカテゴリと重要度を設定する

[カタログ] ペインでは、カテゴリと重要度を適用したり、それらを元に検索することができます。

[カタログ] ペインでファイルにカテゴリと重要度を設定するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - ・ 選択したファイルをカタログペインのカテゴリまたはレーティングにドラッグします。
 - ・ カテゴリまたはレーティングをカタログペインから選択したファイルにドラッグします。
 - ・ 1つまたは複数のファイルを選択し、カテゴリを右クリックします。コンテキストメニューから**項目の割り当て**を選択します。
 - ・ ファイルを右クリックし、**カテゴリを設定**をクリックして、フライアウトのカテゴリをクリックするか、**レーティングを設定**をクリックして、レーティングをクリックします。
2. [表示] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - ・ [編集] メニュー から**[カテゴリの設定]** をクリックし、希望するカテゴリをクリックする。
 - ・ ファイル上 を右クリックし、**[カテゴリの設定]** を選択し、希望するカテゴリをクリックする。
 - ・ [編集] メニュー から**[重要度の設定]** をクリックし、希望する重要度をクリックする。

- ファイル上を右クリックし、**[重要度の設定]**を選択し、希望する重要度をクリックする。
 - ステータスバーから、重要度アイコンをクリックし、希望する重要度をクリックする。重要度が設定されるとアイコンが表示されます。
3. 複数画像の比較中にカテゴリを設定したい場合には、次のいずれかを実行します。
- ファイルの1つを右クリックし、**[カテゴリの設定]**を選択し、希望するカテゴリをクリックする。
 - ファイルの1つを右クリックし、**[重要度の設定]**を選択し、希望する重要度をクリックする。



ACDSee が埋め込んだ重要度は、xmp: 重要度をサポートしているその他のアプリケーションで開いたり、逆にその他のアプリケーションから ACDSee で開くことができます。1 つまたは複数の選択ファイルにメタデータを埋め込むには、**[ツール] | [メタデータ] | [ACDSee メタデータを埋め込む] | [選択されているファイル]** をクリックします。

カテゴリツリーで右クリックし、コンテキストメニューを使用して次のいずれかの操作を行います:

- 項目を適用する
- 項目を削除する
- 新規カテゴリ
- 検索
- 切り取り
- コピー
- 貼り付け
- 削除
- 編集

[カタログ] ペインでカテゴリまたは重要度を使って検索するには:

カテゴリの名前、または重要度の数字をクリックするだけで、適用されているすべてのファイルがファイル一覧に表示されます。

[プロパティ] ペインでカテゴリと重要度を設定する

[プロパティ] ペインからもカテゴリと重要度を設定する方法が用意されています。

[プロパティ] ペインでファイルに重要度を設定するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカテゴリを設定したいファイルを選択します。
2. [プロパティ] ペインで **[メタデータ]** タブを選択します。
3. プロパティペイン上部の番号リストから設定した重要度をクリックします。

[プロパティ] ペインでファイルにカテゴリを設定するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカテゴリを設定したいファイルを選択します。
2. プロパティペインで **[整理]** タブを選択します。
3. これらのファイルに適用するカテゴリをカテゴリリストから選択し、
 - 適用するボックスにチェックを入れます。
 - カテゴリの左側にあるイージーセレクトバーをクリックして選択します。複数のイージーセレクトバーを同時に選択できます。選択したカテゴリを割り当てをクリックします。



カテゴリセットボタンを使用して素早くカテゴリを設定することも可能です。[アクセスのしやすいカテゴリセットを作成する](#)の項を参照してください。

すべてのカテゴリを選択:

すべてのカテゴリを選択 ボタン  で、利用可能なすべてのカテゴリを一度に簡単に選択できます。

ファイルからカテゴリや重要度を削除する

元のファイルを移動したり削除したり、同じカテゴリや重要度が割り当てられた他のファイルを変更することなく、カテゴリまたは重要度からファイルを削除することができます。

ファイルからカテゴリや重要度を削除するには:

1. [ファイルリスト] ペインで削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 選択したファイルを右クリックし、[重要度の設定] から[重要度のクリア]を選択する。
 - ファイル上を右クリックして [カテゴリの設定] をクリックし、ファイルから削除したいカテゴリの名前をクリックする。ファイルからすべてのカテゴリを削除するには、[すべての選択項目のカテゴリ解除] をクリックする。
 - プロパティペインのオルガンタブで、割り当てを解除したいカテゴリを探し、チェックボックスをオフにします。
 - 割り当てを解除したいカテゴリの左側にあるイージーセレクトバーをクリックし、選択したカテゴリの割り当て解除を押します。
 - カタログ ペインから、カテゴリのチェックボックスまたはラジオ ボタンに付けられているチェックをオフにする。
 - 現在選択されている画像からすべてのカテゴリを削除するには、プロパティパネルにある「すべてのカテゴリの割り当てを解除」ボタン  をクリックします。



すべてのカテゴリの割り当て解除 ボタン  をクリックすると、選択したすべてのカテゴリの割り当てが解除されます。

すべてのカテゴリを選択:

クリア・セレクション ボタンを使って、現在選択されているすべてのカテゴリを簡単に選択できます .

カラーラベルを割り当てる

カラーラベルを使用すると、画像とドキュメントを色分けして、どのような処理をするべきかが一目でわかるようになります。ワークフローの段階別に異なる色を使い分けてください。例えば、写真またはドキュメントをチェックしている際に、アップロード、印刷、却下、再チェック、シャープネスをかける等、これからするべき処理を色で分けます。ファイルにカラーラベルを適用した後は、カタログペインでその色のラベルをクリックするだけで素早くそのラベルの画像をすべて表示します。

カラーラベルをグループと組み合わせて使用しても便利です。カラーラベルはタグ付けやカテゴリ分け、評価などと同様、写真またはドキュメントを別のフォルダに移動することなく整理、グループ化することができます。



[管理] モードで [プロパティ] ペインまたは [カタログ] ペインが表示されていない場合は、[ペイン] から [プロパティ]、または [ペイン] から [カタログ] を選択します。

カラーラベル セットを作成する

ラベルセットを作成することにより、指定のラベルの選択、割り当てが素早く行えます。ラベルセットが利用できると、ワークフローに対応した適切なラベルを画像またはドキュメントに割り当てることができます。

カラーラベル セットを作成するには:

1. カタログ ペインで[ラベルセット]ボタン  をクリックし、[ラベルセットの編集]を選択します。
2. ラベルの名前を入力して[保存] アイコンをクリックします。
3. [ラベルセットの保存] ダイアログで[別名で保存] をクリックします。
4. 新しいラベルセットの名前を入力します。
5. [OK]をクリックします。

作成したカラー ラベル セットは [カテゴリ] ペインでラベル設定 ボタンをクリックし、ドロップ ダウン リストから選択 できます。カラー ラベルを割り当てる前に、正しいラベルセットを選択 していることをご確認ください。現在 選択 されているカラー ラベルは、ラベル ヘッダに名前が表示 されています。

カラーラベルを割り当てる

次の場所からカラーラベルを割り当てるができます:

- サムネイル ビューのホバー アイコン
- カタログ ペイン
- [プロパティ]ペイン
- 管理 および表示 モードの編集 メニュー
- コンテキスト メニュー
- キーボードショートカット

 **ACDSee** は XMP を使用して、各 ファイルに **ACDSee** メタデータを埋め込みます。XMP をサポートするファイル形式やファイル拡張子は一部のみです。これらには、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD、TIF、AVIF、および JPEG-XL が含まれます。これらのファイル形式の場合、**ACDSee** メタデータはファイル内部に埋め込まれているため、**ACDSee** 以外の場所でファイル名の変更や移動を行っても、**ACDSee** メタデータを保持 することができます。RAW や ABR など、現在 XMP をサポートしていない形式の場合、**ACDSee** メタデータは元のファイルと同じフォルダに保存 される「サイドカーファイル」に書き込まれます。サイドカーファイルはファイル本体とは別のファイルであるため、名前の変更や移動を行う際は常にセットで行 う必要があります。そうしない場合、**ACDSee** メタデータが永久に失われる恐れがあります。

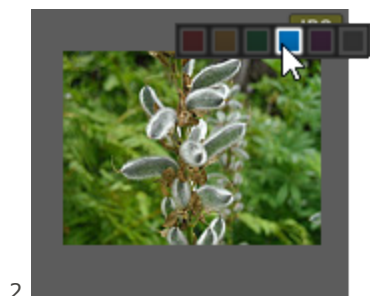
 表示、現像、編集モードで **ACDSee** を最小化表示します。

サムネイル ビューのホバー アイコンのラベルラインを使用してカラーラベルを割り当てるには:

1. サムネイル画像上にマウスポインタを移動してグレーのラインを表示します。 
2. グレーのラベル アイコンをクリックして重要度を選択 します。

サムネイルのラベルラインをクリックしてホバーアイコンからカラーラベルを選択:





複数選択した画像のいずれか 1 つのオーバーレイアイコンを使用することにより、すべてのファイル画像にラベルを割り当てることができます。

【カタログ】ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには：

1. 【管理】モードで次のいずれかの操作を行います。
 - ・ ファイルを【カタログ】ペイン内のカラーラベルにドラッグする。
 - ・ 【カタログ】ペイン内のカラーラベルをファイルにドラッグする。

【プロパティ】ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには：

1. 【ファイル一覧】ペインでカラーラベルを割り当てるファイルを選択します。
2. 【プロパティ】ペインの上部のボックスからカラーラベルを選択します。

管理および表示モードの編集メニューでカラーラベルを割り当てるには：

- ・ 【編集】メニューから【ラベルの設定】を選択し、色を選択する。

コンテキストメニューでカラーラベルを割り当てるには：

- ・ ファイルを右クリックし、【ラベルの設定】を選択し、ラベル名を選択する。

キーボードショートカットを使用してカラーラベルを割り当てるには：

- ・ Alt 0 でラベルをクリアします (Ctrl の代わりに Alt を使う以外は、重要度のショートカットと同じです)。



ラベルに割り当てられたファイルを検索する

データベース内で1つのラベルに割り当てられたファイルをすべて検索するには:

- [カタログ] ペイン内のカラーラベルをクリックし、[ファイルリスト] ペイン内で該当するファイルを表示する。
- 検索ボックスを使用する。
- クイック検索を使用します。

ファイル一覧内で1つのラベルに割り当てられたファイルをすべて検索するには:

ファイル一覧ペインの **フィルタ** ドロップダウン リストをクリックしてラベル名を選択します。現在のファイルリストでそのラベルが割り当てられたすべての画像が選択されます。

ファイル一覧内で1つのラベルに割り当てられたファイルをすべて選択するには:

Alt + 1 から Alt + 5 で 5 つの色を指定し、Alt + 0 でラベルをクリアします (Ctrl の代わりに Alt を使う以外は、重要度のショートカットと同じです)。

カラーラベルとカラーラベルセットを削除する

ファイルからカラーラベルを削除するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカラーラベルを削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 選択したファイルを右クリックし、[ラベルの**設定**] から [ラベルの**削除**] を選択する。
 - [プロパティ] ペインでグレーのラベル解除 アイコンをクリックする。
 - [プロパティ] ペインで、カラーラベルを右クリックします。

ラベルセットを削除するには:

1. [カタログ] ペインで [ラベルセット] ボタン をクリックし、[ラベルセットの**編集**] を選択します。
2. [ラベルセット] ドロップダウンリストから削除したいラベルを選択します。
3. [削除] ボタンをクリックします。

コレクションを作成する

コレクションは強力なグループ化および検索クエリツールです。[コレクション] ペインで、使用カメラ、場所、サイズなどの一般的な変数に基づいて、まとめた写真をグループ化できます。また、コレクションで写真をグループ化して、選別、処理、共有などを行うこともできます。



コレクションを作成するには:

1. 管理モードで、[ペイン] > [コレクション]を選択します。コレクション ペインは、フォルダー ペインにタブ付きで表示されます。
2. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから[コレクションを作成...]を選択します。
3. [コレクションを作成] ダイアログボックスで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [作成]ボタンを押します。

[コレクションを作成] ダイアログボックスのオプション

名前	
名前	コレクションの名前を入力します。
場所	
コレクション セットの中	このコレクションを以前作成した別のコレクションセット内に配置して階層を作成する場合は、このチェックボックスをオンにします。画像を追加したいコレクションセットをドロップダウンメニューから選択します。
オプション	
選択した写真を含む	現在選択している写真をコレクションに含めるには、このチェックボックスにオンにします。
ターゲット コレクションとして設定	写真を追加する画像のターゲットコレクションとしてこのコレクションを指定するには、このチェックボックスにオンにします。画像を選択して Ctrl + Alt + C を押すと、画像を直接このコレクションに素早く送信することができます。キーボードショートカットをカスタマイズするには、 キーボードショートカットのカスタマイズ を参照してください。

写真をコレクションに追加するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [ファイル一覧] ペインで、画像 (複数可) を選択してから上記の [コレクションを作成] コマンドを使用します。続いて、[コレクションを作成] ダイアログボックス内の [選択した写真を含む] チェックボックスをオンにします。
- [ファイル一覧] ペインで、画像 (複数可) を右クリックし、[コレクション] | [追加先] | [コレクションの名前] を選択します。
- [ファイル一覧] ペインから [コレクション] ペイン内のコレクションに画像をドラッグアンドドロップします。
- ファイル一覧ペインで画像を選択します。[プロパティ] ペインの [カテゴリ] タブにある [コレクション] グループで、コレクションの横にあるチェックボックスをオンにします。

コレクションをターゲットコレクションとして設定するには:

特定のコレクションをターゲットコレクションとして設定することができます。これにより、キーボードショートカットで画像をそのコレクションに素早く追加できるようになります。● ターゲットコレクションでは、[コレクション] ペイン内でその横に青いサークルアイコンが表示されます。

以下のいずれかの操作を行います:

- コレクションを作成するときは、[コレクションを作成] ダイアログボックスで [ターゲットコレクションとして設定] チェックボックスをオンにします。
- [コレクション] ペインでコレクションを右クリックし、[ターゲットコレクションとして設定] を選択します。

画像をターゲットコレクションに追加するには:

画像を選択し、**Ctrl + Alt + C** キーを押します。



このキーボードショートカットはカスタマイズすることができます。[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)を参照してください。

コレクションを検索するには:

[コレクション] ペイン上部の [フィルタコレクション] フィールドで、コレクション、コレクションセット、およびスマートコレクションを検索することができます。

- 探しているコレクション、スマートコレクション、またはコレクションセットの名前（または名前の一部）を入力します。検索しているコレクションがコレクションセットの一部である場合、[フィルタコレクション] フィールドに入力したテキストがサブコレクションのいずれかに含まれていれば、検索によりルートコレクションセットが返されます。

コレクションから画像を削除するには:

1. コレクションを選択します。
2. 画像を右クリックし、[コレクション] | [選択したコレクションから削除] を選択します。



この操作では、コレクションから画像が削除されるだけで、画像自体は削除されません。



一度に複数の画像をコレクションから削除するには、それらの画像をすべて選択して右クリックし、[コレクション] | [選択したコレクションから削除] を選択します。

すべてのコレクションから画像を削除するには:

すべてのコレクションから画像を削除するには、画像を右クリックし、[コレクション] | [すべてのコレクションから削除] を選択します。



この操作では、すべてのコレクションから画像が削除されるだけで、画像自体は削除されません。



一度に複数の画像をすべてのコレクションから削除するには、それらの画像をすべて選択して右クリックし、[コレクション] | [すべてのコレクションから削除] を選択します。

コレクションセット

コレクションセットを作成し、その中に他のコレクションフォルダを追加することができます。この方法で階層を作成することで、さらに詳細な整理が可能です。画像をコレクションセット自体に追加することはできません。画像はコレクションセット内のフォルダ(コレクション)にのみ追加することができます。コレクションセットのルートを選択すると、ルート内の全コレクションの画像がすべて表示されます。

コレクションセットを作成するには:

1. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから [コレクションを作成...] を選択します。
2. [コレクションセットを作成] ダイアログボックスで、コレクションセットの名前を入力します。
3. 別のコレクションセット内にコレクションを追加したい場合には、[コレクションセットの中] チェックボックスをオンにします。ドロップダウンメニューでコレクションセットを選択します。
4. 作成をクリックします。

コレクションセットにコレクションを追加するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [コレクションセットの中] チェックボックスをオンにするとともに、[コレクションを作成] ダイアログボックス内でコレクションを作成します。ドロップダウンメニューでコレクションセットを選択します。
- [コレクション] ペインで、コレクションをルートレベルからコレクションセットにドラッグ & ドロップします。

スマートコレクション

スマートコレクションは、指定した検索条件に基づいてクエリーが組み込まれたコレクションです。これらの検索クエリーはデータベースに保存されています。新しい画像を後でカタログ化すると、検索クエリーの条件を満たす画像が自動的にスマートコレクションに表示されます。

ファイルがカタログ化された日付でファイルを探す検索クエリーを作成することもできます。

スマートコレクションを作成し、検索条件をクエリーに追加するには:

1. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから **[スマートコレクションを作成 ...]** を選択します。
2. [スマートコレクションを作成] ダイアログボックスで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. **OK** ボタンを押します。

[スマートコレクションを作成] ダイアログボックスのオプション

名前	スマートコレクションの名前を入力します。	
	スマートコレクションに名前を付ける際には、スマートコレクションに割り当てられた検索クエリーを反映した名前にすることをお勧めします。このようにすることで、スマートコレクションを開いてその内容を確認するのに必要な時間が節約されます。	
場所	コレクション セットの中	このコレクションを以前作成した別のコレクションセット内に配置して階層を作成する場合は、このチェックボックスを選択します。スマートコレクションを追加したいコレクションセットをドロップダウンメニューから選択します。
一致	[追加] ボタンを押して、クエリーの検索条件を選択します。[選択条件の追加] ダイアログボックスで、[+] をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオン/オフを切り替えてプロパティを選択することにより条件を選択します。[OK] を押します。選択した条件は [一致] フィールドボックスに表示されます。各項目を絞り込むには、下線付きの変数をクリックし、ドロップダウンからオプションを選択するか、フィールドに番号を入力します。 例えば、検索条件として [サイズ] を選択した場合、[次の値に一致] をクリックし、[次の値以外]、[次の値より小さい]、[次の値以下]、[次の値より大きい]、[次の値以上]、[次の値の範囲内] のいずれかを選択します。続いて、[0] をクリックし、サイズの値を入力します。	

検索クエリーから条件を削除するには:

[一致] フィールドから条件を選択し、**[削除]** を選択します。

検索クエリーを編集するには:

1. [コレクション] ペインでスマートコレクションを右クリックし、**[編集]** を選択します。
2. [スマートコレクションを編集] ダイアログボックスで、上記のように検索条件を追加および削除します。
3. **[OK]** をクリックします。

[プロパティ]ペインを使用する

プロパティペインは、ファイルと関連付けられているすべてのメタデータを表示します。また、ファイル サイズ、作成日時、読み取り専用、隠しファイルなど、ファイルのプロパティも表示します。プロパティペインでは、画像およびメディアファイルのメタデータを追加、変更、削除することができます。

[プロパティ]ペインは、デフォルトで[ファイルリスト]ペインの右側にある[管理]モードで開きます。プロパティペインは、**365**モードとメディアモード、を除くすべてのモードで使用できます。

いずれかのモード内でプロパティペインを開くには:

[ペイン]から[プロパティ]をクリックします。



[メタデータ] パネルでは、メタデータ フィールドの幅を調整することができます。変更したいラベルとフィールドの間にマウスを置いて、双方向の矢印に変わるのを待ちます。クリック&ドラッグで幅を調整します。ダブルクリックで、グループ間の最も広い幅とペイン内の最も長いラベルの間を切り替えることができます。

[プロパティ]ペインの構成

プロパティペインは、メタデータタブ、整理タブ、ファイルタブという3つのタブに分かれています。



サムネイル上にマウスカーソルを移動すると表示されるオーバーレイアイコンを使用して、画像にタグを追加したり、重要度やカラーラベルを設定することができます。あるいは、[ツール]>[オプション]>[プロパティペイン]の順にクリックして、[タグ付き、評価、カラーの各ラベルを表示]を選択することで、[プロパティ]ペインにこれらの設定を表示できます。

メタデータ タブ

[メタデータ] タブには、写真と一緒に保存されている重要度、カテゴリ、IPTC、EXIF、ACDSeeメタデータが表示されます。ACDSeeメタデータフィールドには、写真に関する説明をはじめ、日付、作者、注記などを入力することができます。キーワードフィールドは表示のみで、入力は整理タブで行います。ラベルフィールドはここで入力したり、カタログペインのラベルセクションから選択できます。IPTC情報は、画像に自動的に埋め込まれている情報である一方、ACDSeeメタデータはファイルには埋め込まれておらず、データベース内に保存されています。ACDSeeメタデータは、[ツール] から [メタデータ]> [ACDSeeメタデータを埋め込む] をクリックすることで、すべてのファイル(あるいは選択されているファイルのみ)に埋め込むことができます。

[IPTC] データフィールドには、説明、作者、著作権情報など、画像に追加されたり保存されたりしている、基本的な情報が表示されます。ACDSeeは、IPTC Core 1.1で定義されているフィールドに対応しています。

[EXIF] データフィールドには、シャッター速度、カメラの機種、GPS情報など、カメラによって作成された情報が表示されます。

特定のEXIFフィールドは、既定で非表示に設定されるようになりました。EXIFアーティスト、著作権、画像の説明、オリジナルの日時フィールドは、IPTCフィールドが変更されると、自動的に修正されます(下の表を参照してください)。この変更は、Metadata Working Group (MWG) の推奨に従った形で導入されました。これらのフィールドをEXIFセクションで表示したい場合には、[ツール]から[オプション]を選択し、[プロパティペイン]をクリックして、[メタデータ表示の管理]ボタンをクリックします。

IPTCフィールドとEXIFフィールドの一致

IPTC		EXIF
説明	次に書き込む	画像の説明
クリエイター	次に書き込む	アーティスト
著作権情報	次に書き込む	著作権
作成日	次に書き込む	オリジナルの日時



ACDSeeがファイルからメタデータを解読する際、フィールドの内容はマップなしで表示されます。

[整理] タブ

[整理] タブには、5つのグループが表示されます。便利なクイックアクセスツール: ACDSeeメタデータ、カテゴリ、コレクション、キーワード、およびAIキーワード。カテゴリ、キーワード、およびコレクションは、[整理]タブ内でファイルツリー形式で表示できます。カテゴリ、キーワード、またはコレクションを右クリックすると、必要に応じて追加または削除できます。カテゴリとキーワードのセットを作成して、ファイルをすばやく分類できます。カテゴリ、キーワード、コレクションツリーを使用して階層を作成し、意味のある方法でファイルを簡単に整理します。

- **ACDSee メタデータ:** キャプション、データベース日付などの重要な ACDSee メタデータ情報を [整理] タブ内から更新します。、インポート日、作成者、メモ。ACDSee メタデータは、[メタデータ] タブでも更新できます。
- **カテゴリ:** 選択したファイルに関連付けられたカテゴリとクイック カテゴリを表示、フィルター、管理します。詳細については、「[カテゴリの作成](#)」を参照してください。
- **コレクション:** 選択したファイルに関連付けられたコレクションを表示し、アクセスします。詳細については、「[コレクションの作成](#)」を参照してください。
- **キーワード:** 選択したファイルに関連付けられたキーワードを表示、フィルター、管理します。詳細については、「[階層キーワードの作成と割り当て](#)」を参照してください。
- **AIキーワード:** 選択したファイルの AIキーワードによって検出されたキーワードを表示、フィルター、管理します。詳細については、[AIキーワード](#)をご覧ください。

[ファイル] タブ

[ファイル] タブでは、選択されたファイルの情報および画像の属性が表示されます。読み取り専用/隠しファイル(フォルダ)の設定および変更や、ファイルのEXIF情報の概要を確認することができます。

ACDSee メタデータをファイルに埋め込む

❗ ファイルにメタデータ情報があり、ACDSee以外のプログラムを使用して、当該ファイルをコピー、移動、または名前を変更すると、ファイルとデータベース間のリンクが失われますが、ファイルに埋め込まれているデータを使用してデータベースを再構築できます。

❗ ACDSee は XMP を使用して、各ファイルに ACDSee メタデータを埋め込みます。XMP をサポートするファイル形式やファイル拡張子は一部のみです。これらには、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD、TIF、AVIF、および JPEG-XL が含まれます。これらのファイル形式の場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれているため、ACDSee 以外の場所でファイル名の変更や移動を行っても、ACDSee メタデータを保持することができます。RAW や ABR など、現在 XMP をサポートしていない形式の場合、ACDSee メタデータは元のファイルと同じフォルダに保存される「サイドカーファイル」に書き込まれます。サイドカーファイルはファイル本体とは別のファイルであるため、名前の変更や移動を行う際は常にセットで行う必要があります。そうしない場合、ACDSee メタデータが永久に失われる恐れがあります。

画像の自動表示による参照とカタログ化

画像の自動表示を使えば、タグ、重要度、ラベル、カテゴリ、またはキーワードを追加しながら画像をすばやく移動できます。管理および表示モードでオートアドバンスを使用できます。

管理モードでオートアドバンスをオンにするには:

[ファイル一覧] ツールバーの下部で、[オートアドバンス] ボタンを切り替えるか、**Ctrl + Q**を押します。 

オートアドバンスを使用するには:

オートアドバンスが有効になっている場合、タグ、重要度、カラーラベル、キーワード、またはカテゴリを追加または消去すると、フォルダの次の画像に進み、メタデータの追加を続行できます。これは、キーボードから手を離さずにフォルダ全体を整理できるため、キーボードショートカットと組み合わせると特に便利です。

オートアドバンスを起動する適用されたメタデータのタイプを選択するには、[オートアドバンスオプションの設定](#)を参照してください。

❗ キーワードとカテゴリは既定で無効になっています。

管理モード

管理モードで、テンキーを使用して、次のキーボードショートカットを適用すると、オートアドバンスを最大限に活用できます。

次のキーボードショートカットを使用する前に、**Num Lock**キーを押してテンキーを有効にします。

/	タグ
*	紫のカラーラベル
9	青のカラーラベル
8	緑のカラーラベル
7	黄色のカラーラベル
6	赤のカラーラベル
5	重要度5
4	重要度4
3	重要度3
2	重要度2
1	重要度1
0	重要度を削除
+	次へ
-	前へ
.	カラーラベルを削除する。



Num Lockキーが有効になっていない場合、これは[削除]ボタンとして機能します。

[キーボードショートカットをカスタマイズ](#)することもできます。

キーワードとカテゴリ

カスタマイズされたキーボードショートカットとオートアドバンスを組み合わせ、画像にキーワードとカテゴリを追加するプロセスを合理化することができます。

キーワード

プロパティペインの[メタデータ]タブのIPTCグループで、キーワードフィールドにキーワードを追加し、**Enter**キーを押すと、オートアドバンスで次の画像に移動します。プロパティペインの[整理]タブのキーワードフィールドでも同じ方法を使用できます。両方の場所で、複数のキーワードを一括で追加し、カンマで区切ることができます。キーボードから手を離さずに、すべての画像の処理を続行できます。

カテゴリ

プロパティペインの[整理]タブで、[カテゴリ]グループを展開します。目的のカテゴリのチェックボックスをオンにして、画像にカテゴリを追加します。または、次のいずれかを実行します。

- 画像を右クリックして、コンテキストメニューから[カテゴリの設定]>[目的のカテゴリ]を選択します。
- [編集]>[カテゴリの設定]>[(目的のカテゴリ)]を選択します。

これらの方法のいずれかを使用すると、オートアドバンスで次の画像に移動します。

すべてのIPTCフィールドで同様の利便性を利用するには、「[キーボードショートカットを使用して複数画像の同一フィールドにメタデータを入力するには](#)」を参照してください。

表示モード

表示モードでオートアドバンスをオンにするには:

下部のツールバーで、オートアドバンスボタンを切り替えるか、**Ctrl + Q**を押します。 

表示モードでオートアドバンスを使用するには:

1. [ペイン]>[プロパティ]を選択します。
2. プロパティペインで重要度、カラーラベル、タグ、カテゴリ、またはキーワードを追加し、オートアドバンスでフィルムストリップの次の画像に進み、メタデータの追加を続行できます。

表示モードで、次のキーボードショートカットを使用してフォルダを移動します。

ホーム	フォルダ内の最初の画像を選択します。
エンド	フォルダ内の最後の画像を選択します。
ページ下へ	次へ
ページ上へ	前へ

マップペインを使用する

マップペインを使用して写真に撮影場所の情報を追加することができます。場所の情報はいつでも呼び出し、表示することができます。マップを使って、ファイルのグループを選択して次のワークフローに移ったり、写真を選択して表示モードで表示したりします。

マップペインに表示されるファイルの場所は、ファイルのプロパティに含まれている緯度と経度の情報に基づいています。ジオタグ機能を持ったカメラを使っている場合、地理的な位置がマップ上に自動伝達されます。また、マップ上に直接ファイルをドラッグして[すべて保存]ボタンを押すと、座標を追加することができます。

ジオタグの付いている画像は、マップ上にピンで表示されます。マップ上のピンをクリックして、地理的な場所の範囲にあるファイルを選択し、表示したり処理したりすることができます。ジオタグが付けられた画像のピンがマップ上に表示されていない場合は、キーボードショートカットの **F5** キーを使って、マップを更新します。



マップに追加できるファイルフォーマットは次のとおりです。JPG、TIFF、RAW、DNG および PNG。



ACDSeeは、ジオタグを含むファイル情報を、ファイルを参照する際、データベースに自動追加します。ファイルの数が多い場合には、まずファイルをカタログ化すると、マップ上のビンの読み込み時間を短縮することができます。ファイルをカタログするには、**[ツール]**、**[データベース]**、**[カタログファイル]**とクリックします。

マップ ペインを開くには:

管理モードで、**[ペイン]**、**[マップ]** (**Ctrl + Shift + M**) をクリックします。

マップ ペインは、既定設定では管理モードでファイル一覧ペイン上に表示されます。マップのタイトルバーをドラッグして新しい場所に移動したり、ACDSee の他の可動ペインのように、ペインをフロートしたり、別の場所にドックしたりすることが可能です。



管理モードで、キーボードショートカット **Ctrl + Shift + M** を押して、マップのオン/オフを切り替えることができます。

ドラッグしてマップにファイルを追加するには:

1. 管理モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にある**[すべて保存]**をクリックします。



画像を処理する前にジオタグを付けておくのが理想です。編集後にジオタグが付けられますが、元の状態に復元するコマンドを使用するとそのジオタグが失われてしまうためです。

マップからビンの場所を削除するには:

ジオタグの付けられている画像サムネイルを右クリックし、**[マップ]** > **[マップから削除]**を選択します。

マップ上でジオタグ付きの画像を表示するには:

ジオタグの付きの画像サムネイルを右クリックし、**[マップ]** > **[マップで表示]**を選択します。

場所を検索するには:

特定の場所を検索するには、マップ ペインの右上に表示されている**場所検索** フィールドに名前やランドマークを入力します。

場所、ズーム、マップの種類を規定に設定するには:

1. マップ上で希望する場所を表示し、希望するズームレベルに調整し、マップの種類 (地図、航空写真、地形) のいずれかを選択します。
2. **[ツール]** > **[マップ]** > **[マップ場所を規定に設定]** をクリックします。



注意: マップは現在選択されているファイル一覧の内容に反映されます。ファイル一覧内に、既定設定とは異なる場所にマップされている画像が含まれている場合には、その場所が表示されますのでご注意ください。



特定の場所にパンしてズームするには、マップ検索フィールドに場所の名前を入力して**Enter**キーを押します。

Reverse Geocoding (逆ジオコーディング):

Reverse Geocoding コマンドを使うと、特定の IPTC フィールドに場所の情報を保存することができます。含まれる情報: 国、国別コード、州/県、場所。

1. 管理モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にある**[すべて保存]**をクリックします。
3. **Reverse Geocode** ボタンをクリックすると、場所の情報をプレビューできます。
4. **[保存]**をクリックすると、これらの情報を選択された画像の IPTC フィールドに保存します。



複数の異なる場所の画像が選択されている場合は、それらのうちの一つのみが使用されます。

マップ ペインを使用したワークフロー

特定の場所の画像がすべて選択されている状態で、次のようなワークフローを実行することが可能です。

- 処理モードを開いて、現像や編集を適用します。
- [一括] ツールを使用して、場所が同じ画像に同じ設定を適用します。
- [スライドショー] をクリックして、この場所の写真のスライドショーを表示したり、提示したりします。
- また、これらの写真を電子メールで **送信** します。



ジオタグの付けられた画像が表示されない場合は、キーボードショートカットの **F5** キーを使って、マップを更新します。

ピンの凡例



ジオタグの場所を示します。



このエリアに複数のジオタグの場所があることを示します。(場所を拡大表示する)



選択されたジオタグの場所を示します。



任意の色のピンにドットがある場合、画像の場所が保存されていないことを示します。

ファイルにメタデータを追加し、プリセットを使用する

IPTCおよびACDSeeメタデータを使って、画像に情報を追加できます。IPTC情報は画像に自動的に埋め込まれる一方、ACDSeeメタデータは、ファイルに埋め込んだりデータベースに格納したりすることができます。情報は、まとめて複数のファイルに追加することも可能です。頻繁に使用するメタデータの値をプリセットとして保存すると、入力する手間を省くことができます。

メタデータの入力や編集は、画像を処理する前に行うようにお勧めします。[オリジナルに戻す] コマンドを使用すると、処理前にメタデータを入力していない限り、(RAW画像の場合を除き)その情報が失われてしまうためです。



CD-ROMのような読み取り専用メディア上のファイルには、IPTC情報、EXIF情報を設定することはできません。



[プロパティ] ペインを開いていない場合は、[ペイン] から [プロパティ] を選択します。

1つ以上のファイルにメタデータを追加するには:

1. 管理モードで、1つ以上のファイルを[ファイル一覧] ペインで選択します。
2. [プロパティ] ペインで[メタデータ] タブを選択します。
3. メタデータフィールドに情報を入力します。
4. [適用] をクリックするか、**Enter** キーを押して変更を適用します。



[管理] モードで [適用] をクリックするか **Enter** キーを押すと、フォーカスが[ファイル一覧] ペインに戻るため、キーボードを使って別のファイルをすばやく選択できます。



メタデータに連続した番号を入れるには、ファイルを選択し、任意のフィールドに開始番号 <#> を入力します。例) <5> を入力すると、連続する番号は5から始まります。

メタデータタブのキーボードショートカット

ショートカット操作	操作
Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを前に移動します。
Shift + Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを後ろに移動します。
Ctrl + K	[プロパティ]ペイン内[整理] タブの [ACDSeeメタデータ キーワード] フィールドにカーソルを置きます。
Alt + K	[プロパティ]ペイン内[メタデータ] タブにある [IPTC キーワード] フィールドにカーソルを置きます。
Enter	変更を適用します。
Esc	変更を破棄します。



プロパティペイン外をクリックすると、入力していたメタデータが失われてしまいます。**[適用]** をクリックまたは **ENTER** を押さないと、変更は適用されません。

キーボードのショートカットを使用して、複数画像の同一フィールドにメタデータを入力するには:

1. 複数画像グループの最初の画像を選択して、メタデータフィールドに値や内容を入力します。
2. **Page Down** キーを押して次の画像に移動します。カーソルはプロパティペイン内の同じフィールドに置かれたままになりますので、複数の画像に同じフィールドの内容を素早く入力することができます。
3. フィールドに内容を入力したら、**Page Down** キーを再度押して次の写真に移動します。
4. 完了するまで手順3を繰り返します。



このショートカットを使用する場合、**[適用]** ボタンをクリックする必要はありません。



Page Up キーを使用して、前の写真に戻ることができます。

メタデータのコピーと貼り付け

ファイルから GPS、IPTC、および ACDSee メタデータをコピーして、別のファイルへ貼り付けることが簡単にできて便利です。この操作ではキーワードとカテゴリ情報が結合されます。

メタデータをコピーするには:

1. 管理モードでファイルを選択し、次のいずれかを実行します。
 - ツール > **メタデータ > コピー** に移動します
 - 右クリックして **[メタデータ] > [コピー]** を選択します。
2. **[メタデータをコピー]** ダイアログボックスで、コピーしたいメタデータにチェックを入れます。
3. **コピー** を押します。

メタデータを貼り付けるには:

1. 管理モードでファイルを選択し、次のいずれかを実行します。
 - ツール > **メタデータ > 貼り付け** に移動します
 - 右クリックして **[メタデータ] > [貼り付け]** を選択します。

ACDSee と IPTC 間のカテゴリとキーワードの埋め込みとインポート

ACDSee キーワードとカテゴリを IPTC メタデータに埋め込んだり、IPTC キーワードと補足 カテゴリから ACDSee キーワードとカテゴリにインポートしたりするための簡単なコマンドがあります。

ACDSee キーワードとカテゴリを IPTC キーワードと補足 カテゴリに埋め込むには

ファイルを選択し、右クリックして [メタデータ] を選択します。キーワードを **IPTC** に埋め込む または カテゴリを **IPTC** に埋め込む。

または

ファイルを選択し、ツール | を選択します。メタデータ | キーワードを **IPTC** に埋め込む または カテゴリを **IPTC** に埋め込む。

ACDSee AI キーワードを IPTC キーワードに埋め込むには:

ファイルを選択し、右クリックして [メタデータ] を選択します。**AI** キーワードを **IPTC** に埋め込みます。

または

ファイルを選択し、ツール | メタデータ | **AI** の埋め込み **IPTC** へのキーワード。

IPTC メタデータのマージまたは上書き

ACDSee メタデータを **IPTC** メタデータに埋め込む際には、以前に保存されたメタデータと併せてデータを保存する方法を選択できます。

- マージ: 既存の **IPTC** キーワードおよび/または **IPTC** の補足 カテゴリに、**ACDSee** のメタデータが追加されます。
- 上書き: **ACDSee** のメタデータは、既存の **IPTC** キーワードおよび/または **IPTC** の補足 カテゴリを置き換えます。

キーワードと補足 カテゴリを IPTC から ACDSee キーワードとカテゴリにインポートするには

ファイルを選択し、右クリックして [メタデータ] を選択します。「**IPTC**」キーワードからインポート または **IPTC** 補足 カテゴリからインポート。

または

ファイルを選択し、ツール | メタデータ | を選択します。「**IPTC**」キーワードからインポート または **IPTC** 補足 カテゴリからインポート。



IPTC メタデータから ACDSee へのインポート メタデータは常にマージとして機能します。

メタデータプリセット

プロパティ ペインでメタデータプリセットを作成するには:

1. [管理] モードで、[ファイル一覧] ペインからファイルを選択します。
2. [プロパティ] ペインで [メタデータ] タブを選択します。
3. [メタデータプリセット] のドロップダウンリストをクリックし、[プリセットの管理] を選択します。
4. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスのフィールドに内容を入力します。
(詳細は、以下に記載する「メタデータのプリセット管理ダイアログボックスにデータを入力する際の注意」を参照してください。)
5. [OK] をクリックします。
6. [名前を付けて保存] をクリックします。
7. プリセットの名前を入力し、[OK] をクリックします。そのプリセットが、[プリセット] ドロップダウンリストに表示されるようになります。

メタデータメニューを使ってメタデータプリセットを作成するには:

1. [管理] モードで、[ツール] > [メタデータ] > [メタデータプリセットの管理] へと進みます。
2. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスのフィールドに内容を入力します。

詳細は、以下に記載する「**メタデータのプリセット管理ダイアログボックスにデータを入力する際の注意**」を参照してください。

3. **[OK]**をクリックします。
4. **[名前を付けて保存]**をクリックします。
5. プリセットの名前を入力し、**[OK]**をクリックします。プロパティペイン内にあるメタデータタブのプリセットドロップダウンリストに、そのプリセットが表示されます。

ショートカットのプリセット (**Ctrl + M**) は以下の手順で設定します:

1. **[メタデータのプリセット]**ドロップダウンリストから、**[プリセットの管理]**を選択します。
2. **[メタデータのプリセット管理]**ダイアログボックスで、**プリセット**のドロップダウンリストの横にある矢印ボタンをクリックします。
3. 保存されているメタデータのプリセット一覧から選択して、**ショートカットプリセット**を設定します。
4. **[OK]**をクリックします。

既定のプリセットを設定したら、**Ctrl + M** キーを押すだけで、選択された画像すべてのメタデータフィールドが自動的に入力されるようになります。既定のプリセットを設定していない場合は、ショートカットキー **Ctrl + M** を押すと**[メタデータのプリセットの管理]**ダイアログボックスが表示されます。

メタデータのプリセットを適用するには:

1. ファイラー一覧ペインから画像を1つ以上選択します。
2. **[プロパティ]**ペインで**[メタデータ]**タブを選択します。
3. **[メタデータプリセット]**ドロップダウンリストをクリックして、作成したプリセットから選択します。
4. **適用**をクリックします。

[プリセットの管理]ダイアログボックスでデータを挿入する際の注意点は以下の通りです:

- アスタリスク(*)は、各ファイルに関する既存のフィールドデータを示しています。既存のデータを保持しながら情報を追加するには、アスタリスクの横に情報を追加します。またデータを削除して新しい情報を入力することも可能です。例えば、IPTC キャプションのテキストを置き換えるのではなく修正したい場合、フィールドにアスタリスクを挿入し、スペース、テキストを入力します。
- **[メタデータの挿入]**コマンドを使用して、あるメタデータフィールドの値を別のフィールドに転送することができます。各フィールドの横にある**[メタデータの挿入]**矢印をクリックし、メタデータのプレースホルダを選択します。例として、<ACDSee Metadata: Keywords>プレースホルダーをIPTCキーワードフィールドに挿入すると、ACDSeeキーワードをIPTCキーワードに転送できます。

メタデータのプリセットをインポートおよびエクスポートする:

1. **[管理]**モードで、**[ツール]>[メタデータ]>[メタデータプリセットの管理]**へと進みます。
2. **[メタデータのプリセット管理]**ダイアログボックスで、**[プリセット]**ドロップダウンメニューの右横にある矢印をクリックします。
3. **インポート**または**エクスポート**を選択します。
4. 参照からXMLファイルを見つけて選択したら、**[開く]**をクリックします。

ファイルからメタデータを削除する

写真を共有する場合に、撮影場所やカメラ情報、個人的な評価などの情報をファイルに含めておきたくないこともあるでしょう。メタデータの削除オプションを使用すれば、選択した画像からこれらの情報を削除し、プライバシーを保護することができます。

メタデータはJPG、GIF、TIFF、PNG およびDNGファイルから削除することができます。



メタデータを削除したい画像のコピーを作成すれば、メタデータを変更せずにそのまま残しておくことが可能です。

選択した画像からメタデータを削除するには:

1. [ツール]から、[メタデータ]、[削除]とクリックします...
2. **EXIF**と**IPTC**、または埋め込まれている**ACDSee**メタデータを削除したくない場合は、それぞれのオプションを無効にします。
3. [OK]をクリックします。

 メタデータは完全に削除されますが、DNGファイルに固有のEXIFデータは保持されます。

メタデータ表示の管理

メタデータ表示を選択するには:

1. [ペイン] | [プロパティ] をクリックして、プロパティペインを開きます。
2. プロパティペインの [メタデータ] タブを選択します。
3. [メタデータ] タブの [メタデータ表示] ドロップダウンリストをクリックして、次の表示オプションから1つ選択します: 既定のメタデータ表示 (最も一般的に使用されるフィールド)、すべての EXIF、すべての IPTC、ACDSee メタデータ、または保存されたカスタム表示。

 [メタデータ] タブを表示するには、画像を選択している必要があります。

既定のメタデータ表示:

選択可能な5つの組み込みメタデータ表示があります:

- 既定のメタデータ表示
- すべての EXIF メタデータ
- すべての IPTC メタデータ
- すべてのビデオ メタデータ
- ACDSee メタデータ

 ビデオ ファイルは **Windows** で再生可能な場合のみ再生されます。ビデオの **メタデータ** は、そのビデオが再生可能な場合にのみ表示されます。

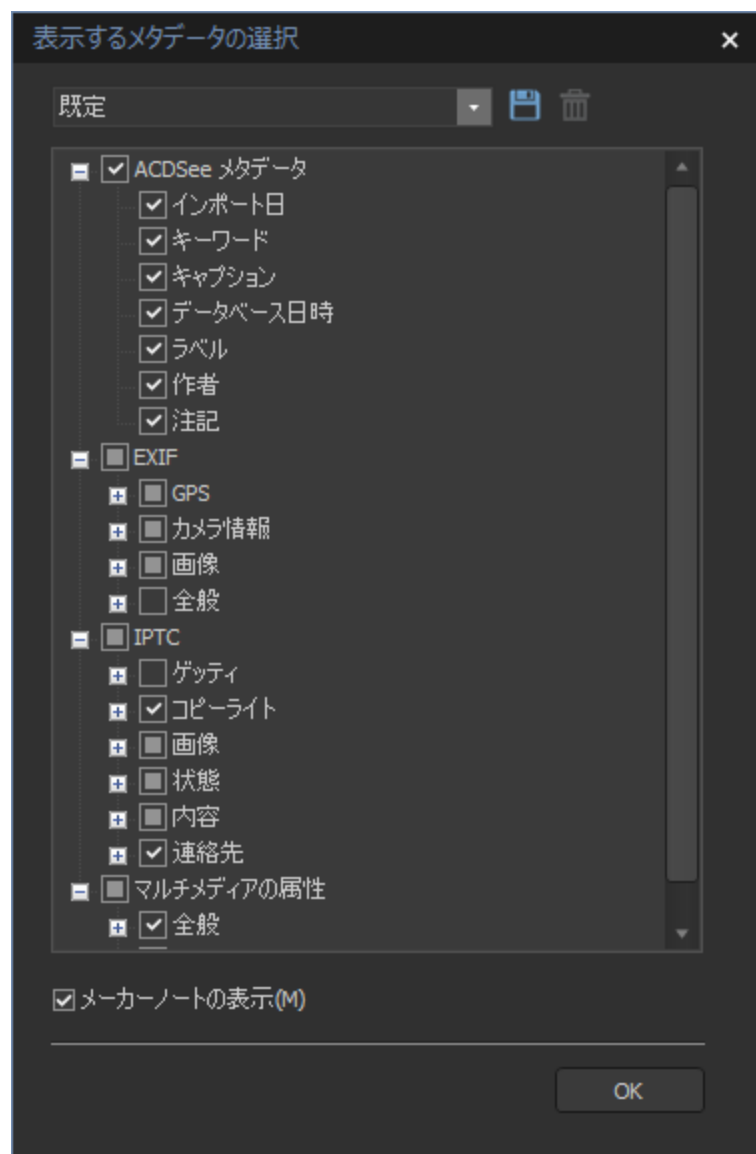
カスタマイズされたメタデータ表示を作成するには:

1. [メタデータ] ペインの [メタデータ表示] ドロップダウンリストをクリックして、[メタデータ表示の管理...] を選択します。
2. [表示するメタデータの選択] ダイアログボックスで、ドロップダウンリストから[新規のメタデータ表示] を選択します。
3. プラス + 記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスをオン/オフにして設定を選択します。以下の「メタデータ表示の管理オプション」を参照してください。
4. 保存ボタンをクリックして、カスタマイズした表示の名前を入力します。
5. [OK] をクリックします。

メタデータ表示の管理オプション

- グループ内のすべての項目が選択されている場合、グループのチェックボックスがチェックされます。
- グループ内の項目が一つも選択されていない場合、グループのチェックボックスは未チェックになります。
- グループ内の一部の項目 (すべてではない) が選択されている場合、グループのチェックボックスは塗りつぶされた状態で表示されます。

チェックボックスをオン/オフにして、選択を確定してください。



【メーカーノートを表示】チェックボックスをオンまたはオフにすることで、メーカーノートを表示するかどうかを選択できます。

階層キーワードの作成と割り当て

ファイルにキーワードを追加し、それらのキーワードから階層を構築できます。これらのグループは、キーワードツリーで管理されます。[プロパティ]ペインの[整理]タブを選択して、キーワードを作成、名前変更、削除、および移動します。

[ペイン] > [キーワード] を選択すると、キーワードペインが利用できます。



【カタログ】ペインの【キーワード】グループで特定のキーワードをクリックすると、特定のキーワードに割り当てられた画像すべてを表示できます。

キーワードを作成する

キーワードを管理するには:

ファイル一覧ペインの右にあるプロパティペインで、次のいずれかを実行します。

- [整理]タブの[キーワード]グループの下部で、[キーワード]を右クリックし、[新しいキーワード]をコンテキストメニューから選択します。
- キーワードグループの一番上にキーワードを入力して**Enter**を押します。

既存のキーワードをファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います：

- 1つ以上のファイルを選択し、キーワードのチェックボックスを有効にする。
- 1つまたは複数のファイルを選択し、**キーワード**の左側にあるイージーセレクトバーをクリックして選択します。複数のイージーセレクトバーを同時に選択することができます。**選択したキーワードを割り当て**を押します。
- 1つ以上のファイルを選択し、キーワードを右クリックする。コンテキストメニューから[アイテムの割り当て]を選択します。
- 1つ以上のファイルを選択し、ファイルをキーワードにドラッグする。
- ファイルを一つ以上選択し、クイック キーワード セットからキーワードを選択します。選択したキーワードがファイルに割り当てられ、ツリーにも追加されます。

[カタログ]ペインの[キーワード]グループでは、次の操作が実行できます。

- ファイルを一つ以上選択し、キーワードをツリーから選択したファイルにドラッグします。

階層を作成するには、次のいずれかを実行します：

- キーワードフィールドで、より具体的なキーワード < より幅広い一般的なキーワード、のように記述する。

例：

フクロウ < 鳥

または

マドリード < スペイン < ヨーロッパ

- 既存のキーワードを右クリックして、[新しいキーワード]を選択します。新しいキーワードは自動的に既存のキーワードの子供になります。

 1つのファイルに複数のキーワードを割り当てする場合、複数のキーワードをカンマで区切ってください (階層を作れません)。

キーワードを管理する

キーワードを管理するには：

カテゴリタブにあるキーワードを選択し、次のいずれかの操作を実行します。

- ファイルに割り当てたキーワードを削除するには、キーワードを選択し右クリックして、[アイテムの削除]をクリックするかチェックボックスを無効にします。
- **割り当てを解除**したいキーワードの左側にあるイージーセレクトバーをクリックし、**選択したキーワードの割り当てを解除**を押します。
- 現在割り当てられているキーワードの**チェックボックス**をクリックすると、**割り当て**が解除されます。
- キーワードを編集するには、キーワードを選択して右クリックし、[編集]を選択します。
- キーワードを削除するには、削除したいキーワードを右クリックし、[削除]を選択します。
- キーワードを複製するには、複製したいキーワードを右クリックして[コピー]を選択し、コピーしたい場所で[貼り付け]を選択します。

[カタログ]ペインの[キーワード]グループでは、上記の管理操作のほか、以下に挙げる操作も実行できます。

- キーワードツリーを編集するには、キーワードをドラッグして他の場所に移動します。

すべてのキーワードの割り当て解除:

現在選択したものを割り当て解除するには、**キーワードセクション**の右下にある**すべてのキーワードの割り当て解除**  を押します。

すべてのキーワードを選択し、選択をクリアする:

すべてのキーワードを一度に選択するには、**すべてのキーワードを選択**  を押します。

クリア・セクション  を押すと、すべてのキーワードを一度に選択解除することができます。

キーワードを削除中:

ファイル・リスト・ペインの右にあるプロパティ・ペインで、以下のいずれかを行う:

- ・「オーガナイズ」タブの「キーワード」グループの一番下にある、削除したい**キーワード**を右クリックし、コンテキストメニューから**キーワードを削除**を選択します。
- ・「オーガナイズ」タブで、削除したいキーワードの左にあるイーजीセレクトバーをクリックし、**選択したキーワードを削除**を押す。

ファイル・リスト・ペインの左にあるカタログ・ペインで、以下を実行する:

- ・削除したい**キーワード**を右クリックし、コンテキストメニューから**削除**を選択します。

すべての未割り当てキーワードの削除:

アセットが割り当てられていないキーワードは、**すべての未割り当てのキーワードを削除** オプションですばやく削除できます。

- ・ ツール | メタデータ | **すべての未割り当てのキーワードを削除** をクリックする。

キーワードのフィルタリング:

「プロパティ」ペインの「キーワードをフィルター」テキストフィールドをクリックして任意の単語を入力すると、**【整理】** タブ内でキーワードをフィルターできます。表示されるキーワードは、入力時に動的にフィルタリングされます。

AI キーワード:

キーワードグループの下にある **AI** キーワードグループで、選択した画像に対して検出された **AI** キーワードを表示できます。ここから **+** ボタンを押すと、提案されたキーワードを **ACDSee** キーワードリストにすぐに追加できます。

クイックキーワードを作成する

「クイックキーワード」を使用して、関連するキーワード同士でグループを作成することにより、整理された状態を保ち作業をスムーズにできます。階層構造の中に埋もれてしまわないので、キーワードに簡単にアクセスできます。グループを複数作成し、閲覧している写真に合わせて切り替えることができます。**ACDSee**には、クイックキーワードの各種セットが使えるように、あらかじめ設定されています。これらのキーワードをツリーに追加することも可能です。

例:

イタリア

フィレンツェ	ヴェネツィア	コモ湖
ローマ	ミラノ	ヴェローナ
ジェノヴァ	ボローニャ	ナポリ

クイックキーワードからキーワードを割り当てるには:

1つ以上のファイルを選択し、キーワードをクリックします。

素早くアクセスできるクイック キーワードを作成するには:

1. [整理]タブの[キーワード]グループで、ドロップダウンメニューから**[新しいクイックキーワードセット...]**を選択します。[クイックキーワード]ダイアログボックスが表示されます。
2. [行と列]ドロップダウンメニューから値を選択して、セットの行と列の数をカスタマイズします。
3. 関連キーワードまたは頻繁に使用するキーワードを、250個まで空欄に入力できます。フィールド内に階層を作成するには、パイプキーを使用します。例: A|B|C
4. **[OK]** ボタンをクリックします。
5. [新しいプリセット]ダイアログで、セットの名前を入力します。**[OK]** をクリックします。
6. ファイルを選択したらクイックキーワードの表から適切なキーワードを選択して、セットからキーワードを適用します。キーワードがツリーに追加されます。キーワードセットに階層を指定した場合、親キーワードがツリーに表示され、子はその下に格納されます。現在選択されているファイルに割り当てられているキーワードは、表内のキーワードテキストの色が変化し、現在選択されているファイルの一部(すべてではない)にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。



クイックキーワードセットは、AppDataフォルダのACDSeeの下の[プリセット]フォルダに保存されます。[プリセット]フォルダは以下のパスで検索できます。C:\Users\<あなたの名前>\AppData\Local\ACD Systems\Presets

キーワードのインポートとエクスポート

他のユーザーからACDSeeにキーワードをインポートすることができます。キーワードをエクスポートして共有することもできます。キーワードは、.txtファイルとしてインポートおよびエクスポートされます。



Adobe®Lightroom®のキーワードをインポートすることができます。

キーワードのエクスポート:

1. [ツール] > [メタデータ] > [キーワードのエクスポート]を選択します。
2. キーワードファイルの場所を参照します。
3. キーワードファイルの名前を入力します。
4. **[保存]**を押します。

キーワードをインポート:

1. [ツール] > [メタデータ] > [キーワードのインポート]を選択します。
2. キーワードファイルの場所を参照します。
3. ファイルを選択して、**[開く]**を押します。ファイル内のキーワードはACDSeeキーワードツリーにロードされ、アルファベット順に一覧表示されます。重複したキーワードは結合されます。

ファイルのコピーと移動

[フォルダにコピー]および[フォルダに移動]コマンドを使用して、ハードディスク上にあるファイルやフォルダの位置を変更したり、既存のファイルの上書きを処理する方法を指定したりすることができます。また、最近使ったフォルダの一覧を使用すれば、フォルダの検索時間を短縮することができます。



ACDSee 究極を使用してファイルの場所を変更する場合、デフォルト設定として、それらのファイルと関連付けられているACDSeeメタデータが新しい場所に自動的にコピーされます。関連付けられているファイルをコピーしたくない場合は、**RAWファイル以外の関連付けられたファイルを含む**チェックボックスをオフにします。



ACDSee 究極を使用せずにファイルを移動あるいはコピーした場合、それらのファイルに追加されているデータベース情報とのリンクが壊れてしまいます。これはACDSee 究極がファイルを追跡できないために発生します。その結果、カテゴリやその他の重要なデータベース情報が失われます。これは**結合の変更**とデータベースの再結合をクリックすることで、解決することができます。



す。ファイルそのものにデータベース情報が埋め込まれている場合、[ツール]>[データベース]>[ファイルのカatalog化]の順にクリックして情報を取り込むことが可能です。



ACDSee は XMP を使用して、各 ファイルに ACDSee メタデータを埋め込みます。XMP をサポートするファイル形式やファイル拡張子は一部のみです。これらには、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD、TIF、AVIF、および JPEG-XL が含まれます。これらのファイル形式の場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれているため、ACDSee 以外の場所でファイル名の変更や移動を行っても、ACDSee メタデータを保持することができます。RAW や ABR など、現在 XMP をサポートしていない形式の場合、ACDSee メタデータは元のファイルと同じフォルダに保存される「サイドカーファイル」に書き込まれます。サイドカーファイルはファイル本体とは別のファイルであるため、名前の変更や移動を行う際は常にセットで行う必要があります。そうしない場合、ACDSee メタデータが永久に失われる恐れがあります。

ファイルをコピーまたは移動するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - ファイル一覧ペインで、1 つ以上のファイルを選択し、[編集] > [フォルダにコピー] または [フォルダに移動] を選択します。
 - 表示モードで画像またはメディアファイルを表示しながら、[編集] > [フォルダにコピー] または [フォルダに移動] を選択します。
- [ファイルのコピー] または [ファイルの移動] ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します:
 - [フォルダ] タブを選択し、保存先となるハードディスク上のフォルダを指定します。
 - [履歴] タブを選択し、最近使ったフォルダの一覧からフォルダを選択します。
 - [フォルダの作成] を選択してから、新規フォルダ名を入力します。
- [重複ファイルを上書きする] ドロップダウンリストから次のいずれかのオプションを選択して、ACDSee 究極のファイルの上書き方法を指定します:
 - 確認する:** ファイルを上書きする際、確認のメッセージを表示します。
 - 名前を変更する:** ファイル名の変更を促すメッセージを表示します。
 - 置き換え:** 同じファイル名と拡張子のファイルで上書きします。
 - スキップ:** ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。
- [OK] をクリックします。

画像をクリップボードにコピーする

画像をクリップボードにコピーし、他のアプリケーションに貼り付けることができます。[画像のコピー] コマンドを使用すると、画像データのみがクリップボードにコピーされます。EXIF、IPTC、メタデータの情報は保持されません。

画像をコピーするには:

- 管理モードまたは表示モードで、コピーしたい画像を選択します。
- クリックして、**編集** または **コピー** します。画像を右クリックして**コピー**を選択するか、**Ctrl + Insert** キーを押します。
- 他のアプリケーションに画像を貼り付けます。

画像をファイルパスとしてコピーする:

- 管理モードまたは表示モードで、ファイルパスをコピーしたい画像ファイルを選択します。
- 画像を右クリックし、**パスとしてコピー** を選択します。
- 画像ファイルのパスを任意の場所に貼り付けます。

ファイルまたはフォルダを貼り付ける

ファイルをコピーまたは切り取ってクリップボードに保存し、ACDSee メタデータを失うことなく別のフォルダに貼り付けることができます。

ファイルを切り取り、新しい場所に貼り付けるには：

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインまたはフォルダペインから1つ以上のファイルまたはフォルダを選択します。
2. **[編集]**メニューから**[コピーまたは切り取り]**をクリックします。
3. フォルダペインを使って、新しい場所にフォルダを指定します。
4. **[編集]**メニューから**[貼り付け]**を選択し、新しい場所にファイルまたはフォルダを貼り付けます。

ファイルを置き換える / 上書きする

同一のファイル名と拡張子が、コピー先または移動先に既に存在する場合、ファイル名の重複が起こります。ACDSeeでは、**[ファイル置換の確認]**ダイアログボックスで、関係するファイル両方を表示することができます。それらのファイルが画像ファイルである場合、ACDSee 究極は両ファイルのサムネイルのプレビューを表示します。そして、重複するファイル名の取扱い方法は、ファイルの置換、名前変更、コピーまたは移動しているファイルのスキップ、すべての操作の中止、から選択できます。

[ファイル置換の確認] ダイアログボックスを使用するには：

1. 複数のファイルを移動する際、名前が重複する可能性のあるファイルすべてを同じ方法で扱うよう設定するには、**[すべてに適用]**チェックボックスをオンにします。
2. 2つのファイルの違いを比べるには、プレビューウィンドウの中央にあるツールバーを使用して、プレビューのサイズを拡大または縮小します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ・ 保存先ファイルをソースファイルに置き換えるには、**[置換]**ボタンをクリックします。
 - ・ 保存先フォルダに移動する前にファイル名を変更するには、**[変更後の名前]**欄に新規ファイル名を入力し、**[名前の変更]**をクリックします。
 - ・ このファイルをスキップして、ファイル両方をそのまま残すには、**[スキップ]**をクリックします。
 - ・ ソースファイルまたは保存先ファイルを削除するには、ハードディスクから削除したいファイルの下にある**[削除]**ボタンをクリックします。
 - ・ 操作を中止してこれ以上ファイルをコピーまたは移動しないようにするには、**[キャンセル]**ボタンをクリックします。



[ファイル置換の確認]ダイアログボックスでは、ターゲットフォルダにあるファイルを**[移動先ファイル]**、移動またはコピーしようとしているファイルを**[ソースファイル]**と称します。

ファイル名やフォルダ名を変更する

[フォルダ]ペインまたは**[ファイル一覧]**ペインでは、ハードディスク上にあるファイルまたはフォルダの名前を変更することができます。

ファイル名またはフォルダ名を変更するには：

1. 管理モードのファイル一覧またはフォルダペインから、名前を変更するアイテムを選択します。
2. **編集**メニューから**名前を変更する**(名前を変更する)をクリックします。
3. 「.jpg」のようなファイル拡張子を削除あるいは変更しないよう注意し、新規ファイル名を入力します。
4. **入力または決定**キーを押します。



複数のファイル名をまとめて変更するには、名前一括変更ツールを使用します。

プライベートフォルダにファイルを入れる

機密性の高いファイルは、セキュリティ保護されたフォルダに格納できます。プライベートフォルダにファイルを格納すると、現在の場所からファイルが見えなくなります。プライベートフォルダはパスワード保護されており、ACDSee内でのみ表示することができます。

プライベートフォルダにファイルやフォルダを追加すると、それらに関する全情報がデータベースから完全に削除されることになります。つまり、ファイルを復元しても、情報がデータベースに復元されることはありません。ファイルに関するデータベース情報を保存したい場合には、データベースをバックアップするかエクスポートしてから、プライベートフォルダへ移動します。

プライベートフォルダ ペンを開くには:

管理モードで、[ペイン] > [プライベートフォルダ] をクリックします。

プライベートフォルダを作成するには:

1. 開かれているプライベートフォルダがある場合には全て閉じます。
2. [プライベートフォルダ] ペインにある [プライベートフォルダ] アイコンを右クリックし、[**プライベートフォルダを作成する**] を選択します。
3. [パスワードの入力] 用テキストボックスに、プライベートフォルダ用のパスワードを入力します。パスワードに使用できる最長文字数は 40 文字です。
4. [パスワードの再入力] 用テキストボックスに、パスワードを再入力します。
5. [OK] をクリックします。



新規作成されたフォルダは、プライベートフォルダペインには表示されません。プライベートフォルダは隠れているため、パスワードを入力することでのみ表示することができます。プライベートフォルダを開くと、そのフォルダ内に含まれているサブフォルダも表示されますが、プライベートフォルダとこれらのサブフォルダを区別するようにしてください。

プライベートフォルダを開くには:

1. 開かれているプライベートフォルダがある場合には全て閉じます。
2. [ペイン] > [**プライベートフォルダー**] をクリックします。
3. [プライベートフォルダ] ペインのヘッダーにある [開く] ボタンをクリックします。
4. [パスワードの入力] テキストボックスに、開こうとしているプライベートフォルダのパスワードを入力します。
5. [OK] をクリックします。



開かれているプライベートフォルダの内容は、そのフォルダを閉じるまで表示されます。コンピュータから離れる可能性があり、他の人にそのプライベートフォルダを見られたくない場合には、フォルダを閉じてから席を外すように気をつけてください。

プライベートフォルダを閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [プライベートフォルダ] ペインのヘッダーにある [閉じる] ボタンをクリックします。
- [ファイル] > [最後まで] をクリックして、ACDSeeを最後までします。プライベートフォルダが自動的に閉じられます。

プライベートフォルダにファイルを追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベートフォルダを開きます。
2. [プライベートフォルダ] ペインの [プライベートフォルダ] アイコンに該当ファイルをクリックして、ドラッグします。警告メッセージが表示されます。
3. [はい] をクリックして、プライベートフォルダにファイルを移動します。



ファイルやフォルダをプライベートフォルダに追加すると、それらのファイルはシステムのオリジナル場所から削除され、パスワード保護されたプライベートフォルダに追加されることになります。パスワードを忘れてしまうと、プライベートフォルダからファイルやフォルダを復元することはできません。覚えやすいパスワード、忘れにくいパスワードを選択するように気をつけてください。

プライベートフォルダに既存のフォルダとその内容を追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベートフォルダを開きます。
2. [プライベートフォルダ]ペインの[プライベートフォルダ]アイコンに該当ファイルをクリックして、ドラッグします。
3. [はい]をクリックして、フォルダとその内容をプライベートフォルダに移動します。

プライベートフォルダからフォルダやファイルを復元するには:

1. 復元したいファイルやフォルダを含んでいるプライベートフォルダを開きます。
2. フォルダまたはファイルを選択し、[ファイル] > [プライベートフォルダから復元する]をクリックします。
3. [参照] ボタンをクリックして、フォルダまたはファイルの移動先フォルダを参照し、[OK] をクリックします。
4. [OK]をクリックします。



この操作により、ACDSee 究極は指定された場所にプライベートフォルダのフォルダまたはファイルを移動します。これで、コンピュータにアクセスできる全ユーザーが、これらのフォルダやファイルを見ることができます。

プライベートフォルダ、またはプライベートフォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには:

1. 削除したいファイルやフォルダを含んでいるプライベートフォルダを開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - プライベートフォルダを削除するには、[プライベートフォルダ]アイコンを右クリックし、[削除]を選択します。
 - プライベートフォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには、削除したいフォルダやファイルを右クリックし、[削除]を選択します。

警告メッセージが表示されます。
3. [はい]をクリックしてプライベートフォルダとその内容を削除する、あるいはプライベートフォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除します。



プライベートフォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除する場合、細心の注意が必要です。プライベートフォルダからフォルダやファイルを削除すると、これらは完全に破壊されます。プライベートフォルダからこれらを移動したい場合には、コンピュータの保護されていない場所に移動して復元するようにしてください。

画像またはファイルにタグを付ける

画像にタグを付けて、特定の特性を識別することができます。これは、あるイベントの最高の写真やレビューしたい画像を識別することもできます。これと同じ方法を使用して、ドキュメントやその他のファイルを整理および分類できます。

サムネイルの右下に、タグ付けチェックボックスがあります。このチェックボックスをオンにして、写真またはドキュメントのタグの設定と解除を切り替えます。タグをつけた写真は、このチェックボックスのチェックマークを解除しない限り、タグが付いたままの状態になります。

カタログペインのスペシャルアイテムにある[タグ付き]をワンクリックするだけで、タグの付いたすべての写真またはファイルを表示することができます。カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、写真やファイルをまとめて管理することができます。



タグは、画像やファイルを区別する一時的な手段として意図されています。画像やファイルを移動したり、カテゴリや重要度を適用する操作が完了したら、タグをクリアするようにします。長期間にわたって画像やファイルを管理したり、グループ分けするためには、カテゴリと重要度を使用したほうが効果的です。

選択した画像やファイルにタグを付けるには:

- キーボードショートカット \ バックスラッシュキーを使用してタグを適用します。
- サムネイルの右下にあるチェックボックスをオンにします。
- 1 つまたは複数のサムネイル上を右クリックして、[タグ] を選択します。
- プロパティペインで [メタデータ] タブの左上隅にある [タグ] のチェックボックスのチェックをオンにします。

選択した画像やファイルのタグを解除するには:

- キーボードショートカット \ バックスラッシュキーを使用してタグを適用します。
- プロパティペインで [メタデータ] タブの左上隅にある [タグ] のチェックボックスのチェックを外します。

タグのついたすべての画像やファイルからタグを解除するには:

1. [カタログ] ペインの [タグ付き] をクリックして、タグの付いたすべてのファイルをファイル一覧に表示します。
2. キーボードショートカットの **Ctrl + A** キーを押して、すべてのファイルを選択します。
3. バックスラッシュキー \ をクリックしてタグを削除します。

タグのついた画像やファイルを表示するには:

管理モードで、[ペイン] から [カタログ] をクリックして、カタログ ペインを開き、[スペシャル アイテム] セクションの [タグ付き] をクリックします。

タグの付いた写真やファイルがすべて、ファイル一覧ペインに表示されます。

表示モードで画像またはファイルにタグを付けるには:

以下のいずれかの操作を行います。

- 表示モードで、ステータスバーの右下にあるチェックボックスを選択します。
- 表示モードで、[ペイン] から [プロパティ] をクリックして、プロパティペインを開き、[メタデータ] タブをクリックして、左上隅にある [タグ付き] のチェックボックスをオンにします。

画像の比較中にタグを付けるには:

1. [比較リスト] で、該当画像のサムネイルの右下にあるチェックボックスをオンにします。
2. [OK] をクリックします。[画像の比較] を閉じます。該当画像のチェックボックスにチェックマークが付いているか確認します。

自動カテゴリからIPTC キーワードを削除する

ACDSee 究極 データベースから、使用していない IPTC キーワードを削除することができます。一度削除すると、IPTC キーワードは、カタログ ペインの画像プロパティの自動カテゴリリストのキーワード (IPTC) から削除されます。



このプロセスは [補充 カテゴリ] フィールドにも適用されます。このフィールドは、[ツール] > [オプション] > [プロパティ ペイン] で **メタデータ表示の管理** ボタンをクリックし、[表示するメタデータの選択] ダイアログボックスで選択されている場合のみ表示されます。

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除するには:

1. 管理モードで、IPTC をサポートしている画像を選択します。
2. プロパティペインが表示されていない場合は、[ペイン] > [プロパティ] をクリックします。

3. 次を実行して、画像が書き込み可能かを確認します：

- [ファイル] タブを選択して [読み取り専用] にチェックマークがあるか確認します。
- [読み取り専用] にチェックマークが付いている場合、その画像に書き込むことはできません。[読み取り専用] チェックマークをオフにして、ファイルを書き込み可能にします。

4. [メタデータ] タブの [IPTC] セクションで、 [キーワード] フィールドの横にあるキーワードピッカーボタンをクリックします。

5. [IPTCキーワードの選択] ダイアログボックスで、[リストの編集] をクリックします。

6. 値リストから削除したいキーワードを選択します。



複数のキーワードを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらキーワードをクリックします。

7. 削除をクリックします。

8. [OK] をクリックします。

9. もう一度 [OK] をクリックして確認します。



使用されていないキーワードのみをリストから削除できます。キーワードに関連付けされている写真を検索するには、カタログページの自動カテゴリリストで画像プロパティにリストされているキーワードをクリックします。

画像プロパティの日時を変更する

「更新日時の一括変更」ツールを使用して、管理モードや表示モードで表示される1つ以上の画像ファイルのプロパティの日時を変更することができます。

ファイルプロパティの日付けと時間を変更するには：

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで画像を一つ以上選択し、[ツール] から [一括] として [タイムスタンプの調整] を選択します。
 - 表示モードで、[ツール] から [修正]、[画像のタイムスタンプを調整] をクリックします。
- 「変更する更新日時を選択する」タブで、次のオプションを選択します。

変更する日付

EXIF日時	オリジナルの EXIF 日時	画像がキャプチャされたオリジナルの日時です。
	デジタル化された EXIF日時	画像がデジタル画像に変換された日時です(通常オリジナルと同じになります。)
	EXIF日時	画像の最終更新日時です。
ファイルの最終更新日時		画像またはファイルが最後に編集された日時です。例えば、画像の編集や、メタデータへの更新を行った日時などです。
ファイルの作成日時		ファイルが作成されたオリジナルの日時です。
ACDSeeデータベースの日付と時刻		ACDSeeデータベース上で記録されている日付と時刻です。

3. [アドバンスオプション] タブで、以下で解説する[画像のタイムスタンプを調整]ツールのオプションを選択し、[次へ]をクリックします。

アドバンスオプション

既定値を使って変換を開始する	新規の更新日時オプションに既定値を使用します。画像の日付と時刻の変更を開始するには、[タイムスタンプを調整]をクリックします。
完了後ウィザードを自動的に閉じる	手順が完了次第、[画像のタイムスタンプ調整]ウィザードを閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回更新日時を変更する際に使用します。

4. 「新規の更新日時を選択する」のページで、次のいずれかのオプションを選択します。
- 別の日付と時刻を使用: 選択した日付と時刻を、同じファイルの別のタイムスタンププロパティに置き換えます。[日付と時刻の選択]ドロップダウンリストから、使用したいファイルプロパティを選択します。
 - 特定の日付と時刻を使用する: 各ファイル内の選択されたタイムスタンプを特定の日付と時刻に変更します。[日付と時刻]フィールドのタイムスタンプに新規の日付と時刻を入力します。
 - 新規の開始日時に変更する: 最も古いタイムスタンプを特定の日付と時刻に置き換え、以降のタイムスタンプすべてをその日付と時刻に合わせてずらしします。[日付と時刻]フィールドで最も古いファイルのタイムスタンプを指定します。
 - 日付と時刻を指定した時間数分ずらす: すべてのタイムスタンプを特定の時間数分、前後にずらしします(タイムゾーンに合わせて調整します)。[早い時間にシフト]または[遅い時間にシフト]を選択し、[時間]、[分]、[秒]のスピニングボックスに数値を入力します。
5. [タイムスタンプの調整]をクリックして、ファイルの調整を開始します。
6. ウィザードが終了したら、[完了]をクリックして ACDSee に戻ります。

ファイルを別のコンピュータにバックアップする

[同期]ウィザードを使用すると、ローカルハードドライブにエラーが発生した場合に備えて、ファイルを同期したコピーを作成できます。これはバックアップとも言われます。このウィザードでは、ネットワーク、リモートコンピュータ、外部ハードドライブに保存されているローカルフォルダを同期することができます。さらに、同期名の指定、同期を実行する際の設定、同期スケジュールの設定、既存の同期の編集 / 削除などのオプション設定が可能です。

❗ ファイルを新しい保存場所にコピーすると、[同期]ウィザードではデータベースのバックアップは作成されません。ファイルとデータベース情報を一緒にバックアップするには、[ACD データベース バックアップ ウィザード](#)を使用します。

同期ファイルを作成するには:

- [管理]モードで、[ファイル]>[同期]>[同期を作成]をクリックします。
- [よろこ]ページで、準備ができたなら[次へ] ボタンをクリックして続行します。
- 「同期オプション」のページで次を実行します。
 - [ソースフォルダ] フィールドで、コピーしたいファイルがあるフォルダを指定します。
 - [バックアップの保存先]フィールドで、ネットワークドライブやリモートコンピュータまたは外付けハードドライブにあるフォルダを、バックアップファイルの保存先として指定します。

- **[オプション]** エリアで、同期がエラーとログを処理する方法を指定します。
 - **[確認]** エリアで、同期が重複ファイルを処理する方法を指定します。
 - 準備ができたら**[次へ]**をクリックして続行します。
4. 「同期スケジュール」のページで次を実行します。
- **[名前]** テキストボックスに、同期の名前を入力します。
 - **[スケジュール]** エリアで、同期を今すぐ実行するか、同期のスケジュールを設定するかを指定します。
 - ウィザードを完了するには、**[完了]**をクリックします。



スケジュール: パスワードのないアカウントでは、スケジュールは設定できません。スケジュールを設定するためには、ご利用のアカウントにパスワードを設定する必要があります。空白のパスワードは無効です。1文字以上を含むパスワードを作成してください。

同期を更新または削除する

ACDSeeから、同期設定を変更したり、定期的に同期を実行するスケジュールを設定したり、同期を削除したりすることができます。

既存の同期ファイルを更新または削除するには:

1. **[管理]** モードで、**[ファイル]>[同期]>[同期を編集]**をクリックします。
2. **[既存の同期]** ダイアログ ボックスで、一覧から同期を選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 同期のスケジュールを設定するには、**[スケジュール]**をクリックします。同期を実行する頻度を指定したら、**[OK]**をクリックします。
 - 設定を調整するには、**[編集]**をクリックします。「同期の編集」のダイアログ ボックスで、コピーしたいファイルを含むフォルダと、ファイルの保存先となるネットワークドライブ、リモートコンピュータ、または外部ドライブ上のフォルダを設定します。**[オプション]** エリアで、同期時のエラーやログの対処方法についての設定を更新します。**[確認]** エリアで、同期が重複ファイルを処理する方法についての設定を更新します。設定が完了したら、**[OK]**をクリックします。
 - 同期の名称を変更するには、**[名前の変更]**をクリックします。同期の新規名称を入力し、**[OK]**をクリックします。
 - 同期を削除するには、**[削除]**をクリックします。
4. **[閉じる]**をクリックします。

保存されている同期を起動する

スケジュールが定期的に設定されている場合でも、一度同期を作成したら、いつでも起動することができます。

保存されている同期を起動するには:

管理 モードから、**[ファイル]>[同期]** をクリックし、実行したい同期の名称を選択します。

フォトマージを使って結合する

フォトマージは、HDR、フォーカスタッキング、パノラマステッチングのホームベースです。

フォトマージにアクセスするには:

1. 次のいずれかを行います。
 - [処理] をクリックし、[フォトマージ] を選択 する
 - Ctrl+Alt+M キーを押 す
 - 選択したアイテムを右 クリックし、[処理] をクリックしてコンテキストメニューから [フォトマージ...] を選択 する。
2. 表示 されたボックスで、右側でパノラマ、HDR、およびフォーカスタックの間 で選択 できます。次の画面に進む前に、ダイアログボックスに追加 または削除 してください。



2つ以上の写真を選択し、すべての画像が同じサイズである必要があります。



生成されたパノラマの画像の最大ピクセル寸法は16000 x 16000です。

オプションの設定

それぞれのダイアログ ウィンドウの左下隅に[オプション] ボタンがあります。

出力ファイル形式:

ここでは、出力 ファイルタイプを選択 できます。

出力先:

画像出力を置く場所を選択 します。

ファイルオプション:

メタデータまたはデータベース情報が最終画像に保持 されるかどうかを選択 します。

フォーカスタッキングによるマージ

を使用 することで、異なる焦点距離の画像を組み合わせてすることができます。複数の画像を焦点のある領域が異なるものとして組み合わせることで、深いフィールドで新しい画像を作成 することができます。

マネージモードでフォーカスタッキングを使用するには:

1. ファイルリストペインで画像を選択 します。
 - ! 選択した画像はすべて同じサイズである必要があります。
2. 次のいずれかを行います。
 - 「処理」|「フォーカスタッキング...」を選択 します。
 - Ctrl+Alt+Sを押 します。
 - 選択したものを右 クリックし、コンテキストメニューから「処理」|「フォーカスタッキング...」を選択 します。
 - 右側のオプションから「処理」|「フォトマージ」|「フォーカスタッキング...」を選択 します。
 - 右側のオプションからCtrl+Alt+M |「フォーカスタッキング...」を選択 します。
3. プレビューが表示 されます。結果に満足したら、[マージ]を押して確認 します。

❗ 大きな画像でフォーカスタッキングを実行する場合、多くのメモリを必要とします。

❗ フォーカスタッキングでは最大50枚の画像が許可されています。

❗ フォーカスタッキングを1つのレイヤーで実行することはできません。

HDR画像の作成

ハイダイナミックレンジ・イメージング (HDR) とは、異なる露光量の画像のシリーズを組み合わせ、最適な全体的なレンジの画像を作成するデジタル画像処理の技術です。HDRツールを使用すると、より高いダイナミックレンジの光度を持つ新しい画像を作成できます。理想的には、HDRツールで使用する画像は、ハイライトとシャドウのバランスの良いレンジを含める必要があります。最良の結果を得るための追加のヒントについては、以下を参照してください。

HDRの撮影

次の手順に従って撮影すると、高品質の結果を得やすくなります。

- シャッタースピードを変えて露光を変化させます。ただし、絞り設定を変更すると、深くなった絞りで品質が低下する可能性があります。同様に、ISOまたは絞りを変えると、ノイズやビネットが生じる可能性があります。ISOを最低値に設定します。
- 通常、カメラのオートブラケット機能は使用せず、露光量が十分でない可能性があります。
- 撮影しているシーンにはモーションが含まれていないようにします。HDRは露光量の変化を伴う同じシーンのスナップショットで行います。
- 三脚を使用して、カメラを安定させます。
- カメラのタイマーを使用して、カメラのふらつきを防ぎます。
- 画像の間のフォーカスとズームを一定にします。
- JPEGよりもRAWを使用します。これにより、より広いレンジと柔軟性が得られます。
- 最も暗い露光では、深いシャドウに詳細があることを確認します。
- 最も明るい露光では、画像のどの部分も白飛びしていないことを確認します。
- セットの画像が「バランスのとれた」ものであることを確認します(すなわち、セットの中間の画像がよく露出しているもの)。
- 表の下に示す建議より多くの画像を使用すると、不適切なアライメントやゴーストの影響で不要なアーティファクトが生じる可能性があります。

カメラブラケット設定	HDR画像を作成するための最適な露光量の数
-1.0 to +1.0	3
-2.0 to +2.0	5
-3.0 to +3.0	7

HDR 画像をマネージモードで作成する方法:

1. ファイルリストペインで画像を選択します。

❗ 選択した画像は同じサイズでなければなりません。

2. 以下のいずれかを行います。

- 「処理」|「HDR...」を選択します。
 - 「Ctrl + Alt + H」を押します。
 - 選択したものを右クリックして、コンテキストメニューから「処理」|「HDR...」を選択します。
 - 「処理」|「フォトマージ」|「HDR...」を右側のオプションから選択します。
 - 「Ctrl + Alt + M」|「HDR...」を右側のオプションから選択します。
3. HDRダイアログで、プリセットドロップダウンメニューからプリセットを選択し、「マージ」を押します。



独自のプリセットを作成するには、[アクションブラウザー](#)の 카테고리「HDRプリセット」の下でアクションを作成します。これらはHDRダイアログのプリセットドロップダウンメニューで利用できるようになります。

4. プレビューが表示されます。結果に満足したら、「マージ」を押して確認します。



大きな画像にHDRを実行すると、多くのメモリーを必要とします。



HDRを実行する際の最大画像数は50枚です。

パノラマ作成(パノラマステッチング)

パノラマステッチングを使用して、一連の側面画像を組み合わせてすることができます。複数の側面画像を組み合わせて、新しい単一画像を作成できます。

パノラマ画像の作成方法:

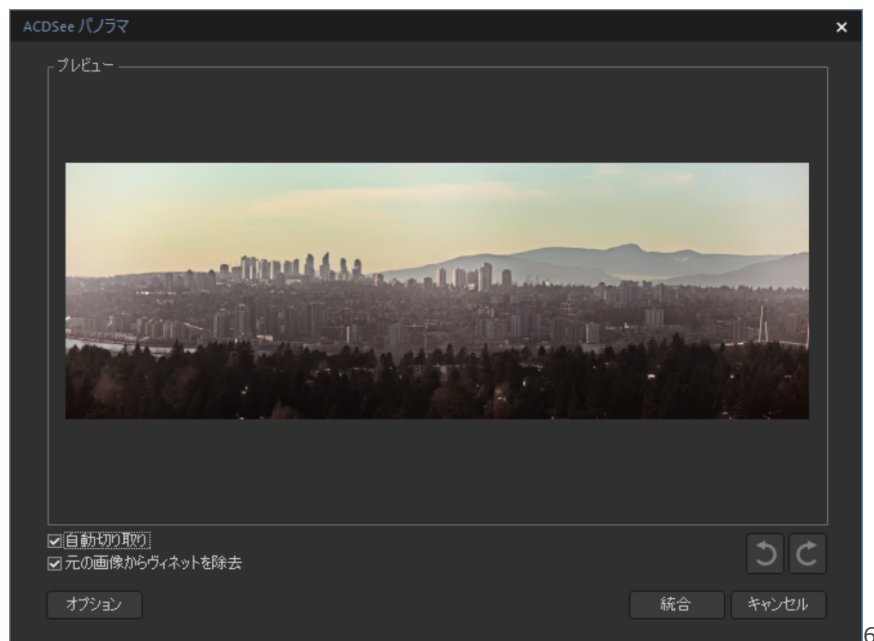
1. ファイルリストペインで画像を選択します。



選択した画像は、同じサイズである必要があります。

2. 次のいずれかを行います。

- 処理 | パノラマ...を選択します
- [Ctrl + Alt + P]を押します。
- 選択した項目を右クリックし、コンテキストメニューから処理 | パノラマ...を選択します。
- 処理 | フォトマージ | パノラマ...を右側のオプションから選択します。
- [Ctrl + Alt + M] | パノラマ...を右側のオプションから選択します。



パノラマプレビュー画像が生成されたら、オートクロップまたはヴィネットを削除できます：

- オートクロップ：画像の端を自動的に切り取って、滑らかな長方形にします。



端の少しの重要な部分が削除される可能性があります。

- ソース画像のヴィネットを削除：画像間のシームを綺麗にするため、ヴィネットを削除します。
- 右側の矢印ボタンを使用して、画像を時計回りまたは反時計回りに回転できます。

3. 「マージ」をクリックして、パノラマ出力を生成します。

1 回の処理で複数のパノラマ画像を作成できます。出力にパノラマを含めるには、プレビューの右下隅のチェックボックスをクリックしてください。



生成されるパノラマ画像の最大ピクセルサイズは **16000 x 16000** です。



パノラマコマンドは、すべてのマスク、テキストレイヤー、調整レイヤーを無視します。



大きな画像上でパノラマステッチングを実行するには、多大なメモリが必要になります。



パノラマステッチングを実行するときには、最大 **50 枚** の画像しか使用できません。

ACDSee 究極で検索

ACDSee 究極 では、様々な方法でファイルやフォルダの検索をすることができます。「検索ペイン」では、ファイル名、キーワード、画像プロパティを検索条件として絞り込み検索することができます。また、特定の日付や重要度に該当するファイルを検索し、その検索条件に名前を付けて保存し、後で再度利用することも可能です。「重複の検索」機能を使用して重複するファイルを検索、また管理することもできます。

比較的シンプルな検索をする場合には、クイック検索バーを使ってファイルやフォルダを検索したり、特定の名前やキーワードを指定してデータベース内を検索することができます。クイック検索バーをカスタマイズして、特定の項目やデータベースの特定情報だけで検索することができます。

「カタログ ペイン」には、ハードディスク上のすべての画像や、カタログ化されていないフォルダ内のファイルをすばやく表示することのできる機能が搭載されています。多数の画像から検索するような場合、「ブラウズ検索 ペイン」を使用すれば、ファイル一覧ペインに表示したい画像の検索条件を絞り込むことができます。

クイック検索バーを使用する

管理モードでは、クイックサーチバーを使用して、すばやくファイルまたはフォルダを検索することができます。クイックサーチオプションを使用して検索を絞り込んだり拡大したりし、ファイルリストペインで結果を表示することができます。

このアイコン  をクリックすることで、クイックサーチが現在のファイルリストのファイルのみを検索するか、またはデータベース全体を検索するかを選択できます。

クイック検索を実行する場合、検索を実行するタイプをクリックすることで、クイックサーチフィールドの右側にある拡大鏡アイコン  をクリックすることで選択できます。

検索タイプは、**デリミター**、**演算子**、またはなしを使用します：

- **デリミター**は、コンマとスペースです。デリミターを使用する検索タイプは、コンマまたはスペースで検索語を区切ります。
- **スタートウィズ** と **エンドウィズ** は、何も分離しません。入力されたすべてのテキストはリテラルです。例：猫、犬は、コンマとスペースを含めた「猫、犬」を検索します。
- クラシッククイックサーチでは、+、-、|、およびスペース(+と同じ方法で扱われます)の演算子を使用します。

クイック検索タイプ：

検索タイプ	結果	区切り文字	例
単語 任意	検索条件内で指定されたいずれかの語句を含むアイテムの検索。サブストリング検索を含む。	区切り文字	猫, イヌ は、猫またはイヌまたはその2つの組み合わせのいずれかを含む全ての結果を返します。サブストリング検索を含むため、例えば猫を検索するとネコを含む単語(例: カタロ)の結果も表示されます。
単語 どれか	検索条件内で指定された全ての語句を含むアイテムの検索。サブストリング検索を含む。	区切り文字	猫, イヌ は、猫 とイヌの両方を含む全ての結果を返します。
単語 すべて	検索条件内で指定された単語を含むアイテムの検索。	デリミタ	猫, イヌ は、猫およびイヌという単語全体を含むすべての結果を返します。
含まない	検索条件内に指定された語句のいずれも含まない項目を検索します。サブストリング検索も含まれます。	デリミタ	猫, イヌ は、猫またはイヌという検索語句を含まないすべての結果を返します。
先頭に	検索条件内で指定された文字で始まるすべての項目を検索します。サブストリング検索も含まれます。	なし	猫 は、猫で始まるすべての結果を返します。これには検索語句を含む結果も含まれます (catalog など)。
末尾に	検索条件内で指定された文字で終わる項目を検索します。サブストリング検索も含まれます。 ご注意: ファイル名を検索する場合は、ファイル拡張子を必ず含める必要があります。	なし	Sing は、Singで終わるすべての結果を返します。これに

検索タイプ	結果	区切り文字	例
			は、「rising」のような指定された用語で始まらない結果も含まれます。 Sing.jpg は、Sing.jpgで終わるすべての結果を返します。これは、.jpgの拡張子を含むsingのみの結果が返されることを意味します。
クラシック クイック サーチ	ACDSeeの旧式のクイックサーチエンジンを使用して項目を検索します。ファイル名を検索する場合、検索は「スタートウィズ(で始まる)」検索スタイルを使用します。他の検索フィールドは全ての単語を検索します。 演算子: +: 両方の検索語句を含むすべての項目を検索します。片方のみを含む項目は除外されます。スペースも + 演算子として扱われます。 -: 最初の検索語句を含むすべての項目を検索し、二番目の語句を含む項目を除外します。 : 検索要素のいずれかを含むすべての項目を検索します。	演算子	猫 -犬 は、犬を含まない猫を含むすべての項目を返します。マイナス記号の前にスペースを挿入してください。スペースを挿入しない場合、ACDSee 究極は、ハイフンで区切られた単語を検索しているとみなしま

検索タイプ	結果	区切り文字	例
			す。 猫 犬 は、猫または犬を含むすべての項目を含みます。 猫+犬+-子猫 は、猫と犬を含み、子猫も含む項目を除くすべての項目を返します。 猫+犬 または猫犬は、猫と犬を含む項目を返します。 猫+犬 子猫 は、猫と犬を含み、子猫も含む項目を含めるものです。

クイックサーチを実行する:

次のいずれかを行ってください:

1. クイックサーチバーに、検索したい用語または用語の一部を入力します。
2. クイック検索フィールドの横のドロップダウンリストをクリックし、以前入力した検索用語を選択します。



キーボードショートカット **Ctrl + F** を使用して、クイック検索バーにフォーカスを移し、すぐに入力を開始できます。

検索に含まれるフィールドを選択する:

- [ツール] | [オプション] を選択します。
- [管理モード] で [クイック検索] を選択します。
- 検索に含まれるか除外されるかを切り替え、[OK] を選択します。

高度な検索パネルを使用する

ファイルとフォルダを検索するために高度な検索パネルを使用できます。ファイル名、テキスト文字列、メタデータフィールド、ファイルプロパティ、画像属性など、さまざまなオプションで検索できます。また、ファイル名パターンを検索して重複するファイルを見つけることもできます。

さらに、検索を保存して名前を付けることができます。検索プリセットは、高度な検索パネルとカタログパネルにリストされています。高度な検索パネルでは、ドロップダウンリストから検索プリセットを選択して再度実行できます。カタログパネルでは、検索プリセットが自動カテゴリの下にリストされています。検索プリセットの名前をクリックするだけで再度実行できます。



高度な検索パネルでは、**ACDSee 究極** データベースにカタログ化されていないフォルダの検索結果を返しません。ブラウズしてフォルダにアクセスすると、自動的にカタログ化されます。また、**ツール | データベース | ファイルをカタログ化** をクリックすることもできます。

高度な検索パネルを開くには:

管理モードで、**パネル | 高度な検索** をクリックします。

高度な検索パネルエリア

高度な検索パネルには、検索を管理するのに役立ついくつかのエリアがあります。検索を作成する際は、検索ツールが指定したすべての条件を満たすファイルのみが返されることを覚えておく必要があります。

検索プリセット

検索プリセットエリアでは、後で使用するための複雑な検索を保存したり、既存の検索を再度実行したり、検索プリセットを削除することができます。

検索プリセット

検索プリセットがある場合、このドロップダウンリストにリストされています。これを選択して再度実行できます。パネルの下部で **開始** をクリックすると、検索結果がファイルリストパネルに表示されます。

検索プリセットは、カタログパネルにもリストされています。検索プリセットの名前をクリックするだけで再度実行できます。

検索プリセットを保存する



「保存」 アイコンをクリックします。検索プリセットダイアログが開いたら、検索に名前を付けます。説明的な名前を使うと、検索プリセット内の条件をより簡単に記憶できます。

検索プリセットを削除する



ドロップダウンリストから検索を選択し、**「削除」** アイコンをクリックします。プロンプトが開いたら、**「はい」** をクリックして削除を確認します。

ソース

ファイルを検索するとき、3つの異なるソース位置から検索できます:

データベース	「データベース」ソースを使用した検索では、フォトスタジオに登録されたファイルが検索対象となります。
フォルダ	「フォルダ」ソースを使用した検索では、一つ以上のフォルダ内のファイルが検索対象となります。フォルダを一つ以上選択するか、「現在のフォルダに同期」を選択することで、フォルダベインで選択中のフォルダが検索対象となります。
現在の表示	「現在の表示」ソースを使用した検索では、フォトスタジオの現在選択中のファイルリスト内のファイルが検索対象となります。これには、フォルダを一つ以上含んだり、カタログベインから異なるメタデータを含んだり、前回の検索の結果を含むこともあります。

基準

多岐にわたる基準やファイル形式から選択可能です。ヘッダーにある「ファイルタイプセクター」ボタンを押すと、検索可能なさまざまなファイル形式のメニューが開きます。

+ ボタンを押すと、「基準ピッカー」が表示され、検索可能な基準のフルリストが表示されます。左側の基準をクリックすると、右側に追加されます。右側に追加された基準は上下移動したり、と/又はの状態を変更したり、削除ボタンで削除したりできます。OK ボタンをクリックすると、選択した基準を「高度な検索」ベインに反映します。ほとんどの基準は単一のメタデータフィールドを検索するため、細かな検索が可能です。基準はそれぞれ、高度な検索ベインにと/又はの状態を表示するボタンによって区切られており、そのボタンをクリックすると、とと又はの間で状態が切り替わります。

詳細情報や例については、「[高度な検索ベインでの基準の選択](#)」を参照してください。



「高度な検索」ベインに基準が追加されたら、多くの場合に「ギアアイコン」が表示されます。ギアアイコンをクリックすると、検索をさらにカスタマイズできる追加の方法が提供されます。

履歴

「高度な検索」が実行されると、アクティビティマネージャーの「履歴」セクションに表示されます。「履歴」内の「高度な検索」エントリをクリックすると、検索条件が事前にロードされた状態で「高度な検索」ベインが開きます。詳細については、「[アクティビティマネージャー](#)」を参照してください。

オプション

フォルダの処理

検索結果を返すときのフォルダの処理方法を選択できます：

それらのフォルダを返す	検索条件を満たすフォルダーを返します
これらのフォルダーとその内容を返します	検索条件を満たすフォルダとその内容を返します
それらのフォルダーの内容のみを返します	フォルダ自体は表示せずに、検索条件を満たすフォルダの内容を返します



この設定に関係なく、検索では常に検索条件を満たすファイルが返されます。

高度な検索パネルでの選択基準

高度な検索パネルを使用すると、ACDSeeのメタデータ、IPTC、EXIF、その他のファイル情報から大量の選択基準を検索できます。一般的に使用される基準とその他のデータ型の例については、以下の表を参照してください。

データ型	定義と例	
ファイル名	ファイル名またはフォルダー名でファイルを検索します。パターン一致以外のすべての検索タイプでは、検索キーワードをセミコロンで区切ることができます。各検索フィールドで いずれかを含む または すべてを含む を選択して、検索キーワードの処理方法を決定できます。いずれかを含む は、検索キーワードのいずれかが含まれるアイテムを検索し、すべてを含む は、検索キーワードのすべてが含まれるアイテムを検索します。ファイル名検索では、検索履歴が保存されます。上矢印キーと下矢印キーを使用して履歴からオートコンプリートの候補を選択し、ENTER または TAB キーを押して選択した候補を入力します。ワイルドカードを使用するには、検索タイプを [パターン一致] に変更してください。	
ワイルドカード	結果	例
?	ファイル名内の任意の1文字を表します。	ca?.jpg は、 cat.jpg 、 cap.jpg 、 car.jpg を結果としますが、 cats.jpg は結果にはなりません。
*	ファイル名内の0文字以上の任意の文字を表します。	cat* は、 cat.jpg 、 cats.jpg 、 cathy.jpg を結果とします。
[...]	記号の間のいずれかに一致します。	ca[tr] は cat.jpg または car.jpg に一致しますが、 cap.jpg には一致しません。
[!...]	記号で囲まれていない任意の文字に一致します。	cat[!0] は cata.jpg と catb.jpg に一致しますが、 cat0.jpg には一致しません。
[...-...]	指定された範囲内の任意の文字に一致します。	cat[a-f0-9] は cata.jpg 、 catb.jpg 、 catf.jpg 、 cat0.jpg 、 cat1.jpg 、...、 cat9.jpg に一致します。
\	他のワイルドカード文字(例えば、[] の場合)を使うことをブロックします。ファイル名で*や?は使えないため、この機能はそれらとは使いません。	ワイルドカードとしての[]を使う場合は、バックスラッシュで先頭につける必要があります: ACD\[123\] は、 ACD[123].gif となります。
 パターンは大文字小文字を区別しません。複数のパターンを使う場合は、スペースまたはセミコロンで区切ってください。スペースやセミコロンを含むパターンをマッチさせる場合は、パターンをダブルクォーテーションで括ってください。*ワイルドカードをパターンに含めない場合は、サブストリ		

データ型	定義と例
	 ングとしてマッチさせます。例えば、 cat は cat 、 cathy 、 bobcat にマッチします。それは、 *cat* と同等です。
テキスト	いくつかの一般的なフィールドに対する文字列ベースの検索。AIキーワード、キーワード、カテゴリ、人物、ラベル、キャプション、メモのいずれかまたはすべてから選択します。検索履歴は テキスト 検索に対して保存されます。 上 と 下 矢印キーを使用して履歴から別のオートコンプリート候補を選択し、 入 るまたは た れを押します。> 選択した提案を入力します。
人物、AIキーワード、キーワード、およびカテゴリ	文字列とルックアップリストの検索の組み合わせです。バリューピッカーを開いて、データベースから値を選択するか、テキストフィールドにカスタム文字列を入力してください。検索語句はセミコロンで区切ることができます。
評価	検索したい評価を選択してください。
ラベル	検索したいラベルを選択してください。あなたのラベルセットの中から、または テキスト検索 に変更してカスタム値を検索してください。
文字列	セミコロンで区切られたテキスト文字列を検索します。例: 製造元
日付/時刻	日時を検索します。精度を日または秒に設定します。例: 日時 オリジナル
ルックアップリスト	値ピッカーから1つ以上の値を選択します。例: 画像タイプ
整数	整数を検索します。例: ISO
有理数	分数または小数として有理数を検索します。例: F ナンバー



検索語をセミコロン(;)で区切るときは、2つのセミコロン(;;)を使用してリテラルセミコロンを検索できます。

ブラウズ検索を使用する

ブラウズ検索ペインは、特定のフォルダ、カタログ分類、特定の日付に該当するファイルをすばやく検索してファイル一覧ペインに表示することができます。ブラウズ検索の範囲を設定して、ファイル一覧ペインにファイルを含むあるいは除外し、ブラウズしたいファイルのみを表示します。

ブラウズ検索を最大限に活用するには、[ACDSee 究極 データベース](#)のファイルを[カタログ](#)化して[整理](#)することをお勧めします。ブラウズ検索はファイルの情報が多ければ多いほど便利な機能です。

ブラウズ検索を使用するには:

[表示]から[ブラウズ検索]をクリックして、[ブラウズ検索]パネルを開きます。このパネルはファイル一覧ペインの左側に表示されます。

ブラウズ検索ペインで検索範囲を設定する

[ブラウズ検索]パネルは、フォルダ、カタログ、カレンダーの3つの領域に分かれています。各領域は、同じ名前の管理モードペインに対応しています。[ブラウズ検索]パネルを開くと、ファイル一覧ペインの[コンテンツバー]が現在の検索条件すべてを一覧表示する[ブラウズ検索バー]に置き換えられます。

ブラウズ検索パネルの検索範囲にフォルダ、日付の範囲、整理方法を追加すると、ACDSee 究極は検索範囲と一致しないファイルを除外します。検索範囲にアイテムを追加または削除することで、検索結果を絞り込むことができます。

ブラウズ検索ペインの検索範囲にアイテムを追加するには:

ブラウザ検索 パネルを開き、次のいずれかの操作を行います。

- [フォルダ ベイン](#) から、フォルダを一つ以上選択します。
- [カタログ ベイン](#) から、カテゴリを一つ以上選択し、必要に応じて重要度も選択します。
- [カレンダー ベイン](#) から日付の範囲を一つ以上選択します。

ブラウザ検索 パネルの検索範囲にアイテムが追加されるたびに、ACDSee 究極はデータベースのフォルダから、検索範囲と一致するファイルを検索し、ファイル一覧ベインに表示します。表示されたファイルはACDSee 究極で自由自在に編集、共有、移動、表示することができます。

以下のように、ブラウザ検索 パネルの検索範囲を設定し直すこともできます。

- 選択した条件をブラウザ検索 パネルから削除するには、削除したい条件を右クリックして[**対象から削除**]を選択します。
- 検索範囲から特定の種類の条件をすべて除外するには、一覧の上にあるバーをクリックして[**検索範囲に含む**]をオフにします。例えば、一覧にしたフォルダを対象から除外するには、[**フォルダ**]バーをクリックして[**対象に含む**]をクリックします。ブラウザ検索 パネルの検索範囲にはフォルダが表示されたままですが、検索結果として表示されません。
- 特定の種類の条件すべてを削除するには、一覧の上にあるバーをクリックして[**すべてクリア**]を選択します。

ブラウザ検索 パネルのカテゴリでは、検索範囲に指定されているカテゴリのいずれかと一致するファイルが表示されるように、既定で設定されています。特定のカテゴリのファイルだけを表示するには、検索範囲を設定し直します。動作を切り替えるには、カテゴリの上にあるバーを右クリックして[**部分一致**]または[**完全一致**]を選択します。

ブラウザ検索 を使用 する際の ヒント

ブラウザ検索 パネルに検索条件を追加すると、検索したいファイルにその属性が含まれた条件となります。例えば、フォルダベインからフォルダを選択すると、ACDSee 究極 は、そのフォルダ内にあるファイルのみをファイル一覧ベインに表示します。カタログベインの「重要度」を選択すると、ACDSee 究極は、その重要度が適用されているファイルのみをファイル一覧ベインに表示します。

ブラウザ検索 の検索範囲を組み合わせて、検索範囲を絞り込むことができます。例えば、カテゴリとある特定の日付の範囲を選択すると、ACDSee 究極はその両方と一致するファイルのみを表示します。ACDSee 究極 は指定された日付の範囲に該当するファイルが存在しても、適切なカテゴリに適用されていない限りそれらを表示しません。あるいは、適切なカテゴリに適用されていても、指定された日付の範囲に該当しない場合にはそれらを表示しません。

ブラウザ検索 パネルを非表示にする

ブラウザ検索 パネルの[自動非表示]機能を使うと、ブラウザ検索 パネルを自動的に非表示にし、ファイル一覧ベインの作業領域を広げることができます。パネルが自動非表示に設定されている場合、パネルの外をクリックするとパネルがロールアップされ、パネルの端部のみが表示されます。パネルの端部にマウスポインタを合わせると、パネルが再度表示されます。

自動 カテゴリで検索 する

自動 カテゴリは、ファイルの検索に役立ちます。これは、たくさんの写真を撮る場合、または写真を他の人と共有する場合に特に便利です。

自動 カテゴリは[カタログ]ベインの[ラベル]のすぐ下に表示されます。プラスサイン(+)をダブルクリックまたはクリックして、自動 カテゴリのグループを展開します。マイナスサイン(-)をダブルクリックまたはクリックして、自動 カテゴリのグループを閉じます。

自動 カテゴリ情報の一部は、撮影したカメラによって画像に追加されます。例えば、カメラのメーカー名、モデル名、使用されたホワイトバランス設定、レンズ焦点距離、絞り値などがその例です。それらの情報だけでなく、画像を撮影した場所、キーワードや著作権など、補足情報を加えることもできます。これを行うには、プロパティベインで情報を手入力できます。

自動 カテゴリをクリックすると、ACDSee 究極 はそのカテゴリに属している画像を検索します。例えば、複数のカメラを持って撮影している場合、自動 カテゴリを使って特定のメーカーのカメラで撮影した写真を検索でき、そのカメラで撮影されたすべての画像が表示されます。

以下で、自動 カテゴリの検索ヒントをご紹介します。

よく使うカテゴリを識別する

【フォトプロパティ】で頻繁に使用する自動カテゴリがある場合には、【よく使うカテゴリ】としてそれらを追加して、検索時間を短縮することができます。デフォルトでは、【フォトプロパティ】グループの一部が【よく使うカテゴリ】のグループで使用できるように設定されています。【よく使うカテゴリ】には必要な数の自動カテゴリを追加できる他、使用しなくなった場合にはそれらを簡単に削除することができます。

【よく使うカテゴリ】に自動カテゴリのグループを追加するには：

1. 【フォトプロパティ】のグループを展開します。
 2. 【よく使うカテゴリ】に追加したい自動カテゴリのグループを右クリックし、【よく使うカテゴリに追加】を選択します。これで、該当のグループが【よく使うカテゴリ】に追加されます。
- 同様に、【フォトプロパティ】のグループでも表示されます。

【よく使うカテゴリ】から自動カテゴリのグループを削除するには：

1. 【よく使うカテゴリ】のグループを展開します。
 2. 【よく使うカテゴリ】から削除したい自動カテゴリのグループを右クリックし、【よく使うカテゴリから削除】を選択します。
- これで、該当のグループが【よく使うカテゴリ】から削除されます。

自動カテゴリ検索を絞り込む

複数の自動カテゴリを選択することで、自動カテゴリ検索の精度を上げることもできます。例えば、特定の絞り値とシャッタースピード設定の組み合わせで画像を見つけることができます。**f/16**の絞り値と**1/30**秒のシャッタースピードの横にあるイーजीーセレクトインジケータをクリックすると、ACDSee 究極は両方のカテゴリに属する画像を検索します。

複数の自動カテゴリを選択する場合、【カテゴリペイン】の上部にある【完全/部分一致】ドロップダウンから、【完全一致】または【部分一致】を選択して、検索をより一層絞り込むことができます。【部分一致】を選択すると、ACDSee 究極で選択されたカテゴリと関連付けられているあらゆる画像が表示されます。【完全一致】を選択すると、ACDSee 究極で選択された全カテゴリと関連付けられている画像のみが表示されます。

また、カテゴリあるいは重要度を選択することで、検索を絞り込むことも可能です。例えば、【撮影者】のカテゴリをクリックし、何千もの画像が表示されたら仮定しましょう。その撮影者が撮影したベストの画像だけを表示させたいとします。【カテゴリペイン】の【重要度】領域から**1**を選択します。その結果、特定の撮影者と重要度**1**の画像のみが表示されます。

また、【ブラウズ検索】ペインを使用して、自動カテゴリの検索を絞り込むことも可能です。例えば、【カメラのメーカー名】のカテゴリをクリックし、ACDSee 究極で何千もの画像が表示されたら仮定しましょう。そのカメラで撮影した、特定日の画像だけを見たいとします。【表示】>【ブラウズ検索】をクリックして、【カレンダー】ペインを選択し、特定日を選択します。その結果、特定のカメラと特定日の画像のみが表示されます。

重複ファイルを検索する

「重複の検索」機能を使用して、ハードドライブ上のさまざまなフォルダから重複するファイルを検索することができます。重複が見つかったら、名前変更機能や削除機能を実行して、ファイルコレクションをより適切に管理することができます。



異なる形式(JPEG、BMP、GIFなどの異なる拡張子)で保存された同一の画像は、重複として認識されません。JPEG画像のコピーを保存する場合、画像は再圧縮されます。したがって、元のJPEG画像とコピーは内部的に異なるファイルであり、重複として認識されません。

重複ファイルを検索するには：

1. 管理モードで、重複の検索を行うフォルダまたはファイルを選択します。(任意)
2. 【ツール】から【重複の検索】をクリックします。

3. [重複の検索]ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します。
 - 選択したフォルダおよび追加されたファイルまたはフォルダ内で重複を検索するには、[このファイルの単一リストから重複を検索する]を選択します。
 - 2つの異なるリストの内容を比較して重複を見つけるには、[この2つのファイルリスト内で重複を検索する]を選択します。(これは、2つのリストのいずれかで重複を検索するのではなく、2つのリストを相互に検索する目的のみに使用されます。)
4. [ファイルを追加]ボタンと[フォルダを追加]ボタンでリストにファイルを追加します。リストでファイルを選択して、[削除]ボタンを押してファイルを削除します。リストでファイルまたはフォルダを選択して、[変更]ボタンを押して、ファイルまたはフォルダを切り替えます。選択したサブフォルダの内容を含むには、[サブフォルダを含む]チェックボックスをオンにします。
5. [ファイルリスト]の下で、完全重複ファイルを検索するか、または同じファイル名の重複を検索するかを指定します。画像ファイルのみを検索したい場合は、[画像のみを検索する]を選択します。
6. [検索]を押します。
7. 重複が検索されなかった場合は、[OK]をクリックして検索条件を変更してやり直するか、[キャンセル]をクリックして[重複の検索]を閉じます。
8. 重複が見つかった場合は、リストで重複するファイルを選択し、さらにアクションを実行します。

ファイルの削除と名前変更

重複が見つかったら、ファイルの名前を変更または削除することができます。画像ファイルを使用している場合は、プレビューを利用できません。

複数の重複ファイルが見つかった場合は、見やすくするためにそれらを並べ替えることができます。

ファイルを並べ替えるには:

1. 左上のリストを右クリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - ファイル名で並べ替え
 - パスで並べ替え
 - ファイルサイズで並べ替え
 - ファイルの種類で並べ替え
 - 重複の数で並べ替え

重複を削除するには:

1. 左上のリストで目的のファイルを選択します。
2. 下部のフィールドで、次のいずれかを実行します。
 - ファイル名の横にあるチェックボックスをオンにします。ファイル名が「**ファイルを削除**」に変わります。
 - ファイル名を右クリックして、コンテキストメニューから[削除]を選択します。ファイル名が「**ファイルを削除**」に変わります。
3. 2つのファイルリストを使用して検索した場合は、[ファイルリスト1/ファイルリスト2から削除]を選択します。これにより、指定どおりにファイルリスト1またはファイルリスト2からすべてのファイルを選択することで、時間の節約になります。
4. [次へ]をクリックして変更を確認し、[完了]をクリックします。

ファイル名を変更するには:

1. 左上のリストで目的のファイルを選択します。
2. 下部のフィールドで、ファイル名を右クリックし、コンテキストメニューから[名前の変更]を選択します。
3. 新規ファイル名を入力します。
4. [次へ]をクリックして変更を確認し、[完了]をクリックします。

画像をすばやく検索する

保存済み検索の名前をクリックして、その検索条件ですばやく検索することができます。[カテゴリペイン](#)の「スペシャル アイテム」を使用すれば、[データベース](#)内にあるすべての画像や、[カテゴリへの割り当て](#)がまだなされていない未分類の画像をすばやく表示することができます。

保存済み検索を再度使用するには:

管理モードのカatalog ペインから、保存済み検索の名前をクリックします。

ファイル一覧 ペインに検索結果が表示されます。

すべての画像を一度に検索するには:

1. 管理モードで [ペイン] メニューから [Catalog] を選択して、Catalog ペインを開きます。
2. Catalog ペインの [スペシャル アイテム] から [イメージ ウェル] を選択します。

カテゴリ未分類の画像を見つけるには:

1. 管理モードで [ペイン] メニューから [Catalog] を選択して、Catalog ペインを開きます。
2. Catalog ペインの [スペシャル アイテム] から [未分類] を選択します。「イメージ ウェル」と「未カテゴリ」機能は、[データベース](#)内のCatalog化された画像を表示するのみです。ハードディスクから特定のファイル形式を検索するではありません。

キーワードのない画像を見つけるには:

1. 管理モードで [ペイン] メニューから [Catalog] を選択して、Catalog ペインを開きます。
2. Catalog ペインの [スペシャル アイテム] から [キーワードなし] を選択します。

ACDSee 究極とファイルを共有する

ACDSee 究極を使用して、ご家族やお友だちと画像を簡単に共有することができます。ACDSeeにより、電子メールでファイルを直接送信したり、Web サイトへ画像をアップロードしたり、HTMLアルバムプラグインでご自身のWebページを作成したり、コンタクトシートを印刷することができます。また、スライドショーやスクリーンセーバーを作成して、コンピュータを持っている人に提供することができます。ACDSee 究極がなくても表示可能です。

スクリーン キャプチャを実行する

ACDSee 究極のスクリーンキャプチャユーティリティを使って、画面の様々な領域をキャプチャして画像を作成することができます。キャプチャする領域、キャプチャ方法、画像の出力先の指定ができます。

スクリーン キャプチャを実行するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、[ツール] から [スクリーンキャプチャ...] をクリックします。
2. [スクリーン キャプチャ] ダイアログ ボックスの [ソース] セクションで、キャプチャしたい画面の領域を指定します。ソース オプションの詳細については、下記の表をご参照ください。
3. 出力する画像にマウスのカーソルも入れたい場合、[マウスのカーソルを入れる] チェックボックスをオンにします。

4. [出力先] セクションで、キャプチャされた画像の出力先を指定します。
5. [キャプチャの実行] セクションで、スクリーン キャプチャの実行方法を指定します。
6. [開始] をクリックし、スクリーン キャプチャ ツールを起動します。
タスクバーの通知領域にスクリーン キャプチャのアイコンが表示されます。
7. キャプチャする画面の領域を表示し、スクリーン キャプチャのアイコンに表示される吹き出しの手順に従ってください。
8. スクリーン キャプチャを実行せずに[スクリーン キャプチャ] ユーティリティを終了するには、[スクリーン キャプチャ] アイコンを右クリックし、[スクリーン キャプチャの終了] を選択します。

スクリーン キャプチャのオプション

デスクトップ	
現行 モニタ	画面に表示されている領域全体の画像をキャプチャします。
ウィンドウ	
ウィンドウ全体	アクティブ ウィンドウ全体をキャプチャします。
コンテンツのみ	ウィンドウ内のコンテンツをキャプチャします。(フレームまたはタイトル バーはキャプチャされません)。
領域	
固定サイズ	画面の固定領域をキャプチャします。 ドロップダウン ボタンをクリックして、寸法の設定を選択するか、[カスタム] を選択して、希望の寸法をピクセルで入力します。
選択領域	画面の選択領域をキャプチャします。マウス ポインタをクリック& ドラッグして、キャプチャしたい領域を囲みます。
オブジェクト	
子ウィンドウ	ウィンドウの一部をキャプチャします。例: ツールバー、ボタン
ポインタの置かれたメニュー	選択されたメニュー コマンドをキャプチャします。
マウス ポインタを含む	
マウス ポインタを含む	スクリーンキャプチャにカーソルを含めます。
出力先オプション	
クリップボード	クリップボードにキャプチャされた画像を保存します。画像をクリップボードに一時保存し、新しい場所に貼り付けることができます。
ファイル	[スクリーン キャプチャの保存] ダイアログ ボックスを表示します。場所、フォーマット、ファイル名を指定できます。
エディタ	キャプチャした画像を既定の画像エディタで表示します。
キャプチャの実行オプション	
ホットキー	スクリーン キャプチャを実行するキーの組み合わせを指定します。 ホットキーを設定するには、ボックス内に入力するのではなく、キーボードでキーまたはキーの組み合わせ (例: Ctrl + S) を押します。
タイマー	指定された時間が経過した後に、スクリーン キャプチャを実行します。デスクトップまたはウィンドウでスクリーン キャプチャの準備をするための十分な時間を設定します。最大設定時間は 60秒間 です。

電子メールで画像を送信する

電子メールの送信ウィザードを使うと、他の電子メールアプリケーションを開くことなくACDSee 究極内から直接ファイル画像を送信することができます。電子メールの送信ウィザードを使用するには、有効な電子メールアカウントがあるか、コンピュータ上で既定のメールアプリケーションが設定されているか、SMTPサーバーにアクセスできる必要があります。

電子メールで画像を送信するには:

1. ファイル一覧 ペインから電子メールで送信する画像を選択して、[ファイル]から[送信]、[電子メールで画像を送信]をクリックします。
 - 他の画像を追加したい場合は、[追加]をクリックします。画像の追加が完了したら[OK]をクリックします。
 - 画像を削除したい場合には、画像を選択して[削除]をクリックします。画像はウィザードより削除されますが、ACDSee から削除されるわけではありません。
 - 電子メールの最大サイズや JPEG に変換するなど、電子メールや画像 オプションを設定したい場合は、[オプション]をクリックします。オプションの選択が完了したら[適用]をクリックします。
 - 電子メール アカウントの設定を変更したい場合、既定の電子メール クライアントとSMTP サーバーのどちらかを使用するために、[変更]をクリックします。電子メール アカウントの変更が完了したら、[OK] をクリックします。
2. [電子メールの送信ウィザード] にある[次へ] をクリックします。
 - [既定の電子メールクライアント経由で送信]を選択した場合、新規のメッセージに画像と電子メール情報が追加されます。通常のメッセージを扱うように、メッセージを編集してから送信します。
 - [SMTP サーバー経由で送信]を選択した場合、ウィザードで電子メールの送信先、件名、メッセージを入力します。[次へ]をクリックします。
3. 画像の送信が終了したら、[完了] をクリックしてウィザードを閉じます。



Hotmail や Yahoo (無料アカウント) のようなインターネットベースのアプリケーションの中には SMTP をサポートしないものがあり、[電子メールの送信ウィザード] と合わせて使用することができません。Gmail、Yahoo (アップグレードアカウント)、AOL などその他のアプリケーションでは、POP/SMTPのアカウントを設定する必要があります。電子メール アカウントの設定方法は各アプリケーションによって異なりますので、詳細につきましては各アプリケーションのWeb サイトからSMTP を検索してしてください。

関連トピック:

ACDSee 365 で共有/メール送信する

ACDSee 365 のアカウントを一度有効にすると、365.acdsee.com からあなたの写真を共有することができます。

電子メールで画像を送信するには:

1. [ファイル一覧] ペインから、共有したい写真を選択し、[ファイル] メニューから[送信]、[ACDSee 365 で共有/メール] をクリックします。
2. [ACDSee 365 で共有/メール] ダイアログボックスで、写真アルバム名を入力し、既存のオンラインフォルダから場所を選択します。
3. 画像の送信先となる 1 つまたは複数のメールアドレスを入力します。



[共有する人たち] ボタンをクリックして、アドレス帳から希望する名前を引き出すことができます。

4. ドロップダウン リストからアップロードのサイズを選択します。
5. アップロードをクリックします。
6. 新しいウィンドウが開かれますので、メッセージの入力、フルサイズの JPG ダウンロードを有効にするか、アクセスパスワードを作成するなど、希望するオプションを選択します。
7. [OK]をクリックします。

スライドショーを表示、設定する

画像やビデオのスライドショーは、管理モードまたは表示モードから表示することができます。スライドショーを自動実行するように設定したり、画像の表示時間、背景色の選択、トランジション効果の適用、ヘッダー/フッターの追加などのオプションを設定したりすることも可能です。

管理モードからスライドショーを起動するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ファイラー一覧ペインから、複数の画像を選択します。
 - フォルダペインで、フォルダを選択します。
 - イーजीーセレクトバーを使って、画像が格納されているフォルダ複数を選択します。
2. [ツール]>[スライドショー]をクリックします。(Ctrl + S)

表示モードからスライドショーを起動するには:

[ツール]>[スライドショー]をクリックします。

スライドショーを設定するには:

1. [管理]モードで次のいずれかの操作を行います。
 - ファイラー一覧ペインから、複数の画像を選択します。
 - フォルダペインで、フォルダを1つ選択するか、イーजीーセレクトバーを使って画像が格納されている複数のフォルダを選択します。
2. [ツール]>[スライドショーの設定]をクリックします。
3. [スライドショーのプロパティ]ダイアログボックスで、下記を参考にしてスライドショーのオプションを選択または変更します。
4. 現在のオプション設定をスライドショーの既定値として保存するには、[現在の設定を既定値として保存する]のチェックボックスをオンにします。
5. [OK]をクリックします。

スライドショー オプション

ファイルの選択

スライドショーの内容

スライドショーに含むメディアの種類を以下から指定します。

- **現在のフォルダ内のメディア ファイルすべて:** 現在選択されているフォルダ内のファイル すべて(画像またはビデオ)を表示します。
- **現在のフォルダとサブフォルダ内のメディア ファイルすべて:** 現在選択されているフォルダとそのサブフォルダ内に含まれているファイルすべてを表示します。
- **選択されたメディア ファイル:** [スライドショーのプロパティ] ダイアログ ボックスを開く前に選択されていたファイルのみを表示します。

この内容を常に使用し、スライドショーを自動再生する

現在指定しているスライドショーの内容 設定を維持し、スライドショーを次回実行する際に自動的に再生します。

ベーシック

トランジションを選択する

トランジションの一覧が表示されます。トランジション、変化、効果を選択すると、プレビューに反映されます。

- **すべて選択:** すべてのトランジションを選択し、ランダムに表示します。
- **すべてクリア:** 選択されたトランジションをすべてクリアします。



これらのトランジションは 2 画像、4 画像、コラージュのバリエーションではご利用いただけません。

バリエーション

ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します。

- **なし:** バリエーションを一切使用しません。
- **パン&ズーム:** 各スライドの表示時間に合わせて、パンニング & ズーム表示を行います。
- **2画像:** 画像二点を一度に表示します。
- **4画像:** 画像四点を一度に表示します。
- **コラージュ:** 画像を重ね合うコラージュとして表示します。

効果

ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します。

- **なし:** 効果を一切使用しません。
- **モノクロ:** すべての画像をグレースケールで表示します。
- **セピア:** すべての画像をセピア色で表示します。
- **ヴィヴィッド:** 画像の彩度を高めて、色全体をより明るく表示します。
- **ソフト:** 画像をわずかにぼかしてソフトな効果を加えます。

背景色

背景色を指定します。カラーピッカーをクリックして、色を選択または変更します。[その他] をクリックして、[\[色ダイアログ\]](#) でカスタムの色を設定します。

スライドの表示間隔(秒)

スライドショーの各画像の表示時間を指定します。

アドバンス

全般設定

次のオプションから選択または解除します。

- **画面に合わせて画像を引き延ばす:** 画面のサイズに合わせて小さい画像を拡大します。
- **埋め込みオーディオの再生:** 画像に埋め込まれているあらゆるオーディオクリップを再生します。
- **画面に合わせてビデオを引き延ばす:** 画面のサイズに合わせてビデオファイルを拡大します。
- **コントロールバーの自動非表示:** マウスのカーソルが数秒以上動いていない場合、スライドショーのコントロールバーを自動的に隠します。
- **ループ:** 最後の画像が表示された後、スライドショーを繰り返します。

スライドの順序

以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します。

- 進む
- シャッフル

ミュージック ディレクトリ

以前選択したフォルダからミュージックを表示するか、**[参照]**をクリックして新しいフォルダを探します。

テキスト

ヘッダー テキストの表示

画像の上にテキストキャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。

フッター テキストの表示

画像の下にテキストキャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。

現在の設定を既定値として保存する

現在の設定を既定値として保存する

すべてのタブの現在の設定を保持し、次回スライドショーを起動する際に適用します。

スライドショー テキスト オプション

配置

テキストキャプションの配置を指定します。

背景色

キャプションの背景色を指定します。

テキスト

キャプションとして表示するテキストを入力します。

フォント

[フォント] ダイアログ ボックスを開き、テキストのフォント オプションを選択または変更します。

メタデータの挿入

メタデータとして知られるファイルの固有情報をキャプションに挿入します。

クリックして**[プロパティの選択]** ダイアログ ボックスを開き、挿入したいメタデータを選択します。

スライドショーとスクリーンセーバーを共有する

[ツール]>[スライドショー]をクリックするか、管理モードでキーボードの**Ctrl + S**を押すと、管理モードまたは表示モードからいつでも画像のスライドショーを表示することができます。ACDSeeでは、お気に入りの写真のスライドショーやスクリーンセーバーを作成して、友人や家族に送ったり、Web サイトに表示したりすることができます。スライドショーまたはスクリーンセーバーのプロジェクトは、保存することができるため、後で編集することも可能です。

スライドショーを作成するには：

1. 管理モードで、[ツール]>[作成]>[スライドショーファイル]をクリックします。
2. [ようこそ] ページから、新規スライドショーを作成するには、[新規スライドショーを作成する] ラジオボタンを選択します。スライドショーの種類を指定するには、次のオプションから1つを選択します：
 - **スタンドアロン スライドショー**：すべての画像とそれらの画像を表示するのに必要なものを含む、シングル実行ファイル (.exe) を作成します。このファイルの種類は、ACDSee をインストールしていなくても、コンピュータを持っている人なら誰でも閲覧することができます。
 - **Windows スクリーンセーバー**：標準の Windows スクリーンセーバーファイル (.scr) を作成し、Windows システムに保存して使用することができます。
 - **Adobe Flash Player® スライドショー**：Web サイトに掲載することができる、コンパクトな Adobe Flash ファイル (.swf) を作成します。
3. 既存のスライドショーやスクリーンセーバーのプロジェクトを編集するには、[既存のスライドショーをロードする] ラジオボタンを選択し、[参照] をクリックしてプロジェクト(.asw ファイル)の保存先を指定します。
4. [次へ]をクリックして続行します。
5. 「画像の選択」のページで、スライドショーに表示される画像を確認することができます。ここで表示される画像の順番が、スライドショーの順番として設定されます。画像を変更するには [追加] または [削除] をクリックします。また、矢印ボタンを使って画像の順番を変更します。準備ができたら[次へ] をクリックして続行します。
6. 「ファイル固有 オプションの設定」のページで、サムネイルの横に表示されているハイパーリンクをクリックし、各画像のオプションを設定します。ここで画像間のトランジション、トランジションとスライドの表示間隔(長さ)、テキストキャプション、画像が表示される際のオーディオ ファイルを設定します。注意：オプションは出力ファイルのフォーマットによって異なり、すべてのフォーマットが全オプションをサポートしているわけではありません。準備ができたら[次へ] をクリックして続行します。
7. 「スライドショーのオプション設定」のページで、各スライドを自動または手動で表示するか、スライドの表示順番、コントロールの表示/非表示などを設定します。BGM に使うオーディオ ファイルを追加したり、画質、スピード、トランジションを調整することができます。準備ができたら[次へ] をクリックして続行します。
8. 次のページでは、画像サイズのオプション、スライドショーファイルとプロジェクトファイルの保存先を設定します。
9. 最後に [次へ] をクリックして、ACDSee 究極 がスライドショーを作成するまで待ちます。完了したら、スライドショーを起動するかウィザードを終了します。



オーディオ ファイルを画像に適用してある状態で、スライドショー オプションのページでもスライドショー全体にオーディオを設定している場合には、スライドショーの表示中に両方のオーディオが再生されることになりますのでご注意ください。

デスクトップ スライドショーを作成する

ACDSee Showroom を使用して、お気に入りの画像のスライドショーを作成し、コンピュータのデスクトップに小さなウィンドウとして表示することができます。一度に最高 16 ものスライドショーを起動することが可能です。

ACDSee Showroomのウィンドウは、他のアプリケーションの上に常に表示するように設定することができます。また、コンピュータの起動時に ACDSee Showroomウィンドウを自動実行するようにも設定できます。ACDSee Showroomを使うためにACDSee 究極を開く必要はありません。

ACDSee Showroom でデスクトップ スライドショーを作成するには：

1. 管理モードで、デスクトップ スライドショーに使用したい画像を含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [ツール] > [作成] > [ACDSee Showroom] をクリックします。
 - [スタート] > [プログラム] > [ACD システム] > [ACDSee Showroom] の順にクリックします。

ACDSee Showroom のアイコンがタスクバーに表示されます。

ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方

ACDSee Showroom ウィンドウには次のようなコントロールが含まれています。

- スライドショーの前の画像、あるいは次の画像を表示するには、[戻る] または [次へ] ボタンをクリックします。
- 特定の画像が表示されている間、[一時停止] ボタンをクリックしてスライドショーを一時停止することができます。



ACDSee Showroom ウィンドウ内にこれらのコントロールが表示されない場合は、ウィンドウ内の任意の場所をクリックします。スライドショー再生時は、写真をフルにお楽しみいただけるようコントロールが非表示になります。

複数の ACDSee Showroom を作成するには:

ACDSee Showroom が開かれている状態で、次のいずれかを実行します:

- ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、[Showroom の新規作成] を選択します。
- タスクバーの [ACDSee Showroom] アイコンをクリックし、[Showroom の新規作成] を選択します。

ACDSee Showroom を閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います:

- ACDSee Showroom ウィンドウの [閉じる] をクリックします。
- タスクバーの [ACDSee Showroom] アイコンをクリックし、[Showroom を終了する] を選択します。



コンピュータ起動時に ACDSee Showroom を自動実行するよう設定している場合には、次回コンピュータを起動すると ACDSee Showroom が自動実行されます。

PDF を作成する

ACDSee 究極では、画像をPDF (Portable Document Format) ファイルに結合できます。PDFファイルの作成ウィザードでは、画像から単数または複数のPDFファイルを作成する方法や、画像をPDFスライドショーに追加する方法をご案内します。

PDFファイルを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. [ツール]>[作成]>[PDF] をクリックします。
3. PDF ファイルの作成ウィザードの「ようこそ」のページで、次のいずれかのオプションを選択し、[次へ] をクリックします:
 - **PDF スライドショーを作成する:** すべての画像をまとめて、スライドショーとして表示することのできるシングル PDF ファイルを作成します。
 - **すべての画像を含む PDF ファイルを作成する:** すべての画像をまとめて、マルチページのシングル PDF ファイルを作成します。
 - **画像ごとに PDF ファイルを作成する:** 画像ごとに個別のPDF ファイルを作成します。

4. 「画像の選択」のページで、選択した画像を変更したり、矢印ボタンを使って画像の順序を変更したりします。[次へ]をクリックして続行します。
5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [PDF スライドショーを作成する]を選択した場合、各画像の横にあるハイパーリンクをクリックして、トランジションオプションを設定または変更します。[次へ]をクリックし、スライドショーの順序、背景色、ファイル名オプションを指定します。準備ができた後[次へ]をクリックして続行します。
 - 1つ以上のPDFファイルを作成することを選択した場合、ファイル名と保存先を指定し、[次へ]をクリックします。
6. [完了]をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

PowerPoint プレゼンテーションを作成する

PowerPoint作成ウィザードを使って、ACDSee 究極 内から素早くPowerPoint プレゼンテーションを作成することができます。ウィザードは、希望する画像のプレゼンテーション作成・編集の一連の手順をサポートします。スライドの長さ、ファイルの場所、各スライドの画像数を設定したり、背景にデザインテンプレート指定することができます。また、各スライドにキャプション、タイトル、注記を追加することができます。



この機能は、コンピューターにMicrosoft PowerPoint®がインストールされている場合にのみ機能します。この機能はRAWファイルをサポートしていないため、RAWファイルを別の形式に変換する必要があります。Microsoft PowerPoint®のバージョンは、ACDSeeアーキテクチャと一致する必要があります。たとえば、64ビットバージョンのACDSeeを使用している場合は、64ビットバージョンのPowerPoint/Officeが必要です。

PowerPoint プレゼンテーションを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. [ツール]>[作成]>[PPT]をクリックします。
3. PPT の作成ウィザードの [画像の選択] ページで、[追加] をクリックして画像を追加します。
4. [次へ]をクリックします。
5. [プレゼンテーション オプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
 - プレゼンテーションを新規作成する場合、[プレゼンテーション オプション] 領域で各スライドの表示時間(長さ)を指定します。
 - プレゼンテーションを編集している場合、[既存プレゼンテーション] を選択し [パス] フィールドをアクティブにした後、該当のプレゼンテーションを参照します。プレゼンテーションの開始、または終了にスライドを挿入するかを選択します。
 - ドロップダウン リストから [各スライドの画像数] を選択します。(1 画像よりも大きい数を選択した場合、次ページで「タイトル」と「注記」オプションを設定することはできません。
 - プレゼンテーションに画像を埋め込むのではなく、画像をACDSee 究極をリンクした状態に保ちたい場合には、[画像ファイルリンク]を選択します。
 - [デザイン テンプレートの使用] をクリックし、ご利用になっているコンピュータのフォルダを参照に背景用のテンプレートを選択します。(PowerPoint のテンプレートは通常 [Microsoft Office]>[Templates]>[Presentation Designs]) に格納されています。
6. [次へ]をクリックします。
7. [テキストオプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
 - [キャプション] タブで、キャプションとなるテキストを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、ファイル名や画像サイズといったメタデータ情報を挿入することも可能です。キャプションはスライドの下部に表示されます。
 - [タイトル] タブで、スライドのタイトルを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、メタデータ情報を挿入することも可能です。

- **[注記]** タブで、各スライドに添付される「注記」セクションに表示されるテキストを入力します。注記は、スライド自体では表示されませんのでご注意ください。

8. 作成をクリックします。

作成されたプレゼンテーションが PowerPoint で開かれます。

HTMLアルバムを作成する

[HTML アルバム] ウィザードを使用して、画像コレクションをインターネットに掲載することができます。HTML アルバムは、スライドショーのコントロールやサムネイル表示を含みます。ギャラリー スタイル一覧から希望するテンプレートを選択し、気に入った画像をロゴとして追加したり、ヘッダーやフッターにテキストを入力してカスタマイズします。もちろんフォントの色やスタイルも設定可能です。

HTML アルバムを作成するには：

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **[ツール]>[作成]>[HTML アルバム]**をクリックします。
3. [HTML アルバムの作成] ウィザードの **[スタイルの設定]** ページで、**[ウェブページのスタイル]** ボックスから希望するギャラリースタイルを選択します。



ギャラリースタイルとその他の設定を選択したら、**[ギャラリーのプレビュー]** をクリックして、HTML アルバムの仕上がりプレビューを確認します。**[アルバムの作成]** をクリックして、**[HTML アルバムの作成]** ウィザードのあらゆるページから、HTML アルバムを作成することも可能です。

4. **[次へ]** をクリックします。
5. **[ギャラリーのカスタマイズ]** ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
 - **[ギャラリー タイトル]** のテキストボックスに、ウェブページの上部に表示するタイトルを入力します。
 - **[ヘッダーを含む]** をオンにしてページ上部にヘッダーを表示する、あるいは **[ヘッダーを含む]** のチェックボックスをクリアしてヘッダーテキストの表示を解除します。
 - **[フッターを含む]** をオンにしてページ上部にフッターを表示する、あるいは **[フッターを含む]** のチェックボックスをクリアしてフッターテキストの表示を解除します。
 - ヘッダーあるいはフッターに画像を表示させたい場合には、**[画像を使用する]** を選択した後に **[参照]** をクリックし、会社のロゴやユーザーの顔写真など希望する画像を選択します。
 - ヘッダーまたはフッターにテキストを表示させたい場合には、**[情報を使用する]** を選択した後に **[情報の設定]** をクリックし、希望する情報を選択します。
 - **[フォルダ設定]** セクションにある **[参照]** をクリックし、HTML アルバムファイルの保存先を指定します。
6. **[次へ]** をクリックします。
7. **[サムネイルと画像]** ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
 - **[サムネイル設定]** セクションで、アルバムの外観とサムネイルのフォーマットを調整します。
 - **[画像設定]** セクションで、アルバムの外観とフルサイズ画像のフォーマットを調整します。
 - **[スライドショーの長さ]** セクションで、スライドショー内のフルサイズ画像の表示時間を指定します。
 - **[カラーとフォント設定]** セクションの **[カラーとフォント]** をクリックして、ウェブページに使用する色とフォントを設定したら、**[OK]** をクリックします。



[設定を保存] をクリックして、特定のウェブページスタイル用に選択した設定を保存します。設定を保存しておくと、**[HTML アルバムの作成]** ウィザードにある **[ウェブスタイルの設定]** ページで、その設定を次回から再利用できるため便利です。

8. **[次へ]** をクリックしてHTMLアルバムを作成します。ACDSee 究極がウェブページとサムネイルの作成するまで、しばらく待つ必要がある場合があります。

9. **[別のアルバムを作成する]** をクリックして別のアルバムを作成するか、**[完了]** をクリックしてウィザードを閉じ ACDSee に戻ります。



HTML アルバムを Web サイトに掲載するには、FTP または別の方法を使う必要があります。

ウェブサイト写真にアップロードする

[Flickr](#)、[SmugMug](#)、[Zenfolio](#)、FTPなどのサイトに、ACDSeeから画像や写真を直接アップロードできます。これらのサイトにアップロードする前に、アカウントを作成する必要がありますが、まだアカウントをお持ちでない場合、アップロードするプロセスの一部として、アカウントを作成することができます。



RAWやTIFFなど、ほぼすべての画像ファイル形式を選択することができ、ACDSeeはアップロード前に形式をJPGに自動変換します。

写真ウェブサイトに写真をアップロードするには:

ACDSeeを終了しなくても、写真共有サイトに素早く写真をアップロードできます。

1. [管理] モードで、画像を一つ以上選択し、[ファイル]>[送信]>[<写真ウェブサイト>...へ] をクリックします
2. [<写真サイト> アップローダー] ダイアログボックスで、右下隅の[ヘルプ] ボタンを押して、指示に従います。

画像に情報を追加する/調整する

アップローダの最終スクリーンでは、画像に幾つかの異なる調整を追加することができます。それらは以下の通りです:

- 画像を回転する。
- タイトル、説明、タグを追加する。
- 一括情報を追加する。
- 画像のサイズを変更する。

画像を回転するには:

1. ダイアログの右端にある矢印を使用して、回転させたい画像を探します。
2. 該当する画像をクリックして選択します。
3. 左または右回転の矢印  をクリックします。

タイトル、説明、タグを追加するには:

1. ダイアログの右端にある矢印を使用して、調整したい画像に移動します。
2. 該当する画像をクリックして選択します。
3. タイトル/説明/タグ アイコン  をクリックします。
4. [タイトル] フィールドに、選択された画像用のタイトルを入力します。
5. [説明] フィールドに、簡単な説明を入力します。
6. [タグ] フィールドにタグを入力し、[追加] をクリックします。(赤い [X] をクリックして、タグを削除します。)

一括情報とサイズ変更

既定設定を編集する、またはアップロードする前に最終ダイアログで設定を選択することで、一括情報を設定することができます。これらの設定を選択すると、各画像の情報がファイルから挿入され、Flickr のページで表示されることになります。これらの情報は、ほとんどの場合、まず ACDSee のプロパティペインでファイル情報を作成する必要があります。

一括サイズ変更は、既定設定およびアップローダダイアログの両方で設定することができます。アップロードするにつれ、画像のサイズが変更されます。

各画像に一括情報を設定するには：

1. 各画像にタイトルを設定するには、**[次からタイトルを入力]** ドロップダウンをクリックし、以下のオプションから選択します：
2. **[ファイル名]** - 各画像のファイル名がタイトルとして入力されます。
3. **IPTC** ヘッドライン - プロパティペインの **[IPTC]** タブにある **[IPTC ヘッドライン]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。この情報が作成されていない場合、タイトルは空白で表示されます。
4. **ACDSee** キャプション - プロパティペインの **[ACDSee メタデータ]** タブにある **[キャプション]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。この情報が作成されていない場合、タイトルは空白で表示されます。
2. 各画像の説明を設定するには、**[次から説明を入力]** ドロップダウンをクリックし、以下のオプションから選択します：
3. **IPTC** キャプション - プロパティペインの **[IPTC]** タブにある **[キャプション]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。この情報が作成されていない場合、説明は空白で表示されます。
4. **ACDSee** 注記 - プロパティペインの **[ACDSee メタデータ]** タブにある **[注記]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。この情報が作成されていない場合、説明は空白で表示されます。
5. **ACDSee** キャプション - プロパティペインの **[ACDSee メタデータ]** タブにある **[キャプション]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。ACDSee でこの情報が作成されていない場合、説明は空白で表示されます。
6. **EXIF 画像説明** - プロパティペインの **[EXIF]** タブにある **[画像説明]** フィールドの情報がタイトルとして入力されます。ACDSee でこの情報が作成されていない場合、説明は空白で表示されます。
3. **ACDSee** キーワード、**IPTC** カテゴリ、**IPTC** 補充 カテゴリからタグを入力するには、各チェックボックスをクリックします。

サイズを一括変更するには：

1. **[サイズの一括変更]** ボックス内にある **[最大の縦または横サイズをピクセル単位で指定する]** を選択します。
2. 希望する画像のサイズを選択します。

ACDSee を Flickr で承認する

Flickr にアップロードする前に、ACDSee を Flickr のサイトで承認する必要があります。

承認と最初のアップロードは、同時に行うことができます。

(以下は、Flickr アカウントを既にお持ちであると仮定した手順です。Flickr アカウントをお持ちでない場合は、[Flickr アカウントを作成する](#) をご覧ください。)

アップローダを承認するには：

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインからアップロードしたい画像を選択します。
2. **[ファイル]** メニューから送信、**[アップロードする]** をクリックします。
3. **[アップロードマネージャ]** ダイアログから **[Flickr]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
4. ご利用のコンピュータに承認の記録を残したい場合は、**[このユーザーを記憶する]** をクリックします。

5. [Flickr アップローダ] ダイアログにある **【承認】** をクリックします。



Flickr ウェブサイトが開かれます。

6. Yahoo ID とパスワードを入力し、**【Sign In】** をクリックします。



黄色の背景色で、Flickr アカウントとアップローダをリンクするかをたずねるメッセージが表示されます。

7. **【Ok, I'll Allow it】** ボタンをクリックします。



ACDSee Flickr アップローダの承認が完了したことを告げるメッセージが表示されます。

8. 右上部にある赤い **【X】** をクリックして、ウェブページを閉じます。



ウェブページの後ろに、小さなダイアログが隠れていたのがわかります。

9. **【継続】** をクリックして、選択された画像のアップロードを開始します。



【Flickr アップローダの設定】 ダイアログが開かれます。サイズ変更の設定、タイトル、説明、タグの入力、プライバシー、内容の種類を選択します。(詳細につきましては、[既定設定を編集する](#)をご覧ください。)

10. 設定を変更したら、**【設定の保存】** をクリックします。

11. 画像のセット用に、タグを入力し、追加することができます。

12. 準備が完了したら**【次へ】** をクリックし、**【アップロードする!】** をクリックします。



進行状況バーにアップロードの状況が表示されます。

Flickr アカウントを作成する

Flickr アカウントをお持ちでない場合、アップローダを使用する前に Flickr アカウントを作成する必要があります。Flickr アカウントを作成したら、ACDSee Flickr アップローダを [承認](#) し、画像をアップロードします。

(Flickr は登録プロセスの一環として Yahoo ID を使用します。Yahoo ID ををお持ちでない場合は、まず Yahoo ID を作成する必要があります。Yahoo ID を作成するには、[こちら](#) をクリックします。)

直接 Flickr サイトを開くには、[こちら](#) をクリックします。

既定設定を編集する

アップロードする際に画像のサイズ変更を行う、タイトルを付ける、プライバシー、安全レベル、内容の種類設定を変更する、といったアップローダの既定設定のほとんどを変更することができます。これらの設定は Flickr 設定に基づいています。詳細につきましては、[こちら](#) をお読みください。

Flickr アップロードの設定

承認の失効	クリックして、Flickr サイトでの承認を失効に設定します。	
サイズ変更	サイズ変更しない	画像をそのままのサイズでアップロードするには、この設定を選択します。(ご利用のアカウントの許容量を超える場合、その制限内に収まるようサイズ変更する必要があります。サイズ変更をしない場合には、サイズ変更をするかをたずねる警告メッセージが表示されます。)
	最大の縦または横サイズをピクセル単位で指定する	選択して、以下のサイズに画像のサイズを変更します: 800 ピクセル (ウェブ表示に適切) 1280 ピクセル (小さい印刷に適切) 1600 ピクセル (大きい印刷に適切) 2400 ピクセル (アーカイブに適切)
タイトル、説明、タグ	次からタイトルを入力:	選択して、次の 1 つから各画像のタイトルを入力します: - ファイル名 (既定) - IPTC ヘッドライン - ACDSee キャプション (ACDSee データベース内でキャプションを作成済みの場合にのみ利用可能。)
	次から説明を入力:	選択して、次の 1 つから各画像の説明を入力します: - IPTC キャプション (既定) - ACDSee 注記 (ACDSee データベース内で注記が入力されている場合にのみ利用可能。) - ACDSee キャプション (ACDSee データベース内でキャプションを作成済みの場合にのみ利用可能。) - EXIF 画像説明
	次からタグを入力:	選択して、いずれかからタグを追加します: - IPTC キーワード (常に追加) - ACDSee キーワード - IPTC カテゴリ - IPTC 補充 カテゴリ
写真のプライバシー設定	Flickr アカウントの設定に従ってください。	Flickr アカウントの設定に従ってプライバシー設定を行います。
	あなたと友達には見える	プライバシー設定を自分と友人のみに写真を公開するように設定します。
	あなたとご家族の目に見えるもの	プライバシー設定を自分と家族のみに写真を公開するように設定します。
	あなた、友人、家族に見える	プライバシー設定を自分、友人、家族のみに写真を公開するように設定します。
	誰でも見ることができます(公開)	プライバシー設定を公開に設定し、誰でもあなたの写真を表示できるようにします。
 アップロードした写真を自分だけに表示するには、Flickr アカウントのプライバシー設定をプライベートに設定し、ACDSee のプライバシー設定を「Flickr アカウントの設定に従う」に設定します。		

安全レベル	安全性 - 高	一般向けの画像の場合に選択します。
	安全性 - 中	一般向けであるかわからないけれども、制限する必要がない画像の場合に選択します。
	制限あり	子供向けではない画像の場合に選択します。
内容の種類	写真	写真をアップロードする場合に選択します。検索の絞り込みが可能のため、他のユーザーが必要な内容を検索しやすくなります。
	スクリーンショット	スクリーンショットをアップロードする場合に選択します。スクリーンショットに限定した検索の絞り込みが可能になります。
	アート、イラスト、CGI またはその他の非写真画像	その他の種類の画像をアップロードする場合に選択します。特定の画像の種類に限定した検索の絞り込みが可能になります。
アップロードされた画像をパブリック検索から隠す	パブリック検索に画像を含みたくない場合に選択します。	

画像にタグを付ける

タグを付けると、タグによって検索することができるため、写真や画像の検索を簡単に行うことができます。Flickr アップローダダイアログ内で、Flickr にアップロードしながら、画像に一括してタグを付けることができます。

画像にタグを付けるには：

1. [Flickr アップローダ] ダイアログで、[これらのタグをこのバッチに適用する] の下にあるボックスにタグを入力します。
2. [タグの追加] をクリックすると、新規タグが下のボックスに表示されます。
3. タグを削除するには、該当タグの横にある赤い **[X]** をクリックします。

画像をアップロードする

初めて Flickr を承認し、画像をアップロードするには：

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインからアップロードしたい画像を選択します。
2. [ファイル] メニューから送信、[アップロードする] をクリックします。
3. [アップロードマネージャ] ダイアログの [アップロードするサービスの選択] ボックスから、**Flickr** を選択し **次へ** をクリックします。



[Flickr アップローダ] ダイアログが開かれます。

4. **[承認]** をクリックします。



Yahoo ID とパスワードを持っているかたずねられます。

5. 次のいずれかを実行します：

- Flickr ID とパスワードをお持ちの場合、必要な情報を入力し **[Sign In]** をクリックします。
- Flickr ID とパスワードをお持ちでない場合、**[サインアップ]** をクリックして Yahoo ID を作成してから、Flickr アカウントを作成します。



黄色のパナーのついた Flickr ページが表示され、ACDSee Flickr アップローダの承認をたずねられます。

6. **[OK, I'LL ALLOW IT]** をクリックします。

ACDSee Flickr アップローダの承認が完了したことを示すチェックマークが表示されます。

7. 右上部にある赤い **[X]** をクリックして、ウェブページを閉じます。



ウェブページの後ろに、小さなダイアログが隠れていたのがわかります。

8. **[継続]** をクリックして、選択された画像のアップロードを開始します。

9. 画像のセット用に、タグを入力し、追加することができます。

10. Flickr で画像を表示させたい場合は、**[Flickr で画像を表示する]** チェックボックスを選択します。

11. 準備が完了したら**[次へ]**をクリックし、**[アップロードする!]** をクリックします。



[Flickr アップローダの設定] ダイアログが開かれます。サイズ変更の設定、タイトル、説明、タグの入力、プライバシー、内容の種類を選択します。(詳細につきましては、[既定設定を編集する](#)をご覧ください。)



進行状況バーにアップロードの状況が表示されます。

12. **[完了]** をクリックします。



Flickr は次のメッセージを表示します: "Your photos were uploaded successfully." (Flickr のサイトが日本語でご覧いただけるようになるまで、メッセージは英語で表示されます。)

13. **[OK]** をクリックします。



Flickr サイトに画像が表示されます。

承認した後 Flickr にアップロードするには:

1. ACDSee のアプリケーション内からアップロードしたい画像を選択します。

2. ブラウザで、次のいずれかの操作を行います:

- メニューバーで **[ファイル]** メニューから **[アップロードする]** をクリックします。
- ツールバーで **[アップロードする]** をクリックします。
- 右クリックして **[アップロードする]** を選択します。

3. **[アップロードマネージャ]** ダイアログの **[アップロードするサービスの選択]** ボックスから、**Flickr** を選択し **[次へ]** をクリックします。

4. 画像のセットを選択するには、下矢印キーをクリックして希望するセットを選択します。新規セットを作成するには、**[セットの作成]** をクリックし、セットのタイトルと説明を入力してから **[作成]** をクリックします。

5. この画像のセットにタグを適用するには、タグのボックスに希望する文字を入力してから、**[タグの追加]** をクリックします。



これらのタグは、選択されているすべての画像に適用されるので注意してください。各画像にタグを適用したい場合は、次のダイアログで行います。

6. 準備が完了したら、**[次へ]** をクリックします。



このダイアログでは、各画像に個別のタイトル、説明、タグを追加したり、画像を回転したり、一括情報の適用やサイズ変更を行ったりすることができます。

7. 画像を回転するには、矢印をクリックして選択してから、**[回転]** をクリックします。

8. 個別のタイトル、説明、タグを作成するには、矢印をクリックして画像を選択してから、[タイトル/説明/タグ] アイコンをクリックします。
9. 画像を 回転、サイズ変更、情報を追加する には、該当する設定を調整します。
10. [アップロードする!] をクリックします。
11. Flickr で画像を表示させたい場合は、[Flickr で画像を表示する] チェックボックスを選択します。



進行状況バーにアップロードの状況が表示されます。

12. [完了] をクリックします。



画像の一覧を示した Flickr のページが表示されます。各画像にタイトルや説明、コメントを追加します。

プライベートとしてFlickrに画像をアップロードするには:

Flickr アカウントのプライバシー設定が**非公開**になっていることを確認し、ACDSee内のプライバシー設定を「**Flickrのデフォルト設定に従う**」に設定します。これにより、写真が**非公開**としてアップロードされるようになります。詳細については、[デフォルト設定の編集](#)を参照してください。

Flickr アップローダプラグインへようこそ

このプラグインは、ACDSee から画像を直接 Flickr にアップロードするためのプラグインです。

承認する

Flickr にアップロードする前に、ACDSee Flickr アップローダを Flickr ウェブサイトで承認する必要があります。もちろん、Flickr アカウントも必要です。一度承認を行うと、次回から素早く簡単にファイルをアップロードできます。

Flickr は登録プロセスの一環として、Yahoo ID を使用します。Yahoo ID をお持ちでない場合は、Yahoo ID も作成する必要があります。

プロセスの手順:

1. Yahoo ID をお持ちでない場合、まず Yahoo ID を作成します。
2. Flickr アカウントをお持ちでない場合、Flickr アカウントを作成します。
3. ACDSee Flickr アップローダを承認します。
4. 画像をアップロードします。



Flickr では特定のファイル形式のみ使用することができます。Flickr がサポートしていないファイルをアップロードしようとすると、それらのファイルは適切にアップロードされません。ご注意ください。

コンタクトシートを作成する

画像のサムネイルプレビューをページに並べて表示する「コンタクトシート」を作成することができます。コンタクトシートは、画像の整理や共有に便利です。[コンタクトシートの作成]ユーティリティを使用して、コンタクトシートをさまざまな画像フォーマットや HTML 画像マップとして保存することができます。オプションは後で利用する際の[プリセット](#)として保存することができます。

サムネイルのサイズは、コンタクトシートで表示する行数と列数、表示の際のサムネイル間のスペースによって変わります。

コンタクトシートはを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、取り入れたい画像を選択します。
2. [ツール] > [作成] > [コンタクトシート]をクリックします。

3. コンタクトシートのフォーマットのところで、コンタクトシートのフォーマットのオプションを設定します。
4. 出力設定のところで出力設定オプションを選択します。
5. 必要に応じて、ページにテキストを追加したり変更したりできます。
6. **[OK]**をクリックします。



出力ファイルのパスを指定しない場合、コンタクトシートの作成ユーティリティは、既定の画像フォルダに、**<ext>コンタクトシート.<拡張子>** というファイル名で保存します。コンタクトシートが複数ページにわたる場合は、ファイル名に数字が追加されます。例：**コンタクトシート3.bmp**。

コンタクトシートフォーマットオプション

サムネイル設定

サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
スペース	各サムネイルにフレームを追加します。行間/列間のスペースの幅を指定します。 [横] スピンボックスおよび [縦] スピンボックスで、サムネイル間の間隔を示す値を入力します。

フレーム オプション

サムネイル フレームを使用する	サムネイルにフレームを追加します。
余白	フレームの幅を指定します。
無地	フレームの色を指定します。ページの背景に無地を使用します。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
タイル表示画像	フレームとして使う画像を指定します。 [参照] をクリックして、使用する画像を指定します。

サムネイル オプション

ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。 [カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
マット	ページの背景に無地を使用します。カラーピッカーをクリックして色を定義します。
V カット枠	サムネイルに V カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。

ページ背景オプション

無地	ページの背景に無地を使用します。カラーピッカーをクリックして色を定義します。
タイル表示画像	ページの背景にタイル表示画像を使用します。 [閲覧] をクリックして使用する画像を指定します。

ファイルのアーカイブを作成する

アーカイブの作成 プラグインを使って、画像やドキュメント、メディアファイルのアーカイブ ファイルを作成 することができます。「アーカイブの作成」機能は複数のアーカイブ フォーマットをサポートしているだけでなく、圧縮、暗号、パスワードの保護 ツールを使って画像を管理 することができます。

アーカイブを作成するには:

1. 管理 モードのファイル一 覧 ペインから、フォルダまたは複数のファイルを選択 します。
2. [ツール]から[作成]、[アーカイブ]をクリック します。
3. [アーカイブ作成]ダイアログ ボックスのオプション領域で、[アーカイブの種類]ドロップダウン リストをクリックし、作成 したいアーカイブ フォーマットを選択 します。
追加設定があるアーカイブ フォーマットの場合は、[設定]ボタンをクリックして設定 します。
4. 次のいずれかを実行 します。
 - 選択したサブフォルダの内容を含むには、[サブフォルダを含む] チェックボックスをオンに します。
 - アーカイブに隠しファイルを含むには、[隠しファイルを含む] チェックボックスをオンに します。
 - 選択したファイルとフォルダがアーカイブに追加された時点でハードディスクから削除 するには、[アーカイブ作成後にファイルを削除 する] チェックボックスをオンに します。
 - アーカイブの内容をパスワードで保護するには、[アーカイブをパスワード保護する] チェックボックスをオンにして、フィールドにパスワードを入力 します。パスワードはすべてのアーカイブの種類ではサポートされていません。また、一部のフォーマットではパスワードは必須 です。
5. [出力ファイル] フィールドにファイル のパスを入力するか、または[参照]をクリックしてフォルダを検索 します。
6. 次のいずれかを選択 します。
 - **既存のアーカイブに追加する:** ファイルを既存のアーカイブに追加 します。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用 できます。
 - **既存のアーカイブを上書きする:** 既存のアーカイブを作成中のアーカイブで上書き します。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用 できます。
7. 変更を確認したら、[作成] ボタンをクリックしてアーカイブ ファイルの作成を開始 します。

アーカイブを展開する

ACDSee から離れることなく、アーカイブを素早く簡単に展開 することができます。フォルダに展開 するか、ダブルクリックしてファイルの内容を表示 するかのいずれかを選択 します。

アーカイブをフォルダに展開するには:

1. 管理 モードで、フォルダ ペインを使用してアーカイブが含まれているフォルダに移動 します。
2. ファイル一 覧 でアーカイブをクリック します。
3. [編集]、[フォルダに展開する]をクリック します。
4. [フォルダに展開する] ダイアログで、ファイルの保存先となるフォルダを指定 します。
5. 新規フォルダを作成するには、[フォルダの作成] ボタンをクリックし、フォルダ名を入力してから**Enter** キーを押 します。
6. 展開先のフォルダに同名のファイルが存在する場合の対応法を指定するには、[重複ファイルを上書きする]ドロップダウン リストから選択 します。以下の選択肢から選択 します:

- **確認する:**各ファイルに対する対応法を確認するメッセージが表示されます。
- **名前を変更する:**重複ファイルに新しい名前が付けられます。
- **置き換え:**重複ファイルは上書きされます。
- **スキップ:**重複ファイルがある場合は、展開されません。

7. **[OK]**をクリックします。

アーカイブ内のファイルを表示するには:

1. 管理モードで、アーカイブが含まれているフォルダに移動します。
2. アーカイブをダブルクリックします。

ファイル一覧ペインに、アーカイブの内容を示したサムネイルが表示されます。

画像とドキュメントを印刷する

ACDSee 究極 の印刷ユーティリティを使うと、お使いのプリンタが対応している用紙サイズ、印刷方向、解像度を指定してファイルを印刷できます。また、コンタクトシート、ヘッダー、フッターや、各画像にキャプションを付けて印刷することもできます。

印刷ダイアログボックスのオプションを変更すれば、動的に更新されるプレビューを表示して、そのページのファイルとその配置を確認することができます。ファイルや画像毎に出力サイズを調整したり、複数の部数を印刷したり、ページ毎に画像やドキュメントの印刷方向を変更したりできます。

 管理モードで印刷用にさまざまなファイルタイプを選択した場合、最初のファイルがドキュメントであれば、そのドキュメントのみが印刷されます。その最初のファイルが画像であれば、画像のみが印刷されます。

 印刷ダイアログは、ショートカット **Ctrl + P** で起動できます。

画像またはPDFを印刷するには:

1. 印刷するPDFを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [管理]モードで、[ファイル]>[印刷]をクリックします。
 - [表示]モードで、[ファイル]>[すべての画像を印刷]をクリックします。(表示モードで画像を一点印刷したい場合は、[画像を印刷]を選択します。)
 - [表示]モードでPDFを表示している場合は、PDFオプションの[印刷]ボタンを押します。
3. 「印刷レイアウト」のセクションで、下記のいずれかを実行します。
 - [ページ全体]を選択し、[形式]リストから印刷サイズを選択します。
 - [コンタクトシート]を選択し、[コンタクトシートの形式]オプションを設定して、コンタクトシートの外観を定義します。
 - [レイアウト]を選択し、選択可能なレイアウトオプションを1つ選択します。
4. [プリンタオプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、印刷方向、印刷したい部数、ページ上で印刷したい範囲、解像度を指定します。
5. [ページ設定]タブでは、ページ上の画像の位置や余白の幅を指定します。
6. [調整]タブで、適用したい調整内容を指定します。
7. 各写真の印刷部数を指定します。[ページ全体]または[コンタクトシート]を印刷する場合は、[ページ設定]タブでこのオプションを使用できます。[レイアウト]を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。

8. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。**[ページ全体]**または**[コンタクトシート]**を印刷する場合は、キャプション、ヘッダーまたはフッターのみを追加できます。
9. **印刷**をクリックします。

ドキュメントファイルを印刷するには:



ドキュメントは、表示モードで表示されている状態ではなく、Microsoft Office™で表示した時のような状態で印刷されますのでご注意ください。

1. 印刷したいドキュメント(1つまたは複数)を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [管理]モードで、**[ファイル]** > **[印刷]**をクリックします。
 - [表示]モードで、**[ファイル]** > **[印刷]**をクリックします。
3. [プリンタ]ドロップダウンメニューから使用したいプリンタを選択し、[部数]フィールドに印刷したい部数を入力します。
4. 設定セクションは、全てのページを印刷、または印刷範囲を選択することができます。印刷範囲は、カスタム印刷のとなりのフィールドに入力します。
5. ドロップダウンメニューから、片面印刷か両面印刷、印刷方向、1シート当たりのページ数、丁合いの有無、用紙サイズを選択します。
6. **印刷**をクリックします。

プリンタオプションを設定する

ACDSeeを使って印刷する際、**[印刷]**ダイアログボックスの使用するプリンターを指定し、**[プリンタオプション]**タブから、使用する**プリンタオプション**を設定することができます。

プリンタオプション

プリンタ	使用するプリンタを指定します。ドロップダウンリストで使用するプリンタを選択し、 [プロパティ] ボタンをクリックしてプリンタのオプションを設定します。詳細については、プリンタ製造元のヘルプファイルをご参照ください。
用紙サイズ	Letter、Legal、A4 など、用紙サイズを指定します。
方向	ページの向き(ポートレート または ランドスケープ)を指定します。
印刷部数	印刷する部数を指定します。
印刷範囲	次のいずれかのオプションを選択します。 • すべて: ドキュメントのすべてのページを印刷します。 • ページ指定: 指定されたページのみを印刷します。フィールドに開始ページと終了ページを入力します。
解像度	画像に使用する 1 インチあたりの解像度 (PP = pixels-per-inch) を指定します。大きな値ではインチあたりのドット数が多くなり、印刷する画像の解像度が高くなります。例: 600 PPI = 360,000 (600×600) PPI
フィルタ	画像を印刷する際に使用するリサンプリング フィルタを指定します。ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します: • Box: 画像サイズ変更の際、タイリングやジャギーが出ます。 • Triangle: 画像の拡大と縮小に適していますが、鋭い転移線が出ます。 • Bicubic: 写真のようにリアルな画像や、不規則だったり複雑だったりする画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。 • Bell: 画像を滑らかにします。 • B-spline: 画像を滑らかにしますが、ぼかしが強くなりすぎる場合もあります。 • Lanczos: 最もシャープな画像に仕上がりますが、波打つ乱れが生じることがあります。 • Mitchell: 写真のようなリアルな画像を拡大する際、色の変化が滑らかになります。このフィルタは、ランクゾス フィルタの波打つ効果 と他のフィルタのぼかし効果の間を取っています。
ガンマ	印刷画像にガンマ補正値を適用します。[ガンマ補正値]フィールドに0.10から3.00までの数字を入力して、画像のガンマ値を調整します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
色の管理	ドロップダウンメニューからプリンタでカラーマネージメントを行うか、ACDSeeで行うかを選択することができます。 ACDSeeでカラーマネージメントする: • プリンタのプロファイル: お使いのコンピュータに現在保存されているすべてのプリンタのプロファイルから選択できます。下にスクロールして、現在選択しているプリンタに対応するプロファイルを見つけます。 • レンダリングの方法: すべての色が出力デバイスの色空間に適合するわけではない場合の処理方法を選択します。 • ソフトプルーフ: 現在選択されているプリンタのプロファイルでどのように印刷されるかプレビューすることができます。 • 色域の警告: プレビューでプリンタが再現できない色を表示します。その場合、使用可能な色の中から最も近い色が選択されます。レンダリングの方法で選択されている方式で別の色を選択します。 詳しくは カラー マネージメント の項を参照してください。
可能な場合は EXIF 2.2 印刷を使用する	デジタルカメラの種類によっては EXIF 情報をキャプチャするものがあります。EXIF 印刷を使用すると印刷の最適化に繋がります。ご使用になっているデジタルカメラおよびプリンタが EXIF 2.2 印刷をサポートしている場合には、このオプションを選択してください。

カスタム印刷レイアウトを作成する

カスタム印刷レイアウトを作成し、印刷オプションとして保存することができます。

カスタム印刷フォーマットを作成するには：

1. 印刷ダイアログボックスの[ページ全体]をクリックします。
2. 印刷フォーマット領域で[追加]をクリックします。
3. [カスタムフォーマットの追加]ダイアログボックスで、[寸法の単位]ドロップダウンリストから寸法の単位を選択します。
4. [フォーマットの幅]フィールドと[フォーマットの高さ]フィールドに新規フォーマットの寸法を入力します。
5. [追加]をクリックします。

画像サイズと位置を設定する

[印刷]ダイアログボックスのタブのオプションを使用して、印刷する画像のサイズおよび各ページの位置を設定することができます。

ページ設定 オプション

ページの位置	各ページ上で画像を置く位置を指定します。
余白	余白のサイズを指定します。値を入力するか、「上」、「下」、「左」、「右」スピンボックスの矢印をクリックします。
画像単位の印刷部数	印刷する画像の部数を指定します。必要に応じてページが追加されます。
印刷フォーマットに合わせて画像を自動回転する	各画像の印刷方向を自動選択にするかどうか指定します。チェックボックスをオンにすると、印刷する画像に合わせて各ページの印刷方向を変更します。
縦横比を保持する	画像の縦横比を保持して印刷するかどうか指定します。次のいずれかのオプションを選択し、大きなサイズの画像の縦横比の扱い方を指定します。 • 印刷フォーマットに合わせてトリミングする: 印刷フォーマットに収まる画像の一部のみを印刷します。 • 印刷フォーマットに合わせて縮小する: 印刷フォーマットに合わせて画像全体を縮小します。

印刷調整の設定をする

[印刷]ダイアログの[調整]タブの設定を使用して、プリンターが露出を処理する方法など、プリンター固有の癖を補正できます。

❗ これらの設定は、最初に印刷した後、プリンタに必要な修正がわかっている場合にのみ調整することをお勧めします。

❗ [調整]タブで行った調整は、[プレビュー]ウィンドウには反映されないことに注意してください。

印刷前に画像に調整を適用するには：

1. 管理 モードで、印刷 したい 画像 を 選択 します。
2. 以下 の いずれ かの 操作 を 行 い ます：
 - [管理] モードで、[ファイル] [印刷] を クリック します。
 - 表示 モードで、[ファイル] [画像を印刷する]、または [ファイル] [すべての画像を印刷する] を クリック します。
3. 必要 に 応 じて、[調整] タブ の [印刷] ダイアログ で、[露出]、[コントラスト]、または [シャープネス] スライダー を 調整 します。
4. 印刷 を クリック します。

ページにテキストを追加する

ページにヘッダーやフッターを追加したり、画像の下にキャプションを追加することができます。

印刷画像にキャプションを追加するには：

1. 印刷 ダイアログボックスで、**キャプション** タブ を クリック します。
2. [キャプション テキストを使用する] を クリック します。
3. [フォント] を クリック して フォント ダイアログボックス を 開 き、フォント オプション を 設定 します。
4. テキストボックスに、キャプションとして表示するテキストを入力します。
5. [メタデータの挿入] を クリック して、各 画像 の キャプション に ファイル の 固有 情報 を 挿入 します。
6. [テキストの配置] ドロップダウン リスト から、キャプション の 配置 を 選択 します。
7. 表示 する 各 キャプション の 最大 行数 を 設定 するには、**行数** チェックボックス を オン に し、フィールド で 値 を 指定 します。

印刷ページにヘッダー/フッターを追加するには：

1. 以下 の いずれ かの 操作 を 行 い ます。
 - **ヘッダー** タブ を クリック し、[ヘッダー テキストを使用する] を 選択 します。
 - **フッター** タブ を クリック し、[フッター テキストを使用する] を 選択 します。
2. [フォント] を クリック して フォント ダイアログボックス を 開 き、フォント オプション を 設定 します。
3. テキストボックスに、ヘッダーまたはフッターとして表示するテキストを入力します。
4. テキストに現在のページ番号や総ページ数を入力するには、[ページ番号の挿入] を クリック し、メニュー から オプション を 選択 します。
5. [テキストの配置] ドロップダウン リスト から、ヘッダーまたはフッター の 配置 を 選択 します。
6. テキスト の 最大 行数 を 設定 するには、**行数** チェックボックス を オン に し、フィールド で 値 を 指定 します。

コンタクトシート オプションを設定する

印刷ユーティリティの [コンタクトシートフォーマット] セクションでは、サムネイルのサイズ、レイアウト、外観を設定することができます。フォーマットオプションがプリセットとして既に保存されている場合、該当する プリセット を 選択 することができます。

コンタクトシートフォーマットオプション

サムネイル設定

サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
スペース	行と列の間のスペースの値を指定します。[横] および [縦] スピンボックスに、表示されるサムネイル間の間隔の値を入力します。

フレーム オプション

サムネイル フレームを使用する	サムネイルにフレームを追加します。
余白	フレームの幅を指定します。
ページ背景オプション	フレームの色を指定します。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
タイル状画像	フレームとして使う画像を指定します。[参照] をクリックして、使用する画像を指定します。

サムネイル オプション

ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
マット	サムネイルのフレームにマット効果を加えます。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
V カット枠	サムネイルに V カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。

ページ背景オプション

ページ背景オプション	ページの背景に無地を使用します。ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
タイル状画像	ページの背景にタイル状に画像を使用します。[参照] をクリックして、使用する画像を指定します。

一括処理について

ACDSee 究極可能な作業：

- **1つの編集操作を複数の画像にまとめて行う:**例えば、複数の写真のサイズを変更する場合は、[サイズの一括変更] ツールを使用します。または、複数の写真を90度回転する場合は、[一括回転/反転] ツールを使用します。
- **複数の編集操作を複数の画像にまとめて行う:**例えば、サイズ変更、トリミング、カラーキャストの補正、回転を複数の画像に行う場合は、[一括編集] ウィザードを使って、すべての編集操作をすべてのファイルに1度に行うことができます。
- **複数の画像をさまざまな出力ですばやく簡単に保存する:**複数のファイルを複数のフォルダ、ファイル名、ファイル形式、サイズを指定して、エクスポートすることができます。
- **複数の画像をまとめて現像する:**同じ現像設定を複数の画像に適用したい場合は、現像設定をプリセットとして保存することができます。
- **画像ではないファイル形式で名前を一括変更する**

ファイルにタグを付けると、一括現像や一括編集のワークフローをスピードアップすることができます。例えば、変更したいファイルにタグを付けてからカタログペインで[タグ付き]をクリックすると、ファイル一覧ペインにタグが付いたすべてのファイルが表示されます。すると、ファイルを選択して一括ツールを選択することができます。

AI超解像の使用

AI超解像は、高度なアルゴリズムを使用して低解像度の写真をインテリジェントにアップスケールすることで、画像の品質を強化します。この機能は、画像の解像度とディテールを向上させ、品質を損なうことなく、よりシャープで鮮明な画像にします。小さな写真を拡大する場合でも、デジタル画像の明瞭度を向上させる場合でも、**AI超解像**を使用すれば簡単にプロフェッショナルな結果を得ることができます。

❗ **AI機能をGPUで実行するには、DirectX 12 機能レベル 12_0 以上が必要です。GPU のサポートレベルは、dxdiag.exe ツールを実行して「ディスプレイ」タブを確認するか、デバイスの公式仕様を調べることで確認できます。GPU が要件を満たしていない場合でも、AI機能は代わりにCPUを使用して実行されます。AI超解像のGPU アクセラレーションには、最低 4GB の VRAM が必要です。**

AI超解像の仕組み：

AI超解像は、画像のパターン、テクスチャ、色を分析することで画質を強化します。その後、複雑なアルゴリズムを適用して画像をアップスケールし、ノイズやぼやけを低減し、アーチファクトを除去し、明瞭度とディテールを維持するために必要なピクセルを追加します。この機能は、小さな画像を拡大したり、トリミングした写真を拡大したりする場合に特に便利です。

AI超解像の使用例：

- 低解像度の画像を拡大して、大きなプリントやディスプレイに使用する
- トリミングされた画像を強化して品質を向上させる
- 解像度の低いカメラで撮影された古い写真のサイズを大きくする

AI超解像の適用方法：

AI超解像で画像を強化するには、以下の操作を行います：

1. **管理モード**または**表示モード**で強化したい画像を見つけ、次のいずれかを実行します：
 - 右クリックして、**AI機能 | AI超解像**を選択します。
 - **Shift + Alt + S**を押します。
2. **AI超解像**ダイアログで、お好みの設定を選択します。パラメータが変更されるたびにプレビューが自動的に生成されるため、常にリアルタイムで仕上がりを確認できます。
3. **強化**をクリックして、画像に超解像を適用します。強化された画像は、デフォルトで元の画像と同じフォルダに保存されます。この設定は、**AI超解像**ダイアログの下部にある**オプション**で調整できます。



一括 AI超解像の適用方法:

一度に複数の画像を **AI超解像** で強化するには、以下の操作を行います:

1. **管理モード**で強化したい画像を見つけ、次のいずれかを実行します:
 - 対象の画像を選択し、そのうちの一つを右クリックして **一括 | AI超解像 | AI超解像** を選択します。
 - ツール | 一括 | AI超解像 | AI超解像** を選択します。
 - 画像を右クリックし、**一括 | AI超解像 | AI超解像** を選択します。
 - Shift + S** を押します。
2. **一括 AI超解像** ダイアログで、お好みの設定を選択します。パラメータが変更されるたびにプレビューが自動的に生成されるため、常にリアルタイムで仕上がりを確認できます。



複数の画像に **AI超解像** を適用する場合、**プレビュー** には最初を選択した画像のみが表示されます。

3. **強化**をクリックして、画像に超解像を適用します。強化された画像は、デフォルトで元の画像と同じフォルダに保存されます。この設定は、一括 **AI超解像**ダイアログの下部にある**オプション**で調整できます。

設定:

どの測定モードを使用しても利用できる 5 つのオプション設定があります:

オリジナルを表示	修正前の元の画像を表示し、すばやく比較できます。
AI強度	スライダーを調整して、AIが強化に与える影響度を増減します。
ズーム	現在のプレビュー表示のズームを調整します。
実寸	プレビュー表示を画像の実寸 (100%) に設定します。
フィットイメージ	プレビューウィンドウ内に画像が収まるようにプレビュー表示を設定します。

リサイズオプション:

画像の大きさを決定するために使用できる 5 つのリサイズオプションがあります。詳細については、[AI超解像オプションの設定](#)を参照してください。

パーセント	幅(%)、高さ(%)、および「元の縦横比を維持」を含みます。
ピクセルサイズ	幅(px)、高さ(px)、「元の縦横比を維持」、および「内に収める」を含みます。 「内に収める」の選択肢: 幅と高さ、幅のみ、高さのみ、幅または高さ(最大の画像)。
印刷サイズ	幅、高さ、単位、解像度(ピクセル/インチ)、「元の縦横比を維持」、および「内に収める」を含みます。 「内に収める」の選択肢: 幅と高さ、幅のみ、高さのみ、幅または高さ(最大の画像)。
長辺	サイズ(ピクセル、インチ、cm、mm)および解像度(ピクセル/インチ)を含みます。
短辺	サイズ(ピクセル、インチ、cm、mm)および解像度(ピクセル/インチ)を含みます。

⇒ [一括編集の使用](#)

一括エクスポートを行う

一括エクスポートツールを使用すると、複数のファイルをさまざまな出力形式で素早く簡単に保存することができます。

複数のファイルを以下のようにさまざまな指定を行ってエクスポートできます:

- フォルダ
- ファイル名
- フォーマット
- 出力サイズ

エクスポート ステータス

ACDSee 写真館 2026 究極 でファイルをエクスポートする際、アクティビティマネージャーから進行状況の確認、一時停止、またはキャンセルを行うことができます。詳細については、「[ACDSee アクティビティマネージャー](#)」を参照してください。

複数の画像をエクスポートするには:

1. [管理] モードで、エクスポートしたい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [ファイル] から[エクスポート] をクリックします(表示モード、現像モードおよび編集モードでも可能です)。
 - 右クリックしてコンテキストメニューの[一括] から[エクスポート] を選択します (表示モードでも可能です)。
 - [一括]、[エクスポート]をクリックします。
 - キーボードのショートカットキー、**Ctrl + Alt + E**を押します。
3. [エクスポート] ダイアログ ボックスでの選択の仕方は、以下の表をご確認ください。

エクスポートオプション

保存先	
ソース フォルダ内	ソース画像が現在保存されているのと同じフォルダに保存する場合にこのオプションを選択します。 [新規のサブフォルダを作成する] チェックボックスをオンにすると、ソースフォルダ内にサブフォルダを作成してそこにファイルを保存します。
フォルダを指定	このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。
ファイル名	
テンプレートを使って名前を変更する	テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。
テンプレート	[テンプレートを使って名前を変更する] チェックボックスをオンにすると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。
テンプレートフィールド	ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク(*)を1つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ(#)を使用します(複数可)。 ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。
挿入 メタデータ フィールド	名前 テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。 カーソルを テンプレート フィールドに移動して 挿入 をクリックします。挿入 ドロップ ダウンメニューから メタデータ フィールド を選択してプロパティダイアログ ボックスを開きます。挿入したいメタデータを選択して[OK]をクリックします。
挿入 連番	テンプレートに挿入されたシャープ(#)は、連続する数字またはアルファベットに置き換えられます。数字またはアルファベットのいずれかは後述のオプションで選択します。
挿入 オリジナルのファイル名	テンプレートに挿入されたアスタリスク(*)は、オリジナルのファイル名に置き換えられます。
挿入 連番 オプション	最初の文字または番号を指定します。
開始番号	入力した数字または文字から始めます
フォーマット	
ファイル フォーマット	エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。
フォーマットの設定	[設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。
ピクセル フォーマット	選択したフォーマットの色深度を指定します。
色空間情報	[色空間情報] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストから色空間 オプションを選択します。

出力サイズ	
画像のサイズを変更する	このオプションを選択して画像サイズの変更方法を指定します。
再サンプリング方式	このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式（再サンプリング方式）を指定します。 • Bell: 画像を滑らかにします。 • Bicubic: 写真のようにリアルな画像や、不規則だったり複雑だったりする画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。 • Box: 画像サイズ変更の際、タイリングやジャギー（ギザギザとした輪郭）が出ます。 • B-spline: 画像を滑らかにしますが、ぼかしが強くなりすぎる場合もあります。 • ClearIQZ: Bicubic や Lanczos よりも処理時間がかかりますが、特に人物の写真の拡大においてベストな仕上がりになります。 • Lanczos: 最もシャープな画像に仕上がりますが、波打つ乱れが生じることがあります。 • Mitchell: 写真のようなリアルな画像を拡大する際、色の変化が滑らかになります。このフィルタは、ランクゾスフィルタの波打つ効果と他のフィルタのぼかし効果の間を取っています。 • Triangle: 画像の拡大と縮小に適していますが、鋭い転移線が出ます。
寸法	このオプションを選択すると、縦横の方向に関係なく指定したサイズに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチまたはcmで指定します。
幅と高さ	二つのボックスに入力した値の範囲に収まるよう、エクスポートする画像のサイズを調整するには、このオプションを選択します。
長辺	このオプションを選択すると画像の長辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチまたはcmで指定します。
短辺	このオプションを選択すると画像の短辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチまたはcmで指定します。
パーセンテージ	オリジナル画像の割合でサイズを変更するには、このオプションを選択します。[幅]と[高さ]フィールドに割合の寸法を入力します。
解像度	インチまたはcm当たりのピクセル数を指定します。
拡大のみ	指定した高さより小さい画像のみをサイズ変更します。
縮小のみ	指定した高さより大きい画像のみをサイズ変更します。
拡大または縮小	すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
オリジナルの縦横比を保持	オリジナル画像の縦横比を保持したい場合に選択します。 注意: 画像のサイズを長辺または短辺のオプションで変更した場合、元の画像の縦横比が保持されます。
メタデータ	
メタデータ	ドロップダウンメニューから [現像プリセット] を選択してエクスポートした画像に適用します。

処理

現像プリセット ドロップダウンメニューから[[現像プリセット](#)]を選択してエクスポートした画像に適用します。

ACDSee アクション ドロップダウンメニューから[[記録](#)]を選択してエクスポートした画像に適用します。



上で説明したように、ACDSee アクションの[[出力オプション](#)]ダイアログで指定したファイル出力タイプよりも、[エクスポート]ダイアログの[[フォーマット](#)]セクションで選択した出力ファイルタイプが優先されます。



画像のエクスポート中、記録の開始時点で複数のレイヤーを持つ画像が含まれている場合、その記録は適用できません。

オプション: 新規エクスポートプリセットのボタンをクリックし、プリセットの名前を入力すると、設定をプリセットとして保存することができます。1つ以上のプリセットをリストから選択して適用することができます。

4. [エクスポート]をクリックします。



プリセットを編集は、リストでプリセットをクリックして編集し、現在のエクスポートプリセットの[保存]ボタンをクリックします。

複数の画像を別のファイル形式に変換する

複数の画像ファイルを、サポートされている別のファイルフォーマットに変換することができます。各フォーマットのオプションを個別に設定したり、複数ページの画像を取り扱う方法を指定したり、変換の既定値を自動的に適用したりできます。

変換 ステータス

ACDSee 写真館 2026 究極 でアセットを変換する際、アクティビティマネージャーから進行状況の確認、一時停止、またはキャンセルを行うことができます。詳細については、[「ACDSee アクティビティマネージャー」](#)を参照してください。

複数の画像を別のファイルフォーマットに変換するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで、1つ以上の画像を選択し、[ツール] > [一括] > [ファイル形式の変換] > [変換...]をクリックします。
 - 表示モードで、[ツール]から[変更]、[ファイルフォーマットの変換]、[変換]をクリックします。
 - 管理モードで、1つ以上の画像を選択し、[一括]、[ファイルフォーマットの変換]、[変換]をクリックします。
 - 管理モードまたは表示モードで、1つ以上の画像を選択し、**Ctrl + Alt + F**を押します。
- [ファイルフォーマットの変換]ダイアログで、[出力ファイルフォーマット]ドロップダウンリストから画像の新しいフォーマットを選択します。フォーマット固有オプションを設定するには、ファイルフォーマットを選択し、[設定]ボタンを押します。
- [出力場所]セクションで、変換された画像の保存先を指定します。
- [ファイルオプション]セクションで、重複ファイル名の対処方法を指定するには、[既存ファイルの上書き]ドロップダウンリストから次のいずれかのオプションを選択します:

- **確認:** ファイルの上書き前に確認メッセージが表示されます。
- **スキップ:** ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。
- **置換:** ファイルが上書きされます。確認メッセージは表示されません。
- **名前の変更:** ファイル名を変更をする際、確認メッセージを表示します。

5. [ファイルオプション]セクションでは、追加のオプションを設定できます。:

- **最終更新日時を維持する:** 変換後の新しいファイルに、元のファイルの最終更新日時を引き継ぎます。
- **元のファイルを削除する:** 変換完了後に元のファイルを削除します。
 - **出力ファイルでメタデータを維持できない場合は元のファイルを削除しない:** 出力がメタデータを保持できない場合、元のファイルを削除しません。



出力ファイルでメタデータを維持できない場合は元のファイルを削除しないが無効な場合、メタデータとカラープロファイルに対応していないファイル形式に変換すると、これらが永久に失われる可能性があります。

- **メタデータを維持する:** 元のファイルのメタデータを変換後のファイルに保持します。
- **データベース情報を維持する:** 元のファイルのデータベース情報を変換後のファイルに保持します。

6. ベクタの設定とマルチページ画像の処理方法を設定するには、**[詳細設定]** ボタンを押します。マルチページ画像を選択していない場合や、マルチページ画像フォーマットを出力ファイルフォーマットとして指定していない場合は、マルチページソースセクションのオプションをスキップしてください。

7. **変換**をクリックします。



使用した設定は、後で利用する際のプリセットとして保存することができます。**[ファイルフォーマットの変換]**ダイアログの設定を構成したら、**[プリセット]**フィールドの横にある**[保存]**アイコンを押します。プリセットの名前の入力求められます。プリセットにはわかりやすい名前を付けることをお勧めします。保存したプリセットは、**[ファイル形式の変換]**ポップアップメニューに一覧表示されます。



保存したプリセットにカスタムショートカットを割り当てて、すばやく変換することができます。プリセットは**[ショートカットのカスタマイズ]**ダイアログの**[プリセット - ファイルフォーマットの変換]**カテゴリの下にあります。

複数の画像を回転/反転する

複数の画像をプリセットの角度で回転/反転することができます。

画像を回転 / 反転するには:

1. **[管理]** モードで、画像を一つ以上選択し、**[ツール]** から**[一括]** に続き**[回転/反転]** をクリックします。
2. **[回転 / 反転の一括変更]** ダイアログボックスで、適用する角度を選択します。各角度についての説明は、下記を参考にしてください。
3. ページが複数にまたがる画像を選択した際、選択した回転角度をすべてのページに適用するには、**[現在の画像のページすべてに適用する]** チェックボックスをオンにします。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **[次の画像]** をクリックして、次に選択した画像に進みます。**[選択した画像すべてに適用する]** チェックボックスがオンになっていると、**[次の画像]** ボタンはクリックできません。

- 複数の画像を選択し、同じ回転角度を画像すべてに適用するには、[選択した画像すべてに適用する] チェックボックスをオンにします。
- [オプション] をクリックし、画像の保存方法を指定します。

5. 画像に回転を適用する準備ができたなら、[回転を開始する] をクリックします。

回転/反転の角度



画像を反時計回りに90度回転させます。



画像を180度回転させます。



画像を時計回りに90度回転させます。



画像に含まれるEXIFデータに従って画像を回転します(カメラが向きをどのように判断するかに基づいて)。



画像を垂直軸に対して反転させます。



画像を水平軸に対して反転させます。



画像を垂直軸に対して反転させ、反時計回りに90度回転させます。



画像を垂直軸に対して反転させ、時計回りに90度回転させます。



編集モードの [回転] ツールを使用して、カスタム角度で画像を回転させることも可能です。

回転/反転済みファイルのオプションを設定する

[回転/反転の一括変更]ダイアログボックスでは、修正された画像の格納先、重複ファイルの対処方法、[回転/反転の一括変更] ツールを使用する際ファイルの最終更新日を更新するかなど、ACDSee 究極が実行するオプションを設定することができます。

回転/反転オプションを設定するには:

1. [管理] モードで、画像を一つ以上選択し、[ツール]から[一括]に続き[回転/反転]をクリックします。
2. [画像を一括で回転/反転] ダイアログ ボックスで、[オプション] ボタンをクリックします。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. [OK]をクリックします。

回転/反転オプション

JPEG可逆回転を行う	JPEG情報を展開または再圧縮することなく、JPEG画像を回転することができます。非可逆回転では、画像を回転 / 反転しても画質に変化はありません。
ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次のいずれかのオプションを選択します。 • 元のファイルを削除 / 置換する: 元のファイルに新しい画像を上書きします。 • 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する: 修正された画像の名前に識別ラベルを追加し、元の画像と同じフォルダに保存します。 • 修正済み画像を以下のフォルダに保存する: 変換した画像を指定先のフォルダに保存します。[参照] ボタンをクリックして、フォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	ACDSee 究極でのファイルの上書き方法を指定します。ドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択してください： • 確認: ファイルの上書き前に確認メッセージが表示されます。 • スキップ: ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。 • 置換: ファイルを上書きします。 • 名前の変更: ファイル名を変更をする際、確認メッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付 / 時間を保存します。
最後に行った回転を保存して適用する	次回画像を回転する際、現在の回転設定が自動的に適用されます。
すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する	すべての画像の操作が完了したら、ダイアログ ボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、画像の回転 / 反転ウィザードを次回使用際に適用することができます。

複数画像のサイズを変更する

バッチサイズ変更 ツールを使用すると、一度に複数の画像のサイズを変更できます。

リサイズ ステータス

ACDSee 写真館 2026 究極 でファイルのリサイズを行う際、アクティビティマネージャーから進行状況の確認、一時停止、またはキャンセルを行うことができます。詳細については、「[ACDSee アクティビティマネージャー](#)」を参照してください。

複数画像のサイズを変更するには:

1. 次のいずれかを行います:
2. 管理モードで画像を一つ以上選択し、[ツール]から[一括]そして[サイズ変更]、[サイズ変更]を選択します。
3. [サイズ変更]ダイアログボックスでは、画像のサイズを変更する複数の方法から選択できます。サイズ(ピクセル単位)、パーセンテージ、印刷サイズ、長辺、または短辺のいずれかを選択します。以下の表の指示に従ってください。
4. [オプション]をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. [サイズ変更]をクリックします。



プリセットドロップダウンの横にある保存アイコンをクリックすると、名前変更設定をプリセットとして保存できます。そこから、名前を入力して[OK]を押します。プリセットを削除するには、ゴミ箱アイコンを押します。



キーボードショートカットのカスタマイズトピックの説明に従い、ショートカットを割り当てて、複数のファイルの名前を変更するプロセスを高速化できます。

サイズ変更 オプション

サイズ変更方法	設定	説明
ピクセルサイズ		
	幅	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	高さ	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 拡大または縮小：すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。 • 拡大のみ：指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 • 縮小のみ：指定した高さと幅より大きい画像のみサイズ変更します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の幅と高さの比率を維持するには、このボックスをオンにします。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更 オプションと効果] をご参照ください。
パーセンテージ		
	幅	元の画像のパーセンテージとして、画像の新しい幅を入力します。
	高さ	元の画像のパーセンテージとして、画像の新しい高さを入力します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の幅と高さの比率を維持するには、このボックスをオンにします。
印刷サイズ		
	単位	インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、またはピクセルから選択します。
	幅	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	高さ	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	解像度	画像の解像度を1インチあたりのピクセル数で入力します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 拡大のみ：指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 • 縮小のみ：指定した高さと幅より大きい画像のみサイズ変更します。 • 拡大または縮小：すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。

サイズ変更方法	設定	説明
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の幅と高さの比率を維持するには、このボックスをオンにします。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更 オプションと効果] をご参照ください。
長辺		
	サイズ	サイズを単位で入力します。単位は、ドロップダウンメニューで、インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、またはピクセルから選択できます。
	解像度	画像の解像度を1インチあたりのピクセル数で入力します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 拡大のみ: 指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 • 縮小のみ: 指定した高さ幅より大きい画像のみサイズ変更します。 • 拡大または縮小: すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
短辺		
	サイズ	サイズを単位で入力します。単位は、ドロップダウンメニューで、インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、またはピクセルから選択できます。
	解像度	画像の解像度を1インチあたりのピクセル数で入力します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 拡大のみ: 指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 • 縮小のみ: 指定した高さ幅より大きい画像のみサイズ変更します。 • 拡大または縮小: すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
オプション		
	出力場所	オプションから出力場所を選択します： • 元のファイルを削除/置換: このオプションは元のファイルを上書きします。 • ソースフォルダと同じ: サイズ変更されたファイルを元のフォルダに貼り付けます。 • 特定のフォルダー: フォルダーアイコンを使用して、出力ファイルの特定のフォルダーに移動します。

サイズ変更方法	設定	説明
		• サブフォルダーの作成: 出力場所を選択した状態で、このチェックボックスをオンにして、サイズ変更された画像のサブフォルダーを作成します。ボックスに名前を入力します。これは、特定の寸法に複数のバッチサイズ変更を行う場合に役立ちます。サイズ変更したファイルは別のフォルダに保存できます。
	ファイル オプション	既存のファイルを上書きするためのファイルオプションを選択します。 サイズ変更時に特定のファイル情報を保持するかどうかを選択します。 JPEG圧縮オプションを選択します。詳細については、JPEGオプションのトピックを参照してください。 次のオプションからリサンプリングタイプを選択します: • Lanczos: 最もシャープな画像に仕上がりますが、波打つ乱れが生じることがあります。 • Bell: 画像を滑らかにします。 • Bicubic: 写真のようにリアルな画像や、不規則だった複雑だったりする画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるデモザイザを最小限に抑えます。 • Box: 画像サイズ変更の際、タイルリングやジャギー(ギザギザとした輪郭)が出ます。 • B-spline: 画像を滑らかにしますが、ぼかしが強くなりすぎる場合もあります。 • ClearIQZ: Bicubic や Lanczos よりも処理時間がかかりますが、特に人物の写真の拡大において最適な仕上がりになります。 • Mitchell: 写真のようなリアルな画像を拡大する際、色の変化が滑らかになります。このフィルタは、ラングゾスフィルタの波打つ効果と他のフィルタのぼかし効果の間を取っています。 • Triangle: 画像の拡大と縮小に適していますが、鋭い転移線が出ます。

ファイルのオプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスの設定を変更すれば、ACDSee 究極にて、変更されたイメージを適用する場所、ファイルが重複した場合の対応方法、ファイルの最終変更日付を保持するかどうかの指定ができます。

ファイル オプション

ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次の3つのオプションからいずれかを選択します。 ● 元のファイルを削除 / 置換する: 元のファイルに新しい画像を上書きします。 ● 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する: 修正された画像の名前に識別ラベルを追加し、元の画像と同じフォルダに保存します。 ● 修正済み画像を以下のフォルダに保存する: 変換した画像を指定先のフォルダに保存します。[参照] ボタンをクリックして、フォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	ACDSee 究極でのファイルの上書き方法を指定します。ドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択してください。 ● 確認: ファイルの上書き前に確認メッセージが表示されます。 ● スキップ: ファイル名や拡張子が同じファイルがある場合、操作をキャンセルします。 ● 置換: ファイルを上書きします。 ● 名前の変更: ファイル名を変更をする際、確認メッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付 / 時間を保存します。
すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する	すべての画像の操作が完了したら、ダイアログボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、[画像のサイズ変更]ウィザードを次回使う際に適用することができます。
JPEG圧縮オプション	[JPEGオプション] ダイアログが開き、サイズを変更したファイルに適用する圧縮オプションの詳細を指定できます。

🔗 [ACDSeeでファイルのカタログを整理、管理する](#)

複数の画像の露出を調整する

ACDSee の「露出一括調整ウィザード」では、1 つまたは複数の画像の色を明るく、または暗くすることができます。各画像を個別に調整して適用前に変更のプレビューを確認したり、1 つの画像に行った調整を選択したすべての画像に適用したりすることができます。



使用した設定は、後で利用するための[プリセット](#)として保存することもできます。

画像の露出を調整するには：

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**[ツール] メニュー**から**[一括]**、**[露出調整]**を選択します。
2. [露出一括調整] ダイアログボックスで、次を 1 つ以上実行します：
 - 画像の明るさ、コントラスト、フィルライトを調整するには、**[露出]** タブを選択してオプションを調整します。
 - 画像のコントラストや光量レベルを正確に調整するには、**[レベル]** タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の露出を自動調整するには、**[自動レベル]** タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の RGB カラー チャンネルを正確に調整するには、**[トーンカーブ]** タブを選択してオプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **[この設定をすべての選択画像に適用する]** チェックボックスをオンにすると、選択したすべての画像に現行の設定が適用されます。
 - **[この設定をすべての選択画像に適用する]** チェックボックスをオフにして、**[次の画像]** をクリックして次の画像に移り、調整したい各画像に対して手順 2 を繰り返します。

4. [オプション] をクリックし、画像の保存方法を指定します。

5. [すべての画像をフィルタする] をクリックします。



編集モードで画像の露出と色レベルを調整することもできます。

一括露出処理オプションを調整する

[露出の一括調整] ダイアログのオプションを使用して、画像の露出を調整することができます。[露出] セクションは次の 4 つのタブで構成されています：露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ

露出 オプションを使用するには：

[露出の一括調整] ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します：

露出 オプション

露出	画像全体に追加する光の量を指定します。
自動	画像の明るさを基本にして露出を自動調整します。
コントラスト	画像の色と明るさの違いを指定します。スライダを右に動かすと画像の暗い部分はより暗くなり、左に動かすと明るくなります。
フィルライト	画像の暗い領域に追加する光の量を指定します。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。
ミッドトーン	画像のガンマ補正値を指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ～ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正値を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。
クリップ %	ブラックポイント補正およびホワイトポイント補正によって失われた画像の詳細をパーセントで示します。
ブラックポイント ピッカー	黒い点眼器のボタンをクリックしてブラックポイントを調整します。ブラックポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
ミッドポイント ピッカー	灰色の点眼器のボタンをクリックしてガンマ補正値を調整します。ガンマ補正値を調整したい部分を適用前画像で選択します。
ホワイトポイント ピッカー	白い点眼器のボタンをクリックしてホワイトポイントを調整します。ホワイトポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。

自動レベル オプション

強度	画像に適用される露出の量を調整します。
自動 コントラストと自動 カラー	色の違い、明るさ、画像のカラーチャンネルを自動調整します。
自動 コントラスト	色の違いと明るさのみを自動調整します。
自動 カラー	画像全体の色を調整します。

トーンカーブのオプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてカーブを操作します。

複数のファイル名を変更する

バッチ名前変更ツールを使用して、複数のファイルの名前を変更できます。数字またはアルファベット順でテンプレートを指定したり、将来使用するためにテンプレートを保存したり、特定の文字やフレーズを置き換えたり、大文字と小文字を変更したり、テキストやスペース

を挿入または削除したりできます。これは、大量の画像を処理する場合、またはファイル名で画像を整理する場合に特に便利です。

複数のファイルの名前を変更するには:

1. 管理モードで、1つ以上のファイルを選択し、[ツール] > [バッチ] > [ファイル名の変更] > [名前の変更...]の順にクリックします。2つ以上のファイルを選択する場合は、**F2**キーを押すこともできます。
2. [名前の変更]ダイアログボックスに、操作のリストが表示されます。操作をクリックすると、その設定を表示または変更できます。チェックボックスを使用して、バッチの名前変更時に実行する操作を選択または選択解除できます。次の操作により、次のアクションを実行できます。
 - **テンプレート**: 選択したすべてのファイルに適用する名前変更テンプレートを作成します。
 - **検索と置換**: ファイル名の一部を検索して置換します。
 - **大文字と小文字の変更**: ファイル名のテキストの大文字と小文字を変更します。
 - **テキストの挿入**: ファイル名にテキストを追加します。
 - **テキストの削除**: ファイル名からテキストを削除します。
 - **スペースの削除**: ファイル名からスペースを削除します。
3. [プレビュー] フィールドで、ファイル名の変更を確認します。
4. [名前を変更する]をクリックします。



プリセットドロップダウンの横にある保存アイコンをクリックすると、名前変更設定をプリセットとして保存できます。そこから、名前を入力して[OK]を押します。アクションを繰り返したい場合は、プリセットメニューの最後に使用した設定にアクセスすることもできます。プリセットを削除するには、ゴミ箱アイコンを押します。



キーボードショートカットのカスタマイズトピックの指示に従い、ショートカットを割り当てて、複数のファイルの名前を変更するプロセスを高速化できます。

設定の名前を変更

テンプレート

テンプレート:	テンプレートとして設定するファイル名の形式を入力します。このボックスには、ハイフンやアンダースコアなど、任意のテキストを入力できます。 *記号を使用して元のファイル名を挿入するため、テンプレート「 Summer Wedding * 」を使用して IMG-9359.jpg の名前を変更すると、ファイルの名前が「 Summer WeddingIMG-9359.jpg 」に変更されます。 #記号を使用して、数値またはアルファベット順のシーケンスを開始します。
メタデータの挿入...	関連するチェックボックスをオンにして、名前変更テンプレートに含める1つ以上のメタデータプロパティを選択します。OKを押します。
テンプレートのクリア	このオプションを選択して、既存のテンプレートをクリアして新しいテンプレートを作成するか、既存のテンプレートを変更します。
# を数値に置き換える	名前変更テンプレートの#を連番に置き換えるには、このオプションを選択します。
# を文字に置き換える	名前変更テンプレートの#を連続した文字に置き換えるには、このオプションを選択します。
開始:	固定値または自動検出のいずれかを選択します。[固定値]を選択した場合は、シーケンスを開始する番号を選択します。[自動検出]を選択して既存の数値システムを識別し、続行します。

検索と置換

検索する文字列:	検索する用語を入力します。
置換後の文字列:	検索した用語を置き換える用語を入力します。
メタデータの挿入...	関連するチェックボックスをオンにして、名前変更テンプレートに含める1つ以上のメタデータプロパティを選択します。OKを押します。
大文字/小文字を区別する	検索語の大文字と小文字が一致する結果のみを検索するには、このチェックボックスをオンにします。これを使用して、ファイル名のすべての大文字、またはすべての小文字の用語を削除できます。
拡張子を含める	検索と置換にファイル拡張子を含めるには、このチェックボックスをオンにします。

文字種の変換

名前	小文字、大文字、またはタイトルの大文字と小文字を選択してファイル名の大文字と小文字を変更するか、[変更なし]を選択してそのまま保持します。
エクステンション	小文字、大文字、または変更なしから選択します。これは、.JPGや.jpgなどのファイル名の大文字と小文字の違いを統一するのに役立ちます。

テキストの挿入

挿入:	ファイル名に挿入するテキストを入力します。
メタデータの挿入...	関連するチェックボックスをオンにして、名前変更テンプレートに含める1つ以上のメタデータプロパティを選択します。OKを押します。
場所	接頭辞、接尾辞、位置(名前の文字数を意味する)、このテキストの後、このテキストの前から選択します。前後のテキストでは、前、または後にくるテキストを入力します。

右から左に追加	このボックスをオンにすると、テキストが左から右ではなく、右から左に追加されます。
既存の名前を上書きする	このボックスをオンにすると、既存のファイル名を上書きしてファイルの名前を変更します。
拡張子を含める	名前変更プロセスにファイル拡張子を含めるには、このチェックボックスをオンにします。
大文字/小文字を区別する	検索語の大文字と小文字が一致する結果のみを検索するには、このチェックボックスをオンにします。

テキストを削除

開始:	位置または区切り文字を選択します。 - 位置を入力します。これは、テキストの削除を開始する名前の中の文字数を意味します。 - テキストの削除を開始する区切り文字を入力します。
次まで削除	同数を数える、区切り文字、または[最後まで]から選択します。 - 削除するテキストの文字数を入力します。 - テキストの削除を停止する区切り文字を入力します。 [最後まで]を選択すると、ファイル名の最後までテキストが削除されます。
右から左に削除	このボックスをオンにすると、テキストが左から右ではなく、右から左に削除されます。
区切り記号を削除	名前を変更するときに区切り文字を削除するには、このボックスをオンにします。そうでないと、区切り文字は残されます。
拡張子を含める	削除するテキストにファイル拡張子を含めるには、このボックスをオンにします。
大文字/小文字を区別する	区切り文字フィールドのテキストで大文字と小文字を区別するには、このボックスをオンにします。

スペースを取り除く

スペース除去のタイプ	[すべて削除]、[末尾を削除]、[連続削除]、または[置換]から選択します。 - すべて削除では、ファイル名のすべてのスペースが削除されます。 - 末尾を削除では、ファイル名に続くスペースが削除されます。 - 連続して削除では、ファイル名の複数のスペースが削除されます。 [置換]を使用すると、文字、数字、ダッシュなどの選択肢を入力できます。

詳細設定 (A)...

名前が競合した場合の対応:	次のオプションから選択します: 確認: 名前の競合が発生したときに確認メッセージを表示します。 スキップ: 競合する名前をスキップします。 名前の変更: 競合するファイルの名前を変更します。

拡張子の変更に対応

次のオプションから選択します：

- **確認：** 名前の変更が拡張子に影響する場合に確認メッセージを表示します。
- **スキップ：** 拡張子に影響する変更をスキップします。
- **名前の変更：** 名前の変更が必要な場合は、拡張子の名前を変更します。



表にリストされているオプションを編集するだけでなく、これらの操作の実行方法を並べ替えることもできます。操作を並べ替えるには、リストの下部にある上矢印または下矢印を使用するか、操作の名前をクリックして新しい場所にドラッグします。



合計で最大10個の操作を追加できます。これを行うには、リストの下部にあるプラスボタンを押します。



操作を削除するには、ごみ箱アイコンを押します。

複数画像のカラープロファイルを変更する

[カラープロファイルの一括変換] ツールを使用して、複数画像のカラープロファイルを変更することができます。



現時点でACDSee 究極はCMYKカラープロファイルをサポートしていません。

画像に使用されているカラープロファイルを変更するには：

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [ツール]>[一括]>[ICC プロファイルの変換]をクリックします。
3. [カラープロファイルの変換元]一覧から、現在画像と関連付けられているカラープロファイルを選択します。

例えば、デジタルカメラのカラープロファイルを、より一般的なsRGBカラープロファイルに変換する場合に、[カラープロファイルの一括変換]を使用します。[JPEGとTIFF画像にカラープロファイルがある場合その情報を使用する]を選択すると、ACDSee 究極は一覧から選択されたカラープロファイルではなく、画像に埋め込まれているカラープロファイルから変換を行います。

4. [カラープロファイルの変換先]一覧から、画像と関連付けたいカラープロファイルを選択します。
5. [レンダリングの方法]一覧から、レンダリングを選択します。

最も一般的に使用されているレンダリングは、[知覚]です。カラープロファイルのなかには、レンダリングを無視するものもあるため、選択されたプロファイルによって結果が異なります。

6. [オプション]をクリックして、ACDSee 究極が画像ファイルを上書きするか(オリジナルのカラープロファイルは削除されます)、新規のカラーファイルと関連付けられた新規ファイルとして保存するかを指定します。また、JPEG圧縮のオプションを設定することも可能です。
7. 開始をクリックします。
8. [完了]をクリックします。

編集の一括処理

[編集の一括処理]を使用して、複数の画像に複数の編集作業をまとめて行うことができます。使用した編集設定は、後で利用するためのプリセットとして保存することができます。各編集ツールの詳細オプションにつきましては、以下のリンクをご覧ください。



さらに包括的な一括処理ツールとして [ACDSee アクション](#) の利用をお勧めします。

編集の一括処理を開くには:

1. 管理モードで、編集したい画像を選択した後 [ツール] > [一括] > [編集の一括処理] をクリックします。
2. [編集の一括処理 オプション] ページで、[処理プロファイル] タブをクリックし、編集の種類の名前を選択すると、選択した編集の種類で利用可能なオプションが表示されます。
3. 画像に適用したい編集タイプを選択します。

変更をプレビューに反映させるには:

編集オプションの画像プレビューを [プレビュー] 領域で確認することができます。

1. [編集の一括処理] ウィザードでは、[適用前] と [適用後] タブをクリック、あるいは [プレビュー] アイコンをクリック & ホールドして [適用前] と [適用後] タブを切り替え、選択されたオプションの適用前と適用後を比較します。
2. [操作] 一覧の上下にある [オリジナル画像] または [最終画像] をクリックして、オリジナル画像とすべての編集オプションが適用された後の画像を比較します。
3. 選択された編集オプションが各画像ではどのように見えるかを確認したい場合、[次の画像] と [前の画像] ボタンをクリックして、[プレビュー] 領域に表示させます。

ズーム機能を使用するには:

1. [ズーム] スライダを左右にドラッグして、画像全体を表示したり、特定部分を拡大表示します。
2. [画面に合わせて表示] ボタンをクリックして [プレビュー] 領域に合わせて画像を表示します。
3. [実寸表示] ボタンをクリックして [プレビュー] 領域に画像を実際のサイズで表示します。[実寸表示] ボタンをクリックする場合には、スクロールバーを使って画像内を移動する必要があります。

画像を追加または削除するには:

1. [編集の一括処理] ウィザードに画像を含みたくない場合は、[画像一覧] タブをクリックし、該当する画像を選択してから [削除] をクリックします。
2. 編集する画像を追加したい場合は、[画像一覧] タブをクリックしてから、[追加] をクリックします。
3. 追加したい画像が含まれているフォルダを参照します。
4. [選択可能な項目] 領域から、該当の画像を選択した後 [追加] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。
6. 選択された画像と編集オプションに満足したら、[次へ] をクリックします。

出力オプションの設定と処理を完了するには:

1. [出力オプション] ページでは、編集された画像の保存先、名前変更の方法やその他のオプションを設定します。出力オプションの詳細は以下をご覧ください:
2. 出力オプションの設定に満足したら、[次へ] をクリックします。
3. [一括処理の状況] ページでは、進行状況バーに作業中の画像と編集の状況が表示されます。
4. [一括処理の完了] ページでは、次のオプションを設定することができます:
 - [概要] 領域から [ログの表示] をクリックして、処理中に発生した警告やエラーを表示します。
 - [Explorer で参照する] をクリックすると、Windows Explorer が開かれ、編集された画像を表示することができます。
 - [プリセットの保存] をクリックして編集オプションのすべてを保存すれば、次回以降プリセットとして使用することができます。
 - 編集された画像をファイル一覧ペインで表示したい場合、ACDSeeで[出力フォルダを参照する]を選択します。
5. 完了をクリックします。

編集オプション

[編集の一括処理] で使用可能な各ツールのオプション詳細につきましては、次のヘルプトピックをご覧ください：

- [回転](#)
- [トリミング](#)
- [サイズ変更](#)
- [カラー](#)
- [チャンネル ミキサー](#)
- [セピア](#)
- [露出](#)
- [Light EQ™](#)
- [ノイズ除去](#)
- [シャープネス](#)
- [ヴィネット](#)
- [テキストのオーバーレイ](#)
- [透かし](#)

出力オプション

保存先

ソース フォルダ内	編集後の画像を、オリジナル画像と同じフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。
新規のサブフォルダを作成する:	[フォルダの指定] ドロップダウンから選択されたフォルダ内に、新規のサブフォルダを作成します。[新規のサブフォルダを作成する] テキストボックスに、新規フォルダの名前を入力します。
フォルダを指定	編集後の画像を特定のフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。

ファイル名

オリジナルのファイル名を保持する	編集後の画像を、オリジナル画像と同じファイル名で保存したい場合に、このオプションを選択します。
次の名前変更テンプレートを使用する	編集後の画像に、テンプレートを使って名前を変更したい場合に、このオプションを選択します。

画像 ファイル フォーマット

ファイル フォーマット	編集後の画像のファイル フォーマットを変更したい場合に、ファイル フォーマットを選択します。
ピクセル フォーマット	編集後の画像の BPP (Bit Per Pixel) 値と、画像のカラーまたはグレースケールを指定するためのオプションです。編集後の画像を、オリジナル画像と同じピクセルフォーマット(あるいは最も近いフォーマット)にしたい場合には、[自動]を選択します。また、カラーの画像をグレースケールに変換する、あるいは他のソフトウェアで対応できるピクセル フォーマットに変換する場合も、このオプションを使用します。

メタデータ

メタデータを保存	オリジナル画像にメタデータが含まれていて、編集後の画像にも同一のメタデータを含めたい場合に、このオプションを選択します。
埋め込みオーディオを保持する	オリジナル画像にオーディオが埋め込まれていて、編集後の画像にも同一のオーディオを埋め込めたい場合に、このオプションを選択します。

オプション

最終更新日を保持する	オリジナル画像に最終更新日のデータが含まれていて、編集後の画像にも同一の最終更新日を含めたい場合に、このオプションを選択します。
データベース情報をコピーする	オリジナル画像の ACDSee メタデータを、編集後画像のデータベースにもコピーしたい場合、このオプションを選択します。
出力ファイルが存在する際の処理法:	このオプションを使い、ACDSee 究極 で出力フォルダに編集後の画像と同名のファイルが存在する場合の処理方法を指定します: • 確認: 画像ごとに異なるオプション(スキップ、名前変更、上書き)を選択するように確認メッセージが表示されます。 • スキップ: その画像の処理をスキップし、次の画像の処理を開始します。 • 置き換え: 保存先フォルダにある画像を編集された画像で置き換えます。 • 名前を変更する: 編集された画像の名前を変更します。

回転の一括処理 オプション

[回転] セクションのオプションを使用して、プリセットの角度、あるいはカスタムの角度で画像を回転することができます。

回転オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで[回転] チェックボックスをオンにします。

回転オプション

回転なし	このオプションは既定として設定されていますので、ユーザーが回転オプションを選択するまで画像は回転されません。
180°	画像を180度回転させます。
左に 90 度	画像を左に90度回転させます。
右に 90 度	画像を右に 90 度回転します。
カスタム回転	このオプションを選択してスピンボックスにカスタムの角度を入力するか、希望する角度に画像が回転されるまで矢印をクリック & ドラッグします。
背景色	選択された色が、回転された画像の背景に表示されます。
縦横の基本線として使うための線を画像上に描く	[上下]または[左右] ボタンをクリックし、マウスポインタを使って縦横の基本線を画像上に描きます。
自動トリミング	回転後の画像から最も大きな長方形にトリミングしたい場合は、カスタム角度で画像を回転させるときに[自動トリミング] を選択します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

トリミングの一括処理 オプション

[トリミング] セクションのオプションを使用して、トリミング領域のサイズや方向を指定することができます。

トリミング オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで[トリミング] チェックボックスをオンにします。

トリミング オプション

トリミングの縦横比	トリミング領域のサイズ、あるいは縦横比を選択します。[カスタム] を選択して、カスタムのトリミング領域を指定します。
方向	トリミング領域の方向を選択します: - 自動: オリジナル画像の方向に基づいて、トリミング領域の方向を指定します。例えば、オリジナル画像の方向が横になっている場合、トリミング領域も横に設定されます。 - 横: トリミング領域の方向に横を使用します。 - 縦: トリミング領域の方向に縦を使用します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

サイズ変更の一括処理 オプション

[サイズ変更] セクションのオプションを使用して、画像のサイズを変更することができます。

サイズ変更 オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで[サイズ変更] チェックボックスをオンにします。

サイズ変更 オプション

サイズの変更方法

メガピクセル

オリジナルの縦横比を保持しながら、特定のメガピクセル数に画像を拡大/縮小する場合に、このオプションを使用します。例えば 6 メガピクセルで縦横比が 3000 X 2000 の画像を 1.5 メガピクセルに設定すると、画像のサイズは 1500 X 1000 に縮小されます。

ドロップダウン リストを使って、メガピクセル サイズのプリセット一覧から選択します。別の方法として、[メガピクセル] スピンボックスに値を入力することもできます。[縮小/拡大] ドロップダウン リストで、画像のサイズ変更方法を指定します：

- **縮小のみ**：画像のサイズを縮小します。
- **拡大のみ**：画像のサイズを拡大します。
- **拡大または縮小**：画像のサイズを拡大、または縮小します。

パーセンテージ

オリジナル画像の割合でサイズを変更する場合に、このオプションを選択します。例えば、画像を小さくしたい場合は、100 より小さい値を入力します。画像を大きくしたい場合は、100 より大きい値を入力します。

ピクセルの寸法

ピクセル単位で、特定の幅や高さに画像を縮小/拡大したい場合に、このオプションを選択します。[縮小/拡大] ドロップダウン リストで、画像のサイズ変更方法を指定します：

- **縮小のみ**：画像のサイズを縮小します。
- **拡大のみ**：画像のサイズを拡大します。
- **拡大または縮小**：画像のサイズを拡大、または縮小します。

印刷の寸法

特定の印刷の寸法、例えば写真の印刷サイズに合わせて画像を縮小/拡大したい場合に、このオプションを選択します。ドロップダウンには、プリセットの印刷サイズの一覧が表示されます。別の方法として、特定の高さ、幅、解像度を入力することも可能です。

[縮小/拡大] ドロップダウン リストで、画像のサイズ変更方法を指定します：

- **縮小のみ**：画像のサイズを縮小します。
- **拡大のみ**：画像のサイズを拡大します。
- **拡大または縮小**：画像のサイズを拡大、または縮小します。

[パーセント]、[ピクセルの寸法]、[印刷の寸法] オプションを選択した場合に設定できる[調整方法]では、サイズ変更後の調整方法を指定します：

- **オリジナルの縦横比を保持して合わせる**：オリジナル画像の縦横比を保持する場合に、このオプションを選択します。例えば、オリジナル画像の縦横比が 4:3 の場合には、サイズ変更後の縦横比も 4:3 のままになります。
- **拡大して合わせる**：指定の幅や高さに画像を拡大したい場合に、このオプションを選択します。
- **バーを追加して合わせる**：画像より大きな領域に画像のサイズを合わせたい場合に、このオプションを選択します。画像と指定サイズ間の余白を埋めるためのバーの色は、指定することができます。

再サンプリング方式

このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式（再サンプリング方式）を指定します。

- **Box**：画像サイズ変更の際、タイリングやジャギーが出ます。
- **Triangle**：画像の拡大と縮小に適していますが、鋭い転移線が出ます。
- **Bicubic**：写真のようにリアルな画像や、不規則だったり複雑だったりする画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。

- **Bell:** 画像を滑らかにします。
- **B-spline:** 画像を滑らかにしますが、ぼかしが強くなりすぎる場合もあります。
- **Lanczos:** 最もシャープな画像に仕上がりますが、波打つ乱れが生じることがあります。
- **Mitchell:** 写真のようなリアルな画像を拡大する際、色の変化が滑らかになります。このフィルタは、ラングズ フィルタの波打つ効果と他のフィルタのぼかし効果の間を取っています。
- **ClearIQZ:** Bicubic や Lanczos よりも処理時間がかかりますが、特に人物の写真の拡大においてベストな仕上がりになります。

リセット	
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

色の一括処理オプション

[カラーキャスト] タブのオプションを使用して、画像から不必要な色合いを削除することができます。[彩度] タブを使用して、複数画像の彩度をまとめて変更することも可能です。

カラー オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [カラー] チェックボックスをオンにします。

カラー オプション

カラーキャスト

色の選択

白またはグレーであるべき画像の領域をクリックします。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。

ホワイトポイント

次のいずれかを選択します。

- **カスタム**: ユーザーがクリックした、画像の領域を色温度で表示します。
- **晴れ**: 晴れの日の正午の値に近い 5500 K に色温度を調整します。
- **曇り**: 少し曇っている日の値に近い 6500 K に色温度を調整します。
- **影**: 雲が多い曇りの日の値に近い 7500 K に色温度を調整します。
- **タングステン**: 一般家庭の電球の値に近い 2850 K に色温度を調整します。
- **蛍光灯**: 蛍光灯の電球の値に近い 3800 K に色温度を調整します。
- **フラッシュ**: カメラのフラッシュの値に近い 5500 K に色温度を調整します。

強度

削除するカラーキャストの強度を指定します。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。

色温度

色温度を指定します。

色合い

撮影時に使用した設定に合わせて、グリーン(左に移動)またはレッド(右に移動)の量を指定します。

彩度

度合い

画像の色相(カラー)の強度を増加あるいは減少します。すべてのカラーを削除してグレースケールの画像を作成するには、スライダを左端にドラッグします。

リセット

リセット

すべてのオプションを既定値にリセットします。

チャンネル ミキサの一括処理 オプション

編集の一括処理にある【チャンネルミキサー】を使用して、複数の画像をリッチなグレースケールに仕上げることができます。レッド、グリーン、ブルーチャンネルの輝度、および画像全体の明るさを調整するため、画像の異なる領域やアスペクトを強調するだけでなく、画像のムードやトーンを変更することができます。

各スライダの上にカーソルを移動すると、コントロールの下にある小さなプレビューウィンドウに効果が表示されて、チャンネルごとに画像のどの部分が変化するのがわかります。画像における各スライダの効果を確認するために便利です。

グレースケールの画像を作成するには:

【編集の一括処理】ウィザードで【チャンネルミキサー】チェックボックスをオンにします。

チャンネルミキサー オプション

パーセント・赤	スライダを左 または 右 にドラッグします。ピクセルにレッドが多いほど、レッドスライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるレッドの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
パーセント・緑	スライダを左 または 右 にドラッグします。ピクセルにグリーンが多いほど、グリーンスライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるグリーンの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
パーセント・青	スライダを左 または 右 にドラッグします。ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるブルーの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
パーセント・明るさ	スライダを左 または 右 にドラッグすると、画像全体が明るくまたは暗くなります。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

セピアの一括処理オプション

[編集の一括処理] ウィザードを使用して、複数の画像をまとめてセピアカラーに仕上げることができます。

複数の画像をセピアに変更するには:

1. [編集の一括処理] ウィザードで **[セピア]** チェックボックスをオンにします。
即時に、[プレビュー] にセピアカラーの画像プレビューが表示されます。
2. [画像一覧] タブをクリックし、一括処理の各画像をクリックすると、他の画像でセピアの効果を確認できます。

露出の一括処理オプション

[露出] セクションのオプションを使用して、画像の露出を調整することができます。[露出] セクションは次の 4 つのタブで構成されています: 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ

露出 オプションを使用するには:

- [編集の一括処理] ウィザードで **[露出]** チェックボックスをオンにします。

露出 オプション

露出	画像全体に追加する光の量を指定します。
コントラスト	画像の色と明るさの違いを指定します。スライダを右に動かすと画像の暗い部分はより暗くなり、左に動かすと明るくなります。
フィルライト	画像の暗い領域に追加する光の量を指定します。
明るさ	画像の明るさの強度を指定します。スライダを右に動かすと画像は明るくなり、左に動かすと暗くなります。
ガンマ	画像の光のスペクトルの強度を指定します。スライダを右に動かすと画像は明るくなり、左に動かすと暗くなります。
露出警告を表示する	露出 オーバー、露出 アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。
中間色	画像のガンマ補正値を指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ～ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正値を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。
クリップ %	ブラックポイント補正およびホワイトポイント補正によって失われた画像の詳細をパーセントで示します。
ブラックポイント ピッカー	黒い点眼器のボタンをクリックしてブラックポイントを調整します。ブラックポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
ミッドポイント ピッカー	灰色の点眼器のボタンをクリックしてガンマ補正値を調整します。ガンマ補正値を調整したい部分を適用前画像で選択します。
ホワイトポイント ピッカー	白い点眼器のボタンをクリックしてホワイトポイントを調整します。ホワイトポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
自動	次のいずれかのオプションを選択します。 ・ コントラストの調整: 自動分析して、画像のコントラストを調整します。 ・ 色とコントラストの調整: 自動分析して各カラーチャンネルを調整してから、コントラストを調整します。 ・ 色と明るさの調整: 自動分析して、画像の色と明るさを調整します。 ・ トラレンス: [トラレンス設定]ダイアログボックスを開きます。 シャドウとハイライトの最大クリッピング率を指定し、[OK]をクリックします。ACDSeeは画像レベルを自動的に調整します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

自動レベル オプション

強度	画像に適用される露出の量を調整します。
自動コントラストと自動カラー	色の違い、明るさ、画像のカラーチャンネルを自動調整します。
自動コントラスト	色の違いと明るさのみを自動調整します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてカーブを操作します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

Light EQ™ の一括処理 オプション

[Light EQ™] セクションのオプションを使用して、他の領域を変更せずに、画像内の明るすぎるまたは暗すぎる領域だけを調整することができます。変更を行う際、[Light EQ™ 処理後] タブで画像の効果を確認したり、[画像一覧] タブをクリックして他の画像をクリックすることで各画像の調整効果を確認したりすることができます。

ライティングを調整するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [ライト EQ™] チェックボックスをオンにします。

Light EQ™ オプション

各画像に自動設定を適用する	ソフトウェアが写真を分析し、写真内の明るいピクセルと暗いピクセルの量に基づいて最適な設定を適用します。既に明るい写真よりも暗い写真の方が、明るくなる度合いが大きくなります。
明るくする	画像の暗い領域を明るくします。次のいずれかまたは両方を実行します: • 圧縮: スライダを右に動かすと、画像の暗い領域が明るくなります。 • 振幅: 右にドラッグすると、画像のすべての領域で明るくなる度合いが増えます。
暗くする	画像の明るい領域を暗くします。次のいずれかまたは両方を実行します。 • 圧縮: スライダを右に動かすと、画像の明るい領域が暗くなります。 • 振幅: 右にドラッグすると、画像のすべての領域で暗くなる度合いが増えます。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

ノイズ除去の一括処理 オプション

[ノイズ除去] セクションのオプションを使用して、画像の詳細を保持しながら画像からノイズを除去することができます。



使用した設定は、後で利用するための プリセット として保存することもできます。

ノイズ除去オプションを使用するには:

1. [ツール] > [一括] > [編集の一括処理] をクリックします。
2. [編集の一括処理] ダイアログボックスから、[ノイズ除去] チェックボックスをオンにします。

ノイズ除去 オプション

ノイズ除去	ノイズを除去します。
正方形	正方形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。
X	X 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用します。
+	十形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使用します。
ハイブリッド	正方形の 3 x 3 ピクセル、X 形の 3 x 3 ピクセルおよび + 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、対角線、縦横線を保持したい場合に、このオプションを使用します。[ハイブリッド] を選択すると、以下の追加オプションを指定することができます： ● 明るさ: スライダを左右にドラッグして、明るさのバリエーションをコントロールします。 ● カラー: スライダを左右にドラッグして、カラー(色相と彩度)のバリエーションをコントロールします。例えば、スライダを右にドラッグするとカラーバリエーションの量が減ります。ノイズによるカラーバリエーションの量を減らすと、画像内の実際のカラーバリエーションも減らしてしまう結果になりますのでご注意ください。
リセット	変更をすべてキャンセルし、元のノイズレベルに戻します。

シャープネスの一括処理オプション

[シャープネス] セクションのオプションを使用して、画像の中～高コントラストのエッジを強調することによって、画像をシャープに仕上げることができます。

シャープネス オプションを使用するには：

[編集の一括処理] ウィザードで[シャープネス] チェックボックスをオンにします。

シャープネス オプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。値が高くなるほどエッジが暗くなります。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増加します。
しきい値	シャープにする前に、近隣ピクセル間の明るさの違いを指定します。値が高くなるほど浮き出しが深くなります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

ビネットの一括処理オプション

[ヴィネット] セクションのオプションを使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できます。境界線の外観をコントロールすることができます。

ヴィネット オプションを使用するには：

[編集の一括処理] ウィザードで【ヴィネット】チェックボックスをオンにします。

ヴィネット オプション

左右	焦点の位置を左右に設定します。 500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。 500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
クリア ゾーン	焦点の周りにあるクリアゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリアゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリアゾーンのサイズが大きくなります。
トランジション ゾーン	クリアゾーンとフレーム間のトランジションゾーンの幅を指定します。スライダを左に動かすと、トランジションの幅が狭くなります。スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広がります。
形	ヴィネットの形を指定します: ● 丸: 丸みを帯びたフレームを作成します。 ● 四角: 四角形のフレームを作成します。
輪郭を表示する	クリアゾーンの外側のエッジと、フレームの内側のエッジを示した輪郭を表示します。
フレーム	焦点の周りにあるフレームに追加する、特殊効果を指定します: ● カラー: フレームの領域に色の効果が適用されます。 ● 彩度: フレームの領域から色を取り除きます。 ● ぼかし: フレームがぼかして表示されます。 ● 雲: フレームの領域に雲を表示します。 ● エッジ: フレーム領域内の人物やオブジェクトの線やディテールを、蛍光色でなぞります。 ● 放射状波: 焦点からフレーム領域に放射する波を生成します。 ● 放射状ぼかし: フレーム領域の人物やオブジェクトを回転して引き伸ばします。 ● ズームぼかし: フレームの領域にズームぼかしの効果が適用されます。 ● クレヨン エッジ: フレーム領域内の人物やオブジェクトの線やディテールを、クレヨンでの線でなぞります。 ● ペンキ画: フレーム領域の人物やオブジェクトが、ペンキで描かれたような効果を加えます。 ● ピクセル化: 画像のピクセルサイズを大きくして画像をぼかします。 ● オールド: 年季の入った外観に仕上げます。 ● グロー エッジ: フレーム内の線やディテールに色を追加します。色の付いた線や詳細は、ネオンサインのように光って見えます。 ● 波紋: 画像を同心円に分割して、小石を水に落とした時の波紋のような見栄えにします。
フィルタの設定	[フィルタの設定]領域に表示される設定は、選択される各フレームの効果によって変わります。例えば、[色]を[フレーム]エリアで選択すると、カラーピッカーが[フィルタ設定]エリアに表示されます。同様に、[ぼかし]を[フレーム]エリアで選択すると、ぼかしのレベルをコントロールするスライダが[フィルタ設定]エリアに表示されます。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

テキスト オーバーレイの一括処理 オプション

[テキストのオーバーレイ] セクションのオプションを使用して、画像に書式付きのテキストを追加します。特殊効果を適用して、テキストをアーティスティックに仕上げることも可能です。透明度を使って画像に透かし効果を加えることができます。画像に著作権などの情報を

入れるのに大変便利です。

テキストのオーバーレイ オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで [テキストのオーバーレイ] チェックボックスをオンにします。

テキストオプション

テキスト	与えられた領域にテキストを入力した後、太字、斜体、下線などのフォントスタイルを指定します。[テキスト] 領域の右にあるドロップダウン リストをクリックして、登録記号、著作権記号、商標記号や画像 メタデータを挿入します。
回転	テキストの回転を指定します。
サイズ	スライダをドラッグしてテキストのサイズを指定します。
カラー	テキストの色を指定します。
透明度	スライダをドラッグして、テキストの透明度を調整します。
配置	四角をクリックして、テキストの配置を指定します。
テキスト ボックス	
左揃え	テキストボックスの配置を、各画像の左端に設定します。
右揃え	テキストボックスの配置を、各画像の右端に設定します。
上端揃え	テキストボックスの配置を、各画像の上に設定します。
下端揃え	テキストボックスの配置を、各画像の下に設定します。
枠線	枠線の色を選択し、スライダをドラッグして枠線の透明度を指定します。
塗りつぶし	テキストボックス内を塗りつぶす色を選択し、スライダをドラッグしてフィルの透明度を指定します。
リセット	
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

ボックス効果 オプション

特殊効果

特殊効果

ボックスに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、ボックスの外観を調整します。

斜角縁

角度

エッジ傾斜効果を形成する仮想光源の向きを指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。

高度

エッジ傾斜のシャドウ効果を形成する仮想光源の高さを指定します。値が低くなるほどボックスのシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。

斜角縁

各ボックスのエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。

強度

ボックスの最高点と最低点の間の違いを指定します。値が高くなるほど、ボックスの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。

ドロップシャドウ

角度

影を形成する仮想光源の向きを指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ボックスの影を調整することができます。

ぼかし

ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。

透明度

ドロップシャドウの暗さを指定します。

距離

ドロップシャドウとボックス間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、ボックスがより浮き立つことになります。

ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、ボックス枠のサイズを大きくします。

ブレンドモード

ブレンドモード

[[ブレンドモード](#)] ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。

テキスト効果オプション

特殊効果

特殊効果

テキストに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、テキストの外観を調整します。

斜角縁

角度

エッジ傾斜効果を形成する仮想光源の向きを指定します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。

高度

エッジ傾斜のシャドウ効果を形成する仮想光源の高さを指定します。値が低くなるほどテキスト上のシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。

斜角縁

各文字のエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。

強度

テキストの最高点と最低点の差を指定します。値が高くなるほど、テキストの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。

ドロップシャドウ

角度

影を形成する仮想光源の向きを指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でテキストの影も調整することができます。

ぼかし

ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。

透明度

ドロップシャドウの暗さを指定します。

距離

ドロップシャドウとテキスト間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、テキストがより浮き立つことになります。

ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、テキスト枠のサイズを大きくします。

ブレンドモード

ブレンドモード

[ブレンドモード] ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。

透かしの一括処理オプション

[透かし] セクションのオプションを使用して、画像に透か시를追加することができます。透かしは画像上の任意の位置に移動できます。透かしの透明度を変更して、透か시를画像にブレンドすることもできます。これは透かしのバッチ適用を行う1つの方法ですが、より包括的なバッチ処理ツールとして [ACDSeeアクション](#) の使用をお勧めします。

透かしオプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで[透かし] チェックボックスをオンにします。

透かしオプション

画像

参照	クリックして透かしに使用する画像を参照して選択するか、ドロップダウン リストから選択します。既定値として、透かしは画像の中央に表示されます。クリック & ドラッグで透かしの位置を調整するか、[場所 & ブレンドモード] タブをクリックしてオプションを使用します。
縦横比を保持してサイズ変更する	透かしの形を引き伸ばしたりゆがめたりせず、縦横比を保ったままサイズを変更したい場合に、このオプションを選択します。
アルファチャンネルを適用	透かしにアルファチャンネルが存在し、それを適用したい場合に選択します。(TIF、PNG、ICO の透かしファイルのみ、アルファチャンネルを含むことができます。
透過を適用	透かしの色を透明にしたい場合には、[透過を使用] を選択します。既定の色は白です。RGB の値を入力することもできます。RGB 値がわからない場合、透かしのプレビューサムネール上にカーソルを移動して、透明にしたい色をクリックします。

場所 & ブレンド

場所	透かしの位置をピクセルまたはパーセントで指定します。
ブレンドモード	透かしと画像のブレンドモードを指定します。
透明度	スライダをドラッグして、透かしの透明度を指定します。

リセット

リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

現像の一括処理を使用する

現像の一括処理ツールは、複数の画像に現像プリセットを適用してさまざまなファイルフォーマットでエクスポートすることができる非常に便利な機能です。

複数の画像にプリセットを一括適用するには:

1. [管理] モードで、現像したい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 右クリックしてコンテキストメニューの [一括] > [現像の一括処理] を選択する (表示モードでも可能です)。
 - [一括]>[一括現像]をクリックします。
3. [現像のプリセットを選択] で使用するプリセットを選択します。
4. JPEG や TIFF ファイルなど、異なるファイルフォーマットで保存したい場合は、[ファイルを別のフォーマットにエクスポート] をオンにします。
5. [オプション] をクリックして現像の一括処理オプションダイアログを開き、フォーマットやその他のオプションを選択します。(次の表をご覧ください。)
6. [エクスポート] ダイアログボックスでの選択の仕方は、以下の表をご確認ください。
7. [OK] をクリックします。
8. [現像] をクリックします。

エクスポート オプション

保存先

ソース フォルダ内

ソース画像が現在保存されているのと同じフォルダに保存する場合にこのオプションを選択します。

[新規のサブフォルダを作成する] チェックボックスをオンにすると、ソースフォルダ内にサブフォルダを作成してそこにファイルを保存します。

フォルダを指定

このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。

ファイル名

テンプレートを使って名前を変更する

テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。

テンプレート

[テンプレートを使って名前を変更する] チェックボックスをオンにすると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。

テンプレートフィールド

ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。

元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク(*)を1つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ(#)を使用します(複数可)。

ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。

挿入 | メタデータ フィールド

名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。

[テンプレート]フィールドにカーソルを合わせ、**[メタデータを挿入]**をクリックすると、**[プロパティの選択]**ダイアログボックスが開きます。挿入したいメタデータを選択して**[OK]**をクリックします。

挿入 | 連番

テンプレートに挿入されたシャープ(#)は、連続する数字またはアルファベットに置き換えられます。数字またはアルファベットのいずれかは後述のオプションで選択します。

挿入 | オリジナルのファイル名

テンプレートに挿入されたアスタリスク(*)は、オリジナルのファイル名に置き換えられます。

挿入 | 連番 オプション
開始番号

最初の文字または番号を指定します。

フォーマット

ファイルフォーマット

エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。

フォーマットの設定

[設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。

ピクセル フォーマット

選択したフォーマットの色深度を指定します。

色空間情報

[色空間情報] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストから色空間オプションを

選択します。

出力サイズ

画像のサイズを変更する

このオプションを選択して画像サイズの変更方法を指定します。次のオプションから選択してください。

- **寸法**: このオプションを選択すると、縦横の方向に関係なく指定した寸法に合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または **cm** で指定します。
- **幅と高さ**: 二つのボックスに入力した値の範囲に収まるよう、エクスポートする画像のサイズを調整するには、このオプションを選択します。
- **長辺**: このオプションを選択すると画像の長辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または **cm** で指定します。
- **短辺**: このオプションを選択すると画像の短辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または **cm** で指定します。
- **パーセンテージ**: パーセンテージでサイズを変更するには、このオプションを選択します。
- **拡大または縮小**: すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
- **縮小のみ**: 指定した高さより大きい画像のみサイズ変更します。
- **拡大のみ**: 指定した幅と高さより画像が小さい場合のみ画像を拡大します。

解像度

インチまたはcm当たりのピクセル数を指定します。

オリジナルの縦横比を保持

オリジナル画像の縦横比を保持したい場合に選択します。**注意**: 画像のサイズを長辺または短辺のオプションで変更した場合、元の画像の縦横比が保持されます。

メタデータ

メタデータ

画像にメタデータが含まれており、エクスポートする画像にも同じメタデータとカラープロファイルを含めたい場合にこれらのオプションを選択します。



オプション: 新規エクスポートプリセットのボタンをクリックし、プリセットの名前を入力すると、設定をプリセットとして保存することができます。1つ以上のプリセットをリストから選択して適用することができます。



プリセットを編集は、リストでプリセットをクリックして編集し、現在のエクスポートプリセットの[保存]ボタンをクリックします。

データベース ACDSee 究極 について

フォルダを参照すると、ACDSee 究極 データベースは、画像、ドキュメント、メディアファイルの情報を自動保存します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。データベースによりコンピュータの閲覧速度が上がり、データベースに保存した情報を使用して画像やメディアファイルの並べ替え、整理、検索、フィルタリングができます。また、データベース情報をバックアップ、復元、共有することもできます。

キャッシュされたサムネイルのプレビューを格納したり、コンピュータ上の各画像またはメディアファイルに、次のような情報を追加したり編集したりすることができます:

- カテゴリ
- 注記
- キーワード
- カラーラベル

- 作成者
- 日付
- 重要度
- キャプション
- 顔データ

データベースからフォルダを除外したり、除外したフォルダにあるコンテンツを他の画像またはメディアファイルと切り離して保管したりすることも可能です。

ACDSee メタデータはファイルに直接埋め込むことができます。詳細については、「[ファイルへの ACDSee メタデータの埋め込み](#)」を参照してください。



ACDSee でファイルに ACDSee メタデータを追加すると、そのファイルはデータベースにリンクされます。Windows エクスプローラなど ACDSee 以外のプログラムを使用してファイルのコピー、移動、名前の変更を行うと、データベースとのリンクが壊れ、ACDSee メタデータが消えることがあります。

ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む

ACDSee メタデータを編集またはファイルに追加すると、ACDSee 究極 によって新しいデータがデータベースに自動的に追加されます。[オプション] ダイアログ ボックスで [埋め込み ACDSee メタデータ リマインダーを表示する] チェックボックスがオンになっている場合は、[ツール | オプション | ACDSee メタデータを埋め込む] をクリックします。)、次回 ACDSee を閉じるときに、[ACDSee メタデータの埋め込み] ダイアログ ボックスが開き、変更されたファイル自体に新しいデータを埋め込むよう提案されます。このリマインダーを表示する頻度を設定することもできます。ファイルに ACDSee メタデータを埋め込むことも、このデータを安全にバックアップし、必要な場合に簡単に取得できるようにする方法です。

たとえば、ACDSee メタデータをファイルに割り当てると、そのファイルはデータベースにリンクされます。Windows エクスプローラまたは ACDSee 以外のアプリケーションを使用してファイルを移動すると、リンクが壊れます。ただし、このデータをファイルに埋め込んでいて、リンクが壊れている場合でも、ファイルに埋め込まれたデータを使用して ACDSee メタデータを取得できます。

ACDSee 究極 を使用して、ファイルの名前変更、移動、またはコピーを (別のコンピュータにでも) 行うことができ、埋め込まれた ACDSee メタデータもファイルと一緒に転送されます。

プロンプトが表示されたときに ACDSee メタデータをファイルに埋め込むには:

1. [ACDSee メタデータの埋め込み] ダイアログで、次のいずれかまたは両方を選択します。
 - ACDSee メタデータは X ファイルに埋め込まれます: ファイルの数を示します。
 - ACDSee 顔データは Y ファイルに埋め込まれます: 選択したファイルの数を示します。顔データを埋め込む必要があります。
2. [埋め込み] をクリックします。



[オプション] をクリックして、[ACDSee メタデータの埋め込みオプション] を開きます。詳細については、[ここ](#)をクリックしてください。

いつでも ACDSee メタデータを埋め込むには:

いつでもファイルにデータを埋め込むことができます。

1. [ツール] をクリックします。メタデータ | ACDSee メタデータを埋め込み、次のいずれかを選択します。
 - すべてのファイルに埋め込む: すべてのファイルのデータを埋め込みます。
 - 選択したファイルに埋め込む: 選択したファイルのデータを埋め込みます。

2. [ACDSee メタデータの埋め込み] ダイアログで、次のいずれかまたは両方を選択します。

- **ACDSee メタデータは X ファイルに埋め込まれます:** メタデータが埋め込まれる、選択したファイルの数を示します。
- **ACDSee の顔データは Y ファイルに埋め込まれます:** 顔データが埋め込まれる、選択したファイルの数を示します。

3. [埋め込み] をクリックします。



[オプション] をクリックして、[ACDSee メタデータの埋め込みオプション] を開きます。詳細については、[ここ](#)をクリックしてください。



ACDSee は XMP を使用して、各 ファイルに ACDSee メタデータを埋め込みます。XMP をサポートするファイル形式やファイル拡張子は一部のみです。これらには、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD、TIF、AVIF、および JPEG-XL が含まれます。これらのファイル形式の場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれているため、ACDSee 以外の場所でファイル名の変更や移動を行っても、ACDSee メタデータを保持することができます。RAW や ABR など、現在 XMP をサポートしていない形式の場合、ACDSee メタデータは元のファイルと同じフォルダに保存される「サイドカーファイル」に書き込まれます。サイドカーファイルはファイル本体とは別のファイルであるため、名前の変更や移動を行う際は常にセットで行う必要があります。そうしない場合、ACDSee メタデータが永久に失われる恐れがあります。

ACDSee と IPTC の間に カテゴリとキーワードを埋め込む

ACDSee キーワードとカテゴリを IPTC メタデータに埋め込んだり、IPTC キーワードと補足カテゴリから ACDSee キーワードとカテゴリにインポートしたりするための簡単なコマンドがあります。

ACDSee キーワードとカテゴリを IPTC キーワードと補足カテゴリに埋め込むには

ファイルを選択し、右クリックして [メタデータ] を選択します。キーワードを **IPTC に埋め込む** または **カテゴリを IPTC に埋め込む**。

または

ファイルを選択し、ツール | を選択します。メタデータ | キーワードを **IPTC に埋め込む** または **カテゴリを IPTC に埋め込む**。

ACDSee AI キーワードを IPTC キーワードに埋め込むには:

ファイルを選択し、右クリックして [メタデータ] を選択します。**AI キーワードを IPTC に埋め込みます**。

または

ファイルを選択し、ツール | メタデータ | **AI の埋め込み IPTC へのキーワード**。



AI キーワードは、この方法でのみ IPTC に埋め込むことができます。

IPTC メタデータのマージまたは上書き

ACDSee メタデータを IPTC メタデータに埋め込む際には、以前に保存されたメタデータと併せてデータを保存する方法を選択できます。

- マージ: 既存の **IPTC キーワード** および/または **IPTC の補足カテゴリ** に、**ACDSee のメタデータ** が追加されます。
- 上書き: **ACDSee のメタデータ** は、既存の **IPTC キーワード** および/または **IPTC の補足カテゴリ** を置き換えます。

埋め込み保留中アイコン

管理モードのファイル一覧ペインでは、次のオーバーレイアイコンはファイルの上部に表示されます。ファイルは、未書き込みの ACDSee 究

極 データベース内に保存されている ACDSee メタデータと顔データを含みます:



右クリックして次のどちらかの操作を選択してください:

- **ACDSee メタデータを埋め込む**：メタデータをファイルに書き込みます。
- **埋め込み保留中のアイコンの消去**：オーバーレイ アイコンは消えますが、メタデータはファイルに書き込まれません。

データの埋め込みが必要なファイルを表示する

埋め込む必要があるデータが含まれているファイルを確認するには、[埋め込み保留中] オプションを使うとファイルを簡単に一覧表示できます。

データの埋め込みが必要なファイルを表示するには：

カタログ ペインの [スペシャル アイテム] から [埋め込み保留中] を選択します。

ファイル一覧に、埋め込みの必要なデータを含んでいるファイル一覧が表示されます。

ファイルに埋め込まれている ACDSee メタデータを取得する

ファイルの格納されているフォルダを参照すると、ACDSee メタデータの一部が取り込まれ、データベースに書き込まれます。ただしカテゴリとキーワードはこれに該当しません。

すべての ACDSee メタデータ (カテゴリとキーワードを含む) を取得するには、[ツール] > [データベース] > [ファイルのカタログ化] をクリックするのが最も安全です。その後、以下が適用されます：

- GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF 形式のファイルについては、すべてのデータが取得されてデータベースに書き込まれます。
- ファイルのサイドカー ファイルがフォルダ内に存在し、ファイル名が同一である場合、データベース情報が取得され、データベースに書き込まれます。
- ファイルとそれとペアになっているサイドカー ファイルが移動された、あるいは名前が変更された場合、ACDSee メタデータは取得されずに失われてしまいます。

データベースからフォルダを除外する

データベースからフォルダを除外して、除外したフォルダにあるコンテンツを他の画像やメディア ファイルから切り離すことができます。既定値として、ハードディスク上にある Program Files や Windows フォルダは自動的にデータベースから除外されるように設定されています。

フォルダの除外設定を管理するには：

1. 管理モードで、[ツール]、[データベース]、[フォルダの除外設定] をクリックします。
2. [フォルダの除外] ダイアログ ボックスで、以下のいずれかを実行します：
 - データベースからフォルダを除外するには、[追加] をクリックします。ハードドライブから除外するフォルダを選択して、[OK] をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧からフォルダを削除するには、一覧から削除するフォルダを選択して [削除] をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧を既定値にリセットするには、[既定値にリセット] をクリックします。
3. 選択項目を確認したら、[閉じる] をクリックして ACDSee に戻ります。

ファイルをデータベースにカタログ化する

ACDSee 究極を使用してフォルダを参照すると、ファイル情報とサムネイルが自動的にデータベースに追加されます。カタログダイアログ ボックスを使用すると、参照するまえにフォルダにグループ化されたファイルをデータベースに追加することができます。ACDSee 究極を最初に使用するときや、大きな画像コレクションを参照または管理するときに特に有用です。このときのフォルダの読み込み時間を短縮することができます。

ACDSee 究極を最初に実行すると、カタログ化するファイルを求められます。

ファイルのカタログ化方法:

1. 管理 モードで、[ツール] | データベース | ファイルをカタログ化...をクリックします。
2. カタログ化 するファイルを選択 します。詳しくは、以下 の「カタログオプション」テーブルを参照 してください。
3. [開始]をクリック します。
進行状況 バーで、ファイルがカタログ化 されているのを確認 できます。
4. [終了]をクリック します。

カタログオプション

カタログ

フォルダを追加...

「フォルダを追加...」ボタンをクリックして、データベースに追加するフォルダを参照してください。

フォルダを削除

「カタログ化するフォルダ」テーブル内のフォルダを選択し、「フォルダを削除」ボタンをクリックして、フォルダをテーブルから削除します。

カタログ化されたファイルからインポート

EXIF と IPTC メタデータ

EXIF と IPTC メタデータをインポートするには有効にします。

IPTC キーワードから ACDSee キーワードへ

IPTC キーワードを ACDSee キーワードにインポートできるようにします。IPTC キーワードは、画像を右クリックし、[メタデータ] | [メタデータ] を選択してインポートすることもできます。IPTC キーワードをインポートします。



ACDSee キーワードが割り当てられたファイルは、既存の ACDSee キーワードを上書きまたは削除することなく、IPTC キーワードをインポートします。

ACDSee カテゴリに対する IPTC 補足 カテゴリ

IPTC 補足 カテゴリを ACDSee カテゴリにインポートできるようにします。IPTC 補足 カテゴリは、画像を右クリックして [メタデータ] を選択してインポートすることもできます | IPTC 補足 カテゴリをインポートします。



ACDSee カテゴリが割り当てられているファイルは、既存の ACDSee カテゴリを上書きしたり削除したりせずに、IPTC 補足 カテゴリをインポートします。

ACDSee メタデータ、カテゴリ、キーワード、タグ、およびコレクションを含む

カテゴリ、キーワード、タグ付き、コレクションなどの ACDSee メタデータをインポートできるようにします。



ファイルの埋め込み保留フラグが設定されている場合、ACDSee カテゴリとキーワードはインポートされません。



ファイルの埋め込み保留フラグが設定されておらず、ACDSee カテゴリとキーワードが埋め込まれている場合、ファイルの既存のカテゴリとキーワードの割り当てが解除され、埋め込まれたデータからそれらの値がインポートされます。

顔データ(顔の輪郭と名前を含む)

「顔データ(顔の輪郭と名前を含む)」チェックボックスを有効にすると、「ACDSee顔データ」ラジオボタンと「LightroomまたはPicasa顔データ」ラジオボタンが有効になります。

ACDSee顔データ

「ACDSee顔データ」をインポートするために有効にし

カタログ

ます。「ACDSee顔データ」ラジオボタンは、「顔データ(顔の輪郭と名前を含む)」チェックボックスが有効になっている場合にのみ有効になります。「ACDSee顔データ」ラジオボタンを有効にすると、「LightroomまたはPicasa顔データ」ラジオボタンが無効になります。

LightroomまたはPicasa顔データ

「LightroomまたはPicasa顔データ」をインポートするために有効にします。「LightroomまたはPicasa顔データ」ラジオボタンは、「顔データ(顔の輪郭と名前を含む)」チェックボックスが有効になっている場合にのみ有効になります。「LightroomまたはPicasa顔データ」ラジオボタンを有効にすると、「ACDSee顔データ」ラジオボタンが無効になります。

ファイルフォーマット

カタログ画像

画像ファイル形式のみがカタログ化されます。

カタログ画像と動画

画像と動画の両方のファイルタイプがインポートされます。

すべてのファイルをカタログ化する

選択したフォルダー内のすべてのファイルがインポートされます。

オプション

サムネイルを生成し、データベース内に含める

画像や動画のサムネイルを生成し、データベース内に含めるように有効にします。

アーカイブファイルの内容を含める

アーカイブされたファイルの内容をインクルードするように有効にします。

RAW 画像のプレビューファイルを作成する

RAW 画像のプレビューファイルを作成することが可能です。

その他

ヘルプ

メディアモードでファイルをカタログ化する関連ヘルプファイルを開きます。

開始

サムネイルとファイル情報をデータベースへの追加プロセスを開始します。

キャンセル

ウィンドウを閉じます。



大量のファイルをカタログ化している場合は、プロセスを中断せず、他のソフトウェアを使用しないでください。大量のファイルのコレクションの場合、カタログを夜間に実行するのが最善です。

ACDSee インデクサーについて

カタログとデータベース。

ACDSeeデータベースは、フォルダーを閲覧した時にファイル情報を保存します。このプロセスは、**カタログ化**と呼ばれます。**カタログ化**とデータベースを使うと、ファイルの並べ替え、整理、検索、絞り込みに役立ち、閲覧が高速化されます。**ACDSee**インデクサーは、閲覧せずに画像をカタログ化するのを助けます。

[カタログ]ダイアログボックスを使用すれば、最初にフォルダを参照することなくファイルをデータベースに追加することもできますが、カタログ化中は **ACDSee** を使用することができません。

ACDSeeインデクサーを使用すると、コンピューターがアイドル状態で**ACDSee**が実行されていないときにファイルをカタログ化できます。これにより、すべてのフォルダーを参照する必要や、処理中にコンピューターの速度が低下することがなくなります。選択したフォルダ内のファイルを編集した場合、**ACDSee**インデクサーはデータベースを更新します。

カタログ化したいフォルダおよび **ACDSee** インデクサーがカタログ化を始めるまでのパソコンのアイドル時間を設定することができます。これらのオプションの設定方法は、[ACDSeeインデクサーオプションの設定](#)を参照してください。

複数のデータベースの作成と切り替え

ACDSeeでは複数のデータベースを作成することができ、またいつでもデータベース間の切り替えが行えるため、どんなに大量のファイルでも楽に管理できます。

ACDSeeを一番最初に起動して使用するデフォルトのデータベースは "Default.dbin" と呼ばれ、新しく追加でデータベースを作成しない限り継続して使用されます。C:\Users \<ユーザー名> \AppData \Local \ACD Systems \ Catalogs \ <Version #> にあります。別に指定しない限り、作成する追加データベースはすべてこの同じ場所に保存されます。



タイトルバーに実行中のデータベースを表示するように**ACDSee**を設定することも可能です。

新規データベース作成するには:

1. 管理モードで、[ファイル]>[データベース]>[新規...]を選択します。
2. [新規のデータベース]ダイアログボックスで、新規データベースの名前を入力します。
3. [参照]からデータベースを保存するディレクトリを指定しても、既存のデータベース、"Default.dbin" が保存されているデフォルトのディレクトリのままでもかまいません。



新しく作成したデータベースは、データベースと同じ名前のフォルダ内に保存されます。データベースのファイルとフォルダ名はいつでも必ず同じである必要があります。そうでないと、**ACDSee** がデータベースへ接続できません。

4. アプリケーションのタイトルバーにデータベース名を表示したい場合は、[タイトルバーにデータベースのファイル名を表示]チェックボックスをオンにします。
5. [OK]をクリックします。
6. ダイアログが開き、新しく作成したデータベースに切り替えるか確認されます。**はい**または **いいえ**を選択します。**[はい]**を選択すると、**ACDSee** は再起動後、新しいデータベースを使用します。

データベース間を切り替えるには:

[管理] モードで次のいずれかの操作を行います。

[ファイル]>[データベース]>[開]を開きます。	[データベースを開]ダイアログボックスで、使用したいデータベース (*.dbin) を参照したら、[開]をクリックします。

[ファイル]>[データベース]>[履歴]の順に選択します。最近使用したデータベースから希望のものを選択してください。

コマンドライン スイッチを使って特定のデータベースで **ACDSee** を素早く起動するには:

1. ACDSee のショートカットを作成します。ここで付けるショートカット名は、開きたいデータベースに関連したものにするのがおすすめです。
2. ショートカットプロパティで、リンク先を次へ指定します:**C:\Program Files\ACD Systems\ACDSee Ultimate\<Version #>\ACDSeeUltimate<Version #>.exe"/db "C:\Users\<Your Name>\AppData\Local\ACD Systems\Catalogs\<Version #>FileManager\<Name of Your Database>.dbin"**

旧バージョンのデータベースを変換する

「ACDデータベースの変換ウィザード」を使用して、旧バージョンのACDSee 究極のデータベース情報を現在のデータベース情報に追加することができます。そのため、旧バージョンのACDSee 究極でファイルに関連付けられた情報が現在のデータベースで正しく参照できます。



既に現在のACDSee 究極 のデータベースに情報が追加されている場合、以前のACDSee 究極のデータベースを変換する前にデータベースのバックアップを作成することをおすすめします。

旧バージョンのデータベースを変換するには:

1. 管理モードで、[ツール]>[データベース]>[データベースの変換]をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、[次へ]をクリックしてデータベースの変換オプションを選択します。
3. [データベースの変換オプション]ページで、変換するデータベース ファイルのバージョンと、ハードディスク上でデータベース ファイルが格納されているフォルダを指定します。[次へ]をクリックします。
4. 変換後、画像サムネイル、EXIF、IPTC 情報を自動的に再構築するには、[ローカル画像用にサムネイル、EXIF、IPTC データを再構築する] チェックボックスをオンにします。
5. 変換後、データベースを自動的に更新するには、[変換後、データベース ファイルを最適化する] チェックボックスをオンにします。
6. [次へ]をクリックします。
7. 「概要」のページで選択項目を再確認したら、[次へ] をクリックしてデータベースを変換します。

データベース情報をインポートする

ACDデータベースのインポートウィザードを使って、アーカイブされたデータベース情報をインポートしたり、他のACDSee 究極ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートしたりすることができます。情報がインポートされると、ACDSee 究極 はその情報を対応する画像へと関連付けます。



既に現在のACDSee 究極のデータベースに情報が追加されている場合は、以前のACDSee 究極のデータベースを変換する前に、データベースのバックアップを作成することをおすすめします。

ACD データベース インポート ウィザードを使用するには:

1. 管理モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックし、[データベース]を選択します。
2. [次へ] をクリックして、ウィザードを開始します。
3. 「インポートオプション」のページで、インポートするデータベース情報の種類を選択します。
データベースの圧縮版、あるいはXML ベース テキストファイルから画像情報をインポートすることができます。
4. [参照] ボタンをクリックし、データベースのインポート元を指定して[OK] をクリックします。

5. [インポート後、データベース ファイルを最適化 する]チェックボックスをオンにすると、ウィザード終了後にデータベースの最適化を実行することができます。[次へ] をクリックします。
6. 「概要」のページで選択した項目を再確認します。変更するには、[戻る] をクリックします。また、データベース情報のインポートを開始するには、[次へ] をクリックします。
7. [完了] をクリックして、ACD データベース インポート ウィザードを閉じます。



他のACDSee 究極 ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートする場合、情報が適用される画像のファイルの場所とファイル構造が完全に一致していることを確認してください。

他のソースからファイル情報をインポートする

[ACDSeeフォトディスク](#)や、旧バージョンのACDSeeなど、他のソースからファイル情報をデータベースにインポートすることができます。

フォトディスクをインポートする

旧バージョンのACDSee (バージョン4.0および5.0) では、フォトディスクは別のデータベースファイル「.ddf」として作成されます。フォトディスクデータベースファイルはACDSee 究極 データベースにインポートできます。

フォトディスクをインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックし、[フォトディスク]を選択します。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたいフォトディスク ファイルを選択します。
3. [開く]をクリックします。



ACDSee 6.0以降のバージョンで作成したフォトディスクから情報をインポートするには、データベース全体を[変換してインポート](#)しなくてはなりません。

アルバムをインポートする

旧バージョンのACDSeeのアルバムでは「.ais」ファイルフォーマットが使われ、画像へのショートカットがありました。新バージョンのACDSeeでは、アルバムの作成にファイルフォーマットを必要としないため、カテゴリを使って画像アルバムを作成できます。旧バージョンのACDSeeで作成されたアルバムをインポートし、アルバムの情報をデータベースに追加できます。ACDSee 究極はアルバムをインポートする際、新しいカテゴリを作成します。

アルバム情報をデータベースにインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックし、[アルバム]を選択します。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたい「.ais」ファイルを選択します。
3. [開く]をクリックします。

Descript.ion ファイルの使い方

旧バージョンのACDSeeでは、ファイルの説明は個別の「Descript.ion」ファイルとして、画像を含む各フォルダに保存されていました。ACDSee 究極 では、ファイルの説明はキャプションとして、注意事項やキーワードなど別のファイル情報とともにデータベースに保存されます。

「Descript.ion」ツールを使えば、以前作成した Descript.ion ファイルをインポートしてその情報をデータベースに追加したり、既存のファイル キャプションを Descript.icon ファイルにエクスポートしたりすることができます。

Descript.ion ファイルをインポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[インポート]をクリックして、[Description ファイル]を選択します。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたい Descript.icon ファイルを選択します。
3. [開く]をクリックします。

キャプションを**Descript.icon**ファイルにエクスポートするには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[データベース]>[エクスポート]をクリックして、[Description ファイル]を選択します。
2. [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスの [ファイル名] フィールドに Descript.icon ファイルの名前を入力します。
3. [保存]をクリックします。

データベース情報をエクスポートする

ACDSee データベースのエクスポートウィザードを使い、選択したデータベース情報を圧縮フォーマットで保存したり、バックアップとして保存したり、他の ACDSee 究極 ユーザーと共有したりすることができます。カテゴリやキーワード定義をテキストファイルとしてエクスポートすることも可能です。

バックアップの作成とは異なり、データベース情報のエクスポートは、CD など共有または格納したい特定ファイルのデータベースの一部だけを選択してエクスポートすることができます。他の ACDSee 究極 ユーザーは、既存のデータベースが壊れないかという心配をすることなく、情報をインポートすることができます。

画像またはメディアファイルを含むデータベース全体のバックアップを作成するには、[ACD データベース バックアップ ウィザード](#)を使用します。

ローカル フォルダの内容をネットワークのような遠隔地にバックアップするには、[ACD 同期 ウィザード](#)を使用します。

ACD データベース エクスポート ウィザードを使用するには:

1. 特定の画像またはメディアファイルのデータベース情報をエクスポートする場合、管理モードの[ファイル一覧](#)ペインでファイルを選択します。
2. [ツール]>[データベース]>[エクスポート]>[データベース]をクリックします。
3. [次へ] をクリックして、ウィザードの使用を開始します。
4. 「コンテンツとフォーマット オプション」のページで、以下のオプションのいずれかを選択してデータベース情報のエクスポート方法を指定し、[次へ] をクリックします:
 - **ACDSeeデータベースの読み取り専用の圧縮バージョン全体をエクスポートする:** ACDSee 究極 データベースのコンテンツ全体を、他の ACDSee 究極 ユーザーと共有できる圧縮バージョンでエクスポートします。
 - **選択されたデータベース情報を、読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする:** ファイル一覧ペインで選択されている画像のすべてのデータベース情報をエクスポートします。
 - **テキスト ファイルにデータベース情報をエクスポートする:** XML 形式のテキストファイルに選択された情報をエクスポートします。エクスポートしたい情報の横にあるチェックボックスをオンにします。
5. 「ロケーション オプション」のページで、情報のエクスポート先を指定し(必要であればテキストファイル名も入力)、[次へ] をクリックします。
6. [概要] のページで選択した項目を確認します。選択されている項目を変更するには、[戻る] をクリックします。データベース情報のエクスポートを開始するには、[次へ] をクリックします。
7. [完了] をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

ファイル一覧を作成する

「ファイル一覧の作成」機能を使って、ファイル一覧ペインで現在表示されているフォルダ内に含まれている、すべてのファイルをテキストファイルとして作成することができます。フォルダ内のすべてのファイルのファイル名、サイズ、画像ファイル形式、更新日時、プロパティ、キャプション、重要度が表になった、1 つのテキストファイルとして作成されます。

ファイル一覧を作成するには:

管理モードで、[ツール]、[データベース]、[エクスポート]をクリックして、**ファイル一覧の作成**を選択します。

ACDSee 究極は自動でファイル一覧を作成し、既定のテキストエディタでテキストファイルとして開きます。作成されたテキストファイルは、必要に応じて編集したり、保存したりすることができます。

データベースをバックアップする

[ACDSee バックアップ] ウィザードを使って、データベース情報をバックアップすることができます。システム障害などが起こった場合、作成したバックアップを使用してデータベースを復元することができます。また、画像、メディア、アーカイブファイルと関連するデータベース情報を一緒にバックアップすることも可能です。

ACDSeeバックアップ ウィザードは、データベースを全情報を一連のファイルにして、ユーザーの指定した場所に作成します。バックアップは既存のフォルダ構造に基づいて作成されるため、ご利用のコンピュータによって異なります。データベースの一部をバックアップしたり、他の ACDSee 究極 ユーザーとデータベース情報を共有するには、ACDSeeデータベースのエクスポートウィザードを使ってください。

データベースのバックアップ管理に関する詳細につきましては、「[データベース情報のバックアップ](#)」のワンポイントをご覧ください。

データベース情報をバックアップするには：

1. 管理モードで、[ツール]>[データベース]>[データベースのバックアップ]をクリックします。
2. [ようこそ] のページで、新規バックアップを作成するか、既存のバックアップを更新するかを選択します。[次へ]をクリックします。
[既存バックアップを更新する]を選択した場合、手順 5 に進んでください。
3. [新規バックアップ] のページで、バックアップする情報を選択します。[次へ]をクリックします。
4. 「バックアップの保存先」のページで、[参照] をクリックしてバックアップの保存先を指定し、バックアップ名を入力します。[次へ] をクリックします。
5. 「バックアップの概要」のページで設定を再確認します。[既存バックアップを更新する]を選択した場合、[バックアップの更新] ドロップダウン リストから更新する既存バックアップを選択します。[次へ]をクリックします。

バックアップ情報オプション

サムネイルを含めない	バックアップからサムネイルを除くため、ディスクまたはハードディスクの格納領域を大幅に節約することになります。
オフライン ファイルにサムネイルを含む	フォトディスクのようにハードディスクに記録されないファイルのサムネイルのみを含みます。
サムネイルを含む	データベースにあるすべてのサムネイルを含みます。このバックアップを格納するには、ハードディスクに十分な領域が必要です。
バックアップ ファイルの種類	指定されたデータベース情報とファイルの種類をバックアップします。次のファイルの種類から選択します： • 画像: 画像 ファイルをバックアップに含みます。 • メディア: オーディオとビデオ ファイルをバックアップに含みます。 • アーカイブ: アーカイブ ファイルをバックアップに含みます。
ローカル ディスク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスク上にある指定されたすべてのファイルをバックアップします。
ローカル ディスクとネットワーク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスクおよびネットワーク上にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。
サブ フォルダを含むフォルダ内にある、指定された種類のすべてのファイル	指定されたフォルダ内にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。 [参照] ボタンをクリックし、バックアップするフォルダを選択します。

データベース バックアップのヒントと手順

プロパティペインで入力したEXIF情報、ファイル名、保存先、サムネイル、カテゴリ、重要度などのファイル情報は、ACDSee 究極 データベースに保存されます。情報入力に費やした時間やデータベース情報が多いほど、データベース情報のバックアップはより重要です。また、作成したバックアップの管理も大切です。システム障害やその他の予期または回避できないエラーの発生により、すべての作業を失ってしまうことがあります。バックアップを行い、損失を最小限に抑え、回避することができます。

バックアップスケジュール

データベース情報を追加あるいは更新する頻度により、バックアップ スケジュールを設定します。情報の再入力といった二度手間を省くために、バックアップは頻繁に行うようお勧めします。**[ACDSee オプション]** ダイアログボックスの「データベース」のページにある**[バックアップ アラームの表示]**で、必要に応じてバックアップのスケジュールを設定します。特にビジネスでご利用のユーザー、またはプロの写真家ユーザーは、毎日 バックアップすることをお勧めします。

別のACDSee 究極ユーザーから情報をインポートする、あるいはACDSeeの古いバージョンからデータベースを変換するといった大きな変更をデータベースを行う前に、既存のデータベースをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの保存先

バックアップの保存場所の設定は、バックアップのスケジュール設定と同様に重要です。バックアップをハードディスクに保存する場合は、ACDSee 究極によってバックアップの新規フォルダが毎日作成されます。これはバックアップファイルの上書きを回避するため、増分された項目を加えることで復元が可能です。また、月1回は、ご自分のコンピュータ以外の場所(例: ネットワークなど)にバックアップを保存されることをお勧めします。

バックアップサイズ

バックアップ サイズを最小限にするには、データベース情報と画像を別々にバックアップします。また、画像のバックアップも定期的に行うようにします。

バックアップからデータベース情報を復元する

「ACD データベース復元 ウィザード」では、以前 バックアップしたデータベース情報を復元することができます。

データベース情報を復元するには:

1. 管理 モードで、[ツール]>[データベース]>[データベースを復元]をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、[次へ] をクリックしてバックアップを選択します。
3. 「復元 オプション」のページで、バックアップ名と日時から選択するか、バックアップの保存先に移動してバックアップ ファイル (拡張子 .bkup) を選択します。
4. [次へ] をクリックして、データベースの復元を実行します。



複数のバックアップ ファイルから復元する際、ACDSee 究極 は選択したバックアップファイルに含まれる情報とそれ以前の情報のみを復元します。そのため、必要な場合を除き、一連のバックアップで最後に作成されたファイルを選択することをおすすめします。

データベースのメンテナンス

ハードディスクの空き容量を増やすため、また不要な情報を削除し、ACDSee 究極のパフォーマンスを全体的に向上するために、定期的にデータベースのメンテナンスおよび最適化を行うことをお勧めします。

[データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスでは、フォルダの更新や、フォルダ内にある削除したいサムネイルやデータベース情報の識別ができます。[データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスでは、システム内のフォルダ一覧が表示され、特定フォルダ内にあるデータベース情報のステータスがアイコンで表示されます。

データベース コンテンツ アイコン



フォルダには、サムネイルがデータベースにキャッシュされたファイルが含まれています。



このフォルダには、データベースの更新以外で変更されたファイルが含まれています。例えば、ACDSee 以外でフォルダやファイルが名前が変更されたり移動されたりしたなど。

データベースのメンテナンスを行うには:

1. 管理 モードで、[ツール]>[データベース]>[データベースのメンテナンス]をクリックします。
2. [データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスで、データベース コンテンツ アイコンの付いたフォルダを参照します。アイコンの付いたフォルダが存在しない場合は、データベースのメンテナンスを行う必要はありません。
3. フォルダを選択し、次のいずれかのボタンをクリックして、実行するメンテナンスを指定します:
 - **サムネイルの削除:** 選択されたフォルダからすべてのサムネイル情報が削除されます。
 - **データベース情報をすべて削除:** 選択されたフォルダから、すべてのデータベースおよびサムネイル情報が削除されます。
 - **孤立フォルダの削除:** 選択されたフォルダから、今はないファイルや情報への古い参照や破損した参照が削除されます。ユーザーのコンピュータに格納されているフォルダ内のみ、オフラインのチェックが可能です。フォルダがネットワーク上にある場合は、このオプションは表示されません。

- **結合の変更:** 選択されたオーファン フォルダのすべての参照場所を別のフォルダに変更し、すべてのデータベース情報を保持します。既定の結合 フォルダは **My Pictures** です。
- 4. データベースのメンテナンスツールは、データベースの空き容量を増やすために履歴を削除します。空き容量を再構成するには、**[データベースの最適化]** をクリックしてウィザードの指示に従ってください。
- 5. **[閉じる]** をクリックします。

データベースを最適化する

[データベースの最適化] ウィザードを使用して、不要なデータベースや古いデータベース情報を素早く削除することができます。データベースの最適化と [データベースのメンテナンス](#) を定期的に行うことで、ハードドライブの容量を増やし、ACDSee の全体的なパフォーマンスを向上することができます。



定期的に大量のファイルをカタログしている場合、毎週、あるいはカタログが終わってからデータベースの最適化を行うようにします。その際、データベースをバックアップするとより効率的です。

データベースを最適化するには:

1. 管理モードで、**[ツール]**、**[データベース]**、**[データベースの最適化]** をクリックします。
2. **[データベースの最適化]** ウィザードで、**[次へ]** をクリックします。
3. 次のいずれか、または両方のオプションを選択します:
 - **データベーステーブルとフィールドを最適化する:** データベースから古い情報を削除して、データベースフィールドの空きスペースを増やし、テーブルの再インデックスが行われます。
 - **データベースからオーファンを削除する:** 他プログラムにより削除されたファイルやフォルダによるオーファンのデータベースエントリを削除します。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. ウィザードが完了したら、**[完了]** をクリックして ACDSee に戻ります。

取り込むデータベース用にドライブをマップする

ACDSee 究極にアップグレードする、あるいは ACDSee 究極データベースをインポート/復元する場合、**[データベース ドライブ マップ]** ダイアログボックスに、ドライブマッピング(取り込むデータベースの)が ACDSee 究極データベースでどのように再構築されるかが表示されます。このダイアログを使用して、データベース内における各ドライブのマップを変更することができます。

新規のドライブのマップを選択するには:

1. **[データベース ドライブのマップ]** ダイアログで、ドライブを選択し、次のいずれかを実行します。
 - ドライブのマップを新規作成するには、**[新規データベース エントリの作成]** を選択します。
 - ドライブをローカル ドライブにマップするには、**[ローカル ドライブ]** ドロップダウン リストからドライブを選択します。
2. **[完了]** をクリックします。

サムネイルとメタデータの再構築

[ファイル一覧] ペインで表示されるサムネイル画像や埋め込まれたメタデータの同期が適切に行われなかったことがあります。そのような状況が発生した場合、サムネイルとメタデータの再構築機能を使用して、選択した画像のサムネイルをすばやく再構築することが可能です。

サムネイルを再構築するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - [ファイル一覧] ペインから 1 つ以上のサムネイルを選択します。
 - [フォルダ] ペインからフォルダを選択します。
2. [ツール] から [メタデータ] > [サムネイルとメタデータの再構築] をクリックします。

ファイルを隔離する

ACDSee 究極 にて画像またはメディアファイルが破損している、不完全なため読み込みに問題がある、プラグインエラーが生じる場合、ACDSee 究極 はそのファイルを隔離します。ユーザーは、隔離 ファイルの一覧から必要に応じてファイルを削除することができます。

隔離されたファイルを表示するには:

1. 管理 モードで、[ツール] > [データベース] > [隔離したファイル] とクリックします。
2. ファイルを削除するには、一覧から削除したいファイルを選択して [削除] をクリックします。
3. 「ファイルの隔離」機能を無効にするには、[隔離機能を有効にする] の チェックボックスをオフにします。
4. [OK] をクリックして [ファイルの隔離] ダイアログ ボックスを閉じて、ACDSee に戻ります。

プラグインを使用する

プラグインはソフトウェア モジュールで、より大きなプログラムに機能を追加します。ACDSee 究極 は様々な種類のプラグインを搭載しています。

プラグインの種類

- **画像デコード:** ファイルをバイナリ形式から ACDSee に表示される画像に変換します。ACDSee 究極 でデコードプラグインを使うと、さまざまなファイル形式の画像を表示できます。ACDSee 究極 で表示できるファイルは、コンピューターにインストールされているデコードプラグインによって異なります。
- **画像エンコード:** ACDSee 究極 に表示された画像をバイナリファイル形式に変換します。エンコードプラグインを使用すると、ACDSee 究極 で画像をさまざまなファイル形式に保存 (または変換) できます。ACDSee 究極 で編集および保存できるファイルは、コンピューターにインストールされているエンコードプラグインによって異なります。
- **アーカイブ:** さまざまなファイル形式のアーカイブを ACDSee 究極 で表示、保存できます。ACDSee 究極 で表示、作成できるアーカイブは、コンピューターにインストールされているアーカイブプラグインによって異なります。
- **カメラ:** ACDSee 究極 でデジタル カメラの画像を参照し、ハードディスク上のフォルダに転送することができます。
- **コマンド拡張:** ACDSee に機能を追加します。例として、インターネットで画像を共有する際に使用するプラグインがあります。
- **ペイン拡張:** ペインをデジタル画像の印刷 オーダーなどのタスクを実行できる ACDSee 究極 に追加します。

 **ACD Systems 社が認証していないプラグインについては、その品質を保証することはできません。他のソフトウェアと同様、ユーザーは、プラグインがウイルスに感染しておらず、プラグインの製造元が信頼できる会社であることを信じています。**

プラグインを管理する

[プラグイン設定] ダイアログボックスには、システムにインストールされているすべての ACDSee プラグインの一覧が表示されます。[プラグイン設定] ダイアログボックスを使って、ACDSee 究極 が使うプラグインを指定することができます。

[プラグインの設定] ダイアログ ボックスを開くには:

管理 モードで、[ツール] メニューから [プラグインの設定] をクリックします。

プラグインを無効にする

[プラグイン設定]ダイアログボックスで不要なプラグインを無効にして、ACDSee 究極 が使用しないように設定できます。

プラグインを無効にするには：

1. [プラグインの設定] ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. ACDSee 究極 による使用を無効にしたいプラグイン名の横にあるチェックインボックスをクリアします。
3. **[OK]**をクリックします。

プラグインの優先順序を変更する

一部のファイルフォーマットは複数のプラグインでサポートされています。この場合、特定のファイルフォーマットの読み取り・書き込みにどのプラグインを使用するかを指定できます。[プラグイン設定] ダイアログボックスでのプラグインの表示順序が、ACDSee 究極 がファイルを読み取り・書き込みするときに使用するプラグインの優先順序になります。

プラグインの優先順序を変更するには：

1. [プラグインの設定] ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグインを選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **[上へ移動]** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の上位に移動します。
 - **[下へ移動]** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の下位に移動します。
4. **[OK]**をクリックします。

プラグインのプロパティとヘルプを表示する

特定のプラグインのプロパティを表示および設定することができます。

プラグイン プロパティを表示するには：

1. [プラグインの設定]ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグインを選択します。
3. **[プロパティ]** ボタンをクリックします。

プラグインのヘルプファイルを表示するには：

1. [プラグインの設定]ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグインを選択します。
3. **[プラグイン ヘルプ]** ボタンをクリックします。

ACDSee SeeDrive™

ACDSee SeeDrive™ ベインでは、ACDSee 365 アカウントに直接アクセスすることができます。ACDSee SeeDrive™ を使用すると、ACDSee 365 の画像を管理したり、画像の共有・ストレージサービスの 365.acdsee.com へのアップロードやダウンロードの状況を監視したりすることができます。ACDSee 365 アカウントのご利用には、365.acdsee.com にてご入会いただくか、または追加ストレージをご購入いただく必要があります。

ACDSee SeeDrive™ では、インターネットブラウザを起動することなく、オンラインの画像を閲覧することができます。または、ブラウザで 365.acdsee.com にアクセスすることも可能です。SeeDrive™ ペインを表示するには、[ペイン] > [SeeDrive]に移動します。



ACDSee SeeDrive™ を使用するには:

ACDSee SeeDrive™ ペインで、[接続]をクリックし、ACDSee 365 のログイン情報を入力します。[ACDSee 365 アカウント](#)を持っていない場合は、[アカウントを作成]を選択します。

または、[365モード](#)でログインすることもできます。

ACDSee 365 のファイルを SeeDrive™ で管理する

管理モードの ACDSee SeeDrive™ から直接、ACDSee 365 のフォルダの作成、名前の変更、削除ができます。

新規フォルダを作成するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名を右クリックして[オンラインフォルダの新規作成...]を選択します。
2. [オンラインフォルダの新規作成]ダイアログで、フォルダ名を入力して[OK]をクリックします。



新規に作成したフォルダを既存のフォルダ階層に追加するには、新規に作成したフォルダを追加したい階層の場所にドラッグします。

既存のフォルダ内に新規フォルダを作成するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名の隣の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 既存のフォルダを右クリックして、[オンラインフォルダの新規作成...]を選択します。
3. [オンラインフォルダの新規作成]ダイアログで、フォルダ名を入力して[OK]をクリックします。

フォルダ名を変更するには:

管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダを右クリックして[名前の変更]を選択します。

フォルダを削除するには:

管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダを右クリックして[削除]を選択します。

ファイル名を変更するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、削除したいファイルがあるフォルダを開きます。
2. ファイル一覧ペインで、ファイルを右クリックしたら[名前の変更]を選択します。

ファイルを削除するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、削除したいファイルがあるフォルダを開きます。
2. ファイル一覧ペインで、ファイルを右クリックして[削除]を選択します。

アップロードする

SeeDrive™ を使用してファイルを ACDSee 365 へアップロードするには:

- フォルダをアップロードするには: フォルダペインからフォルダを選択し、ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダにドラッグします。
- ファイルをアップロードするには: ファイル一覧ペインからファイルを選択し、ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダにドラッグします。
- ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダを右クリックして[転送 マネージャ...]を選択すると、アップロードを管理することができます。下の表の説明に従って転送 マネージャのコントロールを使用してください。

ダウンロードする

SeeDrive™ を使用してファイルを ACDSee 365 からダウンロードするには:

1. フォルダペインでダウンロード先のフォルダを選択します。
2. ダウンロードする ACDSee SeeDrive™ のフォルダを選択して、[ダウンロード]を選択します。

ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダを右クリックして[転送 マネージャ...]を選択すると、ダウンロードを管理することができます。下の表の説明に従って転送 マネージャのコントロールを使用してください。

転送 マネージャ オプション

アップロード/ダウンロード タブを選択します。



一時停止した転送を再開する



転送を一時停止する



転送のキャンセル



転送の再試行



すべて選択



転送済みのクリア

フォルダを公開/非公開にする

管理モードにある ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダの公開または非公開の設定をすることができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも 365.acdsee.com にて閲覧することができます。



新しいフォルダは既定で非公開に設定されています。

ACDSee SeeDrive™ を使用して ACDSee 365 フォルダの設定を【公開】に変更するには：

1. ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 公開したいフォルダを右クリックして、**公開する**を選択します。

ACDSee SeeDrive™ を使用して ACDSee 365 フォルダの設定を【非公開】に変更するには：

1. ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 非公開にしたいフォルダを右クリックして、**非公開にする**を選択します。

ACDSee SeeDrive™ で共有およびダウンロードする

ACDSee SeeDrive™ を使えば、オンライン上にあるコンテンツをすぐにダウンロードおよび共有することができます。転送マネージャで、アップロードとダウンロードの進行状況を表示および管理することも可能です。

ACDSee SeeDrive™ でフォルダを共有する

ACDSee 365 のフォルダを、ACDSee SeeDrive™ ペインだけですぐに共有することができます。フォルダや画像は、メールで送信、ソーシャルネットワークにアップロード、あるいはウィジェットを作成することができます。

ACDSee SeeDrive™ を使用してフォルダを共有するには：

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名の隣の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 共有したいフォルダを**右クリック**したら、**フォルダの共有**を選択します。
3. 共有ウィンドウが開きますので、共有方法を選択して次のように必要情報を入力します：

共有オプション

メールアドレス

ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。下記情報をすべて入力したら、**OK** をクリックします。

宛先のメールアドレス

受取人のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスはカンマ [,] で分けます。

メッセージ

受取人に向けたメッセージを入力します。

利用可能な **JPG** 最大サイズのダウンロードを許可する

受取人が利用可能な最大バージョンの画像をダウンロードできるようにします。

自分のメールアドレスにも送る

メールのコピーを受信したいときはこのチェックボックスにチェックを入れます。

パスワード (任意)

フォルダをパスワードで保護したい場合は、ここにパスワードを入力します。入力したパスワードはメール本文内に記載されますので、メールの受信者はそのパスワードでフォルダを開くことができます。

X™

ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。下記手順が完了したら、**アップロード** をクリックします。

X™

このボタンを押すと X™ がブラウザで立ち上がりますので、ログイン情報を入力します。

bit.ly で URL を短くする

アルバムの URL が短くなりますので、メッセージ欄に入力できる文字数が増えます。

プレビュー

投稿のプレビューが表示されます。

残りの文字数

メッセージ欄にあつ何文字入力可能が表示されます。

利用可能な **JPG** 最大サイズのダウンロードを許可する

閲覧者が、利用できる最大サイズで画像をダウンロードできるようになります。

ウィジェット

フォトウィジェットとは、ブログやサイトに貼ることのできる画像ビューアーまたはスライドショーのようなものです。このオプションでは HTML コードが生成されますので、それをコピーしてウェブサイトやブログに貼り付けます。ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。

方向

ドロップダウンメニューからフォトウィジェットの向き(方向)を選択します。

配色

ドロップダウンメニューからフォトウィジェットの配色を選択します。

サイズ

ドロップダウンメニューからフォトウィジェットのサイズを選択します。

ACDSee SeeDrive™ でフォルダの URL をコピー & 貼り付けしてフォルダを共有する

ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダの URL をコピーして、ブラウザやメールはじめその他のメディアに貼り付けることができます。

❗ URL がコピーできるフォルダは 公開 フォルダのみです。

フォルダの **URL** をコピー & 貼り付けするには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名の隣の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 共有したいフォルダを右クリックして、**URL のコピー**を選択します。
3. URL を貼り付けたい箇所をどこでも右クリックして、**貼り付け**、または **Ctrl+ V** を押します。

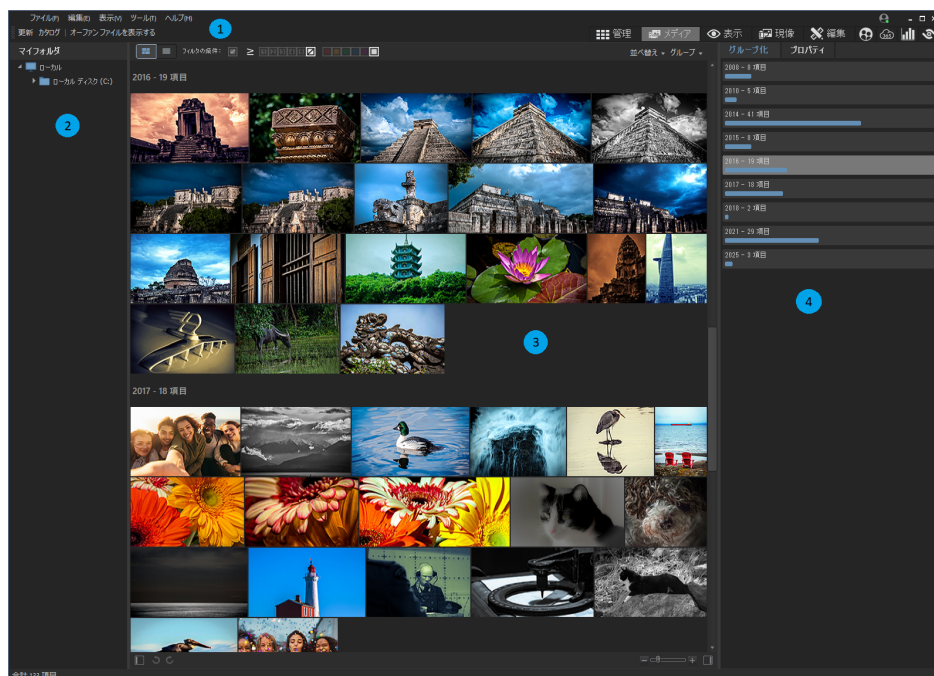
章 4: メディアモード

メディアモードの使用

メディアモードは、デジタル資産管理のための簡素化されたデータベース駆動アプローチを提供します。**管理**モードで閲覧されたフォルダと、ACDSeeデータベースにカタログ化されたフォルダだけが、ACDSeeによって管理された写真とビデオのクラッタフリーなビューを提供するように、**メディアモード**で表示されます。

メディアモードのインターフェイスは、4つの独立した機能領域に分かれています：

1. ヘッダーボタンバー
2. マイフォルダー
3. 表示領域
4. グループ化とプロパティ



ヘッダーボタンバー

メインメニューのすぐ下にあるヘッダーボタンバーには、以下の3つのボタンが含まれています：

- リフレッシュ
- カタログ
- オープン・ファイルを表示

ヘッダーボタンバーオプション

リフレッシュ	マイフォルダー ペインのフォルダー・ツリーとディスプレイエリア ペインをリフレッシュします。
カタログ	ファイルのカタログについての詳細は、 データベース内のファイルのカタログ を参照してください。
オーファン・ファイルを表示	見つからないファイルをオーファンとしてマークされたファイルを表示します。オーファンはセピア色で表示されます。

マイフォルダー

画面の左側にあるマイフォルダー ペインは、**管理** モードで閲覧したすべてのフォルダーで構成されたシンプルなフォルダー・ツリーです。**メディア** モードからマイフォルダー ペインに追加のフォルダーを追加するには、上記の[カタログファイル \(ファイルをカタログ化\)](#) ツールを使用します。

マイフォルダー ペインはデフォルトでは非表示になっています。マイフォルダー ペインを表示するには、表示エリアの左下にある隠す/表示するアイコン  をクリックしてください。

マイフォルダー ペイン内のメディアを含むフォルダーをクリックすると、表示エリアのコンテンツを選択されたフォルダーのメディアにフィルタリングすることができます。

表示エリア

表示エリアのペインが画面の大きな中央部分を占め、主にフィルター、ソート、またはグループ化できる画像や動画を表示するために使われます。

画像や動画をダブルクリックすると、それらをフルスクリーンで表示します。フルスクリーンで表示された動画は **メディア** モードを離れずに再生できます。フルスクリーンの画像や動画をダブルクリックすると、グリッド表示に戻ります。

個々のメディア・アセットを右クリックすると、以下のオプションを含むコンテキストメニュー・ヘルプ・メニューが表示されます：

- **表示:** 表示モードでメディアアセットを開きます。
- **開発:** 開発モードでメディアアセットを開きます。
- **編集:** 編集モードでメディアアセットを開きます。
- **左回転:** 左回転するには **Ctrl + L** を押します。
- **右回転:** 右回転するには **Ctrl + R** を押します。
- **ファイルエクスプローラーで表示:** メディアアセットのファイルの場所をファイルエクスプローラーで開きます。

グリッドとフルスクリーン表示を切り替える

表示エリアのペインのフィルターオプションの左隣の上部左端にあるトグルボタンを選択することで、**グリッドとフルスクリーン表示**を切り替えることができます。

フィルター

有効にした場合、**フィルター** ツールバーは、特定のメタデータに基づいて表示エリアのペインに表示される結果を調整するために非常に強力です。

表示エリアのペインのメディアアセットをフィルターするには、次のいずれかの組み合わせから選択します：

- ・ タグ付けチェックボックスを有効にして、タグ付きの画像のみを表示します。
- ・ レーティングから選択して、特定のレーティングを持つメディアのみを表示します。レーティングの左側のボタンを選択することで、結果が選択したレーティング以下、以上、または一致するメディアを含むかどうかを選択できます。
- ・ カラーラベルから選択して、特定のラベルが付けられたメディアのみを表示します。



フィルター・パイ ツールの変更は、「グループ・バイ」ペインで表示される結果に影響します。

並べ替えとグループ

メディア・アセットの直上に位置し、「表示エリア」ペインの右側にある「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンは、「表示エリア」ペインの内容を変更するために使用されます。「フィルター・バイ」フィールドにより表示されるメディア・アセットの数を絞り込むのとは異なり、「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンの結果は、表示されるメディア・アセットの数を変更しません。「並べ替え」と「グループ」のドロップダウンの結果は、前方または後方に並べ替えることができます。



「グループ」フィールドでの選択は、「グループ・バイ」ペインで表示される結果に影響します。

グループ・バイとプロパティーズ・ペイン

画面の右側に位置する「グループ・バイ」ペインは、「フィルター・バイ」ドロップダウンと「グループ」ドロップダウンで選択されたグループのメディア・アセットのリストを表示します。「プロパティーズ」ペインは、IPTC、EXIF、および重要なACDSeeメタデータなどの主要な詳細を表示します。「グループ・バイ」および「プロパティーズ」ペインを表示するには、表示エリアの下右にある非表示/表示アイコン  をクリックします。

「グループ・バイ」ペインの結果は、前方または後方にグループ分けすることができます。

各グループタブ内の青いバーは、グループに含まれるメディア・アセットの数を表しています。

「グループ・バイ」ペインのタブをクリックすると、「表示エリア」ペインに選択したグループが表示されるようになります。

メディア モード内のナビゲーション ボタン

画像をフルスクリーン表示している場合、クライアントはウィンドウの左側または右側にカーソルを合わせて、表示されたナビゲーション矢印をクリックすることで、画像を間を移動できます。

メディア モード内での画像の削除

メディア モード内で画像を削除する方法は3つあります：

- ・ 画像を右クリックして、コンテキストメニューから「削除」を選択します
- ・ 画面の上部の「編集」ドロップダウンをクリックして、「削除」を選択します
- ・ 画像を1回クリックして、「Delete」キーを押します

章 5: 表示モード

表示モードは、ACDSeeユーザーインターフェイスのメインの表示コンポーネントです。

表示モードでは、次のような操作を行うことができます：

- クリック + ホールド + ドラッグ して、大きな画像をパンします。
- キーボードショートカットの**F**キーを使って、フルスクリーン表示のオン/オフを切り替えます。
- 画像を拡大または縮小表示する。
- スライドショー形式で画像を表示する。
- ビデオとオーディオファイルを再生し、画像ファイルに音声を追加します。
- 画像にキャプションを追加する。
- ファイルにタグを付けたり、カテゴリ、キーワードやその他のメタデータを追加したりして、ファイルのカタログを作成します。
- 画像に編集または特殊効果のプリセットを適用する。
- メタデータを適用すると、フィルムストリップの次の画像に自動的に進みます。
- 画像内の顔を検出し、名前を割り当てます。
- 現像モードで画像に加えられた調整を表示します。

自動レンズで画像をプレビューする

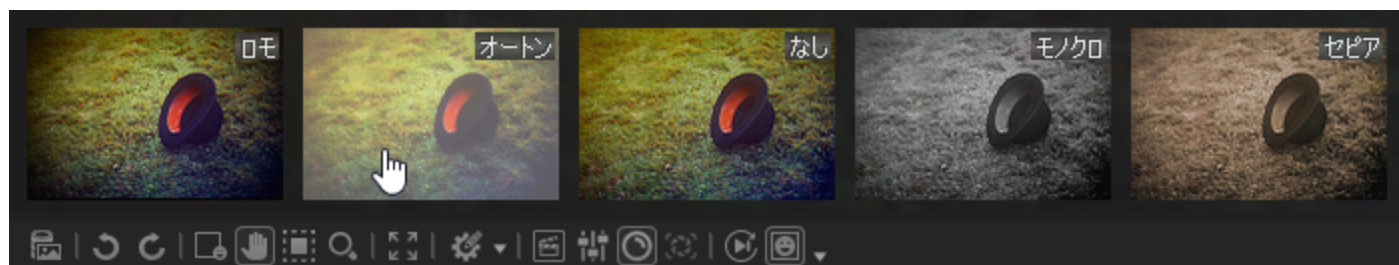
自動レンズを使用すると、実際にフィルタを適用せずに多数のフィルタが適用された画像をプレビューすることができます。

自動レンズで画像をプレビューするには：

1. 表示モードで画像を開きます。
2. ツールバーの[自動レンズ]ボタンを押します。
3. プレビューしたいフィルタを選択します。
4. フィルムストリップまたは[前へ]/[次へ]ボタンで、選択したフィルタが適用された他の画像もプレビューできます。



自動レンズはオフにするまでは表示モードでオンになったままになります。



選択した自動レンズをオフにするには：

1. ツールバーの[自動レンズ]ボタンを押します。
2. [なし]を選択します。

Light EQ™

Light EQ™ の表示モードでインスタント露出調整をした画像を表示することができます。表示する画像ごとにLight EQ™ を選択する必要があります。

Light EQ™ で画像を表示するには:

1. 表示モードで画像を開きます。
2. ツールバーの[Light EQ™]ボタンを押します。



RAW画像を表示する

RAW画像は写真のネガに似ています。写真を撮ると、カメラは画像を構成するすべての生のデータをキャプチャします。これには、画像をプレビューできるように埋め込まれたJPEGが含まれています。フォトネガと同様に、写真を表示するにはRAWファイルを現像する必要があります。

管理モードでRAW画像のサムネイルをダブルクリックすると、ACDSee 究極 は以前にRAWファイルを作成したことがあるかどうかを確認します。持っている場合、ACDSee 究極 は現像した写真を表示モードで表示します。そうでない場合、ACDSee 究極 は次のいずれかを実行します。

- これは、オプションダイアログボックスの**全般**タブで**埋め込みプレビュー**チェックボックスを選択していると発生する場合があります。ACDSee 究極 は写真撮影時にカメラによって生成された埋め込みJPEGを表示します。これは既定値として設定されています。
- [**RAW デコード**]ラジオボタンを[**全般**] ページで選択した場合、ACDSee 究極 はRAW ファイルをすぐに現像し、RAW ファイルの仮写真を表示します。

未現像のRAW画像を表示モードでズームインする場合、**埋め込みプレビュー**オプションを選択し、埋め込みJPEGの解像度を超えてズームすると、ACDSee 究極 はRAW画像をすばやく現像し、そのズームレベルで画像を表示します。表示モードで表示が埋め込まれたJPEGからデコードされたRAW画像に変わると、画像の色、光、または詳細が変化する場合があります。これは、カメラによってJPEGに適用される設定と、ACDSee 究極 の画像の現像に使用される設定の違いによるものです。カメラモデルが異なれば、埋め込まれたJPEGに適用される色、光、詳細の設定も異なるため、これらの設定はACDSeeで使用する設定と常に一致するとは限りません。ただしその後ACDSee 究極 の現像ツールを使ってRAW画像を処理し、好みの設定を使用することができます。



ACDSee はジオメトリの歪みを修正するタグを含む DNG ファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ 4/3rds カメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することがあります。

画像を回転する

管理および表示モードのツールバーにある[回転]アイコンを使用して、画像を回転することができます。



未処理のJPEG画像を回転するでは、ACDSee 究極 は可逆圧縮の回転を実行しますので、情報を失うことはありません。

画像を回転するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、1 つ以上のファイルを選択します。
2. スクリーン下にあるツールバーの[左に回転]または[右に回転]ボタンをクリックします。

回転 アイコン



左に回転

画像を左に 90 度回転します。



右に回転

画像を右に 90 度回転します。

ヒストグラムを使用する

ヒストグラムは、画像内の各カラーチャネルの色強度の分布を表すグラフです。

ヒストグラム ペインを使用するには:

1. [表示] または [編集] モードで、[ペイン] から [ヒストグラム] をクリックします。
2. ヒストグラムで、次のチェックボックスをオンまたはオフにします。
 - **R:** レッドチャネルを表示または非表示にします。
 - **G:** グリーンチャネルを表示または非表示にします。
 - **B:** ブルーチャネルを表示または非表示にします。
 - **L:** 画像の明るさを表示または非表示にします。

表示モードで顔検出と顔認識を使用する

顔検出を使用して、表示モードで閲覧している画像内の人物を検出できます。表示モードで他のプログラムから顔データをインポートすることもできます。



現在表示中のフォルダの管理モードで顔検出のスキャンがすべて実行されるようにした場合、このプロセスは迅速に実行されます。

顔検出ペインまたは顔ツールを使用して、表示モードで検出された顔に名前を割り当てることができます。顔に名前を付けると、ACDSeeが他の画像で人物を認識するのに役立ちます。これは顔認識といいます。同じ人物に対する名前の登録が多いほど認識率が高まり、以降の認識が速くなります。ACDSeeが誤って顔に割り当てた名前を修正することにより、結果を改善することもできます。修正が早く行われるほど、誤認識が再発する可能性は低くなります。1回以上同じ名前を割り当てると、ACDSeeは次回その名前を提案する場合があります。以下の提案セクションを参照してください。



自動ネーミング機能は、自動ネーミングオプションが有効になっている場合のみ使用できます。

名前を割り当てることにより、画像に含まれる人物の名前を使用して画像を検索できるようになります。検索を行うには、管理モードの検索機能と、カタログペインの人物グループを使用します。人物モードを使って、顔に割り当てられた名前を管理することもできます。

顔検出は規定で有効になっています。顔検出は、サポートされている画像ファイルタイプでのみ使用できます。



アーカイブ、携帯、フォトディスクなど、サポートされていない場所にあるファイル、またはデータベースから除外されているファイルに対して顔検出を実行することはできません。

顔検出を有効または無効にするには:

[ツール] から [オプション]、[顔検出] をクリックし、[顔検出を有効にする] チェックボックスをオン/オフにします。

表示モードで画像を閲覧する際に、画像を開くと顔検出が各画像の顔をスキャンします。

顔検出ペインを開くには:

[ペイン]、[顔検出] を選択します。

検出された顔が顔検出ペインに表示されます。

顔の輪郭を表示するには:

下部のツールバーで、[顔の輪郭を表示] ボタンをクリックするか、**Shift + B**を押します。



検出された顔に名前を付けるには:

1. 下部のツールバーで、**顔ツール**ボタンをクリックするか、**Shift + F**を押します。
2. 顔の輪郭の下にあるフィールドに、検出された顔の名前を入力します。
3. **Enter**キーを押します。



タブを使用して、画像や顔検出ペインの名前フィールド間でカーソルを移動することができます。

顔の輪郭を編集するには:

1. 下部のツールバーで、**顔ツール**ボタンをクリックするか、**Shift + F**を押します。
2. カーソルを使用して、輪郭を移動、拡大、または縮小します。



未検出の顔の輪郭を描いて、名前を付けるには:

1. 下部のツールバーで、**顔ツール**ボタンをクリックするか、**Shift + F**を押します。
2. クリック&ドラッグして、画像に顔の輪郭を描きます。
3. 顔の輪郭の下にあるフィールドに、顔の名前を入力します。



検出されていない顔の輪郭を描いて名前を付けても、ACDSeeによる人物の認識率は向上しません。

LightroomまたはPicasaから埋め込み顔データをインポートするには:

1. 表示モードで、**[AI]**、**[AI顔検出]**の順に選択します。**Lightroom**または**Picasa**の顔データをインポートします。
2. 顔データがインポートされ、顔データがデータベースに追加されます。



Lightroomまたは**Picasa**の顔データをインポートすると、画像上の既存の顔データが上書きされます。

候補

1回以上同じ名前を割り当てると、ACDSeeは次回その名前を提案する場合があります。名前の候補は時間とともに改善され、類似性に基づいて割り当てを行うこともできるようになります。



自動ネーミング機能は、自動ネーミングオプションが有効になっている場合のみ使用できます。



メインビューで候補を操作するには、**顔ツール**を選択する必要があります。



候補を否定または確定するには:

緑色のチェックマークをクリックして候補名を確定するか、赤色の否定マークをクリックして候補名を却下します。



望ましくない結果を回避して、誤った候補を無視することができます。候補を拒否しても、他の写真の候補には影響しません。名前フィールドで候補を編集して**Enter**キーを押すこともできます。

画像送りで画像を表示する

画像送り機能を使用して、複数の画像またはフォルダ内のすべての画像をプレビューするクイックスライドショーを作成することができます。

画像送りを開始するには:

1. 表示モードで複数の画像を開きます。
2. [ツール]>[画像送り]>[オプション]をクリックします。
3. 以下で解説されているように、[画像送り] ダイアログボックスのオプションを設定します。
4. **開始**をクリックします。
5. 次の画像ファイルを表示するには、**Space**キーを押します。
6. 前の画像に戻るには、**Backspace**キーを押します。
7. 画像送りを一時停止または再開するには、**Pause**キーを押します。

画像送りオプション

順序	画像の表示順序を指定します。次のいずれかのオプションを選択します。 • 昇順 • 降順 • ランダム
繰り返し	スライドショーの最後の画像が表示された後も、スライドショーを自動的に繰り返します。
ディレイ	各画像を表示する時間を指定します。スライダーをドラッグするか、ミリ秒単位で時間を入力します。
サウンド	[オーディオクリップの再生]のチェックボックスをオンにすると、選択した画像ファイルに埋め込まれているオーディオが再生されます。

表示モードで画像にテキストを表示する

ヘッダー/フッターツールを使用して、表示モードで画像にテキストを表示することができます。テキストは画像を表示している間だけ表示され、オリジナルの画像そのものを変更するわけではありません。また、設定を変更することなく、ヘッダーやフッターのテキストを隠すこともできます。

ヘッダーとフッターを表示するには:

1. [表示]モードで、[表示] から[ヘッダー/フッターの編集]を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します。
 - [ヘッダー] チェックボックスをオンにすると、画像の上にテキストが追加されます。
 - [フッター] チェックボックスをオンにすると、画像の下にテキストが追加されます。
3. 下の解説を参照して、テキストオプションを選択または変更します。
4. [OK]をクリックします。

テキストオプション

配置	キャプションの配置を指定します。
背景	テキストに背景色を追加します。[カラー]をクリックして色を指定します。
説明	画像に表示するテキストを入力します。表示させたいテキストを入力するか、フィールド内をクリックしてメタデータを挿入するように設定します。
メタデータの挿入	各画像特有の情報を挿入します。
フォント	テキストのフォント、サイズ、色を設定します。

画像テキストにメタデータを挿入するには:

1. [説明] テキストボックスで、ファイルの情報を表示したい場所にカーソルを合わせ、[メタデータの挿入]をクリックします。
2. [プロパティの選択] ダイアログボックスで、表示したいファイル情報を選択します。
3. [OK]をクリックします。

情報はプレースホルダとして挿入されるため、各画像に固有のテキストが表示されます。

画像テキストを隠す

ヘッダーまたはフッターを非表示にしたり、テキストフィールドの情報を変更 / 削除しないで無効にすることができます。

画像テキストを隠すには:

1. [表示]モードで、[表示] から[ヘッダー/フッターの編集]を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します。
 - [ヘッダー] チェックボックスをオフにすると、画像の上のテキストが削除されます。
 - [フッター] チェックボックスをオフにすると、画像の下にテキストが削除されます。
3. [OK]をクリックします。



ヘッダーとフッターの両方を同時に表示または非表示にするには、[表示] メニューから[ヘッダー/フッターの表示]をクリックします。

画像の一部を選択する

表示モードの[選択ツール]を使用して、画像の一部を四角形で選択することができます。選択した画像の一部を新しい画像として保存したり、デスクトップ壁画として使用したり、ズーム、コピー、印刷することができます。

画像の一部を選択するには:

1. [ツールの選択]アイコンをクリックします。
2. 画像上にカーソルを置いてドラッグし、マーキーを作成します。
3. マーキーの内部を右クリックして、次のいずれかのオプションを選択します。
4. 選択範囲をクリアするには、マーキーの外部をクリックします。

選択範囲のオプション

倍率指定	選択範囲を拡大します。
コピー	選択範囲をクリップボードにコピーします。
名前を付けて保存	選択範囲を新規画像として保存します。
印刷	選択範囲を印刷します。
壁紙として中央に表示	選択範囲を使用して壁紙を作成し、デスクトップの中央に表示します。
タイル状配置の壁紙	表示選択領域を使用してタイル状に壁紙を作成します。

表示モードでファイルプロパティを表示する

管理モードで画像のプロパティペインを開き、プロパティの情報を編集することができます。

画像ファイルのプロパティを表示するには:

表示モードで、[ペイン]>[プロパティ]とクリックします。

プロパティペインやACDSee 究極 メタデータの追加や編集に関して詳しくは、「[プロパティペインの使い方](#)」をご確認ください。

ドキュメントの表示

ACDSeeでは、PDF、Excel、PowerPoint、Word、Canvas Xなど、さまざまなドキュメントを表示できます。表示モードでは、整理と検索を簡略化するため、ドキュメントにメタデータを追加することができます。

ドキュメントを表示するには:

1. 管理モードでドキュメントに移動する。
2. ドキュメントを選択して表示モードに入る。

PDF ファイル (.pdf) について:

「[表示モードでPDFファイルを表示する](#)」を参照してください。

Excel ファイル (.xlsx) について:

表示モードでは、ドキュメントの下方にあるシートタブを利用して、ドキュメント内のすべてのシートを表示できます。

PowerPoint ファイル (.pptx) について:

表示モードでは、マウスホイールを使用するとドキュメント内のスライドの間を移動することができます。次の画像を表示するには、スライドをクリックします。

Word ファイル (.docx) について:

表示モードでは、マウスホイールを使用するとドキュメントをスクロールすることができます。

重要度、カラーラベル、タグを表示モードで割り当てるには:

ドキュメントを表示モードで開き、次のいずれかの操作を行います。

- 右下隅の[**カラーラベル**] ボタンをクリックして、カラーラベルを選択します。
- 右下隅の[**重要度**] ボタンをクリックして、重要度を選択します。
- 右下隅の[**タグ付け**] ボタンをクリックします。

表示モードでPDFファイルを表示する

PDF ファイルを表示モードで表示、移動、印刷できます。

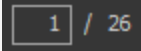
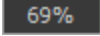
表示モードで画像を開くには:

以下のいずれかの操作を行います。

- 管理モードで、PDF をダブルクリックします。
- 管理モードで、PDFを選択して、**Enter**キーを押します。
- 管理モードで、PDFを選択し、**表示** モードボタンを押します。

下の表を参考にして、PDF オプションを設定します。

PDF オプション:

 戻る	前のページを表示します。
 進む	次のページを表示します。
 拡大	PDF をより高い拡大率で表示します。
 縮小	PDF をより低い拡大率で表示します。
 既定のアプリケーションで開く	PDF を既定のアプリケーションで開きます。
 PDF の印刷	PDF を印刷します。
 ページに合わせる	ページを表示領域に合わせて調整します。
 幅に合わせて表示	ページを表示領域の幅に合わせて調整します。
 ページ番号	表示しているページの番号を表示します。
 拡大率	ページの拡大率を表示します。

PDF ドキュメントを印刷するには:

「[画像とドキュメントを印刷する](#)」を参照する。

キーボードショートカット:

	→	フィルムストリップの次の画像を表示します。
	←	フィルムストリップの前の画像を表示します。
	Page Up	ドキュメントの前のページを表示します。
	Page Down	ドキュメントの次のページを表示します。
	Spaceキー	ドキュメントの次のページを表示します。
	Home	ドキュメントの最初のページを表示します。
ページに合わせて表示で	End	ドキュメントの最後のページを表示します。
	↑	ドキュメントの前のページを表示します。
	↓	ドキュメントの次のページを表示します。
	マウスホイールを上回転	ドキュメントの前のページを表示します。
幅に合わせて表示で	マウスホイールを下回転	ドキュメントの次のページを表示します。
	↑	ドキュメントを上スクロールします。
	↓	ドキュメントを下スクロールします。
	マウスホイールを上回転	ドキュメントを上スクロールします。
	マウスホイールを下回転	ドキュメントを下スクロールします。

表示モードでプリセットを適用する

さまざまな ACDSee 究極 の現像 ツールで、設定 をプリセットとして保存できます。特定のツールやエフェクトで同じ設定を頻繁に使用する場合に便利です。

ほとんどのツールでは、[適用]または[完了]をクリックした時点でのオプション設定がACDSee 究極 に自動的に保存されます。このプリセットは「最後に使用された設定」と呼ばれています。いつでも使用できるプリセットを作成するには[現像モードでプリセットを使う](#)を参照してください。

表示モードでプリセットを適用するには:

1. 表示モードで [処理] > [プリセットの適用] をクリックします。
2. プリセットの一覧から希望するものを 1 つ選択します。
プリセットが適用され、自動的に保存されます。



適用したプリセットを元に戻すには、右クリックして [処理]、[オリジナルに戻す] を選択します。



編集モード内で作成されたプリセットは、編集モード内でのみ適用されます。

ブラシ ファイルを表示する/使用する

フォントファイルやその他のファイルのように、ブラシ ファイルを管理 モードで表示 することができます。これにより、ACDSeeの他のファイル同様に重要度を設定したり、整理したりできることを意味します。**.abr** は、1 つのファイル内に複数の画像を含むファイル形式のため、表示 モードで個々の画像を開く必要があります。



ACDSee では、.abr ブラシ ファイルはこのアイコンで表示 されます。

ブラシ ファイルを表示するには:

管理 モードで、ブラシ ファイルの含まれているフォルダをナビゲートします。

- .abr ファイルの最前面にある画像を表示するには、そのサムネイルの上にマウスを移動してポップアップ表示するか、サムネイルをクリックしてプレビュー ペインに表示します。
- .abr ファイルのその他の画像を表示するには、ダブルクリックしてファイルを表示 モードで開きます。左手のペインに各画像を表示した形で、表示 モードにファイルが開かれます。
- サイドバー上部の下矢印をクリックすると、ブラシ ファイルに含まれている合計画像数が表示 されます。
- 特定番号の画像を表示するには、この下矢印をクリックし希望する番号を選択します。

画像間をスクロールするには、サイドバー上部または各画像にある右または左矢印をクリックします:

Adobe Photoshop®とACDSee 究極の両方を開いた状態で、管理 モードのファイル一覧からPhotoshop®のウィンドウへファイルをドラッグします。

何も起こっていないかのように見えますが、ドラッグされたファイルは、Photoshop® のブラシ ライブラリにロードされます。新規ブラシ ファイルを表示するには、ライブラリを開いてから、ペイン下部までスクロールします。



Photoshop®を既定のエディタとして設定すると、PhotoShopでブラシファイルを扱いやすくなります。**Ctrl + Alt + X** キーにより、Photoshop®を開き、ブラシファイルをすぐに使用 することができます。

ビデオとオーディオファイルを再生する

ACDSee では、様々なフォーマットのビデオまたはオーディオ ファイルを再生 することができます。再生 音量の調整やビデオ フレームから画像を作成することが可能です。

オーディオまたはビデオ ファイルを再生するには:

管理 モードのファイル一覧 ペインで、次のいずれかを実行 します:

1. オーディオまたはビデオ ファイルをダブルクリックします。
2. 1 つ以上のファイルを選択して、**Enter**キーを押します。
3. 1 つ以上のファイルを選択して、それらのファイルを右 クリックした後、**[表示]**を選択します。
4. メディア ツールバーを使用して、音量の調整、一時停止、繰り返し、フレームの抽出を行います。

オーディオおよびビデオ ファイルを自動再生する

表示 モードでオーディオまたはビデオ ファイルを開くとすぐに、または管理 モードの プレビュー ペイン で開くと、自動再生 されるように設定 することができます。

メディア ファイルを自動再生するには:

1. 管理 モード、あるいは表示 モードで、**[ツール] > [オプション] > [プレビュー]** をクリックします。
2. **[オーディオおよびビデオクリップの自動再生]** チェックボックスをオンにします。

3. **[OK]**をクリックします。

メディア ツールバー

メディア ツールバーを使用して、頻繁に使用するメディアの表示や編集 ツールにすばやくアクセスすることができます。

メディア ツールバーのボタン

	再生	メディア ファイルまたは選択範囲を再生します。メディア ファイルまたは選択範囲の再生中は、一時停止 ボタンに変わります。
	フレームの抽出	ビデオフレームをコピー、保存、抽出 することのできるメニューを開きます。  フレームは、現在表示している解像度で抽出 されます(ご使用中のスクリーンの解像度)。
	ループ	メディア ファイルまたは選択範囲を繰り返し再生します。
	音量 ミュート	クリックして再生 音量をミュートし、もう一度クリックして音量を再生します。

動画のフレームを画像として保存する

動画 ファイルから個々のフレームを抽出して、静止画として保存 することができます。

ビデオのフレームを画像として保存するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - キャプチャするフレームを見つけて、**[一時停止]**を押します。
 - 抽出したいフレームが今まさに再生中の場合、手順 2 に進みます。
2. 選択範囲とメディア コントロールツールバーの**[現在のフレームの抽出]**ボタンをクリックします。
3. **[現行フレームの抽出]** ダイアログ ボックスで、ファイルの保存先を選択します。
4. **[ファイル名]** フィールドにファイル名を入力します。
5. **[ファイルの種類]** ドロップダウン リストからファイル フォーマットを選択します。**[オプション]** ボタンをクリックし、選択したファイル フォーマットに関連したオプションを選択 または変更 します。
6. **[保存]**をクリックします。

画像に音声を追加/編集する

ACDSee 究極は、オーディオが埋め込まれた画像やオーディオファイルと関連付けられた画像をサポートしています。

オーディオが埋め込まれた画像とは、オーディオがファイル内に保存されている **TIFF** または **JPEG** 画像を指します。画像にオーディオを追加することで、画像 ファイル内にオーディオを直接埋め込むことができます。

オーディオ ファイルと関連付けられた画像とは、**WAV** ファイルとペアになっている画像のことです。画像 ファイルと関連付けられたオーディオファイルは、同じフォルダ内に同じファイル名で保存 されます。**WAV** ファイルと画像に同じファイル名を付けて同じフォルダ内に保存 するか、画像にオーディオを追加することで、画像とオーディオを関連付けることができます。

- ❗ 関連付けられた画像 ファイルまたはオーディオファイルを移動する、あるいは名前を変更する場合、同じフォルダ内にある両方のファイルの名前を変更しなければなりません。そうでなければ、画像とオーディオの関連付けが解除されてしまいます。なお、この法則は TIFF や JPEG などオーディオの埋め込まれた画像には当てはまりません。

画像にオーディオを追加するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで画像を選択します。
 - 表示モードで画像を開きます。
- [ツール]>[画像のオーディオ]>[編集] をクリックします。
- [オーディオの編集] ダイアログ ボックスで、[参照] ボタンをクリックします。
- .WAV ファイルを選択し、[保存] をクリックします。
- オーディオ ファイルの一部を切り捨て、あるいはクリップしたい場合、[マーカーを使用する] チェックボックスをオンにして、[開始マーカー] と [終了マーカー] のスライダーをドラッグします。以下のいずれかの操作を行います。
 - オーディオファイルの始まりと終わり(開始マーカーと最終マーカーの範囲外)を削除するには、[切り捨て] ボタンをクリックします。
 - オーディオファイルの一部(開始マーカーと最終マーカーの範囲内)を削除するには、[クリップ] ボタンをクリックします。
- ファイルのプレビューを聞くには、[再生] ボタンをクリックします。
- [OK] をクリックします。

画像にオーディオを録音する

オーディオ ファイルを録音して、画像に追加することができます。JPEG または TIFF 画像にオーディオを追加する際、オーディオは画像に直接埋め込まれます。その他のファイル フォーマットでは、オーディオは画像に関連付けられます。オーディオ ファイルは画像と同じフォルダに保存され、画像が表示される際に再生されます。

オーディオ ファイルを録音し画像に追加するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで画像を選択します。
 - 表示モードで画像を開きます。
- [ツール]>[画像のオーディオ]>[編集] をクリックします。
- [オーディオの編集] ダイアログ ボックス内で、以下を参照にして [サウンドの録音設定] オプションを設定します。
- [録音] ボタンをクリックして、次のいずれかを実行します。
 - マイクを使用してサウンドを録音します。
 - コンピュータのオーディオ プレイヤーでオーディオを再生します。
- [録音] ボタンをクリックし、録音を停止します。
- [名前を付けて保存] ボタンをクリックし、オーディオ ファイルを保存します。
- [サウンドファイルの保存] のダイアログ ボックスで、[ファイル名] のフィールドにファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。
- [OK] をクリックします。

サウンドの録音設定 オプション

キャプチャデバイス	オーディオの録音に使用するデバイスを指定します。
入力フォーマット	サウンドの録音に使用するサンプルレートとオーディオタイプを指定します。表示されるフォーマットは、コンピュータにインストールされているサウンドカードにより異なります。
上書き	録音されたオーディオを[開始 マーカー]のスライダの位置に上書きします。
ミックス	既存のオーディオファイルと録音を結合します。
開始 マーカーの位置に挿入	開始 マーカーの位置に録音を挿入します。[開始 マーカー] スライダをドラッグし、位置を選択します。
サウンド ファイルに追加	既存のオーディオファイルに録音を追加します。
サウンド ファイルの置換え	オーディオファイル全体を新しい録音と置換えます。

画像とドキュメントを表示モードで印刷する

ACDSee 究極 の印刷ユーティリティを使うと、お使いのプリンタが対応している用紙サイズ、印刷方向、解像度を指定してファイルを印刷できます。また、コンタクトシート、ヘッダー、フッターや、各画像にキャプションを付けて印刷することもできます。

印刷ダイアログボックスのオプションを変更すれば、動的に更新される画像ファイルのプレビューを表示して、ページ上の配置を確認することができます。また、各画像の出力サイズの調整、各画像の複数印刷、各ページの画像の印刷方向の変更も実行できます。

1つの画像を印刷するには:

1. 表示モードで、印刷したい画像を選択します。
2. [ファイル]>[印刷]をクリックします。
3. [形式]から[印刷サイズ]を選択します。
4. [プリンタ オプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度を指定します。
5. [ページ設定]タブでは、用紙上の画像の位置や余白の幅を指定したり、写真毎の印刷部数を指定したりします。
6. [調整]タブで、設定を調整して、プリンターが露出、コントラスト、シャープネスを処理する方法を補正します。
7. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。
8. 印刷をクリックします。

すべての画像を印刷するには:

1. [表示]モードで、[ファイル]>[すべてを印刷]をクリックします。
2. 「印刷レイアウト」のセクションで、下記のいずれかを実行します:
 - [ページ全体]を選択し、[形式]リストから印刷サイズを選択します。
 - [コンタクトシート]を選択し、[コンタクトシートの形式]オプションを設定して、コンタクトシートの外観を定義します。
 - [レイアウト]を選択し、選択可能なレイアウトオプションを1つ選択します。
3. [プリンタ オプション]タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度を指定します。
4. [ページ設定]タブでは、ページ上の画像の位置や余白の幅を指定します。
5. [調整]タブで、設定を調整して、プリンターが露出、コントラスト、シャープネスを処理する方法を補正します。

6. 各写真の印刷部数を指定します。[ページ全体] または [コンタクトシート] を印刷する場合は、[ページ設定] タブでこのオプションを使用できます。[レイアウト] を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
7. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。[ページ全体] または [コンタクトシート] を印刷する場合は、キャプション、ヘッダーまたはフッターのみを追加できます。
8. **印刷** をクリックします。

ドキュメントファイルを印刷するには:



ドキュメントは、表示モードで表示されている状態ではなく、Microsoft Office™で表示した時のような状態で印刷されますのでご注意ください。

1. 印刷したいドキュメントを選択します。
2. [表示] モードで、[ファイル] > [印刷] をクリックします。
3. [プリンタ] ドロップダウン メニューから使用したいプリンタを選択し、[部数] フィールドに印刷したい部数を入力します。
4. 設定セクションは、全てのページを印刷、または印刷範囲を選択することができます。印刷範囲は、カスタム印刷のとなりのフィールドに入力します。
5. ドロップダウン メニューから、片面印刷か両面印刷、印刷方向、1シート当たりのページ数、丁合いの有無、用紙サイズを選択します。
6. [印刷] をクリックします。

PDF ドキュメントを印刷するには:

1. 印刷する PDF を選択します。
2. 表示モードで、[ファイル] > [印刷] をクリックするか、または PDF オプションの印刷 ボタンを押します。 
3. フォーマットリストから印刷サイズを選びます。
4. [プリンタ オプション] タブで、使用したい プリンタ、用紙サイズ、印刷方向、印刷したい部数、ページ上で印刷したい範囲、解像度を指定します。
5. [ページ設定] タブで、ページの位置 と余白のサイズを指定します。
6. 各写真の印刷部数を指定します。[ページ全体] または [コンタクトシート] を印刷する場合は、[ページ設定] タブでこのオプションを使用できます。[レイアウト] を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
7. キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。[ページ全体] または [コンタクトシート] を印刷する場合は、キャプション、ヘッダーまたはフッターのみを追加できます。
8. **印刷** をクリックします。

表示モードとフォルダを同期する

[フォルダと同期] オプションを使用すると、表示モードで表示される画像を変更できます。

フォルダを同期するには:

1. 表示モードで、[ファイル] から [フォルダの同期] をクリックします。
2. 同期したいフォルダのパスを入力するか、[参照] ボタンをクリックしてフォルダを探します。
3. 下記で解説されているように、[新規画像] オプションをオンまたはオフにします。
4. [OK] をクリックします。

新規画像オプション

新規画像をすくに表示する	フォルダに追加された新規画像をすくに表示します。このオプションがクリアされると、新規画像はスライドショーの最後に追加されます。
現行ファイルを無視する	転送中のアプリケーションがファイルの移動またはダウンロードを終了するまで、新規ファイルはスライドショーに追加されません。
ファイル名で並べ替える	スライドショーに表示される画像をファイル名で並べ替えます。

フォルダの同期を解除するには:

表示モードで、[ファイル] から [フォルダの同期] をクリックします。

画像をデスクトップの壁紙に設定する

お気に入りの画像を Windows デスクトップの壁紙に設定することができます。壁紙の画像を画面に合せて自動拡大したり、以前使用した壁紙を復元したりすることも可能です。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理モードで、画像を選択し、[ツール] > [壁紙の設定] をクリックします。
 - 表示モードで、[ツール] > [壁紙の設定] をクリックします。
- 次のいずれかを選択します。
 - 中央に表示:** 画像を画面の中央に配置します。画像が画面より大きい場合、画面の大きさに合わせて縮小します。
 - タイル状に並べて表示:** デスクトップ全体を覆うように、画像をタイル状に並べて表示します。
 - 拡大表示:** スクリーンに合わせて画像を拡大表示します。

選択した画像は、「ACD Wallpaper.bmp」として Windows フォルダに保存されます。ACDSee 究極は、コントロール パネルの画面プロパティの壁紙設定を自動的に変更し、画像を表示します。

壁紙を画面に合わせて自動的に拡大するには:

- [ツール]>[オプション]をクリックします。
- [オプション] ダイアログ ボックスで、[全般] をクリックします。
- [全般] ページで、[壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する] チェックボックスを選択します。
- [OK] をクリックします。

以前表示した壁紙を表示するには:

[ツール]>[壁紙の設定]>[元に戻す]の順にクリックします。

オフライン画像を表示する

ACDSee 究極は、CD または他のリムーバブル メディアに保存された画像のサムネイルやデータベース情報を、フォトディスクとして保存します。そのため、CD-ROM ドライブにディスクが入っていないなくてもそれらの画像のサムネイルを参照したり、画像情報を表示したりすることができます。

フォトディスクを追加するには:

- 画像を含むディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
- 管理モードで、[ファイル] > [新規] > [フォトディスク] とクリックします。

3. [新規ディスク] ダイアログ ボックスで、「**タイトル**」フィールドにディスク名を入力し、**[OK]**をクリックします。

フォルダベイン内の [オフライン メディア] から、作成したフォトディスクをブラウズすることができます。



フォトディスクとして**ACDSee 究極** に追加されたディスクから画像を追加または削除する場合、データベースに保存されている情報を更新することができます。**CD-ROM** ドライブにディスクを挿入し、フォルダベインでディスク名を右クリックして、**フォトディスクの更新**を選択します。

既定では、**ACDSee 究極** はフォトディスクをシリアル番号で区別します。特に **ACDSee** の以前のバージョンからフォトディスクをインポートあるいは変換する場合、この設定がフォトディスクで作業するためのもっとも確実な設定と言えます。

しかしながら、マルチセッションのディスクを作業中、あるいは近い将来そういったディスクと作業する予定がある場合などでは、ディスクの内容が変更されるたびにシリアル番号が再生成、あるいは変更されてしまう、という可能性があります。そのため、ボリュームラベルはマルチセッションのフォトディスクを識別するための方法として使用されます。

フォトディスクを再結合する

フォトディスクを識別するために設定されたオプションによっては、**ACDSee 究極** で識別できないフォトディスクが見つかることがあります。これは、フォトディスクの識別にシリアル番号が使用されていながら、マルチセッションのディスクを挿入した場合に発生します。マルチセッションディスクを更新した際にシリアル番号も変更されたために、**ACDSee 究極** で認識することができません。

このような場合は、再結合オプションを使用して ID 情報を更新し、ディスクと適切なデータベース情報を関連付けます。

フォトディスクをACDSee 究極データベース情報と再結合するには:

1. [フォトディスクの再結合] ダイアログボックスから、現在のディスク情報に目を通して、ドライブに適切なディスクが挿入されているか確認します。
2. [**フォトディスクの名前**]一覧から、現在のディスクと再結合したいフォトディスクの記録を選択します。
3. **再結合** をクリックします。

別のアプリケーションでファイルを表示する

ACDSee内から別のプログラムでファイルを開くことができます。例えば、ドキュメントを作成したアプリケーションでそのドキュメントを開くことができます。

シエレ コマンドを使用するには:

1. 管理モードで、[**ファイル**]、[**シエレ**]をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - **開く Windows** がそのファイル拡張子と関連付けているアプリケーションを使ってファイルを開きます。
 - **編集:** 既定のシステム アプリケーションでファイルを開くか、アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開きます。

オリジナルの表示

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元することができます。

オリジナル画像を表示する手順:

変更の確定

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元する選択肢があります。現像または編集した画像を保持することにし、オリジナル画像として保存する場合は、画像に加えた変更を確定します。こうすることで保存されていたサイドカーファイルやオリジナルは削除され、画像が現像済みまたは編集済みであることを示す現像済みまたは編集済みのオーバーレイアイコンが消えます。

画像に加えた変更を確定するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、現像または編集された画像を選択します。
2. [プロセス] > [変更を確定]をクリックします。

画像の色深度を変更する

表示モードで、画像の色深度を変更することができます。色深度とは、画像に含まれる色の1段階の範囲のことです。

画像の色深度を変更するには:

表示モードで[ツール] > [修正] > [色深度の変更]を選択し、下記で説明するオプションの1つを選択します。

色深度オプション

モノクロ	白黒2色のパレット
16色グレイ	16色のグレースケールパレット
256色グレイ	256色のグレースケールパレット
16色カラー	16色パレット
256色カラー	256色パレット (GIF形式では既定値として256色を使用しています)
High Color	32,768色パレット
True Color	人間が識別可能なすべての色16,777,216色のパレット
16ビットグレースケール	16ビットのグレースケール
48ビットカラー	48ビットのカラーパレット

ACDSee 究極を使って、画像をこれらの色深度に変換することができます。しかし、特定の画像エンハンスメントツール、フィルタ、ブレンド、調整のオプションを使用するには、画像がハイカラーかトゥルーカラーである必要があります。元がハイカラーまたはトゥルーカラーではない画像を編集するには、画像を変換して編集した後、元の色深度に戻してください。

拡大/縮小

表示モードで画像を表示する際、ズームツールを使用して、表示中の画像サイズを拡大または縮小することができます。画像が、表示モードウィンドウのサイズよりも大きくなった場合、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。



RAW画像をズームする際、カラー、ライト、ディテールが変化して見えることがあります。これは、オプションダイアログボックスの**全般**タブで**埋め込みプレビュー**チェックボックスをチェックしていると発生する場合があります。このオプションのダイアログボックスにより画像の埋め込みJPEGが表示されますが、埋め込みJPEGの解像度を超えてズームインすると、そのズームレベルで画像を

 表示できるように、ACDSee 究極でRAW画像がデコードされます。ACDSee 究極 で画像のデコード処理中は、ズームツールの反応が遅くなることがあります。詳細については、[RAW画像を表示する](#)をご確認ください。

画像を拡大または縮小するには:

- 画像を一回クリックすることにより、既定の表示サイズと原寸サイズの表示が切り替わります。
- [ツール] > [ズーム] をクリックし、そのズームメニューのオプションを1つ選択します。

ズームメニューのオプション

拡大	画像を拡大します。
縮小	画像を縮小します。
原寸サイズ	オリジナルの画像サイズで画像を表示します (100%)。
ウィンドウに合わせて表示する	表示モードウィンドウに収まる最大サイズで画像を表示します。
幅に合わせて表示	表示モードウィンドウの幅に合わせて画像を表示します。
高さに合わせて表示	表示モードウィンドウの高さに合わせて画像を表示します。
ズームの固定	現在の画像のズームオプションをすべての画像に適用します。ズームレベルを変更すると、変更したズームレベルが表示するすべての画像に適用されます。
倍率指定	ズームレベル を選択することができるダイアログボックスが表示されます。
パンの固定	画像の パン領域 を固定します。

 **画面に合わせて表示する**を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

 既定の画像表示方式を変更するには、[ツール]> [ズーム] を選択し、原寸表示、画面に合わせて表示、幅に合わせて表示、高さに合わせて表示のいずれかを選択します。

 **ズーム固定** ボタンを切り替えて、ツールバーからズーム固定に簡単にアクセスすることができます。

ズームレベルを設定する

[ズームレベルの設定] ダイアログボックスを使って、表示モードのズームレベルを設定することができます。

特定のズームレベルを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ズーム] そして [倍率指定...] を選択します。
2. [ズームレベルの設定]ダイアログから、次のいずれかを選択します。
 - **画面に合わせて表示:** ウィンドウ全体に画像が収まるように、画像をズームします。
 - **幅に合わせて表示:** ウィンドウ幅に合わせて画像をズームします。
 - **高さに合わせて表示:** ウィンドウの高さに合わせて画像をズームします。

- **倍率指定:**ズーム倍率を指定します。数値をフィールドに入力するか、またはドロップダウン リストからズーム レベルを選択します。
- 3. この設定を表示モードのズーム レベルの既定値として使用するには、**[このズーム レベルで固定する]** チェックボックスをオンにします。表示モードでは、すべての画像が指定されたズーム レベルで表示されます。
- 4. **[OK]**をクリックします。



[画面に合わせて表示]を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押すことで前後の画像を表示できるようになります。

画像を自動で拡大/縮小する

オプションのダイアログボックスの**[表示]**ページを設定すれば、ACDSee 究極 ウィンドウのサイズに合わせて画像を自動的に拡大・縮小できます。ズームオプションを組み合わせたときの表示についての詳細は、下記の表「ズームモードとサイズ変更の結果」をご参照ください。

画像を自動拡大 / 自動縮小するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、**[ツール] > [オプション]**をクリックします。
2. オプションダイアログボックスで**[表示モード] > [表示]**をクリックします。
3. **[ズーム オプション]**領域で、**[ズーム モードの既定値]**ドロップダウン リストから次のオプションを選択します。
 - **実寸表示:** 画像のオリジナルサイズを保持します。
 - **幅に合わせて表示:** 表示モードウィンドウの幅に合わせて、画像をサイズ変更します。
 - **高さに合わせて表示:** 表示モードウィンドウの高さに合わせて、画像をサイズ変更します。
 - **ウィンドウに合わせて表示:** 表示モードウィンドウのサイズに合わせて、画像をサイズ変更します。
4. **[サイズ変更]**ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **縮小のみ:** 表示モードウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像を縮小します。
 - **拡大のみ:** 表示モードウィンドウのサイズに合わせて、小さな画像を拡大します。
 - **拡大または縮小:** 表示モードウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像は縮小、小さな画像は拡大します。
5. **[OK]**をクリックします。

ズームモードとサイズ変更の結果

	ウィンドウに合わせて表示する	幅に合わせて表示	高さに合わせて表示
縮小のみ	表示モードウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像を縮小します。 表示モードウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。	大きな画像は、表示モードウィンドウの幅に合わせて縮小されます。 表示モードウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。	大きな画像は、表示モードウィンドウの高さに合わせて縮小されます。 表示モードウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。
拡大のみ	小さな画像は、表示モードウィンドウのサイズに合わせて拡大されます。 表示モードウィンドウより大きな画像は、元のサイズで表示されます。	小さな画像は、表示モードウィンドウの幅に合わせて拡大されます。 表示モードウィンドウより大きな画像は、元のサイズで表示されます。	小さな画像は、表示モードウィンドウの高さに合わせて拡大されます。 表示モードウィンドウより大きな画像は、元のサイズで表示されます。
拡大または縮小	表示モードウィンドウのサイズに合わせて、大きな画像は縮小、小さな画像は拡大されます。	大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大して、表示モードウィンドウの左右に合わせます。	大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大して、表示モードウィンドウの上下に合わせます。



[ウィンドウに合わせて表示]を選択すると、キーボードの左右の矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する

ナビゲータペインを使って、表示モードの表示領域よりも大きく拡大された画像のサムネイルを表示します。ナビゲータでは、表示モード内で表示されている画像の領域は、マーカーで囲まれます。

ナビゲータペインを使用するには:

1. [表示]モードで、[ペイン]>[ナビゲータ]をクリックします。
2. ナビゲータペインのスライダをドラッグして、表示モードで表示する画像の拡大率を設定します。
3. ナビゲータペインのマーカーをドラッグして、表示モードで見たい画像の領域に移動します。

クイックナビゲータペインを使用するには:

1. [表示]モードで、下にあるツールバーの[ナビゲータ]ボタンをクリックして長押しします。
2. ナビゲータペインのマーカーをドラッグして、表示モードで見たい画像の領域に移動します。

拡大された画像のパンニング

表示モードでは、大きな画像を表示領域全体で垂直、水平、および斜めに移動してパンし、画像の特定の領域を表示できます。ACDSee 究極のウィンドウサイズよりも大きな画像を扱う場合は、[スクロール]ツールを使うことになり、カーソルが手の形に変わります。

画像をパンニングするには:

以下のいずれかの操作を行います。

- 表示したい画像の部分を中心にドラッグします。
- 矢印キーを使って移動します。**Ctrl** キーをホールドすると、移動の速度が速くなります。一方、**Shift** キーをホールドすると、移動の速度が遅くなります。

パンを固定する

[パンの固定]設定を使用すると、複数の大きい画像を表示する際、画像の同じ部分を表示モードの中心として自動表示することができます。

パンを固定するには:

1. 表示モードで、大きい画像の上をパンニングし、表示したい部分を指定します。
2. ズーム メニューを使用して、画像に使用したいズームレベルになるまで拡大します。
3. [ツール]、[ズーム]、[ズーム固定]とクリックして、現在のズームレベルを維持します。
4. [ツール]、[ズーム]、[パンの固定]とクリックします。

ビューアで次の画像を表示する際、画像の同じ部分が自動拡大/自動縮小されてビューアの中心に表示されます。

画像の特定領域を拡大表示する

虫めがねペインでは、画像の特定領域を拡大表示することができます。

虫めがねペインを使用するには:

1. [表示]モードで、[ペイン] から[虫めがね] をクリックします。
2. 画像の任意の領域にカーソルを移動して、その領域を虫めがねペインで表示します。
3. 虫めがねペインの設定を変更するには、次のいずれかを実行します。
 - 虫めがねペインのスライダをドラッグして、拡大率を設定します。
 - [固定] チェックボックスをオンにして、画像の元のサイズにスライダの設定を適用します。[固定] チェックボックスをオフにして、[表示]モード内で拡大した画像の倍率にスライダの設定を適用します。
 - [スムーズ]チェックボックスをオンにして画像の拡大部分にアンチエイリアシングを適用するか、[スムーズ]チェックボックスをオフにして個々のピクセルを表示します。アンチエイリアシングは、「ジャギー」とも呼ばれるギザギザの線を減らします。

章 6: 現像モード

現像モードでは、RAW、JPEG、その他のファイルタイプの非破壊処理を行います。RAW画像データを処理できる現像モードでRAW画像の調整のほとんどを行います。非破壊とは、行った変更が元の画像を永続的に変更しないため、元に戻すことができることを意味します。

[現像] モードでは次の作業が可能です：

- 画像の調整：露出、ホワイトバランス、ライティング、色、トーンカーブ、ソフトフォーカス、効果、スプリットトーン、切り抜き後の周辺光量補正などのツールの使用や、RAW 画像の出力色空間の設定を行います。
- ディテールの調整：シャープネス、ノイズ除去、スキントーン、色収差の補正などのツールを使用します。
- ジオメトリの修正：レンズの歪み、回転 & 傾きを直す、透視、トリミング、ヴィネット補正などのツールを使用します。
- 修復：赤目補正 ツールまたは画像の修整ツールが利用可能です。

現像モードを使用する

「現像」で画像を調整しても、オリジナル ファイルが変更 されることは決してありません。変更は別のファイル内に保存され、画像を開くたびにそれらの変更が適用 されるという仕組みになっています。そのため、画像の非破壊編集処理を行うことができるので、画像調整を出来る限り「現像」で行うようお勧めします。

現像済みの画像を「現像」モードで開くと、最後にその画像を処理した時の設定で開かれます。そのため、いつでも画像を開いて、最後に使用した設定をリセットしたり、調整したりすることができるため大変便利です。

現像設定の保存状況についての詳細は、[\[画像に加えた変更内容のACDSeeによる保存方法\]](#)をご覧ください。

画像を現像する

画像を現像するには：

1. [現像] モードを選択します。
2. [現像] の[調整] タブで、[全般]、[ホワイトバランス]、[Light EQ™]、[カラーEQ]、[トーンカーブ]、[ソフトフォーカス]、[効果]、[カラーLUT]、[スプリットトーン]、[クロップ後 ビネット] を選択します。RAW ファイルの場合は[出力カラースペース]を選択します。
3. [詳細] タブで、[シャープネス]、[ノイズ除去]、[スキン調整]、[色収差] を選択します。
4. [ジオメトリ] タブで、[レンズ補正]、[回転と傾き]、[遠近法]、[切り取り]、[ビネット補正] を選択します。
5. [修復] タブでは、[修正] または[赤目補正] をクリックします。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには：

1. [完了] をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**：変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**：現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。

- **破棄**: 変更を破棄します。
- **キャンセル**: 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**[ツール] | [ACDSee オプション]** の現像モードページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **[保存]** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **エクスポート**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。(**[編集] | [コピー]** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、**[保存]** は利用できません。

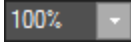
オリジナルの設定に戻る

現像で行ったすべての変更を破棄して、オリジナルの画像に戻すことができます。詳細については、[\[元の画像を復元する\]](#) を参照してください。

画像表示コントロール

画像の現像中に、モードの右下に位置しているズーム コントロールを調整して、画像の表示を拡大/縮小することができます。

	シャドウとハイライト	クリッピングを引き起こしているシャドウとハイライトが表示されます。このアイコンをクリック、またはキーボードの E キーを押すと、画像の露出オーバーまたは露出アンダー領域がハイライトで表示されます。シャドウ & ハイライト ツールが有効の場合にはアイコンがイエローに、無効の場合にはアイコンがグレーに変わります。
	元に戻す/やり直し	[元に戻す] ボタンを使用して、スライダーごとあるいは調整内容ごとに変更を破棄します。[やり直し] を使用すると、[元に戻す] をクリックする前に選択したオプションに戻ります。
	リセット	選択した設定を破棄し、各グループに設定された規定値に戻します。グループの 1 つを使用して変更を適用している場合は、リセット ボタンがブルーに変わります。リセット ボタンをクリックして、画像を既定設定に戻します。
	プレビュー	グループ内で行った変更をオン/オフで切り替え表示することができます。このボタンは各グループに搭載されているため、各グループの現像設定を目で確認することが可能です。アイコンが緑色ならグループの変更が表示されます。グレーのアイコンは変更が非表示であることを示しています。
	現像の設定	最後に保存された状態、既定値、あるいは最後に使用された設定にリセットされま

		す。<u>自分で設定した内容をプリセットとして保存</u>、コピー、貼り付けすることもできます。
	画面に合わせて表示	画像をフルスクリーンで表示します。F キーを押してフルスクリーン表示に切り替えます。[現像] モードに戻るには、いずれかのキーを押します。
1:1	原寸サイズ	現行の画像を原寸に戻します。
	ウィンドウに合わせて表示する	現像モードの領域に合わせて画像を縮小します。
	オリジナルの表示	変更をオン/オフで切り替えて、オリジナルと比較することができます。
 オン  オフ	分割表示	分割表示のオンとオフを切り替えます。B キーを押すと、分割表示のオン/オフを切り替えることができます。
ズーム スライダー 		右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。
ズーム ドロップダウンリスト 		ドロップダウンリストから、希望のズームを選択します。

画像を表示する

スクリーンの下にあるフィルムストリップから画像をクリックして、他の画像を表示することができます。あるいは、[完了] ボタンにある矢印をクリックして現像する画像を選択します。

分割表示による現像モード変更のプレビュー

分割表示切り替え(または現像モード中に **B** を押す)を使用して、現像モードでの変更をプレビューします。画像の上に垂直バーが表示され、左側の「前」の表示と右側の「後」の表示に分割されます。バーを左右にドラッグして、元の画像または編集後の画像をより多く表示します。

表示をカスタマイズする

自分の作業状況に合わせて、[\[現像\]](#)と[\[編集\]](#)ペインを切り離すことができます。

また、ペイン内でグループを展開、折りたたむかを指定することも可能です。[\[表示\]](#)メニューから以下に挙げる項目を選択します。

- **すべてのグループを展開表示:** ペイン内のグループすべてを展開して表示します。
- **すべてのグループを折りたたむ:** 開かれているグループすべてを折りたたみます。
- **グループの自動折りたたみ:** このオプションはデフォルト設定です。作業中のグループを開いたままで、その他のグループは自動的に折りたたんで表示されます。ペイン内でグループ間をスクロールする必要がないため、作業しやすい設定と言えます。
- **フィルム ストリップ:** フィルム ストリップのオンとオフを切り替えます。

元に戻す、やり直し

履歴ペインを使用する:

履歴ペインを使用して、画像に施した一連の変更を表示することができます。履歴ペインを使用すれば、編集履歴の任意の変更を選択して、画像をその変更が適用される前の状態に戻すことができます。例えば、カラーの調整をした後シャープネスを編集し、次に露出を調整するなど複数の調整を連続して適用した場合に、いくつかの編集を遡ってカラー調整だけした状態の画像に戻りたいときなどは、編集モードの履歴ペインを使うことができます。

履歴ペインを開くには、[\[ペイン\]](#) をクリックして [\[履歴\]](#) をクリックします。

特定の調整に戻すには、ペイン内で希望する調整を選択してダブルクリックします。または、[\[すべて元に戻す\]](#) を選択して、行った調整すべてを一度に元に戻すこともできます。



現像モードでのカラーピッカーの使用

現像モードでカラーピッカーを使用する場合、カラーピッカーの横のRGB値は、編集の前の元の画像に関連しています。ページ下部のステータスバーには編集中の画像の最新のRGB値を確認できます。

元に戻す/やり直しボタンを使用する

画像の編集では、画像の変更を元に戻したり、やり直すことができます。

変更を元に戻すには:

[現像]モードで、次のいずれかを実行します:

- 左のペインの下部にある[元に戻す]ボタンをクリックします。
- キーボードショートカット**CTRL + Z**を押します。

変更をやり直すには:

[現像]モードで、次のいずれかを実行します:

- 左のペインの下部にある[やり直し]ボタンをクリックします。
- キーボードショートカット**CTRL + Y**を押します。

現像モードでプリセットを使用する

同じ現像設定を他の画像にも使用する場合、その設定をプリセットとして保存することが可能です。プリセットを作成しておくことで、変更の作業や操作を何度も繰り返すことなく、変更を簡単に適用することができるため大変便利です。例えば、コントラストツールの値を25に、中間調ツールの値を-8にして画像を補正することが多い場合、この設定をプリセットとして保存しておけば画像のコントラストを素早く変更することができます。

また、プリセットを使用することで、設定が一環して適用されることになります。1つの現像設定、または複数の現像設定をプリセットとして保存することが可能です。[調整]、[詳細]、[ジオメトリ]、および[修正]タブのすべての[現像]設定でのプリセットを保存することができます。または、[調整]タブのすべての設定など、1つのタブ内の全グループの設定のプリセットを保存できます。または、カラーEQグループなど、個別グループのみのプリセットを保存できます。

現像モードのプリセットを簡単に使用できるように、[開発プリセット]ペインを使用して、グローバルプリセットを作成、削除、管理、および分類できるようになりました。

 プリセットは幾つでも適用することができます。プリセットを使用するたび、以前行われた設定の上にその設定が新しく適用されます。

現像プリセットペインの使用

現像プリセットペインを使用してプリセットを作成するには:

1. 現像モードで、[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、または[修正]タブを選択します。
2. グループを選択して必要な調整を行います。
3. [現像プリセットペイン]で、次のいずれかを実行します。
 1. [現像プリセット]ペインを右クリックして、[プリセットの作成]を選択します。
 2. [現像プリセット]ペインで[新しいプリセットの作成]ボタンを選択します。
4. [現像設定プリセットの保存]ダイアログで、プリセットに保存する設定を選択し、プリセットの名前を入力します。
5. [OK]をクリックします。

現像プリセットペインを使用してプリセットの名前を変更するには:

1. [プリセットの開発]ペインで、名前を変更するプリセットを右クリックし、[プリセットの名前を変更]を選択します。
2. プリセットの名前を入力し[OK]をクリックします。

現像プリセットペインを使用してプリセットを削除するには:

1. プリセットを削除するには、次のいずれかを実行します。
 1. [プリセットの開発]ペインで、削除するプリセットを右クリックし、[プリセットを削除]を選択します。
 2. 削除するプリセットに合わせてゴミ箱アイコンを押します。
2. [プリセットの削除]ダイアログで、[はい]を押して確認します。

プリセット現像ペインを使用して画像にプリセットを適用するには:

現像モードで画像を開いた状態で、[現像プリセット]リストで任意のプリセットをクリックします。

選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。

現像プリセットペインを使用してプリセットをインポートするには:

1. [現像プリセット]ペインで、[プリセットの インポート]ボタンを選択します。
2. インポートするファイルを選択し、[開 く]を選択します。

現像プリセットペインを使用してプリセットをエクスポートするには:

1. [現像プリセット]ペインで、[プリセットのエクスポート] ボンを選択します。
2. [プリセットのエクスポート]ダイアログで、エクスポートする現像プリセットを選択します。
3. [エクスポート]を選択します。
4. [名前を付けて保存]ダイアログで、プリセットの名前を選択し、[保存]を選択します。

現像プリセットペインでのカテゴリの使用

[現像プリセット]ペインのカテゴリを使用すると、プリセットを整理および管理できます。ACDSee 究極を最初に開くと、デフォルトのプリセットを含む一連の整理されたデフォルトのカテゴリが表示されます。

現像プリセットのカテゴリを作成するには:

1. [現像プリセット]ペインを右クリックして、[新しいカテゴリ]を選択します。
2. [新しいカテゴリの追加]ダイアログで、カテゴリ名を入力して[OK]を押します。

カテゴリを削除するには:

[現像プリセット]ペインを右クリックして、[カテゴリの削除]を選択します。

カテゴリにプリセットを追加するには:

[現像プリセット]ペインで、選択したプリセットを右クリックし、[カテゴリの設定]を選択して、カテゴリから選択します。プリセットが選択したカテゴリに追加されます。

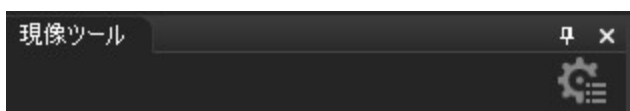
カテゴリからプリセットを削除するには:

選択したカテゴリで、選択したプリセットを右クリックし、[カテゴリの設定]を選択してから、関連するカテゴリをクリックします。プリセットは、選択したカテゴリから削除されます。

プリセットを作成して適用する他の方法

以下の場所で現像設定ボタンをクリックして、プリセットを作成し、アクセス  するようにすることができます:

ペインの上部



最上位の現像設定ボタンにより、調整、ディテール、ジオメトリ、修正のタブで行われたすべての現像設定を保存します。このレベルで作成されたプリセットは、管理モードと表示モードからアクセスすることができます。このレベルで作成されたプリセットは、表示モードからもアクセスすることができ、1つの画像を現像するために使用することが可能です。

タブ:調整、ディテール、ジオメトリまたは修復



任意のタブで作成されたプリセットは、そのタブ内の異なるグループで使用された様々な現像設定を含みます。左の例では、調整タブから現像設定を保存する設定ボタンが表示されています。グループで作成されたプリセットは、そのグループからのみアクセスすることが可能です。

グループ



いずれかのグループで作成されたプリセットは、そのグループ内で使用された様々な現像設定を含みます。左の例では、全般グループから現像設定を保存する設定ボタンが表示されています。グループで作成されたプリセットは、そのグループからのみアクセスすることが可能です。

グループで作成されたプリセットは、そのグループからのみアクセスすることが可能です:

1. 現像モードで画像に必要な調整を行います。
2. ペインの上部にある[現像の設定] ボタンをクリックします。
3. メニューから[プリセットの保存] を選択します。
4. [現像設定のプリセットを保存] ダイアログで、**すべてを選択**し、使用したすべての設定を保存するか、プリセットとして保存したい設定を選択します。
5. プリセットの名前を入力します。
6. [OK]をクリックします。

タブからプリセットを作成するには:

1. 現像モードで、[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、または[修正]タブを選択します。
2. タブで画像に必要な調整を行います。
3. タブの右上部にある[現像の設定] ボタンをクリックします。
4. メニューから[プリセットの保存] を選択します。
5. [現像設定のプリセットを保存] ダイアログで、プリセットに使用する名前を入力します。
6. [OK]をクリックします。

グループからプリセットを作成するには:

1. 現像モードで、[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、または[修正]タブを選択します。
2. グループを選択して必要な調整を行います。
3. グループの右上部にある[現像の設定] ボタンをクリックします。
4. メニューから[プリセットの保存] を選択します。
5. [現像設定のプリセットを保存] ダイアログで、プリセットに使用する名前を入力します。
6. [OK]をクリックします。

1つの画像にプリセットを適用する

現像モードで、1つの画像にプリセットを適用するには:

1. ペイン、タブまたはグループの上部にある[現像の設定] ボタンをクリックします。
2. メニューから、使用したいプリセットの名前を見つけて選択します。

選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。



プリセットをフィルムストリップの画像に適用することも可能です。フィルムストリップの画像を選択し、右クリックして[プリセットの適用]を選択します。画像に適用したいプリセットの名前を見つけて選択します。選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。

表示モードで、1つの画像にプリセットを適用するには:

1. 管理モードで画像を選択してから、[表示] モードのタブをクリックします。
画像が表示モードで開かれます。
2. 画像を右クリックし、[処理] > [プリセットの適用]を選択します。
3. 画像に適用したいプリセットの名前を見つけて選択します。
選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。

複数の画像にプリセットを一括適用する

複数の画像にプリセットを一括適用すると、時間の短縮だけでなく、ワークフローの効率が大幅にアップします。

複数の画像にプリセットを一括適用するには：

1. 管理モードで、プリセットを適用する画像を選択します。
2. [処理]>[プリセットの適用] をクリックし、保存したいプリセットを選択します。

選択されたプリセットを適用した形で、画像のサムネイルが更新されます。



複数の画像にプリセットを一括適用して他のフォーマットにエクスポートする方法については、「[現像の一括処理を使用する](#)」を参照してください。

現像設定の適用状況：

ACDSee 写真館 2026 究極 で複数のファイルにプリセットを適用する場合、アクティビティマネージャーからそれらのステータスを追跡、一時停止、またはキャンセルできます。詳細については、「[ACDSee アクティビティマネージャー](#)」を参照してください。

プリセットの名前を変更する

プリセットの名前をいつでも変更することができます。

プリセットの名前を変更するには：

1. [現像の設定] ボタンをクリックします。
2. [プリセットの管理] を選択します。
3. [プリセットの管理] ダイアログで、名前を変更したいプリセットを選択してから、[名前の変更] をクリックします。
4. プリセットの新規名を入力します。
5. **OK** をクリックして保存し、ダイアログを閉じます。

プリセットを削除する

必要のなくなったプリセットを削除することができます。プリセットを削除しても、そのプリセットが既に適用されている画像は変更されません。

プリセットを削除するには：

1. [現像の設定] ボタンをクリックします。
2. [プリセットの管理] を選択します。
3. [プリセットの管理] ダイアログで、削除したいプリセットを選択してから、[削除 クリック] をします。
4. **OK** をクリックして保存し、ダイアログを閉じます。または、**キャンセル** をクリックして、プリセットの削除をキャンセルします。

プリセットをインポートおよびエクスポートする

プリセットをエクスポートして、他のユーザーと共有することができます。他のユーザーまたは古いコンピュータによって作成されたプリセットをインポートすることもできます。

プリセットをエクスポートするには：

1. 上記のようにプリセットを作成します。(編集モードでプリセットを作成するには、「[編集モードでプリセットを使用する](#)」を参照してください)

2. [ツール]>[プリセットをエクスポートする]を選択します。
3. [プリセットのエクスポート]ダイアログで、プラス(+)記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオンとオフを切り替えて、エクスポートするプリセットを選択します。グローバル、タブ、またはグループのプリセットをエクスポートできます。



チェックボックスを切り替えることで、ブランチの特定のプリセットのみエクスポートすることができます。灰色のチェックボックスは、ブランチの下の一部のプリセットが選択されているが、すべてではないことを示します。

4. 編集モードのフィルターを同時にエクスポートするには、[編集モードのフィルタープリセットを含める]チェックボックスをオンにします。
5. [エクスポート]をクリックします。
6. [名前を付けて保存]ダイアログで、エクスポートするプリセットの保存先を参照して指定します。
7. フィールドに名前を入力し、**保存**を押します。

プリセットをインポートするには:

1. [ツール]>[プリセットをインポートする]を選択します。
2. [開]ダイアログで、プリセットの場所に移動します。
3. インポートするプリセットを選択し、[開]を押します。
4. [プリセットのエクスポート]ダイアログで、プラス(+)記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオンとオフを切り替えて、インポートするプリセットを選択します。グローバル、タブ、またはグループのプリセットをインポートできます。



チェックボックスを切り替えることで、ブランチの特定のプリセットのみインポートすることができます。灰色のチェックボックスは、ブランチの下の一部のプリセットが選択されているが、すべてではないことを示します。

5. インポートを押します。それぞれのグループのプリセットメニューでインポートしたプリセットを確認します。

画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする

ACDSeeを使用して、画像を複数の画像フォーマットと解像度にエクスポートすることができます。

画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートするには:

1. [現像]モードで、希望する現像設定を選択します。
2. [保存]をクリックし、[エクスポート]を選択します。
3. [エクスポート]ダイアログボックスでの選択の仕方は、以下の表をご確認ください。

エクスポート オプション

保存先

- このオプションを選択すると、ソース画像が現在保存されているのと同じフォルダに保存する場合にこのオプションを選択します。
- [新規のサブフォルダを作成する]** チェックボックスをオンにすると、ソースフォルダ内にサブフォルダを作成してそこにファイルを保存します。

このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。

- このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。

ファイル名

- テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。

テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。

- [テンプレートを使って名前を変更する]** チェックボックスをオンにすると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。

- テンプレート** ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。
 - フィールド** 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク(*)を1つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ(#)を使用します(複数可)。
- ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。

- 挿入 | メタデータフィールド** 名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。
- [テンプレート]フィールド**にカーソルを合わせ、**[メタデータを挿入]**をクリックすると、**[プロパティの選択]**ダイアログボックスが開きます。挿入したいメタデータを選択して**[OK]**をクリックします。

- 挿入 | 連番** テンプレートに挿入されたシャープ(#)は、連続する数字またはアルファベットに置き換えられます。数字またはアルファベットのいずれかは後述のオプションで選択します。

- 挿入 | オリジナルのファイル名** テンプレートに挿入されたアスタリスク(*)は、オリジナルのファイル名に置き換えられます。

挿入 | 連番 最初の文字または番号を指定します。
オプション
開始番号

フォーマット

このオプションを選択して、エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。

このオプションを選択して、エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。

このオプションを選択して、[設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。

このオプションを選択して、[設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。

このオプションを選択して、選択したフォーマットの色深度を指定します。

このオプションを選択して、選択したフォーマットの色深度を指定します。

このオプションを選択して、[色空間情報] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストから色空間オプションを選択します。

このオプションを選択して、[色空間情報] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストから色空間オプションを選択します。

出力サイズ

このオプションを選択して画像サイズの変更方法を指定します。次のオプションから選択してください。

このオプションを選択して画像サイズの変更方法を指定します。次のオプションから選択してください。

このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式（再サンプリング方式）を指定します。

- **Box:** 画像サイズ変更の際、タイリングやジャギーが出ます。
- **Triangle:** 画像の拡大と縮小に適していますが、鋭い転移線が出ます。
- **Bicubic:** 写真のようにリアルな画像や、不規則だったり複雑だったりする画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるゴボコを最小限に抑えます。
- **Bell:** 画像を滑らかにします。
- **B-spline:** 画像を滑らかにしますが、ぼかしが強くなりすぎる場合もあります。
- **Lanczos:** 最もシャープな画像に仕上がりますが、波打つ乱れが生じることがあります。
- **Mitchell:** 写真のようなリアルな画像を拡大する際、色の変化が滑らかになります。このフィルタは、ラングザスフィルタの波打つ効果と他のフィルタのぼかし効果の間を取っています。
- **ClearIQZ:** Bicubic や Lanczos よりも処理時間がかかりますが、特に人物の写真の拡大においてベストな仕上がりになります。

このオプションを選択すると、縦横の方向に関係なく指定したサイズに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。

二つのボックスに入力した値の範囲に収まるよう、エクスポートする画像のサイズを調整するには、このオプションを選択します。

このオプションを選択すると画像の長辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。

このオプションを選択すると画像の短辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。

インチまたは cm 当たりのピクセル数を指定します。

指定した高さより小さい画像のみをサイズ変更します。

指定した高さより大きい画像のみをサイズ変更します。

すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。

オリジナルの縦横比を保持

オリジナル画像の縦横比を保持したい場合に選択します。**注意:** 画像のサイズを長辺または短辺のオプションで変更した場合、元の画像の縦横比が保持されます。

メタデータ

画像にメタデータが含まれており、エクスポートする画像にも同じメタデータとカラープロファイルを含めたい場合にこれらのオプションを選択します。



エクスポートプリセットの新規作成ボタンをクリックし、プリセットの名前を入力すると、設定をプリセットとして保存することができます。1つ以上のプリセットをリストから選択して適用することができます。

4. クリック輸出.



プリセットを編集するには、リストでプリセットを選択してから内容を変更し、[現在のエクスポートプリセットを保存] ボタンをクリックします。

現像設定を共有する

開発設定を他のACDSee 究極ユーザーと共有できます。これを行うには、処理設定をデータベースから.rppファイル拡張子を持つファイルにエクスポートします。次に、イメージと設定ファイルを別のユーザーに送信できます。別のACDSee 究極ユーザーは、.rpp設定をACDSee 究極データベースにインポートできます。ACDSeeで画像を開くと、現像された写真は意図した画像になります。

RAW ファイルの場合、変更は XMP ファイルに格納されます。そのため RAW ファイル用の設定を共有するには、XMP サイドカー ファイルを使用するのが適しています。

現像設定をエクスポートするには:

1. [管理] モードで、共有したい画像を選択します。
2. [ツール]>[データベース]>[エクスポート]>[RPPファイル]をクリックすることもできます。[概要] ダイアログに、エクスポート作業の概要が表示されます。
3. [OK]をクリックします。
4. .rpp ファイルは、ソースとなる画像と同じフォルダ内に保存されます。

画像ファイルと.rpp ファイルを別のACDSee 究極ユーザーに送信する際、それらの画像ファイルと.rpp ファイルを同一ファイル内に格納するように指示してください。

現像設定をインポートするには:

1. 管理モードで、共有画像を選択します。
2. [ツール]>[データベース]>[インポート]>[RPPファイル]をクリックすることもできます。
[概要] ダイアログに、インポート作業の概要が表示されます。
3. [OK]をクリックします。

共有された画像のサムネイルは、処理設定を反映して更新表示されます。

オリジナルファイルを復元する

画像ファイルを一度処理すると、その際使用された設定がデータベース間に保存され、ファイルを開くたびにその設定が適用されます。1つまたは複数の画像から、現像設定を削除することができます。

1 つの画像から現像設定を削除するには:

1. 管理または表示モードで画像を選択します。現像済み画像は  オーバーレイアイコン付きで表示されます。

2. [処理]>[オリジナルに戻す]をクリックします。



現像済み画像を右クリックして、コンテキストメニューの[処理]>[オリジナルに戻す]を選択することも可能です。



画像をオリジナルに戻すと、ACDSee 究極データベースから全ての現像設定が削除されることになりますのでご注意ください。

現像設定をコピーアンドペーストする

現像モードでは、設定をそっくりそのままコピーして、他の画像に正確に適用することができます。これにより、同じ行為を何度も繰り返す必要がなくなり、複雑な調整が1回で済み、その設定を無数の画像に適用できます。



現像設定を プリセット として使用されるように保存して、後で他の画像に適用することもできます。

現像した画像から現像設定をコピーして、他の画像に適用するには：

1. コピーしたい設定を含んでいる画像を[現像]モードで開きます。
2. [編集]メニューから[設定のコピー]を選択します。
3. [設定のコピー]ダイアログボックスで、コピーしたい設定を選択します。
4. [OK]をクリックします。
5. 次のいずれかを実行して、設定を貼り付けたい画像を選択します：
 - ・ フィルムストリップの画像をクリックします。
 - ・ [ファイル]メニューから[次の画像を開く]を選択します。(あるいは**PgDn**キーを押します)。
 - ・ [ファイル]メニューから[前の画像を開く]を選択します。(あるいは**Shift + Alt + L**キーを押します)。
6. [編集]メニューから[設定の貼り付け]を選択します。



[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、[修復]タブの上に、変更が適用されたことを示す四角いブルーのアイコンが表示されます。

(現像中などの) 画像から現像設定をコピーして、他の画像に適用するには：

1. 現像モードで画像を調整したあと、[現像の設定]ボタンをクリックしてください。
2. [設定のコピー]を押します
3. [設定のコピー]ダイアログボックスで、コピーしたい設定を選択します。
4. [OK]をクリックします。
5. 設定を貼り付けたい画像を右クリックして、次の操作を行ってください：
 - ・ フィルムストリップで、[設定の貼り付け]を選択します。
 - ・ 管理モードで、[処理]、[設定の貼り付け]をクリックします。



[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、[修復]タブの上に、変更が適用されたことを示す四角いブルーのアイコンが表示されます。



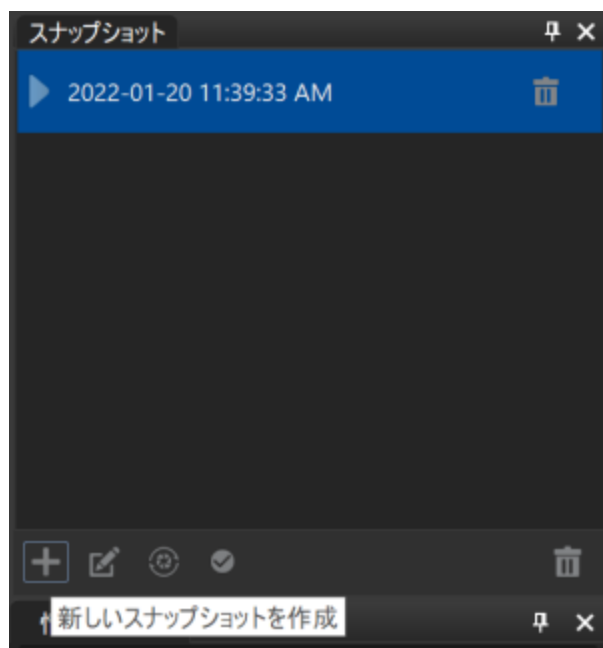
ある画像からコピーした設定を異なるサイズの画像に貼り付けた場合は、その設定は貼り付ける画像のサイズに合わせて自動で変更されます。

現像スナップショットを取る

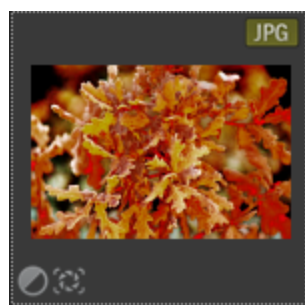
現像スナップショットを使用すると、現像ワークフロー中のあらゆるポイントで調整を保存できます。調整を行う過程でスナップショットを利用すれば、そのポイントまでの作業をいつでも保存することができます。これにより、好きなだけ編集を続けた後で、いつでも元のバージョンのスナップショットに戻ることができます。プリセットとは異なり、スナップショットは画像に直接保存されるため、[現像] モードを再開してスナップショットを切り替えたり、編集を続けたり、適用したりできます。

スナップショットを撮影するには:

1. [現像] モードで必要な調整を行います。
2. [スナップショット] ペインで、**[+]** ボタンをクリックします。
3. [新規スナップショット] ダイアログでスナップショットの名前を入力し、**[OK]** を押します。保存したスナップショットがスナップショットペインに一覧表示されます。



スナップショットのある画像には、[管理] モードでスナップショットアイコンが表示されます。



スナップショットの閲覧

【表示】モードでは、画像と、その画像に保存されたすべてのスナップショットを閲覧できます。[自動レンズ](#)と同じように、適用を確定することなく閲覧できます。



画像とそのスナップショットを閲覧するには：

1. 【表示】モードで画像を開きます。

2. ツールバーで【スナップショット】ボタンを押します。



【スナップショット】ボタンは、【現像】モードで作成した現像スナップショットで画像を閲覧する場合のみ表示されます。

3. 画像をプレビューするスナップショットを選択します。



スナップショット閲覧時に、【現像】モードを終了せずに画像の保存済みバージョンへ戻りたい場合は、【現像設定を調整】



ボタンをクリックしてメニューから【最後に使用したものを適用】を選択します。

現像で画像を保存する

現像モードで行われた処理設定はデータベースに保存されますので、次回以降画像を開くたび、現像で最後に使用された調整が適用されます。そのため、画像を元に戻したり、さらに細かい調整を加えたりすることが可能です。現像モードには、画像に変更を保存するためのオプションがあります。

画像を保存する

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには：

1. 【完了】をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。

保存	変更を保存します。
名前を付けて保存	現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。 ファイルの種類に応じて、[画像に名前を付けて保存]ダイアログ ボックスの左下隅に次のオプションが表示されます： • メタデータを保持する：新規画像でメタデータを保持します。 • データベース情報を保持する：重要度のようなカタログ情報を保持します。 • オリジナル画像用に現像設定を保持する：オリジナル画像、および保存済みコピーに変更を適用します。 • 画像の埋め込みカラープロファイル：カラーマネージメントで選択したカラープロファイルを新しい画像に保持します。
破棄	変更を破棄します。
キャンセル	画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。
自動保存	画像を終了するたびに保存オプションを選択しなくともすむように、自動保存を有効にすることができます。自動保存が有効になっている場合、[完了]を押すか、フィルムストリップから別の画像を選択すると、ACDSee は現像モードで変更を自動的に保存します。[変更の保存]ダイアログは表示されなくなります。自動保存を無効にするには、[ツール]> [オプション...]を選択します。[オプション]ダイアログで、[現像モード]をクリックします。次に、[すべての現像モードの調整を自動保存する]のチェックボックスをオフにします。  自動保存はRAW画像には使用できません。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには：

1. **[保存]**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **名前を付けて保存**：現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**：現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **エクスポート**：1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには：

キャンセルをクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、**[保存]** は利用できません。

ACDSee での画像の変更の保存方法

RAW ファイルのようにエンコード不可能な画像、あるいは JPEG のようにエンコード可能な画像を扱っているかによって、保存方法が異なります。下の一覧は、ACDSee の保存方法の違いを画像のフォーマット別に表したものです。オリジナル、現像済み、編集済みという異なるステータスで保存すると、後で変更を破棄したくなった場合に、特定の設定状態に戻ることができるため大変便利です。



画像をアーカイブ保存する場合、オリジナルの画像ファイルと共に、サブフォルダも含んでバックアップすることを忘れないようにしてください。

ステータス	エンコード不可能なファイル(例:RAW ファイル)	エンコード可能なファイル(例:JPEG ファイル)
オリジナル	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。
現像済み	変更を行ってから[完了]をクリックすると、その画像の現像設定が RAW ファイルの XMP ファイル内とACDSee 究極 データベースにも保存されます。	現像処理を行ってから[完了]をクリックすると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、オリジナルの画像と XMP ファイルは[オリジナル]フォルダに移動されます。管理モードおよび表示モードには、変更された画像が表示されます。現像設定は、ACDSee 究極 データベースにも保存されます。
編集済み	RAW ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行い[保存]をクリックすると、ACDSee 究極 別のファイル フォーマットで保存することを促すメッセージが によって発信されます。RAW ファイル フォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイル フォーマットに保存する必要があります。	画像 ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行った後に保存すると、オリジナルの画像は ACDSee の[オリジ

ステータス	エンコード不可能なファイル(例:RAW ファイル)	エンコード可能なファイル(例:JPEG ファイル)
		ナル] フォルダ内に保存されます。 画像を編集した後「現像」で開くと、ACDSee 究極 編集処理が失われることを確認するメッセージが、現像によって発信されます。「編集」で編集処理を行う前に現像されなかった画像是、「現像」の設定に戻すことができませんので注意してください。
現像済みと編集済み	画像を現像すると、画像の現像設定は RAW ファイルの XMP ファイル内に格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、新しいファイル フォーマットで保存することを確認するメッセージが ACDSee 究極 によって発信されます。 RAW ファイル フォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイル フォーマットに保存する必要があります。	現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、[オリジナル]フォルダに格納されます。現像済みの画像を「編集」で

ステータス	エンコード不可能なファイル(例:RAW ファイル)	エンコード可能なファイル(例:JPEG ファイル)
		開き、編集処理を行ってから[保存]をクリックすると、ACDSee 究極はその画像を保存します。 編集済みの画像を「現像」に戻って処理を行う場合、ACDSee 究極編集処理が失われることを確認するメッセージがよって発信されます。編集処理の破棄が選択されると、現像設定が付随したオリジナル画像が開きます。

現像モードで現像設定を表示する

[現像設定]ペインを使用して、現像モードで自分の画像に加えられたすべての調整を一度に表示できます。

 画像を現像しないと、[現像設定]ペインには値が一切表示されません。

現像設定ペインを開くには:

表示モードで、[ペイン]、[現像設定]をクリックします。

[現像設定]を表示するには:

1. 以前に現像した画像を現像モードで開きます。

 画像を現像中の場合は、現像設定ペインに値を表示させる前に[保存]を押す必要があります。

2. [現像設定]ペインでグループを展開し、各調整値を表示します。

現像モードのマスキング

シングルクリック AI オプションの 1 つを使用して、被写体、背景、空をマスクするローカル調整を行うことができます。ブラシ、線形、放射状のグラデーション マスクを使用して、手動でより細かい調整することもできます。

 今後使用するために設定をプリセットとして保存できます。

現像モードで画像をマスクするには:

1. 開発モードで、[調整] タブまたは [詳細] タブを選択します。
2. [マスキング] グループで、以下にリストされているオプションのいずれかを使用します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

マスキングオプション

AI主題	AIを使用して画像内の被写体を検出して自動的に選択し、その上にマスクを適用します。
AI背景	AIを使用して画像内の背景を検出して自動的に選択し、その上にマスクを適用します。
AI空	AIを使用して画像内の空を検出して自動的に選択し、その上にマスクを適用します。
AIオブジェクト	AIオブジェクト を使用して、選択したオブジェクトを検出し、自動的にマスクを適用します。
ブラシ	現像ブラシ を使用して、画像上にマスクをペイントします。
線形グラデーション	線形グラデーション ツールを使用してマスクを作成します。
放射状グラデーション	放射状グラデーション ツールを使用してマスクを作成します。
輝度範囲	輝度範囲 ツールを使ってマスクを作る。
カラー レンジ	カラー レンジ ツールを使ってマスクを作る。

 設定ボタン  を使用して、スライダーを最後に保存した場所または最後に使用した場所にリセットします。設定。 [設定をプリセットとして保存](#) したり、コピーまたはペーストしたりすることもできます。

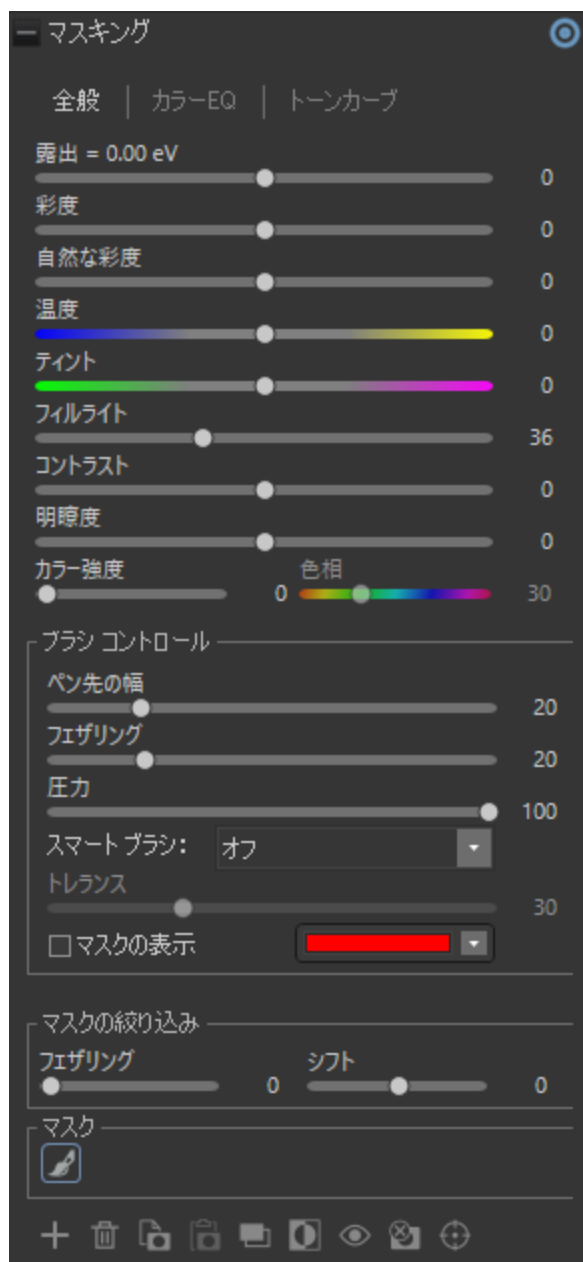
 線形グラデーション マスクまたは放射状グラデーション マスクを右クリックすると、それらをブラシ マスクに変換できます。



ブラシ コントロールの調整

マスクの適用を開始すると、[現像ブラシ](#) コントロールを調整できます。オプションは [マスキング] グループの下部に表示され、次のものが含まれます。

ペン先の幅	ブラシのサイズを調整します。マウス ホイール を使用してペン先の幅を調整したり、ペン先の幅 スライダーを調整したりできます。
圧力	スライダーを調整してブラシの強さを制御します。
スマートブラッシング	スマートブラシを使用して、ブラッシングの対象を特定の色、明るさの値、または色と明るさの組み合わせに設定します。詳細については、「 現像ブラシの使用 」を参照してください。
許容差	スマートブラシの影響を受けるピクセルの範囲を増減します。詳細については、「 現像ブラシの使用 」を参照してください。
マスクを表示	マスクの表示を切り替えます。ドロップダウンを使用して、マスクが表示される色を設定します。
フェザリング	スライダーを調整して、ブラシ ストロークと画像の間のトランジションの柔らかさを制御します。Ctrl + マウス ホイール を使用して、ぼかしの量を調整するか、ぼかし スライダーを調整します。
シフト	スライダーを調節してブラシのストロークの太さを調整し、マスクを細かく伸縮させて正しくフィットさせることができます。



現像モードでのマスクの管理

マスクングを開始した後、[マスクング] グループの一番下にある[+]を押して追加のマスクを追加できます。各マスクはボタンのすぐ上の**マスク** セクション内に表示され、セクション内のマスクをクリックすることで素早く切り替えることができます。

マスクのコピーと貼り付け

マスクは、[マスクング] グループの一番下にある[選択したマスクのコピー]を押してコピーできます。コピーしたマスクは、[選択したマスクをコピー] ボタンのすぐ右にある**選択したマスクを貼り付け** ボタンを使用して貼り付けることができます。

コピーされたマスクは、ある画像から次の画像に適用できます。マスクがコピーされている場合、現像モードで別の画像を読み込むときに[コピーしたマスクの貼り付け]という7番目のマスクングの選択肢が表示されます。このボタンを押すと、コピーしたマスクが最初のマスクとしてこの新しい画像に貼り付けられます。**開発モード**を終了するか、アプリケーションを再起動すると、コピーしたマスクがクリアされます。



コピーして貼 り付 けたマスクは、元 のマスクの種 類に関 係なく、ブラシ マスクとして貼 り付 けられます。

マスクの複製

マスクを複製 するには、[コピー] ボタンと[貼 り付 け] ボタンの右 側にある[選 択したマスクを複製] ボタンを押します。



コピーアンドペーストまたは複製 されたマスクは、設 定ではなくマスクのみをコピーします。

マスクの反転

マスクを反転 するには、[選 択したマスクを複製] ボタンの右 側にある[選 択したマスクを反転] ボタンを押します。

マスキング ツールバー

「マスキング」グループの一 番下 には「マスキング」ツールバーがあります。これには以 下のオプシ ョンが含 まれます。

新しいマスクを追加する	適用 する新しいマスクタイプを選 択するメニューが表示 されます。
現在選 択されて いるマスクを削除 します	現在選 択されているマスクを削除 します。
現在選 択されて いるマスクをコ ピー	現在選 択されているマスクをコピーします。
マスクの貼 り付 け	現在 コピーされているマスクを貼 り付 けます。
現在選 択されて いるマスクを複製 します	現在選 択されているマスクの複製 マスクを作成します。
現在選 択されて いるマスクを反転 します	現在選 択されているマスクを反転 します。
現在選 択されて いるマスクを有効 にする	現在選 択されているマスクを表示 する機能を有効または無効 にします。
現在選 択されて いるマスクをクリア します	現在選 択されているマスクの選 択を解除 します。
ピクセル ターゲ ティング マスク	ピクセル ターゲ ティング ポップアップ ダイアログを開 閉 します。

AIオブジェクト工具の使用

AIオブジェクトツールは、指定 した領域内 のオブジェクトをインテリジェントに識別 し、自動的 にマスクを作成 します。これにより、写 真内の 特定の要素をすばやく正 確に調整 することができます。マスクの設 定を調整 し、露 出、彩 度、鮮 やかさ、色 温度、色 合い、フィルライト、コ ントラスト、および写 真上 の1つまたは一連の選 択 マスクにおけるカラーEQ、ト ーンカーブ、およびシャープネス。例えば、写 真全体に フィルライトを追加 するのではなく、逆光の被 写体など特定のエリアにフィルライトを追加 します。

AIオブジェクト工具

AIオブジェクトボタンは、「マスク」グループの「調整」および「詳細」タブに表示されます。

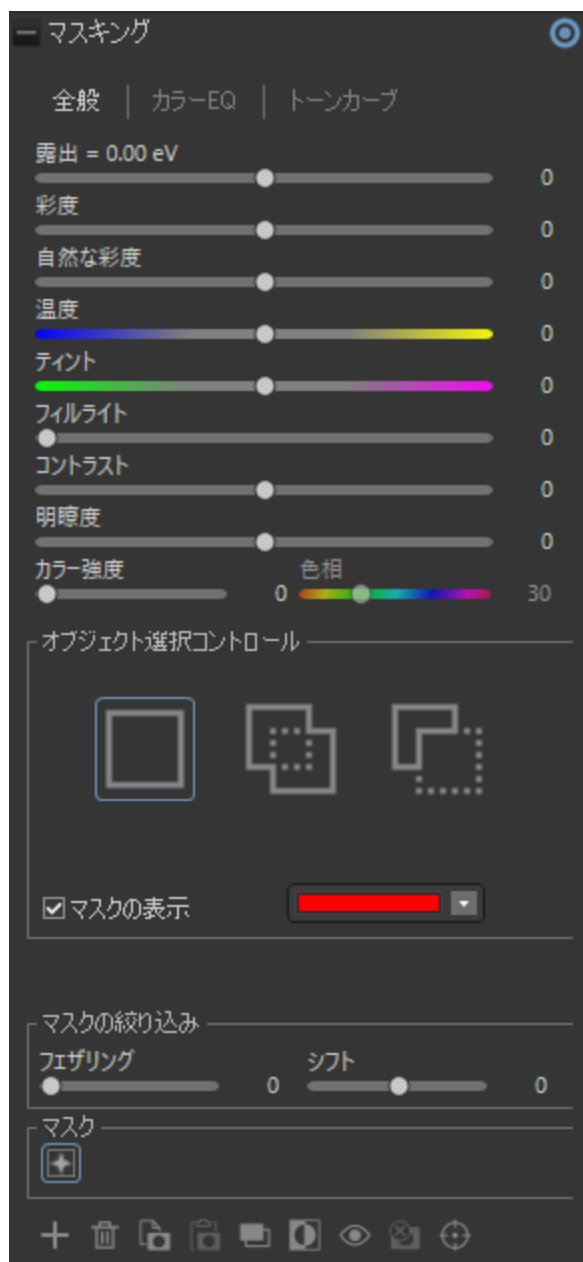
グラデーション工具を使用するには:

1. 現像モードで、調整または詳細タブのマスクングをクリックし、次にパネルの上部にあるAIオブジェクトボタンをクリックして  をクリックしてコントロールパネルを開き、AIオブジェクトモードにします。
2. パネルで、以下のテーブルに記載されているように、AIオブジェクトの設定を指定します。
3. マスクを配置したいオブジェクトの概略を説明します。これを明確にするには、[マスクの表示] チェックボックスをオンにします。
4. スライダーを調整して、好みの効果を得ることができます。



別のマスクを適用するには(最大24個まで利用可能)、パネルの左下にある「+」をクリックし、マスクングオプションを選択します。選択したマスクの種類に関連する新しいアイコンが「マスク」セクションに表示されます。現在選択されているマスクは青で囲まれます。それぞれのアイコンをクリックすることで、いつでも任意のマスクを再選択することができます。

5. 保存または「完了」をクリックします。



オブジェクト選択 コントロール

新しいマスクを作成



このオプションがアクティブな場合、オブジェクトを大まかに輪郭を描くと新しいマスクが作成され、それ以前のマスクは破棄されます。

現在のマスクを追加



このオプションが有効になっている場合、オブジェクトを選択すると現在のマスクに追加されます。

現在のマスクから減算



このオプションが有効な場合、オブジェクトを選択すると現在のマスクから減算されます。

マスクの表示



このオプションにチェックを入れると、グラデーションマスクが指定した色で表示されます。あるいは、**S** キーを押すと、画像上にマスクが表示されます。

マスクの絞り込み

フェザリング

スライダーを調整して、マスクと画像間の遷移の柔らかさを制御します。**Ctrl** キーを押しながらマウスホイールを操作して、ぼかしの量を調整するか、または**ぼかし**スライダーを調整します。

シフト

マスクのエッジを拡大または縮小して調整します。スライダーを右に動かすと、マスクの適用範囲が広がり、マスクされた領域が大きくなります。一方、スライダーを左に動かすと、適用範囲が狭くなり、選択範囲が狭くなります。

デベロッパブラシを使用する

デベロッパブラシは、写真の特定の領域にさまざまな編集を加えるように設計されています。**[調整]** タブで、効果をブラッシングして、写真の露光、色相、彩度、色温度、色かぶり補正、フィルライト、コントラスト、明瞭度、色の強さ、カラーEQ、トーンカーブ、シャープネスを調整します。**[詳細]** タブで、効果をブラッシングして、写真のシャープネス、ルミナンスノイズリダクション、カラーノイズリダクションを調整します。たとえば、写真全体にフィルライトを追加する代わりに、逆光を浴びた被写体などの特定の領域にフィルライトを追加します。画像内の別々の領域に最大8つのブラシを追加でき、それぞれに固有の効果設定を割り当てることができます。

デベロッパブラシ

[デベロッパブラシ] ボタンは、**[調整]** タブと**[詳細]** タブの上部に表示されます。

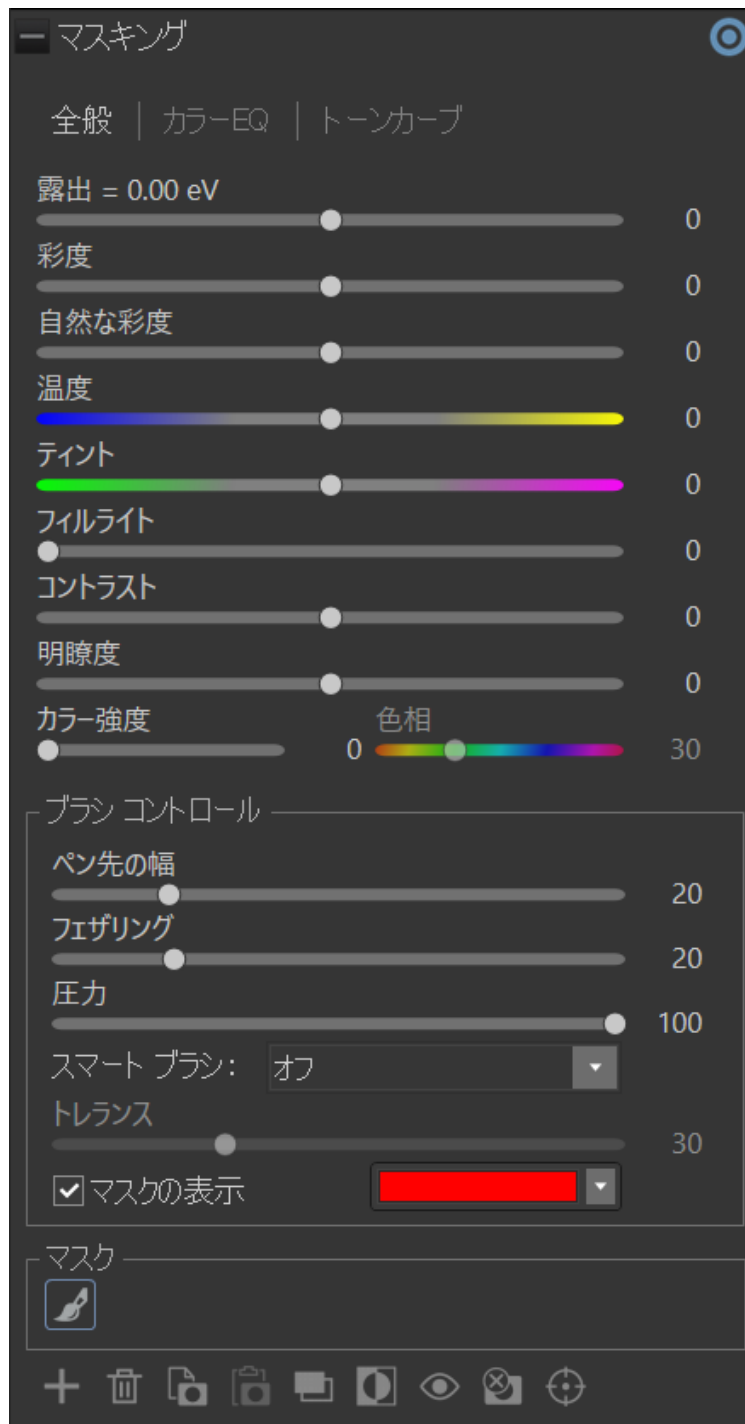
デベロッパブラシを使用するには:

1. **デベロッパモード**の**調整** タブまたは**詳細** タブで、ペインの上部にある**[ブラシ]** ボタン  をクリックしてコントロールパネルを開き、ブラシモードに入ります。または、ブラシパネルはキーボードの**B** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. パネルでブラシ設定を指定する、または作業をしながら、以下の表での説明のように設定します。
3. 写真にエフェクトを施してしてみましょう。
4. スライダーを調節して効果を施しましょう。



別のマスクを適用するには (最大 24 個まで使用可能)、パネルの左下にある + をクリックし、マスクオプションを選択します。新しいアイコン (選択したマスクの種類に関連) が [マスク] セクションに表示されます。現在選択されているマスクは青色で囲まれます。いつでも、それぞれのアイコンをクリックして、いずれかのマスクを再選択できます。

5. [適用] または [完了] を押します。





ブラシボタンの上にマウスポインタを移動すると、そのボタンのブラシストロークが画像に表示されます。ブラシストロークは「ブラシストロークを表示する」の隣のドロップダウンで選択した色で**表示**されます。(既定の色は赤です。)もしくは**S**キーを押すとブラシストロークを写真の上に表示できます。



すべてのスライダーがゼロの場合、画像に変更は適用されませんので、ブラシストロークは選択した色でそのまま表示されます**[ブラシストロークを表示]**チェックボックスの横のドロップダウンメニューで選択されている場合)。

マスクを無効にする:

マスクを無効にするには、非表示にしたいマスクレイヤーを選択し、**選択中のマスクを無効にします**ボタンをクリックしてマスクレイヤーを非表示にします。

マスクを再度有効にする:

マスクを再度有効にするには、再度表示させたいマスクレイヤーを選択し、**現在選択されているマスクを有効にします**ボタンをクリックしてマスクレイヤーを再度表示させます。

直線を引く

シフトキーを押しながら**現像ブラシ**を使用すると、水平または垂直の線を描くことができます。たとえば、**シフト**キーを押しながら水平方向にクリックしてドラッグすると、シフトキーを押している間だけカーソルが水平方向にロックされます。**シフト**を離すと、フリーハンドのブラシに戻ります。**シフト**を解除してフリーハンドブラシに戻り、同じ線を描いている間にもう一度シフトを押して、ブラシのロックを解除したり、再ロックしたりすることもできます。

対角線を引く

現像ブラシを使うと、画像上に2つの点を置くことで、まっすぐな斜めの線を引くことができます。線の始点となる場所にカーソルを置き、**Shift**を押したまま、画像上で**左クリック**して点を作成します。**シフト**を放し、線が終わる位置にブラシを移動させ、**シフト**を押したまま、もう一度**左クリック**して2点目を作ります。この2点の間に直線が入る。

ブラシストロークを削除するには:

ブラシストロークを削除するには、削除したいブラシを選択し、**X**ボタンを押します。ブラシのチェックボックスのチェックを外すと、ボックスが再度チェックされるまでブラシストロークのみが削除されることに注意してください。

デベロップブラシのオプション

ペン先の幅	ブラシの大きさを調整します。マウスホイールまたは[ブラシ幅]スライダを使ってブラシ幅を変更します。
フェザリング	スライダを調節してブラシストロークと画像の境界を柔らかさを設定できます。[シフト + マウスホイール]かフェザリングスライダを使ってフェザリングの量を調整します。
圧力	スライダを調整して、ブラシの強度を指定します。
ブラシストロークの追加	マウスの左 ボタンを押しながらブラシを動かします。
ブラシストロークの消去	マウスの右 ボタンを押しながらブラシを動かします。
スマートブラシ	以下の スマートブラシ セクションを参照してください。
ブラシストロークを表示	☒ ブラシストロークを表示

このオプションが有効の場合、現在選択したブラシのストロークが色で表示されます。この機能を使うと塗り残しが見つけやすくなるため、複雑な領域にわずかな効果を適用したい場合に便利です。画像の赤い部分で作業する際は、ストロークの色を赤から別の色へ変更することができます。

マスクの絞り込み

フェザリング	スライダーを調整して、ブラシストロークとイメージの間の移行の柔らかさをコントロールします。 Ctrl + マウスホイール でフェザリングの量を調整するか、 フェザリング スライダを調整します。
シフト	マスクのエッジを拡大または縮小して調整します。マスクを外側にずらすと範囲が広がり、マスクされた領域が大きくなり、内側にずらすと範囲が狭まり、選択範囲が狭くなります。

デベロップブラシ調整タブのオプション

一般

露出	スライダを右に移動して露光を増やすか、左に移動して露光を減らします。 1eV は露光の1補正の値です。露光のブラシをかけます。
彩度	彩度を増やすには右へ、彩度を減らすには左へ、スライダをドラッグします。彩度のブラシをかけます。
バイブランス	バイブランスを増やすには右へ、バイブランスを減らすには左へ、スライダをドラッグします。自然な彩度を増やしても、肌のトーンは影響されません。彩度と異なり、すべての色を均等に増感するわけではありません。バイブランスのブラシをかけます。
色温度	[色温度]スライダを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、色温度を指定します。ホワイトバランスのブラシをかけます。
色かぶり補正	[色かぶり補正]スライダを左にドラッグ(マゼンタの増加)、または右にドラッグ(グリーンの増加)して、画像撮影時のホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。ホワイトバランスのブラシをかけます。
フィルライト	スライダを右にドラッグし、画像の暗い領域に光量を追加します。フィルライ

	トのブラシをかけます。
コントラスト	スライダを右に移動してコントラストの量を増やすか、左に移動してコントラストの量を減らします。コントラストのブラシをかけます。
明瞭度	明瞭度ツールを使うと画像の細部を際立たせることができます。明瞭度スライダは、シャドウとハイライトをそのままに、ミッドトーンのコントラストだけを高めます。スライダを右に移動して明瞭度の量を増やすか、左に移動して明瞭度の量を減らします。明瞭度のブラシをかけます。
カラー強度	[カラーオーバーレイ]スライダーを使うと、明るさレベルに影響を与えずに画像に色合いを追加できます。[色の強さ]スライダを設定してから、[色]スライダを希望のカラーバンドまで動かします。色の強度を0に設定すると色は追加されません。 色のブラシをかけます。
カラーEQ	
[色]スライダをドラッグして、特定の色の彩度、明るさ、色相、コントラストを各タブから調整できます。スライダを右にドラッグすると強度が上がり、左にドラッグすると強度が下がります。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。次のいずれかのボタンを選択します： ・ 彩度 ・ 明るさ ・ 色相 ・ コントラスト ・ カラーセレクター また、直接画像上でドラッグして調整する色を正確に選択することもできます。[カラーセレクター]をオンに切り替えるには、[カラーセレクター]アイコンを押します。 画像の上にカーソルを置いて、双方向矢印のアイコンが表示されるまで待ちます。クリック&ドラッグで双方向矢印アイコンを上下に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色のスライダが自動調整されるのが確認できます。 ただし、調整ブラシをかけるまで、画像は変更されません。 カラーEQのブラシをかけます。	
トーンカーブ	
クリックして曲線を動かしたりポイントを追加すると、画像のトーンの範囲が調整されます。グラフの右側にある色のアイコンを選択し、次のいずれかのカラーチャンネルを調整します： ・ RGB ・ 赤 ・ 緑 ・ 青 トーンカーブ調整のブラシをかけます。 右クリックして[ポイントを削除]を選択すると、曲線のポイントを削除できます。グラフ外にドラッグしてもポイントを削除できます。	
ブラシディテールタブオプションの現像	
鮮明度	スライダーを右に動かすと鮮明になり、左に動かすとぼやけます。
輝度ノイズ除去	画像の粒状性や「ノイズ」を低減し、明るさ(輝度)のばらつきを滑らかにしながら、ディテールや質感を維持します。
カラーノイズ除去	画像の全体的なディテールを維持しながら、ランダムな色のばらつきを平

滑化することで、画像内の不要なアーティファクトや「カラーノイズ」を低減します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スマートブラシ

スマートブラシを使うと、ブラシ処理の対象を、特定の色、明るさの値、または色と明るさの組み合わせに絞ることができます。スマートブラシは、ピクセル値がブラシストロークの中央と同じ部分にのみ有効で、これらのピクセルのみ調整することができます。

スマートブラシを使用するには:

1. 現像モードの調整タブまたは詳細タブで、ペインの上部にある[**ブラシ**]ボタンをクリックしてコントロールパネルを開き、ブラシモードに入ります。または、ブラシパネルはキーボードの**B**キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. スマートブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します:

色	ブラシストロークの中央とピクセル値が同じである色(しきい値設定によって異なる)を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
明るさ	ブラシストロークの中央とピクセル値が同じである明るさ(しきい値設定によって異なる)を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
マジック	ブラシストロークの中央のピクセルと同じ色と明るさの値の組み合わせ(しきい値設定によって異なる)を使用して、ブラシをかけるピクセルを判断します。

3. しきい値スライダーを使って、スマートブラシが適用されるピクセルの範囲を増減させることができます。
4. 希望する色か明るさにカーソルを合わせてから、効果のペイントをはじめます。
5. スライダーを調節して効果を施しましょう。



別のブラシ(8種類まで可能)を適用するには、パネルの下部にある次のブラシをクリックします。ブラシの上のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っていれば、スマートブラシが有効である、という意味です。現在有効なスマートブラシのアイコンには青い四角が表示されます。ブラシをクリックして選択を切り替えることができます。青いブラシはスマートブラシが使用されていることを意味します。ブラシの有効/無効は、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替ええます。

6. [**適用**]または[**完了**]を押します。



スマートブラシを一時的に無効にするには、**Shift**キーを押したままブラシをかけます。このショートカットキーは、ストロークごとに使えます。



右クリックして既存のストロークをブラシでなぞると、そのストロークを消すことができます。

スマートブラシをオフにするには:

スマートブラシのドロップダウンメニューから[**オフ**]を選択します。

グラデーションツールを使用する

現像ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、しばしば、写真に対して段階的に適用したい場合もあるでしょう。写真の露出、彩度、バリエーション、色温度、色合い、フィルライト、コントラスト、明瞭度、色の強度、およびカラー EQ、トーンカーブ、

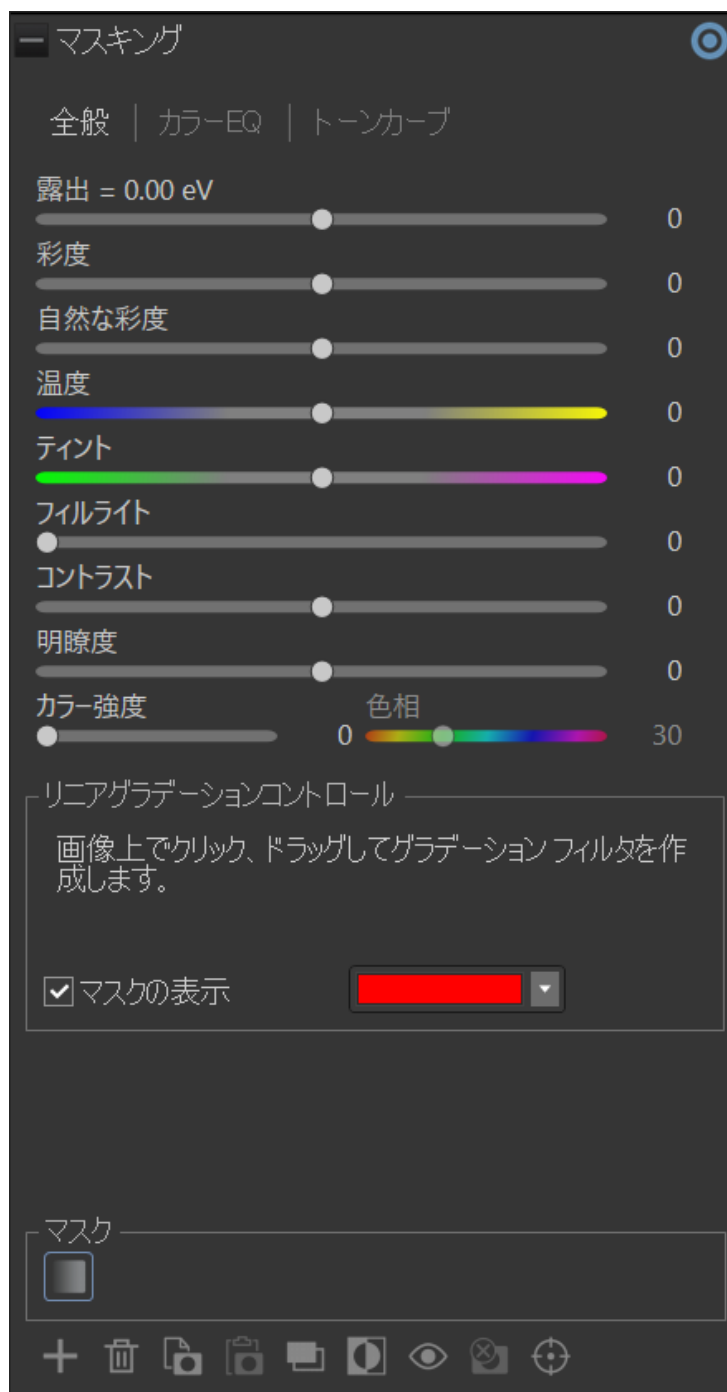
シャープネスなどをそれぞれ少しずつ全体的に調整することができます。例えば、露出を写真全体に均一に適用するのではなく、画像の一部の領域でだけ効果を強調したり弱めたり、また一部には適用しない場合などです。

グラデーション ツール

グラデーション ツールボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

グラデーション ツールを使用するには:

1. 現像モードの調整とディテールタブの**グラデーション**ボタンは  ペインの中央上にあり、クリックするとコントロールパネルが開きグラデーションモードの入力ができます。または、グラデーション パネルはキーボードの**G**キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. 次の表にあるとおり、パネルのグラデーション設定を指定します。
3. 画像上でガイドを移動します。ガイドボックスの内部でグラデーションが遷移します。ボックスの一方のサイドではグラデーションツールによる効果が最大限に適用され、他方では一切適用されません。はっきり確認するには、**グラデーションマスクを表示**チェックボックスを有効にします。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、**45°**で切り捨てられる角度に固定できるよう効果の位置を決めた状態で**Shift** キーを押し続けます。
4. スライダーを調節して効果を施しましょう。
5.  別のマスクを適用するには (最大 24 個まで使用可能)、パネルの左下にある **+** をクリックし、マスクオプションを選択します。新しいアイコン (選択したマスクの種類に関連) が [マスク] セクションに表示されます。現在選択されているマスクは青色で囲まれます。いつでも、それぞれのアイコンをクリックして、いずれかのマスクを再選択できます。
6. **[適用]**または**[完了]**を押します。



グラデーション ツール オプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えるとグラデーションが反転します。画像の上部からグラデーションを開始する効果を適用した後、反転ボタンをクリックすると、グラデーションが反転して画像の下部から適用されるようになります。

グラデーションマスクを表示



このオプションが有効の場合、グラデーションマスクが選択されている色で表示されます。もしくは**S**キーを押下するとグラデーションマスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

ディテール タブのグラデーション ツール:

シャープネス

スライダを右にドラッグするとグラデーションのかかった領域にシャープネス効果が追加され、左にドラッグするとグラデーションのかかった箇所にぼかし効果が適用されます。



グラデーションモードを終了するには、グラデーションツールボタンをクリックします。

放射状グラデーションツールを使用する

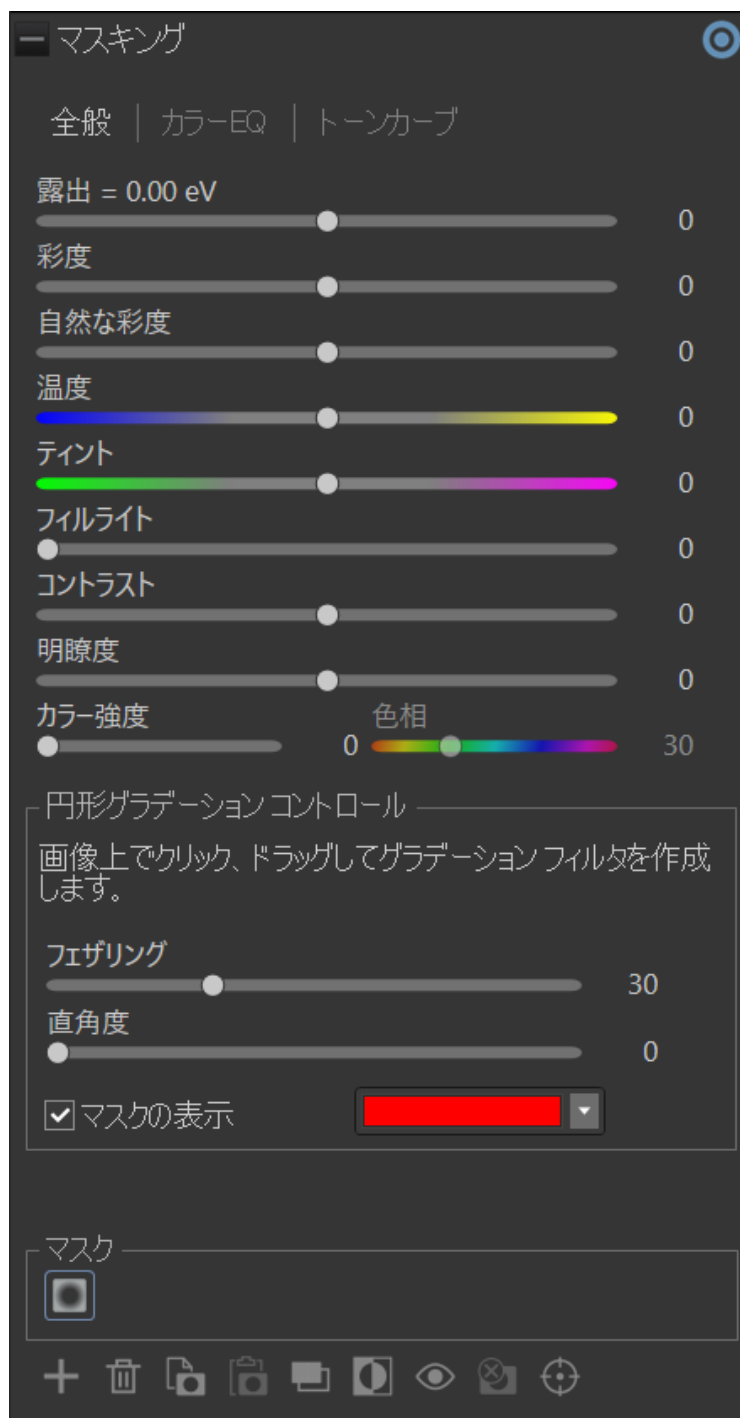
現像ツールは通常、写真にさまざまな調整を加えるために使用されますが、写真の特定の領域に注意を引くためにこれらの効果が必要になる場合があります。放射状グラデーションの**フェザリング**と**直角度**、**露出**、**彩度**、**鮮やかさ**、**温度**、**色合い**、**フィルライト**、**コントラスト**、**明瞭度**、**色の強さ**、**カラーEQ**、**トーンカーブ**、**シャープネス**を1つまたは一連のグラデーションで調整します。たとえば、写真全体にシャープネスを適用するのではなく、中央の被写体だけをシャープにできます。

放射状グラデーション ツール

[放射状グラデーション] ボタン  は、[調整] タブと[詳細] タブの上部に表示されます。

グラデーション ツールを使用するには:

1. 現像モードの**調整**と**詳細** タブの**放射状グラデーション**ボタン  はペインの最上部にあり、クリックするとコントロールパネルが開き、放射状グラデーションモードで入力ができます。または、放射状グラデーションパネルは、**R**キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. 次の表にあるとおり、パネルの放射状グラデーション設定を指定します。
3. 画像上でガイドを移動します。円の中の画像は変更されません。放射状グラデーションツールで適用した効果は、効果のない箇所(円の中)と効果が強い箇所(円の外)が出会う円の境目で、遷移します。この遷移をはっきりと見えるようにするには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスにチェックをいれます。これらのガイドを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。**Shift**キーを押しながら、効果の位置を決め、放射状グラデーションを真円に変えます。
4. スライダーを変更して効果を調整します。
5.  別のマスクを適用するには(最大 24 個まで使用可能)、パネルの左下にある **+** をクリックし、マスクオプションを選択します。新しいアイコン(選択したマスクの種類に関連)が[マスク]セクションに表示されます。現在選択されているマスクは青色で囲まれます。いつでも、それぞれのアイコンをクリックして、いずれかのマスクを再選択できます。
6. [保存]または[完了]を押します。



グラデーション ツール オプション

フェザリング	スライダーを動かして、グラデーションのトランジション部分のグラデーション効果を調整してください。
直角度	スライダーを右に調整して、グラデーションツールの形状を楕円形から正方形に変更します。
グラデーションの反転	 グラデーションを反転します。[グラデーションの反転] ボタンをクリックして、画像の中心部（円形のガイドの中）に効果を適用してください。放射状グラデーションの外側は変更されません。
グラデーションマスクを表示	 このオプションが有効の場合、グラデーションマスクが選択されている色で表示されます。もしくは S キーを押下するとグラデーションマスクを表示できます。
ディテール タブの放射状グラデーションツール:	
シャープネス	スライダを右にドラッグすると放射状グラデーションの円の外側の領域にシャープネス効果が追加され、左にドラッグするとぼかし効果が適用されます。



円形ガイドの中央にある **+** をダブルクリックして、放射状グラデーションを画像の幅いっぱい展開します。



グラデーションモードを終了するには、放射状グラデーションボタンを切り替えます。

輝度範囲ツールの使い方

輝度範囲ツールを使えば、写真内の特定の輝度レベルに焦点を絞って調整できるため、画像の特定の領域に狙いを定めて強化することが簡単にできます。**露出、彩度、明るさ、温度、色合い、フィルライト、コントラスト**などのマスクの設定を調整します、**明瞭度、色の強さ、カラーEQ、トーンカーブ、シャープネス**などのマスクの設定を、1つまたは一連の輝度マスクで調整します。たとえば、写真全体にフィルライトを追加する代わりに、逆光の件名など特定の領域にフィルライトを追加します。

輝度範囲工具

輝度範囲 ボタン  は、**チューン** タブと**詳細** タブの **マスキンググループ** に表示されます。

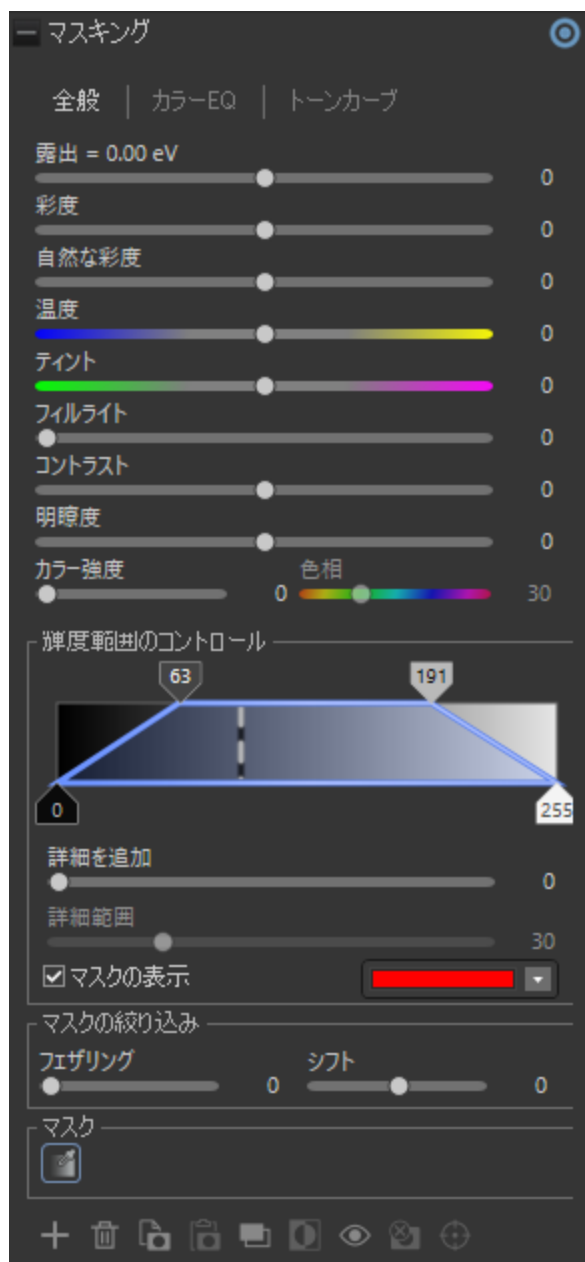
輝度範囲のマスキング・ツールを使うには:

1. **現像** モードで、**チューン** または **詳細** タブで、**マスキング** をクリックし、**輝度範囲**  をクリックすると、**マスキンググループ** のコントロールパネルが開き、輝度範囲モードに入ります。
2. パネルで**輝度範囲**の設定を下表のように指定します。
3. **輝度範囲のコントロール**を調整して、選択した輝度値に基づいてマスクを設定します。
4. スライダーを調節して、好みの効果を得ましょう。



別のマスクを適用するには、(上へ 24 まで利用可能) パネルの左下にある **+** をクリックし、マスキングオプションを選択します。新しいアイコン(選択したマスクの種類に関連)がマスクセクションに表示されます。現在選択されているマスクは青で表示されます。それぞれのアイコンをクリックすれば、いつでもどのマスクでも再選択できます。

5. **保存** または **完了** を押します。



輝度範囲のコントロール

輝度範囲

4つの指示 タブでシャドウ、中間調、ハイライトを調整。

詳細を追加

選択した輝度範囲内のテクスチャやエッジのシャープネスと明瞭度を高めます。

詳細範囲

ディテール強化が適用される輝度レベルの範囲を指定します。

マスクの表示

このオプションをオンにすると、グラデーションマスクは表示色で表示されます。



マスクの絞り込み

フェザリング

スライダーを調整して、ブラシストロークとイメージの間の移行の柔らかさをコントロールします。**Ctrl + マウスホイール**でフェザリングの量を調整するか、**フェザリング**スライダを調整します。

シフト

マスクのエッジを拡大または縮小して調整します。マスクを外側にずらすと範囲が広がり、マスクされた領域が大きくなり、内側にずらすと範囲が狭まり、選択範囲が狭くなります。

詳細タブの輝度範囲のマスキングツールの使い方

シャープネス

シャープネススライダーを右に動かすとマスクの影響を受ける部分がシャープネスになり、左に動かすとマスクの影響を受ける部分がぼかします。

輝度ノイズ除去

ディテールと質感を保ちながら、明るさ(輝度)のばらつきを滑らかにすることで、画像の粒状感や「ノイズ」を低減します。

カラーノイズ除去

画像全体のディテールを維持しながら、色のランダムな変化を滑らかにすることで、画像の不要なカラーアーティファクトまたは「カラーノイズ」を低減します。

カラーレンジ ツールの使い方

カラーレンジツールを使用すると、写真内の特定の色を精密に調整できるため、色に基づいて特定の領域を選択的に強化または修正できます。**露出、彩度、明るさ、温度、色合い、フィルライト、コントラスト**などのマスクの設定を調整します、**明瞭度、色の強さ、カラーEQ、トーンカーブ、シャープネス**などのマスクの設定を、1つまたは一連のカラーマスクで調整します。例えば、写真全体に**フィルライト**を追加する代わりに、逆光の件名など特定の領域に**フィルライト**を追加します。

カラーレンジ工具

カラーレンジ ボタン  は、**チューン** タブと**詳細** タブの **マスキンググループ** に表示されます。

カラー範囲のマスキングツールを使うには：

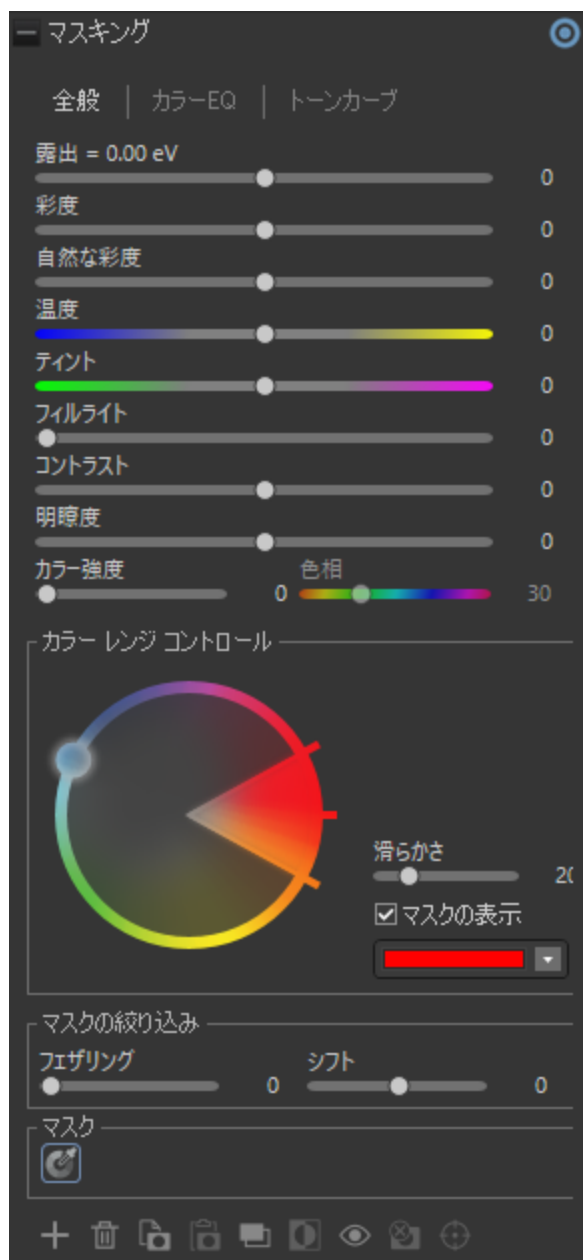
1. **現像** モードで、**チューン** または **詳細** タブで **マスキング** をクリックし、**カラーレンジ**  **マスキンググループ** でコントロールパネルを開き、カラーレンジ モードに入ります。
2. パネルで**カラーレンジ**の設定を下表のように指定します。

3. **カラー範囲のコントロール**を調整して、選択したカラー値に基づいてマスクを設定します。
4. スライダーを調節して、好みの効果を得ましょう。



別のマスクを適用するには、(上へ 24 まで利用可能) パネルの左下にある + をクリックし、マスキングオプションを選択します。新しいアイコン(選択したマスクの種類に関連)がマスクセクションに表示されます。現在選択されているマスクは青で表示されます。それぞれのアイコンをクリックすれば、いつでもどのマスクでも再選択できます。

5. **保存**または**完了**を押します。



カラー レンジ コントロール

カラー レンジ

マスクするピクセルの色を調整します。

滑らかさ

マスクのエッジに適用されるソフトニングの度合いをコントロールします。これにより、マスクされた部分とマスクされていない部分の間の移行がより滑らかになります。

マスクの表示

このオプションをオンにすると、グラデーションマスクは表示色で表示されます。



マスクの絞り込み

フェザリング

スライダーを調整して、ブラシストロークとイメージの間の移行の柔らかさをコントロールします。**Ctrl + マウスホイール**でフェザリングの量を調整するか、**フェザリング**スライダを調整します。

シフト

マスクのエッジを拡大または縮小して調整します。マスクを外側にずらすと範囲が広がり、マスクされた領域が大きくなり、内側にずらすと範囲が狭まり、選択範囲が狭くなります。

詳細 タブのカラー範囲のマスキング工具を使う

シャープネス

シャープネススライダーを右に動かすとマスクの影響を受ける部分がシャープネスになり、左に動かすとマスクの影響を受ける部分がぼかします。

輝度ノイズ除去

ディテールと質感を保ちながら、明るさ(輝度)のばらつきを滑らかにすることで、画像の粒状感や「ノイズ」を低減します。

カラーノイズ除去

画像全体のディテールを維持しながら、色のランダムな変化を滑らかにすることで、画像の不要なカラーアーティファクトまたは「カラーノイズ」を低減します。

現像モードでのピクセルターゲティング

カラーまたは トーンを調整 する対象

ツールを使用して画像にさまざまなグローバル調整を行えます。**現像ブラシ**を使用すると画像の特定のセクションを調整できます。ピクセルターゲティングでは、異なる色調、色、肌の色調を選択できます。ピクセルターゲティングは、写真の個々の色や色調、肌の色調に調整を適用します。たとえば、**現像**モードの[調整]タブで、[一般]ツールを展開し、[露出]スライダーが画像全体に影響することに注意してください。ただし、画像の青い空の露出のみを調整するには、ブラシストロークまたはグラデーションを画像に適用して空をターゲットに

し、[**ブラシの現像**]アイコンをクリックして[ピクセルターゲットマスク]アイコンをクリックしてピクセルターゲットを有効にします。[カラー範囲]カラーホイールを青に調整してから、[**現像ブラシ**]の[一般]ツールの[露出]スライダーを使用して、空の露出のみを調整します。

ピクセルターゲティングは、[開発 ツール]ペインの2つのタブでのみ使用できます。

- [調整](#)して、
- [詳細](#)。

[調整]タブと[詳細]タブのピクセルターゲティングは、次のローカル調整ツールで使用できます。

- [現像ブラシ](#)
- [線形グラデーション](#)、および
- [放射状グラデーション](#)。

ピクセルターゲットを使用してターゲットだけを調整するには:

1. [ツールの開発]ペイン([調整]または[詳細])で上記のタブのいずれかを選択します。
2. 上記のローカル調整ツールのいずれかを選択し、ツールを画像に適用します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [ブラシの開発]ローカル調整ツールを選択し、[スマートブラッシング]ドロップダウンの横にあるピクセルターゲティングマスクアイコンをクリックします。
 - 線形グラデーションローカル調整ツールを選択し、[グラデーションマスクの表示]チェックボックスの横にあるピクセルターゲティングマスクアイコンをクリックします。
 - 放射状グラデーションローカル調整ツールを選択し、フェザリングスライダーの横にあるピクセルターゲティングマスクアイコンをクリックします。
4. [ピクセルターゲティング]ペインで、以下の説明に従って、**輝度範囲**と**色範囲**を設定します。
5. 選択したフィルターを調整またはメニューオプションを設定します。調整は、画像全体ではなく、ターゲットの色またはトーンにのみ影響します。

ピクセルターゲティングペイン



ピクセルターゲティングペインは、次の3つのセクションで構成されています。

- プリセット
- 輝度範囲
- 色の範囲

ピクセルターゲティングペインセクション

プリセット

[プリセット] ドロップダウンリストから選択するか、[プリセットの保存] アイコンをクリックして、新しいプリセットを[プリセット] ドロップダウンリストに追加します。



マスクプレビューを表示



アイコンをクリックして、ターゲットとするピクセルを強調表示するマスクのプレビューを表示します。

リセット



アイコンをクリックして、現在の画像編集をすべて削除し、画像を元の状態に戻します。

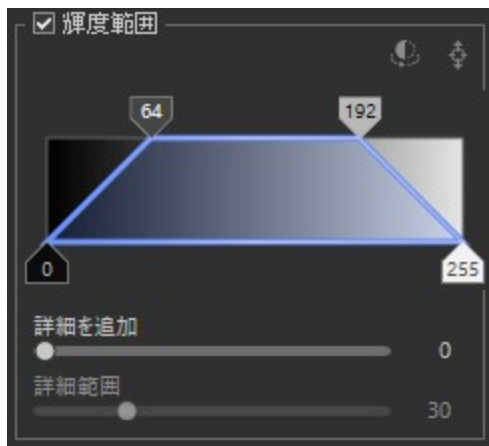
ヘルプ



アイコンをクリックして、ピクセルターゲットヘルプファイルを開きます。

輝度範囲

輝度範囲 フィールドセットは、調整のために明るさのトーンをターゲットにするために使用されます。関連する機能を有効にするには、**【輝度範囲】** チェックボックスを有効にします。



選択範囲の反転



アイコンをクリックして、選択したピクセルを選択していないピクセルに変更します。

インジケータライン



アイコンをクリックして、トーングラパーディスプレイにインジケータラインを追加し、画像のトーンがグラフのどこに表示されるかを示すスポイトを作成します。

トーングラパー

4つのスライダータブを使用して、色調を選択します。青いボックス内の領域は、色調の選択を表しています。上の2つのタブは互いにスライドできます。

せん。
中央に
向かってスライ
ドすると
きに、
各下部
タブがそ
れぞれ
の上部
タブを
超えて
スライド
すること
はでき
ません。
色調範
囲は
0～
255で
す。上
部とそ
れに関
連する
下部の
スライ
ダータブ
の間の
対角線
は、柔
らかな
選択効
果を生
成しま
す(輝
度範囲
の例で
は64～
0)。上
部と関
連する
下部の
スライ
ダータブ
を結ぶ
直線
は、
シャープ
な選択
範囲を
生成し
ます(輝
度範囲
の例
では、
上部
192か
ら下部
192)。

	詳細を追加	スライドの値を大きくして、選択範囲の端の周りの鮮明さをシャープにします。
	詳細範囲	[詳細の追加]スライダーが値0を超えて進んだ場合、[詳細範囲]スライドが有効になり、[詳細の追加]スライダーによって追加されるエッジの詳細の範囲を制御できます。
色の範囲	[色の範囲]フィールドセットは、調整する色を指定するために使います。 [色の範囲]チェックボックスをオンにすると機能が有効になります。	



色を反転



アイコンをクリックして、ホイールで選択した色を反転します。

カラーインジケーター



アイコンをクリックして、画像内のカラーピクセルを選択するスポイトを表示、作成します。**Alt**キーを押しながらスポイトでクリックして色を選択します。

カラーホイール

カラーホイールを使えば、画像の色を細かく調整できます。カラーホイールは、青い空をより青くしたり、暗い湖の色を明るくしたりするなどの現実的な要件で特に役立ちます。選択した色は、[ホイールを

			有効にする] チェックボックスの下の円に表示されます。カラーホイールの詳細については、「カラーホイールを使った色の調整」を参照してください。
	ホイールを有効にする		選択した色を表示するホイール選択の円のあるチェックボックスを有効にして、関連するホイールをアクティブにします。
	ホイールを追加		アイコンをクリックして、追加のカラーホイールを使用して別の色に変更します。
	ホイールの選択		[ホイールを有効にする] チェックボックスのすぐ下にある内側

		の円をクリックして、関連するカラーホイールを選択します。選択した色はホイールで使われます。
ホイールを削除		現在選択されているカラーホイールを削除します。
滑らかさ		スライダーを上げて滑らかさを調整します。これは、色のエッジを柔らかくするフェザリングツールのように機能します。
ターゲットスキントーン		肌のターゲットイング スライダーを使用すると、残りの[色の範囲]フィールドセットが無効になり、肌の色のみをターゲットイングできるようになります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



変更をクリアして既定の設定に戻すには、**[リセット]**をクリックします。



今後使用するために、設定した値を**プリセット**として保存します。**ピクセルターゲティング**ペインの**[プリセットの保存]** ボタンを使用すると、ピクセルターゲティング設定のみが保存され、フィルターの設定は保存されません。フィルタ設定は個別に保存する必要があります。

調整タブについて

調整タブでは、露出、ホワイトバランス、彩度、明度、色相、カラープロファイルなどが調整できます。

調整タブを使用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 一般、ホワイトバランス、Light EQ™、カラー EQ、トーンカーブ、ソフトフォーカス、エフェクト、カラー LUT、スプリットトーン、トリミング後ピネット、出力カラースペースのグループを選択して、画像を現像します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **[完了]**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存:** 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存:** 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄:** 変更を破棄します。
 - **キャンセル:** 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**[ツール] | [ACDSee オプション]** の現像モードページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **[保存]**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **名前を付けて保存:** 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存:** 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **エクスポート:** 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー:** 現像した画像をクリップボードにコピーします。(**[編集] | [コピー]** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセルをクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、[保存] は利用できません。

全般調整を使用する

[全般] グループでは、画像全体の調整を行うことができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

[全般] で現像処理を行うには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. [全般] から、以下の表を参考にして調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

調整オプション

露出	スライダーを右に移動して露出を増やすか、左に移動して露出を減らします。eV は露出の 1 補正值です。
ハイライト	スライダーを右にドラッグして、露出 オーバーの領域にある画像の細部を復元します。
フィルライト	スライダーを右にドラッグし、画像の暗い領域にライトを追加します。
コントラスト	スライダーを右に移動してコントラストの量を増やすか、左に移動してコントラストの量を減らします。
彩度	スライダーを右に移動して彩度の量を増やすか、左に移動して彩度の量を減らします。
バイブランス	スライダーを右に移動して自然な彩度の量を増やすか、左に移動して自然な彩度の量を減らします。自然な彩度を増やしても、画像のトーンは影響されません。彩度と異なり、すべての色に等しく影響するわけではありません。
明瞭度	透明度 ツールは画像の詳細に鮮明度を追加します。明瞭度 スライダーは、影とハイライトを強調せずに中間調のコントラストを高めます。スライダーを右に移動して明瞭度の量を増やすか、左に移動して明瞭度の量を減らします。
かすみの除去	かすみ除去 ツールにより、画像にコントラスト、ディテール、消えた色を復元します。これは特に、かすみ越しに記録された画像に対して使うと便利です。かすみは、埃や煙などの粒子が画像、特に空の明瞭度を奪うことで発生します。スライダーを右へ動かすほど、かすみが減少します。



[設定] ボタンにより 、最後に保存した設定、あるいは最後に使用した設定にスライダーをリセットします。自分の設定をプリセットとして保存し、それをコピーしたり、貼り付けたりすることもできます。

eV に関するテクニカル解説

eV は exposure value (露出値) を略したものです。画像を撮影する際、露出は F 値 つまり絞り値、そしてシャッタースピード、ISO に よって決定 されます。一般的に、カメラは内蔵された光測定に基づいて、最適な露出を自動的に検出した後、その値に合わせて F 値とシャッタースピードを設定します。ただし、晴天あるいは暗い場所での撮影でカメラの光測定が適切に行われなかった場合は、F 値とシャッタースピードが不適切に設定されます。その結果、露出 アンダーまたは露出 オーバーの画像が生成されます。[露出] スライダーを使用すれば、画像撮影時の不適切な設定によって引き起こされた露出问题を補正することができます。

ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスグループを使用して、画像内の不要なカラーキャストを削除します。カラーキャストとは、画像に影響を与える目に見える色合いです。カラーキャストは通常、写真が撮影されたときの照明によるものです。屋内で写真を撮っている場合は、屋内の照明でよく見られる青い色合いを削除するか、黄色の色合いを削除することをお勧めします。



設定した内容は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のホワイトバランスを調整するには:

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
2. [ホワイトバランス] グループで、以下のいずれかを実行します:
 - 画像のグレーのピクセルをマウスで選択してホワイトバランスを自動調整します。
 - 後述する方法でホワイトバランススライダーを手動で調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ホワイトバランス オプション

ホワイトバランス	RAW 画像の場合、以下のホワイトバランスの補正オプションから 1 つを選択します。 • 撮影時: 自動的に選択されます。写真の撮影時に、カメラに保存されたホワイトバランス設定を適用します。 • 自動: 画像を分析した後、色温度とティントを自動的に設定します。 • 晴れ: 晴れの日の正午の値に近い 5500 K に色温度を調整します。 • 曇り: 少し曇っている日の値に近い 6500 K に色温度を調整します。 • 影: 雲が多い曇りの日の値に近い 7500 K に色温度を調整します。 • タングステン: 一般家庭の電球の値に近い 2850 K に色温度を調整します。 • 蛍光灯: 蛍光灯の電球の値に近い 3800 K に色温度を調整します。 • フラッシュ: カメラのフラッシュの値に近い 5500 K に色温度を調整します。 • カスタム: 「温度」と「ティント」スライダを調整して、ユーザー指定のホワイトバランスを定義することができます。画像上にマウスを移動してスポイトに変わるまで待ってから、グレー(ニュートラル)の領域をクリックすることもできます。 JPEG のようにエンコード可能な画像は、以下のホワイトバランスの補正オプションから 1 つを選択します。 • 撮影時: 自動的に選択されます。写真の撮影時に、カメラに保存されたホワイトバランス設定を適用します。 • 自動: 画像を分析した後、色温度とティントを自動的に設定します。 • カスタム: 「温度」と「ティント」スライダを調整して、ユーザー指定のホワイトバランスを定義することができます。画像上にマウスを移動してスポイトに変わるまで待ってから、グレー(ニュートラル)の領域をクリックすることもできます。
色温度	[色温度] スライダを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、特定の色温度を指定します。
色かぶり補正	[ティント] スライダを左にドラッグ(マゼンタの増加)、または右にドラッグ(グリーンの増加)して、画像撮影時に使用したホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。
強度	スライダを右に移動してホワイトバランスの調整を増やすか、左に移動して明るさの量を減らします。
ニュートラルなピクセルを強調表示	このボックスを選択すると、イメージ上にホワイトバランスマスクが生成されます。カラーニュートラルな領域は明るい白で表され、よりカラーの濃い領域は暗いピクセルで表されます。

ライティングを調整する

[Light EQ™] ツールを使うと、適切な明るさの領域は変更せずに、画像の暗すぎる、あるいは明るすぎる領域のトーンレベルを調整することができます。トーンレベルとは、ピクセルの明るさとその周辺のピクセルを平均したものです。

また同時に暗すぎる領域を明るく、明るすぎる領域を暗くすることができます。例として、海や窓など明るい背景で人物を撮影した場合に、人物が暗くなりはっきりと顔が見られないけれども背景は明るく調整しなくても大丈夫な写真が挙げられます。実際に、曇天あるいはフラッシュ発光で撮影された写真のほとんどは、Light EQ™ ツールを使用して微調整をすると仕上がりに大きな差がでます。



設定した内容は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のライティングを下げるには:

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
2. Light EQ™ グループで、パネル上部のドロップダウンメニューから **ベーシックモード**、**スタンダードモード**、**アドバンスドモード** のいずれかを選択し、以下のように設定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ベーシックLight EQ™

ベーシックは、3つのスライダを使用するだけのシンプルで簡単な調整方法です。画像のある領域(通常は画像内の被写体)を直接クリックして、その領域に最適な設定を自動設定することも可能です。

以下のいずれかの操作を行います：

- 画像内の領域をクリックすると、その領域に最適な設定を自動で生成します。
- 後述の方法でライティングを手動調整します。

ベーシックLight EQ™ オプション

シャドウ	スライダを右にドラッグするとシャドウが明るく、左にドラッグするとシャドウが暗くなります。
ミッドトーン	スライダを右にドラッグすると中間調が明るく、左にドラッグすると中間調が暗くなります。
ハイライト	スライダを右にドラッグするとハイライトが明るく、左にドラッグするとハイライトが暗くなります。
自動	[自動]ボタンをクリックすると、ACDSee 究極が画像の明るさを自動的に調整します。

標準のLight EQ™

標準では、サウンドイコライザのように、光の調整をおこないます。トーンバンド(相対的に明るい領域または暗い領域)ごとに、明るくするスライドと、暗くするスライドの2つのスライダを使うことで、トーンバンドごとにの明るさとコントラストを個別に調整できます。グラフには、トーンレンジに適用された明るさまたは暗さの量が表示されます。グラフ内のグレー領域は提案された境界で、クリッピングや詳細データの損失が発生しないよう表示されます。ピンクの領域は調整されたスライダのうち、クリッピングが発生した領域を示しています。

以下のいずれかの操作を行います：

- 調整したい領域を選択し、左クリックして上にドラッグすると明るくなり、右クリックして下にドラッグすると暗くなります。
- 後述の方法でライティングを手動調整します。

標準のLight EQ™ オプション

明るさのスライダ（上に位置するスライダ）

スライダを上 にドラッグして、各 トーンバンドの輝度を増加します。左側のスライダは暗いトーンに反映されます。右側のスライダは明るいトーンに反映されます。スライダを移動すると、そのトーンバンドにある輝度の量のみが変更します。

ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。

暗さのスライダ（下に位置するスライダ）

スライダを下 にドラッグして、各 トーンバンドの暗さを増加します。左側のスライダは暗いトーンに反映されます。右側のスライダは明るいトーンに反映されます。スライダを移動すると、そのトーンバンドにある暗さの量のみが変更します。

ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。

グラフ

グラフは、画像のトーンレンジに適用された明るさと暗さの量を示します。水平軸の上にある部分は明るさを、水平軸の下にある部分は暗さを表しています。同一のトーンバンドで明るさと暗さが変更された場合、コントラストが激しくなります。つまり、グラフの上部の明るい領域と、グラフの下部の暗い領域は、そのトーンレンジのコントラストが相対的に増えていることを示します。グラフまたは画像上を左クリックして、双方向矢印をドラッグアップすると明るくなり、ドラッグダウンすると暗くすることができます。

トーンバンド数

調整するトーン バンドの数を設定します。トーン バンドの数を増やすとより正確に制御できるようになり、トーン バンドの数を減らすと調整をすばやくスムーズできるようになります。

画像

左 マウスボタンを押した状態でダブルクリック 画像のその領域に最適な「明るくする」の値を自動設定します。顔などの明るい領域をダブルクリックすると、最良の結果になります。

右 マウスボタンでダブルクリック 画像のその領域に最適な「暗くする」の値を自動設定します。
（または Shift + マウスの左 ボタンでダブルクリック）

Ctrl キー + 左 マウスボタンを押した状態でダブルクリック 現在の明度調整曲線を編集して、クリックしたトーン レベルの周辺の領域の明るさを最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーン レベルの周辺の領域の明るさが増加し、他のトーン レベルの明るさが減少します。
この方法を使用すると、特定の被写体または領域を明るくして目立たせることができます。

Ctrl キー + 右 マウスボタンを押した状態でダブルクリック 現在の暗化調整曲線を編集して、クリックしたトーン レベルの周辺の領域の暗化を最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーン レベルの周辺の領域の暗さが増加し、他のトーン レベルの暗さが減少します。
この方法を使用すると、特定の被写体または領域を暗くして目立たなくすることができます。

画像上でマウス ホイールをスクロールアップまたはダウンします。 画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。

Shift キー + 画像上をマウス ホイールでスクロール 画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。

「A」キーを押したままにする すべての明るさスライダを一度に調整します。
+ スクロール または
+ ドラッグ 左 マウスボタンを押した状態

A + Shift キーをホールド

すべての暗さスライダを一度に調整します。

+スクロール または

+ドラッグ 右 マウスボタンを押した状態

左 マウスボタンを押した状態で画像を上下に クリック & ドラッグ

画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。

(画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)

Shiftキー + 左 マウスボタンを押した状態で画像を上下に クリック & ドラッグ

画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。

(画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)

自動

[自動] ボタンをクリックすると、ACDSee 究極が画像の明るさを自動的に調整します。

高度なLight EQ™

アドバンス タブでは、画像の明るさとコントラストを完全にコントロールすることができます。4つのスライダを使用してカーブを調整した後、グラフ内の領域または画像を直接 クリック&ドラッグしてカーブを手動調整します。

以下のいずれかの操作を行います：

- 調整したい領域を選択し、左 クリックして上にドラッグすると明るくなり、右 クリックして下にドラッグすると暗くなります。
- 後述の方法でライティングを手動調整します。

グラフ

グラフの上部は明るさを、下部は暗さを表しています。シャドウのトーンレベルは左に、中央は中間調、右はハイライトを表しています。

グラフの明るいグレーの領域は、画像に適用された明るさまたは暗さの量を示しています。グラフの暗いグレーの領域は提案された境界で、この領域が赤になると、調整された領域が大きすぎたためディテールが失われてしまったことを示します。画像上にカーソルを動かすと、2つの黄色い垂直線がカーソル下にあるトーンレベルの上下を示すため、調整の中間領域を見つけることができます。

高度なLight EQ™ オプション

領域	操作	結果
スライダ		
	【明るくする】スライダをドラッグ	右に移動する:暗い領域に適用される明るさの量を増やします。 左に移動する:画像のすべての領域で、明るさが一様に増加します。
	【暗くする】スライダをドラッグ	右に移動する:画像の明るい領域に適用される暗さが増加します。 左に移動する:画像のすべての領域で、暗さが一様に増加します。
	【振 幅】スライダをドラッグする (明るくする)	右に移動する:画像のすべての領域に適用される明るさの強度が増加します。グラフ内では、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する:明るさとカーブの高さの強度が減少します。 振 幅 スライダが 0 の場合:明るさを一切適用しません。 振 幅 スライダが 100～200 の場合:数字に比例して切り取られる量が増加します。 ほとんどのケースでは、100 が適切な振幅の値です。ハイライトの領域にディテールが見られる画像では、【明るくする】の【振幅】の値を下げると、そのディテールを保つことができます。 ほとんどの場合、振 幅 を調整する必要はありません。
	【振 幅】スライダをドラッグする (暗くする)	右に移動する:画像のすべての領域に適用される暗さの強度が増加します。グラフ内で、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する:暗さとカーブの高さの強度が減少します。
グラフ上		
	グラフ(上部)をドラッグ	グラフ上 を左 クリックして上 に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している明るさを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。 グラフの高さは、各 トーンレベルに適用された明るさのレベルを表します。(トーンは左がブラックで、右に向かうほどホワイトになります。) グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」のスライダが、自動的に【カスタムカーブ】に変わります。この時点でスライダのポジションを変更すると、グラフまたは画像上で直接調整された変更はすべて破棄されますのでご注意ください。 グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」にある各「振 幅」のスライダが、現在のカーブの振幅を示した値に変わります。(振幅の値100 はクリッピングを発生させない最大の振幅値です。)
	グラフ(下部)をドラッグ	グラフ上 を右 クリックして下 に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している暗さを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。
	以下のショートカットはすべて、画像およびグラフ用に使用することができます。	グラフのトーンバンドを変更すると、画像にその変更が反映されるため、特定のトーンバンドを微調整する場合に便利です。
画像		
	左 マウスボタンを押した状態でダブルクリック	画像のその領域に最適な「明るくする」の値を自動設定します。顔などの明るい領域をダブルクリックすると、最良の結果になります。

領域	操作	結果
	右 マウスボタンでダブルクリック (または Shift + マウスの左 ボタンでダブルクリック)	画像のその領域に最適な「暗くする」の値を自動設定します。
	Ctrl キー + 左 マウスボタンを押した状態でダブルクリック	現在の明度調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさを最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさが増加し、他のトーンレベルの明るさが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を明るくして目立たせることができます。
	Ctrl キー + 右 マウスボタンを押した状態でダブルクリック	現在の暗化調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の暗化を最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の領域の暗さが増加し、他のトーンレベルの暗さが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を暗くして目立たなくすることができます。
	画像上でマウス ホイールをスクロールアップまたはダウンします。	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。
	Shift キー + 画像上をマウス ホイールでスクロール	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。
	「A」 キーを押したままにする + スクロール または + ドラッグ 左 マウスボタンを押した状態	[明るくする] の [振り幅] スライダーを直接設定します。
	A + Shift キーをホールド + スクロール または + ドラッグ 右 マウスボタンを押した状態	[暗くする] の [振り幅] スライダーを直接設定します。
	左 マウスボタンを押した状態で画像を上下に クリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
	Shift キー + 左 マウスボタンを押した状態で画像を上下に クリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
自動		
[自動] ボタンをクリックすると、ACDSee 究極が画像の明るさを自動的に調整します。		

カラーEQで色を調整する

カラー EQ により彩度、明るさ、色相、コントラストの色補正ができます。上下スライダーを使用すると、標準モードでは画像全体に調整を加えることができ、標準モードまたは高品質モードでは色ごとの調整をすることができます。各コントロールに関する詳細につきましては、下の表をご覧ください。



設定した内容は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

カラーを調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. カラー EQ グループで、**彩度**、**明るさ**、**色相**のいずれかの**タブ**を選択し、以下の表で解説されているオプションに従って、これらを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

カラー EQ オプション

[カラー EQ] ドロップダウンメニューから[高品質] モードまたは[標準] モードを選択します。個々の色を調整するには、画像の色を左クリックしてマウスを上下にドラッグします。高品質モードではカラー-sliderが、標準モードではグラフがそれぞれマウスの動きに合わせて変化します。これは彩度、明るさ、色相、コントラストタブで機能します。

高品質

画像の色を個々に調整します。高品質では、新しいより進化したカラーモデルを使用して、より高品質な調整が可能です。

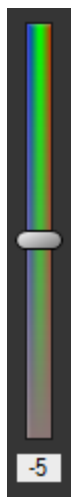


個々の色 slider を右に移動すると効果がより強く、左に移動すると弱くなります。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。または画像上にカーソルを移動し、双方向矢印アイコンを表示して細かい調整を行うこともできます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色の slider が自動調整されるのを確認します。

標準

以前に現像した画像に対応します。色を個々に調整するか全体的な調整を行います。

縦の slider



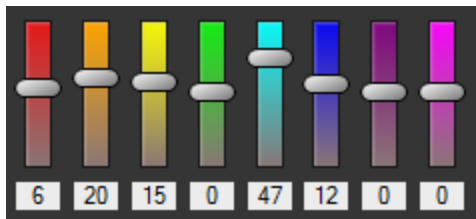
各カラー slider

画像全体に調整を適用します。左手にある slider の効果は、各タブによって次のように異なります：

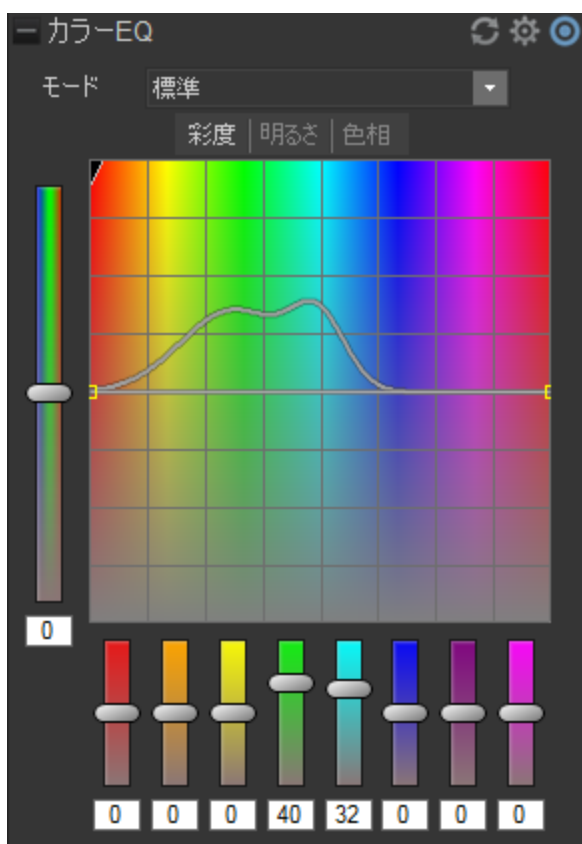
- **彩度:** 飽和 (slider 上) からグレースケール (slider 下) まで調整することができます。
- **明るさタブ:** 画像の明るさまたは暗さを調整することができます。
- **色相:** 別の色に変更します。

各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

slider を動かして各カラーを調整します。調整したいカラーを選択し、その slider をクリック & ドラッグします。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。



画像を直接調整する



画像の上にカーソルを置いて、双方向矢印のアイコンが表示されるまで待ちます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、カーブと対応するカラーのスライダが自動調整されるのを確認します。グラフのホワイトカーブの下にブラックカーブが表示されます。

このブラックカーブは、画像で調整されているカラーを示します。このブラックカーブは、グラフ内で直接ドラッグすることはできませんのでご注意ください。より大幅な調整を行うには、ホワイトカーブを直接変更します。ホワイトカーブを調整すると、ブラックカーブもそれと一緒に変更されます。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

白黒ード

アドバンス モノクロ

モノクロモードでは、([調整]タブの[一般]グループで定義されているように) [カラーEQ]グループは[高度なモノクロ]グループになります。

明るさタブ:

- **明るさ:** 画像の色の明るさを調整します。

コントラストタブ:

- **強度:** 特定の色調でコントラストを調整するには、個々の色スライダをドラッグするか、画像(以前に色が発生した場所)を左クリックして上下にドラッグします。



- **バランス:** コントラスト調整のターゲットとなる明るさの範囲を設定するには、スライダーを調整して、ハイライトまたはシャドウから細部を引き出します。中間色からディテールを引き出すには、バランス スライダーを0にします。**Shift** キーを押しながら画像をクリックしてドラッグすると、対応する色のバランス スライダーが対象になります。

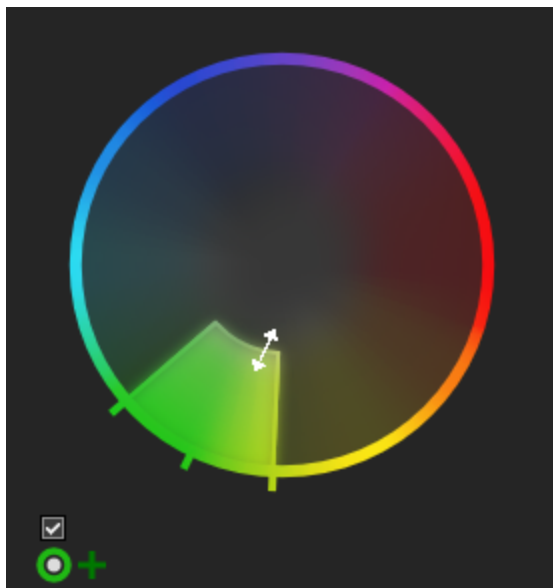
色づけ: 色相スライダーで選択した色をベースにして画像に色を追加します。追加される色の彩度は、オリジナル画像に存在していた色/彩度の量と度合いスライダーの設定を基本にします。

カラーホイールで色を調整する

現像および編集モードでは、カラーホイールを使用して画像の正確な色を調整できます。これにより、正確な色の彩度、色相、明るさ、コントラスト、およびコントラストバランスを変更できます。滑らかさを調整することもでき、色のエッジを柔らかくするフェザリングツールのように機能します。カラーホイールは、青い空をより青くしたり、湖の色を明るくしたい場合に暗い水の色を明るくするなどのよくある操作に役立ちます。

カラーホイールを使用して色を調整するには：

1. 次のいずれかのオプションを使用して、カラーホイールを開きます。
 - **現像モード**で、[現像ツール]ペインの[調整]タブから[カラーホイール]を選択します。
注：カラーホイールを現像モードで使用するには、カラーEQを高品質に設定する必要があります。これを確実にするため、Color EQを開き、ドロップダウンメニューから高品質を選択します。
 - **編集モード**で、[フィルター]メニューの[色]オプションから[カラーホイール]を選択します。
2. カラーホイールのセクションをクリックアンドドラッグ、または画像でスポイトを使って編集する色を選択します。画像でスポイトを動かすと、色相インジケーターの点が表示され、ホイール上での色でホバーしているかを示します。
3. 選択を絞り込みます。ホイールで選択した色の端の二重矢印をクリックアンドドラッグして色のサイズを増減します。また、彩度を調整するには、ホイールの端またはホイールの中心から選択した色をクリックアンドドラッグして離すと、選択した色の彩度を調整できます。ホイールの中心は彩度の低い色、ホイールの端に向かうと彩度が高くなります。



選択範囲の色を反転するには、[選択範囲を反転]ボタンをクリックします。



カラーホイールで行った選択を表示するには、[選択マスクのプレビュー]ボタンをクリックして押したままにします。



4. 滑らかさスライダーを使用して、選択範囲のエッジを調整します。このツールは、選択範囲のエッジを柔らかくまたはシャープにし、フェザリングと同様に機能して、カットオフポイントを柔らかくまたはシャープにします。
5. スライダーを使用して、画像で選択した色を調整します。個々のスライダーには次の効果があります。
 - ・ **彩度**: 左にスライドして彩度を下げ、右にスライドして彩度を上げます。
 - ・ **色相**: 左または右にスライドして色相を調整します。
 - ・ **明るさ**: 左にスライドして明るさを下げ、右にスライドして明るさを上げます。
 - ・ **コントラスト**: 左にスライドしてコントラストを下げ、右にスライドしてコントラストを上げます。
 - ・ **コントラストバランス**: コントラストを調整したら、コントラストバランスを調整できます。これにより、画像の明るい色と暗い色のどちらにコントラストを適用するかが変わります。



編集なしで画像がどのように見えるかを確認するには、編集モードで[前を表示]ボタンを押すか、現像モードで[オリジナルを表示]を押します。



変更をリセットするには、関連するスライダーまたはホイールのいずれかを右クリックして、すべての変更をリセットします。

6. [完了]を押して変更を保存し、カラーホイールを終了します。

カラーホイールを使用して複数の色を調整するには:

最初のカラーホイールの編集を行ったら、追加のカラーホイールを使用して他の色に変更を加えることができます。

カラーホイールを追加するには、カラーホイールアイコンの横にあるプラス記号をクリックします。+

カラーホイールを使用して行った編集を削除するには:

現像モードで画像を新しいファイルとして保存するまで、または編集モードで[適用]または[完了]を押すまで、カラーホイールの編集を削除できます。

これを行うには、カラーホイール編集リストの横にある十字記号をクリックします。✕

ピクセルターゲティングのカラーホイール

開発モードのピクセルターゲティングツールと編集モードのピクセルターゲティングツールはどちらもフィルターと組み合わせて使用されるカラーホイールを備えており、ピクセルターゲティングでピクセルの色に基づいて選択を行うことができます。

関連トピック:

- ❖ [トーンカーブを調整する](#)
- ❖ [トーンホイールで色調を調整する](#)
- ❖ [カラーEQで色を調整する](#)

トーンホイールで色調を調整する

すべての画像の色は、ハイライト、ミッドトーン、シャドウに分割されます。現像および編集モードでトーンホイールを使用して、画像の特定のトーンに色合いを追加できます。各トーンホイールには2つの湾曲したスライダーがあります。左側の湾曲したスライダーは彩度スライダー、右側のスライダーは明るさスライダーです。トーンホイールを使用すると、色相を正確に特定して調整できます。

トーンホイールを使用して色を調整するには:

1. 次のいずれかのオプションを使用して、トーンホイールを開きます。
 - **現像モード**で、[開発ツール]ペインの[調整]タブから[トーンホイール]を選択します。
 注: トーンホイールを現像モードで使用するには、カラーEQを高品質に設定する必要があります。
 これを確実にするには、Color EQを開き、ドロップダウンメニューから高品質を選択します。
 - **編集モード**で、[フィルター]メニューの[色]オプションから[トーンホイール]を選択します。
2. トーンホイール内のターゲットポイントをクリックおよびドラッグ、または画像自体の関連するスポイトを使用して編集する色相を選択します。画像周囲でスポイトを移動する際に、ホイール上でどの色をホバーしているかを示す、色相インジケーターと言われる点が見えます。トーンホイールには3つのスポイトが関連します。ホイールの端、または中心から選択をクリックおよびドラッグして、選択した色の彩度を調整できます。彩度の低い色はホイールの中心に、彩度の高い色はホイールの端にあります。





ターゲットポイントをホイールの外側に移動すると彩度が上がり、ホイールの内側に移動すると彩度が下がります。

3. 色相を選択した状態で、選択したトーンの色度や明るさを上げます。
4. [完了]を押して、カラーホイールを終了します。



変更をリセットするには、関連するスライダーまたはホイールのいずれかを右クリックして、すべての変更をリセットします。

関連トピック:

- [トーンカーブを調整する](#)
- [カラーホイールで色を調整する](#)
- [カラーEQで色を調整する](#)

トーンカーブを調整する

現像モードでは、**トーンカーブ**ツールは画像の色調範囲を変更します。**トーンカーブ**グループに埋め込まれた[チャンネルフィルタリング](#)は、画像の全範囲(RGB)または特定の色(赤、緑、青)のいずれかを調整します。



調整した設定を今後使えるよう[プリセット](#)として保存します。



現像モードで**トーンカーブ**ツールを使用して行った変更は非破壊的で、クリエイティブな編集に適しています。ピクセルベースの変更の場合は、**編集**モードで[トーンカーブフィルター](#)を使用します。

画像の明度カーブを調整するには:

1. 開発モードの[開発ツール]ペインで、[調整]タブを選択します。
2. [トーンカーブ]グループで、下の説明に従ってカーブを調整します。



黒、ミッドトーン、白の数値フィールドまたは矢印を右クリックすると既定値にリセットされます。数値フィールドまたは矢印をダブルクリックして自動設定を使用することもできます。

トーンカーブのオプション

カーブ	画像に適用する曲線を選択します。「標準」曲線がデフォルトです。カメラを使用して、ACDSee 究極によって生成された曲線を使用して、画像に適した曲線を作成します。[曲線] ドロップダウンリストは、RAW ファイルでのみ使用できます。
チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラム	選択したチャンネルに基づいて、画像の色情報レベルのグラフィックを表示します。線をクリックしてドラッグし、曲線を操作します。曲線上の点をクリックすると、ヒストグラムの左上隅にノード情報ボックスが表示されることにご注意ください。ノード情報ボックスには、視覚的な表現を提供するために色ブロックで設定されたInおよびOutピクセル値があります。ノード情報ボックスの番号は、入力値のピクセルが出力値に変更されることを示しています。たとえば、In値が40でOut値が80の場合、値が40のすべてのピクセルが80に変更されます。曲線をクリックすると、曲線に新しいポイントが追加されます。ポイントをカーブの上下にドラッグします。ポイントを削除するには、ノードを右クリックして[ポイントの削除]を選択します。
黒	黒の三角形をクリック&ドラッグするかクリックして、黒のポイントを自動設定します。フィールドに数値を入力するか上下の矢印ボタンを使って、黒のポイントを具体的に設定することも可能です。
ミッドトーン	グレーの三角形をクリック&ドラッグするかクリックして、ミッドトーンのポイントを自動設定できます。フィールドに数値を入力するか、上下の矢印ボタンを使って、ミッドトーンのポイントを具体的に設定することも可能です。
白	白の三角形をクリック&ドラッグするかクリックして、白のポイントを自動設定できます。フィールドに数値を入力するか、上下の矢印ボタンを使って、白のポイントを具体的に設定することもできます。
自動	黒、中間色、白のポイントを自動設定します。
カラーピッカー	カーソルを画像にドラッグして、ピッカーの現在の位置のRGB値を提供するカラーピッカーにカーソルを変更します。希望のトーンで画像をクリックして、対応するポイントを調整カーソルに追加します。

ソフト フォーカスを調整する

[ソフト フォーカス] ツールを使用して、画像にドリーミーな効果を付加することができます。ソフト化の効果は、全色域に対して、または画像の中間色に限定して適用することが可能です。ソフト フォーカス効果を画像の一部の色域に適用するか、または全体に適用するには、[トーンの幅] スライダーを使用します。



使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像にソフト フォーカスを追加するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. [ソフト フォーカス] グループで、下記説明に従い、調整します。

ソフト フォーカス オプション

強度	ソフト フォーカスの量を調整します。スライダーを右へ動かすほど効果が強くなります。
明るさ	スライダーを右へ動かすほど明るさが増します。
コントラスト	スライダーを右へ動かすほどコントラストが強くなります。
トーンの幅	スライダーを右へ動かすとソフト フォーカスのトーンの幅が増し、効果が及ぶシャドウ、中間調、ハイライトの幅が広くなります。スライダーを左へ動かすとトーンの幅が狭まり、効果が及ぶシャドウ、中間調、ハイライトの幅が狭くなります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

現像モードのエフェクトを適用する

現像モードでは画像に数多くの効果を適用できます。



設定した内容はプリセットとして保存し、後で再利用することができます。

写真エフェクト

写真効果のドロップダウンメニューを使用すると、画像にさまざまなフィルタをかけることができます。

写真効果を適用するには：

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで**写真効果**チェックボックスをオンにします。
3. 写真効果のドロップダウンメニューからフィルタを選択します。



不透明度スライダーとブレンドモードのドロップダウンメニューを使えば、選択した効果を画像にどのようにブレンドさせるかを調整できます。これらのツールにアクセスするには、写真効果のドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押します。

カラーオーバーレイ

カラーオーバーレイのドロップダウンメニューを使うと、画像に色を付けることができます。

画像に色を追加するには：

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで、**カラーオーバーレイ**チェックボックスをオンにします。
3. カラーオーバーレイのドロップダウンメニューから色を選択します。



不透明度スライダーとブレンドモードのドロップダウンメニューを使えば、選択した色を画像にどのようにブレンドさせるかを調整できます。これらのツールにアクセスするには、カラーオーバーレイのドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押します。

グラデーションマップ

グラデーションマップ効果を使用して、画像の暗い部分と明るい部分に色を追加できます。グラデーションマップ効果はひとつの色にシャドウをマップし、各ピクセルの明度に基づいて他の色にハイライトをマップします。画像の暗い部分に、明るい部分とはまったく違う色を与えることができます。

グラデーションマップ効果を適用するには：

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで、**グラデーションマップ**チェックボックスをオンにします。
3. シャドウのドロップダウンメニューで、画像の暗い領域に追加する色を指定します。ハイライトのドロップダウンメニューで、画像の明るい領域に追加する色を指定します。



不透明度スライドとブレンドモードのドロップダウンメニューを使えば、選択した色を画像にどのようにブレンドさせるかを調整できます。これらのツールにアクセスするには、ハイライトのドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押します。

グレインを追加

グレイン効果を使用すると、新聞に印刷されたような画像に仕上げることができます。グレインツールを他の効果と組み合わせて使用すると、全体をビンテージ仕上げにすることもできて便利です。

グレイン効果を適用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで、下の表を参考にしてグレイン追加設定を調整します。

グレインのオプション

グレインの度合い	グレインの強度を指定します。
グレインの平滑化	グレインの滑らかさを指定します。
グレイン サイズ	グレインのサイズを指定します。

クロス処理効果とロモ

80 年代、90 年代にフィルム写真で人気のあったテクニックで、フィルムを別の種類のフィルムのように処理するものです。クロスプロセスは写真の彩度とコントラストを強調し、色を黄緑がかったハイライトと青っぽいシャドウに色をシフトします。クロス処理 ツールを使うとこれらのレトロ効果をシミュレートすることができます。クロス処理を切り抜き後の周辺光量補正とあわせて使用すると、ロモと呼ばれる効果を作成できます。

クロス処理効果を適用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 効果グループで、クロス処理のスライドを右に移動させるとレトロ効果が強まります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

LUT を使用してカラーグレーディング

「カラー LUT」とはカラー ルックアップ テーブルの略です。カラー LUT は、特定の RGB 値を他の特定のカラー値にマッピングするように ACDSee や関連プログラムに指示するリストです。LUT をインポートして ACDSee でフィルタとして使用することができます。[編集モード](#)で LUT を作成することもでき、作成した LUT は現像モードで使用することができます。他の現像モードのフェクトと同じ方法でカラー LUT を適用できます。カラー LUT に対応しているファイルの種類は、.3DL と .CUBE です。

画像にカラー LUT を適用するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. [カラー LUT]グループで、次のいずれかを実行します。
 - ドロップダウンメニューから LUT を選択します。LUT が即座に適用されます。
 - [LUT のインポート]ボタンを押します。[開く]ダイアログで、LUT ファイルの場所を参照して[開く]を押します。

 インポートした LUT ファイルの場所が変更された場合、カラー LUT パネルでファイルをロードし直す必要があります。

カラー LUT を削除するには:

1. [カラー LUT]グループで、[LUT の削除]ボタンを押します。
2. [LUT の削除]ダイアログで、削除するLUTの横にあるチェックボックスをオン/オフにします。
3. [LUT の削除]を押します。

カラー LUT のリストを更新するには:

使用可能な LUT のリストを更新すると、移動または削除されたファイルがわかります。

[カラー LUT]グループで、[リストの更新]ボタンを押します。



編集モードで調整レイヤーを使用して作成されたカラー LUT は、現像モードの[カラー LUT]グループで自動的に使用可能になります。

現像モードでブレンドモードと不透明度を使用する

現像モードで効果グループのツールを使っているときに、ブレンドモードと不透明度ツールを調整して、画像への効果のブレンド状態をカスタマイズすることができます。

不透明度

不透明度スライダは、画像に施される効果の不透明度を変更します。施された効果が画像上でどれだけ表示されるかをコントロールします。効果のドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押すと、不透明度スライダにアクセスできます。

ブレンドモード

オリジナルの画像と現像済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「不透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

ノーマル	現像済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	現像済みの画像とオリジナル写真の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	現像済み画像とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	現像済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
焼きこみ	現像済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーバーレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差異	オリジナル画像の色から現像済み画像の色を減算します。現像済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
暗くする	オリジナル画像よりも暗い現像済み画像のピクセルを適用します。オリジナル画像よりも明るい現像済み画像のピクセルは消失します (RGB 値を基準にしています)。
明るくする	オリジナル画像よりも明るい現像済み画像のピクセルを適用します。オリジナル画像よりも暗い現像済み画像のピクセルは消失します (RGB 値を基準にしています)。
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。
色相	現像済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	現像済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
色	現像済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の明度を影響しません。
明度	現像済み画像の色の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	現像済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「不透明度」スライダーで斑点の強度をコントロールします。
除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からブレンド色を減算します。ブレンド色に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色 (ブレンド色によって決まる) を生成することで、画像のピクセルとブレンド色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態で残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態で残ります。
リニアライト	ブレンド色に応じて明るさの値を明るく、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。

ハードミックス	ブレンド色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像のRGB値に適用します。
減算	各チャンネルの画像（ベース）色からブレンド色を減算します。
除算	画像（ベース）色からブレンド色を除算します。
暗色	ブレンド色と画像（ベース）色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	ブレンド色と画像（ベース）色から、より高いチャンネル値が選択されます。

スプリットトーンを調整する

スプリットトーンはフィルム写真に元からある技術で、ハイライトとシャドウに薄い色をつけます。

【スプリットトーン】ツールは、ハイライトとシャドウの色相と彩度を調整して創造的な作品を可能にします。スライダーを使用してハイライトとシャドウの色相、彩度を調整します。スプリットトーンは ACDSee での RAW 現像や非破壊編集に創造的な要素を追加します。



設定した内容は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ハイライトとシャドウを調整するには：

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
2. スライダーをドラッグして、下表で説明されているハイライトおよびシャドウの調整を行います。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

調整オプション

ハイライト	
色相	スライダを右にドラッグしてハイライトする色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のハイライト部分の色の彩度を上げます。
シャドウ	
色相	スライダを右にドラッグしてシャドウの色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のシャドウ部分の色の彩度を上げます。
バランス	

スライダを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。例えば、スライダが最大値の50に設定されている場合は、ハイライト色は最大限に強調され、スライダのが最小値の-50に設定されている場合は、シャドウ色が最大限に強調されます。



セピアトーン効果を出すには、まず【アドバンスカラー】ツールで写真の彩度を落とした後、【スプリットトーン】ツールで赤茶の色相を適用します。わずかに色づけた白黒写真を作成することもできます。

トリミング後のビネットを追加

このツールは主題の周囲にフレームを追加します。枠線の外観をコントロールすることができます。このツールは、イメージをトリミングした後の仕上げとして使用してください。これにより画像のフォーカルポイントをより調整することができます。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ヴィネット効果を適用するには:

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
2. [切り取り後の周辺光量補正] から、以下の表を参考にして調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ヴィネットオプション

強度	スライダーを右にドラッグすると白いヴィネットを追加し、左にドラッグすると黒いヴィネットを追加します。
半径	ピクセルがソフトに調整される画像の四隅の距離を設定します。半径を大きくするほど、中央から効果の開始位置までの距離が遠くなります。
フェザリング	ヴィネットのエッジの柔らかさを調整します。スライダを右に動かすと、ヴィネット効果の柔らかさが増加します。
丸み	スライダを右に移動してヴィネットの丸みを増やすか、左に移動して減らします。

RAW ファイル用の出力色空間を選択する

RAW ファイルを現像する際、出力色空間を選択することができます。このオプションは、RAW ファイルでのみ有効になります。

RAW ファイルの出力色空間を調整するには:

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
ヒストグラムを使用して、画像に最適な出力色空間を探します。ヒストグラムは、各カラーチャンネルのピクセルレベルの強さをグラフィックに表します。グラフの両端に山がある場合は、白とびや黒つぶれが発生しています。クリッピングが発生しないように気をつけながら、最も広い色域を再現できる出力色空間を見つけるようにします。
2. [出力色空間] グループから、希望する色空間を選択します。
3. RAW ファイルを現像する際に同じ色空間を使いたい場合、希望する色空間を選択した後、**[既定に設定]** をクリックします。

 画像を保存する際、「埋め込まれたカラープロファイル」オプションが既定として選択されます。このオプションの選択を解除すると、出力色空間は画像に埋め込まれませんので注意してください。

ディテール タブについて

ディテール タブでは、画像をシャープにしたり、ノイズを削除することができます。

ディテール タブを使用するには:

1. 現像モードで **ディテール** タブを選択します。
2. 画像を現像するには、シャープニング、ノイズリダクション、スキントーン、または 色収差 グループを選択します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには：

1. **[完了]**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**：変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**：現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄**：変更を破棄します。
 - **キャンセル**：画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**[ツール] | [ACDSee オプション]** の現像モードページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには：

1. **[保存]**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **名前を付けて保存**：現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**：現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **エクスポート**：1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**：現像した画像をクリップボードにコピーします。(**[編集] | [コピー]** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには：

キャンセルをクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、**[保存]** は利用できません。

シャープネス

シャープネス ツールを使用して、画像の詳細を引き出したり、クリアに仕上げたりすることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像をシャープにするには：

1. 現像モードで**ディテール** タブを選択します。
2. **[シャープネス]** グループで、以下の説明を参考にしてスライダを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

シャープネス オプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が粗くなり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細くなります。
マスク	ノイズやテクスチャのシャープネスを抑えながらエッジを対象にします。マスクの適用領域を表示するには、マスクスライダーを動かしながら、 Alt キーを押します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増加します。
ディテール	強度を減らすことにより光輪(極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の枠線)を抑えます。値が大きいほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズを増やすことになります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。



詳細ペイン上部にある**[プレビューウィンドウ]**で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。



シャープネスグループの**[設定]**ボタンをクリックし、**[新しいデフォルトを保存する]**を選択し、RAW ファイルのデフォルトのシャープネスを設定します。

ノイズを除去する

ノイズリダクションツールは、高いISO設定または長時間露光によって引き起こされる画像のノイズを低減します。



調整した設定を今後使えるよう**プリセット**として保存します。



もしACDSee 究極が、ACDSee 究極 2021以前で作成されたノイズ低減開発設定を読み込む場合、ノイズ低減開発設定はレガシー設定を使用して追加され、レガシーアルゴリズムが実行されます。読み込み操作は画像を変更しません。新しいスライダーは読み込まれますが、**明度**と**色**のレガシースライダーのみが有効になり、新しいスライダーは無効になります。レガシースライダーが動かされた場合、新しいアルゴリズムが動作し、新しいスライダーが有効になります。その後、追加のスライダーを使用して、画像を再調整することができます。



現在のバージョンで作成されたノイズ低減開発設定を含む開発ファイルは、ACDSee 究極 2021以前では読み込めません。

画像からノイズを除去するには:

1. **現像**モードで**詳細**タブを選択します。
2. **[ノイズ除去]**グループで、以下を参考にしてスライダを調整します。

ノイズ除去 オプション

デフォルトに戻す		グループをデフォルト設定 にリセットします。
このグループの現像設定を調整		現像設定 メニューを開くと、最後に保存した設定をリセットしたり、最後に使用した設定のプリセットを適用したり、オプションをコピー・貼り付けしたりできます。
このグループのアクティブ化		画像設定に変更が加えられた場合は、グループアイコンを切り替えて、青いアクティブアイコンの変更と、非アクティブな灰色アイコンの元の画像を表示します。画像設定に加えられた変更は、元の設定と変更されたものを比較するために保持されます。
輝度		スライダを右にドラッグして、ライティングのノイズを目立たなくさせます。画像のノイズに比例した設定を適用し、プレビューウィンドで、ノイズ除去によってディテールが失われていないかを確認します。 Altキー を押しながらスライダをドラッグすると、画像に残っているノイズを確認できます。
強度		スライダを右にドラッグして、ノイズ除去をどの程度の強さで実行するかを決定します。輝度と強度のバランスをうまく取ってディテールが失われないようにしてください。
カラーノイズの低減		スライダを右にドラッグして、画像のカラーノイズを除去します。 Altキー を押しながらスライダをドラッグすると、画像に残っているカラーノイズを確認できます。
色調範囲		色調範囲とは、画像の平均輝度値の範囲を指します。たとえば、暗い洞窟で撮影された写真の色調範囲は低くなりますが、晴れた空は高くなります。 [色調範囲]スライダーの値は、左から右に向かって増加し、左側の低い色調範囲から右側の高い色調範囲に増加します。[色調範囲]スライダーは、対応する色調範囲を持つ画像の領域にノイズリダクションの焦点を合わせるために使用されます。たとえば、一番左の位置は、空よりも洞窟のノイズを減らします。 色調範囲は、輝度ノイズリダクションにのみ影響します。
周波数範囲		周波数範囲 スライダーは、ノイズパターンを調整します。高周波ノイズは細かい静的ノイズのように見えますが、低周波ノイズは粗い粒子または「斑点」のように見えます。周波数範囲 スライダーを左に動かして、ノイズリダクションを高周波ノイズに制限します。 周波数範囲は、輝度とカラーノイズの両方の低減に影響します。

RAW ノイズリダクションのデフォルト

RAW ファイルの場合のみ、下の画像に示すように、**ノイズ推定** ツールのスライダー値にはデフォルト値があります。



新しいデフォルト値を保存するか、**ノイズ推定** ツールのデフォルト値をリセットするには、設定アイコン  をクリックして、メニューから**[新しいデフォルトの保存]**または**[デフォルトのリセット]**を選択します。



詳細ペイン上部にある**[プレビューウィンドウ]**で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スキントーンを調整する

[スキントーン] ツールを使用して、肌の色合いを調整したり、しみや傷を取り除いたりできます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

肌の色合いを補正するには：

1. 現像モードで**ディテール** タブを選択します。
2. [スキントーン] パネルで、下の表を参考にして設定を調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スキン調整 オプション

平滑化	肌のきめの質感を抑えて滑らかにします。
グロー	肌を少し滑らかにしつつ、明るくします。
半径	効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。スライダを左へ動かすと細かなディテールが強調されます。効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。

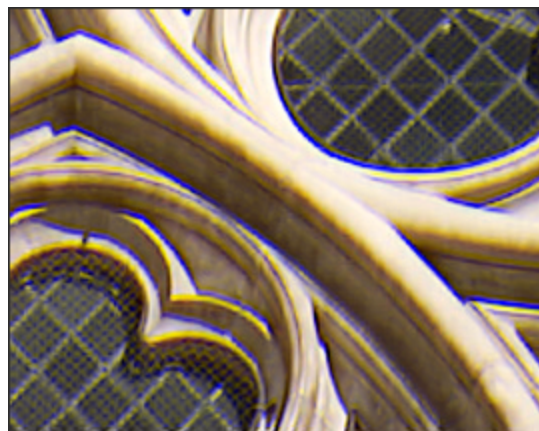


詳細ペイン上部にある**[プレビューウィンドウ]**で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。

色収差の補正

色収差とはレンズによって生じるもので、ハイコントラストの領域でフリッジが発生します。カメラのレンズは光の波長によって焦点距離が変わるので、写真ではハイコントラスト領域の境界でカラーフリッジやカラーラインが発生します。またパープル フリッジは、レンズの前に明るいスポットがある場合に発生します。

このズーム画像は、青/黄色のフリッジ発生 の例です。



現像モードの[フリッジ除去]ツールと[色収差の補正]ツールを使用して、カラー フリッジを抑えることができます。特に建築物のディテールを撮影した写真に便利です。最高の仕上がりを得るには、まず[色収差の補正]スライダを調整してから、[フリッジ除去]スライダを調整するのがおすすめです。



設定した内容は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のフリッジを除去するには:

1. 現像モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [色収差の補正] グループで、以下を参照してスライダを調整します。



スライダーを右 クリックすると既定値に戻します。

色収差の補正オプション

赤/シアン の補正	赤とシアンのチャンネルを調整して、赤/シアンのフリッジを減らします。
青/黄色 の補正	青と黄色のチャンネルを調整して、青/黄色のフリッジを減らします。

フリッジ除去 オプション

フリッジ除去の強度	ハイコントラストのエッジから除去したいフリッジ色の量を調整します。値を0にすると、フリッジ除去がオフになります。
フリッジ除去の半径	フリッジ除去するエッジの周辺のピクセル数を調整します。
色	ハイコントラストのエッジから除去する色を調整します。



詳細ペイン上部にある **[プレビューウィンドウ]** で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビュー ウィンドウが表示するエリアを変更します。

ジオメトリタブについて

ジオメトリタブでは、レンズの歪みや遠近を補正したり、画像を回転させたり画像の傾きを直したりすることができます。トリミング ツールで画像の構成を変更することもできます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ジオメトリ タブを使用するには:

1. 現像モードで**ジオメトリ**タブを選択します。
2. [レンズ補正]、[回転&傾きを直す]、[遠近法]、[トリミング]、[ピネット補正]グループを選択して、画像を現像します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. [**完了**]をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存:** 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存:** 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄:** 変更を破棄します。
 - **キャンセル:** 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、[**ツール**] | [**ACDSee オプション**] の現像モードページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. [**保存**]をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **名前を付けて保存:** 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存:** 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **エクスポート:** 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー:** 現像した画像をクリップボードにコピーします。([**編集**] | [**コピー**] に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセルをクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、[**保存**] は利用できません。



ACDSee はジオメトリの歪みを修正するタグを含む DNG ファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ 4/3rds カメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することがあります。

レンズの歪みを補正する

デジタル写真の樽形歪みと糸巻き形歪みは修正することができます。パレル歪みでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。樽形歪みと糸巻き形歪みは、広角レンズやズームレンズで撮影した写真でよく起きます。

ACDSee では、[手動補正] スライダーで手動補正を行うことができます。また、レンズプロファイルからレンズ補正を有効化することもできます。画像の撮影に使用したカメラのメーカー、モデル、レンズを選択すると実行できます。レンズ補正ツールによって、使用したレンズ固有の歪みに基づいた自動調整が行われます。また、画像ごとに手動でレンズ補正をすることもできます。EXIF プロファイルにレンズプロファイルをマップしてしまえば、その EXIF 情報に基づいて、画像の撮影に使用されたカメラの [メーカー] と [モデル] ドロップダウンメニューがあらかじめ入力されます。[レンズ補正] ツールには、カメラのメーカー、モデル、対応するレンズのデータベースが入っています。選択したカメラに対応するレンズは [レンズ] ドロップダウンメニューから選択できます。ただし対応するレンズが1つしかない場合は、初めからそのレンズが選択された状態になります。

使用されたレンズの名前は画像の EXIF 情報で確認できます。ただしサードパーティ製レンズの場合、カメラ自体が ID 番号としてしか認識しない場合があるため、EXIF で表示されるレンズ値は信頼できません。可能な場合は正確なレンズ値を復元して、[レンズ] ドロップダウンメニューから選択します。

レンズ固有の補正、(レンズプロファイル) を、カメラメーカー、モデル、レンズの組み合わせにマップすることもできます。レンズプロファイルをマップすることで、[現像] モードの [レンズ補正] ツールで開く際に、カメラとレンズの組み合わせが同じ画像すべてに補正を適用することもできます。

[手動補正] スライダーは、自動補正後、またはそれ自体による手動補正に対し、さらに調整を加えることができます。

使用できる場合は、レンズプロファイルを用いて色収差を補正することもできます。



設定した内容は プリセット として保存し、後で再利用することができます。



使用できるレンズプロファイルは、Lensfun からすぐに確認できます。

レンズプロファイルを使用してレンズの歪みを修正するには:

1. 現像モードでジオメトリタブを選択します。
2. [レンズ補正] グループで、[レンズプロファイルを有効にする] チェックボックスを選択します。
3. 表示されているカメラのメーカーとモデルが正しくない場合は、[メーカー] と [モデル] のドロップダウンメニューから正しいものを選択します。
4. レンズ ドロップダウンメニューから、画像の撮影に使用したレンズを選択します。この情報は [現像] モード右下隅にある [EXIF] パネルに表示されます。補正は自動的に行われます。
5. 追加で調整を行いたい場合は、[手動補正] スライダーを左に動かすと膨張効果が適用され、右に動かすと画像のエッジが引き延ばされます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[グリッドの表示] アイコン  をクリックすると、画像上にグリッドを表示されます。このツールは、画像の位置を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

後で使用できるようにレンズプロファイルをデフォルトとして保存するには:

カメラとレンズの組み合わせの補正プロファイルを保存して、同じカメラ/レンズの組み合わせで撮影された他の画像にデフォルトとして使用することができます。これにより、[レンズ補正] ツールで特定のカメラメーカー、モデル、レンズの組み合わせから画像を開くと、そのカメラに

マップしたレンズが [レンズ] フィールドに常に自動入力されるようになります。[現像] モード開始と同時に、同じカメラ/レンズの組み合わせで撮影された他の画像に対して、このレンズプロフィールを自動的に適用することもできます。



この機能は EXIF データに依存しているため、主に JPEG、DNG、RAW、TIFF 画像で実行することができます。

1. [メーカー]、[モデル]、[レンズ] ドロップダウンメニューで希望のカメラとレンズの組み合わせを選択して、[デフォルトマッピング] ボタンを押します。
2. [現像モード開始時にこのマップ済みプロフィールを自動適用] チェックボックスをオンにすると、[現像] モード開始と同時に、このマップ済みデフォルトが他の画像にも適用されます。
3. [デフォルトマッピング] ダイアログボックスで、[OK] を押して保存するか、[キャンセル] を押して中止します。

保存済みのデフォルトを管理するには:

1. [デフォルトの管理] ボタンを押します。
2. [マップ済みデフォルトの管理] ダイアログボックスで次のいずれかを実行します。
 - [マップ済みデフォルトの管理] ダイアログボックスでデフォルトを選択し、[マップ済みデフォルトを削除] ボタンを押します。
 - [現像モード開始時に選択したマップ済みプロフィールを自動適用] チェックボックスをオンにすると、[現像] モード開始と同時に、同じカメラ/レンズの組み合わせで撮影される画像に対して、選択したマップ済みデフォルトが適用されます。
3. [OK] を押して続行するか、[キャンセル] を押してマップ済みデフォルトを保持します。

レンズ プロファイルを使用して色収差を修正するには:

色収差は使用したレンズの特性が原因で発生します。そのため、レンズ プロファイルを使用して自動的に補正することができます。選択したレンズに対応する色収差補正が利用できる場合、[色収差] チェックボックスがオンになります。

1. 現像モードでジオメトリタブを選択します。
2. [レンズ補正] グループで、[レンズプロフィールを有効にする] チェックボックスを選択します。
3. 色収差のチェックボックスをオンにします。
4. [詳細] タブをクリックして補正した画像を確認します。



[色収差] チェックボックスをオンにしてレンズプロフィールを保存し、常に色収差が補正されるようにします。

回転 & 傾きを直す

現像モードでは、自由設定の角度で画像を回転して、傾いている画像をまっすぐに補正することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

傾いている画像を補正するには:

1. 現像モードでジオメトリタブを選択します。
2. [回転および傾きを直す] グループで、下表に従い、画像を調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[グリッドの表示]アイコン  をクリックすると、画像上にグリッドを表示されます。このツールは、画像の位置を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

回転オプション

左に **90 度** 画像を左に 90 度回転します。



右に **90 度** 画像を右に 90 度回転します。



傾きを直すオプション

スライド 画像の水平線の角度を調整します。画像がまっすぐに見えるようになるまで、スライドを左右に動かします。

左に **-5 度** 画像を左に -5 度回転します。



右に **+5 度** 画像を右に +5 度回転します。



傾きを直す ツール 画像の傾きを直します。カーソルを使って、傾いている水平線を正すように線を描きます。カーソルをリリースすると水平線が自動的に直され、画像の傾きが修正されます。



透視を補正する

被写体に対して、カメラを水平あるいは垂直に構えない状態で撮影された場合に発生する透視問題は、ワイドアングルのレンズでの撮影でよく見られます。例えば、高層ビルを道の下から見上げた状態で撮影すると、ビルが傾いているように見えてしまいます。これらの問題は、「透視」グループのオプションを使用して補正することができます。



設定した内容は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

透視を補正するには:

1. 現像モードで **ジオメトリ** タブを選択します。
2. 下の一覧を参照して、[透視] グループのオプションを設定します。



[グリッドの表示]アイコン  をクリックすると、画像上にグリッドを表示されます。このツールは、画像の位置を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

透視 オプション

上下	スライダを左右にドラッグして、垂直軸で画像の中心となる位置を指定します。
左右	左右スライダを左右にドラッグして、水平軸で画像の中心となる位置を指定します。
上下シアー効果	スライダを左右にドラッグして、垂直軸および斜め軸で画像の中心となる位置を指定します。
左右シアー効果	スライダを左右にドラッグして、水平軸および斜め軸で画像の中心となる位置を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

トリミング

トリミングツールを使用して、画像の不要な部分を除去したり、画像キャンバスを特定のサイズに縮小したりすることができます。



設定した内容は**プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

画像をトリミングするには:

1. 現像モードで**ジオメトリ**タブを選択します。
2. トリミンググループで、トリミングウィンドウの**サイズを変更**し、切り取りたい画像の部分に配置します。詳細については以下をご覧ください。



[トリミング画像のプレビュー]ボタンをクリックするか、**E**を押して、トリミングした画像のプレビューを表示します。



[グリッドの表示]アイコンをクリックすると、画像上にグリッドが表示されます。このツールは、画像の位置を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます.

トリミング ウィンドウのサイズを変更する

トリミング ウィンドウのサイズを変更する方法は次のとおりです。

- ・ トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望のサイズに変更する。
- ・ トリミング ウィンドウのサイズをインチで指定する。
- ・ トリミング ウィンドウの縦横比の比率を利用する。
- ・ 矢印キーを使用してトリミング ウィンドウのサイズを変更する。

ドラッグしてトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

1. トリミングウィンドウの端または角にマウス ポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
2. トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング領域を最大化するには:

1. [トリミング領域の最大化]をクリックします。トリミング領域が画像の外枠に向かって最大表示されます。
2. トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング ウィンドウのサイズを正確に指定するには:

1. **[幅]**と**[高さ]**のスピンボックスに希望のトリミング ウィンドウの比率を入力します。
2. **[単位]**ドロップダウン リストから、寸法の単位を選択します。
3. **[ドット/インチ]**スピンボックスで、解像度を指定します。

トリミング ウィンドウの縦横比を指定してサイズを変更するには:

1. **[縦横比の設定]**チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウン リストから、縦横比を選択します。
3. トリミング ウィンドウの端にカーソルを合わせ、カーソルが双方向矢印に変わったら、トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

縦横比を解除するには:

1. **[縦横比の設定]**ドロップダウン リストから、縦横比を選択します。
2. ドロップダウン リストの隣にある下矢印 ボタンをクリックし、**[削除]**を選択します。
3. **[はい]**をクリックします。

縦横比を既定に設定するには:

1. **[縦横比の設定]**チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウン リストから、縦横比を選択します。
3. ドロップダウン リストの隣にある下矢印 ボタンをクリックし、**[既定に設定]**を選択します。

トリミング オプション

縦横比の設定	このオプションを選択すると、トリミング領域を特定の縦横比にすることができま す。ドロップダウン リストから縦横比を選択します。
トリミング領域の最大化	トリミング領域をクリックして画像全体に広がったら、トリミング ウィンドウの端をク リック & ドラッグして調整します。トリミング領域を選択し直すには、 [トリミング領 域の最大化] ボタンをクリックして画像全体に広げてから、トリミング領域の調 整を行います。
トリミング領域の回転 	クリックしてトリミング領域を回転します。

レンズのヴィネット補正

ヴィネットは、画像の四隅に見られる暗い領域で、カメラのレンズが画像の隅々まで必要な光を取り込めないことによって発生します。レ
ンズのヴィネット補正は、「処理」モードの「ヴィネット補正」を使用して、画像の四隅を明るくすることで補正することが可能です。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

ヴィネットを補正するには:

1. 現像モードで**ジオメトリ**タブを選択します。
2. **[ヴィネット補正]**グループで、下の表を参照にして画像を調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ヴィネット補正 オプション

強度	ヴェネット補正される、画像の四隅の量を調整します。
半径	ピクセルが明るく調整される画像の四隅の距離を設定します。値が高くなるほど、画像の中心に近いピクセルが明るくなります。



【グリッドの表示】アイコン  をクリックすると、画像上にグリッドを表示されます。このツールは、画像の位置を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

修復タブについて

修復タブでは、赤目補正を行って画像を修復することができます。

【修復】タブを使用するには：

1. 現像モードで**修復**タブを選択します。
2. **赤目補正**または**修復**ツールを選択します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには：

1. **完了**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**：変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**：現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄**：変更を破棄します。
 - **キャンセル**：画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**【ツール】 | 【ACDSee オプション】** の現像モードページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには：

1. **保存**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **名前を付けて保存**：現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**：現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **エクスポート**：1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**：現像した画像をクリップボードにコピーします。（**【編集】 | 【コピー】** に移動します。）



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセルをクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、[保存] は利用できません。

赤目を補正する

現像モードの [赤目補正] ツールを使用して、デジタル画像の赤目を補正することができます。[赤目補正] ツールは、赤いピクセルだけを対象にし、周囲のピクセルに影響を及ぼすことはありません。

赤目を補正するには:

1. 現像モードで**修復**タブを選択します。
2. 右上部のズームツールを使用して、補正したい目を拡大し、センタリングします。
3. 目の赤い部分をクリックします。
4. [赤目補正] グループで、下記説明に従い、スライダを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

赤目補正のオプション

サイズ

スライダを右に移動すると、暗くする領域の広さが広くなり、左に移動すると、小さくなります。

暗くする

スライダを右に動かし、目の補正部分が暗くします。

赤目補正は必要な場所すべてに適用できます。画像上でクリックするだけで、補正箇所を追加することができます。補正箇所は追加後に、ドラッグして移動したり、**Delete** キーで削除することが可能です。



暗くしたい領域の広さは、マウスをスクロールすることにより、あとで修正することができます。



赤目補正グループの左上隅にある目のボタンをクリックすることにより、補正箇所表示/非表示の切り替えをすることができます。



Delete キーで、設定した赤目補正を削除することができます。

画像を修復する

[画像の修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を補正することができます。

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ

- レンズ上のキズや水の雫
- センサーについたほりによる影

修整ツールとして利用可能な3つのオプション: ヒーリングブラシ、ブレンドクローニングツール、およびクローンブラシ。

[美肌効果] ツールは画像の一部を別の領域にコピーしますが、コピーする前にソース元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析してから、その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、その周りの領域としっかりなじむことになります。[ヒーリングブラシ]は、肌や毛皮など、複雑な質感を含む写真に使用すると特に効果的です。

[クローン] ツールは、正確なピクセルを写真の一部の領域から他の領域にコピーするためのツールで、同一の画像領域を作成することになります。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。これは完成した写真に、全く同じピクセルを再現するのが難しいためです。

[ブレンドクローン] ツールを選択すると、[修正ツール]が写真の一部からピクセルを別の領域に正確にコピーしますが、実行前にコピー先のピクセルを分析し、コピーしたピクセルとブレンドします。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。



最高の結果を得るためには、ヒーリングブラシを使用する前に画像に幾何学的な操作を行います。

画像を補整するには:

1. 現像モードの[補正]グループにある[修復]タブで、次の操作を行ってください:

- **ヒール:** コピー元の領域からコピー先の領域へピクセルをコピーし、コピー先の領域周辺のピクセルとなじませます。
- **クローン:** コピー元の領域からコピー先の領域にピクセルをコピーします。
- **ブレンドクローン:** コピー元の領域からコピー先の領域にピクセルをコピーし、コピー先の領域のピクセルを分析して、コピーしたピクセルとなじませます。



画像を右クリックしてソース領域を設定し、カーソル内にソース領域のプレビューを表示します。

2. 以下の表の説明に従い、[ペン先の幅]と[フェザリング]スライダをドラッグします。
3. 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。
4. コピーしたい領域をクリック&ドラッグします。美肌効果ブラシを選択した場合、マウスボタンを離した際にACDSee 究極にてピクセルの分析と置き換えが行われます。ブレンドクローンツールを選択した場合、マウスボタンを離した際に、ACDSee 究極にてピクセルの分析と置き換えとブレンドが行われます。
5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了]をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。



マウスをスクロールして作業しながらブラシサイズを調整するか、スクロール中に**Shift** キーを押してフェザリングを調整します。



正確なプレビューが表示するには、クローンを加えるとき、画像を **100%** で拡大して編集してください。



赤目補正および現像ブラシやグラデーションなどその他の調整に、美肌効果やクローンをすることはできません。

直線を描画する:

修復ツールのいずれかを使用中に **Shift** キーを押し続けると、水平または垂直の線を描画できます。例えば、**Shift** キーを押したまま水平にクリックしてドラッグすると、キーを押している間、カーソルは水平方向のみに固定されます。**Shift** キーを放すと、フリーハンドのブラ

シ操作に戻ります。同じ線を描画している最中に、**Shift** キーを放してフリーハンドに戻し、再度 キーを押してブラシの固定と解除を自由に行うことも可能です。

斜めを描画する:

修復ツールのいずれかを使用して、画像上に2つのポイントを指定することで、直線の斜めを描画できます。線の開始位置にカーソルを合わせ、**Shift** キーを押しながら画像上で**左クリック**してポイントを作成します。**Shift** キーを放し、線の終点となる位置にブラシを移動させ、再度 **Shift** キーを押しながら**左クリック**して2つ目のポイントを作成します。これら2つのポイントの間に直線が描画されます。

修整 ツールオプション

ブラシの幅を設定します。

ブラシの幅を設定します。ブラシの幅の最大値は、画像のサイズに相対します。

フェザリング

ブラシの端に適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。

フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の割合として設定されます。つまり、ペン先の幅をリセットしても、新規のペン先の幅の割合にフェザリングが自動調整されることになります。このオプションは、[ブレンドクローン]ツールでは使用できません。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

章 7: 編集モード

編集モードでは RGB 画像データの微調整を行うことができます。編集モードのツールを使用すると、画像の一部にさまざまな編集を追加することができます。

【編集】モードでは次の作業が可能です:

- [選択範囲ツール](#)を使用して、選択範囲を作成し、画像の一部に編集を適用します。
- [編集ブラシ](#)を使用する
- [ピクセルターゲット](#)を使用すると、特定のピクセルのカラーとトーンを対象として調整、選択、マスキングを行うことができます。
- [\[レイヤー\]ペイン](#)を使用する
- [AI顔編集を適用](#)、[空の置き換え](#)、[欠陥の削除](#)、[赤目](#)、[肌の色合い](#)を調整します。
- [透かし](#)、[枠](#)、[ピネット](#)、[チルトシフト](#)、[粒子効果](#)、[特殊効果](#)、および[描画ツール](#)を追加します。
- [トリミング](#)、[反転](#)、[サイズ変更](#)、[回転](#)、[液状化](#)、[遠近の補正](#)、[樽形歪みと糸巻き形歪み](#)は、[レンズの歪み補正](#)。
- [露出](#)、[レベル](#)、[自動レベル](#)、[トーンカーブ](#)、[Light EQ™](#)、[デヘイズ](#)、[覆い焼きおよび焼き込み](#)フィルターを使用して照明を調整します。
- [ホワイトバランス](#)、[カラー EQ](#)、[カラーホイール](#)、[トーンホイール](#)、[モノクロへの変換](#)、[スプリットトーン](#)、および[カラー LUT](#)を使用した色調整を行います。
- [シャープネス](#)、[ぼかし](#)、[ノイズ除去](#)、[ノイズ追加](#)、[ディテールブラシ](#)、または[明瞭度](#)フィルターを使用してディテールの調整を行います、[色収差](#)を補正します。

編集モードを使用する

現像モードで非破壊処理ツールを利用した画像修整を完了した後、最終的な画像の微調整を行うのが編集モードです。このモードでは、赤目補正や特殊効果など、ピクセルベースの編集を行うツールが用意されており、選択範囲ツールを使って、画像の一部を調整することができます。

現像モードから編集モードへの切り替え

ある画像を現像モードから編集モードへ切り替えても、オリジナルの画像が変わることはありません。変更はオリジナルの画像とは別のファイルに保存されますので、オリジナル画像や現像済み状態までいつでも戻すことができます。変更がどのように保存されるかについての詳細は、[ACDSee 究極で画像の変更がどのように保存されるか](#)をご確認ください。

画像を編集する

画像の編集:

1. 「**編集**」モードを選択します。
2. 次のいずれかを行います。
 - パネルの上部で、[選択](#)や[描画ツール](#)を使用します。
 - レイヤーを操作するために、[レイヤーパネル](#)を開きます。
 - AIグループで、[デノイズ](#)、[顔編集](#)、または [空の置き換え](#) をクリックします。

- 「強化」グループの中で、[AIフェイスエディット](#)、[赤目除去](#)、[スキンチューン](#)、[修復ツール](#)をクリックします。
- 「追加」グループの中で、[ウォーターマーク](#)、[枠線](#)、[ヴィネット](#)、[チルトシフト](#)、[グレイン](#)、または特殊効果をクリックして効果を選択します。
- 「ジオメトリ」グループの中で、[回転](#)、[反転](#)、[切り抜き](#)、[リキファイ](#)、[透視補正](#)、[レンズ補正](#)、[レンズ歪み補正](#)、[サイズ変更](#)をクリックします。
- 「露出/照明」グループの中で、[露出](#)、[レベル](#)、[オートレベル](#)、[トーンカーブ](#)、[ライトEQ™](#)、[デヘーズ](#)、[ドッジ& バーン](#)をクリックします。
- 「カラー」グループの中で、[ホワイトバランス](#)、[カラーホイール](#)、[トーンホイール](#)、[カラーEQ](#)、[モノクロへの変換](#)、[スプリットトーン](#)、[カラーLUT](#)をクリックします。
- 「ディテール」グループの中で、[シャープ](#)、[ぼかし](#)、[クリアリティ](#)、[ディテールブラシ](#)、[色収差](#)、またはノイズを[除去](#)または[追加](#)するためにノイズをクリックします。

3. 画像を保存するためのいくつかのオプションがあります。詳細については、[編集での画像の保存](#)を参照してください。



[ピクセルターゲット](#)を使って特定のトーンまたはカラーに限定して、調整を加えることができます。

現像設定またはオリジナルの設定に戻す

編集設定を破棄して現像設定またはオリジナルの設定に戻すことができます。画像を元に戻すには、[オリジナルの設定または現像済み設定に復元する](#)のトピックを参照してください。

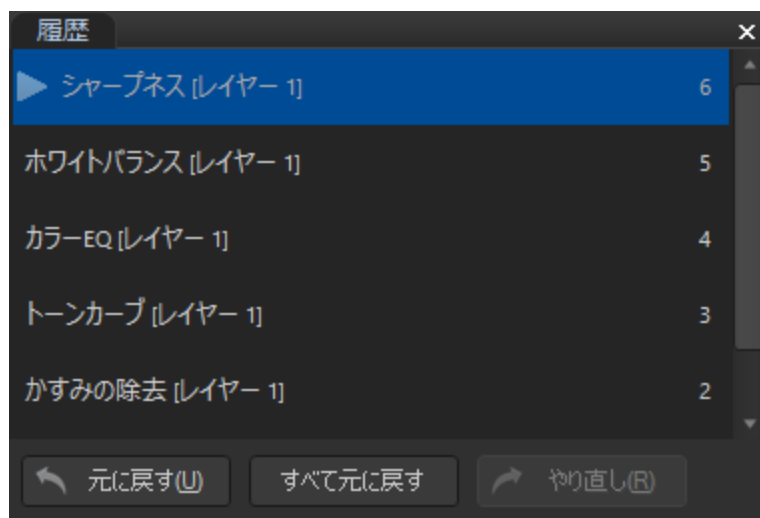
元に戻す、やり直し

履歴ペインを使用する:

履歴ペインを使用して、画像に施した一連の変更を表示することができます。履歴ペインを使用すれば、編集履歴の任意の変更を選択して、画像をその変更が適用される前の状態に戻すことができます。例えば、カラーの調整をした後シャープネスを編集し、次に露出を調整するなど複数の調整を連続して適用した場合に、いくつかの編集を遡ってカラー調整だけした状態の画像に戻したいときなどは、編集モードの履歴ペインを使うことができます。

履歴ペインを開くには、**[ペイン] > [履歴]** をクリックします。

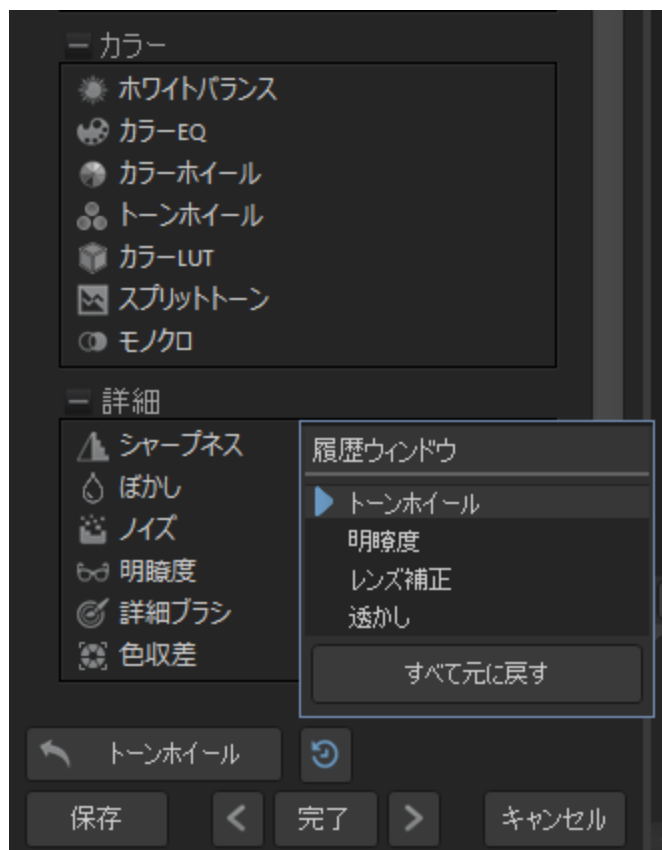
特定の調整に戻すには、ペイン内で希望する調整を選択してダブルクリックします。または、**[すべて元に戻す]** を選択して、行った調整すべてを一度に元に戻すこともできます。



編集モードの履歴ウィンドウ:

編集モードにある履歴ウィンドウで、画像に行った一連の変更を表示して確認することができます。履歴ペインを使用すれば、編集履歴の任意の変更を選択して、画像をその変更が適用される前の状態に戻すことができます。例えば、カラーの調整をした後シャープネスを編集し、次に露出を調整するなど複数の調整を連続して適用した場合に、いくつかの編集を選んでカラー調整だけした状態の画像に戻りたいときなどは、編集モードの履歴ウィンドウを使うことができます。

特定の調整に戻すには、編集モードパネルの下方にある履歴ウィンドウの矢印を選択して、戻したい調整を選択してダブルクリックします。リストにある調整はどれでも選択することができますし、すべて元に戻すを選択して行った調整を、**すべてを一度に元に戻す**こともできます。



AI アクション / ヒストグラム / カラーペイン

AI アクションヒストグラム/色ペインは、取り消し/やり直し設定ペインの下、レイヤー/調整ペインの上にあり、3つのタブで構成されています：

- [AI アクションタブ](#)
- [ヒストグラムタブ](#)
- [カラータブ](#)

AI アクションタブ

AI アクションタブには、一般的なタスクをワンクリックで実行するためのビルド済みツールが含まれています。**AI アクション**のオプションは以下の通りです。

AI アクションタブのオプション

デノイズ	画像内のノイズを低減します。
被写体を選択	被写体のみを選択します。
空を選択	空を選択します。
髪を選択	被写体の髪の毛のみを選択します。
背景を選択	画像の背景を選択します。
背景を削除	クリックするとマスクで被写体を分離し、背景を削除します。被写体は選択されません。
背景をぼかす	クリックすると、背景をぼかすためのマスク付き調整レイヤーが作成されます。被写体は選択されません。
背景をモノクロにする	クリックするとマスク付き調整レイヤーが作成され、カラーの背景をモノクロに変更できます。被写体は選択されません。

ヒストグラム・タブ

ヒストグラムは、画像内の各色チャンネルの色強度の分布を表すグラフです。ヒストグラムは、各色チャンネル内のピクセルの強度レベルをグラフィカルに表現します。グラフの両端にあるスパイクは、色が切れていることを示します。ヒストグラムを開いておくと、最近行ったすべての調整がヒストグラムに反映されるため、露出を調整するときに特に便利です。

ヒストグラムを表示し使用するには

1. メインメニューから**ペイン | ヒストグラム**を選択する。
2. **ヒストグラム**タブで、以下のチェックボックスを有効または無効にします：
 - **R**: 赤のカラーチャンネルを表示または非表示にする。
 - **G**: 緑のカラーチャンネルを表示または非表示にする。
 - **B**: 青色チャンネルの表示 / 非表示。
 - **L**: 画像の明るさを照明または非表示にする。

カラータブ

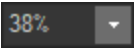
色タブは、色の値を選択するために使用できる色選択ツールで構成されています。スライダーを使用して色の種類を変更し、カラーウィンドウ内でセレクトを移動して色を選択します。

色選択ツールを使う

1. いずれかの描画ツールを選択した状態で、**色**タブの色スライダーを調節して、希望の色グループを見つけます。
2. 隣の色窓でカーソルを動かして、色の選択を微調整する。
3. 描画ツールを使って、選択した色が画像に適用されるのを確認する。

ヒストグラムと画像の表示コントロールについて

画像の編集に、モードの右下に位置しているズームコントロールを調整して、画像の表示を拡大/縮小することができます。

ヒストグラム		現在の画像のヒストグラムプレビューを表示します。ヒストグラムは、各カラーチャンネルのピクセルレベルの強さをグラフィックに表します。グラフの両端に山がある場合は、白とびや黒つぶれが発生しています。カラーチャンネルの調整がプレビューに反映されるため、ヒストグラムは特に露出を調整する場合に便利です。 [ペイン] > [ヒストグラム] を選択してヒストグラムを表示することも可能です。
元に戻す/やり直し		[元に戻す] は、現在開かれているタブで行われたすべての変更を破棄します。[やり直し] は、[元に戻す] をクリックする前に選択されたオプションに戻ります。編集モードでは、[元に戻す] および [やり直し] ボタンが表示されている場合、それぞれの操作を行うが可能です。
リセット		リセットボタンをクリックして画像を既定設定に戻します。
画面に合わせて表示		画像をフルスクリーンで表示します。F キーで全画面表示、再度押すと編集モードに戻ります。
原寸サイズ	1:1	現行の画像を原寸に戻します。
ナビゲーターペイン		自動ウィンドウ: 自動ウィンドウが有効な場合、画像を拡大すると同時にナビゲーターペインが表示されます。表示されたら、拡大したい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。  ナビゲーターペインを右クリックして自動から手動へ切り替えます。 手動ウィンドウ: 手動ウィンドウが有効な場合、ナビゲーターアイコンを選択すると、ナビゲーターペインが表示されます。 ナビゲーターアイコンは、画像が拡大されている場合または、実寸表示アイコンがクリックされた場合にのみ表示されます。ナビゲーターアイコンをクリックしてホールドすると、画像の小さな複製が表示されます。拡大して見たい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。  ナビゲーターアイコンを右クリックして、手動から自動へ切り替えます。
ウィンドウに合わせて表示する		編集モードの領域に合わせて画像を縮小します。
前の画像の表示		変更をオン/オフで切り替えて、最後に保存した画像と現在の画像を比較することができます。
ズーム スライダー		右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。
ズーム ドロップダウンリスト		ドロップダウンリストから、希望のズームを選択します。

編集モードでのカラーピッカーの使用

編集モードでカラーピッカーを使用する場合、カラーピッカーの横のRGB値は、新しく保存されていない編集の前の画像に関連しています。ページ下部のステータスバーには編集中の画像の最新のRGB値を確認できます。

元に戻す/やり直しボタンを使用する

画像の編集では、画像の変更を元に戻したり、やり直すことができます。

変更を元に戻すには:

[編集] モードで次のいずれかの操作を行います:

- 左のペインの下部にある**[元に戻す]**ボタンをクリックします。
- キーボードショートカット **CTRL + Z**を押します。

変更をやり直すには:

[編集] モードで次のいずれかの操作を行います:

- 左のペインの下部にある **やり直し** ボタンをクリックします。
- キーボードショートカット **CTRL + Y**を押します。

編集モードでプリセットを使用する

さまざまなACDSee 究極編集ツールや特殊エフェクトで、設定した内容をプリセットとして保存することができます。特定のツールやエフェクトで同じ設定を頻繁に使用する場合に便利です。

ほとんどのツールでは、ACDSee 究極が[適用]または[完了]をクリックした時点での設定内容を自動的に保存します。プリセット名は「最後に使用された設定」となります。



[プリセットの保存]と**[削除]** ボタンは、プリセットを保存可能な編集ツールのパネル上部で見つけることができます。

プリセットを保存するには:

1. 編集モードで、ツールを選択してオプションを設定します。
2. **[プリセットを保存]**ボタンをクリックします。
3. [新規プリセット] ダイアログボックスで、プリセット名を入力して **[OK]** をクリックします。
ツールのプリセット ドロップダウン リストに、新しいプリセットが表示されます。

以前保存されたプリセットを使用するには:

1. 編集モードでプリセットが作成されたツールを選択します。
2. **[プリセット]** ドロップダウン リストから、適用するプリセットを選択します。

プリセットを削除するには:

1. 編集モードでプリセットが作成されたツールを選択します。
2. **[プリセット]** ドロップダウン リストから、削除するプリセットを選択します。
3. 削除 ボタン(−)をクリックします。
4. [削除の確認] ダイアログボックスで、をクリックします。

プリセットをインポートおよびエクスポートする

編集プリセットをインポートおよびエクスポートできます。以下を参照してください。"プリセットをインポートおよびエクスポートする" on page 269.



インポートまたはエクスポートの際に、個々の編集モードプリセットを選択することはできません。

オリジナルの設定または現像済み設定に復元する

編集中の画像を、編集で行った変更を破棄して、現像済みの設定に戻すことができます。[変更がどのように保存されるか](#)については、ACDSeeに詳しく解説されていますので、そちらをご覧ください。



一度画像に変更を確定すると、オリジナルの状態に戻すことはできなくなります。ご注意ください。

オリジナルの画像に復元する

すべての変更を破棄して、オリジナルの画像に戻すことができます。

編集内で、画像をオリジナルの状態に戻すには：

編集モードで、[ファイル] メニュー から [オリジナルに戻す] を選択します。

管理または表示モードで、画像をオリジナルの状態に戻すには：

1. 画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 画像を右クリックして、[処理]、[オリジナルに戻す] を選択します。
 - [処理] から [オリジナルに戻す] を選択します。

現像済みの設定に復元する

[編集]で行った変更を破棄して、現像済みの設定に復元することができます。

編集内で、画像を現像済みの状態に戻すには：

1. 編集した画像を編集モードにします。編集を破棄するかどうか確認されます。
2. [編集を破棄]をクリックします。

編集モードで画像を保存する

画像を保存する

画像の編集が終了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには：

1. [完了]をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。

保存	変更を保存します。
名前を付けて保存	現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。 ファイルの種類に応じて、[画像に名前を付けて保存]ダイアログ ボックスの左下隅に次のオプションが表示されます： • メタデータを保持する：新規画像でメタデータを保持します。 • データベース情報を保持する：重要度のようなカタログ情報を保持します。 • オリジナル画像用に現像設定を保持する：オリジナル画像、および保存済みコピーに変更を適用します。 • 画像の埋め込みカラープロファイル：カラーマネージメントで選択したカラープロファイルを新しい画像に保持します。
破棄	変更を破棄します。
キャンセル	画像を保存せずに、変更もそのままにして同じ画像に戻ります。
自動保存	自動保存を有効にすると、画像が完成する度に保存オプションを選択する必要がなくなります。自動保存を有効にして[完了]を押すか、フィルムストリップから別の画像を選択するとACDSeeの編集モードで変更が自動保存されます。[変更の保存]ダイアログが表示されることはありません。自動保存を無効にするには、[ツール] > [ACDSee オプション] を選択します。オプションダイアログにある[編集モード]をクリックします。[全変更の自動保存] チェックボックスからチェックマークを外します。  自動保存はRAW 画像にはご利用いただけません。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには：

1. **[保存]**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**：変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**：編集した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**：編集した画像のコピーを新しい名前、フォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーをJPGで保存しても、画質の劣化が発生するJPG画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元のRAW画像のままで作業を続けることができます。



RAW ファイルへの変更は直接保存できないため、RAW ファイルフォーマットでは**[保存]**を使用できません。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには：

[キャンセル] をクリックするかキーボードショートカットの **Esc** を使用します。

ACDSee での画像の変更の保存方法

RAW ファイルのようにエンコード不可能な画像、あるいはJPEGのようにエンコード可能な画像を扱っているかによって、保存方法が異なります。下の一覧は、ACDSeeの保存方法の違いを画像のフォーマット別に表したものです。オリジナル、現像済み、編集済みという異なるステータスで保存すると、後で変更を破棄したくなった場合に、特定の設定状態に戻ることができるため大変便利です。



画像をアーカイブ保存する場合、オリジナルの画像ファイルと共に、サブフォルダも含んでバックアップすることを忘れないようにしてください。

ステータス	エンコード不可能なファイル(例:RAW ファイル)	エンコード可能なファイル(例:JPEG ファイル)
オリジナル	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。
現像済み	変更を行ってから[完了]をクリックすると、その画像の現像設定が RAW ファイルの XMP ファイル内とACDSee 究極 データベースにも保存されます。	現像処理を行ってから[完了]をクリックすると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、オリジナルの画像と XMP ファイルは[オリジナル]フォルダに移動されます。管理モードおよび表示モードには、変更された画像が表示されます。現像設定は、ACDSee 究極 データベースにも保存されます。
編集済み	RAW ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行い[保存]をクリックすると、ACDSee 究極 別のファイル フォーマットで保存することを促すメッセージが によって発信されます。RAW ファイル フォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイル フォーマットに保存する必要があります。	画像 ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行った後に保存すると、オリジナルの画像は ACDSee の[オリジ

ステータス	エンコード不可能なファイル(例:RAW ファイル)	エンコード可能なファイル(例:JPEG ファイル)
		ナル] フォルダ内に保存されます。 画像を編集した後「現像」で開くと、ACDSee 究極 編集処理が失われることを確認するメッセージがによって発信されます。「編集」で編集処理を行う前に現像されなかった画像は、「現像」の設定に戻すことができませんので注意してください。
現像済みと編集済み	画像を現像すると、画像の現像設定は RAW ファイルの XMP ファイル内に格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、新しいファイル フォーマットで保存することを確認するメッセージが ACDSee 究極 によって発信されます。 RAW ファイル フォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイル フォーマットに保存する必要があります。	現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、[オリジナル]フォルダに格納されます。現像済みの画像を「編集」で

ステータス	エンコード不可能なファイル(例:RAW ファイル)	エンコード可能なファイル(例:JPEG ファイル)
		開き、編集処理を行ってから[保存]をクリックすると、ACDSee 究極はその画像を保存します。 編集済みの画像を「現像」に戻って処理を行う場合、ACDSee 究極編集処理が失われることを確認するメッセージがよって発信されます。編集処理の破棄が選択されると、現像設定が付随したオリジナル画像が開きます。

Photoshop® プラグインを適用する

ACDSeeは、編集モードで64ビットAdobe® Photoshop®プラグインをサポートしています。



すべてのプラグインが Photoshop® とまったく同じように機能するわけではありません。

Photoshop® プラグインを適用するには:

[編集] モードで画像を開き、[ツール]>[**Photoshop プラグイン**]>[自分のプラグイン] の順に選択します。



[編集] パネル下部にある[元に戻す] ボタンを押すと、プラグインの効果を元に戻すことができます。



2つの ACDSee 究極 ウィンドウで同じプラグインを同時に開くことはできません。

Photoshop は Adobe Inc の登録商標です。

編集ブラシを使う

編集モードのツールは、写真全体にさまざまな調整を適用することができますが、写真の一部にだけ適用したい場合も時にはあるでしょう。例えば、写真全体をぼかすのではなく、背景など、写真の一部だけをぼかしたい、というような場合です。このような部分的な調整を行うことができるのが、編集ブラシです。

編集ブラシは、ブラシをかけるだけで選択的に効果を適用できます。編集ブラシでは、どのピクセルに効果を適用するかを決定するためにマスクを作成します。



編集ブラシ

編集ブラシが利用可能な編集ツールでは、編集パネル ツールバーの上中央に、編集ブラシ ボタンが表示されます。

編集ブラシを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **編集ブラシ** ボタンをクリックして、ブラッシング モードに入り、ブラシ コントロールを開きます。 または、ブラシ パネルはキーボードの **B** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
3. パネルでブラシ設定を指定するか、作業をしながら、以下の表の説明のように設定します。
4. 写真に効果を描画します。
5. スライダーを調節して効果を施しましょう。
6. **完了** をクリックしてブラシ ストロークを適用します。

ブラシ コントロールの編集

ブラシストロークの追加	マウスの左 ボタンを押しながらブラシを動かします。
ブラシストロークの消去	マウスの右 ボタンを押しながらブラッシングします。
ペン先の幅	ブラシの大きさを調整します。マウスホイールまたは[ブラシ幅]スライダを使ってブラシ幅を変更します。
フェザリング	スライダを調節してブラシストロークと画像の境界を柔らかさを設定できます。 【Ctrl + マウスホイール】 か フェザリング スライダを使ってフェザリングの量を調整します。
圧力	スライダを調整して、ブラシの強度を指定します。
ブラシ モードとカーソル適用 ツールを切り替える	ライトEQ™やホワイトバランスのように画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、 Alt キーを押しながらブラシ モードをツールの使用に切り替えることができます。
すべてのブラシストロークをクリア	 画像からすべてのブラシ ストロークを削除します。
すべてのブラシストロークを反転	 ブラシストロークを反転します。こうすると、ブラッシング済みの領域はそれ以上効果が適用されず、ブラッシングされていない領域に効果が適用されます。画像の大部分をブラッシングしたいけれども、小さな一部はそのままにしたい場合に便利です。つまり強化を適用したくない部分にのみブラシを適用した後で反転すればいいわけです。
最後に適用したブラシストロークを読み込み	 最後にブラシを適用した領域に効果を適用します。
スマートブラシ	以下の スマートブラッシング セクションを参照してください。
ブラシストロークを表示	 このオプションが有効の場合、ブラシのストロークが選択されている色で表示されます。これは複雑な領域にわずかな効果を適用したい場合、処理したかどうかのわかりにくいので便利です。もしくは S キーを押下するとブラシストロークを表示できます。



編集ブラシをクリックしてブラッシングモードに入った場合、ブラシ ストロークを適用して調整を確認します。



ブラシモードを終了するには、編集ブラシボタンをクリックします。 



[ファイル]メニュー下部にある[元に戻す]ボタンでブラシ ストロークを個別に元に戻すことができ、[やり直す]ボタンでブラシストロークを個別にやり直すことができます。



[ブレンドモード](#)および [選択範囲](#) で編集ブラシを使用し、効果の適用方法を変更することも可能です。

直線を作る:

Shift キーを押しながら **ブラシの編集** を使用すると、水平または垂直の線を描くことができます。たとえば、**Shift** キーを押しながら水平方向にクリックしてドラッグすると、**Shift** キーを押している間だけカーソルが水平方向にロックされます。**シフト** を離すと、フリーハンドのブラシに戻ります。**シフト** を解除してフリーハンドブラシに戻り、同じ線を描いているときにもう一度 **シフト** を押すと、ブラシのロックを解除して自由に再ロックすることもできます。

対角線を作る:

ブラシの編集を使うと、画像上に2つの点を置くことで、まっすぐな斜めの線を描くことができます。線の始点となる場所にカーソルを置き、**シフト**を押したまま、画像上で**左クリック**して点を作成します。**シフト**を放し、線が終わる位置にブラシを移動させ、**シフト**を押したまま、もう一度**左クリック**して2点目を作ります。この2点の間に直線が入る。

編集ブラシは、多くの編集ツールと特殊効果フィルタで使用することができます。ただしこのツールが不必要な場面では表示されません。編集ブラシは次のツールでは利用できません: トリミング、サイズ変更、レンズ歪みの補正、遠近の補正、回転、反転、透かし、赤目補正、修整ツール、および選択範囲。

スマートブラシ

スマートブラシを使うと、ブラシ処理の対象を、特定の色、明るさの値、または色と明るさの組み合わせに絞ることができます。スマートブラシは、ピクセル値がブラシストロークの中央と同じ部分にのみ有効で、これらのピクセルのみ調整することができます。

スマートブラシを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **編集ブラシ**ボタンをクリックして、ブラッシングモードに入り、ブラシコントロールを開きます。 または、ブラシパネルはキーボードの **B** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
3. スマートブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します:

色	ブラシストロークの中央とピクセル値が同じである色(しきい値設定によって異なる)を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
明るさ	ブラシストロークの中央とピクセル値が同じである明るさ(しきい値設定によって異なる)を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
マジック	ブラシストロークの中央のピクセルと同じ色と明るさの値の組み合わせ(しきい値設定によって異なる)を使用して、ブラシをかけるピクセルを判断します。

4. しきい値スライダを使って、スマートブラシが適用されるピクセルの範囲を増減させることができます。
5. 希望する色か明るさにカーソルを合わせてから、効果のペイントをはじめます。
6. スライダーを調節して効果を施しましょう。
7. **完了**をクリックしてブラシストロークを適用します。



スマートブラシを一時的に無効にするには、**Shift**キーを押したままブラシをかけます。このショートカットキーは、ストロークごとに使えます。



右クリックして既存のストロークをブラシでなぞると、そのストロークを消すことができます。

スマートブラシをオフにするには:

スマートブラシのドロップダウンメニューから**[オフ]**を選択します。

グラデーションツールを使用する

編集モードのツールは、写真の全体に調整を適用することができますが、しばしば、写真に対して段階的に適用したい場合もあるでしょう。例えば、ぼかしを写真全体に均一に適用するのではなく、徐々に適用したり、画像の一部に適用したい場合などです。その場合には、グラデーションツールを使って、効果を写真全体にグラデーションをかけて適用しましょう。

グラデーション ツール

グラデーション ツールが利用可能な編集 ツールでは、編集 パネル ツールバーの上中央に、グラデーション ツールボタンが表示されます。

グラデーション ツールを使用するには:

1. 編集 モードで、使用したいツールを選択します。
2. **グラデーション** ツールボタンをクリックしてグラデーション モードに入ります。または、グラデーション パネルはキーボードの**G** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
3. パネルでグラデーション設定を指定するか、または作業をしながら、以下の表の説明のように設定します。
4. 画像上でガイドを移動します。ガイドボックスの内部でグラデーションが遷移します。ボックスの一方のサイドではグラデーション ツールによる効果が最大限に適用され、他方では一切適用されません。はっきり確認するには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスを有効にします。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、**45°**で切り捨てられる角度に固定できるよう効果の位置を決めた状態で**Shift** キーを押し続けます。
5. スライダーを調節して効果を施しましょう。
6. **[適用]**または**[完了]**を押します。

グラデーション ツール オプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えるとグラデーションが反転します。画像の上部からグラデーションを開始する効果を適用した後、反転ボタンをクリックすると、グラデーションが反転して画像の下部から適用されるようになります。

グラデーションマスクを表示



このオプションが有効の場合、グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくは**S**キーを押下するとグラデーション マスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

グラデーション ツールとカーソル適用 ツールを切り替える

Light EQ™ やホワイト バランスのように画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、**Alt** キーを押し続けることでグラデーション モードをツールの使用に切り替えることができます。



グラデーション モードを終了するには、グラデーション ツール ボタンをクリックします。



編集ブラシ モードに切り替える際、グラデーション マスクを保持するには、**Shift** キーを押しながら、編集ブラシ ボタンをクリッ



クします。こうすると、グラデーションマスクを追加したり、不必要な部分を削除したりすることができます。

グラデーション ツールは、数多くの編集 ツールと特殊効果で利用することができます。ただしこのツールが不必要な場面では表示されません。グラデーション ツールは次のツールでは利用できません：ディテール ブラシ、覆い焼きと焼き込み、サイズ変更、レンズ歪みの補正、遠近の補正、トリミング、回転、描画 ツール、ピネット、枠、透かし、修復 ツール、赤目補正、選択範囲。

放射状グラデーションツールを使用する

編集 ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、しばしば、写真にの一部分だけに適用したい場合もあるでしょう。例えば、写真全体にシャープネスを適用するのではなく、写真の中央だけをシャープにしたい、というような場合です。放射状グラデーション

ツールを使用して効果を丸く適用したり、画像の中心に直接適用することができます。

放射状グラデーション ツール

すべての利用可能な編集モードツールでは、編集パネル ツールバー上部に放射状グラデーションツールボタンが表示されます。

グラデーション ツールを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **[放射状グラデーション]** ツールボタンをクリック  して、放射状グラデーションモードに入ります。または、**[R]** キーを使用して放射状グラデーションパネルを開閉します。
3. パネルで放射状グラデーション設定を指定するか、または作業をしながら、以下の表の説明のように設定します。
4. 画像上でガイドを移動します。円の中の画像は変更されません。放射状グラデーションで適用した効果は、効果のない箇所(円の中)と効果が強い箇所(円の外)が出会う円の境目で、遷移します。この遷移をはっきりと見えるようにするには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスにチェックをいれます。 **Shift** キーを押しながら、効果の位置を決め、放射状グラデーションを真円に変えます。
5. スライダーを変更して効果を調整します。
6. **完了** を押します。

グラデーション ツール オプション

フェザリング	スライダーを上げて、グラデーションのエッジを滑らかにします。
直角度	スライダーを大きくして、ラジアルのデフォルトの楕円形を徐々に正方形に変換します。
グラデーションの反転	 このオプションを切り替えてグラデーションを反転します。[グラデーションの反転] ボタンをクリックして、画像の中心部(円形のガイドの中)に効果を適用してください。放射状グラデーションの外側は変更されません。
グラデーションマスクを表示	 このオプションが有効の場合、放射状グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくは S キーを押下するとグラデーション マスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。
放射状グラデーション ツールとカーソル適用ツールを切り替える	Light EQ™ やホワイトバランスなど、画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、 Alt キーを数秒間押下し、放射状グラデーション モードをツールの使用に切り替えることができます。



放射状グラデーション モードを終了するには、放射状グラデーション ツール ボタンをクリックします。 



編集ブラシモードに切り替える際、放射状グラデーションマスクを保持するには、**Shift** キーを押しながら、編集ブラシボタンを

クリックします。こうすると、グラデーションマスクを追加したり、不必要な部分を削除したりすることができます。



放射状グラデーションツールは、数多くの編集ツールと特殊効果フィルターで利用することができますが、編集ブラシが不要な編集ツールと特殊効果では表示されません。放射状グラデーション ツールは次のツールでは利用できません: ディテールブラシ、覆い焼きと焼

きこみ、サイズ変更、レンズの歪み補正、透視の補正、トリミング、回転、描画ツール、ヴィネット、枠線、透かし、修整ツール、赤目補正、選択範囲。

ブレンドモードと透明度について

編集内のツールの中には、「ブレンド」と「透明度」というツールが表示するものがあります。これらのツールをクリエイティグに使用して、新しい画像を生み出すことができます。「ブレンドモード」と「透明度」は、画像全体、あるいは画像の選択された部分のみに適用することができます。

透明度

「透明度」スライダは、編集済み画像の透過度を変更するためのものです。施された編集が画像上でどれだけ表示されるかをコントロールします。

ブレンドモード

オリジナルの画像と編集済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

ノーマル	編集済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	編集済みの画像とオリジナル画像の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	編集済み画像とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
焼きこみ	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーバーレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差異	オリジナル画像の色から編集済みの色を減算します。編集済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
暗くする	オリジナル画像よりも暗い編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも明るい画像のピクセルは消失します(RGB 値を基準にしています)。
明るくする	オリジナル画像よりも明るい編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも暗い画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています)。
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。
色相	編集済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	編集済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
カラー	編集済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の輝度を影響しません。
輝度	編集済み画像の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	編集済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「透明度」スライダで斑点の強度をコントロールします。
除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からブレンド色を減算します。ブレンド色に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色(ブレンド色によって決まる)を生成することで、画像のピクセルとブレンド色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態で残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態で残ります。
リニアライト	ブレンド色に応じて明るさの値を明るく、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。

ハードミックス	ブレンド色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像のRGB値に適用します。
減算	各チャンネルの画像 (ベース) 色からブレンド色を減算します。
除算	画像 (ベース) 色からブレンド色を除算します。
暗色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より高いチャンネル値が選択されます。



編集ブラシを使用すると、画像の一部に効果を描画し、ブレンドモードと透明度スライダを設定して効果の度合いを変更することができます。

「ブレンドモード」および「透明度」は、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができますが、これらが不必要な編集ツールと特殊効果では表示されません。「ブレンドモード」および「透明度」が表示されないツールの一覧は次の通りです：トリミング、サイズ変更、レンズの歪み補正、透視の補正、回転、反転、透かし。赤目補正、修整ツール、および選択範囲。

ルーラーとガイドラインを追加する

ルーラーとガイドラインを使用して、レイヤー、テキスト、およびオブジェクトを正確に配置できます。

ルーラーをオンにするには：

編集モードで、[表示]メニューから[ルーラー]を選択するか、**Ctrl + T**を押します。

ルーラーの測定単位をカスタマイズするには：

ルーラーを右クリックして、コンテキストメニューから新しい測定単位を選択します。

ガイドラインを描くには：

ルーラーを有効にして、ルーラーをクリックし、画像上の目的の場所にガイドラインをドラッグします。



移動ツールが有効になっていれば、一度配置したガイドラインを移動できます。



ガイドラインへのスナップを有効にするには：

ガイドラインの正確な位置に、レイヤー、オブジェクト、テキストレイヤーをスナップできます。スナップを有効にすると、レイヤーの端をガイドラインの近くに移動することができ、それがガイドラインにスナップされます。

[表示]メニューから、[ガイドラインにスナップする]を選択するか、**Ctrl + Shift + G**を押します。このキーボードショートカットを使用して、スナップを有効または無効にできます。

ガイドラインを削除するには：

[表示]メニューから、[ガイドラインを削除する]を選択するか、**Ctrl + Shift + ;**を押します。

ガイドラインを所定の場所にロックするには：

[表示]メニューから、[ガイドラインにロックする]を選択するか、**Ctrl + Alt + ;**を押します。

ガイドラインを非表示にするには：

[表示]メニューから、[ガイドラインを非表示にする]を選択するか、**Ctrl + ;**を押します。このキーボードショートカットを使用して、ガイドラインの非表示/表示の切り替えができます。



ルーラーとガイドラインのオプションをカスタマイズできます。「[ルーラーとガイドラインのオプションを設定する](#)」を参照してください。

フィルタ内のチャンネルフィルタリング

フィルタ内のチャンネルフィルタリングを使って画像の色調整を想像的に行えば、高品質のグレースケール、セピアトーン、その他の色付きの画像を作成できます。チャンネルフィルタリングは、画像内の既存のカラーチャンネルを混合することにより、ターゲットのカラーチャンネルを変更します。カラーチャンネルは、チャンネルタイプ(RGBまたはCMYK)のカラーコンポーネントを表すグレースケール画像に見られる色調値で構成されます。チャンネルフィルタを適用すると、グレースケールデータが選択されたチャンネルに追加または削除されます。チャンネルフィルタリングは、[チャンネル選択](#)のように、特定のチャンネルに色を追加または削除しません。

高品質のチャンネルフィルタ画像を作成するには、次のフィルタで使用可能な[[チャンネルに適用](#)]ドロップダウンメニューから選択します。

- [スキントーン](#)
- [色収差](#)
- [ヴィネット](#)
- [特殊効果](#)
- [グレイ](#)
- [露出](#)
- [レベル](#)
- [自動レベル](#)
- [トーンカーブ](#)
- [ライト^{EQTM}](#)
- [かすみの除去](#)
- [ホワイトバランス](#)
- [トーンホイール](#)
- [シャープネス](#)
- [ぼかし](#)
- [ノイズ](#)
- [明瞭度](#)

ドロップダウンメニューの[[チャンネルに適用](#)]で使用できるオプションは、デフォルトで[RGB(通常)]に設定されています。これは、RGBチャンネルタイプの通常のチャンネル選択です。[[チャンネルに適用](#)]ドロップダウンで使用できるその他のチャンネルは次のとおりです。

- 赤
- 緑色
- 青、そして
- 色相
- 彩度
- 輝度。

フィルタ内のカラーフィルタリングを使用して画像を調整するには:

1. **編集** モードで、次のいずれかを実行します。
 - [フィルタ]メインメニューの見出しから上記の**フィルタ**のいずれかを選択するか、
 - [フィルタメニュー]ペインから上記のフィルタのいずれかを選択します。
2. 選択したフィルタ専用のペインで、[[チャンネルに適用](#)]ドロップダウンリストから選択します。
3. 選択したフィルタを使用して、選択したチャンネルを調整します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- **[適用]**をクリックして変更を受け入れ、引き続きツールを使います。
- **[完了]**をクリックして変更を受け入れてツールを閉じるか、
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

ピクセルターゲット

カラーまたはトーンを調整する対象

ツールを使って画像にさまざまなグローバル調整を行います。**編集ブラシ**を使うと画像の特定のセクションを調整できますが、ピクセルターゲットでは、異なる色調、色、肌の色調を選択できます。ピクセルターゲットは、写真の個々の色や色調、または肌の色調を調整できます。たとえば、**編集**モードで画像を開き、ツールバーから**露出**フィルターを追加すると、露出が画像全体で調整されることに注意してください。ただし、画像の青空の露出のみを調整するには、画像ヘッダーバーにある**[ピクセルターゲット]**ボタンをクリックしてピクセルターゲットを有効にし、カラーホイールを使用して青をターゲットします。これにより、空の露出のみが調整できます。

ピクセルターゲットは、次のフィルターで使用できます:

- [スキントーン](#)
- [色収差](#)
- [ヴィネット](#)
- [特殊効果](#)
- [グレイ](#)
- [露出](#)
- [レベル](#)
- [自動レベル](#)
- [トーンカーブ](#)
- [ライト^{EQTM}](#)
- [かすみの除去](#)
- [ホワイトバランス](#)
- [カラーEQ](#)
- [カラーホイール](#)
- [トーンホイール](#)
- [カラーLUT](#)
- [スプリットトーン](#)
- [白黒に変換](#)
- [シャープネス](#)
- [ぼかし](#)
- [ノイズ](#)
- [明瞭度](#)

ピクセルターゲットには、**[レイヤー]**ペインでレイヤーを右クリックし、コンテキストメニューから**[ピクセルターゲット...]**を選択してアクセスすることもできます。

ピクセルターゲットを使用してターゲットだけを調整するには:

1. [フィルターメニュー]ペインで上記のフィルターのいずれかを開くか、上記のメニューオプションのいずれかを選択します。
2. 画像のヘッダーバーで、[ピクセルターゲティング]ボタンをクリックします。
3. [ピクセルターゲティング]ペインで、以下の説明に従って、ターゲットトーンとターゲットカラーを設定します。
4. 選択したフィルターを調整またはメニューオプションを設定します。調整は、画像全体ではなく、ターゲットの色またはトーンにのみ影響します。

ピクセルターゲティングペイン



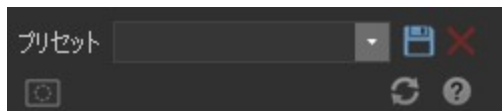
ピクセルターゲティングペインは、次の3つのセクションで構成されています。

- プリセット
- 輝度範囲
- 色の範囲

ピクセルターゲティングペインセクション

プリセット

[プリセット] ドロップダウンリストから選択するか、[プリセットの保存] アイコンをクリックして、新しいプリセットを[プリセット] ドロップダウンリストに追加します。



マスクプレビューを表示



アイコンをクリックして、ターゲットとするピクセルを強調表示するマスクのプレビューを表示します。

リセット



アイコンをクリックして、現在の画像編集をすべて削除し、画像を元の状態に戻します。

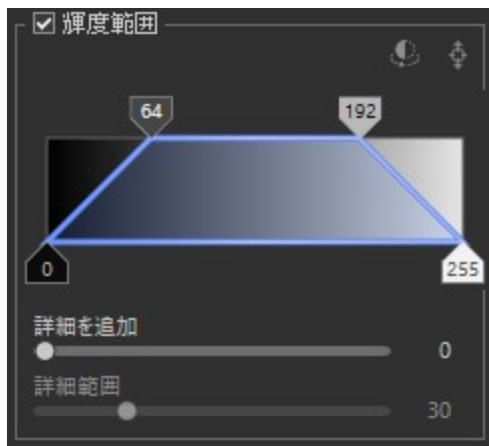
ヘルプ



アイコンをクリックして、ピクセルターゲットヘルプファイルを開きます。

輝度範囲

輝度範囲 フィールドセットは、調整のために明るさのトーンをターゲットにするために使用されます。関連する機能を有効にするには、**【輝度範囲】** チェックボックスを有効にします。



選択範囲の反転



アイコンをクリックして、選択したピクセルを選択していないピクセルに変更します。

インジケータライン



アイコンをクリックして、トーンラバーディスプレイにインジケータラインを追加し、画像のトーンがグラフのどこに表示されるかを示すスポイトを作成します。

トーングラバー

4つのスライダータブを使用して、色調を選択します。青いボックス内の領域は、色調の選択を表しています。上の2つのタブは互いにスライドできます。

せん。
中央に
向かってスライ
ドすると
きに、
各下部
タブがそ
れぞれ
の上部
タブを
超えて
スライド
すること
はでき
ません。
色調範
囲は
0～
255で
す。上
部とそ
れに関
連する
下部の
スライ
ダータブ
の間の
対角線
は、柔
らかな
選択効
果を生
成しま
す(輝
度範囲
の例で
は64～
0)。上
部と関
連する
下部の
スライ
ダータブ
を結ぶ
直線
は、
シャープ
な選択
範囲を
生成し
ます(輝
度範囲
の例
では、
上部
192か
ら下部
192)。

	詳細を追加	スライドの値を大きくして、選択範囲の端の周りの鮮明さをシャープにします。
	詳細範囲	[詳細の追加]スライダーが値0を超えて進んだ場合、[詳細範囲]スライドが有効になり、[詳細の追加]スライダーによって追加されるエッジの詳細の範囲を制御できます。
色の範囲	[色の範囲]フィールドセットは、調整する色を指定するために使います。 [色の範囲]チェックボックスをオンにすると機能が有効になります。	



色を反転



アイコンをクリックして、ホイールで選択した色を反転します。

カラーインジケーター



アイコンをクリックして、画像内のカラーピクセルを選択するスポイトを表示、作成します。**Alt**キーを押しながらスポイトでクリックして色を選択します。

カラーホイール

カラーホイールを使えば、画像の色を細かく調整できます。カラーホイールは、青い空をより青くしたり、暗い湖の色を明るくしたりするなどの現実的な要件で特に役立ちます。選択した色は、[ホイールを

			有効にする] チェックボックスの下の円に表示されます。カラーホイールの詳細については、「カラーホイールを使った色の調整」を参照してください。
	ホイールを有効にする		選択した色を表示するホイール選択の円のあるチェックボックスを有効にして、関連するホイールをアクティブにします。
	ホイールを追加		アイコンをクリックして、追加のカラーホイールを使用して別の色に変更します。
	ホイールの選択		[ホイールを有効にする] チェックボックスのすぐ下にある内側

		の円をクリックして、関連するカラーホイールを選択します。選択した色はホイールで使われます。
ホイールを削除		現在選択されているカラーホイールを削除します。
滑らかさ		スライダーを上げて滑らかさを調整します。これは、色のエッジを柔らかくするフェザリングツールのように機能します。
ターゲットスキントーン		肌のターゲットイング スライダーを使用すると、残りの[色の範囲]フィールドセットが無効になり、肌の色のみをターゲットイングできるようになります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ピクセルターゲットは、選択範囲または編集ブラシと同時に使うとさらに効果を発揮します。ピクセルターゲットと同時にこれらのツールを使うと、画像にある青い色すべてではなく、人物の青い目の部分だけなど、画像の特定の細部まで正確に狙って編集できます。



変更をクリアして既定の設定に戻すには、**[リセット]**をクリックします。



今後使用するために、設定した値をプリセットとして保存します。**ピクセルターゲティング**ペインの**[プリセットの保存]**ボタンを使用すると、ピクセルターゲティング設定のみが保存され、フィルターの設定は保存されません。フィルタ設定は個別に保存する必要があります。

ACDSee アクションで調整を記録・適用する

ACDSee アクションを使用すると、**[編集]**モードで行った調整をすべて記録し、それらの調整を「再生」して他の画像に適用することができます。この方法を使用すると、**[編集]**モードで実行できる調整を使って複数の写真を一括編集できます。また、調整レイヤーで記録を適用した後、画像を**[編集]**モードで開き、レイヤーエディタで調整レイヤーの微調整および調整を継続することができるので、画像の非破壊編集が可能です。

あらかじめロードしておいたデフォルトアクションを適用してすばや調整することもできます。アクションは既存のカテゴリ、または自作のカテゴリにまとめることができます。



[編集]モードですばやアクセスするには、**[ツール]**パネルの上部にある**[記録]**ボタン、**[停止]**ボタン、**[再生]**ボタンを使



用します。また、**アクションブラウザーの切り替え**ボタンを使用すると**[ACDSee アクション]**ウィンドウを開くことが



できます。このACDSee アクションバーは、動かして画面のどこにでも移動させることができます。

調整を記録するには：

1. **[編集]**モードで、ツールバーの右にある**[記録]**ボタンを押します。 **[記録アクション]**ペインが表示され、そこに実行する調整手順が表示されます。
2. **[編集]**モードで必要な調整を行います。
3. ツールバーの**[停止]**ボタンを押せば、いつでも記録を停止できます。 誤って**[停止]**ボタンを押した場合は、**[キャンセル]**を押すと記録を継続できます。
4. **[アクションを保存]**ダイアログボックスで、記録の名前を入力します。
5. ドロップダウンメニューからアクションのカテゴリを選択するか、または名前を入力して新しいカテゴリを作成します。
6. **[保存]**を押します。選択（または作成）したカテゴリの**[アクションブラウザー]**で、記録を使用できるようになります。

記録をプレビューするには：

1. **[管理]**モードで次のいずれかの操作を行います。
 - **[アクション]**をクリックします | **アクションブラウザー...**
 - **[ツール]**をクリックします | **アクションを参照...**
 - **[ツール]**をクリックします | **ACDSee アクション | アクションブラウザー...**

- 画像を右クリックして、コンテキストメニューから[**ACDSee アクション**]の[**アクション ブラウザ...**]を選択します。
- 画像を右クリックして、コンテキストメニューから[**アクションを参照...**]を選択します。



複数の画像を選択している場合は、最初の画像のみがプレビューに表示されます。記録を再生すると、選択したすべての画像にプレビュー表示が適用されます。

[表示] モードで次のいずれかの操作を行います。

- [アクション ブラウザ ペインを開く] ボタンを押します。
- [ツール]をクリックします| **アクションを参照...**
- [ツール]をクリックします| **ACDSee アクション | アクションブラウザ...**

[編集] モードで次のいずれかの操作を行います：

- ペインをクリック| **アクションブラウザ**。
- [ツール]をクリックします| **アクションを参照...**
- [ツール]をクリックします| **ACDSee アクション | アクションブラウザ...**
- ツールバーにある[**アクション ブラウザの切り替え**] ボタンを押します。

2. アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューからカテゴリを選択します。
3. アクション ブラウザの左の列から、プレビューで表示したい記録のサムネイルを選択します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 適用されている記録とともに現在の画像が[プレビュー]列にどう表示されるのかをプレビューで確認します。
 - 右上隅にある[プレビュー] ボタンを切り替えて、選択したアクションの調整手順を確認します。



画像のプレビュー



ステップのプレビュー

記録を削除するには：



録音の削除は永続的なものであり、元に戻すことはできません。削除した録音は、システムのごみ箱には表示されません。

1. アクション ブラウザの左の列にある記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 右クリックして[**削除**]を選択します。
 - [**削除**] ボタンを押します。

記録の名前を変更するには：

1. アクション ブラウザの左の列にある記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 右クリックして[**名前の変更**]を選択します。
 - [**名前の変更**] ボタンを押します。
3. [名前] フィールドに新しい名前を入力します。
4. [**OK**]を押します。

記録を適用する

記録を他の画像に適用すると、記録した[編集]モードの調整を使って一括編集を行うことができます。あらかじめロードしておいたデフォルトのアクションのいずれかを適用することもできます。これらのアクションはアクションブラウザ内のカテゴリにまとめられます。

記録で使った画像と異なるサイズの画像に記録を適用する場合、描画、画像のレイヤーを伴うアクションは、幅および高さそれぞれのパーセントによる比率で、ターゲット画像に合わせて拡大/縮小されます。ただし、トリミングのサイズは絶対値で、ピクセル数に基づきます。トリミングの位置は相対値で、これもピクセル数に基づきます。

[ジオメトリ] グループのツールで最適な結果を得るには、サイズが均一な画像に記録を適用してください。

記録を適用するには:



記録は、記録されたときと同じ順序で適用されます。

[管理] モードのとき

1. ファイラー一覧 ペインで画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ツール を選択 | **ACDSeeアクション** | <希望するカテゴリ> | <希望するアクション> | 演奏する。
 - ツール を選択 | **アクションを参照...** アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
 - 画像を右クリックして、**[ACDSeeアクション]** | <希望する録画> | **再生**を選択します。
 - 画像を右クリックして **[アクションを参照...]** を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
 - **アクション** を選択 | **アクションブラウザ...** アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
 - **[アクション] > [(希望のカテゴリ)] > [(希望のアクション)] > [再生]**の順に選択します。

[表示] モードのとき

以下のいずれかの操作を行います:

- ツール を選択 | **ACDSeeアクション** | <希望するカテゴリ> | <希望するアクション> | 演奏する。
- ツール を選択 | **アクションを参照...** アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
- **[アクション ブラウザ ペインを開く]** ボタンを押します。 アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
- 画像を右クリックして、**[ACDSeeアクション]** | <希望する録画> | **再生**を選択します。
- 画像を右クリックして **[アクションを参照...]** を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。

編集モードのとき

1. 画像を[編集]モードで開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - **ペイン を選択 | アクションブラウザ**。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。

- ツール を選択 | **ACDSee**アクション | <希望するカテゴリ> | <希望するアクション> | 演奏する。
- ツール を選択 | **ACDSee** アクション | アクションブラウザ... アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
- ツール を選択 | **アクションを参照**。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。
- [アクション ブラウザの切り替え] ボタンを押します。 アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。**再生** ボタンを押します。



レイヤーエディタでレイヤーを選択し、アクション ブラウザで [再生] ボタンを押すと、1 つの画像レイヤーだけに記録を適用できます。

記録の出力オプションを設定するには:

記録を適用したときのファイルの出力方法を決定するオプションを設定できます。設定した各出力オプションは、選択した (右クリックした) 記録のみに適用されます。出力オプションは、[編集] モード以外のモードの画像に適用される記録のみに影響します。

 設定した出力オプションは共有記録には反映されません。

1. アクション ブラウザの左の列で記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 右クリックして [オプション] を選択します。
 - [オプション] ボタンをクリックします。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. [OK]を押します。

出力オプション

アクションの結果

選択したファイルを上書き、エンコード不可能なファイルの場合にはコピーを作成	記録を適用したとき、編集済みバージョンでファイルを上書きします。 RAW ファイルのときのようにファイルを上書きできない場合は、コピーが保存されます。
修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する	編集済み画像をオリジナル画像と同じフォルダに新しい名前 で保存 する場合は、このオプションを選択します。
修正済み画像を次のフォルダに保存する	編集後の画像を特定のフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。フォルダを参照します。

既存を上書きする

このオプションを使い、出力フォルダに編集後の画像と同名のファイルが存在する場合の**ACDSee 究極**の処理方法を指定します:

- **確認:** 画像ごとに異なるオプション(スキップ、名前変更、上書き)を選択するように確認メッセージが表示されます。
- **スキップ:** その画像の処理をスキップし、次の画像の処理を開始します。
- **置き換え:** 保存先フォルダにある画像を編集された画像で置き換えます。
- **名前を変更する:** 編集された画像の名前を変更します。

最終更新日時を保存する

オリジナル画像に最終更新日のデータが含まれていて、編集後の画像にも同一の最終更新日を含ませたい場合に、このオプションを選択します。

メタデータを保存

オリジナル画像にメタデータが含まれていて、編集後の画像にも同一のメタデータを含ませたい場合に、このオプションを選択します。

データベース情報を保持する

オリジナル画像の **ACDSee** メタデータを保持する場合は、このオプションを選択します。

ファイル出力

ファイル フォーマット	出力する画像のファイルフォーマットを選択します。
ピクセル フォーマット	編集後の画像の BPP (Bit Per Pixel) 値と、画像のカラーまたはグレースケールを指定するためのオプションです。編集後の画像を、オリジナル画像と同じピクセル フォーマット(あるいは最も近いフォーマット)にしたい場合には、 [自動] を選択します。また、カラーの画像をグレースケールに変換する、あるいは他のソフトウェアで対応できるピクセル フォーマットに変換する場合も、このオプションを使用します。
色空間情報	[色空間情報] チェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストから色空間 オプションを選択します。



調整レイヤー の追加後に記録を開始した場合、その記録は、同じ調整レイヤーがすでに追加されているターゲット画像にのみ適用できます。



レイヤーが **1** つの画像へのレイヤーの追加を記録した後、レイヤーが複数あるターゲット画像にこの記録を適用した場合、他のすべてのレイヤーの一番上にレイヤーが追加されます。



複数のレイヤーがある画像の特定の調整レイヤーへの調整を記録した場合、同じ調整レイヤーがあるターゲット画像にのみ記録が適用されます。例えば、記録に **3** 番目のレイヤーとしてシャープ化調整レイヤーが含まれており、それを調整した場合、ターゲット画像にも **3** 番目のレイヤーとしてシャープ化調整レイヤーが含まれている必要があります。



レイヤーが **1** つの画像への全体的な調整を記録した後、レイヤーを追加し、レイヤーが複数あるターゲット画像にその記録を適用した場合、ターゲット画像は統合されます。全体的な調整が画像全体に適用され、その上にレイヤーが追加されます。

アクション カテゴリを管理する

アクションは、既存のカテゴリに編成することも、自分で作成することもできます。カテゴリの削除は自由にできます。



「HDR プリセット」カテゴリに保存されたアクションは、HDR ダイアログでプリセットとして使用できるようになります。

記録 カテゴリを管理する

記録 カテゴリを作成できます。

カテゴリを追加するには:

1. アクションブラウザで、**[新規 カテゴリを追加]** ボタンをクリックします。
2. **[新規 カテゴリを追加]** ダイアログで、新しいカテゴリの名前を入力します。
3. **[OK]** を押します。

カテゴリを削除するには:

アクションブラウザで、**[カテゴリを削除]** ボタンをクリックします。このカテゴリのすべてのアクションは**[未分類]**に移動します。

記録を新規 カテゴリに移動させるには:

1. アクションブラウザの左の列にある記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **[カテゴリに移動]** ボタンをクリックします。
 - 右クリックしてコンテキストメニューから**[カテゴリに移動]**を選択します。
3. **[カテゴリに移動]** ダイアログで、ドロップダウンメニューからカテゴリを選択します。
4. **[OK]** を押します。

アクションを共有する

アクションのインポートとエクスポートができます。アクションをエクスポートすると、便利な圧縮パッケージとしてアクションを共有できます。エクスポートするアクションを選択することも、一度にすべてエクスポートすることもできます。ただ単に、その場所に移動したり、電子メールなどの方法を適宜、使用して、個々のアクションを共有することもできます。



ACDSeeに付属のプリロードされたアクションをインポートおよびエクスポートすることはできません。

記録をエクスポートするには:

1. **アクションブラウザ**を開きます。「記録を適用する」を"記録を適用する" on page 385.
2. **[アクションのエクスポート]**ボタンをクリックします。 
3. **[ACDSeeアクションのエクスポート]**ダイアログで、プラス **+** 記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオンとオフを切り替えて、エクスポートするアクションを選択します。または、**[すべて選択]**チェックボックスをオンにして、すべてのアクションをエクスポートします。
4. エクスポートするアクションの宛先を選択します。
5. **[エクスポートパッケージ名]**フィールドに、エクスポートするアクションの名前を入力します。
6. エクスポートパッケージのカテゴリ構造を維持するには、**[エクスポートにカテゴリを含める]**チェックボックスをチェックします。
7. **[OK]**を押します。

記録をインポートするには:

1. **アクションブラウザ**を開きます。「記録を適用する」を"記録を適用する" on page 385.
2. **[アクションのインポート]**ボタンをクリックします。 
3. アクションの場所に移動します。
4. **[インポート時にカテゴリを含める]**ラジオボタンを選択して、インポート時に含まれるカテゴリ構造を維持します。
5. インポート時に含まれるカテゴリ構造を無視するには、**[インポートアクションのみ]**ラジオボタンを有効にします。インポートするアクションのカテゴリを選択します。または、インポートするアクションを配置する新しいカテゴリを作成するために、フィールドに名前を入力することもできます。
6. **[OK]**を押します。

記録を共有するには:

1. C:\Users\<User Name>\AppData\Local\ACD Systems\Actions\へ移動
2. 対象の記録を選択してコピーします。
3. お好みの方法で .acda ファイルを共有します。例えば、メールに添付できます。

AIアクションの使用

ACDSeeのAIアクションツールを使用すると、1つのボタンを押すだけで複雑な手順を実行できます。



AI機能がGPUで動作するには、DirectX 12 フィーチャーレベル 12_0 以上が必要です。GPU のサポートレベルを確認するには、dxdiag.exe ツールを実行して **[ディスプレイ]** タブを確認するか、デバイスの公式仕様を確認してください。GPU が要件を満たしていない場合でも、AI機能は代わりに CPU を使用して動作します。

AIアクションを使用するには:

- 1. 画像を選択し、**編集モード**に入ります。
- 2. **編集モード**で、右上の **AIアクション パネル**から8 つの **AIアクション**のいずれかを選択します。

 AIアクションパネルが表示されない場合は、**F11**を押すか、上部のパネルを選択してAIアクションをクリックしてアクセスできます。



 AIで選択した内容は、**[選択] | [選択範囲を絞り込む]** をクリックしてさらに絞り込むことができます。

AIアクションツール:

次の8つのAIアクションが実行できます。

ノイズ除去	画像内のノイズを低減します。
主題の選択	主題のみを選択します。
空の選択	空を選択します。
髪を選択	主題の髪の毛のみを選択します。
背景の選択	画像の背景を選択します。
背景の除去	クリックしてマスクで主題を分離し、背景を除去します。主題は選択されません。
背景のぼかし	クリックすると背景をぼかすためのマスク調整レイヤーが作成されます。主題は選択されません。
白黒背景	クリックするとカラー背景を白黒背景に変更するためのマスク調整レイヤーが作成されます。主題は選択されません。

 AIアクションパネルに加えて、**空の選択**および**主題の選択**は**選択**メニューからアクセスできます。

選択範囲を使用する

[範囲選択] ツールを使用して、画像全体ではなく、画像のある特定領域だけを選択して、その領域だけに編集やフィルタを適用することができます。[範囲選択] ツールには 6 のさまざまな選択ツールがあり、画像の領域の選択方法がツールごとに異なります。選択した

ツールによって、利用できるオプションやコントロールが変わります。

範囲選択ツールを使用するには:

1. 編集モードで、パネル上部にある次のツールから選択してボタンをクリックします: ブラシ選択ツール、多角形選択ツール、四角形選択ツール、楕円形選択ツール、投げなわ選択ツール、マジックwand選択ツール。各ツールの詳しい使用方法につきましては、下記をご覧ください。

選択範囲ツールは、次の編集ツールで利用することができます:

- 強化: 肌の色合い
- 追加: ヴィネット、特殊効果、チルトシフト、描画ツール、グレイン
- 露出/ライティング: 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、Light EQ™、かすみ除去、覆い焼きと焼きこみ
- カラー: ホワイトバランス、カラーEQ、カラーバランス、モノクロ変換、スプリットトーン
- 詳細: シャープネス、ぼかし、ノイズ、明瞭度、詳細ブラシ、色収差

選択範囲をプレビューするには:

1. 以下に詳述する選択ツールの1つを使用して選択範囲を指定します。
2. 画像のすぐ下にあるボタンバーで、 アイコンをクリックしたままにして、選択マスクをプレビューします。
3. オプション: メインメニューから**[選択] > [選択をバスケットに送信]**の順に選んで、現在の選択範囲を選択バスケットに配置します。

選択範囲ツール

-  **フリーハンド投げ縄**: マウスを左クリックしカーソルをドラッグして、選択したい範囲を囲むように描きます。描いているときには、描いた領域を示す線が表示されます。マウスを放すと、線の開始点と終了点が自動的に結ばれ、選択範囲の領域を完了します。選択された領域は、点滅破線のようなラインで表示されます。
-  **マジックwand**: 画像上の任意の場所をクリックすると、その色と同じピクセルすべてが選択されます。クリックしたところと同じ色のピクセルだけを選択するか、あるいは写真で近いカラーピクセルすべてを選択するかを選ぶことができます。しきい値を増やして、選択範囲に含むピクセル数を増やすことができます。しきい値が小さいほど、クリックされたピクセルに近い色を持つピクセルだけが選択され、従って選択されるピクセルの数を制限することになります。しきい値が大きいほど、より離れた色のピクセルまで選択範囲に含まれます。
-  **四角形**または  **楕円形**: クリック & ドラッグで選択範囲の開始点を長方形または楕円で指定し、マウスを放して終了点を指定します。**長方形**選択ツールを使っているときは**Shift**を押したままにして、正三角形の**正方形**にし、**楕円形**選択ツールを使っているときは正三角形の**円形**にします。
-  **形状選択**: イメージ上の任意の領域をクリックして選択を開始します。マウスを移動すると、選択範囲がカーソルに沿って変化します。選択ラインの方向を変更するには、マウスの左ボタンをクリックします。ダブルクリックすると選択が完了します。選択中にドロップされた点はコーナーノードです。コーナーノードを削除するには、それを右クリックして**[削除]**を選択します。選択にカーブノードを追加するには、コーナーノードがすべて設定された後、2つのコーナーノードの間のラインをクリックしてドラッグするとカーブラインが出現します。完了したら、**[コミット]**を選択して保存し、**[破棄]**を選択して削除します。
-  **ブラシ**: ブラシ選択ツールを使うと、色、明るさ、または色と明るさの組み合わせに基づいて、選択範囲を絞ることができます。選択範囲を定義するために、コンテキストバーのドロップダウンメニューから、**[色]**、**[明るさ]**、または**[マジック]**を選択

します。ブラシの中心を、対象とする色、輝度、または色と明るさの組み合わせに合わせて、ブラシ処理を開始します。しきい値を増加させて、より広範囲のピクセルを選択範囲に含めることができます。しきい値が小さいほど、クリックされたピクセルに近い色を持つピクセルだけが選択されるので、選択されるピクセルの数を制限することになります。右クリックで選択範囲を消去できます。



- **AIオブジェクトの選択:** マウスの左 ボタンをクリックし、カーソルをドラッグして、選択する領域の周囲を緩やかに描画します。描画すると、描画した位置を示す線が表示されます。マウスを放すと、線の終点が自動的に始点に結合して選択が完了します。AIは描画領域内のオブジェクトを検出し、オブジェクトの周囲に鮮明な選択範囲を作成します。

オーバーレイ オプション

範囲選択タスクに最適な可視化に基づいて、選択範囲の見た目をカスタマイズすることができます。

選択オーバーレイをカスタマイズするには:

1. **選択 | オーバーレイ オプション**を選択します。
2. **[オーバーレイ オプション]** ダイアログで、次のオプションのいずれかを選択します。

点滅破線

このオプションでは、動く点線で選択範囲の輪郭線を引きます。

選択範囲をハイライト

このオプションでは、選択した色で選択範囲にハイライト処理を施します。ドロップダウン メニューから色を選択します。**[透明度]** スライダーを使うと、カラーオーバーレイの透明度をカスタマイズできます。

選択範囲を露出

このオプションでは、選択した色で、画像内の選択されていない領域にハイライト処理を施します。ドロップダウン メニューから色を選択します。**[透明度]** スライダーを使うと、選択されていない領域の透明度をカスタマイズできます。

3. **[OK]**を押します。

選択範囲 ツールを使う

[投げ縄]を使用するには:

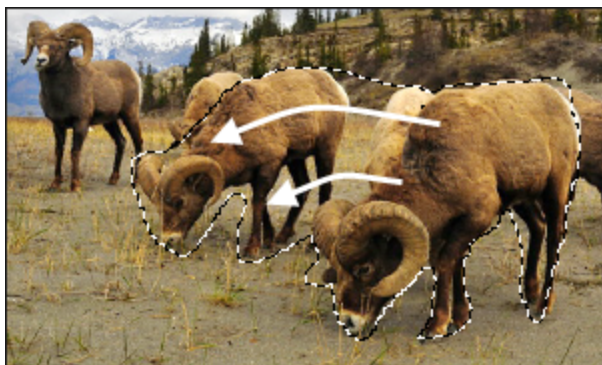
1. **投げ縄** ボタンを選択します。
2. 画像上で、左 マウスボタンをホールドしながら、選択したい領域の周りを描きます。
3. マウスボタンを放すと、選択範囲が完了します。



4. 選択範囲をクリアするには、画像上の任意の場所をクリックします (投げ縄、四角形、楕円形の場合)。

- 既に選択されている範囲に追加するには、**Shift**キーをホールドしたままでか、またはコンテキストバーにある **選択範囲に追加** ボタンを押してから、元の選択ラインの一部を含むようにして形を描きます。📌

マウスを放すと、オリジナルの選択範囲に描かれた形が追加され、新しい選択範囲として表示されます。



- 複数の領域を選択範囲に追加するには、**Shift**キーをホールドしたままでか、またはコンテキストバーにある **選択範囲に追加** ボタンを押してから、該当の領域を描きます。📌

その他の選択範囲のラインに触れない限り、離れた領域を選択範囲に追加することができます。



- 選択範囲から任意の領域を削除するには、**Ctrl**キーをホールドしたままでか、またはコンテキストバーにある **選択範囲から削除** ボタンを押してから、元の選択範囲の一部を含むか、または全部を取り囲む形を描きます。📌
- 選択領域の外側で編集または効果を適用したい場合、[選択] > [反転] をクリックすると選択範囲を反転します。

これで、オリジナルの選択範囲の外側が全て選択されることになります。



[プレビュー] ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。👁️

その後、適用したい編集 ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用 します。

マジックワンドを使用するには:

1. マジックワンドボタンを選択します。
2. 画像上にある任意の色をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
 - **[しきい値]** スライダを調整して、選択範囲に含む、または含まないピクセル数を指定します。**[しきい値]** スライダは、クリックしたピクセルにどれだけ近い色のピクセルを選択範囲に含めるかを設定するものです。
 - クリックしたピクセルと同じ色のものだけを選択したい場合は、**[連結]** チェックボックスをクリックします。
 - **Shift** キーをホールドしながら選択範囲の辺りをクリックすると、ピクセルが追加されます。
 - **Ctrl** キーをホールドしながら選択範囲の辺りをクリックすると、選択範囲からピクセルが削除されます。
4. [選択モード] ドロップダウン リストから、次のいずれかを選択します:
 - **明るさ:** クリックした画像上の領域に近い明るさのピクセルが選択されます。
 - **カラー:** クリックした画像上の領域に近い明るさと色合のピクセルが選択されます。



カラーを選択して範囲選択するのが一般的です。

- **RGB:** クリックした画像上の領域に近いレッド、グリーン、ブルー (RGB) のピクセルが選択されます。



[プレビュー] ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用することができます。

四角形または楕円形選択ツールを使用するには:

1. **[四角形]** ボタンまたは**[楕円形]** ボタンのいずれかを選択します。
2. クリック&ドラッグして選択範囲を描きます。
3. 次のいずれかを実行します:
 - すでに選択されている範囲にさらに範囲を追加するには、**Shift** キーをホールドした状態で、または**[選択範囲に追加]** ボタンを使って、オリジナルの選択ラインの一部を含む選択範囲をドラッグします。マウスを放すと、選択範囲が追加された形で表示されます。
 - 複数の領域を選択範囲に追加するには、**Shift** キーをホールドした状態でドラッグを繰り返し、複数の領域を追加します。
 - 既存の選択範囲から領域を削除するには、**Ctrl** キーをホールドした状態で、または**[選択範囲から削除]** ボタンを使って、削除したい領域と交わる選択範囲をドラッグします。マウスを放すと、選択範囲に含まれていた領域がドラッグした部分だけ選択範囲より削除されます。



[プレビュー] ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用することができます。

多角形選択ツールを使用するには:

1. **[多角形]** ボタンを選択します。
2. 画像の任意の場所をクリックして範囲選択を開始します。
3. 選択ラインの方向を変更するには、もう一度クリックします。
4. 範囲選択を完了するにはダブルクリックします。

5. 次のいずれかを実行します:

- すでに選択されている範囲にさらに範囲を追加するには、**Shift**キーをホールドした状態で、または **[選択範囲に追加]** ボタンを使って、オリジナルの選択ラインの一部を含む選択範囲をドラッグします。ダブルクリックすると、選択範囲が追加された形で表示されます。
- 複数の領域を選択範囲に追加するには、**Shift**キーをホールドした状態でドラッグを繰り返し、複数の領域を追加します。
- 既存の選択範囲から領域を削除するには、**Ctrl**キーをホールドした状態で、または **[選択範囲から削除]** ボタンを使って、削除したい領域と交わる選択範囲をドラッグします。ダブルクリックすると、選択範囲に含まれていた領域がドラッグした部分だけ選択範囲より削除されます。



[プレビュー] ボタンを長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用することができます。

ブラシ選択ツールを使用するには:

- [ブラシ選択]** ボタンを選択します。
- スマートブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します。

カラー	ブラシ中心のピクセルの色値にどれだけ近い(しきい値設定によって異なる)によって、ピクセルを選択します。
明るさ	ブラシ中心のピクセルの明るさの値にどれだけ近い(しきい値設定によって異なる)によって、ピクセルを選択します。
マジック	ブラシ中心の色値の明るさの値の組み合わせにどれだけ近い(しきい値設定によって異なる)によって、ピクセルを選択します。

- [しきい値]** スライダーを使用して、選択されるピクセルの範囲を増減させます。
- 選択したい色または明るさにカーソルを合わせ、クリック & ドラッグで選択範囲を作成します。



選択範囲から領域を削除するには、選択を解除したい領域で右クリック & ドラッグします。



ブラシを既定の選択ツールとして使用するには、**Shift**キーをホールドした状態でブラシを使用します。

編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用することができます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

AI選択ツールの使用



GPU で AI機能を利用するには、DirectX 12 フィーチャーレベル 12_0 以上が必要です。お使いの GPU のサポートレベルを確認するには、dxdiag.exe ツールを実行して **[ディスプレイ]** タブを確認するか、デバイスの公式仕様書を参照してください。GPU が要件を満たしていない場合でも、AI機能は代わりに CPU を使用して実行されます。

AIオブジェクト選択を使用するには:

- [AIオブジェクトの選択]** ボタンを選択します。
- 画像上で、マウスの左ボタンをクリックしたまま、選択するオブジェクトの周囲を描きます。
- マウスボタンを放すと選択が完了します。

4. 既存の選択範囲に追加するには、**Shift** を押したままにするか、コンテキストバーの **選択範囲に追加** ボタンを押して、次のような図形を描きます。元の選択行の一部が含まれます。
- マウスを放すと、元の選択範囲が拡張され、追加部分の外側の端が含まれます。
5. 選択範囲から削除するには、**Ctrl** を押したままにするか、コンテキストバーの **選択範囲から削除** ボタンを押して、以下を含む図形を描画します。元の選択範囲の一部、または完全に囲みます。

「スカイセレクト」の使用:

「スカイセレクト」ツールを使用すると、画像の天空を自動的に選択できます。

[選択] | **[AI背景を選択]** をクリックするか、**Ctrl + Shift + J** を押します。

「話題を選択してください」の使用:

「話題を選択してください」ツールを使用すると、画像の主題を自動的に選択できます。

[選択] | **[AI被写体を選択]** をクリックするか、**Ctrl + Shift + K** を押します。

空の選択を使用するには:

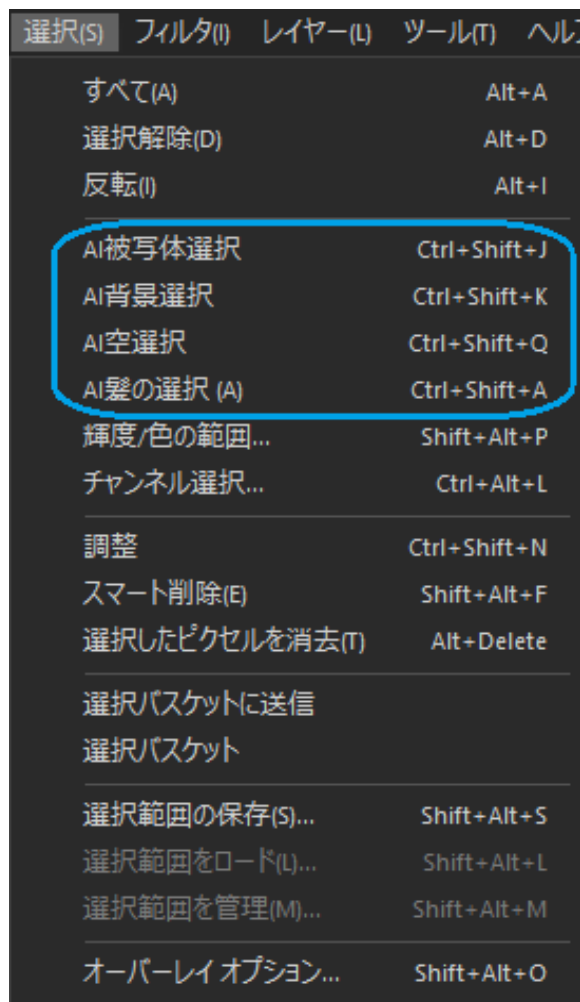
空の選択 ツールを使用すると、画像内の空を自動的に選択できます。

[選択] をクリックします。 **AI空を選択** するか、**Ctrl + Shift + Q** を押します。

AI髪の選択を使用するには:

髪の選択 ツールを使用すると、画像内の被写体の髪の毛を自動的に選択できます。

[選択] | **[AI髪の選択]** をクリックするか、**Ctrl + Shift + A** キーを押します。



ツールを組み合わせて使用する

選択範囲ツールは、複数のツールと組み合わせることも可能です。例えば、[マジックwand]を使用して特定の色を含んだ大きな領域を選択した後、[フリーハンド投げ縄]に切り替えて選択範囲の追加と削除を行うことができます。あるいは、[四角形]選択を使用して大きな領域を大きく選択した後、[フリーハンド投げ縄]で微調整を行うことができます。

選択範囲 ツールを組み合わせるには：

1. ツールを選択して範囲を指定します。
2. 別の選択範囲ツールを選択します。
3. [選択範囲に追加] ボタンを押します。 
4. また新たに範囲を選択します。

選択範囲をプリセットとして保存するには：

使用した設定は、後で利用する際のプリセットとして保存することができます。範囲選択ツールで範囲を選択したら、[選択] | [選択範囲を保存する] をクリックします。

以前保存した選択範囲を使用するときには、[選択] | [選択範囲をロード] をクリックします。

保存した選択範囲を削除するには、[選択] | [選択範囲を管理] をクリックします。

選択範囲を切り取って貼り付けるには:

1. 選択範囲を決定します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **Ctrl + C**または **Ctrl + X**を押します。
 - **[編集] | [コピー]**を選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **Ctrl + P**を押します。
 - **[編集] | [貼り付け]**を選択します。

レイヤーエディタで、選択中の (アクティブな) レイヤーの上に新しいレイヤーが作成され、そこに選択範囲が貼り付けられます。

選択したピクセルを削除するには:

画像内またはマスク内で選択した領域を削除できます。削除したピクセルを取り戻すには、**[元に戻す]** ボタンを使用します。

1. 選択範囲を決定します。
2. **[選択] | [選択したピクセルを削除]**を選択します。



Alt + Delete キーを押してもピクセルを削除できます。

選択範囲からレイヤーマスクを作成するには、選択範囲からマスクを追加または削除するか、マスクを選択範囲と交差させます。

[「レイヤーでマスクを使用する」](#)を参照してください。

選択範囲を調整する

選択ツールの1つを使用して選択を行うと、選択を大きくしたり小さくしたりできるので、編集が簡単になります。このプロセスは、選択範囲の端をシフトするか、選択範囲をぼかして柔らかくします。

選択を調整するには:

1. 上記の選択ツールのいずれかを使用して選択を行います。
2. **[選択] | [調整]** または、**Ctrl + Shift + N** をクリックします。
3. **[選択範囲の調整]** パネルで、**[エッジのシフト]** スライダーを使用して、左にスライドしてエッジを内側に移動するか、右にスライドしてエッジを外側に移動します。また、**フェザリングスライダー**を使用して、選択範囲のエッジを柔らかくします。これにより、トランジションがスムーズになります。
4. **[完了]** をクリックして、調整した選択範囲を保存します。



[調整された選択範囲をプリセットとして保存](#) できます。

選択範囲を絞り込む

特定のカラートーン、明るさの値、スキントーンに選択範囲を絞り込むことができます。

色またはトーンでピクセルを選択するには:

1. **[選択] | [ピクセル ターゲット]** をクリックします。
2. **[ピクセル ターゲット]** パネルの設定を以下のように設定します。
3. **[OK]** を押します。対象の色やトーンが選択されます。

輝度選択

画像の明るさに基づいて選択範囲を作成できます。ピクセルは明るいほど、選択範囲に含まれやすくなります。

明るさでピクセルを選択するには:

[選択] | [輝度選択]をクリックします。

チャンネルの選択

画像の色情報は色情報チャンネルに保存されます。

色情報チャンネル

新しい画像を開くと、カラー情報チャンネルが自動的に作成されます。作成されるカラーチャンネルの数は、画像のカラーモードによって決まります。たとえば、RGB画像では、各色(赤、緑、青)にチャンネルがあります。



画像のカラー情報チャンネルを保持するには、画像のカラーモードをサポートするファイル形式で保存してください。

チャンネル選択ダイアログを開くには:

編集モードで、メインメニューから[選択範囲]>[チャンネル選択...]を選択、または **Ctrl + Alt + L**を押します。

チャンネル選択のダイアログインターフェイス

[チャンネル選択]ダイアログインターフェイスは、次の4つの領域に分かれています。

- チャンネル種別
- レベル、
- プレビュー、および
- ボタンバー

[チャンネルタイプ]フィールドセットには、画像内のすべてのチャンネルが以下のタイプ別にグループ化されて一覧表示されます:

- **RGB**(赤、青、緑)、
- **CMYK**(シアン、マゼンタ、黄色、ブラック)、
- **LAB**(知覚的明度のL、赤、緑、青、黄色のAとB)、および
- **HSL**(色相、彩度、明るさ)。

レベルグループには、3つのタブ付きスライダーとグラフがあり選択したチャンネルタイプに対して行われた調整を表示します。[反転]チェックボックスを使って画像の逆極性を選択できます。

プレビューペインには、元の画像の最新のマスクが表示されます。画像のすぐ下には、ズームスライダー、数値入力ズームフィールド、フルスクリーンアイコン、元の画像を元のサイズで表示するための1:1アイコンがあります。

ボタンバーはダイアログの下部にあり、[ヘルプ]ボタン、[選択バスケットに保存]ボタン、[選択範囲として設定]ボタン、[マスクとして設定]ボタン、および[キャンセル]ボタンが含まれています。ボタンの機能の説明については、以下の表を参照してください。

ヘルプ	 チャンネル選択のヘルプページを開きます。
選択バスケットに保存	[チャンネルの選択]ダイアログの編集内容を[選択バスケット]ダイアログの新しいレイヤーに配置します。選択バスケットのレイヤーで以下のボタン機能を使用します(選択バスケット を参照)。
選択として設定	チャンネルセクターでの編集をプレビューペインの現在の選択にします。
マスクとして設定	プレビューペインでチャンネルセクターのマスクを編集し、レイヤーペインで選択したレイヤーにマスクを追加します。
キャンセル	アクションを実行せずに[チャンネル選択]ダイアログを閉じます。

チャンネル選択で画像を編集するには:

1. 編集モードで、メインメニューから[選択範囲]>[チャンネル選択...]を選択、または **Ctrl + Alt + L**を押します。
2. [チャンネルの選択]ダイアログで、チャンネルタイプを有効にします。
3. レベルグループで微調整を行います。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [選択バスケットに保存]ボタンをクリックする、
 - [選択範囲として設定]ボタンをクリックする、
 - [マスクとして設定]ボタンをクリックする、もしくは
 - [キャンセル]ボタンをクリックする。

編集またはエフェクトを選択範囲に適用する

[選択範囲] ツールを使用して、画像の編集したい特定の部分のみ選択することができます。選択が完了したら、その選択範囲内にのみカラーや露出などの編集ツールや、特殊効果フィルタを適用することができます。画像上でアクティブになっている選択範囲は、ありの行進のようなラインで表示されます。

選択範囲の編集または効果を適用するには:

1. [選択範囲ツール](#) を使用して、範囲を特定して選択します。
2. 以下のグループから使用するツールを選択します:
 - 露出 / ライティング
 - 色
 - デイテール
 - 追加 (特殊効果)

 [フエザリング]スライダーの横にある[選択範囲を使用]ボタンがオンになっていることを確認します。

3. ツールを使って画像を編集します。

次のオプションのいずれかを選択します:

選択範囲の使用

クリックして、選択範囲を使用、あるいは画像全体に編集または効果を適用します。このコントロールは選択範囲のみに編集を適用した後、**選択範囲の使用**を解除して、別の編集を画像全体に適用する場合に便利です。一度選択した選択範囲をクリアする必要はありません。

選択範囲の反転

クリックして選択範囲を反転します。(選択範囲外の領域が選択されることになります)。

フェザリング

ドラッグして、選択範囲のエッジ、編集または効果にみられるぼかしを増加または減少します。

フェザリングは選択範囲と画像の間に見られるエッジをブレンドするため、不自然またはシャープなトランジションを防ぐことになります。また、このコントロールによって、選択したい範囲のエッジを完璧にまた緻密に選択する必要がなくなります。

選択範囲の表示/選択範囲を隠す

クリックして、選択範囲の周りの行進するアリを表示または非表示にします。選択線を非表示にすると、さまざまな効果の効果を判断しやすくなります。**Ctrl + Alt + Z**を押して、有効または無効にします。

スマート削除ツールを使用する

画像の中の不要なオブジェクトを選択するか、またはブラシでなぞって、スマート削除機能を使用すると、画像から不要なオブジェクトを削除することができます。スマート削除は、画像を分析して、ブラシでなぞった領域や選択した領域の最適な塗りつぶし方法を予測する機能です。この処理は、選択したオブジェクトやブラシでなぞったオブジェクトがない場合の、もっともらしい画像はどのようなものかに基づいています。

 画像の 25% 以上を選択している場合またはブラシでなぞった場合、スマート削除機能は意図したとおりに機能しません。

選択範囲を消去して塗りつぶすには:

1. [編集] モードで、パネル上部にある選択ツールを選択します。
2. 画像の中で塗りつぶしたい領域を選択します。
3. [選択]、[スマート削除]をクリックします。塗りつぶしが適用されます。
4. 希望する外観になるまで手順を繰り返します。

 ブラシ選択ツールを使用している場合、[強度] スライダを 50 以上に設定しておく必要があります。

スマート削除ブラシツールを使用して削除と塗りつぶしを実行するには:

1. [編集] モードで、パネル上部にあるツールバーから[スマート削除ブラシ]を選択します。
2. 塗りつぶしたい領域をブラシでなぞります。マウス ボタンを離すと、塗りつぶしが適用されます。
3. 希望する外観になるまで手順を繰り返します。



輝度/色の範囲

色/トーンによるターゲティング調整

ツールを使用して画像にさまざまなグローバル調整を行えます。**編集ブラシ**を使用すると画像の特定のセクションを調整できます。**輝度/色範囲**選択ツールを使用すると、異なる色調、色、肌の色調を選択できます。**輝度/色範囲**選択ツールは、写真の個々の色や色調、または肌の色調にいくつかの調整を適用します。たとえば**編集**モードで画像を開き、ツールバーから**露出**フィルターを追加すると、露出が画像全体で調整されることに注意してください。ただし、画像の青空の露出のみを調整するには、メインメニューから[選択]>[色の範囲]の順に選択して、**輝度/カラー範囲**ツールを有効にします。**輝度/色の範囲**を選択しカラーホイールを使用して青をターゲットにすれば、空の露出だけを増やすことができます

輝度/色の範囲を使って選択範囲を指定するには：

1. メインメニューから[選択]>[輝度/色の範囲]の順に選択します、または**Shift + Alt + P**を押します。
2. [輝度/カラー範囲]ペインで、以下の説明に従って、**ターゲットトーン**と**ターゲットカラー**を設定します。
5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **OK**をクリックして変更を承認し、ダイアログボックスを閉じます。
 - **[キャンセル]**をクリックしてすべての変更を無効にし、ダイアログを閉じます。

輝度/色の範囲



輝度/色範囲ペインは、次の3つのセクションで構成されています。

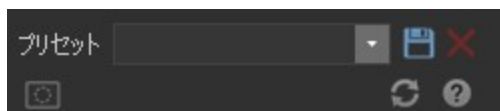
- プリセット
- 輝度範囲

- 色の範囲

輝度/色範囲 ペインセクション

プリセット

[プリセット] ドロップダウンリストから選択するか、[プリセットの保存] アイコンをクリックして、新しいプリセットを[プリセット] ドロップダウンリストに追加します。



リセット



アイコンをクリックして、現在の画像編集をすべて削除し、画像を元の状態に戻します。

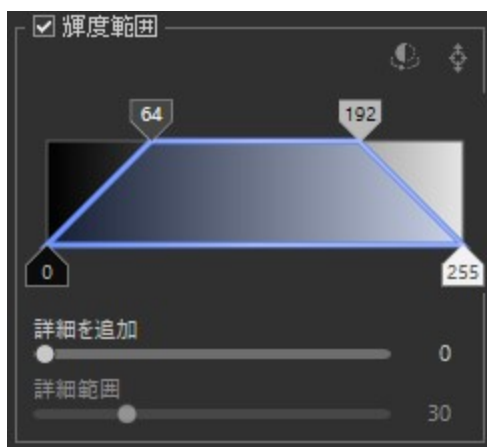


ヘルプ

アイコンをクリックして、輝度/色範囲ヘルプファイルを開きます。

輝度範囲

輝度範囲フィールドセットは、調整のために明るさのトーンをターゲットにするために使用されます。関連する機能を有効にするには、**[輝度範囲]** チェックボックスを有効にします。



選択範囲の反転



アイコンをクリックして、選択したピクセルを選択していないピクセルに変更します。

トーングラパー

4つのスライダータブを使用して、色調を選択します。青いボックス内の

領域は、色調の選択を表しています。上の2つのタブは互いにスライドできません。中央に向かってスライドするとき、各下部タブがそれぞれの上タブを超えてスライドすることはできません。色調範囲は0～255です。上部とそれに関連する下部のスライダータブの間の対角線は、柔らかな選択効果を生成します
(輝度範囲の例では64～0)。上部と関連する下部のスライダータブを結ぶ

	輝度範囲の例では64～0)。上部と関連する下部のスライダータブを結ぶ直線は、シャープな選択範囲を生成します(輝度範囲の例では、上部192から下部192)。 スライドの値を大きくして、選択範囲の端の周りの鮮明さをシャープにします。 [詳細の追加]スライダーが値0を超えて進んだ場合、[詳細範囲]スライドが有効になり、[詳細の追加]スライダーによって追加されるエッジの詳細の範囲を制御できます。
詳細を追加	
詳細範囲	
色の範囲	[色の範囲]フィールドセットは、調整する色を指定するために使います。 [色の範囲]チェックボックスをオンにすると機能が有効になります。



色を反転



アイコンをクリックして、ホイールで選択した色を反転します。

カラーホイール

カラーホイールを使えば、画像の色を細かく調整できます。カラーホイールは、青い空をより青くしたり、暗い湖の色を明るくしたりするなどのよくある要件で特に役立ちます。選択した色は、[ホイールを有効にする] チェックボックスの下に円に表示されます。カラーホイールの詳細については、[「カラーホイールを使った色の調整」](#)を参照してください。

い。

ホイールを有効にする	選択した色を表示するホイール選択の円の上にあるチェックボックスを有効にして、関連するホイールをアクティブにします。
ホイール	+ アイコンをクリックして、追加のカラーホイールを使用して別の色に変更します。
ホイールの選択	[ホイールを有効にする] チェックボックスのすぐ下にある内側の円をクリックして、関連するカラーホイールを選択します。選択した色はホイールで使われます。
ホイールを削除	X 現在選択されているカラー

滑らかさ

ホイールを削除します。

スライダーを上げて滑らかさを調整します。これは、色のエッジを柔らかくするフェザリングツールのように機能します。

ターゲットスキントーン

肌のターゲットティングスライダーを使用すると、残りの[色の範囲]フィールドセットが無効になり、肌の色のみをターゲットティングできるようになります。

輝度/色範囲 選択ツールは、他の [選択](#) または [編集ブラシ](#) と組み合わせるとさらに強力になります。これらのツールを同時に使用すると、画像内のすべての青ではなく、人物の目の青だけなど、非常に細かく領域をターゲットにすることができます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



変更をクリアして既定の設定に戻すには、[リセット]をクリックします。



後の使用のために、設定値をプリセットとして保存します。【**輝度/カラー範囲**】ペインの[プリセットの保存]ボタンを使用すると、輝度/カラー範囲の設定のみが保存され、フィルターの設定は保存されません。フィルター設定は個別に保存する必要があります。

選択バスケットに選択範囲を集める

選択バスケットは、さまざまなソースからの画像と選択範囲を収集して保持するために使用されます。選択範囲が選択バスケットに配置された後、ACDSee 究極のツールまたは機能のいずれかを使用して、選択範囲を編集または表示できます。

選択バスケットオプション

名前の変更		[選択 バスケット]ダイアログで選択範囲を右クリックし、[名前の変更]を選択して[レイヤーの名前変更]ダイアログを開きます。[新しい名前]フィールドに名前を入力し、[OK]ボタンをクリックして名前をカスタマイズします。
重複した選択		現在の選択範囲のコピーを作成し、デフォルトで「一時的な名前」という名前の新しく複製した選択範囲にフォーカスします。
この選択を選択したレイヤーのマスクとして設定します		選択バスケットでの選択を[レイヤー]ペインでの選択のマスクにし、マスクを[プレビュー]ペインに追加します。
この選択を現在の選択として設定します		選択バスケットの選択をプレビューペインの現在の選択にします。
削除		選択バスケットの選択を削除します。
現在選択されているレイヤーマスクをバスケットに追加します		選択バスケットを開いた状態で、バスケットを離れることなく、現在選択されているレイヤーマスクをバスケットに追加します。
現在の選択をバスケットに追加します		選択バスケットを開いた状態で、バスケットを離れることなく、現在の選択をバスケットに追加します。

 別の画像ファイルに移動すると、選択バスケットの内容が失われます。

選択バスケットのコンテキストメニュー項目

名前の変更	[選択 バスケット]ダイアログで選択範囲を右クリックし、[名前の変更]を選択して[レイヤーの名前変更]ダイアログを開きます。[新しい名前]フィールドに名前を入力し、[OK]ボタンをクリックして名前をカスタマイズします。
選択として設定	現在の選択を設定します。
選択範囲に追加	新しい接続選択を現在の選択に追加します。
選択範囲から削除	現在の選択に接続されている新しい選択を削除します。
選択範囲との交差	現在の選択範囲を、新しい選択範囲と交差する領域に減らします。
マスクとして設定	現在の選択を設定します。
マスクに追加	新しい接続選択を現在の選択に追加します。
マスクから削除	現在のマスク選択に接続されている新しいマスク選択を削除します。
マスクとの交差	現在のマスク選択範囲を、新しいマスク選択範囲と交差する領域に減らします。

新しい選択バスケットを開くには:

1. **編集** モードで、画像を開き、[選択 ツール](#) の1つを使用して選択を行います。
2. メインメニューから**[選択]>[選択バスケットに送信]**を選択するか、**[ペイン]>[選択バスケット]**を選択します。

選択バスケットに選択範囲を追加するには:

1. **編集** モードで、既存の選択バスケットに少なくとも1つの選択範囲が入力されている状態で、次のいずれかを実行します:
 - 上記の[選択 ツール](#) のいずれかを使用して選択を行います。
 - 新しい画像を開き、[選択 ツール](#) の1つを使用して新しい選択を行います。
2. メインメニューから**[選択範囲]>[選択範囲をバスケットに送信]**を選択します。

選択バスケットで選択を複製するには:

1. 選択バスケットで、複製する選択を選びます。
2. 選択バスケットの下部のボタンバーにある  アイコンをクリックします。

選択したレイヤーのマスクとして選択範囲を設定するには:

1. 選択バスケットで、レイヤーエディタで選択のマスクとして設定する選択範囲を選択します。
2. 選択バスケットの下部のボタンバーにある  アイコンをクリックします。選択範囲がマスクとしてレイヤーエディタに追加され、マスクのレイヤーへの影響を反映するために表示領域の画像が変更されることに注意してください。

選択範囲を現在の画像選択範囲として設定するには:

1. 選択バスケットで、現在の画像選択として設定する選択範囲を選びます。
2. 選択バスケットの下部のボタンバーにある  アイコンをクリックします。選択範囲は、画像表示領域の画像の現在の選択範囲として設定されていることに注意してください。

選択バスケットから選択を削除するには:

1. 選択バスケットで、複製する選択を選びます。
2. 選択バスケットの下部のボタンバーにある  アイコンをクリックします。

選択範囲の名前を変更するには:

1. 選択バスケットで、名前を変更する選択を右クリックします。
2. コンテキストメニューから**[名前の変更]**を選択します。
3. **[レイヤーの名前変更]**ダイアログで、**[新しい名前]**フィールドに名前を入力し、**[OK]**をクリックします。

レイヤーを使用する

編集モードにあるレイヤーペインを使って、レイヤーに効果や形を追加をしたり、写真加工を実行したり、合成写真を作成するなどさまざまな編集が楽しめます。レイヤーを使うと他の画像に影響を与えることなく、画像のある特定の要素だけに作業を行うことができます。レイヤーはお好みに合わせて、透明にも不透明にもできます。そのため、レイヤーを重ねることで各レイヤーに追加するエレメントの可視性を自由に調整できます。レイヤーは非表示にすることもできます。

レイヤーは特殊効果や調整ツール、描画ツール、テキストなど複数のツールと併用して使用することができます。レイヤーペインでレイヤーを選択したら、効果を適用したり、透明度を調整したりすることができます。ブランクの画像を作成して、その上にその他の要素をレイヤーとして載せることもできます。



ジオメトリに関する調整はすべてのレイヤーに適用されます。

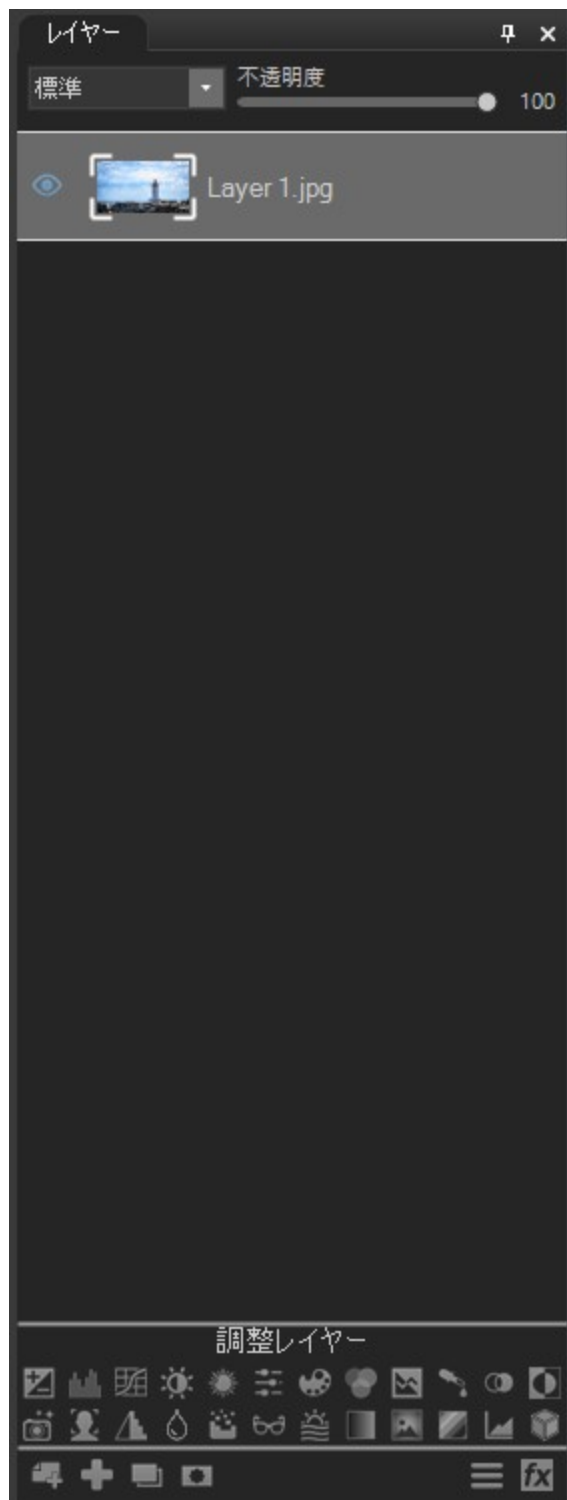


新しいレイヤーに透かしを追加するオプションがあります。これを行うと、透かしは画像の一部としてではなく、画像の上に保存されるため、いつでも戻って編集することができます。

レイヤーペインを開くには:

[編集] モードで画像を開いたら、[ペイン] > [レイヤー]に進みます。

レイヤーペインを開くと、画像がレイヤー1の上に表示されます。この時点で、写真を編集したり、他の写真や描画エレメント(シェイプなど)を含んだ別のレイヤーを追加したりできます。[マスク](#)を作成して、下層のレイヤーを表示/非表示することもできます。



レイヤーを追加するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- レイヤーペインの下部にある [空白のレイヤーを追加する] ボタンを押します。
- [レイヤー]>[空白のレイヤーを追加]に移動します。



レイヤーを編集するには、レイヤーペインで該当のレイヤーを選択します。

レイヤーペインにもう1つ画像を追加するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [レイヤー]ペインの下部にある[ファイルをレイヤーとして追加]ボタンを押します。
- [レイヤー]>[ファイルをレイヤーとして追加]に移動します。
- 編集モードの下にあるフィルムストリップから画像のサムネイルを選択してレイヤーペインにドラッグします。
- 編集モードの下の方にあるフィルムストリップから画像のサムネイルを右クリックし、コンテキストメニューから[画像を新規レイヤーとして追加]を選択します。

複数の画像をレイヤーペインに追加するには:

管理モードで、目的の画像を選択し、コンテキストメニューから右クリックで[処理]>[ファイルをスタックにロード]を選択します。

レイヤーの可視性を設定するには:

すべてのレイヤーを表示または非表示にするには、以下に挙げる手順のいずれかを実行します。

- [レイヤー]>[すべてのレイヤーを表示]を選択するか、**Shift + J**を押します。
- [レイヤー]>[すべてのレイヤーを非表示]を選択するか、**Shift + Y**を押します。

個々のレイヤーを表示または非表示にするには、該当するレイヤーを選択して[レイヤーの表示/非表示]ボタンを押します。

レイヤーの表示



レイヤーの非表示



レイヤーを削除するには:

レイヤーを選択したら、[レイヤーの削除]ボタンを押します。



レイヤーを複製するには:

複製したいレイヤーを選択し、[複製]ボタンを押します。



レイヤーを移動するには:

レイヤーペインで、レイヤーを選択して上下にドラッグします。

レイヤー名を変更するには:

1. 「レイヤー1」などからレイヤー名を変更するには、レイヤーを選択して右クリックします。
2. コンテキストメニューから[レイヤー名の変更]を選択します。
3. [レイヤー名の変更]ダイアログボックスで、新しいレイヤー名を入力して[OK]をクリックします。

レイヤーを結合するには:

レイヤーは下層のレイヤーと結合することができます。

1. 一番上のレイヤー、または下にレイヤーが存在しているレイヤーを選択します。

2. [下のレイヤーと結合]ボタンを押します。



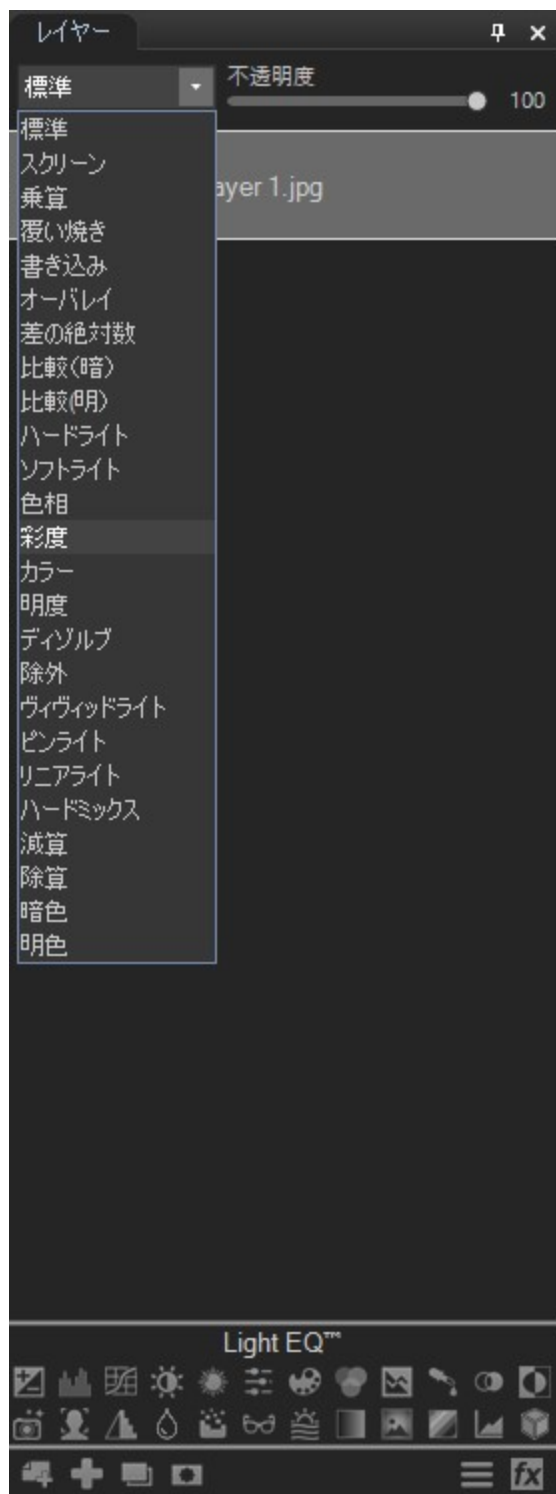
画像を統合するには:

すべてのレイヤーをひとつの画像に結合するには、次の操作を行います。

[レイヤー]>[画像を統合する]を選択します。

レイヤーのブレンドモードと透明度を変更するには:

[ブレンド] モードによって、それぞれのレイヤーがどのようにブレンドされるかが決まります。ブレンドは、例えレイヤーの順序が変更されても、適用されたレイヤーに固定されます。透明度では、レイヤーの可視性、透明度を調整することができます。



1. レイヤーを選択します。
2. [レイヤー]ペインの上部にあるドロップダウンリストから、**[ブレンドモード]** を選択します。
3. [レイヤー]ペイン上部の **[透明度]** スライダを移動します。

レイヤー化した画像は、以下の手順で保存します:

レイヤー化した画像を保存する場合、[名前を付けて保存] ダイアログが開きます。ファイルフォーマットはデフォルトで **[.acdc]** に設定されています。**.acdc** ファイルフォーマットで保存すると、その後[編集] モードで画像を再度開いたときも、レイヤーにアクセスすることができます。



画像を統合したり、レイヤーをすべて結合した場合には、[名前を付けて保存] ダイアログボックスには既定のフォーマットとして **.acdc** は表示されません。

このファイルフォーマットは、すべてのビット深度画像に対してデフォルトで各チャンネル8ビットで保存されます。**RAW** ファイル、**64ビット TIFF** ファイルなどチャンネルデータごとに**16ビット**ある画像は、チャンネル毎に**16ビット**で保存できます。これによってより高画質な画像が実現しますが、ファイルサイズも大きくなります。**16ビット**で保存するには、[名前を付けて保存] ダイアログボックスで **[各チャンネルデータ 16ビット]** のチェックボックスを選択します。このオプションを使用して各チャンネルデータが**16ビット**より低い画像を保存しようとする、チャンネル毎に**8ビット**で保存されます。

新しい画像を作成するには:

ブランクのまったく新しい画像を作成することができます。

1. [ファイル]>**[新しい画像...]** または **Ctrl + N** を押します。
2. [新しい画像] ダイアログで、画像名と寸法を入力します。ドロップダウンメニューを使用して、測定単位をカスタマイズできます。



幅または高さはいずれも、**16,000** ピクセルを超えて設定することはできません。

3. [アスペクト比]の横にあるドロップダウンリストから、アスペクト比を選択します。**[カスタム]** オプションを使用して、独自の比率を定義できます。ドロップダウンで比率を選択し**[削除]** ボタンを押すことで、比率を削除することもできます。
4. [解像度]の横で、[インチあたりのドット数] フィールドを使用して解像度を指定します。
5. [背景のコンテンツ] ドロップダウンメニューから画像の背景色を選択します。
6. [ビット数] ドロップダウンメニューから、画像を**32ビット**と**64ビット**のいずれにするかを選択します。
7. **[OK]** を押します。新しい画像が **.acdc** フォーマットで開きます。



[新しい画像] ダイアログで、新しい画像設定をプリセットとして保存できます。**[プリセット]** ドロップダウンの横にある**[プリセットの保存]** アイコンを押します。次に、プリセットの名前を入力するように求められます。そして、**[OK]** を選択して保存します。プリセットを削除するには、ドロップダウンメニューでプリセットを選択し、**[プリセットの削除]** アイコンを押します。

レイヤーマスクを追加するには、**[レイヤーでマスクを使用する]** を参照してください。

調整レイヤーを使用する

レイヤー ペインの**[調整レイヤー]** セクションを使用すると、編集モードの画像で非破壊的に調整したりエフェクトを追加したりできます。調整レイヤーはレイヤーペインで重なっており、いつでも個々のレイヤーに戻って、各エフェクトの調整を続行することができます。各調整レイヤーにはデフォルトでマスクが備わっています。

調整レイヤー付きの画像を **.acdc** ファイルで保存すると、その画像を編集モードで開き直し、引き続きいつでも各エフェクトを個別に調整することができます。



最高の仕上がりを得るには、調整レイヤーを追加する前に全体調整をすべて行います。

調整レイヤーを追加するには:

編集モードで画像を開いて、次のいずれかの操作を行います。

- レイヤーペインの下部から調整レイヤー アイコンを選択 する。

- レイヤーペインの下部にある[調整レイヤーの追加]メニューから調整レイヤーを選択 する。



調整レイヤーがレイヤーペインの画像の上に追加 されます。調整レイヤーの設定 がパネルの下部に表示 されます。以下に従って設定を行 ってください。

調整レイヤーを特定の画像に適用するには:

レイヤー ペインに複数の画像がある場合、調整レイヤーを特定の画像に制限 することができます。

1つの調整レイヤーをその下の最も近い画像レイヤーだけに適用 するには、[クリッピング]ボタンを押 します。

	クリッピング オフ
	クリッピング オン

すべての調整レイヤーの[クリッピング]ボタンをすべて有効にすると、複数の調整レイヤーを特定の1つの画像レイヤーに適用 することができます。

調整レイヤーと設定

露出調整レイヤーオプション

露出	スライダを右に移動して露出を増やすか、左に移動して露出を減らします。
コントラスト	スライダを右にドラッグするとコントラストが大きくなり、左にドラッグするとコントラストが小さくなります。

レベル調整レイヤーオプション

- カラーピッカーを使用して、調整レイヤーの下のレイヤーで調整する色を選択 します。
- レベル パネルの右側にあるボタンを使用して、調整するチャンネルに輝度、赤、緑、青を選択 します。
- パネルの下部にある矢印を使用して、シャドウ、中間色、ハイライトを調整 します。シャドウの矢印を移動させて、画像の最も黒い部分を定義 します。中間色の矢印を移動して、中間色を定義 します。ハイライトの矢印を移動して、画像の最も白い部分を定義 します。

カーブ調整レイヤー オプション

カーブ パネルの右側にあるボタンを使用して、調整する RGB、赤、緑、青のカラーチャンネルを選択 します。

[[トーンカーブを調整する](#)]を参照してください。

Light EQ™ 調整レイヤー オプション

明るくする	スライダをドラッグして、画像の暗い部分の明るさを増やします。
暗くする	スライダをドラッグして、画像の明るい部分の明るさを減らします。

ホワイトバランス調整レイヤー オプション

色温度	補正の暖かさを青から黄色に調整します。
色かぶり補正	補正の色合いをマゼンタから緑に調整します。
カラーピッカー	調整する正確な色を選択します。

彩度調整レイヤー オプション

バイバランス	バイバランスを増やすには右へ、バイバランスを減らすには左へ、スライダをドラッグします。バイバランスを増やしても画像のスキントーンには影響しません。彩度と異なり、すべての色を均等に増感するわけではありません。
彩度	スライダを右に移動して彩度の量を増やすか、左に移動して彩度の量を減らします。
色相	画像の色相を調整します。スライダを右にドラッグすると色相が増え、左にドラッグすると色相が減ります。
輝度	画像の明るさを調整します。スライダを右にドラッグすると画像が明るくなり、左にドラッグすると画像が暗くなります。

カラーEQ調整レイヤー オプション

[彩度]、[色相]、または[明るさ]のタブを選択し、スライダをドラッグして色の調整を個別に行います。

バイバランス	スライダをドラッグして、スキントーンを変えずに画像のバイバランスを調整できます。
彩度	彩色飽和からグレースケールまで調整することができます。
色相	色相を変更します。
明るさ	画像で明るいトーンまたは暗いトーンを調整することができます。
カラーピッカー	調整する正確な色を選択します。

RGB調整レイヤー オプション

[赤]、[緑]、[青]のスライダを使用して、画像のRGBチャンネルをバランス調整したり強調したりします。

スキントーン調整レイヤー オプション

色相のハイライト	スライダを右にドラッグしてハイライトする色を選択します。
彩度のハイライト	スライダーを右にドラッグして画像のハイライト部分の指定色の彩度を上げます。
シャドウの色相	スライダを右にドラッグしてシャドウの色を選択します。
シャドウの彩度	スライダーを右にドラッグして画像のシャドウ部分の指定色の彩度を上げます。
バランス	スライダを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。例えば、スライダが最大値の50に設定されている場合は、ハイライト色は最大限に強調され、スライダのが最小値の-50に設定されている場合は、シャドウ色が最大限に強調されます。

色追加調整レイヤー オプション

- 画像に追加する色を選択します。
- [密度] スライダーを使用して、追加した色の強度を指定します。

モノクロ調整レイヤー オプション

[赤]、[緑]、[青] のスライダーを調整して、モノクロ画像に色を追加し直します。

明るさ	画像の色の明るさを調整します。

ネガ調整レイヤー

ネガ調整レイヤーにより、画像からネガが作成されます。この調整レイヤーに対する設定はありません。

写真エフェクト調整レイヤー オプション

ドロップダウン メニューから写真エフェクトを選択して、画像の雰囲気を変更します。



マウスホイールを使用すると、写真エフェクトを速くスクロールすることができます。

スキントーン調整レイヤー オプション

平滑化	肌のきめの質感を抑えて滑らかにします。
グロー	肌を少し滑らかにしつつ、明るくします。
半径	エフェクトによるきめの質感の程度を指定します。値を下げれば細かいディテールが、上げれば大きなディテールが強調されます。

シャープネス調整レイヤー オプション

強度	エッジの各サイドのコントラストを増減することで、適用するシャープネスの強度を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が粗くなり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細くなります。
ディテール	強度を減らすことにより光輪(極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の境界線)を抑えます。値が大きいほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになり、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになり、ノイズを増やすことになります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。

ぼかし調整レイヤー オプション

[ガウシアン] ボタンまたは[方向性] ボタンを選択してぼかしの種類を選択します。  

ガウシアン

画像全体を均等にスムーズにぼかします。

強度

ぼかしの強度を指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

方向性

画像に動きをつけてぼかします。

強度

ぼかしの強度を指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

角度

ぼかしエフェクトが適用される方向を指定します。

ノイズ除去調整レイヤー オプション

明度

ノイズ中の明るさのばらつきを除去します。

色

ノイズ中の色のばらつきを除去します。

明瞭度調整レイヤー オプション

明瞭度

スライダを右にドラッグすると画像のテクスチャが強調されます。スライダを左にドラッグすると画像のテクスチャが滑らかになります。

オートン

スライダをドラッグすると、テクスチャがわずかに滑らかになりながら局所的なコントラストが強調されます。

ソフトライト

スライダをドラッグすると、テクスチャがわずかに滑らかになりながら明るくなります。

トーンの幅

スライダをドラッグすると、明瞭度、オートン、ソフトライトのスライダにより変化するシャドウとハイライトの量をコントロールできます。値0を選択すると中間色の調整が制限されます。値100を選択するとすべてのトーンで均等に調整が適用されます。

半径

スライダをドラッグして、変化するテクスチャのディテールの程度をコントロールします。値0を選択すると細かいディテールが強調され、値100を選択すると大きなディテールが強調されます。

輪郭の強調処理

強調テクスチャによってエッジ周辺に光輪ができるのを抑え、テクスチャを滑らかにする際のエッジのソフト化を最小限にするには、このチェックボックスをオンにします。

かすみ除去調整レイヤー オプション

スライダをドラッグしてコントラスト、ディテール、色を補正する強度を調整します。

グラデーション マップ調整レイヤー オプション

シャドウ

ドロップダウンまたはカラーピッカーを使用して、画像の暗い部分に追加する色を指定します。

ハイライト

ドロップダウンまたはカラーピッカーを使用して、画像の明るい部分に追加する色を指定します。

ピネット調整レイヤー オプション

強度	ピネットのサイズと強度を指定します。
距離	焦点の周りにあるクリアゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリアゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリアゾーンのサイズが大きくなります。
形	フレームの形状を指定します。

ポスタライズ調整 レイヤー オプション

[ポスタライゼーション エフェクトの適用](#) を参照してください。

しきい値調整 レイヤー オプション

スライダを使用して明るさのレベルを選択します。選択したレベルの明るさより明るいピクセルはすべて白くなり、暗いピクセルはすべて黒くなります。

カラー LUT レイヤーオプション

ドロップダウンメニューからカラー LUT を選択します。または、[LUT をインポート] ボタンを押して、新しい LUT をリストにインポートします。

レイヤーでマスクを使用する

レイヤーマスクで、レイヤーの透明度を調整することができます。不透明スライダはレイヤー全体の不透明度を簡単に調整したいときにとっても便利ですが、レイヤー マスクはレイヤーの特定部分に絞って調整したいときに効果を発揮します。レイヤーマスクを使って下層にあるレイヤーの一部分を表示/非表示にしましょう。複数の画像を1つの画像に統合したいときや、一部分だけ調整したいときに、レイヤーマスクは非常に効果的です。

レイヤーマスクの種類については、ホワイトマスクとは下層にあるレイヤーを完全にカバーします。ホワイトマスクを黒いブラシでペイントすると、マスクにまるで "穴" ができるようにブラシをするため、その下にあるレイヤーが透けて見えるようになります。反対にブラックマスクは透明なので、下層にあるレイヤーを完全に表示します。ブラックマスクを白いブラシでペイントすると、画像を覆い隠しているため、その下にあるレイヤーがカバーされて隠されます。

レイヤーマスクを作成するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- レイヤーペインで、レイヤーマスクを追加したいレイヤーを右クリックして、[ホワイトマスクを設定] または [ブラックマスクを設定] を選択します。
- [レイヤー] から [マスク]、[ホワイトマスクの設定] または [ブラックマスクの設定] と進みます。

- レイヤーペインの下方にある [レイヤーマスクを追加する] ボタンをクリックします。



ホワイトまたはブラックのマスクが、選択したレイヤーの画像サムネイルの横に表示されます。レイヤーマスクを操作する場合は、必ずマスクをレイヤーペインで選択する必要があります。レイヤーマスクの不透明度を変更するには、レイヤー ペイン上部にある不透明度スライダをドラッグします。選択してツールを使用することで、あらゆる [編集] モードの調整をレイヤーマスクに適用できます。

ホワイトマスク選
択時



ブラックマスク選択
時



レイヤーマスクを適用する:

レイヤーマスクを画像に直接適用できます。

1. レイヤペインでレイヤまたはマスクを選択します。
2. 以下のいずれかを行う:
 - マスクを右クリックし、**レイヤーマスクを適用**を選択します。
 - レイヤー | レイヤーマスク | **レイヤーマスクを適用**を選択します。
 - **Ctrl + Alt + M** を押す。

マスクを無効にするには:

マスクを削除せずに無効にできます。マスクを無効にした後、レイヤーを.acdcファイルとして保存し、編集モードを終了し、後で編集モードで再度開き、マスクを再度有効にすることもできます。

1. [レイヤー]ペインでマスクを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。

- マスクを右クリックして、コンテキストメニューから[マスクを無効にする]を選択します。
- [レイヤー]ペインで、[マスクを無効にする]ボタンを押します。
- [レイヤー]から、[マスク]、[マスクを無効にする]を選択します。
- **Ctrl + Shift + M**を押します。

マスクを有効にするには:

1. [レイヤー]ペインでマスクを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - マスクを右クリックして、コンテキストメニューから[マスクを有効にする]を選択します。
 - [レイヤー]ペインで、[マスクを有効にする]ボタンを押します。
 - [レイヤー]から、[マスク]、[マスクを有効にする]を選択します。
 - **Ctrl + Shift + M**を押します。

マスクプレビューオプションを使う方法:

マスクが選択されたレイヤーに適用されたとき、] キーを押し続けるか、ビューウィンドウの左下の「マスクプレビュー」ボタンをクリックして保持することで、すぐにプレビューを切り替えることができます。

マスクのプロパティ

[マスクのプロパティ] パネルを使って、各レイヤーの各レイヤーマスクのプロパティを個別に調整することができます。これらの調整は非破壊的であるため、編集プロセスのどの時点でも実行できます。

[マスクのプロパティ] パネルにアクセスするには:

[レイヤー]ペインでマスクを選択します。[マスクのプロパティ] は、このペインの下部、[調整レイヤー] の上に表示されます。

レイヤー マスクに対して実行できる調整:

フェザリング	マスクに非破壊的なフェザリングを施すことで、マスクとレイヤーの間にシャープなエッジや著しいコントラストが発生しないようにすることができます。スライダを動かしてマスクのエッジをぼやかします。
反転	マスクを非破壊的に反転させることができます。この効果を使うと、ホワイ ト マスクがブラックになり、ブラック マスクがホワイ ト になります。

マスク オーバレイを表示する:

[マスクのプロパティ] パネルの[オーバーレイを表示する]チェックボックスを選択すると、マスクを見やすくすることができます。

マスク オーバレイをカスタマイズするには:

1. [レイヤー] ペインで対象 マスクを右クリックし、コンテキストメニューから[マスク オーバーレイ オプション...]を選択します。
2. [マスク オーバーレイ オプション] ダイアログで、次のオプションのいずれかを選択します:

マスクをハイライト	このオプションでは、選択した色でマスクにハイライト処理を施します。ドロップダウン メニューから色を選択します。[不透明度] スライダを使えば、マスク オーバレイの透明度をカスタマイズできます。
マスクを露出	このオプションでは、選択した色で、レイヤーのマスクされていない領域にハイライト処理を施します。ドロップダウン メニューから色を選択します。[不透明度] スライダを使えば、マークされていない領域の透明度をカスタマイズできます。

3. **[OK]**を押します。



マスク オーバーレイは、そのレイヤーが選択されている時しか表示 されません。

レイヤーマスクを編集するには:

レイヤーペインでレイヤーマスクを選択し、調整 や、描画 または選択 ツールを選択します。

マスクの柔軟性

マスクの選択対象の作成や変更が可能です。

選択した範囲からレイヤーマスクを作成するには:

選択した範囲からもレイヤーマスクを作成することが可能です。

1. 選択範囲を決定します。
2. **[選択範囲]**から**[レイヤー]**、**[マスク]**と進みます。



または:

1. 選択範囲を決定します。
2. **[レイヤー マスクを追加]** ボタンを押します。または、[レイヤー] ペインの下部にあるアイコンのいずれかを選択して調整レイヤーを追加します。選択範囲からマスクが自動で作成されます。

または：

1. 選択範囲を決定します。
2. レイヤーを右クリックし、コンテキストメニューから**[選択範囲からマスク]**を選択します。

マスクを選択範囲に追加するには：

1. [レイヤー] ペインでマスクを選択した上で、選択範囲を作成します。
2. マスクを右クリックして、**[選択範囲にマスクを追加する]**を選択します。

選択範囲からマスクを差し引くには：

1. [レイヤー] ペインでマスクを選択した上で、選択範囲を作成します。
2. マスクを右クリックして、**[選択範囲からマスクを削除する]**を選択します。

マスクと選択範囲の共通領域を選択するには：

1. [レイヤー] ペインでマスクを選択した上で、選択範囲を作成します。
2. マスクを右クリックして、**[選択範囲とマスクを交差する]**を選択します。

選択したマスク ピクセルを削除するには：

[「選択範囲を使用する」](#)を参照してください。

特定の色とトーンからレイヤー マスクを作成する

指定した色やトーンから、さらにはスキン トーンからもマスクを作成することができます。

色やトーンを指定してレイヤー マスクを作成するには：

1. レイヤーを選択して、前述の通りホワイトマスクかブラックマスクを設定します。
2. マスクを右クリックして、コンテキストメニューから**[Pixel Targeting...]**を選択します。
3. [ピクセル ターゲット] パネルの設定を以下のように設定します。
4. **[OK]**を押します。マスクは、ターゲットの色やトーンから作成されます。

ピクセルターゲティングペイン



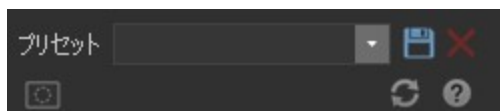
ピクセルターゲティングペインは、次の3つのセクションで構成されています。

- プリセット
- 輝度範囲
- 色の範囲

ピクセルターゲティングペインセクション

プリセット

[プリセット] ドロップダウンリストから選択するか、[プリセットの保存] アイコンをクリックして、新しいプリセットを[プリセット] ドロップダウンリストに追加します。



マスクプレビューを表示



アイコンをクリックして、ターゲットとするピクセルを強調表示するマスクのプレビューを表示します。

リセット



アイコンをクリックして、現在の画像編集をすべて削除し、画像を元の状態に戻します。

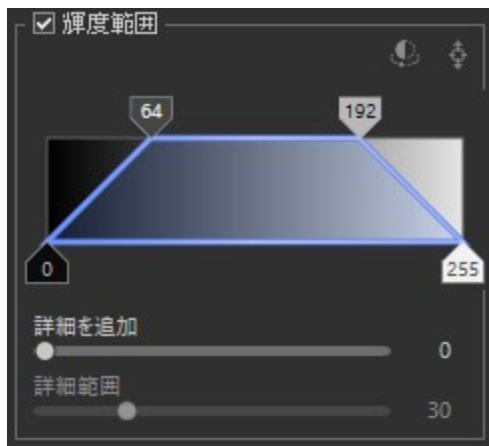
ヘルプ



アイコンをクリックして、ピクセルターゲットヘルプファイルを開きます。

輝度範囲

輝度範囲 フィールドセットは、調整のために明るさのトーンをターゲットにするために使用されます。関連する機能を有効にするには、**【輝度範囲】** チェックボックスを有効にします。



選択範囲の反転



アイコンをクリックして、選択したピクセルを選択していないピクセルに変更します。

インジケータライン



アイコンをクリックして、トーンラパーディスプレイにインジケータラインを追加し、画像のトーンがグラフのどこに表示されるかを示すスポイトを作成します。

トーングラパー

4つのスライダータブを使用して、色調を選択します。青いボックス内の領域は、色調の選択を表しています。上の2つのタブは互いにスライドできます。

せん。
中央に
向かってスライ
ドすると
きに、
各下部
タブがそ
れぞれ
の上部
タブを
超えて
スライド
すること
はでき
ません。
色調範
囲は
0～
255で
す。上
部とそ
れに関
連する
下部の
スライ
ダータブ
の間の
対角線
は、柔
らかな
選択効
果を生
成しま
す(輝
度範囲
の例で
は64～
0)。上
部と関
連する
下部の
スライ
ダータブ
を結ぶ
直線
は、
シャープ
な選択
範囲を
生成し
ます(輝
度範囲
の例
では、
上部
192か
ら下部
192)。

	詳細を追加	スライドの値を大きくして、選択範囲の端の周りの鮮明さをシャープにします。
	詳細範囲	[詳細の追加]スライダーが値0を超えて進んだ場合、[詳細範囲]スライドが有効になり、[詳細の追加]スライダーによって追加されるエッジの詳細の範囲を制御できます。
色の範囲	[色の範囲]フィールドセットは、調整する色を指定するために使います。 [色の範囲]チェックボックスをオンにすると機能が有効になります。	



色を反転



アイコンをクリックして、ホイールで選択した色を反転します。

カラーインジケーター



アイコンをクリックして、画像内のカラーピクセルを選択するスポイトを表示、作成します。**Alt**キーを押しながらスポイトでクリックして色を選択します。

カラーホイール

カラーホイールを使えば、画像の色を細かく調整できます。カラーホイールは、青い空をより青くしたり、暗い湖の色を明るくしたりするなどの現実的な要件で特に役立ちます。選択した色は、[ホイールを

			有効にする] チェックボックスの下の円に表示されます。カラーホイールの詳細については、「カラーホイールを使った色の調整」を参照してください。
	ホイールを有効にする		選択した色を表示するホイール選択の円のあるチェックボックスを有効にして、関連するホイールをアクティブにします。
	ホイールを追加		アイコンをクリックして、追加のカラーホイールを使用して別の色に変更します。
	ホイールの選択		[ホイールを有効にする] チェックボックスのすぐ下にある内側

		の円をクリックして、関連するカラーホイールを選択します。選択した色はホイールで使われます。
ホイールを削除		現在選択されているカラーホイールを削除します。
滑らかさ		スライダーを上げて滑らかさを調整します。これは、色のエッジを柔らかくするフェザリングツールのように機能します。
ターゲットスキントーン		肌のターゲットイング スライダーを使用すると、残りの[色の範囲]フィールドセットが無効になり、肌の色のみをターゲットイングできるようになります。

画像からレイヤーマスクを作成する

カラー画像をコピーして、調整レイヤーなどの他のレイヤーにグレースケール(輝度)マスクとして貼り付けます。

画像からマスクを作成するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - [レイヤー]ペインで画像を右クリックし、コンテキストメニューから[コピー]を選択します。
 - [レイヤー]ペインで画像を選択して、[編集]、[コピー]を選択します。
- [レイヤー]ペインでレイヤーを選択し、次のいずれかを実行します:
 - レイヤーを右クリックし、コンテキストメニューから[マスクとして貼り付け]を選択します。
 - [編集]から[マスクとして貼り付け]を選択します。
 - [レイヤー]から、[マスク]、[マスクとして貼り付け]を選択します。

レイヤーとしてのテキストの追加

編集モードのテキストツールを使用して、画像にテキストを追加することができます。ACDSee 写真館 究極では、テキストをレイヤーとしてテキストをレイヤーとして追加できるので、画像に影響を与えずにテキストを編集できます。フォント、サイズ、色、スタイル、配置をカスタマイズしたり、メタデータを挿入できます。テキストの透明度を調整してウォーターマーク効果を出すこともでき、写真に著作権情報を追加するのに便利です。

テキストレイヤーを含む画像を.acdcファイルとして保存できます。この形式で保存することにより、将来、編集モードで、レイヤー効果が編集可能な状態で、画像を開くことができます。



[テキスト]ツールバーの[fx]ボタンをクリックし、[レイヤー効果の適用]トピックの手順3の手順に従って、レイヤー効果をテキストレイヤーに追加できます。

テキストを追加する

テキストをレイヤーとして追加するには:

- 編集モードで、パネル上部のツールバーから**テキスト**ツールを選択します。 **T**
- ドロップダウンメニューから、追加するテキストレイヤーのタイプを選択します。
 - 動的:** 動的を使用すると、テキストボックスのサイズを変更した場合、その中のテキストはボックスのサイズに応じてサイズが大きくなったり、小さくなったりします。
 - フレーム:** フレームを使用すると、テキストのサイズを維持しながら、テキストボックスのサイズを拡大または縮小できます。
 - パス:** パスを使用すると、テキストがたどる正確なパスを変更できます。
- 次のいずれかのオプションを使用して、テキストレイヤーを画像に追加します。
 - カーソルをクリックアンドドラッグし、1回のアクションでテキストボックスまたはパスを作成してサイズを変更します。
 - 画像の任意の領域をクリックします。画像にテキストボックスまたはパスが追加され、レイヤーペインにテキストレイヤーが表示されます。

4. テキストボックスまたはパスをクリック アンド ドラッグし、画像上の任意の場所に再配置するか、ボックスのハンドルをドラッグしてサイズを変更します。[テキスト] ツールバーで、ドロップダウンメニューから[動的]、[フレーム]、または[パス]を選択できます。これらの詳細については、以下を参照してください。コンテキストバーでは、[サイズ] ドロップダウンメニューで特定のポイントサイズを選択または入力することもできます。

❗ [ダイナミック]、[フレーム]、または[パス]設定を選択した後で書式を変更した場合、別の種類のテキスト設定に切り替えると、これらの変更が失われる可能性があります。たとえば、テキストのパスを作成してから[動的]を選択すると、作成したパスが失われます。

5. 追加するテキストをテキストボックスまたはパスに沿って入力します。テキストボックスまたはパスを追加すると、[レイヤー]ペインに個別のレイヤーとして表示されます。ボックスまたはパスをクリックするか、テキストを編集すると、レイヤーが[レイヤー]ペインで選択されたとおりに表示されます。
6. コンテキストバーのドロップダウンメニューで、斜体や両端揃えおよびテキストの色など、使用するフォント、テキストのポイントサイズ、書式設定オプションを指定します。
7. [レイヤー]ペインの上部で、[透明度]スライダーをドラッグして、テキストの透明度を指定します。
8. [レイヤー]ペインの上部で、[ブレンドモード]ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。

❗ テキストレイヤーが選択されている間は、編集モードフィルターを入力することはできません。これにより、テキストレイヤーをラスターライズするかどうかを確認する警告が表示されます。テキストレイヤーをラスターライズすると、編集できなくなります。

❗ テキストレイヤーを他のテキストレイヤーと結合することはできませんが、テキストを通常の画像レイヤーと結合することはできます。このアクションにより、テキストがラスターライズされます。テキストレイヤーをラスターライズすると、編集できなくなります。

💡 調整レイヤーをテキストレイヤーの上に追加して、テキストレイヤーに直接クリップすることができます。「調整レイヤーを使用する」を参照する。

💡 テキストレイヤーに マスクを追加できます。ただし、テキストレイヤーを移動しても、マスクは一緒に移動しません。

💡 テキストレイヤーを選択して、スタイル設定のカスタマイズなどテキストレイヤーを変更できます。

テキストツールの操作

次のキーの組み合わせを使用して、テキストレイヤーで移動、回転、サイズ変更などのアクションを実行できます。

動的:

- 移動カーソル: テキストボックスを移動します 
- サイズ変更のカーソル: アスペクト比を維持しながらボックスのサイズを変更します 
- Shiftキー+サイズ変更のカーソル: アスペクト比を維持せずにボックスのサイズを変更します(フリーフォーム)
- 回転カーソル: ボックスを回転します 
- Shiftキー+回転カーソル: 45度で段階的に回転します

フレーム:

- 移動 カーソル: テキストボックスを移動します 
- Shiftキー+サイズ変更のカーソル: アスペクト比を維持せずにボックスのサイズを変更します(フリーフォーム) 
- Shiftキー+サイズ変更のカーソル: アスペクト比を維持しながらボックスのサイズを変更します
- 回転 カーソル: ボックスを回転します 
- Shiftキー+回転カーソル: 45度で段階的に回転します

パス:

- 移動 カーソル: パス全体を移動します 
- アンカーポイント移動 カーソル: アンカーポイントを移動します 
- アンカーポイント追加 カーソル: 新しいアンカーポイントを追加します 
- 右クリック+アンカーポイント追加 カーソル: アンカーポイントを削除します
- Ctrlキー+移動カーソル: テキストを含むパスのサイズを変更します
- Altキー+移動カーソル: パスを回転します

テキストツールのキーボードショートカットとマウスショートカット

テキスト操作のプロセスを改善できる、キーボードショートカットとマウスとキーの組み合わせが複数あります。**Ctrl + C**、**Ctrl + V**、**Ctrl + A**などの一般的なキーボードショートカットは、テキストボックスで機能します。**Home**、**End**、**Ctrl + Home**、および **Ctrl + End** を使用して、カーソルをテキストの最初または最後に移動することもできます。

テキストボックス内で編集する場合、**Ctrl + Z** を使用して最近の変更を取り消すことができます。ただし、[元に戻す/やり直し]ボタンを使用すると、テキストボックスの追加などのテキストアクション全体に適用されます。

この表は、すべての追加オプションを示しています。

ショートカット	動的を使用した結果の動作	フレームを使用した結果の動作	パスを使用した結果の操作
Ctrl + X		選択したテキストを切り取り、クリップボードに保存します。	
Ctrl + C		選択したテキストをコピーしてクリップボードに保存します。	
Ctrl + V		クリップボードからコンテンツを貼り付けます。	
Ctrl + A		すべて選択します。	
Ctrl + Z		テキストボックスの最近の変更を元に戻します。	
Ctrl + Y		可能であれば、元に戻されたアクションをやり直します。	
↑	カーソルを1行上に移動します。	カーソルを1行上に移動します。	アクションなし
↓	カーソルを1行下に移動します。	カーソルを1行下に移動します。	アクションなし
←		カーソルを1文字左に移動します。	
→		カーソルを1文字右に移動します。	
Shift + 矢印キー		テキストを選択します。	
End		カーソルを、現在の行の末尾に移動します。	
Shift + End		現在の位置から行/パスの終わりまでのテキストを選択します。	
Ctrl+Shift+End		現在の位置からテキストの終わり、またはパスの終わりまでのテキストを選択します。	
Ctrl + End		カーソルをテキストボックス/フレーム/パスの最後に移動します。	
Home		カーソルを、現在の行/パスの先頭に移動します。	
Shift + Home		現在の位置から行/パスの先頭までのテキストを選択します。	
Ctrl+Shift+Home	現在の位置からテキストの先頭までのテキストを選択します。	現在の位置からテキストの先頭までのテキストを選択します。	現在の位置からパスの先頭までのテキストを選択します。
Ctrl + Home		カーソルをテキストボックス/フレーム/パスの先頭に移動します。	
ダブルクリック		現在の単語を選択します。	
Shift + Insert		選択したコンテンツをクリップボードに貼り付けます。	
Enter	テキストの改行を入力します。	テキストの改行を入力します。	アクションなし
削除		カーソルの右側の文字を削除します。テキストを選択すると、テキストが削除されます。	

ショートカット	動的を使用した結果の動作	フレームを使用した結果の動作	パスを使用した結果の操作
Backspace	カーソルの左側の文字を削除します。テキストを選択すると、テキストが削除されます。		
テキストボックスにAltコードを適用できます。次のキーボードショートカットを使用して、画像に著作権情報を追加できます：			
® (登録記号)	Alt + 0174		
© (著作権記号)	Alt + 0169		
™ (商標記号)	Alt + 0153		

テキストでルーラーとガイドラインを使用

ルーラーとガイドラインを使用すると、テキストツールを使用する際の配置の精度を高めることができます。一部のキーボードショートカットは、アイテムをガイドラインにスナップしたり、より正確に回転したりするのに役立ちます。

動的またはフレームの使用:

- 移動カーソルを使用して、アンカーポイントをガイドラインにスナップします。
- Shift** キーを押しながらカーソルを移動して、ボックスをガイドラインの中央に配置します。

パスの使用:

- 移動カーソルを使用して、アンカーポイントをガイドラインにスナップします。 

テキストのラスタライズ

テキストのラスタライズとはテキストを完成させることを意味します。テキストにマスクを追加するなど、テキストを手動でラスタライズしたいときがあります。レイヤーごとにラスタライズするのではなく、複数のテキストレイヤーを選択して、一度にラスタライズすることもできます。ラスタライズすると、それ以上編集することはできません。

テキストをラスタライズするには:

テキストレイヤーを選択した状態で、次のいずれかを実行します。

- [レイヤー]>[テキストレイヤーをラスタライズする]を選択します。
- Ctrl + Shift + T**を押します。
- [レイヤー]ペインでテキストレイヤーを右クリックし、コンテキストメニューから[レイヤーのラスタライズ]を選択します。

テキストとしてメタデータを追加

画像にテキストとしてメタデータを追加するには:

- 編集モードで、パネル上部のツールバーから **テキスト** ツールを選択します。 
- コンテキストバーで、[Ins] ボタンをクリックします。
- [プロパティの選択] ダイアログボックスで、プラス (+) 記号をクリックして、ツリーを展開し、チェックボックスのオン/オフを切り替えてメタデータの設定を選択します。
- [OK] を押します。選択したメタデータがテキストレイヤーとして追加されます。



テキストレイヤーとして追加されたメタデータを含む記録されたアクションを再生すると、結果には、アクションが再生されている画像からではなく、記録された元の画像からのメタデータが含まれます。

キャンバスのサイズを変更する

[キャンバスのサイズ変更]ツールを使用すると、レイヤー化されたコンテンツに合わせてキャンバスのサイズを拡大したり、無地の背景を追加したりできます。

ドラッグによるサイズ変更

この方法を使用すると、次の方法でキャンバスのサイズを変更できます：

- 写真の端をドラッグして、キャンバスを希望のサイズに拡大する。
- ピクセル、インチ、センチメートル、またはパーセンテージを使用してキャンバスの正確なサイズを指定します。
- 比率を適用して、キャンバスの比率を制限します。

ドラッグしてキャンバスのサイズを変更するには：

1. 編集モードで、パネル上部のツールバーから**キャンバス変更**ツールを選択します。
2. 画像の端または角にマウスポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
3. キャンバスの境界線を目的のサイズにドラッグします。
4. コンテキストバーで、[コミット]ボタンを押します。

コンテキストバーで使用可能なキャンバスのサイズ変更ツールのオプションの詳細については、[キャンバスのサイズ変更](#)を参照してください。



矢印キーを使用すると、キャンバスのサイズをピクセル単位で変更できます。

サイズ変更と配置

この方法を使用すると、次の方法でキャンバスのサイズを変更できます：

- ピクセル、インチ、センチメートル、またはパーセンテージを使用してキャンバスの正確なサイズを指定します。
- 比率を適用して、キャンバスの比率を制限します。

キャンバスのサイズを変更して配置するには：

1. 編集モードで、[ツール] > [キャンバスのサイズを変更する]を選択します。
2. [キャンバスのサイズ変更]ダイアログで、以下の説明に従って設定を構成します。
3. [OK]を押します。

キャンバスのサイズ変更オプション

現在のサイズ

現在のファイルサイズとレイヤーの寸法を表示します。

新しいサイズ:

[幅]および[高さ]フィールドに希望のキャンバスサイズを入力します。ドロップダウンメニューで、測定単位をカスタマイズできます。サイズを変更すると、ファイルサイズが[新しいディメンション]の横に更新されます。

アンカー

アンカーボタンを使用して、レイヤーを特定の領域(左上隅など)にロックします。キャンバスはその周りに広がります。

【縦横比】

ドロップダウンリストから、希望する縦横比を選択します。[カスタム]オプションを使用して、独自の比率を定義できます。ドロップダウンで比率を選択し、[削除]ボタンを押すことで、比率を削除することもできます。

解像度

[インチあたりのドット数]フィールドを使用して、解像度を指定します。

背景色

キャンバスの色を選択する。

透明度

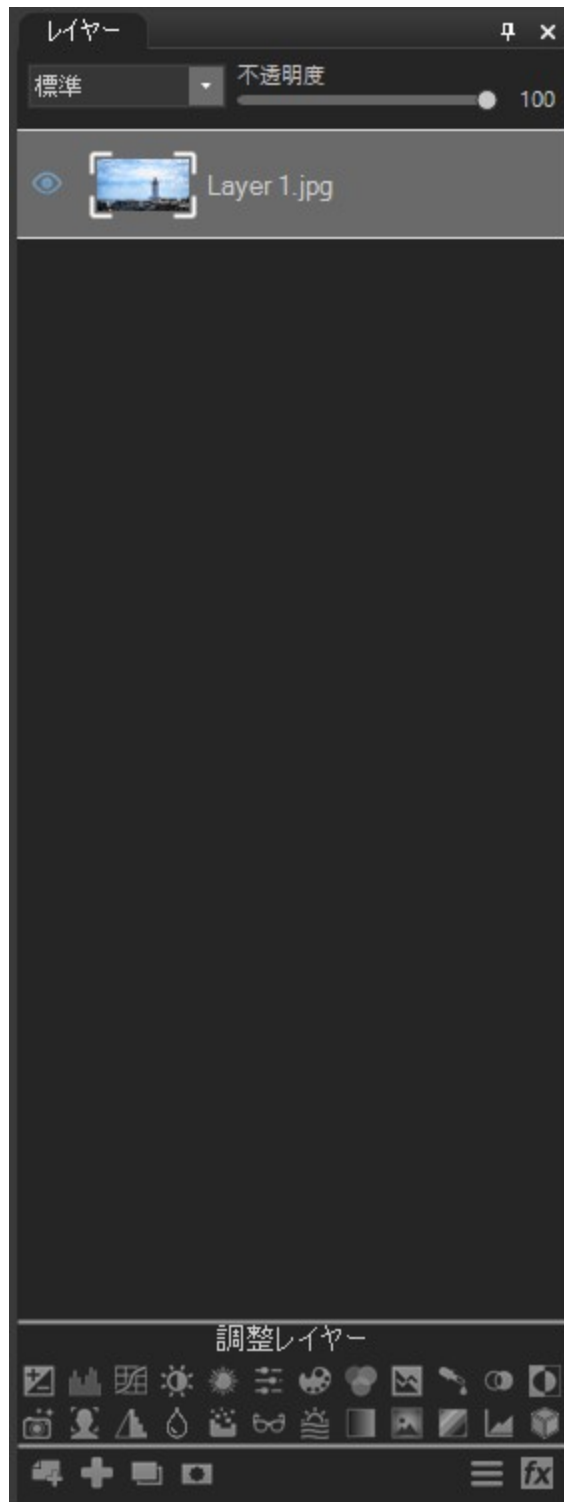
透明度スライダーでキャンバスの透明度を調整します。



複数のレイヤーを持つ画像のキャンバスのサイズを変更すると、選択したレイヤーにのみ背景色が追加されます。

レイヤーのエフェクトを適用する

レイヤー間に表示される効果を追加できます。通常の画像およびテキストレイヤーにレイヤー効果を追加できます。ただし、レイヤーの種類や調整レイヤーに関係なく、それらを最下層のレイヤーに追加することはできません。レイヤー効果を含む画像を.acdcファイル形式として保存できます。この形式で保存することにより、将来、編集モードで、レイヤー効果が編集可能な状態で、画像を開くことができます。



レイヤー効果を追加するには:

1. 編集モードの[レイヤー]ペインで、効果を追加するレイヤーを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。

- レイヤーペインの最下部にある[レイヤーマスクを追加する]ボタンをクリックします。
 - [レイヤー]ペインで、レイヤーを右クリックし、コンテキストメニューから[レイヤー効果]を選択します。
 - [レイヤー]から[レイヤー効果]と進む。
 - **Ctrl + Alt + X**を押します。
3. [レイヤー効果]ダイアログで、使用する効果のチェックボックスをオンにします。下の表を参考にして、設定を行います。
 4. **閉じる**を押します。レイヤー効果ダイアログを閉じて、レイヤー効果が削除される、または無効になることはありません。レイヤー化された画像を.acdcファイルとして保存することにより、編集モードで再度開き、将来、いつでもレイヤー効果の編集を続けることができます。

レイヤー効果 オプション

インナーグロー

厚さ	グロー効果の厚さを指定します。スライダーをドラッグして厚さを設定します。
ぼかし	グローのエッジをぼかします。スライダーをドラッグして、適用するぼかしの量を決定します。
不透明度	グローの不透明度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてグローの不透明度を調整します。不透明度が高いほど、グローがより明確になります。
ブレンドモード	エフェクトとレイヤーのブレンド方法を指定します。ドロップダウンメニューからブレンドモードを選択します。
カラー	グローの色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。「 色の設定ダイアログボックスを使用する 」を参照します。

インナーシャドウ

ぼかし	影の端をぼかします。スライダーをドラッグして、適用するぼかしの量を決定します。
距離	角度設定に従って、影のサイズを指定します。スライダーをドラッグして、レイヤーにかかる影の程度を調整します。
不透明度	影の不透明度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグして影の不透明度を調整します。不透明度が高いほど、影がよりはっきり見えるようになります。
ブレンドモード	エフェクトとレイヤーのブレンド方法を指定します。ドロップダウンメニューからブレンドモードを選択します。
角度	影の角度を指定します。1 から 360 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
カラー	影の色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。「 色の設定ダイアログボックスを使用する 」を参照します。

斜角縁

高度	ベベル効果の可視性を指定します。[高度]スライダーを下げると、レイヤーが暗くなり、効果がより際立ちます。
半径	ベベルの広がり具合を指定します。
光源	架空の光源を指定します。ボールのグローをクリックしてドラッグし、仮想光源の位置を変更します。

線画

厚さ	アウトライン効果の厚さを指定します。スライダーをドラッグして厚さを設定します。
ぼかし	アウトラインのエッジをぼかします。スライダーをドラッグして、適用するぼかしの量を決定します。
不透明度	アウトラインの不透明度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてアウトラインの不透明度を調整します。不透明度が高いほど、アウトラインがより明確になります。
カラー	アウトラインの色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。「 色の設定ダイアログボックスを使用する 」を参照します。

ぼかし

強度 ぼかしの強度を指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

シャドウ

ぼかし 影の端をぼかします。スライダーをドラッグして、適用するぼかしの量を決定します。

距離 角度設定に従って、影のサイズを指定します。スライダーをドラッグして、レイヤーにかかる影の程度を調整します。

不透明度 影の不透明度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダーをドラッグして影の不透明度を調整します。不透明度が高いほど、影がよりはっきり見えるようになります。

角度 影の角度を指定します。1 から 360 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。

カラー 影の色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。「[色の設定ダイアログボックスを使用する](#)」を参照します。

 レイヤー効果が適用されたテキストまたは画像レイヤーに[調整レイヤーをクリップ](#)しても、レイヤー効果は影響を受けません。

 レイヤー効果を適用してテキストレイヤーをラスターライズする場合、レイヤー効果をラスターライズしないように選択できます。これにより、レイヤー効果の編集を継続できます。

レイヤー効果のコピーと貼り付け:

任意のレイヤーのレイヤー効果設定を他のレイヤーにコピーすることができます。

1. [レイヤー効果]ダイアログで、設定したいレイヤー効果を構成します。
2. [コピー]ボタンを押します。
3. 別の画像またはテキストレイヤーを選択します。最下層のレイヤーを選択することはできません。
4. [レイヤー効果]ダイアログで、[貼り付け]ボタンを押します。

すべてのレイヤー効果設定をリセットするには:

[レイヤー効果]ダイアログで、 [リセット]ボタンを押します。

周波数分離でレタッチする

周波数分離を使用して、ディテールを維持した状態で欠陥を除去することができます。画像を高周波レイヤーと低周波レイヤーに分離することで、テクスチャを失うことなく画像を修整できます。

周波数分離を適用するには:

1. レイヤーペインで選択した画像に対して、次の作業のいずれかを実行します。
 - レイヤーを右クリックして[周波数分離]を選択します。
 - [レイヤー]、[周波数分離]を選択します。
 - **Ctrl + Shift + F**を押します。
2. 周波数分離 ペインで、[ぼかし半径]スライダを調整して、高周波数レイヤーのディテールの程度を決定し、それとは対照的に、低周波数レイヤーのぼかしレベルを決定します。[高周波数]および[低周波数]ラジオボタンを使用して、各レイヤーの表

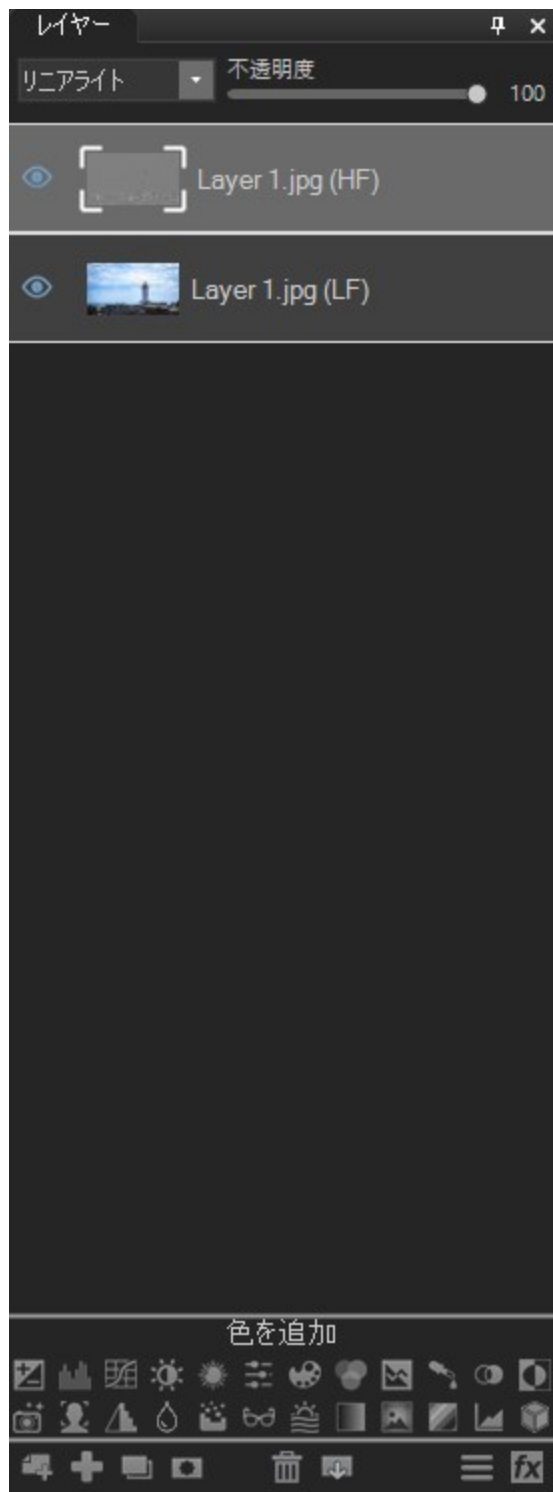
示をオン/オフで切り替えることができます。これらのボタンはぼかし半径の設定に影響を与えるものでないことに注意してください。



高周波レイヤーでディテールを保持する設定を選択することをお勧めします。

3. 完了を押します。

画像が、高周波 (HF) と低周波 (LF) の2つのレイヤーに分離されました。低周波レイヤーには、画像のトーン、カラー、シャドウが含まれており、ぼやけた画像になります。これはテクスチャ情報が高周波レイヤーに保存されているためです。



画像をリタッチする

補正を一方のレイヤーに隔離することで、自然な外観を維持しながら画像を修整できます。周波数分離を利用してリタッチする方法は2つあります。

低周波レイヤー

低周波レイヤーのぼかし効果を使えば、照明の不整合やむらを除去できます。低周波レイヤーを選択した上で、[詳細ブラシ] ツールまたは [ぼかし] ツールを使用するか、選択ツールまたは選択ブラシを使用して特定の領域にぼかし効果を適用します。

高周波レイヤー

高周波レイヤーのクローン効果を使えば、テクスチャの均等化と、ディテール関連の欠陥の補正が可能です。高周波レイヤーを選択した上で、[修復] ツールを使ってクローン効果を適用します。



ヒント: 高周波レイヤーを1回以上複製することにより、シャープネスを高めることができます。

フォーカス・スタッキングによるマージ

フォーカス・スタッキングを使用すると、異なる焦点距離の画像をマージできます。複数の画像を、異なるフォーカス領域を持つものを組み合わせることで、より多くの深度のある画像を作成することができます。

エディット・モードでフォーカス・スタッキングを使用する方法:

1. マネージ・モードで、ファイル・リスト・ペインで画像を選択します。
2. 次のいずれかを行います。
 - [処理] | [ファイルをスタックにロード]を選択します。
 - 選択したものを右クリックし、[処理] | [ファイルをスタックにロード] をコンテキストメニューから選択します。選択した画像は、エディット・モードのレイヤー・ペインに開きます。
3. エディット・モードで、[レイヤー] | [フォーカス・スタック...] を選択します。
4. フォーカス・スタック・ダイアログで、以下で説明するように設定します。
5. [OK] を押します。[レイヤー・スタックを保持] が無効になっている場合は、他のすべてのレイヤーが削除され、フォーカス・スタック・レイヤーがレイヤー・ペイン内の唯一の残りのレイヤーとなります。[レイヤー・スタックを保持] が有効になっている場合は、フォーカス・スタック・レイヤーがレイヤー・ペイン内の最上位レイヤーとして表示されます。

フォーカススタッキングオプション

マージ	全レイヤー: レイヤーのパネル内のすべてのレイヤーを使用してフォーカススタッキングを実行します。 選択レイヤー: レイヤーのパネル内の選択レイヤーでフォーカススタッキングを実行します。
レイヤーの自動整列	スタック内の画像を整列します。最良の結果を得るためには、このオプションを有効にしておくことをお勧めします。
レイヤースタックを保持	このオプションを無効にすると、結果のフォーカススタックレイヤー以外のすべてのレイヤーが削除されます。もし、このオプションを誤って無効にして、他のすべてのレイヤーを削除してしまった場合は、コマンドが実行された後に Ctrl + Z を押してください。



フォーカススタックコマンドは、すべてのマスク、テキストレイヤー、調整レイヤーを無視します。



大きな画像にフォーカススタックコマンドを実行するには、かなりのメモリを必要とします。



フォーカススタッキング時のイメージは最大 50 枚までです。

❗ フォーカスタッキングは、1つのレイヤー上では行えません。

HDR 画像の作成

ハイダイナミックレンジ (HDR) 画像処理は、異なる露出で撮影した複数の画像を組み合わせ、最適な全体的なレンジの画像を作成する技術です。HDRツールを使用して、より広いダイナミックレンジの新しい画像を作成することができます。理想的には、HDRツールで使用する画像には、ハイライトとシャドウの均衡のとれたレンジが含まれています。最良の結果を得るための追加のヒントについては、以下を参照してください。

HDR用写真の撮影

次の指示に従って撮影すると、より高い確率で品質の良い結果を得ることができます：

- シャッタースピードを変更して露出を変えます。ただし、絞り設定を変更すると、深度が変わり、品質が悪くなる可能性があります。同様に、ISOまたは絞りを変更すると、ノイズまたはビネットが発生する可能性があります。ISOを最低値に設定します。
- 概して、カメラのオートブラケット機能は使用しないでください。露出の変化が十分でないためです。
- 撮影するシーンに動きのある特徴を含めないようにします。HDRは、露出の異なる同じシーンの写真のためのものです。
- 三脚を使用してカメラを安定させます。
- カメラのタイマーを使用してカメラの振動を回避します。
- 写真間で焦点とズームを一定にします。
- JPEGよりもRAWで撮影します。これにより、より大きなレンジと柔軟性が得られます。
- 最も暗い露出の深いシャドウに詳細があることを確認します。
- 最も明るい露出の画像でブローアウトされた箇所がないことを確認します。
- セットの画像が「バランス」が取れていることを確認します(すなわち、セットの中央の画像が適切なミッドトーンで露出されている)。
- 表の下に示した推奨数量より多くの画像を使用すると、不適切な整合とゴーストの発生により、望ましくないアーティファクトが発生する可能性があります。

カメラブラケット設定	HDR 画像作成のための最適な露出回数
-1.0 to +1.0	3
-2.0 to +2.0	5
-3.0 to +3.0	7

管理モードでHDR画像を作成するには：

1. ファイルリストペインで画像を選択します。

❗ 選択した画像は同じ大きさでなければなりません。

2. 次のいずれかを行います。

- ・「処理」|「HDR...」を選択します。
- ・選択したものを右クリックし、コンテキストメニューから「処理」|「HDR...」を選択します。

- ・ 右側のオプションから「処理」|「フォトマージ」|「HDR...」を選択します。
 - ・ 右側のオプションから「Ctrl + Alt + M」|「HDR...」を選択します。
3. HDRダイアログ内で、プリセットドロップダウンメニューからプリセットを選択し、「マージ」を押します。



独自のプリセットを作成するには、[アクションブラウザのカテゴリ「HDRプリセット」](#)の下にアクションを作成します。これらはHDRダイアログ内のプリセットドロップダウンメニューに利用可能となります。

4. プレビューが表示されます。結果に満足していたら、確認するには「マージ」を押します。

編集モード内でHDRイメージを作成する:

1. 管理モードで、ファイルリストペイン内の画像を選択します。
2. 次のうちのいずれかを行います。
 - ・ 「処理」|「ファイルをスタックにロード」を選択します。
 - ・ 選択したものを右クリックし、コンテキストメニューから「処理」|「ファイルをスタックにロード」を選択します。選択した画像は編集モード内のレイヤーペインに開きます。
3. 編集モード内で、「レイヤー」|「HDR...」を選択するか、**Ctrl + Shift + D**を押します。
4. HDRダイアログ内で、以下で説明している設定を行います。
5. 「OK」を押します。「レイヤースタックを保持」を無効にしている場合、他のすべてのレイヤーが削除され、レイヤーペイン内でHDRレイヤーが唯一残されます。「レイヤースタックを保持」を有効にしている場合、HDRレイヤーがレイヤーペイン内の最上位レイヤーとして表示されます。

HDRオプション

マージ	すべてのレイヤー: レイヤーペイン内のすべてのレイヤーをマージします。 選択されたレイヤー: レイヤーペイン内の選択されたレイヤーをマージします。1つのレイヤーしか選択されていない場合、ACDSeeはその1つのレイヤー上でコマンドを実行しますが、結果は生成されません。
自動整列レイヤー	スタック内の画像を整列させます。最良の結果を得るには、このオプションを有効にしておく必要があります。
レイヤースタックを保持	このオプションを無効にすると、結果のHDRレイヤーのみを残して、他のすべてのレイヤーが削除されます。  このオプションを無意識に無効にして他のすべてのレイヤーが削除された場合は、コマンドが実行された後にCtrl + Zを押します。

 HDRコマンドはすべてのマスク、テキストレイヤー、調整レイヤーを無視します。

 大きな画像でHDRを実行するには、かなりのメモリーが必要です。

 HDRを実行する際には最大50枚の画像に制限があります。

自動位置合わせを使用する

自動位置合わせを使用すると、レイヤーの位置を合わせて合成できます。レイヤーペインではほぼ同一の複数の画像を積み重ね、位置を合わせ、マスクすることで、不要な領域を削除しつつ、選択した領域を使用して画像の最適なバージョンを作成することができます。

位置合わせ後、[レイヤーマスク](#)を使用して理想的な画像を合成できます。

複数のレイヤーの位置合わせをするには:

1. レイヤー ペインで複数の画像を選択するには、**Shift** キーまたは **Ctrl** キーを押しながらクリックします。
2. [レイヤー] > [レイヤーの自動位置合わせ]を選択します。

❗ 自動位置合わせのコマンドは、垂直方向にのみ作用します。したがって、パノラマやサイズの異なる画像を揃えようとすると、結果にばらつきがでます。

❗ 大きな画像で自動位置合わせコマンドを実行するには、大量のメモリが必要です。

自動ブレンドを使用する

自動ブレンドを使用して画像のスタックを統合する方法は2つあります。

多焦点合成: 多焦点合成を使用してブレンドします。この方法では異なる焦点距離の画像を統合し、より深い被写界深度の画像を新しく作成します。

HDR: HDRを使用してブレンドします。この方法では異なる露出の画像を統合し、最適なダイナミックレンジの画像を新しく作成します。

❗ 多焦点合成とHDRでは、すべてのマスク、テキストレイヤー、調整レイヤーは無視されます。

❗ 大きな画像でHDRまたは多焦点合成を実行するには、大量のメモリが必要になります。

多焦点合成を使用して自動ブレンドするには:

1. 管理モードでファイル一覧ペインから画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [処理] > [ファイルをスタックに読み込む]を選択します。レイヤーペインに画像が編集モードで開きます。
 - 選択したものを右クリックして、[処理] > [ファイルをスタックに読み込む]を選択します。レイヤーペインに画像が編集モードで開きます。
3. 編集モードのレイヤーペインで、**Ctrl** キーを押しながらクリックして特定のレイヤーを選択するか、もしくは**Shift** キーを押しながらクリックして複数のレイヤーをまとめて選択します。
4. [レイヤー]から[レイヤーを自動ブレンド]を選択します。
5. [自動ブレンド]ダイアログで[焦点ブレンド]を選択します。
6. [OK]を押します。
7. 警告ダイアログが表示されます。焦点距離の順番に従って画像を選択した場合は、[実行]を押します。選択した画像が順番どおりでない場合は、[キャンセル]を押して、画像を抜き出すなり、名称を変更するなり、Ctrlを押しながらクリックするなりして、順番を変更します。焦点ブレンドされたレイヤーが、レイヤーペインの最上位レイヤーとして表示されます。

HDR を使用して自動ブレンドするには:

1. 管理モードでファイル一覧ペインから画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [処理] > [ファイルをスタックに読み込む]を選択します。レイヤーペインに画像が編集モードで開きます。

- 選択したものを右クリックして、**[処理]>[ファイルをスタックに読み込む]**を選択します。レイヤーペインに画像が編集モードで開きます。
- 3. 編集モードのレイヤーペインで、**Ctrl** キーを押しながらクリックして特定のレイヤーを選択するか、もしくは**Shift** キーを押しながらクリックして複数のレイヤーをまとめて選択します。
- 4. **[レイヤー]**から**[レイヤーを自動ブレンド]**を選択します。
- 5. **[自動ブレンド]**ダイアログで**[HDRブレンド]**を選択します。
- 6. **[OK]**を押します。HDR ブレンドされたレイヤーが、レイヤーペインの最上位レイヤーとして表示されます。

 自動ブレンドを行える画像は 50 枚までです。

AI ノイズ除去

AI ノイズ除去は、機械学習を使用して写真の粒子やセンサーノイズ(特に低照度や高ISO条件で撮影されたもの)を低減する高度なノイズ除去ツールです。この機能は、画像のディテールとノイズをインテリジェントに区別し、エッジ、テクスチャ、色の正確性を維持します。

AI ノイズ除去の適用方法:

AI ノイズ除去は、管理モード、編集モード、一括処理機能の3つの異なる場所で適用できます。

編集モードで AI ノイズ除去を適用する:

編集モードで画像を開き、次のいずれかを行います。

- 左側のフィルターメニューの **AI** セクションにある**ノイズ除去**をクリックします。
- **Ctrl+Shift+Alt+D** を押します。
- 上部のドロップダウンメニューで**フィルター**をクリックし、**AI | ノイズ除去**を選択します。

管理モードおよび表示モードで AI ノイズ除去を適用する:

次のいずれかを行います。

- 管理モードで画像を右クリックし、**AI機能 | AIノイズ除去**を選択します。
- 管理モードまたは表示モードで画像を選択した状態で、**Shift+Alt+D**を押します。
- 管理モードまたは表示モードで画像を選択した状態で、ドロップダウンメニュー**AI | AIノイズ除去**をクリックします。

管理モードで一括 AI ノイズ除去を適用する:

管理モードで、AI ノイズ除去を適用する画像を選択します。

1. 次のいずれかを行います。
 - **AI | AIノイズ除去**をクリックするか、キーボードの **Shift+Alt+D** を押します。
 - 選択した画像のいずれかを右クリックし、**AI機能 | AIノイズ除去 | AIノイズ除去**をクリックするか、キーボード **Shift+Alt+D** を押します。
 - ツール | 一括処理 | **AIノイズ除去 | AIノイズ除去**をクリックするか、キーボードの **Shift+D** を押します。
 - 選択した画像のいずれかを右クリックし、**一括処理 | AIノイズ除去 | AIノイズ除去**を選択するか、キーボードの **Shift+D** を押します。
 - ツールバーの**一括処理**をクリックして **AIノイズ除去 | AIノイズ除去**を選択するか、キーボードの **Shift+D** を押します。



AIノイズ除去には「**AI機能**」または「一括処理ツール」のいずれからでもアクセスできますが、どちらも複数の画像に**AIノイズ除去**を適用することが可能です。

- 2. 一括 **AIノイズ除去** または **AIノイズ除去** ダイアログで、好みの設定を選択します。パラメーターを変更するたびにプレビューが自動的に生成されるため、常にリアルタイムで結果を確認できます。



複数の画像に**AIノイズ除去**を適用する場合、プレビューには最初を選択された画像のみが表示されます。

- 3. [ノイズ除去]をクリックして、画像に **AIノイズ除去** を適用します。補正された画像は、デフォルトでオリジナルと同じフォルダーに保存されます。この設定は、**AIノイズ除去** ダイアログの下部にある[オプション]で調整できます。

詳細については、[一括AIノイズ除去](#)を参照してください。



処理時間は、システムのハードウェアと選択した画像のサイズによって異なります。

設定:

5つのオプション設定があります。

100%プレビュー	プレビューをクリックして、フィルター適用前後の画像を比較します。
強さ	スライダーを調整して、補正におけるAIの影響度を増減させます。
ピクセルターゲット	[ピクセルターゲット]ペインを有効にします。
ブレンド	現在アクティブなブレンドモードを設定します。
不透明度	ノイズ除去の不透明度を設定します。

AI顔編集

ACDSee 究極のAI顔編集ツールを使用すると、さまざまな顔の特徴を微調整できます。



[設定をプリセットとして保存](#)することができます。

AI顔編集の使用方法:

左側のフィルターメニューの強調項目の下にある **AI顔編集** をクリックするか、**Ctrl + Alt + G**を押してください。これにより、調整可能な顔データがロードされます。

グループを展開するには **+**、折りたたむには **-**を押します。グループ内のスライダーを使用して、各機能を調整します。

セクション	オプション	
顔	顔幅	
	顎線	
	顎の長さ	
	顎のサイズ	
	額	
	頬骨	
顔	左サイズ	
	右サイズ	
	左の高さ	
	右の高さ	
	間隔	
	方向	
	シャープ	
	ホワイトニング	
	シャープン	
	ホワイトニング	
	 アイズのいくつかの機能 (サイズ右、サイズ左 など) の横に、チェーンリンクアイコンがあることに気付きます。これを選択すると、左右のオプションが一緒にロックされ、片側に加えられた調整が、対称的にもう片方に適用されるようになります。	
	まゆ	左の内側の長さ
右の内側の長さ		
左の外側の長さ		
右の外側の長さ		
額		
先細りになる		

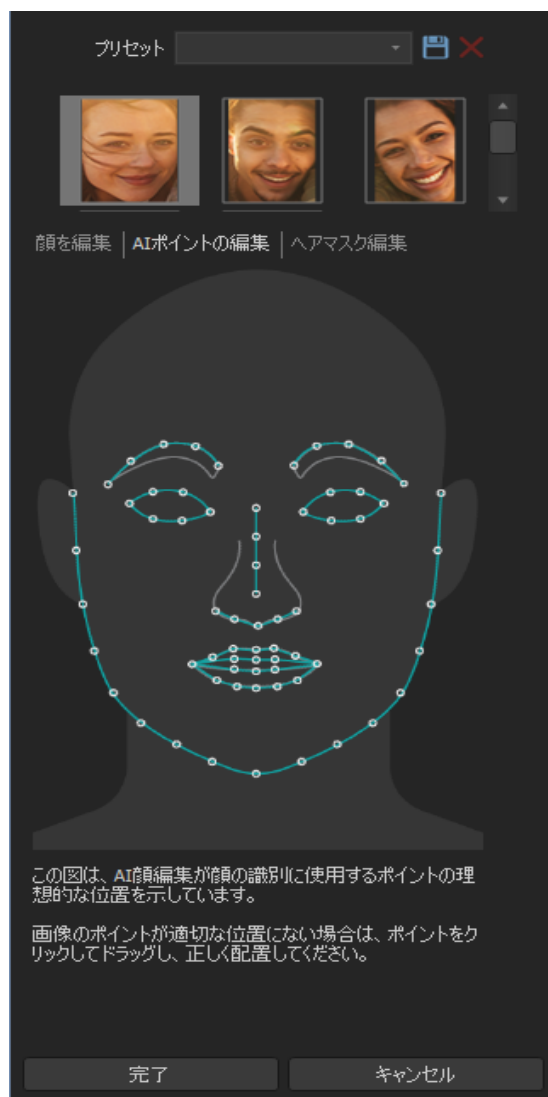
あご	高さ
	幅
	先端の長さ
	先端の幅
	コントゥーリング
くち	笑顔
	牙を白くする
	上唇の太さ
	下唇の太さ
肌	左のしわをなおす
	右のしわをなおす
	左のしばり目をなおす
	右のしばり目をなおす
	スムージング
	輝き
メイク	唇の色彩
	唇の色相
	チーク
	上の眉毛
	下の眉毛

複数の顔を1枚の画像で編集する

複数の顔が検出された場合、各インスタンスは AI顔編集 パネルの上部に表示されます。表示された顔の間をクリックして、すぐに異なる顔にフォーカスを切り替えることができます。スライダーは選択された顔にロックされているので、意図しない誰かに編集を行うことはありません。

顔データの調整

AIは顔のポイントを検出し、画像内の顔の特徴を特定します。これらのポイントは、正しい位置にない場合があります。これを修正するには、【AIポイントの編集】タブをクリックします。このタブには、ポイントの理想的な位置を示すグラフィックが表示されます。グラフィックに従い、手動でクリックしてドラッグし、ポイントを理想的な位置に調整します。



顔データが利用できない場合、エラーメッセージが表示されます; 顔の検出に失敗しました。このエラーが発生した場合は、別の画像をお試しください。

髪の毛のマスクを編集する

AI顔編集が顔を検出すると、編集用に被写体の髪の毛が自動的にマスクされます。このマスクを調整するには、**AI顔編集**ツールのプリセットの下にある**【髪の毛のマスクを編集】**をクリックします。これにより髪の毛のマスクエディターが開き、既存のマスクの表示、新しいマスクのブラッシング、現在のマスクの修正、不要な領域やマスク全体の消去を行うことができます。

空の置き換え

ACDSee 究極の空の置換ツールを使用すると、ボタンを1つ押すだけで空を置き換えたり、空を完璧にカスタマイズしたりできます。



今後使用するために設定をプリセットとして保存できます。

❗ **AI機能**をご利用の GPU で実行するには、**DirectX 12** フィーチャーレベル **12_0** 以上が必要です。お使いの GPU の対応レベルは、**dxdiag.exe** ツールを実行して [ディスプレイ] タブを確認するか、デバイスの公式仕様を調べることで確認できます。GPU が要件を満たしていない場合でも、**AI機能**は代わりに **CPU** を使用して実行されます。

空の置換を使用するには:

左側の **フィルタ メニュー**の**AI**セクション内の**空の置換**をクリックするか、を押します。**Ctrl + Shift+Alt+ R**。

空の置換を使用すると、さまざまなプリインストールされた空から選択したり、独自の空をインポートして使用したりできます。位置、マスクの微調整、不透明度と色、前景の照明、反射などを調整します。

空の選択:

空の置換中は、プリインストールされた幅広い空から選択できます。カテゴリドロップダウンをクリックして、青空、夜空など、さまざまなテーマの空から選択します。カテゴリの下のリスト内の空をクリックすると、その空が画像に自動的に適用されます。選択した空を変更するには、別の空をクリックするだけで、それに応じて画像が更新されます。

カスタム空の追加:

独自のカスタム空を追加するには、**空の置換**を開き、**カテゴリ**ドロップダウンの右側にある **+** ボタンをクリックします。これにより、独自の画像を追加できるダイアログが開きます。これらの空は、**カスタム**という名前の**カテゴリ**の下に保存されます。

空を調整する:

空はさまざまな方法で調整できます。

- **位置**: 空の画像の物理的な配置とサイズに関連する要素を調整します。
 - **垂直**: 空の垂直方向の配置を調整します。
 - **水平**: 空の水平方向の配置を調整します。
 - **スケール**: 空の画像のスケールを調整します。
 - **反転**: これを切り替えると、空が水平方向に反転します。
- **マスクの調整**: マスクのエッジが画像とどのように相互作用するかを調整します。
 - **エッジをシフト**: 空のマスクのエッジを内側または外側に移動します。
 - **フェード エッジ**: マスクの端での空のフェードの程度を調整します。
- **空の調整**: 空の画像に関連する照明と色の要素を調整します。
 - **不透明度**: 調整します。空の画像の不透明度。
 - **明るさ**: 空の画像の明るさを調整します。
 - **温度**: 空の画像の色の温度を調整します。
 - **色合い**: 空の画像の色の色合いを調整します。
 - **強さ**: 空の画像の色の強さを調整します。
- **前景の調整**: 画像の前景の照明と色の要素を調整します。
 - **照明ブレンド モード**: 照明のブレンドモードを設定します。
 - **前景照明**: 前景照明の強度を調整します。

- **エッジ ライティング:** エッジ ライティングの強度を調整します。
- **カラー調整:** カラー調整に使用する色を選択します。
- **反射:** これを切り替えてリアルな反射を有効にします。
 - **ブレンド モード:** ブレンド モードを設定します。
 - **量:** 反射の強さを調整します。
 - **垂直方向にシフト:** 反射の垂直位置を調整します。
- **レイヤーとして出力:** 変更をレイヤー化された変更として出力するかどうかを切り替えます。

→ [ブレンド モードについて](#)

→ [レイヤーの使用](#)

→ [レイヤーでのマスクの使用](#)

赤目を補正する

編集モードの [赤目補正] ツールを使用して、デジタル画像に見られがちな赤目を補正することができます。

赤目を補正するには:

1. [編集] モードで、[補正] グループの [赤目補正] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [赤目補正] ツールにアクセスすることもできます。

2. 右上部のズームツールを使用して、補正したい目を拡大し、センタリングします。
3. 目の赤い部分をクリックします。
4. [赤目補正] グループで、下記説明に従い、スライダを調整します。

赤目補正のオプション

サイズ	スライダを右に移動すると、暗くする領域の広さが広くなり、左に移動すると、小さくなります。
暗くする	スライダを右にドラッグすると塗りつぶしの色が濃くなり、左にドラッグすると薄くなります。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



暗くしたい領域の広さは、マウスをスクロールすることにより、あとで修正することができます。



[輪郭を表示する] チェックボックスのオン/オフで、暗くした領域の輪郭の表示/非表示を切り替えます。



Delete キーで、設定した赤目補正を削除することができます。

画像を修整する

[画像の修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を補整することができます。

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水の雫

修復ツールには 4つの 以下に挙げるオプションがあります。スマート消去、ヒーリングブラシ、ブレンド クローニング、クローンブラシ。

[ヒール]: [ヒーリングブラシ]を選択すると、[修復ツール]が画像の一部からピクセルを別の領域にコピーしますが、実施前にコピー元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析してから、その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、その周りの領域としっかりとなじむことになります。[ヒーリングブラシ]は、肌や毛皮など、複雑な質感を含む写真に使用すると特に効果的です。

クローン: [クローンブラシ]を選択すると、[修復ツール]が写真の一部からピクセルを別の領域に正確にコピーし、完全に同一の画像領域を作成します。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。これは完成した写真に、全く同じピクセルを再現するのが難しいためです。

ブレンド クローン: [ブレンド クローン]ツールを選択すると、[修復ツール]が写真の一部からピクセルを別の領域に正確にコピーしますが、実行前にコピー先のピクセルを分析し、コピーしたピクセルとブレンドします。

スマート消去: [スマート消去]については、以下の[\[スマート消去\]](#)についてのセクションを参照してください。



使用した設定は [プリセット](#)として保存し、後で再利用することができます。

画像を修整するには:

1. [編集] モードで、[修復] グループから **[修整ツール]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[修整ツール]** にアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかを選択します。

- **ヒール:** コピー元の領域からコピー先の領域へピクセルをコピーし、コピー先の領域周辺のピクセルとなじませます。
- **クローン:** コピー元の領域からコピー先の領域にピクセルをコピーします。
- **ブレンド クローン:** コピー元の領域からコピー先の領域にピクセルをコピーし、コピー先の領域のピクセルを分析して、コピーしたピクセルとなじませます。
- **スマート消去:** ブラシ効果を適用していない場合の画像の見え方の予測に基づいて、ブラシ効果を適用した領域のピクセルと塗りつぶしを分析します。以下の "スマート消去" on page 463 セクションをご覧ください。

3. 以下の表の説明に従い、**[ペン先の幅]** と **[フェザリング]** スライドをドラッグします。

4. 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。

5. コピーしたい領域をクリックとドラッグします。美肌効果ブラシを選択した場合、マウスボタンを離した際にACDSee 究極にてピクセルの分析と置き換えが行われます。ブレンドクローンツールを選択した場合、マウスボタンを離した際に、ACDSee 究極にてピクセルの分析と置き換えとブレンドが行われます。

6. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



[リセット] をクリックすると、スライドがリセットされます。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。**[編集]** 設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル] > [現像済みに戻す]** を選択します。



マウスをスクロールして作業しながらブラシサイズを調整するか、スクロール中に**シフト** キーを押してフェザリングを調整します。

修整 ツールオプション

ブラシの幅を設定します。	ブラシの幅を設定します。ブラシの幅の最大値は、画像のサイズに相對します。
フェザリング	ブラシの端に適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。 フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の割合として設定されます。つまり、ペン先の幅をリセットしても、新規のペン先の幅の割合にフェザリングが自動調整されることになります。このオプションは、[ブレンドクローン]ツールでは使用できません。
圧力	クローン ツールのソースポイントを設定した後、スライダを調節して、適用されている効果の強度をコントロールします。
カーソルでプレビューを表示	このチェックボックスをオンにすると、カーソルで選択したソースポイントのプレビューが表示されます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スマート消去

ブラシでなぞったり[スマート消去]機能を使用したりして、画像から不要なオブジェクトを削除できます。[スマート消去]は、画像を分析して、ブラシでなぞった領域の最適な塗りつぶし方を予測します。この動作は、ブラシ効果を適用していない場合の画像の見え方の予測に基づいて行われます。

1. [編集] モードで、[修復] グループから **[修整ツール]** を選択します。
2. **スマート消去** を選択します。
3. [ペン先の幅] スライダーをドラッグするか、マウスホイールを動かして、ブラシの幅を設定します。
4. 塗りつぶしたい領域をブラシでなぞります。マウス ボタンを離すと、塗りつぶしが適用されます。目的の外観が得られるまで繰り返します。

スキントーンを調整する

[スキントーン] ツールを使用して、肌の色合いを調整したり、しみや傷を取り除いたりできます。

肌の色合いを補正するには:

1. [編集] モードで、[修正] グループの **[スキン調整]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[スキン調整]** ツールにアクセスすることもできます。

2. [スキン調整] パネルで、下の表を参考にして設定を調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

スキン調整 オプション

平滑化	肌のきめの質感を抑えて滑らかにします。
グロー	肌を少し滑らかにしつつ、明るくします。
半径	エフェクトによるきめの質感の程度を指定します。値を下げれば細かいディテールが、上げれば大きなディテールが強調されます。

ブレンドモードについて

ブレンドモードは、画像に追加されたテキストの外観を変更するフィルタです。レイヤーペインの上部の使用可能なブレンドモードを次の表に示し、それらの効果について簡単に説明します。

ブレンドモード

ノーマル	指定された色で、画像上にテキストを追加します。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	画像レイヤーの逆の色とテキストの色を混ぜ合わせるため、似たようなあるいは軽めの色に仕上がります。
乗算	画像のレイヤーの色とテキストの色を混ぜ合わせて、暗い色に仕上げます。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	画像のレイヤーのピクセルとテキストの色を混ぜ合わせて、明るい色に仕上げます。
焼きこみ	画像のピクセルとテキストの色を混ぜ合わせて、暗い色に仕上げます。
オーバーレイ	下にあるレイヤーの影やハイライトを保ったまま、画像レイヤーの色によって乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差異	画像のレイヤーの色からテキストの色を減算します。テキストに含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
暗くする	テキストに画像のレイヤーよりも暗いピクセルを適用します。テキストのピクセルがレイヤーよりも明るい場合には、効果が見られません。(RGB 値を基準にしています)
明るくする	テキストに画像のレイヤーよりも明るいピクセルを適用します。テキストのピクセルがレイヤーよりも暗い場合には、効果が見られません。(RGB 値を基準にしています)
ハードライト	強調したハイライトまたは影を加え、画像レイヤーの色によって乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたは影を加え、画像レイヤーの色によって暗くまたは明るく仕上げます。
色相	テキストツールの色相値を画像レイヤーの領域の色に適用します。
彩度	テキストツールの彩度値を画像レイヤーの領域の色に適用します。
色	テキストの色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはレイヤーの明度に影響しません。
明度	テキストツールの明度値を画像レイヤーの領域の色に適用します。
ディゾルブ	任意のピクセル位置の不透明度に応じて、ピクセルを画像 (ベース) またはテキスト (ブレンド) にランダムに変更します。
除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からテキスト (ブレンド) 色を減算します。テキストに含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色 (ブレンド色によって決まる) を生成することで、画像のテキスト (ブレンド) 色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態で残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態で残ります。
リニアライト	テキスト (ブレンド) 色に応じて輝度値を明るくする、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。
ハードミックス	テキスト (ブレンド) 色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像の RGB 値に適用します。
減算	各チャンネルの画像 (ベース) 色からテキスト色を減算します。

除算	画像 (ベース) 色からテキスト色を除算します。
暗色	テキスト色と画像 (ベース) 色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	テキスト色と画像 (ベース) 色から、より高いチャンネル値が選択されます。

特殊効果 フィルタについて

編集モードでのみ使用可能なACDSee 究極には、画像にユニークな効果を追加する、クロスハッチ、鉛筆画、ソラライズなどの60種類の特殊効果フィルタが含まれています。

特殊効果 フィルタにアクセスするには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - [フィルターメニュー]ペインで、**[追加] > [特殊効果]**の順に選択します。
 - メインメニューから、**[フィルター] > [追加] > [特殊効果]**の順に選択します。
 - Ctrl + Alt + S**を同時に押します。
- プレビューペインから特殊効果を選択します。



「フィルター」ドロップダウンメニューまたは「フィルター」ツールバーから「特殊効果」メニューにアクセスすることもできます。

各効果の詳細については、特殊効果に関連付けられているペインで、**[ヘルプ]**アイコンをクリックして、関連付けられているヘルプファイルを表示します。

画像に描画を追加する

編集モードの描画ツールを使用すると、画像に線や四角、円、矢印などを追加することができます。また、ブラシの幅やフェザリング、ブレンドを調整することができ、繊細でドラマチックな描画の作成に便利です。

画像に描画するには:

1. 編集モードでパネル上部にある次のツールから選択します

ハンド



ハンドツールを使用すると、他の描画ツールや選択ツールなどが終了します。スクロール可能な画像の場合は、ハンドツールで画像をパンすることもできます。

移動



移動ツールを使用すると、画像レイヤーやテキストレイヤー、選択範囲の移動と、レイヤーの回転やサイズ変更ができます。また、各レイヤーに作成した円や直線などのオブジェクトを移動させたり、回転させたりすることもできます。(「[レイヤーを追加するには](#)」を参照してください。)[移動]ツールを選択し、レイヤーをクリック&ドラッグします。各レイヤーにあるオブジェクトを移動させる場合は、レイヤーを選択してから画像上のオブジェクトをクリックして、移動したい箇所までドラッグします。



矢印キーを使用すると、ピクセル単位でレイヤーを移動できます。

コンテキストバーの[スナップ]ボタンを使用すると、画像、テキスト、オブジェクトを左、右、上、下、中央、四隅にスナップできます。コンテキストバーの[グリッドを表示]ボタンをクリックして、画像にグリッドを表示することもできます。正確に配置したいときに便利です。

サイズ変更の際にレイヤーの縦横比を維持するには、コンテキストバーにある[縦横比を固定する]のチェックボックスをオンにしてからレイヤーの隅をドラッグします。[縦横比を固定する]チェックボックスは、デフォルトではオンになっています。

画像、テキスト、オブジェクトを回転するには、カーソルが円形の矢印になるまで、画像、テキスト、オブジェクトの中央にある回転ハンドルの上にカーソルを移動させます。そして、カーソルを時計回りまたは反時計回りにドラッグします。回転中に **Shift** キーを押したままにすると、回転の角度が45°刻みになります。



移動ツールを使用すると、ガイドラインを移動できます。「[ルーラーとガイドラインの追加](#)」を参照してください。

移動を確定するには、コンテキストバーにある[確定]ボタンを押します。移動を取り消して、画像の元の位置に戻すには、[破棄]ボタンをクリックします。

画像データを失うことなく、レイヤーを画像領域の外側に移動させてそのレイヤーを確定し、[移動]ツール ボタンをもう1度押してそのレイヤーを画像エリアに戻すことができます。ファイルを .acdc ファイルで保存して閉じ、後日もう一度そのファイルを開いて、移動させたレイヤーを読み込むこともできます。ただし、補正の中には、移動させたレイヤーに適用していると画像データの消失を招くものもあります。このような補正は破壊的処理と呼んでいます。

以下が破壊的処理です。

- 修復ツール
- 透かしの追加 ([透かしを新規レイヤーとして追加] チェックボックスをオンにしないで追加する場合)
- 枠の追加
- ビネットの追加
- チルトシフトの追加
- 回転
- トリミング
- 遠近補正
- レンズ補正
- サイズ変更
- 覆い焼き・焼きこみ

- ディテール ブラシ
- ぼかし
- 反転
- 以下の特殊エフェクト:

曇りガラス	グラナイト	散乱 タイル
ブラインド	グランジ	板金
ブルースチール	手振れ	シフト
ポップ・ロス	ロモ	傾斜
バルジ	ミラー	ソラリゼーション
マンガ	油絵	くすみ
ノスタルジー	オールド	ステンドグラス
雲	オートン	輝点
コラージュ	線画	渦巻き
輪郭	ピクセル爆発	トポグラフィ
クロスハッチ	ピクセル化	水面
ダウバー	紫の霞み	水滴
ドラマチック	放射状波	波
柔毛エッジ	雨	織物
暗闇	波紋	風

- 自動ボタンを使用して適用された補正 (結果が混合する場合あり)
- 選択範囲
- 描画 ツール
- マスクの追加または変更



非破壊的处理を記録してまた元に戻すと、破壊的处理になります。



破壊的处理は移動させるレイヤーにあらかじめ適用しておくことをおすすめします。

以下は非破壊的处理で、移動させたレイヤーに適用していても画像データの消失を招きません。



ハードドライブの空き容量が足りない場合は、非破壊的处理でも破壊的になります。

- 赤目
- 透かしの追加 ([透かしを新規レイヤーとして追加] チェックボックスをオンにして追加する場合)
- 露出
- レベル
- 自動レベル
- トーンカーブ
- かすみの除去
- ホワイトバランス
- モノクロ
- スプリットトーン
- スキントーン

- シャープネス
- ノイズ
- 明瞭度
- Light EQ™
- 調整レイヤー
- 重複レイヤー
- ブレンドモード
- 不透明度
- 対応レイヤーでのブラシ処理
- ピクセルターゲット
- 対応レイヤーの選択対象
- 以下の特殊エフェクト:

畳み込み	エッジ検出	セピア
写真エフェクト	グロー エッジ	70年代
ポストリゼーション	ソーベル	クレヨン画
しきい値	グラデーション マップ	エンボス
カラーエッジ	ネガ	鉛筆画

キャンバスのサイズ変更



「キャンバスのサイズ変更」ツールを使用すると、レイヤー化されたコンテンツに合わせてキャンバスのサイズを拡大したり、無地の背景を追加したりできます。

キャンバスのサイズは次の方法で変更できます。

- 写真の端をドラッグして、キャンバスを希望のサイズに拡大する。
- コンテキストバーのフィールドで、キャンバスの正確なサイズを指定する。ドロップダウンメニューから、希望の単位を選択する。
- 比率を設定してキャンバスの縦横比を固定する。コンテキストバーで、**[縦横比を保持しない]**ドロップダウンメニューから比率を選択する。**[カスタム]**オプションを使用して、好きな比率を定義できます。ドロップダウンで比率を選択し、**[縦横比の削除]**ボタンを押して比率を削除することもできます。 

コンテキストバーでは、次のことができます。

- **[グリッドを表示]**ボタンを切り替える。
- キャンバスの色を選択する。
- **[不透明度]**スライダで透明度を調整する。

必要に応じてキャンバスのサイズを変更し、コンテキストバーの**[確定]**ボタンを押します。



複数のレイヤーを保有する画像のキャンバスのサイズを変更すると、選択したレイヤーでサイズ変更が実行されます。



矢印キーを使用すると、キャンバスをピクセル単位でサイズ変更できます。

テキスト



「[テキストをレイヤーとして追加する](#)」を参照してください。

長方形



画像に長方形を描画します。**Shift**キーを押しながら描くと正方形になります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし]チェックボックスがオンであることを確認します。

楕円



画像に楕円を描画します。**Shift**キーを押しながら描くと円になります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし]チェックボックスがオンであることを確認します。

線



画像上でドラッグして直線を描きます。**Shift**キーを押しながら描くと垂直線、または水平線になります。

矢印



画像上でドラッグして矢印を描画します。**Shift**キーを押しながら描くと垂直または水平の矢印になります。

多角形



クリックで多角形の端点を設定し、ダブルクリックで始点と終点を結合して、多角形ができあがります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし]チェックボックスがオンであることを確認します。

カーブ



画像上でドラッグした後マウスボタンを離します。次にマウスを動かして曲線を作成し、クリックで確定します。

ブラシ



画像上でドラッグして自由な線を描きます。マウスで左クリックすると前景色で、右クリックすると背景色で描きます。

不透明度スライダーを使用して、キャンバスに適用される不透明度を調整します。

フロースライダーを使用して、各ブラシストロークで効果が蓄積される速度を調整します。

ブラシ設定ボタン  をクリックして、一般設定、シェイプダイナミクス、カラーダイナミクスなどのブラシを変更します。



マウスホイールを使用するか、パネル上部の不透明度スライダーの近くにある[**ブラシ幅**]スライダーを使用して、ブラシ幅を調整します。



Shift + マウスホイールを使用するか、パネル上部の不透明度スライダーの近くにある**フェザリング**スライダーを使用して、フェザリングの量を調整します。



ジッターは、ブラシ設定メニューで制御されるランダム要素をブラシに適用します。



[ファイル]メニュー下部にある[元に戻す]ボタンでブラシストロークを個別に元に戻すことができ、[やり直す]ボタンでブラシストロークを個別にやり直すことができます。

塗りつぶし



[塗りつぶし] ボタンを選択して画像上をクリックすると、クリックしたピクセルと同じカラー値のピクセルがすべて選択した色でシェーディングされます。選択する色はカラーボックスで次のように定義します。しきい値スライダで範囲に含むピクセル数または除外するピクセル数を指定してください。しきい値スライダは、クリックしたピクセルにどれだけ近いピクセルを範囲に含むかを指定するためのものです。コンテキストバーの[関連付け済み]チェックボックスをオンにして、同じ色の関連付けられたピクセルをすべて塗りつぶしてください。

グラナイト



グラデーション ツールを使用して画像にグラデーションを描くか、[放射状] オプションを使用して領域の周辺にグラデーションを描きます。グラデーション ツールを選択したら、コンテキストバーを使用して色、不透明度、ブレンドモードを設定します。放射状グラデーションの場合は、コンテキストバーの[放射状グラデーション] ボタンを選択します。次に、画像でドラッグしてグラデーションを描きます。グラデーションを取り消すには、コンテキストバーの[破棄] ボタンを押します。必要に応じてグラデーションを再調整したら、コンテキストバーの[確定] ボタンを押します。「**Ctrl + Z**」を押す、[編集] > [元に戻す] を選択するか、[履歴ウィンドウ] を使用して、確定を元に戻せます。..

消しゴム



消しゴム ツールを使用してピクセルを消去することができます。レイヤーのピクセルを消去して下にあるレイヤーを表示するには、レイヤー エディタで2番目以降のレイヤーを選択して、画像の消去したいピクセル上にカーソルをドラッグします。このツールはピクセルのアルファチャンネル値を変更します。

スポイト



スポイト ツールを使用して画像から色を選択します。画像内の色をクリックすると、パネルの右上にあるカラーボックスに表示されます。ブラシ ツールなどの描画 ツールを使用して、この色を適用することができます。

画像上で右クリックして背景色（カラーボックスの下部）を選択することができます。

画像を左クリックしてアプリケーションの外にある色までカーソルをドラッグすれば、アプリケーションの外から色を選択できます。マウスボタンを放すとその色が選択され、パネル右上のカラーボックスに表示されます。

アイドロPPERは、ハイライトされたピクセルの輝度値も表示します。

2. 以下のいずれかのオプションを選択します (注: 選択したツールにより利用できるオプションは異なります)。

色



パネル右上のカラーボックスをクリックして色を選択し、前景または背景の色ダイアログを開くと、色を選択するスウォッチのダイアログが表示されます。長方形などの単色の図形を描く際には、図形の輪郭に使われる色は一番上（前景）のカラーボックスで定義されます。図形の中心を塗る色は、一番下（背景）のカラーボックスで定義されます。図形に単色にしたい場合は、両方のカラーボックスを同じ色にします。



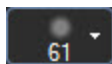
カラーボックスのすぐ横のリセットボタンを押すと、モノクロにリセットすることができます。



レイヤーエディタの上部にあるカラーペインを使用すると、カラーパレットに直接アクセスすることもできます。



ペン先の幅



[**ブラシ幅**] スライダをドラッグして、ブラシの半径（単位：ピクセル）を設定します。ブラシ幅は、マウスホイールか、画像を右クリックして表示されるブラシ幅スライダで、調整することができます。

フェザリング

[**ブラシ幅**] ボタンを選択して、フェザリングスライダを表示します。**フェザリング** スライダをドラッグしてブラシの半径を設定します。画像を右クリックすると、ブラシ幅スライダとフェザリングスライダが表示されます。または、**Shift** キーを押したままでマウスホイールを使用すると、点線の円で表示されたフェザリングの半径を調整できます。

スペース

スペーシング スライダをドラッグして、ブラシセグメントの間隔を設定します。このスライダはブラシ幅のサイズをパーセントで指定するもので、ストロークのなめらかさや粗さの程度を決定します。

自動スペーシングを使用する: [**自動スペーシングを使用**] チェックボックスをオンにすると、ACDSee がブラシ幅とフェザリングの設定に基づいて間隔をパーセントで選択し、ストロークがなめらかになります。

塗りつぶし

塗りつぶし チェックボックスをオンにして、描いた図形を選択した色で塗りつぶします。

不透明度

不透明度 スライダをドラッグして、ブラシストロークの不透明度を指定します。

ブレンド

ブレンドドロップダウンメニューからオプションを選択して、ブラシストロークと画像のブレンド度合を設定します。

3. 画像上でドラッグして描画します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

関連トピック:

- ✦ [編集の一括処理](#)
- ✦ [選択範囲を使用する](#)
- ✦ [レイヤーを使用する](#)
- ✦ [レイヤーでマスクを使用する](#)

画像に透かしを追加する

透かしツールを使用して、写真に透かしを追加することができます。画像の任意の位置に透かしを移動することができます。透かしの不透明度を変更して、画像と透かしをブレンドすることもできます。また、新しい透かしを追加したり、使用しなくなった透かしを削除することもできます。



使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。



画像に透かしを追加する前に、透かしとして使用する画像を作成する必要があります。

画像に透かしを追加するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[透かし] を選択します。既定値として、透かしは画像の右下に表示されます。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [透かし] ツールにアクセスすることもできます。

2. ドロップダウンリストから透かしを選択、または [+] ボタンをクリックして新規の透かしを追加します。
3. 透かしをクリックしてドラッグし、画像上の任意の場所に再配置するか、[配置] 設定から [アンカーポイント] を選択します。画像の周りで透かしを移動すると、ルーラーのガイドラインが表示され、エッジからのピクセル距離が表示されます。[配置] 設定でこのピクセル距離を変更することもできます。
4. マーキーのハンドル部分をドラッグして、透かしのサイズを変更します。
5. 透かしの縦横比を変更せずにサイズ変更したい場合には、[サイズ変更時に縦横比を保持する] を選択します。
6. 透かしにアルファチャンネルが存在し、それを適用したい場合には、[アルファチャンネルを適用する] を選択します。

(TIF、PNG、ICO の透かしファイルのみ、アルファチャンネルを含むことができます。

7. 透かしの色を透明にしたい場合には、[透過を使用する] を選択します。
- デフォルトの色は黒です。カラーボックスをクリックすると、別の色を選択できます。[標準] タブでは、色を選択するか、カラーピッカーを使用して色を選択できます。[カスタム] タブでは、HSB 値 (色相、彩度、および明るさ)、赤、緑、青の値、または 16 進カラーコードを入力できます。選択した色は、透かし画像自体で透明になります。
8. [ブレンドモード] ドロップダウンからオプションを選択して、画像と透かしをどのようにブレンドするかを指定します。
 9. [不透明度] スライダーをドラッグして、透かしの透明度を指定します。
 10. レイヤーエディタで透かしを新しいレイヤーとして表示したい場合は、[新しいレイヤーとして透かしを追加] チェックボックスをオンにします。
 11. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [適用] をクリックして画像に透かしを追加し、[透かし] ツールを開いたままの状態にします。
 - [完了] をクリックして透かしの追加を終了し、ツールを終了します。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から[現像済みに戻す] を選択します。

リストから透かしを削除するには:

1. ドロップダウンリストで透かしを選択します。
2. マイナス記号 [-] を押します。
3. 透かしが削除されます。

枠線を追加する

[枠線] ツールを使用して、複数の枠線を画像に追加したり、エッジ効果を加えたりすることができます。枠線の各サイドのサイズを設定したり、色やテクスチャを変えたり、画像の任意の色をクリックして枠線の色として使用したりすることが可能です。

エッジとテクスチャのライブラリから選択することもできますが、カスタムメードのテクスチャやエッジを ACDSee フォルダに保存してライブラリに追加することも可能です。

[エッジのぼかし] を使ってエッジをソフトにしたり、背景のテクスチャとブレンドしたりすることもできます。ドロップシャドウや浮き出しのエッジ効果を使って、画像に 3D 効果を加えることもできます。

複数の枠線やエッジ効果を使って、画像のムードや雰囲気を変えたり、コントラストを強調したり、カラーを浮き立たせたりすることが可能です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像に枠線を追加するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[枠線] を選択します。
2.  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [枠線] ツールにアクセスすることもできます。
3. 下の枠線オプションを参照して、サイズ、カラー、テクスチャ、エッジ、エッジ効果を選択し枠線を作成します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用して [枠線] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。
4. 別の枠線を追加するには、ツールをもう一度開き、上述の手順を繰り返します。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から[現像済みに戻す] を選択します。

枠線オプション

スポイト



画像上の任意の場所をクリックすると、カーソルの場所の色が選択されます。枠線をクリックした色に変わり、枠線ベインの[カラー ボックス]にもその色が表示されますので、[色の設定]ダイアログを開いて希望する色に変えることも可能です。



テキストチャを使用している場合、スポイトは使用できません。

枠線

サイズ

枠線の幅サイズをすべて同時に設定します。スライダを左右にドラッグして、枠線の幅を調整します。数値を直接入力するか、上または下矢印を使って幅を調整することも可能です。

[サイズ] フィールドの下に、枠線を含んだ画像サイズが表示されます。枠線のサイズの調整に応じて、最終サイズも大きく変わります。



高度なサイズコントロール

ポップアップメニューの高度なサイズ コントロールが表示されます。スライダを使用する、上下の矢印キーを使用する、数値を直接入力するのいずれかの方法で、枠線の各サイドの幅を個別に設定します。著作権情報を入力するスペースが必要なため、枠線の下幅を大きく設定したい場合などが例として挙げられます。[サイズ] スライダの隣にある矢印をクリックすると、高度なサイズ コントロール メニューが開きます。

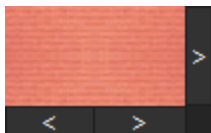


カラー ボックス

[カラー] ラジオボタンを選択すると有効になります。

次のいずれかを実行します：

- 画像の中にある任意の色をクリックして、枠線の色として使用します。クリックされた色がカラー ボックスに表示されます。
- カラー ボックスの中央部分をクリックすると、[色の設定] ダイアログが表示されます。このダイアログでは、様々な方法で色を設定することができます。
- ボックスの横にある下矢印をクリックして、クイックカラー ボックスの上にマウスを移動してお気に入りの色を見つけます。クイックカラー ボックスのボックス内をクリックすると、その色がカラー ボックスに表示され、枠線の色もその色に変わります。



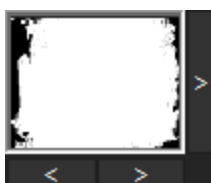
テクスチャ ボックス

[テクスチャ] ラジオボタンを選択すると有効になります。

次のいずれかを実行します：

- 横にある矢印をクリックするとテクスチャ ライブラリが開くので、表示されるテクスチャ サムネイルから選択します。
- ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにテクスチャを参照します。

エッジ



ストレート

枠線のエッジを直線に設定します。

不規則

[不規則] ラジオボタンを選択すると有効になります。

次のいずれかを実行します：

- ボックスの右横にある矢印をクリックすると、エッジ ライブラリが表示されます。サムネイルを見てお気に入りのエッジを選択します。
- ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにエッジを参照します。

エッジのぼかし

画像の外側と枠線の内側が重なるエッジをぼかします。スライダを右にドラッグするとぼかしが増え、左にドラッグするとぼかしが減ります。

エッジの効果

ドロップシャドウ

画像にドロップシャドウを追加して、ページから画像が浮かんでいる感じに仕上げます。ドロップシャドウは、画像の背景、つまり画像と枠線の間に追加されます。ドロップシャドウの縁のぼかしの量や、ドロップシャドウの透明度を調整できます。透明度は、枠線の上のドロップシャドウの透明度をコントロールします。[光源] ボールにある光(白)をドラッグして、光の当たる方向を調整します。

- **ぼかし**：スライダをドラッグして、ドロップシャドウのエッジにおけるぼかしの量を調整します。
- **透明度**：スライダをドラッグして、ドロップシャドウの不透明度の量を調整します。

浮き出し

画像と枠線の重なるエッジ上に浮き出しを追加して、3D 効果を出します。浮き出しは画像、つまり画像と枠線の間に適用されます。[光源] ボールにある光(白)を

ドラッグして、光の当たる方向を調整します。以下のように、サイズ、強度、浮き出しのカラーを調整することも可能です：

- **サイズ**：スライダを右にドラッグして浮き出しのサイズを増やします。サイズを増やすほど、浮き出しの部分がより高く見えます。サイズが大きくなればなるほど、より丸みを帯びた効果になります。
- **強度**：スライダを右にドラッグして、浮き出しの 3D 効果を増やします。
- **カラー**：浮き出しのエッジに枠線の色を適用したい場合、このオプションを選択します。

光源

【ドロップシャドウ】または【浮き出し】ボックスをクリックすると有効になります。ボール上の光をクリック & ドラッグして、ドロップシャドウの 3D 効果やエッジ浮き出し効果のための仮想光源の位置を設定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ユーザー定義のテクスチャやエッジを追加する

【枠線】ツールのライブラリに、ユーザーがカスタム作成したテクスチャとエッジを追加することができます。インターネットからコレクションをダウンロードした場合も、テクスチャとエッジライブラリに追加することが可能です。また、ライブラリから不必要なファイルを削除して、他のファイルを追加する容量を増やすこともできます。

テクスチャとエッジファイルは、次のファイルフォーマットであること、および拡張子が付けられていることが必要です：

- BMP
- EMF
- GIF
- JPG
- GIF
- PNG
- TIF

テクスチャ

テクスチャは並べて表示されるという特徴から、繰り返し並べた際にスムーズな画像である必要があります。また、ファイルは拡大や縮小を行わないフル解像度で保存されるべきです。例えば、テクスチャの画像が 100 x 100 ピクセルで、1000 x 1000 ピクセルの画像の枠線に使おうとしている場合、テクスチャファイルは 10 回並列表示されることになります。テクスチャファイルが 1000 x 1000 ピクセルの場合には、枠線全体に 1 回表示されるだけになります。

ユーザー定義のテクスチャをテクスチャライブラリに追加するには：

1. ACDSee で【枠線】ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. 次のフォルダにテクスチャファイルをコピー/貼り付けします：

C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\textures

3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後[ツール] > [処理] > [編集]をクリックします。
4. [追加] グループから、[枠線] をクリックします。
5. [テキストチャ] ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、テキストチャライブラリを開きます。
テキストチャのサムネイル一覧から、希望するものを選択します。

エッジ

エッジ ファイルはグレースケールの画像で、画像に合わせてサイズ変更されます。画像は、エッジ ファイルに見られる白い領域では表示されますが、黒い領域では隠れて表示されます。エッジ ファイルでグレーのトーンのピクセルでは、白と黒のどちらに近いかにによる相対的な透明度で表示されます。つまり、濃いピクセルほど透明に表示されます。

ユーザー定義のエッジをエッジ ライブラリに追加するには:

1. ACDSee で [枠線] ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. 次のフォルダにテキストチャ ファイルをコピー/貼り付けします:

C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\edges

3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後[ツール] > [処理] > [編集]をクリックします。
4. [追加] グループから、[枠線] をクリックします。
5. [不規則] ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、エッジ ライブラリを開きます。
エッジのサムネイル一覧から、希望するものを選択します。



既に枠線の適用されている画像を開くと、新しい枠線がその画像の上に適用されます。

ビネットを追加する

ヴィネット効果を使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できます。境界線の外観をコントロールすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ヴィネット効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[ヴィネット] を選択します。
 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ヴィネット] ツールにアクセスすることもできます。
2. 下記を参考にして、オプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してタブを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

ヴィネットオプション

左右	焦点の位置を左右に設定します。 500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。 500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
クリアゾーン	焦点の周りにあるクリアゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリアゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリアゾーンのサイズが大きくなります。
トランジションゾーン	クリアゾーンとフレーム間のトランジションゾーンの幅を指定します。スライダを左に動かすと、トランジションの幅が狭くなります。スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広がります。
中央から拡張	丸ではなく楕円形になるようにビネットの形を横に伸ばします。
形	ヴィネットの形を指定します: ● 丸: 丸みを帯びたフレームに仕上がります。 ● 四角: 四角形のフレームに仕上がります。
輪郭を表示する	クリアゾーンの外枠とフレームの内枠を示す輪郭を表示したい場合に、この[輪郭を表示する]オプションを選択します。
フレーム	次の特殊効果を、焦点の周りにあるヴィネットに適用します: ● カラー: カラー設定で選択された色が、ヴィネットの枠の色として変更されます。 ● 彩度: フレーム内にある人物やオブジェクトの色を削除するため、グレースケールで表示されます。 ● ぼかし: ビネットフレームの領域がぼかされます。 ● 雲: フレームの領域に雲の効果が適用されます。 ● エッジ: フレーム領域の人物やオブジェクトの線やディテールを、蛍光色でエッジ検出します。 ● 放射状波: 焦点からフレーム領域に放射する波を生成します。 ● 放射状ぼかし: フレーム領域を回転してひ引き伸ばす放射状ぼかしを生成します。 ● ズームぼかし: フレームの領域にズームぼかしの効果が適用されます。 ● クレヨンエッジ: クレヨンエッジエフェクトをかけて、人物やオブジェクトの周辺の線やディテールをクレヨンで描いた線でなぞります。 ● ペンキ画: 焦点の周りにある人物やオブジェクトを、ブラシで描いたように表示されます。 ● ピクセル化: フレームにピクセル化エフェクトをかけます。 ● オールド: フレームに経年エフェクトをかけて、古い写真のような見栄えにします。 ● グローエッジ: フレーム内のはっきりとした線すべてに対し、エッジを光らせます。 ● 波紋: フレームに波紋エフェクトがかかり、焦点から外に向かって波紋が生じているように見えます。
フレームの設定	[フレーム]のドロップダウンリストの下に表示される設定は、選択されるオプションによって変化します。例えば、[フレーム]ドロップダウンリストから カラー を選択すると、カラーピッカーが表示されますので、ヴィネットに使用する色を選択することができます。同様に、[フレーム]ドロップダウンリストから ぼかし を選択すると、スライダーが表示されますので、ぼかしの量を調整することができます。エッジのように、フレームの中には設定オプションのないものもあります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

チルトシフト効果を追加する

チルトシフト効果とは、写真の一部を強調したり、実際の風景をミニチュアのように写した画像を作成したりするものです。

チルトシフト効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、[チルトシフト] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[チルトシフト] ツールにアクセスすることもできます。

2. [チルトシフト] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

チルトシフト オプション

画像上に表示されるガイドを使用して効果を適用します。内側のボックスは、フォーカスからぼかしに遷移する地点を表します。外側のボックスの地点から完全なぼかしが発生します。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、45°で切り捨てられる角度に固定できるよう効果の位置を決めた状態で**Shift** キーを押し続けます。

ぼかし

ぼかしの種類をドロップダウンメニューから選択します。

- レンズぼかし
- ガウスぼかし

詳しくは、[\[ぼかしの種類\]](#)をご確認ください。

度合い

適用するぼかしの度合いを指定します。

ぼけ頻度

ぼかしの形状が現れる頻度を指定します。

ぼけ明度

表示されるぼかしの形状の明度を指定します。

ぼけサイド

ぼかしの形状の辺の数を指定します。

彩度

スライダーを右へ動かすほど効果が強くなります。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション]



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

グレイン エフェクトを追加する

グレイン効果を使用すると、画像を定型化して、画像粒子が粗い昔の映画のような仕上がりにすることができます。グレインツールを他の効果と組み合わせて使用すると、全体をビンテージ仕上げにすることもできて便利です。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

グレイン効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[グレイン] を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [グレイン] ツールにアクセスすることもできます。

2. 下記を参考にして、オプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してタブを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

グレインのオプション

度合い	グレインの強度を指定します。
平滑化	グレインの滑らかさを指定します。
サイズ	グレインのサイズを指定します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 [グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 [放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 曇りガラス

曇りガラス効果は、画像をパー状に分割することで、浴室の曇りガラスを通して見たような画像に仕上げるすることができます。曇りガラスオプションを変更して画像に効果を適用します。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

曇りガラス効果を適用するには:

1. 編集モードの [追加] グループで、[特殊エフェクト] を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [曇りガラス] をクリックします。

3. **[バーの幅]** スライダーをドラッグして、バーの太さを設定します。バーの幅が狭いと、画像はより歪んだ仕上がりになります。
4. **[バーの方向]** 領域で、次のいずれかを選択してバーの方向を指定します。
 - 上下
 - 左右
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ブラインド

ブラインド効果は、画像をバー状に分割することで、ベネチアンブラインドやパーティカルブラインドのような外観に仕上げることができます。画像に適用したいブラインドの設定をカスタマイズできます。

 使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ブラインド効果を適用するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。
2. **【ブラインド】**をクリックします。
3. **【ブラインド】**パネルで、下記を参考にしてオプション...を設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

ブラインド オプション

幅	ブラインドの幅を指定します。1から1000までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインドの幅を調整します。値が大きくなるほど、ブラインドの幅は広くなります。
不透明度	ブラインドの不透明度を指定します。1から99までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインドの不透明度を調整します。不透明度が高くなるほど、画像は暗くなります。
角度	ブラインドの角度を指定します。1から360までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
ブラインドの色	ブラインドの色を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ブルースチール

ブルースチール効果を使用して、画像をスタイリッシュな青みがかった色合いに仕上げることができます。

ブルースチール効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの**【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ブルースチール】** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: Bob Ross

Bob Ross効果を使用すると、画像をBob Ross画法(ウェットオンウェット)のように粗めのペイント風に仕上げることができます。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

Bob Ross効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [Bob Ross]をクリックします。
3. [Bob Ross] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。

Bob Ross効果のオプション

ブラシ サイズ	[ブラシ サイズ] スライダーをドラッグして、効果として使用するブラシの幅を指定します。大きな値ほど、ブラシの幅は広がります。
画線比率	[カバレッジ]スライダーをドラッグして、写真「キャンバス」上のインクの濃度を設定します。
ペンキの厚さ	[ペンキの厚さ] スライダーをドラッグして、ペンキの立体感を調節します。
カラフル	[カラフル] スライダーをドラッグして、画像内の色の数を調整します。
背景色	
画像	[画像] チェックボックスをオンにすると、写真に追加したブラシ効果の背景色として画像の色を使用できます。背景色に別の色を使用する場合は、[画像] チェックボックスをオフにして、ドロップダウンメニューから新しい色を選択します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。Bob Ross効果を画像に適用すると、ACDSeeは塗りつぶしをランダムに配置します。そして、[ランダム化]を適用する度に配置されるペンキがランダムに変化します。[ランダム化]をクリックして、好みの雰囲気が出るまで楽しみましょう。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 [グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 [放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 膨張

膨張効果を使用して、画像を縦横に引き伸ばしたり、縮めたりすることができます。強度、膨張や歪みの位置を設定することができます。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

膨張効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[膨張]**をクリックします。
3. **[膨張]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

膨張オプション

左右の位置	歪みの中心を左右に移動して設定します。小さい値では画像の左側が歪み、大きい値では画像の右側が歪みます。
上下の位置	歪みの中心を上下に移動して設定します。小さな値では画像の下側が歪み、大きな値では画像の上側が歪みます。
半径	歪みの半径を設定します。小さな値ほど歪みの半径は小さくなり、大きな値ほど歪みの半径は大きくなります。
強度	歪みの強度を設定します。マイナス値では歪みの中心は収縮し、プラス値では歪みの中心は膨張します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
膨張の方向	歪みの方向を設定します。以下のオプションからいずれか、または両方のオプションを選択します。 • 左右: 歪みを左右に動かします。 • 上下: 歪みを上下に動かします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **[グラデーション]** ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: マンガ

マンガ効果を使用して、画像をコミック風に仕上げることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

マンガ効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [マンガ]をクリックします。
3. [マンガ]パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

マンガ効果のオプション

影の強度	画像の影の強度を指定します。大きな値ほど、画像に使用される影の量は多く濃くなります。	
影の半径	影の広がり方を調整します。	
影のしきい値	影を適用する前の画像上に輪郭されるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、輪郭されるエッジの量が多い影になります。	
滑らかさ	同系色間のトランジションの滑らかさをコントロールします。	
輪郭の詳細	画像の細部に表示される黒い輪郭の濃さを指定します。	
輪郭の強度	画像の細部に表示される黒い輪郭の多さと強さを指定します。	
アーチファクト抑制	細部を削除する	黒い輪郭が画像の細部に表示されないようにして、画像をさらにマンガに近い画風に仕上げます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ノスタルジア

ノスタルジア効果を使用して、画像をまるで昭和時代の写真のように仕上げることができます。

ノスタルジア効果を適用するには：

1. [編集] モードの[追加] グループで、[特殊効果] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. [ノスタルジア] をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います：

- ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：雲

雲効果を使用して、背景など、画像からグラフィックコンテンツを作成することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

写真に雲を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [雲] をクリックします。

3. [雲] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います：

- ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

雲のオプション

サイズ	雲のサイズを設定します。スライダを右へ動かすとサイズが大きくなります。
ディテール	ディテールの細かさを指定します。0から10までの数字を入力するか、スライダをドラッグして雲のディテールを調整します。
ランダム化	雲がランダムに配置されます。 画像に雲効果を適用すると、ACDSee 究極はフラグメントをランダムに適用します。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムパターンを作成すれば、同一のフラグメントパターンを何度も生成することができます。 乱数パターンを新規作成するには、[ランダム化]をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

コラージュエフェクトを適用する

コラージュエフェクトを使用すると、1枚の写真をクリエイティブに複数の写真に分割することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

コラージュエフェクトを適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[コラージュ]**をクリックします。
3. 写真の[数]と[サイズ]のスライダをドラッグして調整します。
4. 色の階調度が表示されるドロップダウンの矢印をクリックするか、スウォッチのダイアログが表示されるカラーボックスをクリックするかして、背景色を選択します。
5. 写真をシャッフルしたい場合は、**[ランダム化]**をクリックします。
6. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。
7. 特殊エフェクトを終了してフィルタメニューに戻るには、**[完了]**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：カラーエッジ

カラーエッジ効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの線や詳細をトレースすることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

カラーエッジ を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【カラーエッジ】**をクリックします。
3. **【カラーエッジ】** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - ・変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

カラーエッジ オプション

強度	画像のエッジに追加する色の量を調整します。大きな値ほど、画像に適用される色は濃くなります。
エッジの色	エッジに適用する色を選択します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
ぼかし	画像のエッジをぼかします。 【ぼかしの使用】 チェックボックスをオンにし、ぼかしの設定を選択してエッジに適用するぼかしの量を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 等高線

等高線効果を使用して、画像の輪郭を抽出することで、漫画のような画像に上げることができます。等高線や色などの設定を変更して画像に適用します。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

等高線を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[等高線]**をクリックします。
3. **[等高線]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

等高線オプション

丸み度	等高線の線の丸みを調整します。大きな値ほど、線は丸くなります。
線の頻度	等高線の幅を調整します。大きな値ほど、線の間隔が小さくなります。
強度	線の濃さを調整します。大きな値ほど、線は濃くなります。
線の色	線の色を選択します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **[グラデーション]** ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: クレヨン画

クレヨン画効果を使用して、画像をクレヨンで描いたような外観にすることができます。

クレヨン画効果を使用するには:

1. [編集] モードの[追加]グループで、**[特殊効果]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[特殊効果]**メニューにアクセスすることもできます。

2. **[クレヨン画]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

クロスハッチ エフェクトを適用する

クロスハッチ エフェクトを使用して、画像全体にクロスハッチを加えることができます。

クロスハッチ エフェクトを使用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。

 フィルタのドロップダウン メニューやツールバーから特殊エフェクト メニューにアクセスすることもできます。

2. **【クロスハッチ】**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ペンキ画

ペンキ画 効果を使用すると、ペンキで塗りつけたような画像に仕上げるすることができます。強度や頻度などの設定を変更して画像に効果を適用します。

 使用した設定は **プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

ペンキ画を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。

 フィルタのドロップダウン メニューやツールバーから特殊エフェクト メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ペンキ画】**をクリックします。

3. [ペンキ画] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ペンキ画 オプション

強度	使用するペンキの量を調整します。
頻度	ペンキを塗りつける回数を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像の元の色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。 画像にペンキ画効果を適用すると、ACDSee 究極がペンキをランダムに配置します。そして、[ランダム化]を適用する度ペンキの配置がランダムに変化します。特定のランダムシードを定義すれば同じ配置を生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、 【ランダム化】 をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ドラマチック

特定の領域のコントラストを強調するドラマチック効果を適用すれば、画像をドラマチックな雰囲気仕上げることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ドラマチック効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。
 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。
2. **【ドラマチック】**をクリックします。
3. [ドラマチック] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ドラマチック効果のオプション

強度	適用されるコントラストの強度を調整します。
スプレッド	画像細部のどこまで効果を広げるか、ここで調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

エッジ検出エフェクトを適用する

エッジ検出効果を使って、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色の差が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

エッジ検出効果を使用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【エッジ検出】**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: エンボス

エンボス効果を使用して、画像をグレーに変換して、型押しされたような立体感のある画像に仕上げるすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像にエンボスを適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[エンボス]**をクリックします。
3. **[エンボス]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - ・変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

エンボス オプション

高度	画像の明るさを指定します。小さな値ほど、画像にかかる影の量が多くなるため、画像は暗くなります。大きな値ほど、画像にかかる影の量が少なくなるため、画像は明るくなります。
強さ	画像の凹凸を調整します。大きな値ほど、画像に適用される凹凸は大きくなります。
方向	画像のエッジから伸びる影の方向を指定します。0の値では影は左に伸び、180の値では影は右に伸びます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション することができます。



[放射状グラデーション] ツール を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 柔毛エッジ

柔毛エッジ効果を使用して、人物やオブジェクトの境界線や細部に柔毛や剛毛を追加することができます。



使用した設定は **プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

柔毛エッジ効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[柔毛エッジ]**をクリックします。
3. **[柔毛エッジ]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - ・変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

柔毛エッジ オプション

頻度	画像に追加される柔毛の量を調整します。大きな値ほど、画像に使用される柔毛の量は多くなります。
しきい値	柔毛適用前のエッジのシャープネスを指定します。小さな値ほど、柔毛が追加される領域は広くなります。
柔毛の長さ	柔毛線の長さを調整します。大きな値ほど、柔毛線は長くなります。
変化	[柔毛の方向] で設定した方向に伸びる柔毛の量を調整します。大きな値ほど、柔毛の伸びる方向はランダムになります。
柔毛の方向	柔毛の伸びる一般的な方向を指定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
柔毛の色	柔毛の線の色を選択します。画像の元の色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
ランダム化	ランダム化とは、柔毛線をランダムに配置することを指します。 画像に柔毛エッジ効果を適用すると、ACDSee 究極 は柔毛をランダムに配置します。これにより、フィルタを適用するたびに柔毛の織りが変化します。特定のランダムシードを定義すれば、同一の柔毛パターンを何度も生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: グルूम

グルーム効果を使用して、画像に暗くどんよりした表情を与えることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

グルーム効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[グルーム]** をクリックします。
3. **[グルーム]** パネルで **[色]** スライダーをドラッグして画像に色合いを追加します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ネオン効果

ネオン効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの詳細にカラーを加えることができます。色の付いた線や詳細は、ネオンサインのように光って見えます。

 使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ネオン効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【ネオン効果】**をクリックします。

3. **【ネオン効果】** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ネオン効果 オプション

強度	画像のエッジに追加する色の量を調整します。大きな値ほど、画像に使用される色の量は多くなります。
カラー	エッジに適用する色を選択します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

グラデーションマップ エフェクトを適用する

グラデーションマップ効果を使用して、画像の暗い部分と明るい部分に色を追加できます。グラデーションマップ効果はひとつの色にシャドウをマップし、各ピクセルの明度に基づいて他の色にハイライトをマップします。画像の暗い部分に、明るい部分とはまったく違う色を与えることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

グラデーションマップ効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[グラデーションマップ]** をクリックします。
3. **[グラデーションマップ]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

グラデーションマップのオプション

ダーク	画像の暗い領域に追加する色を指定します。
ライト	画像の明るい領域に追加する色を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: グラナイト

グラナイト効果は、岩壁の表面に描かれたように画像を仕上げます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

グラナイト効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[グラナイト]**をクリックします。
3. **[グラナイト]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

グラナイト オプション

光の角度

画像の上を、想像上の光が照らす角度を指定します。矢印をドラッグして角度を調整します。光の角度を変更すると、グラナイト(岩)の上に現れる凸凹のハイライトやシャドウが変化します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション]



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: グランジ

グランジ効果を使用して画像に陰鬱な、暗い表情を与えることができます。**[カラー]** スライダーを使用して画像にさまざまな色合いを付けることができます。



使用した設定は **プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

グランジ効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[グランジ]**をクリックします。
3. **[グランジ効果]**パネルで **[カラー]**スライダーをドラッグして色合いを指定します。**[カラー]** スライダーが**0**に設定されていると着色は行われません。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 揺れ

揺れ効果を使用して画像に揺れ歪曲を追加します。画像に追加したい歪曲の特徴をカスタマイズすることができます。一部の歪曲は画像の外側のエッジの形状を変化させるため、透明な背景が見えるようになります。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

揺れ効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **揺れ**をクリックします。
3. [揺れ] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

揺れオプション

サイズ	揺れ歪曲のサイズを指定します。1から100までの数字を入力するか、スライダをドラッグして歪曲の幅を調整します。値が大きいほど波の幅も大きくなります。
ディテール	歪曲の揺れの程度を指定します。1から10までの数字を入力するか、スライダをドラッグしてディテールを調整します。
強度	歪曲の強度を設定します。1から100までの数字を入力するか、スライダをドラッグして強度を調整します。
ランダム化	揺れがランダムに配置されます。 画像に揺れ効果を適用すると、ACDSee 究極はフラグメントをランダムに配置します。フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを作成すれば、同一のフラグメントパターンを何度も生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、 [ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ロモ エフェクトを適用する

ロモカメラのレトロ効果を再現します。ロモカメラで撮影された写真は、コントラストが高く、色ずれとヴィネット効果をはっきり出るのが特徴です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ロモ効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ロモ]**をクリックします。
3. **[歪み]** スライダーを右にドラッグすると、色ずれが強調されます。
4. **[ヴィネットの強さ]** スライダーを右にドラッグすると、ヴィネット効果が強調されます。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

6. 特殊エフェクトを終了してフィルタメニューに戻るには、**[完了]**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ミラー

ミラー効果を使用して、画像を水平軸または垂直軸に対して反射させることができます。ミラーの軸や方向を変更することにより効果を適用します。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ミラー効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ミラー]**をクリックします。

3. [ミラー] パネルで、[ミラー方向]領域から、次のいずれかのオプションを選択し、画像のミラー方向を指定します。
 - 左右
 - 上下
4. [ミラー軸] スライダーをドラッグして、画像を反射するミラー軸の位置を調節します。500の値では、ミラー軸の位置は画像の中心になります。
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ネガ エフェクトを適用する

ネガティブ効果を使って、画像のネガティブを作成することができます。また、ネガティブ フィルタを使用して、フィルムからスキャンされたネガティブをポジティブ画像に変換することも可能です。

ネガティブ画像を作成するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。
2. **【ネガ】**をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：オイルペイント

オイルペイント効果を使用して、画像をオイルペイントのように仕上げることができます。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

オイルペイント効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[オイルペイント]**をクリックします。
3. **[オイルペイント]** パネルの **[ブラシの幅]** スライダーをドラッグして、使用するブラシの幅を指定します。大きな値ほど、ブラシの幅は広がります。
4. **[変化]** スライダーをドラッグして、各ブラシで描かれる色の変化を調整します。大きな値ほど、ブラシで塗られる色の量が増えます。
5. **[変化]** スライダーをドラッグして、画像内の色の強さを調整します。
6. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **[グラデーション]** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

古い効果を適用する

アンティーク効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。)

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

アンティーク効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[アンティーク]**をクリックします。
3. **[アンティーク]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

アンティーク オプション

年

アンティークに仕上げる強度、または度合いを指定します。(数値は、画像がどれほど古く見えるかといった年季数とはマッチしませんのでご注意ください。)



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

オートン エフェクトを適用する

オートン効果は写真に印象派の絵画のような効果を適用します。オートン効果は、2 種類の画像 (一つはややぼかし、もう一つはやや露光過多) を重ね合わせることによって生み出される暗室のテクニックを再現したものです。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

オートン効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【オートン】**をクリックします。
3. **【ぼかし】**、**【コントラスト】**、**【明るさ】** スライダーをドラッグして各効果を調整します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。
5. 特殊エフェクトを終了してフィルタメニューに戻るには、**【完了】**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 輪郭

輪郭は、エッジ検出に似た特殊効果です。輪郭効果を使用して、画像の輪郭を強調することができます。輪郭効果を使用することで、輪郭の厚み、エッジを輪郭で縁取るかどうか、輪郭で縁取られた画像の背後に表示される色をコントロールすることもできます。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

輪郭効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[輪郭]**をクリックします。
3. **[輪郭]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

輪郭オプション

線の幅	輪郭線の幅を指定します。大きな値ほど、輪郭の幅は広くなります。
しきい値	縁取られるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、縁取られるエッジの量が多くなります。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 [グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 [放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

鉛筆画エフェクトを適用する

鉛筆画効果を使って、画像を鉛筆で描いたように仕上げることができます。

画像を鉛筆画のように仕上げるには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[鉛筆画]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 写真

写真効果を使用して画像にさまざまなフィルタを適用できます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

写真効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【写真効果】**をクリックします。

3. **【写真効果】** パネルで、**【フィルタタイプ】** ドロップダウンメニューからオプションを選択します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ピクセル爆発

ピクセル爆発効果を使用して、画像の中心点からピクセルを爆発させたような効果に仕上げるすることができます。強度や方向などの設定を変更して、ピクセル爆発効果を画像に適用します。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ピクセル爆発効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [ピクセル爆発]をクリックします。
3. [ピクセル爆発]パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ピクセル爆発オプション

左右の中央	爆発の中心を横軸上で設定します。500の値では、爆発の位置は画像の中心になります。
上下の中央	爆発の中心を縦軸上で設定します。500の値では、爆発の位置は画像の中心になります。
強度	爆発の強度を設定します。大きな値ほど、ピクセルの爆発は大きくなります。
爆発の方向	爆発の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 • ピクセルを左右に爆発: 画像の左右に向かってピクセルを爆発させます。 • ピクセルを上下に爆発: 画像の上下に向かってピクセルを爆発させます。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにピクセルを配置することです。 ピクセル爆発効果を画像に適用すると、ACDSee 究極はピクセルをランダムに配置します。フィルタを適用するたびにピクセルへの効果は異なります。特定のランダムシードを定義すれば、同じピクセルパターンを何度も生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、 【ランダム化】 をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: モザイク

ピクセルとは、縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のことです。画像の解像度を減らすと、ピクセルが大きくなるため、画像がぼやけてしまいます。モザイク効果を使用して、画像のピクセルサイズを大きくすることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

モザイク効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [モザイク]をクリックします。
3. [モザイク]パネルで、[幅]および[高さ]スライダをドラッグして画像のピクセルのサイズを調整します。四角形の辺の長さを等しくするには、[正方形]チェックボックスをオンにします。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ポスタライズ

ポスタライズ効果を使用して、画像の明るさを調整することができます。ポスタライズオプションを変更して画像に効果を適用します。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ポスタライズ効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [ポスタライズ]をクリックします。
3. [ポスタライズ]パネルで、[明るさのレベル]スライダをドラッグして、画像の色の变化を調整します。小さな値ほど、画像に使用される色の量は少なくなります。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 霞み

霞み効果を使用して、画像に薄ら紫がかった効果を広げ、レトロに仕上げることができます。

霞み効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[霞み]** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 光線ぼかし

光線ぼかし効果を使用すると、画像の中心から外に向かって波が発生しているような効果を与えます。画像の中心となる位置を変更できる他、波の外観も設定できます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

光線ぼかし効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[光線ぼかし]** をクリックします。

3. **[光線ぼかし]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

光線ぼかし オプション

左右の位置	波の中心を横軸上で設定します。 500 の値では、画像の中心に設定されます。
上下の位置	波の中心を縦軸上で設定します。 500 の値では、画像の中心に設定されます。
波の深さと高さ	波の深さと高さを設定します。
波の幅	波と波の間の幅を設定します。
光の強度	各波の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波の方向	波が発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 • 左右の波: 画像の左右に向かう波を加えます。 • 上下の波: 画像の上下に向かう波を加えます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **[グラデーション]** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **[放射状グラデーション]** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 雨

雨効果を使用して、画像撮影時に雨が降っていたかのように仕上げるすることができます。雨の量、角度、強度その他の特性を調整して画像に適用します。

 使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

雨効果を適用するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[雨]**をクリックします。
3. **[雨]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

雨 オプション

強度	雨だれの長さを指定します。スライダを右へ動かすほど雨だれの長さが長くなります。
不透明度	雨だれの不透明度を指定します。0から100までの数字を入力、またはスライダをドラッグして雨だれの不透明度を調整します。不透明度が高くなるほど、画像は暗くなります。
度合い	雨だれの量を指定します。
角度の変化	雨だれの角度を指定します。0から50までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
強度の変化	雨だれの長さの変化を指定します。雨だれの長さを揃えたい場合、スライダを左へドラッグします。大小様々な長さの雨だれを指定したい場合、スライダを右へドラッグします。様々な長さの雨だれが含まれるほど、画像は自然に仕上がります。
背景ぼかし	画像におけるぼかしの量を調整します。雨の量を多く設定すると、背景の画像が見えにくくなります。このオプションを使って画像をぼかすと、より自然に仕上がります。
角度	雨の降ってくる角度を指定します。
カラー	雨だれの色を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 波紋

波紋効果は、小石を水に落とした時に見られるような円状を画像に加えます。位置や強度などの波紋の設定を変更して画像に適用します。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

波紋効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[波紋]**をクリックします。
3. **[波紋]**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

波紋 オプション

左右の位置	波紋の位置を左右に設定します。500の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
上下の位置	波紋の位置を上下に設定します。500の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
波の深さと高さ	波紋の深さと高さを設定します。
波の幅	波の幅を設定します。
光の強度	波紋の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波紋の方向	波紋の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 • 上下の波紋: 波紋を画像の上下に向かわせます。 • 左右の波紋: 波紋を画像の左右に向かわせます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 飛散タイル

飛散タイル効果を使用して、画像を四角形のタイルに分割して散らばしたり重ねることができます。飛散タイルオプションを変更して画像に効果を適用します。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

飛散タイル効果を適用するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[飛散タイル]**をクリックします。
3. **[飛散タイル]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

飛散タイル オプション

タイル サイズ	タイルのサイズを設定します。
飛散の度合い	タイルを飛散する度合いを調整します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにタイルを配置することです。 画像に飛散タイル効果を適用すると、ACDSee 究極はタイルをランダムに配置します。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを定義すると、同じタイルパターンを生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

セピア エフェクトを適用する

セピア効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。)



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

セピアトーンを画像に追加するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[セピア]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 70年代

70年代効果も、画像にレトロな印象を与えることができます。

70年代効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[70年代]** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール 

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 金属シート

金属シート効果を使用して、画像を金属シートのように仕上げるすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

金属シート効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[金属シート]** をクリックします。

3. [金属シート] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

金属シートオプション

丸み度	画像のエッジの丸みを調整します。
ディテール	画像の詳細を調整します。
角度	金属シートの模様が流れる角度を指定します。
金属の色	金属シートの色を指定します。
プレス	金属がプレスされる表面を指定します。次のいずれかを選択します。 - インデント: 画像の上から金属をプレスします。 - エンボス: 画像の下から金属をプレスします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: シフト

シフト効果を使用して、画像をバー状に分割し、ランダム方向にシフトさせることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

シフト効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. シフトをクリックします。
3. [シフト] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

シフトオプション

強度	バーの間のシフトの量を指定します。
幅	バーの幅を調整します。
角度	バーの角度を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：アングル

アングル効果を使用して、画像が斜めに傾いているかのように仕上げることができます。例えば、画像の上部を左に、画像の下部を右に引っ張って、画像を歪ませることが可能です。同様に、画像の左側を上、右側を下に引っ張って、画像を歪ませることも可能です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

アングル効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[アングル]**をクリックします。
3. **[アングル]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

アングル オプション

度合い	アングルの度合いを指定します。
支点	アングルの中心となる位置を指定します。スライダを左にドラッグして写真下部の近くに傾斜の中心を配置します。スライダを右にドラッグして写真上部の近くに傾斜の中心を配置します。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
アングルの方向	アングルの方向を指定します。 • 左右：写真の上部または下部を、右または左方向に歪ませたい場合に[左右]を選択します。 • 上下：写真の左端または右端を、上または下方向に歪ませたい場合に[上下]を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ソーベル エフェクトを適用する

ソーベル効果を使用して、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色の差が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

ソーベル効果を使用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ソーベル]**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ソラリゼーション

ソラリゼーションを使用すると、現像する前にフィルムが光に当たったかのような露出効果を画像に追加することができます。ソラリゼーションオプションを変更して画像に効果を適用します。



使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

ソラリゼーション効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ソラリゼーション]**をクリックします。

3. **[ソラリゼーション]** パネル上で**[しきい値]** スライダーをドラッグし、画像の明るさのしきい値を調整します。

4. 「効果」のセクションで、次のいずれかのオプションを選択してピクセルを指定します。

- **ソラリゼーション:** しきい値オプションで指定された値より高いピクセルを調整します。ソラリゼーション フィルタは、しきい値を越えたピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ソラリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は明るくなります。つまり、露出オーバー画像にするためには、色が明るくなくてはなりません。

- **ルナリゼーション**: しきい値 オプションで指定された値より低いピクセルを調整します。ルナリゼーション フィルタはしきい値より低いピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ルナリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は暗くなります。つまり、露出 オーバー画像にするのに、色が明るい必要はありません。

5. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: くすみ

くすみ効果を使用して、画像を暗い、少し重苦しいような印象を与える独特の写真に仕上げることができます。

くすみ効果を適用するには:

1. [編集] モードの[追加] グループで、**【特殊効果】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**【特殊効果】**メニューにアクセスすることもできます。

2. **【くすみ】**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 **【グラデーション】** ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ステンドグラス

ステンドグラス効果を使用して、大小様々なサイズと形に分割された、ステンドグラスの窓のように画像を仕上げることができます。効果設定を使用してフラグメントのサイズと位置を調整します。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ステンドグラス効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [ステンドグラス]をクリックします。
3. [ステンドグラス]パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了]をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。

ステンドグラス オプション

フラグメント サイズ	フラグメントのサイズを設定します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにフラグメントを配置することです。 画像にステンドグラス効果を適用すると、ACDSee 究極はフラグメントをランダムに配置します。フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを作成すれば、同一のフラグメントパターンを何度も生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化]をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 太陽 スポット

太陽スポット効果を使用して、画像に太陽のような明るい円光を加えることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

太陽スポット効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、[特殊エフェクト]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. [太陽スポット]をクリックします。
3. [太陽スポット]パネルの[左右の位置] および [上下の位置] スライダーをドラッグして、太陽スポットの位置を指定します。

4. **[明るさ]** スライダーをドラッグして、太陽 スポットの明るさを調整します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

特殊効果: 渦巻き

渦巻き効果を使用して、画像の人物やオブジェクトを渦巻きのように回転させたり引き伸ばしたりすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

渦巻き効果を適用するには:

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。


 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。
2. **[渦巻き]** をクリックします。
3. **[渦巻き]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

渦巻きオプション

左右の位置	渦巻きの位置を横軸上で設定します。500の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
上下の位置	渦巻きの位置を縦軸上で設定します。500の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
半径	渦の半径を設定します。
強度	渦巻きの強さを調整します。プラス値では渦巻きの方向は時計回りで、マイナス値では渦巻きの方向は反時計回りになります。
フォーカス	半径に対する渦巻きの焦点を設定します。大きな値ほど、渦巻きの焦点は半径の中心に置かれます。小さな値ほど、渦巻きが画像全体に散らばります。
背景色	画像の背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
渦巻きの方向	渦巻きが発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します。 • 左右の渦巻き: 渦巻きが画像の上下に向かうようにします。 • 上下の渦巻き: 渦巻きが画像の左右側に向かうようにします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

しきい値エフェクトを適用する

しきい値を使用して、モノクロの画像を作成することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

しきい値効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[しきい値]**をクリックします。
3. **[しきい値]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

しきい値オプション

しきい値

スライダをドラッグして、モノクロ画像の黒、白の基点を定義します。選択されたしきい値よりも明るいピクセルは白に、暗いピクセルは黒に表示されます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 地形図

地形図効果を使用して、画像の詳細を輪郭線で表して地形図のように仕上げるすることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

地形図効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[地形図]**をクリックします。
3. [地形図] パネルの **[丸み]** スライダーをドラッグして、輪郭線の丸みを調整します。
4. **[線の数]** スライダーをドラッグして、地形図に使用したい輪郭線の数进行指定します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション



することができます。



[放射状グラデーション]



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ウォーター

ウォーター効果を使用して、画像内オブジェクトの下に水面を足し、その水面にオブジェクトを反映させることができます。水面の位置はユーザーがコントロールすることができます。例えば、人物の顔の顎下から、あるいは人物の上半身の下からなど開始点を変更します。また、波の幅、波の明るさもコントロール可能です。



使用した設定は **プリセット**として保存し、後で再利用することができます。

ウォーター効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ウォーター]**をクリックします。
 3. [ウォーター] パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
 4. 以下のいずれかの操作を行います:
- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

ウォーター オプション

位置	ウォーターの開始位置を指定します。
波の深さと高さ	水面上の波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波紋の高さと波紋によって発生する歪曲が小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波紋の高さと波紋によって発生する歪曲が大きくなります。
波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波紋の間隔が小さくなり、波紋によって発生する歪曲が大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波紋の間隔が大きくなり、波紋によって発生する歪曲が小さくなります。
遠近法	オブジェクトから発生する波のサイズを変更します。スライダを左にドラッグすると、オブジェクトから最も離れた位置にある波のサイズが大きくなり、距離感が増えます。
ライティング	水面の光の量を調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ウォータードロップ

ウォータードロップを使用すると、画像の表面に水滴が表示されます。ユーザーは、ウォータードロップの数やサイズ、位置をコントロールすることができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ウォータードロップ効果を適用するには：

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【ウォータードロップ】**をクリックします。
3. **【ウォータードロップ】**パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ウォータードロップ オプション

密度	画像に追加する、ウォータードロップの数を指定します。スライダを左にドラッグして水滴を除去します。スライダを右にドラッグして水滴を追加します。
半径	ウォータードロップのサイズを設定します。スライダを左にドラッグして水滴を小さくします。スライダを右にドラッグして水滴を大きくします。
高さ	画像の表面上に現れるウォータードロップの高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、水滴の高さと水滴によって発生する歪曲が小さくなります。スライダを右にドラッグすると、水滴の高さと水滴によって発生する歪曲が大きくなります。
ランダム化	ランダムにウォータードロップを配置することを指します。 画像に水滴効果を適用すると、ACDSee 究極によって水滴がランダムに配置されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを指定すれば、同一の水滴パターンを何度も生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、 [ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 波

波効果を使用して写真に波を表示することができます。波の間隔を変更することができます。この波の間の距離は、波の幅として知られています。写真に表示される波の高さ、波の角度も設定することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

波効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[波]** をクリックします。
3. **[波]** パネルで、下記を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

波 オプション

波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波の幅が小さくなり、波によって形成される歪みが大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波の幅が大きくなり、波によって形成される歪みが小さくなります。
波の深さと高さ	波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなります。
角度	波が発生する角度を指定します。1から360までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
背景色	背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 織り

織り効果を使用すると、画像が布やバスケットに織り込まれたように仕上げることができます。縦横のストリップの幅、織りの間にあるすき間、すき間を埋める背景色を指定することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

織り効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[織り]**をクリックします。
3. **[織り]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

織りオプション

ストリップの幅	縦横のストリップの幅を指定します。
すき間の幅	ストリップ間にできるすき間の幅を指定します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 風

風効果を使用して風の線を加え、静止画像を動きのある画像のように仕上げるすることができます。設定を選択または変更して、画像に加えた風効果をコントロールします。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

風効果を適用するには:

1. 編集モードの[追加]グループで、**【特殊エフェクト】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **【風】**をクリックします。
3. **【風】**パネルで、下記を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

風オプション

強度	風の強さを設定します。大きな値ほど、風の線は濃く強く表示されます。
しきい値	風のエッジのシャープネスを設定します。大きな値ほど、エッジはシャープになります。
風の量	適用される風の量を設定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	背景色を指定します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の色	風の線の色を選択します。画像の元の色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の向き	エッジから伸びる風の向きを設定します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムに風の線を配置することです。 画像に風効果を適用すると、ACDSee 究極は風の線をランダムに配置します。フィルタを適用するたびに風のラインは異なります。特定のランダムシードを定義すれば、同一の風のラインを何度も生成できます。 ランダムシードを新規作成するには、 [ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：カスタムフィルタ(畳み込み効果)

「カスタム」フィルタでは、自分だけの特殊効果を作成して画像に適用することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

「カスタム」フィルタを作成するには：

1. 編集モードの**[追加]**グループで、**[特殊エフェクト]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから特殊エフェクトメニューにアクセスすることもできます。

2. **[ユーザー定義の畳み込み]** をクリックします。
3. **[ユーザー定義の畳み込み]** パネルで、下記を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ユーザー定義の畳み込み オプション

コンボリューション マトリックス	数式を使用して画像を変更します。 [コンボリューション マトリックス] のフィールドに値を入力し、画像のピクセルを変更します。特殊効果の作成には、数学的な計算式を使用し、マトリックス値に画像の各ピクセルのカラー値を乗算して作成します。
分割係数	マトリックスの分数係数を使用します。 [分割] フィールドに数値を入力し、マトリックスの分数係数を使用します。マトリックスの効果は、ピクセルに適用される前に分割係数に分割されます。
バイアス	画像の明るさを指定します。 [バイアス] フィールドに数値を入力し、画像の明るさを変更します。バイアスの数字は、各ピクセルの RGB (赤・緑・青) の値に追加されます。プラス値は画像を明るくし、マイナス値は画像を暗くします。
マトリックスのクリア	マトリックスをリセットします。
サンプル フィルタ ドロップダウン メニュー	サンプル フィルタをロードして、カスタム フィルタの元として使用することができます。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像を回転する

[編集] モードでは、プリセット、あるいはカスタム角度で画像を回転することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

カスタム角度で画像を回転するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **【回転】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【回転】** ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかを選択します:

- 既定の方向 オプションを選択します。
- **【傾きを直す】** スライダーを左右にドラッグして、画像がまっすぐに見えるように調整します。
- **【左右】** または **【上下】** ボタンをクリックして、以下で解説されているツールを使用します。
- 画像がまっすぐに調整された後、トリミングしたい場合は、**【まっすぐに調整された画像のトリミング】** を選択します。

- 画像がまっすぐに調整された後、トリミングをしたくない場合は、[まっすぐに調整された画像を保持する] を選択します。まっすぐに調整された画像の背景に表示する色を、[塗りつぶしの色] ドロップダウンから選択します。
- [グリッドのオーバーレイを表示する] を選択すると、画像上にグリッドが表示されます。画像をまっすぐに調整するものさしとして使用したり、どのようにトリミングされたかを把握したりするために便利です。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から[現像済みに戻す] を選択します。

回転 アイコン

左右

アイコンをクリックしてから、カーソルを使って左右の線として使用する線を画像上に描きます。



上下

アイコンをクリックしてから、カーソルを使って上下の線として使用する線を画像上に描きます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

画像を反転する

[編集] モードでは、画像を上下左右に反転することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像を反転するには：

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから[反転] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[反転] ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかまたは両方を実行します。

- [左右に反転] チェックボックスをオンにします。
- [上下に反転] チェックボックスをオンにします。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から[現像済みに戻す] を選択します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

画像をトリミングする

トリミングツールを使用して、画像の不要な部分を削除したり、画像キャンバスを特定のサイズに縮小したりできます。また、選択した画像をパッチトリミングする設定を作成するのに役立つ相対位置を有効にすることもできます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。



画像を縮小するには **スペースバー**を押したまま画面をパンします。

画像をトリミングするには:

1. **【編集】** モードで、**【ジオメトリ】** グループから **【トリミング】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【トリミング】** ツールにアクセスすることもできます。

2. トリミング ウィンドウの **サイズを変更** して、保持したい画像の部分がウィンドウに収まるようにします。
3. トリミング ウィンドウの外部を暗くするには、**【トリミング範囲外を暗くする】** スライダを左にドラッグします。スライダを右にドラッグすると、トリミング ウィンドウの外部が明るくなります。
4. **【新規ファイルの予想サイズ】** をクリックして、トリミング後の画像ファイルの大きさを確認します。
5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ・ **【完了】** をクリックすると、画像をトリミングしてツールが終了します。
 - ・ 画像をトリミングせずにツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

トリミング ウィンドウのサイズを変更する

トリミング ウィンドウのサイズ変更方法は3つあります。

- ・ トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望のサイズに変更する。
- ・ ピクセル、インチ、センチ、あるいはミリ単位で、トリミング ウィンドウのサイズを指定する方法。
- ・ 縦横比を使って、トリミング ウィンドウの比率を保ちながらサイズ変更する方法。

ドラッグしてトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

1. トリミングウィンドウの端または角にマウス ポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
2. トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング ウィンドウのサイズを正確に指定するには:

1. **【幅】** と **【高さ】** のスピンボックスに希望のトリミング ウィンドウの比率を入力します。
2. **【単位】** ドロップダウン リストから、寸法の単位を選択します。
3. **【ドット/インチ】** スピンボックスで、解像度を指定します。

トリミング ウィンドウの縦横比を指定してサイズを変更するには:

1. **〔縦横比の設定〕**チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウンリストから比率を選択します。
3. トリミングウィンドウの方向を変更する場合は、**〔回転〕**ボタンをクリックします。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - トリミングウィンドウの端にカーソルを合わせ、カーソルが双方向矢印に変わったら、トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。
 - **〔幅〕**または**〔高さ〕**スピンボックスを使用して、トリミングウィンドウの縦または横のサイズを指定します。設定された比率に基づいて、ACDSee 究極は自動的に縦または横のサイズを変更します。

相対配置を使用してクロップウィンドウのサイズを変更するには:

相対位置を有効にして、画像のトリミング方法を指定できます。これは、バッチでのトリミングに特に役立ちます。

1. **〔相対配置を有効にする〕**チェックボックスをオンにします。
2. 水平設定で、トリミングを左端または右端のどちらから配置するか、および距離をピクセル単位またはパーセンテージで選択します。
3. 垂直設定で、トリミングを左端または右端のどちらから配置するか、および距離をピクセル単位またはパーセンテージで選択します。

遠近の歪みを補正する

〔遠近補正〕 ツールを使用して、デジタル写真の遠近歪みを補正することができます。遠近歪みは広角レンズや望遠レンズによって起きる歪みで、大きい物体や遠くにある物体が歪む現象です。例えば、高層ビルを撮影した場合、ビルは上から下まで幅が同じであっても、上の方が狭くなっているように見えます。

遠近歪みを補正するには:

1. 編集モードで、ジオメトリグループから**〔遠近の補正〕**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**〔遠近の補正〕**ツールにアクセスすることもできます。

2. 画像の周りに輪郭が表示されます。輪郭の4つの角すべてとそれぞれの辺の中心にはハンドルが表示されます。ハンドルをドラッグして遠近感を変更します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**〔完了〕**をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**〔キャンセル〕**をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**〔リセット〕**をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**〔ファイル〕** から**〔現像済みに戻す〕**を選択します。

遠近補正オプション

背景色

写真で歪み補正を行うと、画像の周辺部が外側に膨張または内側に縮小することがあります。**〔背景色〕** オプションを使用して、修正後の画像にできた隙間を埋めます:

- **透明度:** 修正後の画像にできた角または横の隙間を透明色で埋めたい場合にこのオプションを選択します。

グリッドの表示

このオプションを選択すると、歪み補正時にグリッドを表示して補正できます。画像のオブジェクトが真っ直ぐかどうかを調べる場合に便利です。

歪みを補正する

【レンズの歪み補正】ツールを使用して、デジタル撮影で発生しがちなパーレル、魚眼、ピンクッションの歪みを補正することができます。パーレル歪みでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。魚眼では、画像が球体を包んでいるかのように、中心から外に向かって膨張して見えます。

パーレル、魚眼、ピンクッションの歪みは、ワイドアングルやズームレンズを用いて撮影した画像でよく見られます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

レンズの歪みを補正するには：

1. 【編集】モードで、【ジオメトリ】グループから【レンズの歪み補正】を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから【レンズの歪み補正】ツールにアクセスすることもできます。

2. 【歪みの種類】セクションで、【パーレル】、【ピンクッション】、または【魚眼】を選択します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、【完了】をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、【リセット】をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、【ファイル】から【現像済みに戻す】を選択します。

レンズの歪み補正 オプション

左右の中央	左右スライダを左右にドラッグして、水平軸で画像の中心となる位置を指定します。
上下の中央	スライダを左右にドラッグして、垂直軸で画像の中心となる位置を指定します。
補正の強度	画像が真っ直ぐに見えるまで、スライダを右にドラッグして調整します。
ズーム	スライダを左右にドラッグして、画像の倍率を調整します。
背景色	写真で歪み補正を行うと、画像の周辺部が外側に膨張または内側に縮小することがあります。【背景色】オプションを使用して、修正後の画像にできた隙間を埋めます： • 透明：このオプションを選択すると、補正前の画像を背景に配置して、補正後の画像にできた隙間を埋めます。隙間が比較的小さい場合に便利です。
歪みの種類	画像に適用される歪みのタイプを決定します：上部と下部が狭い パーレル 、上部と下部が広い ピンクッション 、 魚眼レンズ 。
グリッドの表示	このオプションを選択すると、歪み補正時にグリッドを表示して補正できます。画像のオブジェクトが真っ直ぐかどうかを調べる場合に便利です。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

レンズの歪みを自動補正する

デジタル写真の樽形歪みと糸巻き形歪みは修正することができます。バレル歪みでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。樽形歪みと糸巻き形歪みは、広角レンズやズームレンズで撮影した写真でよく起きます。

ACDSee 究極では、[手動補正]スライダで手動補正を行うことができます。また、レンズプロファイルからレンズ補正をすることもできます。画像の撮影に使用したカメラのメーカー、モデル、レンズを選択すると実行できます。レンズ補正ツールによって、使用したレンズ固有の歪みに基づいた自動調整が行われます。また、画像ごとに手動でレンズ補正をすることもできます。[レンズ補正]ツールには、カメラのメーカー、モデル、対応するレンズのデータベースが入っています。選択したカメラに対応するレンズは[レンズ]のドロップダウンメニューから選択できます。ただし対応するレンズが1つしかない場合は、初めからそのレンズが選択された状態になります。

使用したレンズの名前は画像の[現在のレンズの情報]セクションで確認できます。ただしサードパーティ製レンズの場合、カメラ自体がID番号としてしか認識しない場合があるため、EXIFで表示されるレンズ値は信頼できません。可能な場合は、編集モードの情報パレットから正確なレンズ値を復元して(ただし[レンズ補正]ツールの外部で)、[レンズ]ドロップダウンメニューからその値を選択します([レンズ補正]ツールの内部で)。

[手動補正]スライダは、自動補正後、またはそれ自体による手動補正に対し、さらに調整を加えることができます。

使用できる場合は、レンズプロファイルを用いて色収差を補正することもできます。

 使用できるレンズプロファイルは、[Lensfun](#)からすぐに確認できます。

レンズプロファイルを使用してレンズの歪みを修正するには:

1. 編集モードで、ジオメトリグループから[**レンズ補正**]を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[**レンズ補正**]ツールにアクセスすることもできます。

2. [**レンズプロファイルを有効にする**]チェックボックスをオンにします。
3. 表示されているカメラのメーカーとモデルが正しくない場合は、[メーカー]と[モデル]のドロップダウンメニューから正しいものを選択します。
4. レンズドロップダウンメニューから、画像の撮影に使用したレンズを選択します。この情報は[現在のレンズの情報]セクションに表示されます。補正は自動的に行われます。
5. さらに調整をしたい場合は、[手動補正]セクションの[**強度**]スライダを左に動かすと中央が膨張し、右に動かすと画像の周辺部が引き延ばされます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 [**グリッドの表示**]チェックボックスをオンにすると、画像にグリッドが表示されます。このツールは、画像の位置を修正する場合に便利です。

レンズプロファイルを使用して色収差を修正するには:

色収差は使用したレンズの特性が原因で発生します。そのため、レンズプロファイルを使用して自動的に補正することができます。選択したレンズに対応する色収差補正が利用できる場合、[色収差]チェックボックスがオンになります。

1. 編集モードで、ジオメトリグループから[**レンズ補正**]を選択します。
2. [**レンズプロファイルを有効にする**]チェックボックスを選択します。
3. [**色収差**]チェックボックスを選択します。

手動補正した画像の周辺部を埋めるには:

手動調整により画像の周辺部が影響を受けることがあります。レンズ補正により生じた食い違いを塗りつぶす色を選ぶことができます。あるいは、この領域を透明にすることもできます。

[**透過**]チェックボックスを無効にして、[背景色]ドロップダウンメニューから色を選択します。

画像のサイズを変更する

[サイズ変更] ツールを使用して、ピクセル、比率、出力/印刷サイズに合わせて画像のサイズを変更することができます。画像のサイズを変更する際に、縦横比およびリサンプリング フィルタを指定して、サイズ変更後の画像の外観を調整することも可能です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のサイズを変更するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **[サイズ変更]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[サイズ変更]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかのサイズ変更 オプションを選択します:

- **ピクセル:** 特定のピクセル サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。
 - **パーセント:** 元のサイズに対するパーセンテージで、画像のサイズを変更します。
 - **実寸/印刷サイズ:** 特定の出力サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。ドロップダウン リストをクリックして、使用する単位を指定します。
3. 特定の幅や高さを保持したい場合、**[縦横比を固定]** チェックボックスをオンにし、ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションを選択します:
 - **オリジナル:** 元の画像の幅と高さの比率を保持します。
 - **1 x 1:** 幅と高さを等しくします。
 - **2 x 3:** 幅と高さの比率を 2:3 にします。
 - **3 x 2:** 幅と高さの比率を 3:2 にします。
 - **3 x 5:** 幅と高さの比率を 3:5 にします。
 - **5 x 3:** 幅と高さの比率を 5:3 にします。
 - **カスタム:** カスタムの比率を適用します。**[カスタムの縦横比]** ダイアログ ボックスで、幅と高さの比率を入力します。

4. **[フィルタのサイズ変更]** ドロップダウン リストから、フィルタを選択します。

5. 手順 3 で選択したサイズ変更 オプションの **[幅]** と **[高さ]** スピンボックスに、画像の新規サイズを入力します。**[実寸/印刷サイズ]** を選択した場合、**[解像度]** ドロップダウン リストから出力画像の解像度(ドット/インチ)を選択します。

6. 出力画像の予想サイズを確認するには、**[新規ファイルの予想サイズ]** ボタンをクリックします。

7. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用して **[サイズ変更]** ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



「サイズ変更」のワンポイント:

- 画質を保持するには **33%、50% または 66%** で縮小します。他の倍率を選択すると、縦横比が変更される可能性があります。
- サイズ変更を繰り返し行わないようにします。サイズ変更を行うたびに、微妙に異なる方向の画像ピクセルが配置されます。サイズ変更を繰り返し行うことによって、画像の全体の色と外観が変更されてしまう可能性があります。最初のサイズ変更が満足のいく結果でなかった場合には、**[元に戻す]** ボタンをクリックします。
- 画像サイズの拡大を行わないようにします。画像サイズを大きくすると、画像内のピクセルが目立ち、粒状のノイズが追加されてしまうことがあります。

ピクセルのサイズ変更 オプションと効果

ピクセルの大きさを新しく設定することで、管理モードの1つ以上の画像を拡大 / 縮小することができます。ピクセル単位でサイズ変更する詳しい情報については、「[画像のサイズを変更する](#)」、あるいは「[複数の画像サイズを変更する](#)」をご覧ください。



画像を拡大すると、ピクセルがモザイク化するため画質を下げることになります。可能な限り、画像のサイズを拡大しないようにお勧めします。

サイズ変更オプション	オプション	操作
拡大のみ		
	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。幅の値が増加すると、縦横比を保つために高さの値も増加します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。高さの値が増加すると、縦横比を保つために幅の値も増加します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
縮小のみ		
	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。幅の値が減少すると、縦横比を保つために高さの値も減少します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。高さの値が減少すると、縦横比を保つために幅の値も減少します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
拡大または縮小		
	幅のみ	指定された値に幅を変更し、縦横比を保つために高さも変更します。
	高さのみ	指定された値に高さを変更し、縦横比を保つために幅も変更します。
	幅と高さ	画像サイズを指定された幅と高さの値以内に変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さ

サイズ変更オプション	オプション	操作
	幅または高さ(最大画像)	を指定された値にできるだけ近づけるように調整します。 画像サイズを指定された幅と高さの値以内に変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大または最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。

液状化 ツールを使用して歪み付加とレタッチ処理を実行する

液状化 ツールを使うと、ピクセルはそのまま移動させることができます。



使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像を歪ませるには：

1. 編集 モードで、ジオメトリグループから[液状化]を選択します。
2. [歪みツール] セクションで、適用するゆがみ処理の種類を選択します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用して液状化 ツールを閉じるには、[完了]をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

直線を引く

水平または垂直の線を引くには、**ゆがみ**を使用している間、**シフト**キーを押したままにします。例えば、**シフト**キーを押しながらクリックし、水平にドラッグすると、**シフト**キーを押している間だけカーソルが水平にロックされます。**シフト**を離すとフリーハンドに戻ります。**シフト**を解除してフリーハンドのブラシに戻り、同じ線を描いている間にもう一度**シフト**を押すと、自由にブラシのロックを解除したり再ロックしたりすることもできます。

対角線を引く

ゆがみを使うと、画像上に2つの点を置くことで、まっすぐな斜めの線を作ることができます。線の始点となる場所にカーソルを置き、**シフト**を押したまま、画像上で**左クリック**して点を作ります。**シフト**を放し、線が終わる位置にブラシを移動させ、**シフト**を押したまま、もう一度**左クリック**して2点目を作ります。この2点の間に直線が入る。

歪み処理のオプション

歪みツール	カーソルを移動させて画像を歪ませます。基本的には、ピクセルを画像周辺で押ししたり引いたりして効果を適用します。
シフト	シフトツールを使うと画像にピクセルを押し込むことができます。
ピンチ	ピンチツールを使うとピクセルを中心点に向かって凝縮させることができます。
パルジ	膨張ツールを使うとピクセルを外に向かって広げることができます。
復元	復元ツールを使うと、ピクセルをブラシで元の位置に戻すことができます。
 別の歪みツールを使用している時にマウスの右ボタンを押すと、復元ツールを有効にすることができます。	
ペン先の幅	ブラシのサイズを調整します。マウスホイールを使用してブラシ幅を変更するか、ブラシ幅スライダを使用します。
密度	対象の領域のサイズを調整します。ブラシの内円の範囲内では、効果は 90% 以上で適用されます。内円と外円の間の領域では、効果は 90%~0% の範囲（外側のエッジで 0% ）で適用されます。
 Shift + マウスホイール を使用して密度を調整します。	
強度	全体的な効果の強度を設定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
塗りつぶしの色	画像を歪ませた結果縁が引き寄せられることがあります。その場合には、画像の背景に入れる色を選ぶことができます。
透過	画像を歪ませた結果縁が引き寄せられることがあります。その場合には、画像の背景に生じた隙間に対する[透過]チェックボックスを選択することができます。
リセット	現在 液化 を使用している間に描かれたすべてのブラシストロークを元に戻す。注意： 完了 をクリックして保存し、 液化 ツールを閉じた場合、ブラシ・ストロークはリセットされません。

画像の露出を調整する

[露出] ツールを使用して、画像の露出、コントラスト、ガンマを調整することができます。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像の露出を調整するには：

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[露出]** を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[露出]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 下記を参考にして、オプションを設定します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、**[適用]** をクリックします。
- 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から**[現像済みに戻す]**を選択します。

画像の露出 オプション

露出	スライダを右にドラッグすると露出が増加し、左にドラッグすると露出が減少します。
自動	[自動] ボタンをクリックして、露出レベルを自動調整します。
コントラスト	スライダを右にドラッグするとコントラストが大きくなり、左にドラッグするとコントラストが小さくなります。
フィルライト	スライダを右にドラッグすると画像の暗い領域で光の量が増え、左にドラッグすると追加される光の量が減ります。フィルライトは、画像の暗い領域を明るくするためのオプションです。
露出警告を表示する 	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。露出オーバーが赤のピクセルで露出アンダーが緑のピクセルで、表示されます。使用されていない時にはこのアイコンはグレーに、使用している時にはこのアイコンはイエローで表示されます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像のレベルを調整する

レベル ツールを使用すると、画像のコントラストや明るさのレベルを正確に調整することができます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像のレベル調整を行うには：

1. **[編集]** モードで、**[露出/ライティング]** グループから、**[レベル調整]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[レベル調整]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下のいずれかの操作を行います。

- 以下の一覧を参照にしてオプションを設定し、コントラストおよびライトのレベルを手動で調整します。
- **[自動]** をクリックしてオプションを選択し、画像のプロパティを自動調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- **[適用]**をクリックして変更を適用します。
- 変更を適用して**[レベル調整]** ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から**[現像済みに戻す]**を選択します。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。矢印上をクリックして、画像のブラックポイントの開始点に自動設定することも可能です。
中間色	画像のミッドポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに値を入力して、ミッドポイントを指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。矢印上をクリックして、画像のミッドポイントに自動設定することも可能です。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。矢印上をクリックして、画像のハイライトの開始点に自動設定することも可能です。
自動	次のいずれかのオプションを選択します。 • コントラストの調整:自動分析して、画像のコントラストを調整します。 • 色とコントラストの調整:自動分析して各カラーチャンネルを調整してから、コントラストを調整します。 • 色と明るさの調整:自動分析して、画像の色と明るさを調整します。 • トレランス:[トレランスの設定]ダイアログボックスが開かれます。ブラックとホワイトレベルの最大クリッピング率を指定し、[OK]をクリックします。ACDSee 究極は画像のレベルを自動調整します。
ブラックポイント ピッカー 	[ブラックポイント] ピッカーをクリックした後、ブラックポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ミッドポイント ピッカー 	[ミッドポイント] ピッカーをクリックした後、ミッドポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ホワイトポイント ピッカー 	[ホワイトポイント] ピッカーをクリックした後、ホワイトポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。



ピッカーのいずれかをクリックした後、画像上にマウスを移動すると、スポイトを動かすたびに RGB 値が変わるのを確認することができます。RGB 値はソース (未処理) のピクセル値と、スクリーン上でカーソルの置かれているピクセル値を表しています。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

レベルを自動調整する

【自動レベル】タブでは、画像の露出レベルを自動的に調整することができます。自動レベルは、画像で最も暗いピクセルをより暗く、最も明るいピクセルをより明るく調整します。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のレベルを自動調整するには:

1. 【編集】モードで、【露出/ライティング】グループから、**[自動レベル]** を選択します。
 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから【自動レベル】ツールにアクセスすることもできます。
2. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - **自動コントラストと自動カラー:** 色の違い、明るさ、RGB チャンネルのバランスを調整します。
 - **自動コントラスト:** 色の違いと明るさのみを自動調整します。
 - **自動カラー:** 明るさやコントラストを変更せずに、画像の RGB チャンネルのバランスを調整します。
3. **[強度]** スライダーを使って、適用する露出の量を微調整します。
4. **[露出警告を表示する]** をクリックすると、露出オーバーと露出アンダーのピクセルが表示されます。露出オーバーが赤のピクセルで露出アンダーが緑のピクセルで、表示されます。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から**[現像済みに戻す]** を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

編集モードでトーンカーブの調整

編集モードで、トーンカーブフィルターは画像の色調範囲を変更します。[トーンカーブ] ペインに埋め込まれた チャンネルフィルタリング は、画像の全範囲 (RGB) または特定の色 (赤、緑、青) のいずれかを調整します。



調整した設定を今後使えるよう プリセット として保存します。



編集モードでトーンカーブフィルターを使用して行われた変更は、ピクセルベースの編集であり、最終的な修正に推奨されません。非破壊的な変更の場合は **現像** モードで トーンカーブ ツールを使用します。

画像の明度カーブを調整するには:

1. 編集モードで、次のいずれかを実行します。
 - [フィルター] メニューペインの [露出 / ライティング] グループで、[トーンカーブ] を選択します。
 - メインメニューから [フィルタ] > [露出 / ライティング] > [トーンカーブ] の順に選ぶか、
 - **U** を押します。
2. 下記を参考にして、オプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [適用] をクリックして変更を受け入れ、引き続きツールを使います。
 - [完了] をクリックして変更を受け入れてツールを閉じるか、
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。オプションには、RGB、赤、緑、および青が含まれます。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択したチャンネルに基づいて、画像の色情報レベルのグラフィックを表示します。線をクリック&ドラッグし、曲線を作成できます。曲線上の点をクリックすると、ヒストグラムの左上隅にノード情報ボックスが表示されることにご注意ください。ノード情報ボックスには、視覚的な表現を提供するために色のブロックで設定された In および Out ピクセル値があります。ノード情報ボックスの番号は、入力値のピクセルが出力値に変更されることを示しています。たとえば、In 値が 40 で Out 値が 80 の場合、値が 40 のすべてのピクセルが 80 に変更されます。曲線をクリックすると、曲線に新しいポイントが追加されます。ポイントをカーブの上下にドラッグします。ポイントを削除するには、ノードを右クリックして [ポイントの削除] を選択します。
カラーピッカー	カーソルを画像にドラッグして、現在の位置の RGB 値を入力するカラーピッカーにカーソルを変更します。希望のトーンで画像をクリックして、対応するポイントを調整カーソルに追加します。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

ライティングを調整する

LightEQ™ ツールを使用すると、写真の他の領域に影響を与えることなく、画像内の暗すぎる領域または明るすぎる領域を調整できます。暗すぎる領域を明るくすると同時に、明るすぎる領域を暗くすることもできます。例としては、人が影になっており、背景が明るいポートレートなどがあります。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

[Light EQ™] はとても多機能なツールです。4 つのタブから選択することができ、各タブの設定によって結果が変わります。また、画像の特定領域を調整するためのキーボードとマウスのショートカットもご利用いただけます。

- **1-ステップ** タブ: 露出調整が瞬時にかつ簡単にできます。
- **基本** タブ: 3つのスライダーを使用して非常にすばやく簡単に調整できます。ACDSee 究極は写真を分析し、画像全体の調整を自動的に変更します。たとえば、暗い画像はより明るくなります。**[自動]** ボタンをクリックすると、ACDSee 究極は写真を完全に分析し、スライダーの位置を自動的に設定します。また、画像の領域を直接クリックして、その領域 (通常は写真の被写体) に最適な自動設定を生成することもできます。
- **標準** タブ: 画像のトーンバンド (相対的に明るいまたは暗い領域) ごとに該当するトーンバンドのスライダを使用して明るさとコントラストを調整します。グラフにはトーンレンジに適用された明るさまたは暗さの量が表示されます。グラフ内のグレー領域は提案された境界で、クリッピングが発生しないよう、ディテールが失われないよう表示されています。赤い領域は調整されたスライダのうち、クリッピングが発生した領域を示しています。
- **アドバンス** タブ: 画像の明るさとコントラストを完全にコントロールすることができます。スライダを使用して基本的なカーブを調整した後、グラフ内の領域または画像を直接クリック&ドラッグしてカーブを手動調整します。

Light EQ™ ツールを開くには:

[編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[Light EQ™]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[Light EQ]** ツールにアクセスすることもできます。

Light EQ™ のコントロール

スライダ上を右クリックする	スライダ上を右クリックしてリセットします。
露出警告を表示する 	[露出警告] をクリックすると、露出オーバーまたは露出アンダーのエリアがすべて見えるようになります。露出オーバーが赤のピクセルで露出アンダーが緑のピクセルで、表示されます。 E キーをホールドすることで、露出警告を一時的にオン/オフに切り替えることができます。
自動	クリックして、画像を分析させ、画像の明るさと暗さのピクセルの量を基準に最適な設定を適用します。既に明るい写真よりも暗い写真の方が、明るくなる度合いが大きくなります。
完了	変更を適用してツールを閉じるには、 [完了] をクリックします。
キャンセル	変更を適用せずにツールを閉じるには、 [キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から**[現像済みに戻す]** を選択します。

[1-ステップ] タブを使用する

Light EQ™ ツールで画像を開くと、1-ステップで画像の露出が自動で調整されます。さらに調整するときは、度合のスライダを使用して変更します。1-ステップで自動で調整された露出に戻すには、**リセット** ボタンをクリックします。

[ベーシック] タブを使用する

暗い領域に明るさを加えるには：

1. **[シャドウ]** スライダを右にドラッグし、写真の暗い領域に光を追加します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

明るすぎる領域を暗くするには：

1. **[ハイライト]** スライダを左にドラッグし、明るすぎる領域を暗くし、ディテールを戻します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

暗すぎるまたは明るすぎるミッドトーンを調整するには：

1. **[ミッドトーン]** スライダを右または左にドラッグし、ミッドトーンの明るさと暗さを調整します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

[標準] タブを使用する



「標準」タブには 2 セットのスライダがあります。上部のセットは明るさ用で、下部のセットは暗さ用です。下部のセットは暗くするためのものです。各スライダでの明暗のグラデーションはトーンバンドの変化を表しており、上部セットのスライダを上には動かすとトーンバンドが明るくなり、下部セットのスライダを下には動かすとトーンバンドが暗くなります。

2 つのセットの間には、ブラックとホワイトにグラデーションのかかった 2 つの水平軸があります。これらのバーは、左側のスライダほど、暗いトーンバンドに反映されることを示しています。右側のスライダは明るいトーンバンドに反映されます。スライダを動かして、特定トーンバンド内の明るさを変更します。

バンド間には画像のトーンレンジの明るさと暗さの量を表す 2 つのグラフがあり、スライダを調整するにつれ変化します。2 つのグレイのグラフは、クリッピングを発生させずに適用できる最大の明るさまたは暗さの量を示しています。スライダを大幅に移動すると、クリッピングが明るいピンクで表示されます。

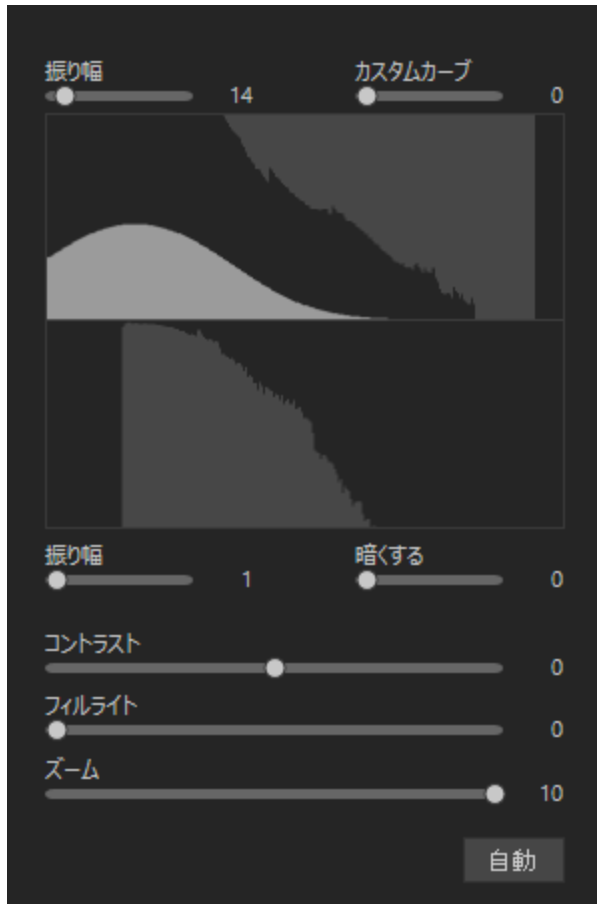
明るさを変更せずにトーンバンド内のコントラストを増やしたい場合は、同量で上部セットのトーンバンドを上、下部セットのトーンバンドを下に移動させ、明るさと暗さを同時に適用します。増加したコントラストの量が、上部グラフの上部と下部グラフの下部に表示されます。

[標準] タブを使用するには：

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 調整したいトーンバンドのスライダを上下に移動します。
 - ボックスに数値を直接入力、または数値を増分して、精確な調整を行います。
 - [トーンバンド数]のドロップダウンリストをクリックして、トーンバンドの数を選択します。
 - ⚠ をクリック、あるいは E キーを押して、露出オーバーまたはアンダーのピクセルを表示します。
 - [自動] ボタンをクリックして、設定を自動的に適用します。
 - [暗くする] スライダをドラッグして、画像の明るい領域を暗くします。
 - [コントラスト] スライダをドラッグして、画像のコントラストを増やします。
 - [フィルライト] スライダをドラッグして、コントラストを増やさずに画像の暗い領域を明るくします。

- ・ 左クリックして上に向かってドラッグすると、画像の暗い領域が明るくなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
 - ・ 右クリックして下に向かってドラッグすると、画像の明るい領域が暗くなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
 - ・ 調整したい画像の領域を選択し、左クリックして上にドラッグすると明るくなり、右クリックして下にドラッグすると暗くなります。
2. 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。変更を破棄してツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

[アドバンス] タブを使用する



スライダ

アドバンス タブには、明るくするためのスライダと暗くするためのスライダが各 2 つずつ備えられています。[明るくする]および[暗くする]の各スライダは調整カーブの形をコントロールする一方、[振り幅]スライダはカーブの高さをコントロールします。

[振り幅] スライダは明るくする、または暗くする効果の強さを増やします。

ツールの下にある[スケール]スライダは、局所的な明るさの変動に対する全体的な調整感度を調整します。スライダを左に移動すると、明るさのより細かい調整を行うことができ、一部の画像で有益となる場合があります。しかしほとんどの画像では、スライダをデフォルト位置のままにしておくことで最良の結果が得られます。

[コントラスト] スライダを調整してコントラストを増減したり、[フィルライト]スライダを使用して画像の暗い領域を明るくしたりすることもできます。

グラフ

[明るくする]と[暗くする]コントロールの間にある 2 つのグレーのグラフは、クリッピング(明るいピンクで表示されます)が発生させずに適用することができる最大の明るさまたは暗さの量を示しています。

[明るくする]、[暗くする]および[振り幅]のスライダをドラッグするにつれ、2 つの色付きのカーブが変化します。これらのカーブは、画像のトーンレンジに適用された明るさと暗さの量を示しています。暗いトーンの領域は左手に、明るいトーンの領域は右手に位置します。画像上でカーソルを移動させると、グラフの垂直線はカーソルの下にある領域のトーンレベルをそのトーンレンジ内で表示します。明るさと暗さのトーンレベルが必ずしも同じではないので、2 つの線が表示されることがあります。これは、明るくするのは色値の最大値に敏感であるのに対し、暗くするのは色値の最小値に敏感であるためです。

「アドバンス」タブは、グラフ自体、あるいは実際の画像上で、カーブを手動調整できるという点が独特です。写真に加えた調整はグラフのカーブに反映されます。グラフに加えた調整は写真に反映されます。

明るさを変更せずにトーンバンド内のコントラストを増やしたい場合は、同量で上部のカーブを上、下部のカーブを下に移動させ、明るさと暗さを同時に適用します。増加したコントラストの量が、上部グラフの上部と下部グラフの下部に表示されます。

【アドバンス】タブを使用するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - **[明るくする]**または**[暗くする]**スライダをドラッグして、明るいまたは暗いトーンバンドを調節します。スライダをドラッグすると、調整を示すグレーのカーブが表示されます。
 - 左クリックして上に向かってドラッグすると、画像の暗い領域が明るくなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
 - 右クリックして下に向かってドラッグすると、画像の明るい領域が暗くなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
 - **[スケール]**スライダを右にドラッグすると、より細かい領域での明るさの変動に敏感になります。
 - **[コントラスト]** スライダをドラッグして、画像のコントラストを増減します。
 - **[フィルライト]**スライダをドラッグして、コントラストを増やさずに画像の暗い領域に明るさを加えます。
 - 以下の表に示されたあらゆるオプションを使用して、必要な調整を行います。
2. 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。変更を破棄してツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

調整オプション - 【アドバンス】タブ

領域	操作	結果
スライダー		
	【明るくする】をドラッグ	右に移動する:暗い領域に適用される明るさの量を増やします。 左に移動する:画像のすべての領域で、明るさが一様に増加します。 (カーブを手動で変更する、あるいは画像上で調整を行うと、スライダーの名前が【カスタムカーブ】に変わります。
	【暗くする】をドラッグ	右に移動する:画像の明るい領域に適用される暗さが増加します。 左に移動する:画像のすべての領域で、暗さが一様に増加します。
	【明るくする】の【振 幅】をドラッグ	右に移動する:画像のすべての領域に適用される明るさの強度が増加します。グラフ内では、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する:明るさとカーブの高さの強度が減少します。 振 幅 スライダーが 0 の場合:明るさを一切適用しません。 振 幅 スライダーが 100～200 の場合:数字に比例して切り取られる量が増加します。 ほとんどの場合、振 幅 を調整する必要はありません。
	【暗くする】の【振 幅】をドラッグ	右に移動する:画像のすべての領域に適用される暗さの強度が増加します。下側のカーブの高さが増加します。 左に移動する:暗さとカーブの高さの強度が減少します。
	【スケール】をドラッグ	左に移動する:ツールが明るさに対して、より細かい領域を調整するように設定します。 これで、より小さな領域を個別に調整することができるようになります。通常、既定スケール値 10 で最良の結果になりますが、明るくするべき領域に詳細が含まれているような場合には、スケール値を小さくするとよりよい結果になります。
グラフ上		
	オレンジのグラフ(上部)をドラッグ	グラフ上 を左クリックして上に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している明るさを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。 グラフの高さは、各 トーンレベルに適用された明るさのレベルを表します。(トーンは左がブラックで、右に向かうほどホワイトになります。) グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」のスライダーが、自動

領域	操作	結果
		的に [カスタム カーブ] に変わります。この時点でスライダのポジションを変更すると、グラフまたは画像上で直接調整された変更はすべて破棄されますのでご注意ください。
	グラフ(下部)をドラッグ	グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」にある各「振幅」のスライダが、現在のカーブの振幅を示した値に変わります。
		グラフ上を右クリックして下に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している暗さを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。
	以下のショートカットはすべて、画像およびグラフ用に使用することができます。	以下のショートカットはすべて、画像およびグラフに使用することができます。グラフのトーンバンドを変更すると、画像にその変更が反映されるため、特定のトーンバンドを微調整する場合に便利です。
画像		
	左 マウスボタンを押した状態でダブルクリック	画像のその領域に最適な「明るくする」の値を自動設定します。顔などの明るい領域をダブルクリックすると、最良の結果になります。
	右 マウスボタンを押した状態でダブルクリック(Shift キー + 左 マウスボタンを押した状態でダブルクリック)	画像のその領域に最適な「暗くする」の値を自動設定します。
	Ctrl キー + 左 マウスボタンを押した状態でダブルクリック	現在の明度調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさを最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の領域の明るさが増加し、他のトーンレベルの明るさが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を明るくして目立たせることができます。
	Ctrl キー + 右 マウスボタンを押した状態でダブルクリック	現在の暗化調整曲線を編集して、クリックしたトーンレベルの周辺の領域の暗化を最適化します。ほとんどの場合、こうすることでクリックしたトーンレベルの周辺の領域の暗さが増加し、他のトーンレベルの暗さが減少します。 この方法を使用すると、特定の被写体または領域を暗くして目立たなくすることができます。
	画像上でマウス ホイールをスクロールアップまたはダウンします。	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。
	キー + 画像上をマウス ホイールでスクロール	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。
	[A] キーを長押し + スクロールする、あるいは + 左 マウス ボタンを押した状態でドラッグ	[明るくする] の [振幅] スライダを直接設定します。

領域	操作	結果
	A + Shift キーを押しながら スクロールする、あるいは 右 マウス ボタンを押した状態でドラッグ	[暗くする] の [振 幅] スライダーを直接設定します。
	左 マウスボタンを押した状態で画像を上下に クリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
	キー + 左 マウスボタンを押した状態で画像を上下 に クリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

霞みを除去する

かすみ除去 ツールを使用して、画像にコントラスト、ディテール、消えた色を復元することができます。このツールは特に、かすみ越しに記録された画像に対して使うと便利です。かすみは、埃や煙などの粒子が画像、特に空の明瞭度を奪うことで発生します。

画像のかすみを除去するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[かすみ除去]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[かすみ除去]** ツールにアクセスすることもできます。

2. [量] スライダーをドラッグして補正の強度を調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

覆い焼き・焼きこみ

選択した領域の明るさや彩度を調整して写真品質を向上させることができます。覆い焼き、焼きこみ、飽和、不飽和の 4 種類が用意されています。

覆い焼きと焼きこみツールを使用すると、写真の一部を明るくしたり暗くしたりすることができます。その部分には影響を与えません。このツールは、露出不足の部分明るく、露出過多の部分暗くする場合にしばしば使用されます。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像の一部に覆い焼き、焼きこみを適用する

写真の一部を明るく暗くするには:

1. **[編集]** モードで、**[露出/ライティング]** グループから、一部を明るくするには **[覆い焼き]** ツールを、暗くするには **[焼きこみ]** ツールを選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[覆い焼きと焼きこみ]** ツールにアクセスすることもできます。

2. **[ツールの設定]** で次のいずれかを選択します:**シャドウ、中間調、ハイライト**。
3. **範囲** スライダーを調整してシャドウまたはハイライトの対象領域を微調整します。範囲を増やすと対象となる色域を広げ、減らすと範囲を狭めます。
4. **[ブラシの設定]** で次の設定を行います:
 - **[ペン先の幅]** スライダーでブラシのサイズを選択します。
 - **[フェザリング]** スライダーでストロークのエッジをソフトにします。
 - **[強度]** スライダーでストロークの強度を調整します。
5. 画像の明るくしたい、暗くしたい領域をドラッグします。
6. **[完了]** をクリックします。



範囲 スライダーを調整すると、ブラシの影響を受ける領域がプレビューでグレースケール画像として表示されます。プレビュー画像でピクセルが明るいほど、ブラシストロークの影響を受けます。白い領域は強く影響を受け、黒い領域は影響を受けません。覆い焼き、焼きこみの効果を適用したい部分が白く、そうでない部分が黒くなるように**範囲** スライダーを動かしてください。



Shift キーを押しながらスクロールすると**フェザリング**を調整できます。

写真の彩度を上げる、下げるには:

1. 色の**彩度** を上げるには **[飽和]** ツールを、彩度を下げるには **[不飽和]** ツールを選択します。
2. **[ツールの設定]** で次のいずれかを選択します:
 1. **[標準]** を選択すると、写真のすべての領域を対象とします。
 1. **[自然な彩度]** を選択すると、彩度の低い色を対象とし、肌の彩度が極端に上がることはありません。
3. **[ブラシの設定]** で次の設定を行います:
 - **[ペン先の幅]** スライダーでブラシのサイズを選択します。
 - **[フェザリング]** スライダーでストロークのエッジをソフトにします。

- **[強度]** スライダーでストロークの強度を調整します。

4. 画像の明るくしたい、暗くしたい領域をドラッグします。

5. **[完了]**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ホワイトバランスを調整する

「ホワイトバランス」グループを使用して、画像から不必要なカラーキャストを削除することができます。例えば、夕焼けを撮影した写真に赤み(またはレッドカラーキャスト)がかかっている場合、**[ホワイトバランス]** ツールを設定して、赤みを取り除くことができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のホワイトバランスを調整するには:

1. 編集モードで**[カラー]**グループから**[ホワイト バランス]**をクリックします。



[ホワイトバランス] グループで、以下のいずれかを実行します:

2. 画像のグレーのピクセルをマウスで選択してホワイトバランスを自動調整します。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。

3. **[色温度]** スライダーを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、特定の色温度を指定します。

4. **[ティント]** スライダーを左にドラッグ(マゼンタの増加)、または右にドラッグ(グリーン増加)して、画像撮影時に使用したホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。

5. ホワイトバランス調整の強度を指定するには、**[強度]** スライダーを動かします。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。

6. **[完了]**をクリックして変更を保存するか、**[キャンセル]**をクリックして変更を破棄しツールを終了します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



あなたの画像上に白バランスマスクを作成するために、**中性ピクセルの強調表示** オプションを選択できます。白いピクセルは低色彩飽和度を表し、暗いピクセルは高色彩飽和度を表します。



希望する効果が得られない場合には、画像上にある別の色合いの白またはグレーをクリックして試してください。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から **[現像済みに戻す]** を選択します。



[グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

カラーEQで色を調整する

編集モードで、[カラーEQ] ツールを使用して、画像全体の色または個別の色を調整することができます。アドバンス カラー ツールは微調整やカラーの強調を行うために、あるいは画像に見られる各カラーを大幅に変更するために使用します。

カラーEQは画像内の単一の色を変更するのに便利です。黄色い車の画像では、[彩度] タブを使って黄色の色味を強調したり、[明るさ] タブを使って黄色の色味を明るくすることができます。[色相] タブでは、黄色い車をピンクに変更することができます。[コントラスト] タブでは、黄色のコントラストを調整し、[バランス] スライダーを使用して、コントラスト調整の対象となる明るさの範囲を指定できます。

次に、グローバル調整を使用して、画像の色のバランスをとるために変更を加えることができます。鮮やかさは色の鮮やかさを調整し、彩度は色の強さに影響し、カラーシフトは明るさに影響を与えずに色相を調整し、色相は色を変更し、明るさは画像全体の明るさに影響します。赤、緑、青のスライダーを使用して色を調整し、これらの色のバランスを増減することもできます。

 使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

 黄色い車と背景に黄色の建物がある画像では、[選択範囲] ツールを使って黄色い車の色だけを変更することが可能です。[選択範囲] ツールで車を選択してから、色を調整します。

カラーを調整するには：

1. [編集] モードで、[カラー] グループから、[カラーEQ] を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [カラーEQ] ツールにアクセスすることもできます。

2. ColorEQ内のタブのいずれか、またはグローバル調整セクションのスライダーのいずれかを選択し、以下の表で説明されているオプションに従ってそれらを調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います。

- [適用] をクリックして変更を適用します。
- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

 変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

 編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

 [グラデーション] ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 [放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

[カラーEQ] ペインの上部で、[高品質] または [標準] を選択します。画像の色を個別に調整します。高品質は、より新しく、より現代的なカラーモデルを使用しており、視覚的に知覚できる高品質の調整を可能にします。標準は以前に現像された画像をサポートし、色を個別に調整したり、グローバルに調整したりすることができます。

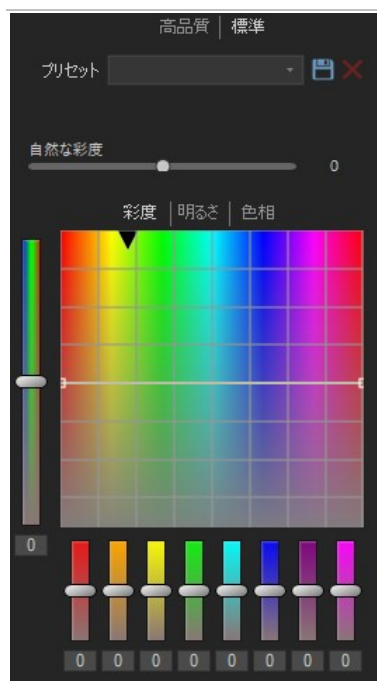
カラーEQオプション-高品質。

	プリセット [プリセット] ドロップダウンメニューでは、既存のプリセットから選択するか、保存アイコンを使用して現在の編集をプリセットとして保存できます。
	カラーEQ 彩度、明るさ、色相のスライダー スライダーを右にドラッグして強度を上げるか、左にドラッグして強度を下げることで、各色を個別に調整します。正確に調整するために、フィールドに数値を入力することもできます。 または画像上にカーソルを移動させて、双方向矢印アイコンが表示されると、調整する色を正確に選択することができます。そして、クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンの下の色を調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色のスライダーが自動調整されるのを確認します。 スライダーには次の効果があります： • 彩度：左にスライドして彩度を下げ、右にスライドして彩度を上げます。 • 明るさ：画像の明るさを調整します。 • 色相：画像の色相を調整します。
	コントラストスライダー スライダーを右にドラッグして強度を上げるか、左にドラッグして強度を下げることで、各色を個別に調整します。正確に調整するために、フィールドに数値を入力することもできます。 または画像上にカーソルを移動させて、双方向矢印アイコンが表示されると、調整する色を正確に選択することができます。そして、クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンの下の色を調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色のスライダーが自動調整されるのを確認します。 [コントラスト] タブで、コントラストを調整したら、コントラストバランスを調整できます。これにより、画像の明るい色と暗い色のどちらにコントラストを適用するかが変わります。
グローバル調整	鮮やかさ、彩度、カラーシフト、色相、明度のスライダー スライダーをドラッグして、グローバルに調整します。これらには次の効果があります： • 鮮やかさ：肌の色に影響を与えずに画像の鮮やかさを調整します。 • 彩度：左にスライドして彩度を下げ、右にスライドして彩度を上げます。 • カラーシフト：明るさに影響を与えずに色相を調整します。

- **色相:** 画像の色相を調整します。
- **明るさ:** 画像の明るさを調整します。

赤、緑、青のスライダー スライダーをドラッグして、画像の赤、緑、青のチャンネルをグローバルに調整します。

カラーEQオプション-標準。



プリセット

[プリセット] ドロップダウンメニューでは、既存のプリセットから選択するか、保存アイコンを使用して現在の編集をプリセットとして保存できます。

バイバランス

スライダーをドラッグして、スキントーンを変えずに画像のバイバランスを調整できます。

縦のスライダー

垂直スライダーは、画像全体に調整を適用します。タブに次のような効果があります:

- **彩度:** 彩度をグレースケールから高彩度に調整します。
- **明るさ:** 画像の明るさを調整します。
- **色相:** 画像の色相を調整します。

各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

画像を直接調整する

画像の上にカーソルを置いて、双方向矢印のアイコンが表示されるまで待ちます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、カーブと対応するカラーのスライダーが自動調整されるのを確認します。グラフのホワイトカーブの下にブラックカーブが表示されます。

このブラックカーブは、画像で調整されているカラーを示します。このブラックカーブは、グラフ内で直接ドラッグすることはできませんのでご注意ください。より大幅な調整を行うには、ホワイトカーブを直接変更します。ホワイトカーブを調整すると、ブラックカーブもそれと一緒に変更されます。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

各カラー スライダー

スライダーを動かして各カラーを調整します。調整したいカラーを選択し、そのスライダーをクリック & ドラッグします。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。



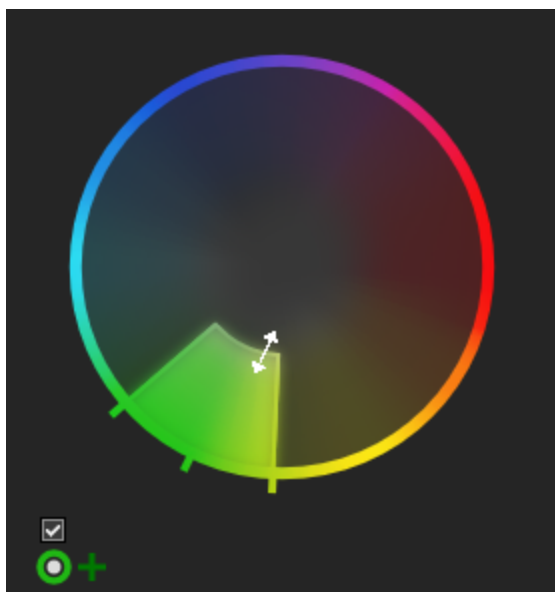
スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

カラーホイールで色を調整する

現像および編集モードでは、カラーホイールを使用して画像の正確な色を調整できます。これにより、正確な色の彩度、色相、明るさ、コントラスト、およびコントラストバランスを変更できます。滑らかさを調整することもでき、色のエッジを柔らかくするフェザリングツールのように機能します。カラーホイールは、青い空をより青くしたり、湖の色を明るくしたい場合に暗い水の色を明るくするなどのよくある操作に役立ちます。

カラーホイールを使用して色を調整するには:

- 次のいずれかのオプションを使用して、カラーホイールを開きます。
 - 現像モード**で、[現像ツール]ペインの[調整]タブから[カラーホイール]を選択します。
 注：カラーホイールを現像モードで使用するには、カラーEQを高品質に設定する必要があります。これを確実にするため、Color EQを開き、ドロップダウンメニューから高品質を選択します。
 - 編集モード**で、[フィルター]メニューの[色]オプションから[カラーホイール]を選択します。
- カラーホイールのセクションをクリックアンドドラッグ、または画像でスポイトを使って編集する色を選択します。画像でスポイトを動かすと、色相インジケータの点が表示され、ホイール上どの色でホバーしているかを示します。
- 選択を絞り込みます。ホイールで選択した色の端の二重矢印をクリックアンドドラッグして色のサイズを増減します。また、彩度を調整するには、ホイールの端またはホイールの中心から選択した色をクリックアンドドラッグして離すと、選択した色の彩度を調整できます。ホイールの中心は彩度の低い色、ホイールの端に向かうと彩度が高くなります。



選択範囲の色を反転するには、[選択範囲を反転]ボタンをクリックします。



カラーホイールで行った選択を表示するには、[選択マスクのプレビュー]ボタンをクリックして押したままにします。



- 滑らかさスライダーを使用して、選択範囲のエッジを調整します。このツールは、選択範囲のエッジを柔らかくまたはシャープにし、フェザリングと同様に機能して、カットオフポイントを柔らかくまたはシャープにします。
- スライダーを使用して、画像で選択した色を調整します。個々のスライダーには次の効果があります。
 - 彩度**: 左にスライドして彩度を下げ、右にスライドして彩度を上げます。
 - 色相**: 左または右にスライドして色相を調整します。
 - 明るさ**: 左にスライドして明るさを下げ、右にスライドして明るさを上げます。
 - コントラスト**: 左にスライドしてコントラストを下げ、右にスライドしてコントラストを上げます。

- **コントラストバランス:** コントラストを調整したら、コントラストバランスを調整できます。これにより、画像の明るい色と暗い色のどちらにコントラストを適用するかが変わります。



編集なしで画像がどのように見えるかを確認するには、編集モードで**[前を表示]**ボタンを押すか、現像モードで**[オリジナルを表示]**を押します。



変更をリセットするには、関連するスライダーまたはホイールのいずれかを右クリックして、すべての変更をリセットします。

6. **[完了]**を押して変更を保存し、カラーホイールを終了します。

カラーホイールを使用して複数の色を調整するには:

最初のカラーホイールの編集を行ったら、追加のカラーホイールを使用して他の色に変更を加えることができます。

カラーホイールを追加するには、カラーホイールアイコンの横にあるプラス記号をクリックします。+

カラーホイールを使用して行った編集を削除するには:

現像モードで画像を新しいファイルとして保存するまで、または編集モードで**[適用]**または**[完了]**を押すまで、カラーホイールの編集を削除できます。

これを行うには、カラーホイール編集リストの横にある十字記号をクリックします。✕

ピクセルターゲティングのカラーホイール

開発モードのピクセルターゲティングツールと編集モードのピクセルターゲティングツールはどちらもフィルターと組み合わせて使用されるカラーホイールを備えており、ピクセルターゲティングでピクセルの色に基づいて選択を行うことができます。

関連トピック:

- ✚ [トーンカーブを調整する](#)
- ✚ [トーンホイールで色調を調整する](#)
- ✚ [カラーEQで色を調整する](#)

トーンホイールで色調を調整する

すべての画像の色は、ハイライト、ミッドトーン、シャドウに分割されます。現像および編集モードでトーンホイールを使用して、画像の特定のトーンに色合いを追加できます。各トーンホイールには2つの湾曲したスライダーがあります。左側の湾曲したスライダーは彩度スライダー、右側のスライダーは明るさスライダーです。トーンホイールを使用すると、色相を正確に特定して調整できます。

トーンホイールを使用して色を調整するには:

1. 次のいずれかのオプションを使用して、トーンホイールを開きます。
 - **現像モード**で、**[開発ツール]**ペインの**[調整]**タブから**[トーンホイール]**を選択します。
注: トーンホイールを現像モードで使用するには、**カラーEQ**を高品質に設定する必要があります。これを確実にするには、**Color EQ**を開き、ドロップダウンメニューから高品質を選択します。
 - **編集モード**で、**[フィルター]**メニューの**[色]**オプションから**[トーンホイール]**を選択します。
2. トーンホイール内のターゲットポイントをクリックおよびドラッグ、または画像自体の関連するスポイトを使用して編集する色相を選択します。画像周囲でスポイトを移動する際に、ホイール上でどの色をホバーしているかを示す、色相インジケーターと言われる点が見えます。トーンホイールには3つのスポイトが関連します。ホイールの端、または中心から選択をクリックおよびドラッグして、選択した色の彩度を調整できます。彩度の低い色はホイールの中心に、彩度の高い色はホイールの端にあります。



 ターゲットポイントをホイールの外側に移動すると彩度が上がり、ホイールの内側に移動すると彩度が下がります。

3. 色相を選択した状態で、選択したトーンの色度や明るさを上げます。
4. [完了]を押して、カラーホイールを終了します。

 変更をリセットするには、関連するスライダーまたはホイールのいずれかを右クリックして、すべての変更をリセットします。

関連トピック:

- ⇒ [トーンカーブを調整する](#)
- ⇒ [カラーホイールで色を調整する](#)
- ⇒ [カラーEQで色を調整する](#)

フィルタ内のチャネルフィルタリング

フィルタ内のチャネルフィルタリングを使って画像の色調整を想像的に行えば、高品質のグレースケール、セピアトーン、その他の色付きの画像を作成できます。チャネルフィルタリングは、画像内の既存のカラーチャネルを混合することにより、ターゲットのカラーチャネルを変更します。カラーチャネルは、チャンネルタイプ(RGBまたはCMYK)のカラーコンポーネントを表すグレースケール画像に見られる色調値で構成されます。チャネルフィルターを適用すると、グレースケールデータが選択されたチャネルに追加または削除されます。チャネルフィルタリングは、[チャンネル選択](#)のように、特定のチャネルに色を追加または削除しません。

高品質のチャネルフィルター画像を作成するには、次のフィルターで使用可能な[[チャンネルに適用](#)]ドロップダウンメニューから選択します。

- [スキントーン](#)
- [色収差](#)
- [ヴィネット](#)
- [特殊効果](#)
- [グレイ](#)
- [露出](#)
- [レベル](#)
- [自動レベル](#)
- [トーンカーブ](#)
- [ライト^{EQ™}](#)

- [かすみの除去](#)
- [ホワイトバランス](#)
- [トーンホイール](#)
- [シャープネス](#)
- [ぼかし](#)
- [ノイズ](#)
- [明瞭度](#)

ドロップダウンメニューの[**チャンネルに適用**]で使用できるオプションは、デフォルトで[RGB(通常)]に設定されています。これは、RGBチャンネルタイプの通常のチャンネル選択です。[**チャンネルに適用**]ドロップダウンで使用できるその他のチャンネルは次のとおりです。

- 赤
- 緑色
- 青、そして
- 色相
- 彩度
- 輝度。

フィルタ内のカラーフィルタリングを使用して画像を調整するには:

1. **編集** モードで、次のいずれかを実行します。
 - [フィルター] メインメニューの見出しから上記の**フィルター**のいずれかを選択するか、
 - [フィルターメニュー] ペインから上記のフィルターのいずれかを選択します。
2. 選択したフィルター専用のペインで、[**チャンネルに適用**]ドロップダウンリストから選択します。
3. 選択したフィルターを使用して、選択したチャンネルを調整します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [**適用**]をクリックして変更を受け入れ、引き続きツールを使います。
 - [**完了**]をクリックして変更を受け入れてツールを閉じるか、
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[**キャンセル**]をクリックします。

グレースケール画像を作成する

レッド、グリーン、ブルーの各チャンネル、および全体の輝度を調整して、リッチなグレースケールの画像を作成することができます。[モノクロ変換]ツールを使用すると、写真のさまざまな領域やアスペクトを強調したり、ムードやトーンを変更したりすることができます。

各スライドの上にマウスを移動すると、小さなプレビューウィンドウに効果が表示されて、チャンネルごとに画像のどの部分が変化するのがわかります。画像における各スライドの効果を確認するために便利です。



使用した設定は、後で利用するための[プリセット](#)として保存することもできます。

グレースケールの画像を作成するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから[**モノクロに変換**]を選択します。
 -  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[モノクロに変換]ツールにアクセスすることもできます。
2. 下の表で解説されているように設定を調整します。
3. [**完了**]をクリックして変更を保存するか、[**キャンセル**]をクリックして変更を破棄し、フィルタメニューに戻ります。

グレースケールオプション

明るさタブ:

[明るさ]タブで、次のいずれかを実行します。

- 個々のカラー-sliderをドラッグするか、画像(以前に色が発生した場所)を左クリックして上下にドラッグして特定のトーンの明るさを変更します。たとえば、空色の領域にカーソルをドラッグして、ブルーの明るさを変更します。
- [レッドのパーセント] スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにレッドが多いほど、レッドスライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるレッドの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- [グリーンのパーセント] スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにグリーンが多いほど、グリーンスライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるグリーンの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- [ブルーのパーセント] スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるブルーの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- [輝度のパーセント] スライダーを左または右にドラッグすると、画像全体が明るくまたは暗くなります。



スライダーを右クリックすると値をゼロに戻します。

コントラストタブ:

個々の色のコントラストを増減できます。さらに、コントラスト調整の対象となる個々の色の明るさの範囲を指定できます。

[コントラスト]タブで、次のいずれかを行います。

強度: 特定の色調でコントラストを調整するには、個々の色スライダーをドラッグするか、画像(以前に色が発生した場所)を左クリックして上下にドラッグします。

バランス: コントラスト調整の対象となる明るさの範囲を設定するには、スライダーを調整して、ハイライトまたはシャドウからディテールを引き出します。中間色調からディテールを引き出すには、[バランス]スライダーを0のままにしておきます。



Shiftキーを押しながら画像をクリックしてドラッグすると、その色が対応しているバランススライダーが対象になります。



スライダーを右クリックすると値をゼロに戻します。

[白黒に変換]パネルの下部で、度合いスライダーおよび色相スライダーを使用して画像に色を追加できます。色相スライダーを使用して色を選択します。追加される色の彩度は、オリジナル画像に存在していた色/彩度の量と度合いスライダーの設定を基本にします。

**編集ブラシ**

を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

**[グラデーション]**

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションさせることができます。

**[放射状グラデーション]**

ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット]をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル]から[現像済みに戻す]を選択します。

スプリットトーンを調整する

スプリットトーンはフィルム写真に元からある技術で、ハイライトとシャドウに薄い色をつけます。

【スプリットトーン】ツールは、ハイライトとシャドウの色相と彩度を調整して創造的な作品を可能にします。スライダーを使用してハイライトとシャドウの色相、彩度を調整します。スプリットトーンは ACDSee での RAW 現像や非破壊編集に創造的な要素を追加します。



設定した内容は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ハイライトとシャドウを調整するには:

1. **【編集】** モードの **【カラー】** グループで **【スプリットトーン】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから【スプリットトーン】ツールにアクセスすることもできます。

2. スライダーをドラッグして、下表で説明されているハイライトおよびシャドウの調整を行います。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

調整オプション

ハイライト	
色相	スライダを右にドラッグしてハイライトする色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のハイライト部分の指定色の彩度を上げます。
シャドウ	
色相	スライダを右にドラッグしてシャドウの色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のシャドウ部分の指定色の彩度を上げます。
バランス	スライダを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。例えば、スライダが最大値の50に設定されている場合は、ハイライト色は最大限に強調され、スライダのが最小値の-50に設定されている場合は、シャドウ色が最大限に強調されます。



セピアトーン効果を出すには、まず【アドバンスカラー】ツールで写真の彩度を落とした後、【スプリットトーン】ツールで赤茶の色相を適用します。わずかに色づけした白黒写真を作成することもできます。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

LUT を使用してカラーグレーディング

「カラーLUT」とは【カラー ルックアップ テーブル】の略です。カラーLUTとは、特定のRGB値を他の特定のカラー値にマッピングするよう ACDSee または関連プログラムに指示するリストです。LUTをインポートして、ACDSeeでフィルタとして使用できます。LUTは、他の編集

モードで使用するフィルタと同じ方法で適用できます。調整レイヤーから、独自のLUTを作成することもできます。カラーLUTに対応しているファイルの種類は.3DLとCUBEです。



カラーLUTは、調整レイヤーとして適用することもできます。

画像にカラー LUT を適用するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから[カラーLUT] を選択します。
2. カラーLUT パネル上で、次のいずれかを実行します。
 - リストからLUTを選択します。LUTがすぐに適用されます。
 - [LUTをインポート] ボタンを押します。[開く]ダイアログで、LUTファイルの場所を参照して[開く]を押します。LUTがすぐに適用されます。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



インポートしたLUTファイルの場所が変更された場合、カラーLUTパネル上でファイルを再ロードする必要があります。



編集ブラシ  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。



[グラデーション] ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

カラー LUT のリストを更新するには:

使用可能なLUTのリストを更新すると、移動または削除されたファイルを見つけることができます。利用できないLUTは、フォントの色が暗くなっています。

[カラーLUT] パネル上で、[リストの更新] ボタンを押します。

カラーLUTは、以下の手順で削除します:

1. [カラーLUT] パネル上で、[LUTの削除] ボタンを押します。
2. [LUT の削除]ダイアログで、削除したい LUT の隣のチェックボックスをオンにします。
3. [LUT の削除]を押します。

カラーLUTを作成する

カラーLUTは以下の手順で作成します:

調整レイヤーを使用して、独自のLUTを作成できます。調整レイヤートピックでどのようなかご覧ください。複数の調整レイヤーを追加し設定することで、お好みのLUTを実現できます。以下に挙げる調整レイヤーを使用してLUTを作成できます: 露出、レベル、カーブ、Light EQ™、ホワイトバランス、変化、カラーEQ、RGB、スプリットトーン、カラーの追加、白黒、ネガ、フォトエフェクト、グラデーションマップ、ボスタライズ、しきい値、カラーLUT。



通常のレイヤーからはLUTを作成できません。



作成されたLUTは、マスクを考慮しません。

1. 編集モードで画像を開いた状態で、1つ以上の調整レイヤーを追加し、必要に応じてレイヤーを設定します。
2. [ツール]>[**LUTを作成**]を選択します。
3. [LUTの作成]ダイアログで、下記の表の説明に従って設定します。
4. [保存]ボタンを押します。
5. 自分のLUTに名前を入力し、[保存]を押します。自分のLUTは、[カラー]グループの[カラーLUT]フィルタのリスト、[\[カラーLUT\]調整レイヤー](#)のドロップダウンリスト、および[現像]モードの[調整]タブの[\[カラーLUT\]グループ](#)に、すぐに追加されます。

LUTのオプションを作成する

説明	(オプション)自分のLUTに関する説明を入力します。自分のLUTを他者と共有するのであれば、この説明が非常に役立ちます。
著作権	(オプション)自分のLUTに関する著作権を入力します。自分のLUTを他者と共有するのであれば、この説明が非常に役立ちます。
フォーマット	自分のLUTのファイル形式に、3DLまたはCUBEを選択します。
画質	自分のLUTの品質を選択します。品質を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなります。

ヒストグラムを使用する

ヒストグラムは、画像内の各カラーチャネルの色強度の分布を表すグラフです。

ヒストグラム ペインを使用するには:

1. [表示]または[編集]モードで、[ペイン] から[ヒストグラム]をクリックします。
2. ヒストグラムで、次のチェックボックスをオンまたはオフにします。
 - **R:** レッドチャンネルを表示または非表示にします。
 - **G:** グリーンチャンネルを表示または非表示にします。
 - **B:** ブルーチャンネルを表示または非表示にします。
 - **L:** 画像の明るさを表示または非表示にします。

色の設定 ダイアログボックスを使用する

[編集] モードで色を選択または適用する場合、さまざまな場所に[色] ダイアログボックスが表示されます。「色の設定」ダイアログボックスを使用して、様々な方法でカラーを選択したり、異なる編集ツールでカラーを調整したりします。



標準 タブ

最初のタブの下部にはグレー、黒、白を含む基本色がハチの巣状に表示されていて、ここから色を選択できます。その下にはカスタムまたはお気に入りの色がグリッド状に表示されます。色を選択してグリッドのボックスを右クリックすることで、その色を適用することができます。カスタム色を作成するには [カスタム] タブをクリックします。

カスタム タブ

第 2 のタブにはカラーパレットが表示されています。右端にあるカラー滑り台を使用してカラーグループに移動し、スペクトルの任意の色またはすべての色を利用することができます。パレットの色を選択してグリッドのボックスを右クリックすれば、カスタムカラーに色が追加されます。

カラーを選択する/調整する

色を選択するには、カスタムカラーのグリッドで四角をクリックするか、カラーパレットをクリックします。カラーパレット上ではドラッグすることも可能です。色をクリックすると [新規] ボックスにその色が表示され、すべての数値（色相、彩度、明度、RGB 値）が [カスタム] タブの各フィールドに表示されます。

色相、彩度、明度の値を変更して色を調整することもできます。厳密に色を選択したい場合には、その色の値を入力します。色の調整は RGB それぞれの値を使用しても可能です。

画像をシャープにする

[シャープネス] ツールを使用して、画像のミディアムおよびハイ コントラスト エッジを強調 することで、画像をシャープにすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用 することができます。

シャープネス ツールを使用して画像をシャープにするには:

1. [編集] モードの [ディテール] グループで、[シャープネス] をクリックします。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [シャープネス] ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下に解説されているように、スライダをドラッグして画像を調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

シャープネス オプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が粗くなり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細くなります。
マスク	エッジに対象を絞ることで、ノイズやテクスチャのシャープネスを抑えることができるようになります。マスクの適用領域を表示するには、マスキングスライダーを動かしながら、 Alt キーを押します。シャープネスの効果が出る領域が白く表示されます。
ディテール	強度を減らすことにより光輪 (極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の境界線) を抑えます。値が大きいほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズを増やすことになります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用 することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



[放射状グラデーション]



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用 できます。

画像をぼかす

ぼかしツールを使用すると画像にさまざまな種類のぼかし効果を適用することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像をぼかすには：

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、[ぼかし] をクリックします。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ぼかし] ツールにアクセスすることもできます。

2. [ぼかしの種類] セクションで、適用するぼかしの種類を選択します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用して [ぼかし] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

ぼかしの種類

ガウシアン



画像全体を均等にスムーズにぼかします。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

リニア



画像に動きをつけてぼかします。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

角度

ぼかしエフェクトが適用される方向を指定します。

放射状



画像の中心を基点にして円状にぼかします。画像をクリックしてぼかしの中心を設定します。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

時計回り

時計回りにぼかします。

反時計回り

反時計回りにぼかします。

左右の位置

水平軸にぼかしの中心を指定します。

上下の位置

垂直軸にぼかしの中心を指定します。

スプレッド



画像全体を曇ガラスのようにぼかします。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

ズーム



画像の中心から外に向かって、または外から画像の中心に向かってぼかします。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

ズーム イン

画像の中心に向かってぼかします。

ズームアウト

画像の中心から外に向かってぼかします。

左右の位置

水平軸にぼかしの中心を指定します。

上下の位置

垂直軸にぼかしの中心を指定します。

スマートぼかし



エッジを検出して無効化することでぼかし効果を生み、しきい値の設定に基づいてディテールを保持します。この効果は通常肌を滑らかにするために使用します。

度合い

ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

しきい値

ぼかしを適用する境界を指定します。

レンズ

カメラの絞りのぼかし効果に似たぼかしを生成します。

ぼかしパネルのオプションからぼけの形状を選択します。この形状はハイライト部分で効果が強まります。

度合い

ぼかしの強度を指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。

ぼけ頻度

ぼかしの形状が現れる頻度を指定します。

ぼけ明度

ぼかしの形状がどれだけ強く現れるかを指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

**編集ブラシ**

を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

**【グラデーション】**

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

**【放射状グラデーション】**

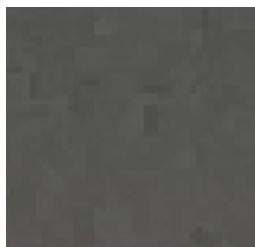
ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ノイズとノイズ除去について

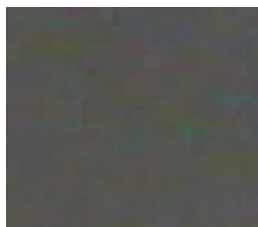
ノイズとは、例えば夜空のように無地であるべき場所に、黒、白、あるいは色のついたピクセルがランダムに発生することを指します。デジタル画像では、ノイズは通常暗い部分によく見られます。

ノイズが発生する原因を幾つか挙げてみましょう。ISO 設定が例えば ISO 800 など高い値に設定されている場合、あるいは露出時間を長くした場合。(暗い明かりの元で撮影しようとする場合、ISO 設定を高く、露出時間を長く設定するのが通常です。) しかしながら、デジタルカメラのセンサー内にあるピクセルの残骸が原因にもなります。似たような状況では、カメラのレンズやスキャナベッドについたほこりが光を遮断あるいは反射することでも引き起こされます。

画像には一般に 2 種類のノイズが含まれています: ルミナンスとカラーです。ルミナンスノイズは、特にグレーなど無地の領域に見られる明るさの違いによるノイズで



カラーノイズは、カラーの違いによってランダムに発生するノイズです。



ノイズは目障りな現象なため、ノイズを除去しようとするのがカメラマンの常です。しかしながら、ノイズを気にしすぎるとシャープネスが失われてしまいます。[ノイズ除去] ツールを使用して、ルミナンスとカラーの両方のノイズを削除することができます。

レガシーバージョンからノイズリダクションを適用してACDSee 究極に画像を読み込む

もしACDSee 写真館がACDSee 写真館 2021以前に作成された **.acdc** ファイルを読み込んだ場合、デノイズ調整レイヤーはレガシー設定で追加され、レガシーアルゴリズムが実行されます。読み込みは画像を変更しません。新しいスライダーは読み込まれますが、レガシースライダーのみが有効(**輝度と色**)になり、新しいスライダーは無効になります。レガシースライダーを動かすと、新しいアルゴリズムが実行され、新しいスライダーが有効になります。その後、追加のスライダーを使用して画像を再調整することができます。

現在のバージョンで作成されたデノイズ調整レイヤーを含む **.acdc** ファイルは、ACDSee 写真館 2021以前では読み込めません。

ノイズを除去する

[ノイズ除去] ツールを使用して、画像のディテールを保持しながら画像からノイズを除去することができます。



CCD アレイセンサーが機能していない時のデジタルカメラ、あるいはほこりの付いたスキャナやカメラレンズで撮影された画像の強烈に明るいピクセルを削除するのに、ノイズ除去ツールを使います。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像からノイズを除去するには:

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、[ノイズ] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ノイズ] ツールにアクセスすることもできます。

2. [ノイズの削除] タブを選択します。
3. [ノイズ タイプ] セクションからオプションを選択します。
4. 下記を参考にして、オプションを設定します。



画像上の効果のプレビューを見るには、**Alt** キーを押したままスライダを動かします。

5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 変更を適用して [ノイズ] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から[現像済みに戻す] を選択します。

ノイズ除去 オプション

チャンネルに適用:

画像内の既存のカラーチャンネルを混合して、ターゲットのカラーチャンネルを変更します。

ノイズ タイプ

カメラノイズ
の除去

デジタルカメラのノイズを削除します。より細かくノイズを削除するために設定された、以下のスライダを使用して調整します。

輝
度

明るさに見られるノイズをランダムに除去します。

強
度

[明るさ] スライダの強度をコントロールします。

カ
ラ
ー
ノ
イ
ズ
の
低
減

スライダを右にドラッグして、画像のカラーノイズを除去します。**Alt**キーを押しながらスライダをドラッグすると、画像に残っているカラーノイズを確認できます。

色
調
範
囲

色調範囲とは、画像の平均輝度値の範囲を指します。たとえば、暗い洞窟で撮影された写真の色調範囲は低くなりますが、晴れた空は高くなります。

[色調範囲]スライダーの値は、左から右に向かって増加し、左側の低い色調範囲から右側の高い色調範囲に増加します。[色調範囲]スライダーは、対応する色調範囲を持つ画像の領域にノイズリダクションの焦点を合わせるために使用されます。たとえば、一番左の位置は、空よりも洞窟のノイズを減らします。

色調範囲は、輝度ノイズリダクションにのみ影響します。

周
波
数
範
囲

周波数範囲スライダーは、ノイズパターンを調整します。高周波ノイズは細かい静的ノイズのように見えますが、低周波ノイズは粗い粒子または「斑点」のように見えます。周波数範囲スライダーを左に動かして、ノイズリダクションを高周波ノイズに制限します。

周波数範囲は、輝度とカラーノイズの両方の低減に影響します。

メジアンノ
イズの除去

エッジを保持しながら、黒や白い点が散らばったノイズを低減します。ノイズをさらに除去するには、次のオプションから選択します。

正
方
形

正方形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。

X

X 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用します。

+

十形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使用します。



ノイズ除去 ノイズを除去します。



AIデノイズ AIを使用してノイズを除去します。

強度

AIデノイズ ツールの強度をコントロールします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】 ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】 ツール を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ノイズを追加する

[ノイズ追加] ツールを使用して、画像に粒状のテクスチャを追加することができます。少量のノイズを加えると、オリジナル画像に見られるかすかな欠点が目立たなくなります。



使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像にノイズを追加するには：

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、[ノイズ] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ノイズ] ツールにアクセスすることもできます。

2. [ノイズの追加] タブを選択します。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [完了] をクリックすると、変更を適用して [ノイズ追加] ツールが閉じます。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から **[現像済みに戻す]** を選択します。

ノイズ追加 オプション

強度	画像に追加するノイズの量を指定します。ノイズの量が多くなるほど、オリジナル画像のピクセルがノイズと置換される可能性が高くなります。
色の近接度	画像に追加するノイズの色を指定します。値が小さくなるほど、置換されるピクセルに近い色のノイズが追加されます。値が大きくなるほど、ノイズの色はランダムに選択されます。
ノイズの色	次のいずれかのオプションを選択して、ノイズの色を指定します： • ランダム：ランダムにノイズの色を選択します。 • モノクロ：白黒のノイズが追加されます。 • 調整：ノイズの色をランダムに選択しますが、ほとんどのノイズの色は指定した色と同じになります。[カラーピッカー] をクリックして、ノイズの色を指定します。
ノイズの配置	指定された色に近い画像部分に、ノイズを追加します。ノイズの配置を有効にするには、[色の設定] チェックボックスをオンにします。[カラーピッカー] をクリックして、ノイズの色を選択します。
ランダム化	画像のノイズをランダムに配置します。 [ノイズ追加] ツールを使用する際、ACDSee 究極は乱数シートに基づいてノイズピクセルを追加します。そのため、ツールを使用する度に追加されるノイズが変化します。固有の乱数シートを作成すると、同じ画像ノイズを生成することができます。 ランダムシードを新規作成するには、[ランダム化] をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



[グラデーション]

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション



することができます。

ディテールを調整する

写真の重要な細部(ディテール)を強調し、その他から目立たなくするには、ディテールブラシを使用することができます。ディテールブラシの効果は累積されます。例えば、特定の部分にぼかしオプションでブラシをかける場合、ブラシをかければかけるほどその部分はぼやけていきます。

ディテールを調整するには：

1. 編集モードで、[詳細]グループから、**ディテール ブラシ**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーからディテール ブラシ ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の説明に従って設定を調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います：

- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

直線を引く

ディテールブラシを使用している間は、シフトキーを押したままにしておくと、水平または垂直の線を引くことができます。例えば、**Shift** キーを押しながらクリックし、水平方向にドラッグすると、**Shift**キーを押している間だけカーソルが水平方向にロックされます。**シフト**を離すと、フリーハンドのブラシに戻ります。**シフト**を解除してフリーハンドブラシに戻り、同じ線を描いているときにもう一度シフトを押すと、ブラシのロックを解除したり、再ロックしたりすることができます。

対角線を引く

ディテールブラシを使うと、画像上に2つの点を置くことで、まっすぐな対角線を描くことができます。線の始点となる場所にカーソルを置き、シフトを押したまま、画像上で**左クリック**して点を作成します。シフトを放し、線が終わる位置にブラシを移動させ、シフトを押したまま、もう一度**左クリック**して2点目を作ります。この2点の間に直線が入る。

ディテールブラシのオプション

操作

実行したい操作を選択してください。

- ぼかし
- シャープネス

ツール設定

シャープネスを選択した場合は、下記を設定します。

半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が粗くなり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、 <u>ノイズ</u> が増えます。背景ノイズを最小に維持しながらエッジを強調するようにしきい値を設定するのがおすすめです。

ブラシ設定

ペン先の幅	スライダをドラッグしてブラシのサイズを選択します。
フェザリング	スライダをドラッグしてストロークのエッジをソフトにします。
強度	スライダをドラッグして、シャープネスやぼかしの強度を決定します。

 ナンバーボックスに数字を入力して、正確に微調整することもできます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

明瞭度を調整する

透明度ツールは画像のディテールに明瞭度を加えます。明瞭度ツールを使用すると、シャドウとハイライトが強調されることなく画像の中間色のコントラストが強調されます。

 設定した内容はプリセットとして保存し、後で再利用することができます。

画像の明瞭度を調整するには:

1. 【編集】モードで、【詳細】グループから、**【透明度】**を選択します。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**【透明度】**ツールにアクセスすることもできます。

2. **強度** スライダーを右に移動すると明瞭度が上がり、左に移動すると下がります。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 ナンバー ボックスに数字を入力して、正確に微調整することもできます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **編集ブラシ**  を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。

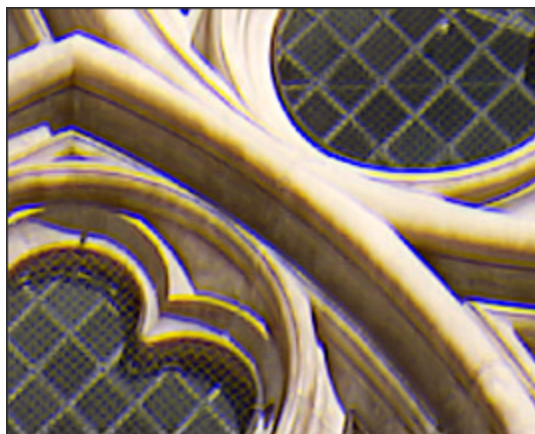
 **【グラデーション】** ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。

 **【放射状グラデーション】** ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

色収差の補正

色収差とはレンズによって生じるもので、ハイコントラストの領域でフリンジが発生します。カメラのレンズは光の波長によって焦点距離が変わるので、写真ではハイコントラスト領域の境界でカラー フリンジやカラー ラインが発生します。またパープル フリンジは、レンズの前に明るいスポットがある場合に発生します。

このズーム画像は、青/黄色のフリンジ発生 の例です。



[編集] モードの [色収差の補正] ツールを使用すると、カラーフリンジを抑えることができます。特に建築物の詳細を撮影した写真に便利です。最高の仕上がりを得るには、まず [色収差の補正] スライダーを調整してから、[フリンジ除去] スライダーを調整するのがおすすめです。

画像のフリンジを除去するには:

1. [編集] モードで、**【補正】** グループから、**【色収差の補正】** をクリックします。

 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [色収差の補正] ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下を参考にしてスライダーを調節します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

色収差の補正オプション

赤/シアンの補正	赤とシアンのチャンネルを調整して、赤/シアンのフリンジを減らします。
青/黄色の補正	青と黄色のチャンネルを調整して、青/黄色のフリンジを減らします。
フリンジ除去の強度	ハイコントラストのエッジから除去したいフリンジ色の量を調整します。値を0にすると、フリンジ除去がオフになります。
フリンジ除去の半径	フリンジ除去するエッジの周辺のピクセル数を調整します。
カラー	ハイコントラストのエッジから除去する色を調整します。



編集ブラシ



を使用して、画像の特定領域にこの効果を適用することができます。



【グラデーション】

ツールを使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジション  することができます。



【放射状グラデーション】



ツールを使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

章 8: 人物モード

人物モードを使う

人物モードは、人物のすべての画像を管理するための専用スペースです。

人物モードにアクセスするには、モードバーの人物モードアイコンを選択するか、メインメニューの管理モードから[ツール]>[人物を管理]の順に選択します。

人物モードには3つのビューがあります：

- 名前付き
- 名前なし、および
- 人物

名前付きビューと名前なしビューには、ボタンバーの結果グリッドのすぐ上にある名前付きボタンと名前なしボタンからアクセスできます。人物ビューにアクセスするには、名前付きビューで人物の顔画像をダブルクリックします。モードスイッチツールをクリックして、選択したサムネイルを表示、開発、または編集モードに直接移動します。1つのサムネイルをダブルクリックすると、画像が表示モードに入ります。



すべてのビューで、顔をクリックして選択するか、**Ctrl + クリック**、**Shift + クリック**で複数選択します。



名前なしビューと人物ビューの両方で、**[顔のサムネイルの表示]**



アイコンと**[ソース画像のサムネイル]**



アイコンを切り替えて、顔のサムネイルまたはソース画像全体を表示します。

名前付きビュー

人物モードの名前付きビューには、ACDSee写真データベースで名前が割り当てられた人物の画像が全て表示されます。識別された人物の画像は、統合(「Rob」、「Robby」、「Bobby」などの類似した名前を持つ人々の場合)、名前の変更、削除できます。人物をダブルクリックすると、その方の人物ビューが開き、その人物に割り当てられたすべての顔が確認し、AIによる提案を承認または拒否できます。



名前付き表示では、各人に割り当てられた顔の数が表示される。9999人以上の顔を割り当てることができます。

名前のないビュー

人物モードの名前のないビューには、名前が割り当てられていない顔が表示されます。

名前のないビューは、顔画像の上にあるボタンバーの右端にあるドロップダウンリストを切り替えることで、グループ化された顔とグループ化されていない顔でフィルタリングできます。

グループ化では、表示が2つのペインに分割されます。上のペインにはグループ化された顔が表示され、それぞれの右下に検出された類似する顔の数を示す数字が表示されます。下のペインには、顔の総数と、選択したグループに関連付けられた顔の両方が表示されます。グループ化された顔は、人物モードのAIがそれらをグループ化することを提案するほど、構造が十分に似ています。

グループ化されていない場合、ビューには、データベース内の名前のないすべての顔がグリッド状に並んで表示されます。グループ化されていない画像は、AIによって生成されたグループが適用されていない顔画像の全てです。

名前のないビューは、名前のない顔の名前の割り当てや削除など、名前のない顔を管理するために使います。

人物ビュー

人物モードの人物ビューは1人の人物に関連するすべての顔画像を表示します。

人物ビューは、次の2つの領域で構成されています：

- **[割り当てられた顔]**ペイン、以前にその名前で割り当てられた顔画像のコレクション、および
- **提案された顔**ペイン、AIがその人物と一致する可能性を示唆する顔のコレクション。



人物ビューには、名前付きビューからしかアクセスできません。

フォルダペイン

[**フォルダ**]ペインは、結果をフォルダで絞り込むために使います。クリックして単一のフォルダを選択するか、**Ctrl + クリック**、**Shift + クリック**、またはフォルダ名の左側にある簡単な選択の矢印をクリックして複数選択します。

[**フォルダ**]ペインは結果グリッドの左側にあり、次の2つのビューがあります。

- **管理** モードでアクセスされた顔画像を含むフォルダを拡張して表示するツリービュー、および
- 顔画像を含むフォルダのフラットに並べた一覧ビュー。

[**フォルダ**]ラベルの右側にある[表示]ボタンを使用して、ツリービューと一覧ビューを切り替えます。

[**フォルダ**]ラベルの下にある[フォルダの更新]アイコンを使用して、現在のフォルダの選択をクリアします。

名前付きビュー

人物モードの**名前付きビュー**には、ACDSee写真データベースで名前が割り当てられたすべての人物の画像が表示されます。識別された人物の画像は、統合(「Jonathon」、「Johnny」、「John」など、似た響きの名前が複数ある人物の場合)、名前の変更、または削除を行うことができます。人物をダブルクリックすると、その人物の**人物ビュー**が開き、割り当てられたすべての顔が表示されます。ここではAIが作成した提案を承認または拒否できます。



名前付きビューには、各人物に割り当てられた顔の数が表示されます。顔の割り当ては9999を超えても引き続き可能です。

人物を統合するには：

1. 人物モードの**名前付きビュー**で、複数の人物を選択します。
2. 選択した人物の1人を右クリックします。
3. コンテキストメニューから、**人物を統合**を選択します。
4. **人物を統合**ダイアログで、次の2つのオプションのいずれかを実行します。
 - **名前を入力または選択**フィールドに新しい名前を入力する、または
 - **名前を入力または選択**ドロップダウンから名前を選択します。
5. **OK**ボタンをクリックします。



統合は、[編集]メニューからも実行できます。

人物の名前を変更するには：

- 1. 人物モードの**名前付き**ビューで、名前を変更する人物を選択します。
- 2. 選択した人物を右クリックします。
- 3. コンテキストメニューから、**人物の名前を変更**を選択します。
- 4. 人物の画像の下にある強調表示されたバーに人物の新しい名前を入力します。
- 5. **Enter**キーを押します。

 名前の変更は、画像の下にある関連する名前ボックスをクリックするか、[編集]メニューからも実行できます。

1人または複数の人物を削除するには:

- 1. 人物モードの**名前付き**ビューで、削除する1人または複数の人物を選択します。
- 2. 選択した人物を右クリックします。
- 3. コンテキストメニューから、**人物を削除**を選択します。
- 4. 表示されたダイアログで、**OK**ボタンをクリックします。

 削除は、[編集]メニューからも実行できます。

人物のグループ化:

名前付きの人物のすぐ上で、**名前付き**ボタンと**名前のない**ボタンの右側にある**グループ**ドロップダウンを使用して、人物の表示方法を変更できます。グループは昇順または降順で並べ替えることができます。

タ イ プ		例
名前	人物を名前ごとにグループ化して表示します。グループはアルファベット順(先頭文字)で並べられます。	検出されたすべての人物を割り当てられた名前の下に整理して、ブラウズや確認を容易にしたい場合に使用します。
顔の数	人物ごとの検出数でグループ化して表示します。	写真に最も頻繁に登場する人物を優先的に表示したい場合に使用します。これにより、よく見かける個人のタグ付けをスピードアップできます。
提案	検出された各人物に対して、提案があるかどうかに基づいてグループ化して表示します。	提案がある人物、または提案がない人物を特定して確認したい場合に使用します。

 グループヘッダーを右クリックすると、グループの折りたたみと展開のオプションが表示されます。

名前のないビュー

人物モードの**名前のない**ビューには、名前が割り当てられていない顔が表示されます。

名前のないビューは、顔画像の上にあるボタンバーの右端にあるドロップダウンリストを切り替えることで、**グループ化された顔**と**グループ化されていない顔**でフィルタリングできます。

グループ化では、表示が2つのペインに分割されます。上のペインにはグループ化された顔が表示され、それぞれの右下に検出された類似する顔の数を示す数字が表示されます。下のペインには、顔の総数と、選択したグループに関連付けられた顔の両方が表示されます。**グループ化**された顔は、人物モードのAIがそれらをグループ化することを提案するほど、構造が十分に似ています。

グループ化されていない場合、ビューには、データベース内の名前のないすべての顔がグリッド状に並んで表示されます。グループ化されていない画像は、AIによって生成されたグループが適用されていない顔画像の全てです。

名前のないビューは、名前のない顔の名前の割り当てや削除など、名前のない顔を管理するために使います。

名前のないビューから顔を抹消するには:

1. 削除する顔を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います:
 - 顔を右クリックし、コンテキストメニューから[顔を抹消]を選択します。
 - メインメニューから[編集] | [顔を抹消]を選択します。
 - Delete キーを押します。

名前バーを使用して名前のない顔に名前を割り当てるには:

1. 名前のない顔の下にあるバーをクリックします。
2. 名前を入力します。
3. Enter キーを押します。



Enter キーを押すと、カーソルは自動的に次の名前のない顔に移動します。

コンテキストメニューを使用して名前のない顔に名前を割り当てるには:

1. 名前のない顔を右クリックします。
2. コンテキストメニューから**顔の名前を変更...**を選択するか、F2 キーを押します。
3. **名前** フィールドに名前を入力します。
4. **OK** をクリックします。



名前が割り当てられた顔は自動的に **名前のない** ビューから消え、**名前付き** ビューに配置されます。



グループ化 モードでは、上部パネルでグループを削除または名前を付けると、そのグループ内のすべての顔に影響します。下部パネルで顔を削除または名前を付けると、それらの顔にのみ影響します。

名前のないビューでの画像と顔の削除:

顔を抹消するには:

1. 1つまたは複数の名前のない顔を選択します。
2. 次のいずれかの操作を行います:
 - **編集 | 顔を抹消** を選択します。
 - 選択した顔の1つを右クリックし、コンテキストメニューから**顔を抹消**を選択します。
 - **Delete** キーを押します。

画像を削除するには:

1. 選択した1つまたは複数の名前のない顔を右クリックします。
2. 次のいずれかの操作を行います:
 - **編集 | 画像を削除** を選択します。
 - 選択した顔の1つを右クリックし、コンテキストメニューから**画像を削除**を選択します。

- **Ctrl + Delete** キーを押します。



人物 モードで画像を削除すると、ハードドライブから完全に削除されます。

人物ビュー

人物モードの**人物**ビューは1人の人物に関連するすべての顔画像を表示します。

人物ビューは、次の2つの領域で構成されています：

- **[割り当てられた顔]**ペイン、以前にその名前が割り当てられた顔画像のコレクション、および
- **提案された顔**ペイン、AIがその人物と一致する可能性を示唆する顔のコレクション。



人物ビューには、**名前付き**ビューからしかアクセスできません。

割り当てられた顔ペイン

割り当てられた顔ペインには、以前にその人物の名前が割り当てられた顔画像が表示されます。**割り当てられた顔**ペインの各画像には、次の表で詳しく説明する右クリックのコンテキストメニューがあります。

割り当てられた顔ペインのコンテキストメニューオプション

メニュー項目	ショートカット	説明
顔の名前を変更...	F2	新しい名前を入力できる 顔の名前変更 ダイアログを開きます。新しい名前が適用されると、顔画像は現在の 人物 ビューから自動的に削除され、 名前付き ビューに配置されます。
顔を削除...	Delete	顔画像から名前を削除し、画像を 名前のない ビューに戻します。
プロフィールとして設定		選択した画像をその人物のプロフィール画像として設定します。
顔を抹消	Shift + Delete	人物との関連付けを解除し、顔画像を 人物 モードから削除します。
画像を削除	Ctrl + Delete	ハードドライブからソース画像を削除します。

顔の名前変更

顔の名前を変更するには、**割り当てられた顔**ペインで顔を左クリックして**F2**キーを押すか、右クリックしてコンテキストメニューから**顔の名前を変更...**を選択します。これにより**顔の名前変更**ダイアログが表示され、新しい名前を入力できます。新しい名前を確定すると、顔は自動的に新しい人物の項目へ移動します。

提案された顔ペイン

提案された顔ペインには、AIがその人物と一致する可能性があるとして判断した顔が表示されます。

人物モードのAIが、名前のない顔が特定の人物と一致する可能性があるとして判断した場合、**名前付き**ビューのその人物の顔の左下隅

に顔アイコン  が表示されます。

提案された顔を管理するには、緑色のチェックマークアイコン  をクリックして承認するか、赤い禁止マークアイコン  をクリックして拒否します。また、名前のテキストフィールドを直接クリックして手動で名前を変更することもできます。テキストフィールドに入力中に**Enter**キーを押すと変更が確定され、**提案された顔**ペイン内の次の顔に自動的に移動します。ペイン内の各画像には、以下の表で説明する右クリックコンテキストメニューがあります。

 提案された顔の総数は、顔の提案の上に表示されます。

提案された顔ペインのコンテキストメニューオプション

メニュー項目	ショートカット	説明
顔を承認...	Enter	AIによる提案がその人物のものであることを承認します。顔画像の下の名前バーにある緑色のチェックマークアイコン  を使用して承認することもできます。
顔を拒否...	Delete	顔画像からAIの提案を削除し、画像を 名前のない ビューに戻します。顔画像の下の名前バーにある赤い禁止マークアイコン  を使用して拒否することもできます。
顔の名前を変更	F2	新しい名前を入力できる 顔の名前変更 ダイアログを開きます。新しい名前が適用されると、顔画像は現在の 人物 ビューから自動的に削除され、 名前付き ビューに配置されます。
顔を抹消	Shift + Delete	顔画像からAIの提案を解除し、顔画像を 人物 モードから削除します。
画像を削除	Ctrl + Delete	ハードドライブからソース画像を削除します。

 ペイン内のすべての顔を承認または拒否するには、**提案された顔**ペインのヘッダーバー右端にある[すべての提案を承認]アイコン  または[すべての提案を拒否]アイコン  をクリックします。

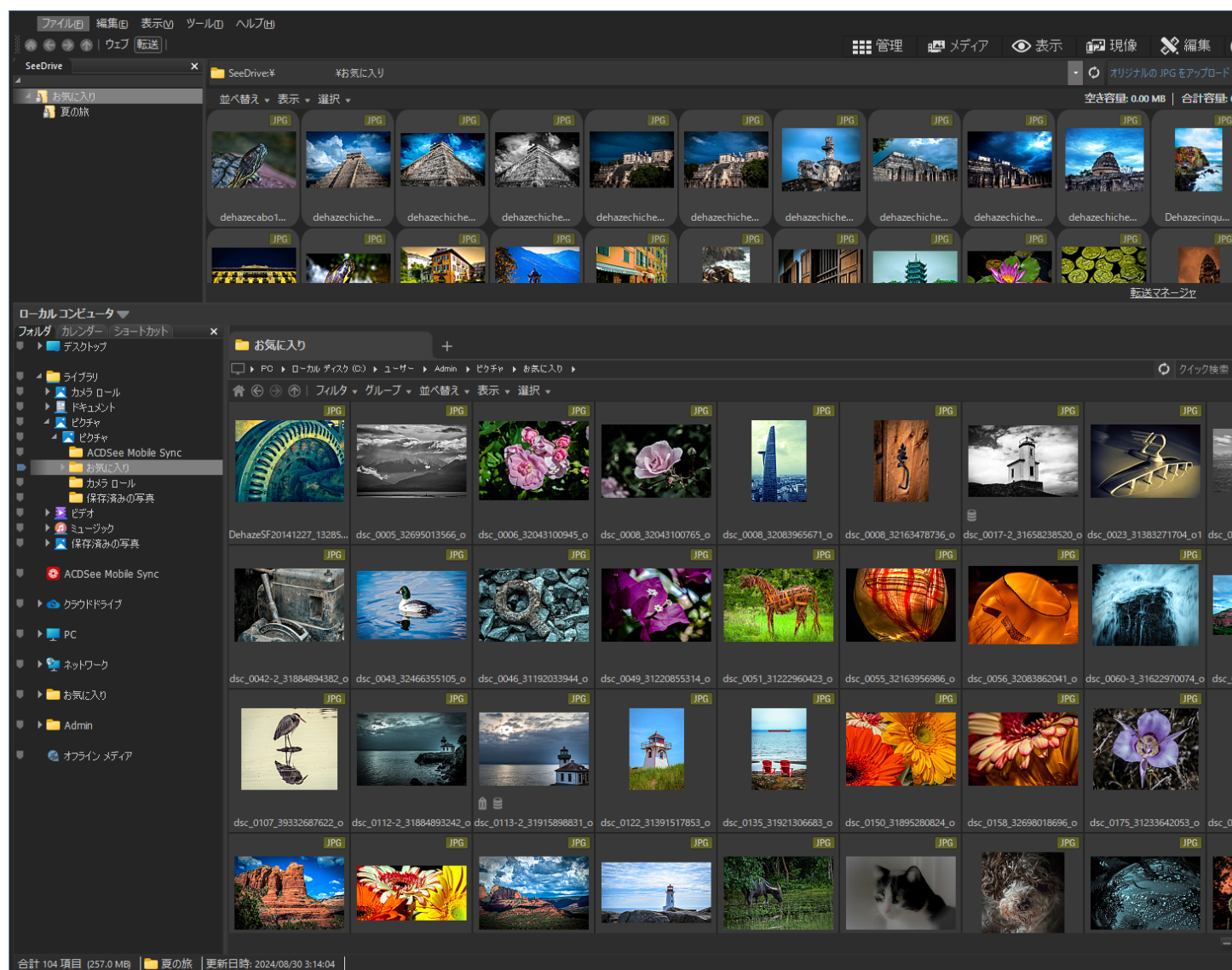
 **Enter**キーを押して顔を承認すると、**提案された顔**が割り当てられた顔へ移動し、次の**提案された顔**がハイライトされます。

章 9: 365 モード



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

ACDSee 究極 ユーザーは365モードからseedrive.acdsee.comに画像をアップロードして、画像を共有・保存できます。365モードとseedrive.acdsee.comを使えば、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロード・参照できます。まず365.acdsee.com アカウントを作成してから、画像をアップロードしてください。



seedrive.acdsee.com を使用して、次のような操作を行うことができます。

- [seedrive.acdsee.com アカウントの作成](#)
- [画像をアップロードする](#)
- [画像フォルダのプライバシー設定](#)

365 モードを使用する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリックします。

ACDSee 究極ユーザーは、365モードにより、365.acdsee.comに画像をアップロードし、画像を共有したり、保存したりできます。365モードと365.acdsee.comを合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。あるいは、ご利用になっているインターネットブラウザから直接 365.acdsee.com にアクセスすることも可能です。

365 モードには次の 2 つがあります：365.acdsee.com と転送です。



[365.acdsee.com] と **[転送]** タブを有効にするには、[365.acdsee.com](#)のアカウントを作成する必要があります。

365.acdsee.com

[365.acdsee.com] タブをクリックすると365.acdsee.com にアクセスすることができます。365.acdsee.com には次の 4 つのメニューがあります：

- **管理**：画像をフォルダに入れて管理します。
- **アップロード**：**[アップロード]** をクリックして画像のアップロードが可能な **[転送]** に切り替えます。
- **プロフィール**：プロフィールを変更したり、特定の情報を「公開」、「非公開」に設定したりします。
- **サポート**：365.acdsee.com のサポートが必要な場合、「ヘルプ」または「よくある質問」をご覧ください。

転送

転送 モードを使用して、365.acdsee.com アカウントに画像をアップロードすることができます。**[転送]** のスクリーンは 2 つに分割されています。画面の下半分にはコンピュータに保存されている画像が表示され、上半分にはお客様の 365.acdsee.com アカウントが表示されます。



365 モードの画像を、「処理」モードで開いて現像処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「処理」モードで開きます。ご注意ください。

ACDSee 365 アカウントの作成

365.acdsee.com に画像をアップロードする前に、アカウントを作成する必要があります。

ACDSee 365 アカウントを作成するには：

1. **[365]** タブをクリックして、**ACDSee 365** モードに入ります。
2. **登録** ボタンを押します。
3. フィールドに必要な情報を入力して、**[アカウントの作成]** をクリックします。



既にアカウントがある場合は、**サインイン** ボタンをクリックします。

ACDSee 365 への画像のアップロード



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリックします。

ACDSee 365、または365.acdsee.com は、ACDSeeユーザー同士で画像を共有したり、画像を保存するサービスです。まず365.acdsee.com アカウントを作成して、画像をアップロードしてください。365.acdsee.com アカウントにアップロードすることができる画像にサイズの制限はありません。



365.acdsee.com アカウントのプランによっては、動画もアップロードできます。

画像をアップロードするには:

1. 365 モードで、[サインイン]をクリックします。
2. アカウントにログインします。
3. [アップロード] をクリックして、[転送] に切り替えます。

画面は2つに分かれており、下の領域にはコンピュータ上の画像が表示され、上の領域にはオンラインの画像が表示されます。

4. 下半分はコンピュータに保存されている画像を、上半分はオンラインの画像を表しています。
 - **関連データを含んだオリジナルをアップロード:** メタデータなどを含むファイルなど、すべての関連ファイルを含む画像を現在のファイル形式でアップロードします。このオプションは、アーカイブしたい画像に最適です。
 - **オリジナルをアップロード(JPG):** 画像を元のサイズのJPGとしてアップロードします。
 - **1920 x 1440 のJPGファイルをアップロード:** 画像をJPEG フォーマットに変換し、解像度を1920 x 1440に設定します。このオプションは高画質のJPGに最適です。
 - **1024 x 768のJPGファイルをアップロード:** 画像をJPEGに変換し、解像度を1024 x 768に設定します。このオプションを使用すると、アップロード時間が最も早くなります。
5. 次のいずれかを実行して、画像をアップロードします:
 - スクリーンの上半分の領域に画像をクリックアンドドラッグして、365.acdsee.com アカウントにアップロードします。複数の画像を選択するには、**Shift** キー または **Ctrl** キーを押したまま、クリックして画像を選択します。カーソルでクリックアンドドラッグして、複数の画像を選択することも可能です。
 - スクリーンの上半分の領域に向かって、画像の含まれているフォルダをドラッグします。
 - 画像を選択してから、[転送 マネージャ] の横にある上矢印アイコンをクリックします。

アップロードが完了すると、アップロードされた順番で画像が表示されるようになります。画像が現像または編集済みの場合、ファイルの種類を示すオーバーレイアイコンが表示されます。



サブフォルダを含んだフォルダをアップロードすることも可能です。365 モードでは、365.acdsee.com アカウントにフォルダをアップロードする際、そのフォルダ構造を保ったままアップロードします。

フォルダを自動的にWebに同期するように設定する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

コンピューターに特定のフォルダを作成し、すべての画像を365.acdsee.comの特定のフォルダーにアップロードできます。コンピューターのフォルダーに新しい画像を追加すると、[Webに同期] ボタンを押して、365.acdsee.comの対応するフォルダーを簡単に同期できます。同期は、お使いのコンピュータから365.acdsee.com のアカウントにアップロードするという一方方向でのみ動作します。

フォルダを設定して自動的に「Webに同期」するには:

1. 365 モードで、[サインイン]をクリックします。
2. 転送 タブをクリックします。
3. 画面の下半分の [フォルダ] ペインで、フォルダを右クリックし、[「Web に同期する」フォルダとして設定] を選択するか、**Alt + A**をクリックします。

4. 「Web に同期」フォルダとして設定] ダイアログで、以下で解説されているようにオプションを設定します。
5. [OK]をクリックします。



[ファイル] > [「Web に同期」するフォルダの管理] をクリックして、設定することも可能です。

Web に同期を実行するには:

1. [転送] で、画面の右側にある[Web に同期] をクリックします。
2. [OK]をクリックします。

フォルダの [Web に同期] 設定を編集するには:

1. [転送]で、スクリーンの下半分の [フォルダ] ペインで、Web に同期 フォルダを右クリックし、[「Web に同期」するフォルダの編集] を選択します。
2. 「Web に同期」フォルダの編集] ダイアログで、以下で解説されているようにオプションを設定します。
3. [OK]をクリックします。

「Web に同期」フォルダのオプション

アップロードの種類	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します: ● 関連データを含んだオリジナルをアップロード: メタデータなどを含むファイルなど、すべての関連 ファイルを含む画像を現在のファイル形式でアップロードします。このオプションは、アーカイブしたい画像に最適です。 ● オリジナルをアップロード(JPGで): JPEG画像を元のサイズに変換してからアップロードします。 ● 1920 x 1440 のJPGファイルをアップロード: 画像をJPEG フォーマットに変換し、解像度を1920 x 1440に設定します。このオプションは、高品質の JPEG ファイルに最適です。 ● 1024 x 768のJPGファイルをアップロード: 画像をJPEGに変換し、解像度を1024 x 768に設定します。このオプションは、Netbook で表示する、あるいはアップロードの時間を短縮したい場合に最適です。
ローカルフォルダ	選択したフォルダのパスを表示します。[参照] ボタンをクリックして、別のフォルダを選択します。
Online フォルダ	Online フォルダに使用する名前を入力します。既定設定では、「Web と同期」に設定しているコンピュータ上のフォルダと同じ名前に設定されます。
今すぐ「Web に同期」	選択したフォルダ内の画像をすぐにアップロードしたい場合にこのボックスを選択します。このチェックボックスを選択しない場合は、[Web に同期] をクリックして、同期するように選択したすべてのフォルダ内に含まれているすべての画像をアップロードすることができます。

公開または非公開のフォルダを作成する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

[365.acdsee.com] と[転送] タブでは、フォルダを作成して公開または非公開を指定することができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも閲覧することができます。公開フォルダの URL をコピーして、友達や家族にその URL を知らせて共有することも可能です。



新規フォルダを作成する際、既定設定としてフォルダは「非公開」に設定されます。

[転送] でフォルダを作成し、公開または非公開に設定するには:

1. 365 モードで **[転送]** をクリックします。
2. [フォルダ] ペインで ユーザー名 を右 クリックし、**[オンラインフォルダの新規作成]** を選択 します。
3. [新規の Online フォルダ] ダイアログボックスで、新規 フォルダの名前 を入力 します。
4. **[OK]** をクリック します。

既定設定として、新規フォルダは「非公開」に設定 されます。

フォルダを「公開」に変更 するには 、フォルダを右 クリックして**[公開する]** を選択 します。

公開フォルダの URL を共有 するには:

1. 365 モードで **[転送]** をクリック します。
2. [フォルダ] ペイン ウィンドウの左上 部から、公開 フォルダを右 クリック します。
3. **[URLをコピー]** をクリック します。
4. その URL を電子 メール、インスタント メッセージやその他のアプリケーションにコピーして、友達や家族と共有 します。



公開 フォルダ上 を右 クリックして **[共有]** を選択 すると、電子 メールで送信、ソーシャルネットワークサイトにアップロード、あるいはウィジェットを作成 することができます。

重要度設定システムを変更 する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリック します。

管理モードで重要度を設定した画像は、365 モードでは星の数で評価 されます。ユーザーは、星で画像を評価 する方法を選択 することができます。

重要度設定システムを変更 するには:

1. **[ツール]** をクリックし、**[オプション]** を選択 します。
2. オプション ダイアログ ボックスの**[ACDSee 365]** をクリック します。
3. [重要度] で、**[重要度1を星5に変換する]** または **[重要度1を星1に変換する]** のいずれかを選択 します。
4. **[OK]** をクリック します。

画像をダウンロード する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリック します。

365.acdsee.com は、ACDSee 究極ユーザー向けのストレージサービスでもあります。365.acdsee.com アカウントから自分のコンピュータへ、いつでも画像をダウンロード できます。

画像をダウンロード するには:

1. 365 モードで、**[サインイン]** をクリック します。
2. アカウントにログイン します。
3. **転送** タブをクリック します。

画面は2つに分かれており、下の領域にはコンピュータ上の画像が表示 され、上の領域にはオンラインの画像が表示 されます。

4. 画面の上側の左上にあるフォルダペインで、365.acdsee.com フォルダからダウンロード したい画像に移動 します。

5. 画面の下側にある[ローカル コンピュータ] ペインで、画像のダウンロード先のフォルダを選択します。
6. 次のいずれかの方法で、画像を選択してダウンロードします。
 - 画像を画面の下側の領域にクリック & ドラッグして自分のコンピュータにダウンロードします。複数の画像を選択するには、**Shift** キー または **Ctrl** キーを押したままクリックして画像を選択します。カーソルをクリック & ドラッグして複数の画像を選択することもできます。
 - 画像のフォルダを画面の下側の領域にドラッグします。
 - 画像を選択し、[転送 マネージャ]の隣にある下矢印アイコンをクリックします。

転送 マネージャを使用する



seedrive.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

[転送 マネージャ] では、365.acdsee.com アカウントに画像をアップロード + ダウンロードする作業を確認したり、転送作業をキャンセルしたり一時停止したりすることが可能です。[転送 マネージャ] には、[アップロード] と [ダウンロード] の 2 つのタブが用意されています。これらのタブには、アップロード、ダウンロード、一時停止またはキャンセルされた画像が一覧表示されます。

[転送 マネージャ] を開くには：

[ツール] > [転送 マネージャ] をクリックします。

[転送 マネージャ] では次のような操作を行うことができます。

	アップロードまたはダウンロードのキャンセル。
	画像のアップロードとダウンロードを再試行。
	アップロードまたはダウンロードの一時停止。
	画像のアップロードまたはダウンロードを継続。
	一覧のすべての画像を選択します。
	一覧から、アップロード、ダウンロードまたはキャンセルされた画像をクリアします。

章 10: ダッシュボードモード

ダッシュボードモードを使用する

ダッシュボードモードでは、ファイル、カメラ、データベースの統計情報を1か所で簡単に監視できます。カメラデータは画像のメタデータから収集され、ファイル情報はACDSeeデータベースから分析されます。最も正確な情報を表示するために、ファイルが[カタログ化](#)されていることを確認してください。

ファイルのカタログ化

ファイルをカタログ化するには、次のいずれかの操作を行います：

- ツール|データベース| **カタログ**に移動します。
- 管理モードでフォルダを参照します。

ダッシュボードモードのタブ

ダッシュボードモードは4つのタブで構成されており、それぞれ異なる視点でデータを確認できます：

- **概要タブ**: 写真のアクティビティとデータベースステータスのハイレベルな概要を表示します。
 - 上部のグラフには、月別または年別の写真数が表示されます。ドロップダウンメニューを使用して年別表示と月別表示を切り替え、「前へ」および「次へ」ボタンを使用して期間を移動できます。
 - グラフの下には以下の情報が表示されます：
 - **データベースの概要**: データベースの総サイズ、ファイルとフォルダの総数、最終バックアップ日。
 - **カメラの概要**: 最も使用されたカメラ、カメラの総数、お気に入りのISO設定。
 - **ファイルの概要**: 画像およびビデオファイルの数、お気に入りのファイル形式、お気に入りの画像解像度。



このタブは、写真コレクションとデータベースの健全性をすばやくチェックするのに役立ちます。

- **データベースタブ**: データベースに関する詳細情報を表示し、サイズ、構造、バックアップステータスを追跡できます。
 - **データベースの総サイズ**: データベースのファイルパスが含まれます。
 - **ファイル情報**: 画像ファイル、ビデオファイル、その他のファイルの内訳。
 - **フォルダ情報**: 参照したフォルダ、参照したリモートフォルダ、参照したリムーバブルフォルダの数。
 - **孤立したアセット**: 孤立したファイルとフォルダの数を表示します。
 - **ACDSeeデータベースのバックアップ**: 最終バックアップ日を表示し、データが安全であることを確認できます。
 - **サムネイル情報**: サムネイルキャッシュのサイズと、サムネイルを持つ画像の数が含まれます。



このタブを使用して、データベースのパフォーマンスを監視し、バックアップとサムネイルが最新であることを確認してください。

- **カメラタブ**: カメラとレンズの使用状況を表示します。
 - **カメラの概要** パネル(左側)には、最も使用されたカメラ、レンズ、焦点距離、絞り、シャッタースピード、ISOがハイライト表示されます。

- メイン画面には以下が含まれます:
 - カメラ、レンズ、焦点距離別の写真数を、パーセンテージの内訳とともに示す円グラフ。
 - 絞り、シャッタースピード、ISO別の写真数を示す棒グラフ。
- これらのグラフは、**表示 | グラフ**からオン/オフを切り替えることができます。



このタブは、最も頻繁に使用するレンズや設定など、撮影の習慣を理解するのに役立ちます。

- **ファイルタブ:** 画像およびビデオファイルに関する情報を表示します。
 - **ファイルの概要**セクション(左上)には、ファイルの総数、お気に入りのファイル形式、最も一般的な画像解像度が表示されます。
 - 2つの円グラフでファイル形式とビット深度の内訳を表示し、凡例にパーセンテージが表示されます。
 - 棒グラフには、コレクション内の上位20個の画像解像度が表示されます。



このタブでは、最も頻繁に扱うファイルの種類についての洞察が得られます。

章 11: PicaView

ACDSee PicaView について

ACDSee PicaViewは、WindowsのFile Explorer™用のすばやく簡単なファイルビューア「アドオン」で、アプリケーションでファイルを開かなくてもファイルをプレビューできるため、時間を節約できます。右クリックすると、画像のEXIF情報を表示したり、RAWファイルを含むさまざまなサイズの画像ファイルを表示したりできます。ACDSeeでサポートされている他の画像ファイル形式のプレビューを表示することもできます。WindowsのFile Explorer™でファイルを右クリックすると、ACDSee PicaViewプレビューにアクセスできます。

プレビューのサイズや表示する情報など、ACDSee PicaView ではさまざまな設定ができます。設定へのアクセスは、[ACDSee PicaView] > [オプション...]をクリックするか、または ACDSee で[ツール] > [オプション...]に移動して、オプション ダイアログ メニューにある ACDSee PicaView に移動します。

ACDSee PicaView オプションを調整するには:

1. Windows/File Explorer™ でファイルを右クリックして、ACDSee PicaView のプレビューにアクセスします。
2. プレビューの上部で、[ACDSee PicaView] > [オプション...]をクリックします。
3. ACDSee PicaView オプション ダイアログで、以下のオプションを設定・変更します。
4. [OK] をクリックして変更を適用します。

ACDSee PicaView オプション

画像の表示

[画面の表示] チェックボックスをオンにすると、ファイルを右クリックして表示されるコンテキストメニューにプレビューが表示されます。

場所

- **画像をメインメニューに追加する:** ファイルを右クリックすると、メインメニューにプレビューが表示されます。
- **画像をサブメニューに追加する:** ファイルを右クリックすると、ACDSee PicaView の隣にある矢印をクリックして表示されるサブメニューにプレビューが表示されます。

サイズ

右クリック時に表示されるプレビューのサイズを選択します。

オリジナルの表示

[オリジナルの表示]を選択すると、現像前または編集前の画像が右クリック時に表示されます。

EXIF 情報を表示する

[EXIF情報を表示] チェックボックスにチェックを入れたり外したりすると、右クリックした写真のEXIF情報についての表示状況を設定できます。

ACDSee クイックビューを使う

ACDSee クイックビュー は、ACDSeeを開かずに画像を素早く表示できる画像ビューアです。例えば、誰かがメールで送ってきた画像を表示したいとします。対象の画像をダブルクリックするとクイックビューで開き、ACDSeeの[表示]モードの簡易版のような感じで画像を表示することができます。

クイックビューでは、画像を素早くスクロールしたり、一時的に回転したり、拡大/縮小表示することができます。クイックビューで表示中に気に入った画像があれば、それをデスクトップの壁紙に設定したり、印刷したりすることも可能です。

クイックビューからACDSeeへ簡単に切り替えることができます。また、画像を管理、メディア、表示、現像、または編集モードで開くことも可能です。

[表示] モードでキーボードやマウスのショートカット操作に慣れている方は、クイックビューでも同様にほとんどのショートカットが使用できます。

クイックビューで画像を開くには:

1. ACDSee 究極を閉じた状態で、画像をダブルクリックします。例えば、Windows エクスプローラ内 または メールに添付された画像をダブルクリックします。
2. 下記の表示オプションを使用して画像を表示します。

ACDSee クイックビュー 表示オプション

	前へ	前の画像を表示します。
	次へ	次の画像を表示します。
	左に回転	画像を左へ回転します。
	右に回転	画像を右へ回転します。
	拡大	画像を拡大表示します。
	縮小	画像を縮小表示します。
	削除	画像を削除してごみ箱に移動します。

 [Esc]を押すとACDSeeを閉じることができます。

ACDSeeで画像を開くには以下の手順を実行します:

[管理]、[メディア]、[表示]、[開発]、または[編集]モードをクリックします。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

1. デスクトップの壁紙に設定したい画像がクイックビューで表示されるまで**前へ**または**次へ**をクリックします。
2. [ツール]、[壁紙の設定]をクリックし、次のいずれかを選択します。
 - **中央に表示:** デスクトップの中央に画像を表示します。
 - **並べて表示:** デスクトップ全体を覆うようにファイルを複数のタイルとして並べて表示します。画像のサイズが小さい場合は、複数枚の画像がデスクトップに表示されます。画像のサイズが大きい場合は、1、2枚の画像がデスクトップに表示されます。
 - **拡大表示:** 画像の縦横比を保持したまま拡大表示して、デスクトップを可能な限り覆うように表示します。

デスクトップの壁紙を既定に戻すには:

[ツール] > [壁紙 の設定] > [元に戻す] の順にクリックします。

画像は以下の手順で印刷します:

1. [ファイル] に続いて [印刷] をクリックします。
2. [形式] から [印刷サイズ] を選択します。
3. [プリンタ オプション] タブで、使用したいプリンタ、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度を指定します。
4. [ページ設定] タブでは、用紙上の画像の位置 や余白の幅を指定したり、写真毎の印刷部数を指定したりします。
5. キャプション、ヘッダー、フッター を追加します。
6. 印刷 をクリックします。

クイックビュー で Windows Touch Gestures™ を使用する

Windows Touch Gestures™ 対応のデバイスをお持ちの場合、デバイスを ACDSee クイックビュー と併せて使用することで素早く簡単に写真を表示できます。

クイックビュー で Windows Touch Gestures™ を使用するには:

ACDSee クイックビュー で画像を開きます。

- 画像上をスワイプして画像を1枚ずつスクロールします。
- 一方方向にゆっくりとホールドおよびスワイプして、フォルダ内の画像を行き来して表示することができます。
- 画像をホールドして放すと、画像をマウスで右クリックしたときと同じ操作が実行できます。
- 画像をダブルタップすると ACDSee で画像が開きます。
- 画面に指を2本当てて広げると拡大し(ピンチアウト)、2本の指を合わせるように狭めると縮小します(ピンチイン)。
- 画像を拡大したあとは、画像を指でパンすることができます。元に戻すには、[表示] > [ズーム] > [画像を合わせる] を選択します。

章 11: オプションと設定

全般オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスの設定を調整して、便利なワンポイントの表示、表示する日付フォーマットの設定、自動回転オプション、特定画像表示のコントロールなどを設定することができます。

全般オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[全般]をクリックします。
3. 「全般」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

全般オプション

ガンマ補正	画像を表示またはプレビューする際に、指定されたガンマ補正值を適用します。
壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する	小さな画像をデスクトップ全体のサイズに合わせて自動拡大し、壁紙として設定します。
画像アニメーションを無効にする	管理モードのプレビューペインおよび表示モードで、画像アニメーションの最初のフレームのみが表示されます。
EXIF方向を基準にして、JPEGおよびTIFF画像を自動的に回転する	ACDSeeでTIFFやJPEG画像を表示する際、画像の向きは自動的に補正されます(EXIFデータを基準とする)。
ステータスバーの日付	ステータスバーに表示するファイルの日付を指定します。
日付/時間の出力フォーマット	次のいずれかを選択します。 ● 既定のシステムフォーマット: 情報オーバーレイに日付および時間を表示する際は、既定のシステムフォーマットを使用します。 ● カスタムフォーマット: すべての情報オーバーレイに日付および時間を表示する際に、カスタムフォーマットを使用します。日付と時間のフォーマットを、ドロップダウンリストから選択します。
タスクバーの通知領域にアイコンを表示する	タスクバーの通知領域にACDSee究極のアイコンを表示します。
モード切り替えアイコンを表示する	各モード名の左にアイコンを表示します。
OpenCL画像を処理する	お使いのパソコンのビデオカードドライバが対応している場合、このチェックボックスをオンにするとRAWファイルの処理速度が上がります。このオプションを利用するにはビデオカードのドライバが最新である必要があります。
RAW表示	次のいずれかを選択します。 ● 埋め込みプレビュー: 埋め込みJPEGを使用 ● RAWデコード: 高品質のデコードを実行 詳細については、[RAW画像を表示する]をご覧ください。

画像の自動表示 オプションの設定

画像の自動表示を起動する適用されたメタデータを制御できます。

【画像の自動表示】オプションは、以下の手順で調整します：

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[全般]>[画像の自動表示]をクリックします。
3. [画像の自動表示]ページで、以下の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

画像の自動表示 オプション

自動切り替えを有効にする	- 管理モード - 表示モード	選択解除して、管理または表示モードで画像の自動表示をオフにします。
適用時に自動切り替え	- タグ - 重要度 - ラベル - カテゴリ - キーワード	適用または削除されたメタデータのうち、画像の自動表示を起動するメタデータを指定します。  キーワードとカテゴリは既定で無効になっています。

[モード設定 オプション]を設定する

モードボタンの外観をコントロールして表示スペースを最大化できます。

モード ボタン オプションを設定するには：

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. オプションダイアログボックスで、[モード設定]をクリックします。
3. モード設定ページで、対応するチェックボックスの選択を外すことで、モードを非表示にできます。
 管理モードは非表示にできません。
4. モードの対応するドロップダウンメニューを使用することで、アイコンとラベルの両方を表示する、ラベルのみ表示する、アイコンのみ表示するように設定できます。
5. [モードボタンの見た目を簡略化する]のボタンをクリックすると、モードボタンを小さくしてスペースを節約できます。
6. [OK]をクリックします。

バッチ操作 オプションの設定

バッチの名前変更、バッチのサイズ変更、バッチ変換などのバッチ操作で表示されるエラーログを制御できます。

バッチ操作オプションを調整するには：

1. いずれかのモードで、[ツール]、[オプション...]、または **Alt + O**を押します。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[一般]、[バッチ操作]をクリックします。
3. [バッチ操作]ページで、以下の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

バッチ操作 オプション

AIノイズ除去の結果を表示しない ノイズ除去の完了時に結果が出力されないようにするには、このチェックボックスをオンにします。

AI超解像の結果を表示しない AI超解像の完了時に結果が出力されないようにするには、このチェックボックスをオンにします。

一括リネームの結果を表示しない 一括リネームの完了時に結果が出力されないようにするには、このチェックボックスをオンにします。

一括AI超解像 オプションの設定

一括AI超解像工具を使用すれば、複数の画像を一度に強化することができます。

複数の画像を強化するには：

1. 管理モードで、1つまたは複数の画像を選択し、ツール | 一括 | **AI超解像** | **AI超解像...** をクリックするか、または **Shift + S** を押します。
2. 一括AI超解像ダイアログボックスでは、画像を強化する複数の方法から選択できます。パーセンテージ、ピクセルサイズ、印刷サイズ、ロングエッジ、ショートエッジのいずれかを選択します。以下の表の指示に従ってください。
3. **オプション**をクリックして、画像の保存方法を指定します。
4. **強化**をクリックします。



プリセットドロップダウンの横にある保存アイコンをクリックすると、強化設定をプリセットとして保存できます。そこから名前を入力し、**OK**を押します。プリセットを削除するには、ゴミ箱アイコンを押します。



キーボードショートカットのカスタマイズ トピックの方向に従うことで、複数の画像の強化処理を高速化するショートカットを割り当てることができます。

サイズ変更 オプション

リサイズ方法	セッティング	説明
パーセント		
	幅	画像の新しい幅を、元の画像に対するパーセンテージで入力します。
	高さ	元の画像に対する割合として、画像の新しい高さを入力してください。
	オリジナルのアスペクト比を維持する	元画像の縦横比を維持するには、このボックスにチェックを入れます。
ピクセルサイズ		
	幅	画像の新しい幅をピクセル単位で入力してください。
	高さ	画像の新しい高さをピクセル単位で入力してください。
	リサイズ	画像の拡大縮小方法を選択します。以下のオプションからいずれかを選択してください。 • 拡大または縮小: すべての画像を、指定した高さと幅にリサイズします。 • 拡大のみ: 指定した高さと幅よりも小さい画像のみをリサイズします。 • 縮小のみ: 指定した高さと幅よりも大きい画像のみをリサイズします。
	オリジナルのアスペクト比を維持する	元画像の縦横比を維持するには、このボックスにチェックを入れます。
	収まる	指定した幅に基づいて縦横比を維持するかどうかを指定します。異なる組み合わせが画像にどのように影響するかについての詳細は、 ピクセルリサイズのオプションと結果の動作 を参照してください。
プリントサイズ		
	幅	画像の新しい幅をピクセル単位で入力します。
	単位	インチ、 cm (センチメートル)、 mm (ミリメートル)、ピクセルからお選びください。
	高さ	画像の新しい高さをピクセル単位で入力します。
	決議	画像の解像度をピクセル/インチで入力します。
	リサイズ	画像の拡大縮小方法を選択します。次のオプションのいずれかを選択します: • 拡大のみ: 指定した高さおよび幅よりも小さい画像のみをリサイズします。 • 削減のみ: 指定された高さと幅よりも大きい画像だけをリサイズします。 • 拡大または縮小: すべての画像を指定された高さと幅

リサイズ方法	セッティング	説明
		にリサイズします。
	オリジナルのアスペクト比を保持	元の画像の幅と高さの比率を維持するには、このボックスにチェックを入れます。
	フィット・イン・サイズ	指定した幅に基づいて縦横比を維持するかどうかを指定します。異なる組み合わせが画像にどのように影響するかについての詳細は、 ピクセルリサイズのオプションと結果の動作 を参照してください。
ロングエッジ		
	サイズ	サイズを単位で入力し、ドロップダウンメニューから単位を選択します。そこで、インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、ピクセルから選択できます。
	決議	画像の解像度をピクセル/インチで入力します。
ショートエッジ		
	サイズ	サイズを単位で入力し、ドロップダウンメニューから単位を選択します。そこで、インチ、cm(センチメートル)、mm(ミリメートル)、ピクセルから選択できます。
	決議	画像の解像度をピクセル/インチで入力します。
オプション		
	出力場所	オプションから出力先を選ぶ: ・ ソースフォルダと同じ: 強化されたファイルを、元のフォルダに貼り付けます。 ・ 特定のフォルダ: 出力ファイルの特定のフォルダに移動するには、フォルダアイコンを使用します。 ・ サブフォルダの作成: 出力先を選択した状態で、このチェックボックスをオンにすると、拡張画像用のサブフォルダが作成されます。ボックスに名前を入力します。これは、特定のサイズに複数回一括変更する場合に便利です。強化したファイルを別々のフォルダに保存できます。
	ファイルオプション	既存のファイルを上書き: ファイルを上書きする際のデフォルトのアクションを設定します。 ・ を尋ねる: ファイルを上書きする前に確認を求める。 ・ スキップ: 上書きされるファイルをスキップします。 ・ 名前の変更: 完了: 出力が完了すると、新しいファイルの名前変更ダイアログが表示されます。 ・ 交換: 元のファイルを新しい強化ファイルで置き換えます。 最後に変更された日付を保存: 最後に変更された日付を強化ファイル出力に保存するかどうかを切り替えます。 メタデータを保存: メタデータを強化ファイル出力に保存するかどうか

リサイズ方法	セッティング	説明
		うかを切り替えます。
		データベース情報を保存します：データベース情報を強化ファイル出力に保存するかどうかを切り替えます。

ACDSee をデフォルトの写真ビューアとして設定する

ACDSee 究極を2回目に開いたとき、ACDSeeをデフォルトの写真ビューアとして設定するかどうかを尋ねるダイアログが表示されます。プロンプトに従ってデフォルトの写真ビューアを変更します。このダイアログが表示されない場合は、以下の手順を実行します。

ACDSee をデフォルトの写真ビューアとして設定する方法：

1. どのモードであっても、**ツール | オプション...**をクリックします。
2. オプションダイアログで、**一般**の下にある**デフォルトの写真ビューア**を選択します。
3. **デフォルトに設定...**をクリックして、ACDSeeをデフォルトの写真ビューアとして設定します。

管理モードオプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、既定の開始フォルダなど、管理モードのための様々なオプションを設定することができます。

管理モードオプションを設定するには：

1. いずれかのモードで、**[ツール] | [オプション...]**をクリックします。
2. オプションダイアログボックスの**[管理モード]**をクリックします。
3. 管理モードページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **[OK]**をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

管理モードオプション

起動時の動作

起動時

起動時に管理モードを開く際の動作を4つの中から選択します:**ACDSee ホームページを開く**、**開始フォルダを開く**、**最後のアクティブなタブを再度開く**、**以前のすべてのタブを再度開く**。

開始フォルダ

新しいタブが開く場所を指定します。**[参照]** ボタンをクリックして、ハードディスク上の開始フォルダを指定します。**[起動時]** オプションで **[開始フォルダを開く]** が選択されている場合、起動時に常に指定した開始フォルダで管理モードが開きます。

表示テーマ

ACDSee で使用する配色を指定します。

終了時に履歴パスをクリアする

ACDSee の終了時に毎回、最近使用したフォルダの一覧をクリアします。

タイトルバーに完全なパスを表示する

ACDSee のタイトルバーに画像の完全なパスを表示します。

タイトルバーにデータベースのファイル名を表示する

ACDSee が現在実行しているデータベース名をタイトルバーに表示します。

フォルダツリー

表示密度

フォルダツリーの表示の凝縮度を設定します。

【+】を使用してフォルダツリーを展開

フォルダツリーにある展開可能な項目の横に【+】マークを表示します。

エラー報告

ACDSee にエラーが発生した際にシステムエラー レポートを表示させたくない場合は、このオプションを選択します。

スキャン保存先

[フォルダの参照] ボタンをクリックして、スキャンした画像の保存先を指定します。

ACDSee ホームページオプションの設定

ACDSee ホームページオプションダイアログの設定を調整して、データベース内での**最近変更されたファイル**および**最近追加されたファイル**の検索方法を制御できます。

ACDSee ホームページオプションにアクセスするには:

1. 任意のモードで、**[ツール] | [オプション...]** をクリックします。
2. **[オプション]** ダイアログボックスで、**[ACDSee ホームページ]** をクリックします。
3. **[ACDSee ホームページオプション]** ページで、以下のオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更を適用し、ACDSee に戻ります。

ACDSee ホームページオプション

最近変更された期間:

最近変更されたファイルを表示する期間を選択します。

オプションは次のとおりです:

- 1日
- 3日
- 1週間
- 2週間
- 1ヶ月
- 3ヶ月
- 6ヶ月
- 1年

最近追加された期間:

最近追加されたファイルを表示する期間を選択します。

オプションは次のとおりです:

- 1日
- 3日
- 1週間
- 2週間
- 1ヶ月
- 3ヶ月
- 6ヶ月
- 1年

検索条件:

最近追加されたファイルの検索をどのように計算するか指定します。

オプションは次のとおりです:

- 撮影日: EXIFの「元の撮影日時」を使用します。EXIFの「元の撮影日時」がないファイルの場合は、「Windowsの作成日時」を使用します。
- データベースへの追加日: 「ACDSee インポート日」を使用します。

クイックサーチオプションの設定

クイックサーチオプションを使用することで、検索を細かく絞り込むことができます。

クイックサーチオプションの設定方法:

1. 管理モードをクリックし、ツール | オプション...をクリックします。
2. オプションダイアログボックスで、管理モード | クイックサーチをクリックします。

3. クイックサーチページで、以下に説明するクイックサーチオプションを設定したり変更したりします。
4. **OK**をクリックして、変更を適用してACDSeeに戻ります。

検索フィールド	説明
ファイル名を含める	検索語句で始まるファイル名とフォルダ名を検索します。
ACDSeeのメタデータおよびIPTCフィールドを含める	ACDSee メタデータフィールド(キャプション、作者、ノート、カラーラベルなど)およびIPTCフィールド(タイトル、見出し、説明、人物、キーワード、作成者、都市、ロケーション、州/県、国、指示など)を検索します。
ACDSeeのカテゴリを含める	検索用語と一致するACDSeeカテゴリを検索し、それらのカテゴリに割り当てられているファイルを返します。サブカテゴリは含まれません。
ACDSeeのキーワードを含める	検索用語と一致するACDSeeキーワード(サブキーワードも含む)を検索します。
ACDSee AIキーワードを含める	サブキーワードを含む、検索語に一致する ACDSee AIキーワードを検索します。
人を含める	表示するモードで顔検出を使用して名付けられた画像内で検索される人物です。
人を検索	説明
割り当てられた名前	クイック検索バーを使用して検索すると、ACDSeeは顔検出を使用して名付けられた写真を返します。
提案された名前:	クイック検索バーを使用して検索すると、ACDSeeはACDSeeによって提案された(あなたによって確認されていない)名前の写真を返します。
割り当てられた名前と提案された名前の両方:	クイック検索バーを使用して検索すると、ACDSeeは割り当てられた名前と提案された名前の両方を検索結果として返します。
検索結果	説明
フォルダーの内容を返す	検索結果にフォルダーがあるかどうかをチェックし、選択した場合、フォルダーの内容も検索結果に追加します。



検索フィールドを少なくとも1つ選択する必要があります。変更をこれらのオプションに保存するために。

[顔の検出と認識]オプションを設定する

顔検出のオンとオフを切り替えたり、顔検出のやり直しのトリガーを設定したり、コンピューターが休止状態のときにACDSeeインデクサーが顔検出を実行できるようにしたりすることができます。

顔検出オプションは以下の手順で設定します:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[顔検出]をクリックします。
3. [顔検出]のページで、下記の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. **[OK]**をクリックします。

顔検出オプション

顔検出

画像内の顔を自動的に検出します

このオプションを切り替えて、顔検出を有効にします。このオプションを有効にすると、管理モードでの閲覧中に見つかるファイル内で顔検出が実行されます。表示モードでは、顔検出は開いている画像でのみ実行されます。画像内で顔検出が実行されると、検出情報はデータベースに保存されます。したがって、このオプションを無効にしても、既に検出された顔については、顔の概要と名前(名前が付けられている場合)が表示モードで引き続き表示されます。顔に付けた名前を使用して検索することもできます。

PCがアイドル中、ACDSeeインデクサーで顔検出する許可を顔検出に与えましょう。

ACDSeeインデクサーが実行できるよう顔検出を有効にすることができます。ACDSeeインデクサーを使用すると、コンピューターが休止状態でACDSeeが実行されていない間に、顔検出プロセスを実行できます。こうすることで、すべてのフォルダを参照しなくて済みます。

閲覧中に、最後に顔検出を実行してから変更された画像に対して顔検出を自動的に再実行します。

画像の閲覧または編集中に最後に顔検出を実行してから変更された画像に対して顔検出を自動的に再実行できるようにするには、このオプションを切り替えます。

顔認識

顔認識を有効にする

このオプションを切り替えると、顔認識が有効になります。このオプションを有効にすると、以前の画像で名前を付けた顔に基づいてACDSeeが個人の認識を試みます。

ACDSeeが同一人物を認識するために必要となる類似した顔二種類を、スライダを使用して設定します。

適度: デフォルトで設定されており、誤った名前を追加しすぎずに、ほとんどの顔に名前を付けるよう最適化されています。

強め: 似ていない顔も同一人物として認識されます。このオプションは、写真コレクションに少数の人物しか映っておらず、各人のポーズ、照明、フィルムの品質が多岐にわたる場合に役立ちます。名前が間違っていることが多くなる恐れがあります。

控えめ: 非常に似ている顔を同一人物として認識します。このオプションは、写真のコレクションに大勢の人物が映っており、特に、近親者など身体的特徴が似通っている人物が映っている場合に役立ちます。名前が間違っていることは少なくなります。手動で名前を付ける必要がより頻繁に生じる可能性があります。



自動ネーミングを有効にするオプションが有効になっている場合、特に顔認識機能が初めて人物を検出した場合には、3つの設定すべてが不正確な名前を付ける結果となる可能性があります。手動で修正できる範囲を超えるほど誤った名前が付けられる場合は、顔認識を無効にして、写真コレクション内の各人物の顔を数枚手動で名前付けします。その後、顔認識を再度有効にして、必要に応じて、ファイルの選択 または図書館全体 で顔認識を再度実行します。

自動ネーミングを有効にする

このオプションを切り替えて、**自動命名**をオンまたはオフにします。

無効: 無効の場合、写真館は顔に自動的に名前を割り当てないので、名前の付け方を完全に制御できます。顔検出は、すでに名前を付けた顔に基づいて候補を提供します。

有効: 有効にすると、写真館は、すでに名前を付けた顔に基づいて、顔に自動的に名前を割り当てます。

すべての顔データを削除

顔の輪郭、名前、顔検出がファイルで実行されたかどうかに関する情報など、顔検出と認識に関連するデータすべてをデータベースから削除します。この操作を実行するには、ACDSeeを再起動する必要があります。

顔認識を再実行

手動で名前を付けていない顔で顔認識を再試行して、ACDSeeが顔に割り当てた誤った名前を修正することができます。この動作を実行すると、ACDSeeの顔認識が割り当てた名前すべてがクリアされますが、手動で入力された名前は残ります。続いてACDSeeは、手動で入力した名前に基づいて、名前の付いていない顔の認識を試みます。



自動ネーミング機能は、自動ネーミングオプションが有効になっている場合のみ使用できます。

AIキーワードオプションの設定

AIキーワードの自動スキャンのオンとオフを切り替えたり、コンピューターのアイドル時にAIキーワードがキーワードを検出できるようにしたり、ブラウジング中に変更が発生した後に画像に対してAIキーワードを再実行したりできます。。

AIキーワード オプションを設定するには:

1. いずれのモードでも、[ツール] をクリックします。オプション...
2. [オプション] ダイアログ ボックスで [AIキーワード] をクリックします。
3. [AIキーワード] ページで、以下の説明に従ってオプションを設定または変更します。
4. **OK** をクリックします。

AIキーワード オプション

走査

画像内のキーワードを自動的に検出します。

このオプションを選択すると、閲覧中にAIキーワードが画像内のキーワードを自動的に検出できるようになります。

コンピュータがアイドル状態のときに、**ACDSee Indexer** を使用してAIキーワードがキーワードを検出できるようにします。

このオプションを選択すると、コンピュータがアイドル状態のときに、AIキーワードがACDSee Indexerを使用して画像のキーワードを自動的に検出できるようになります。

閲覧中に、AIキーワードが最後に実行されてから変更された画像に対してAIキーワードを自動的に再実行します。

画像の閲覧または編集中に最後にAIキーワードを実行してから変更された画像に対してAIキーワードを自動的に再実行できるようにするには、このオプションを切り替えます。

プロンプト

プロパティペインの【整理】タブで画像からAIキーワードを削除するときにプロンプトを表示しません。

選択すると、[プロパティ] ペインの【整理】タブで画像からAIキーワードを削除するときに確認を求めるメッセージは表示されません。

ファイル一覧ペイン オプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペインのオプションを設定することでユーザーの好みに合わせたカスタマイズが可能です。例えば、アーカイブファイルをサブフォルダでグループ化したり、異なる背景色を使用して画像タイプを強調することができます。サムネイル、ファイル種類のACDSee究極表示をカスタマイズしたり、ACDSee究極でのファイル一覧ペインでのファイルやサムネイルの取り扱い方を調整したりすることもできます。

ファイル一覧ペイン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[ファイル一覧]をクリックします。
3. 「ファイル一覧」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ファイル一覧オプション

ファイル一覧

新規ファイルを自動的に選択する

ファイル一覧ペインに表示されているフォルダに新規ファイルが追加された際、新規ファイルを自動的に選択します。

アーカイブをフォルダでグループ化する

ファイル一覧ペインで項目を並べ替える際、アーカイブファイルをフォルダとして扱います。

埋め込まれたサムネイルを使用する

RAW ファイルにサムネイルが埋め込まれている場合、これらのサムネイルがファイル一覧ペインに表示されます。

高画質のサムネイルを作成する

このオプションが選択されると、まず RAW ファイルに埋め込まれているサムネイルがファイル一覧ペインに表示され、その後高画質のサムネイルに置き換えられます。

フォルダにサムネイルを表示する

ファイル一覧ペインにあるフォルダアイコンに、コンテンツのサムネイルを表示します。

各フォルダの並べ替え設定を保存する

特定フォルダで使用した並べ替え設定を ACDSee 究極で保存する場合は、このオプションを選択します。

<Ctrl> キーがホットトラッキングを有効にします

Ctrl キーを押したままにすると、ホットトラッキングがオンになります。ホットトラッキングとは、**Ctrl** キーを押しながら管理モードで画像にカーソルを合わせると、個々の画像をクリックしなくても、[プレビュー]ペインと[プロパティ]ペインのコンテンツが更新されることを意味します。

アニメーションを使用する

特定機能を開いたり、閉じたりする際にアニメーションを有効あるいは無効に設定します。例として、グループヘッダーがあります。

フィルタの設定

すべてのファイルを表示する

ファイル一覧に画像ファイル、フォルダ、メディアファイル、アーカイブファイルを表示します。

フィルタ適用の条件

以下のファイルの種類から、選択されたもののみを表示します。

- 画像ファイルの表示
- フォルダを表示
- メディアファイルの表示
- アーカイブファイルの表示

隠しファイルとフォルダを表示する

通常隠しファイルとして設定されているシステムファイルとその他のファイルを表示します。

THM ファイルを表示する

ファイル一覧に Canon THM ファイルを表示します。

XMP ファイルを表示する

ファイル一覧に XMP サイドカーファイルを表示します。

画像ファイルのハイライト

画像ファイルをハイライトしない

「詳細」および「サムネイル+詳細」表示モードで画像ファイルをハイライトしません。

画像 ファイルをシングルカラーでハイライトする

「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードの、すべての画像 ファイルをシングルカラーでハイライトします。

画像 ファイルをマルチカラーでハイライトする

「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードの、すべての画像 ファイルをマルチカラーでハイライトします。

ポップアップ

マウスのカーソルを項目の上に合わせたときにポップアップを表示する

ファイル一覧のサムネイル上にマウスを置いた際、アニメーションのポップアップのプレビューを表示するか、表示しないかを指定します。

以下の設定でポップアップに画像やテキストを含むかどうかを指定することができます。このオプションをオフにすると、以下の設定ではShiftキーを押し続けることでのみポップアップを有効にします。

<Shift> キーでポップアップを有効にする

ファイル一覧で、マウスカーソルをファイル一覧のサムネイル上に合わせた状態でShiftキーを押し続けた場合にのみ、ポップアップが有効になります。Shift キーでファイルを選択しづらくなる場合には、このオプションをオフに設定します。

ポップアップを自動的に隠す

画像上にマウスのカーソルが置かれていても、ポップアップは5秒表示された後、非表示となります。

サムネイルのポップアップを表示する

マウスが置かれると、ファイル一覧に画像のポップアッププレビューを表示します。

ポップアップに情報を表示

ポップアップにテキスト情報を表示します。[ファイル情報の設定...] ボタンをクリックして必要なポップアップ情報を選択することで、表示する情報を選択できます。

ファイル情報の設定

[ポップアップ情報の選択] ダイアログが開かれ、ファイル一覧のサムネイル上にマウスを置いた際に表示される情報を選択できます。ファイル名、場所、サイズ、更新日時、画像サイズが既定として設定されていますが、ACDSee メタデータ、EXIF、ファイル、画像、IPTC、マルチメディアなどの属性も選択できます。

既定の右クリックメニューとして、Windows エクスプローラのショートカットメニューを表示する

ACDSee 究極のコンテキストメニューの代わりに、既定のWindowsエクスプローラのコンテキストメニューを表示します。

サムネイル情報オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、[ファイル一覧]ペイン内で画像のサムネイルと共に表示する情報を変更することができます。これらのオプションは、[ファイル一覧]の[サムネイル情報]で設定されています。

サムネイル情報オプションを設定するには:

1. [管理]モードで、[ツール]から[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスの [ファイル一覧] から [サムネイル情報] をクリックします。
3. [サムネイル情報] のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

サムネイル情報オプション

情報

ファイル名	ファイル一覧ペインでサムネイルのファイル名を表示します。
サムネイル表示情報の選択	ダイアログ ボックスを開き、ファイル一覧ペインで表示されるサムネイル情報を選択します。
タイル表示情報の選択	ダイアログ ボックスを開き、「タイル」表示モードで表示される情報を選択します。
ホバーしたときに、重要度なし、タグなし、ラベルなしのオーバーレイアイコンを表示する	ホバーしたときに、重要度なし、タグなし、ラベルなしのオーバーレイアイコンを表示します。

オーバーレイアイコン

オーバーレイアイコンを表示するには、[\[ファイル一覧ペインでファイルを参照\]](#)に移動します。

重要度	ACDSee 究極データベースで、重要度のついたファイルのサムネイルに、重要度のオーバーレイアイコンを表示します。
埋め込み保留中	メタデータ情報が追加されACDSee 究極データベースに保存されているものの、まだファイルには書き込まれていないファイルのサムネイルに、データベースオーバーレイアイコンを表示します。このアイコンはファイルとデータベースが同期されていないことを意味します。
アイコン	ファイル一覧ペイン内のサムネイルに、ファイル フォーマットのオーバーレイアイコンを表示します。
カテゴリ	カテゴリが設定されているファイルのサムネイルに、カテゴリのオーバーレイアイコンを表示します。
コレクション	ファイルがコレクションに追加されている場合、サムネイルにコレクションのオーバーレイアイコンが表示されます。
ショートカット	アイテムが別のファイルへのショートカットである場合、サムネイルにショートカットのオーバーレイアイコンを表示します。
オフライン	ファイルがオフラインのデバイスに保存されている場合、サムネイルにオフラインのオーバーレイアイコンを表示します。
除外された項目	ACDSee 究極データベースからファイルが除外されている場合、サムネイルに[除外されたファイル]アイコンを表示します。
タグの付いた項目	サムネイルにタグの付いたオーバーレイアイコンを表示します。ファイルにタグが付いている場合、アイコンにチェックマークが表示されます。
自動回転	ファイルが自動回転された場合、サムネイルに自動回転のオーバーレイアイコンを表示します。
編集済み	編集されたファイルのサムネイルに、編集のオーバーレイアイコンを表示します。
現像済み	現像されたファイルのサムネイルに、現像のオーバーレイアイコンを表示します。
ジオタグ済み	位置情報が付けられたファイルのサムネイルに、マーカーのオーバーレイアイコンを表示します。

ラベル	ラベルが付けられたファイルのサムネイルに、カラーラベルのオーバーレイアイコンを表示します。
スナップショット	ファイルに現像スナップショットが添付されている場合、サムネイルにスナップショットのオーバーレイアイコンが表示されます。

サムネイルのスタイル オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内に表示された画像のサムネイルの表示方法を変更できます。これらのオプションは、[ファイル一覧]>[サムネイルのスタイル]の下で設定されています。

サムネイルのスタイル オプションを設定するには:

1. [管理]モードで、[ツール]から[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[ファイル一覧] から [サムネイルのスタイル] をクリックします。
3. 「サムネイルのスタイル」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

サムネイルのスタイル オプション

サムネイルのフレーム	
ドロップシャドウの表示	サムネイルに3Dのドロップシャドウを追加します。
スライド背景の表示	サムネイルとその情報の背景に、シェードの付いた背景を表示します。
フォルダのスタイル	
XP スタイル	Microsoft XP for Windowsのスタイルでフォルダを表示します。
3D スタイル	透明度の付いた3Dスタイルでフォルダを表示します。
サムネイルの比率	
カスタム	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルの縦横比をカスタム設定します。スライダをドラッグして比率を設定します。スライダを動かすと、プレビューの形が変化します。
縦	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、縦向き標準縦横比 3:4 を指定します。
横	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、横向き標準縦横比 4:3 を指定します。
サムネイルの間隔	
スライダ	各サムネイル間の間隔を増減します。
高画質な拡大縮小	
ファイル一覧ペイン内のサムネイルを高画質で拡大縮小して表示します。	

詳細表示オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内のサムネイルの表示方法を指定することができます。

詳細表示オプションを変更するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[ファイル一覧] > [詳細表示] をクリックします。
3. 「詳細表示」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

詳細表示オプション

グリッド線を表示	詳細表示モードで各行と列をグリッド線で分けます。
全行を選択	その行の列エントリをクリックすると、その行全体が選択されます。
列の自動幅	各列を内容に合わせて自動でリサイズします。
ソート列をハイライト	列のタイトルをクリックすると、ファイルをソートする列が強調表示されます。
詳細を選択	詳細表示モードでファイルをソートする列を指定します。

プレビューペインオプションを設定する

プレビューペインでは、ACDSee 究極 の画像の表示方法を指定することができます。また、プレビューペインでオーディオやビデオファイルを閲覧するとき、自動再生するように設定することも可能です。

プレビューオプションを設定するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [管理] モードで、[ツール] > [オプション] > [プレビュー...] をクリックします。
 - [管理] モードで、プレビューペイン内の任意の場所を右クリックし、[プレビューオプション]を選択します。
2. 「プレビュー」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
3. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

プレビューオプション

ディレイ	ファイル一覧ペインで画像を選択した後、プレビュー ペインに画像が表示されるまでの時間を指定します。
サイズ	選択された画像に対するプレビュー画像のサイズを指定します。
オーディオおよびビデオ クリップのプレビュー	ファイル一覧ペインで選択されたメディア ファイルのプレビューを表示します。
オーディオおよびビデオ クリップの自動再生	プレビュー ペインでオーディオまたはビデオ クリップを自動再生します。
画像プレビュー	画像がデコードされる際、高画質のインスタントプレビューを表示します。
画像と情報	次のいずれかを選択します。 ● 画像の表示: プレビュー ペインに、選択した画像のプレビューを表示します。 ● 情報の表示: プレビュー ペインに、選択した画像の情報を表示します。 ● ヒストグラムの表示: 選択した画像のヒストグラムを表示します。
プレビュー情報の選択	プレビュー ペインで表示する情報の種類を指定します。詳細については、 [画像のプレビュー] の項を参照してください。

フォルダペインオプションを設定する

イージーセレクト バーの表示 / 非表示、アーカイブの表示、隔離フォルダ識別を設定し、フォルダペインをカスタマイズすることができます。

フォルダ ペインをカスタマイズするには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[フォルダ] をクリックします。
3. 「フォルダ」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

フォルダ ペイン オプション

イージーセレクト	
イージーセレクトを表示する	複数のフォルダを選択する際に便利なイージーセレクトバーをフォルダペインに表示します。
イージーセレクトのワンポイントを有効にする	イージーセレクトバーにマウスポインタを合わせると、ツールチップが表示されます。
フォルダ表示	
フォルダ ペインにアーカイブを表示する	フォルダペインにアーカイブ ファイルを一覧表示します。
フォルダ ペイン内で、ドラッグ & ドロップをする際に確認する	フォルダペイン内でフォルダが移動される際に、確認メッセージを表示します。
除外されたフォルダのオーバーレイ アイコンを表示する	ACDSee 究極データベースから除外されたフォルダにオーバーレイアイコンが表示されます。

カタログ ペイン オプションを設定する

カタログ ペインのオプションを使って、カテゴリの割り当て作業中に確認メッセージを表示するかの選択や、イージーセレクトバーの表示/非表示などを指定することができます。

カタログ ペイン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[カタログ] をクリックします。
3. 「カタログ」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK]をクリックします。

カタログ オプション

カテゴリの削除	
カテゴリにファイルが割り当てられているか確認する	割り当てられたファイルを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
カテゴリにサブ カテゴリが含まれているか確認する	サブカテゴリを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
ファイルの削除	
カテゴリからファイルを削除する際に確認する	カテゴリからファイルを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
イージーセレクト	
イージーセレクトを表示する	複数の [カタログ]、[スペシャル アイテム]、[重要度] を選択することができるイージーセレクト バーが、カテゴリ ペインに表示されます。
イージーセレクトのワンポイントを有効にする	イージーセレクト バーにマウスポインタを合わせると、ツールチップが表示されます。
アイコン	
カテゴリ、重要度、カラーラベル、スペシャル アイテム用にアイコンを表示する	カテゴリ、重要度、カラーラベル、スペシャル アイテムのアイコンが表示されるため、これらの適用されたファイルが識別しやすくなります。
カテゴリ、重要度 カラーラベル、特別項目用にアイコンを表示する	カタログ ペインでカテゴリ、重要度、カラーラベルを設定可能にします。

カレンダー ペイン オプションを設定する

ACDSee 究極のカレンダーをカスタマイズすると、各週を特定日で開始させたり、12 時間または 24 時間時計を使用したり、ファイルを並べ替える際に使用する日付の種類を選択したりすることができます。

カレンダー ペイン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [カレンダー] をクリックします。

3. 「カレンダー」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

カレンダー ペイン オプション

日付の種類	
データベースの日付	ACDSee 究極データベースに保存されている日付に基づいて、カレンダーペインのファイルを並べ替えます。
撮影日	各項目のEXIFの日付に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
ファイル更新日時	各項目の最終更新日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
ファイルの作成日時	各項目がコンピュータで作成された日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
フィルタ	
アドバンス ファイラー 一覧 フィルタの適用 (フォルダの除外)	ファイラー 一覧 ペインでの現在の フィルタ設定 内容に基づいて、カレンダー ペインに表示されたアイテムをフィルタします。
画像とメディア ファイルのみ表示	画像、オーディオ、ビデオ ファイルのみをカレンダー ペインで表示します。
週の始まり	
カレンダー ペインで使用する週の開始日を指定します。	
時計の表示形式	
12時間	カレンダー ペインで12時間時計を使用します。
24時間	カレンダー ペインで24時間時計を使用します。

CD/DVD管理 オプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用して フォトディスクを識別する際に優先して適用する方法を設定できます。

Burn Basketや 変更するには以下の手順を実行します:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで **[CD/DVD管理]** をクリックします。
3. 「CD/DVD管理」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

CD/DVD管理 オプション

フォトディスクのID

ディスクのボリューム ラベルを使用する	ディスクのボリュームラベル別にフォトディスクを識別します。マルチセッションのフォトディスクで作業 する場合には、この設定を選択します。
ディスクのシリアル番号を使用する	ディスクのシリアル番号別にフォトディスクを識別します。シングルセッションのフォトディスクで作業 する場合、あるいは ACDSeeの以前のバージョンからフォトディスクをインポートまたは変換する場合には、この設定が推奨されます。

プロパティペイン オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、プロパティペインのメタデータ タブに表示 する情報をカスタマイズすることができます。

プロパティ ペインにメタデータ タブを追加するには:

1. [管理] モードで、[ツール] から[オプション...] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [プロパティ ペイン] をクリックします。
3. [プロパティ ペイン] ページから、[タグ、重要度、カラーラベルを表示 する] のチェックボックスをオフにします。
4. チェックボックスをオフにして、カテゴリを非表示にします。
5. [メタデータ表示の管理] をクリックして[表示 するメタデータの選択] ダイアログボックスを表示します。
6. [+] マークをクリックしてツリーを展開し、希望する項目を選択します。
7. [OK] をクリックします。
8. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。



プロパティペインの メタデータタブにある [メタデータの表示] ドロップダウンリストをクリックして、[メタデータ表示の管理] を選択することもできます。

ファイル管理 オプションを設定する

ACDSee 究極でファイルやフォルダの名前を変更・削除する方法を指定できます。またACDSee 究極にてデフォルトで削除したファイルをデスクトップのごみ箱に送信 するかどうか設定できます。

ファイル管理オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [ファイル管理] をクリックします。
3. 「ファイル管理」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ファイル管理 オプション

確認

以下のオプションを使用すると、フォルダーまたはファイルの削除時に確認ダイアログを表示できます。

Windows 8以降を使用している場合、Windowsの設定がACDSeeの設定を上書きまたは確認します。このダイアログの設定を有効にするには、ごみ箱のプロパティ設定で有効にする必要があります。

- フォルダの削除を確認する
- ファイルの削除を確認する

重複ファイルの上書き

確認する	ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。
名前の変更	ファイルを移動またはコピーする際に、ソースファイルの名前を変更することによって、名前の重複を自動的に対処します。ファイル名の自動変更システムでファイル名を分離する際に使用する文字を[分離文字]フィールドに入力します。
置換する	確認メッセージを表示せずに、指定したフォルダのファイルを自動的に上書きします。
スキップする	ファイル名が重複した場合、上書き、移動、コピーのいずれも実行されません。

オリジナルの保存

一括編集ツールの1つを使用して編集が行われる際、オリジナル ファイルを保存します。そのため、編集を行った後に気が変わり、元のファイルに戻したい、という場合に対応することができます。このオプションをオフに設定すると、一括編集ツールを使用する際、オリジナル ファイルが保存されないため、復元不可能となります。ご注意ください。

現像および編集モードでは、このオプションがオフに設定されていても必ずオリジナル ファイルが保存されます。

その他

ファイル名をクリックして変更する	ファイル一覧ペインのファイル名をクリックするだけで、ファイル名を変更することができます。
ごみ箱を使用する	デスクトップのごみ箱に削除したファイルを保存します。このチェックボックスがオンになっていない場合、削除したファイルはハードディスクから完全に削除されます。
ファイルをコピーするときに、データベース情報を保持する	ファイルを別の場所にコピーしても、そのファイルのデータベース情報が同時に保存されます。



フォルダの削除、ファイルの削除、読み取り専用ファイルの名前変更、削除の確認につきましては、お使いのオペレーティングシステムの設定をご利用ください。

カラーマネージメント オプションを設定する

ACDSee 究極のカラーマネージメントのオプションを使うと、コンピュータ、モニタ、プリンタなどのデバイス間に生じるカラーマッチング問題を軽減できます。ACDSee 究極はモニタに割り当てられたカラープロファイルを自動的に検出します(オペレーティング システムで正しく設定されていることが必要)。カラーマネージメント用ハードウェア、ソフトウェアを使用してモニターのプロファイルを定期的にチェックすることをお勧めします。

カラーマネージメントの設定を変更する前に、各デバイス用のカラープロファイルが正確であるか確認してください。デバイスのソフトウェアにプロファイルが含まれていない場合は、デバイスの製造元、あるいはプロの印刷業者に問い合わせプロファイル入手してください。



カラーマネージメントは複雑な作業を伴います。カラーマネージメントシステムに慣れていない場合は、ACDSee既定のカラーマネージメント設定を適用することをお勧めします。

ファイル管理オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [カラーマネージメント] をクリックします。
3. 「カラーマネージメント」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [カラーマネージメントを有効にする] チェックボックスをオンにします。
5. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

カラーマネージメントオプション

有効

カラーマネージメントを有効にする

カラーマネージメントシステムをACDSee 究極と、こちらのダイアログボックスのフィールドで有効にします。

サムネイルに適用

サムネイルのカラーマネージメントを有効にします。

カラー マネージメント エンジン

ドロップダウン リストから使用するカラー マネージメント エンジンを選択します。

入力

既定の入力プロファイル

画像にICCプロファイルがタグ付けされていない場合に使用する既定のカラー プロファイルを指定します。

プロファイル詳細

現在 コンピュータに格納 されている、すべてのカラープロファイルの詳細が表示されます。スクロールして、sRGBなど特定の色空間用に指定されているカラープロファイルを探します。

ソフト ブルーフ

ソフト ブルーフを有効にする

モニターでブルーフをシミュレートしたいデバイスのプロファイルを選択することができます。プリンタのプロファイルをエミュレートするデバイスとして設定し、プリンタから出力されるであろうプレビューをモニタで確認することができます(ソフトブルーフ)。

エミュレートされたデバイスのプロファイル

エミュレートするデバイスを選択します。

レンダリングの方法

すべての色が出力デバイスの色空間に適合するわけではない場合の処理方法を選択します。オプションは次の通りです。

- **知覚:** 画像全体の色すべてを圧縮することによって、出力色空間外にある色を再マップします。出力色空間の境界では彩度が失われます。
- **彩度:** 色の彩度を保持しますが、色相と明るさが失われる可能性があります。画像が鮮やかで互いにコントラストをはっきりさせる必要があるグラフィックなど、ビジネスでの使用目的に最適です。
- **相対 カラーメトリック:** 色域外の色すべてを、色域内で最も近い色に置き換えます。出力デバイスのレンダリング可能範囲外の色は、出力デバイスの表示可能内の最も近い色に調整されます。
- **絶対 カラーメトリック:** 出力デバイスのレンダリング可能範囲外の色は、レンダリング可能な最も近い色に調整されます。ただし、ホワイトポイントは移動しないため、ホワイトポイントとの距離は変更されます。



[表示]、[現像]、[編集]モードで、ショートカット【ソフトブルーフの有効/無効の切り替え】を使用します。



一部のソフトブルーフのメニュー項目は、表示、現像、編集モードでも利用できます。[表示]>[ソフトブルーフ]の下で、[好みのレンダリング]を選択したり[ソフトブルーフ]を有効にしたりできます。

データベースオプションを設定する

[オプション] ダイアログ ボックスでは、アラームを設定したり、データベース情報をコントロールしたり、データベース ファイルやサムネイル キャッシュの保存先を設定したりすることができます。

データベース オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...] をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの[データベース] をクリックします。
3. 「データベース」のページで、下記を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

データベース オプション

データベース ファイル

ACDSee 究極 [データベース](#) が保存されているハードドライブ上の場所を表示します。

バックアップ アラームの表示

ACDSee 究極 データベースをバックアップするようアラームで自動的に知らせます。**すべての** ドロップダウンリストをクリックして、リマインダーを表示する頻度を選択します。

除外されたフォルダの管理

[除外されたフォルダ] 一覧のダイアログボックスを開き、ACDSee 究極 データベースから除外したいフォルダを指定します。

ACDSee メタデータの埋め込み リマインダーを表示する

ACDSee メタデータの埋め込みを知らせるリマインダーが表示されます。**すべての** ドロップダウン リストをクリックして、リマインダーを表示する頻度を選択します。

EXIFの日付にデータベースの日付を設定する

フォルダの内容をカタログ化する際、EXIFの日付がACDSee 究極 データベースへ自動で追加されます。



注意: データベースの日付を変更した場合は、[埋め込みが保留中](#)であることを示すアイコンは表示されません。

メタデータ

カタログ化された
ファイルから
EXIFとIPTCメ
タデータをイン
ポートする

フォルダの内容をカタログ化する際は常に、EXIFおよびIPTCの情報を自動的にACDSee 究極 データベースにインポートします。

このオプションが選択されない場合、ACDSee 究極はEXIFとIPTC情報をインポートしませんが、データベースの履歴内に格納します。空の履歴を削除するには、[データベースの最適化](#)を頻繁に行ってください。

ファイルへタグ付
けする時に【埋
め込み保留中】
を設定する

ファイルがタグ付けされると、データベースのオーバーレイアイコンを表示しますが、メタデータはまだファイルに書き込まれません。このアイコンはファイルとデータベースが同期されていないことを意味します。このオプションが無効の時は、カタログペインのスペシャルアイテムにある【埋め込み保留中】の下にタグ付けした画像は表示されません。

IPTCコンフリクト

IPTCキーワード
用に分離文字
のコンフリクトダイ
アログを表示す
る

分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTCキーワードダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更 / 調整します。

IPTCの補充カ
テゴリ用に分離
文字のコンフリク
トダイアログを表
示する

分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTC補充カテゴリダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更 / 調整します。

メディアモードのオプションを設定する

メインメニューから【ツール】>【オプション】の順に選択し、【オプション】ダイアログを開き、左側のリストから【メディアモード】を選択します。
【メディアモード】ペインのオプションには、次の2つのフィールドセットが含まれます。

- メディア、そして
- ポップアップ

メディア設定

データベースのオーファン ファイルを表示する	データベースのオーファンファイルを表示できるようにします。
管理モードに切り替えるときに最初に選択したファイルを参照する	管理モードに切り替えるときに最初に選択したファイルを参照する

ポップアップオプション

マウスのカーソルを項目の上に合わせたときにポップアップを表示する	マウスカーソルをホバーしてポップアップをアクティブにできるようにします。
<Shift> キーでポップアップを有効にする	Shift キーを押してポップアップをアクティブにできるようにするには、有効にします。
ポップアップを自動的に隠す	ポップアップを自動的に非表示にします。
サムネイルのポップアップを表示する	ポップアップに元の画像のサムネイル画像を表示できるようにします。
ポップアップに情報を表示	ポップアップに画像関連の情報を表示できるようにします。
情報の設定...	[ポップアップに情報を表示する]チェックボックスが有効になっている場合は、[情報の構成...] ボタンをクリックして、[ポップアップ情報の選択]ダイアログを開きます。使用可能な詳細は、現在表示されている詳細のリストに追加またはリストから削除でき、リスト内で上下に移動することもできます。

表示モードのオプションを設定する

[オプション] ダイアログ ボックスを使用して、表示モードの動作を自由に調整したり、画像を表示する速度を速めたりすることができます。

表示モード オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの [表示モード] をクリックします。
3. 「表示モード」オプションのページで、下記を参考にして表示モードオプションを変更または設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

表示モードオプション

デコード/キャッシュ**次の画像を前もってデコードする**

表示モードで表示される次の画像を自動的にデコードするため、ロードする時間の短縮に繋がります。

以前の画像をメモリに保存する

表示モードですばやく表示されるように、以前デコードした画像をメモリに保存します。

起動ファイル**一覧の画像を置換する**

画像が他のアプリケーションで表示されている場合、新規の表示モードウィンドウで表示しません。

画像を新規ウィンドウで表示する

他のアプリケーションで表示されている画像を、新規の表示モードウィンドウで開きます。

ドロップ ファイル**一覧の画像を置換する**

表示モードで表示されている画像の一覧を、他のアプリケーションから表示モードに移動した画像に置き換えます。

一覧に画像を追加する

他のアプリケーションから表示モードに移動した画像を、表示モードで既に表示されている画像の一覧に追加します。

常に手前に表示する

ACDSee 究極 ウィンドウを、重なったウィンドウ群の常に一番手前に表示します。

フルスクリーンにする

表示モードで、画像をフルスクリーンモードで表示します。(F キーを押してフルスクリーンモードを終了します。)

フルスクリーンでマウスポインタを隠す

フルスクリーンモードで、マウスポインタを非表示にします。

画像プレビュー

画像がデコードされる際、高画質のインスタントプレビューを表示モードに表示します。

ACDSee 究極 クイックビューを使う

選択すると、ACDSee 究極 が閉じている際のデフォルトの画像ビューアとして、ACDSee 究極 クイックビューが設定されます。

100%より拡大した場合にピクセルを表示する

100%を超えて拡大した画像にはリサンプリングは適用されません。このオプションが無効の場合、100%を超えて拡大した場合もリサンプリングを行って画像を滑らかにしますが、画像がぼける場合があります。

常に選択した自動レンズで開く

起動時に、ACDSeeを前回終了する前に選択していた自動レンズで画像を開きます。

削除/移動後に終了する

表示モードの画像を移動 / 削除した後に、自動的に管理モードに戻ります。

フォルダ内のすべての画像を表示する

フォルダ内のすべての画像が現行の画像の一覧に追加されます。

画像ファイルの完全なパスを表示する

表示モードのタイトルとステータスバーに、画像ファイルの完全なパスを表示します。

サブサンプル済画像のシャープネス

100%より小さくズームされた画像を、シャープネスを自動的に適用して表示します。

人物モードオプションを設定する

メインメニューから【ツール】>【オプション】の順に選択し、【オプション】ダイアログを開き、左側のリストから[人物モード]を選択します。

人物モードペインのオプションには、次の4つのフィールドセットが含まれます：

- 確認プロンプト
- サムネイルのスタイル
- フォルダペインのスタイル
- 無題のビューのスタイル

確認プロンプトオプション

すべての提案に対し、確認のプロンプトを表示しない	すべての提案を確認するときにプロンプトをオフにできるようにします。
すべての提案を拒否するときにプロンプトを表示しない	すべての提案を拒否するときにプロンプトをオフにできるようにします。
顔を削除するときにプロンプトを表示しない	顔を削除するときにプロンプトをオフにできるようにします。

サムネイルのスタイル オプション

顔のサムネイル	人物の顔が描かれたサムネイルを使用できるようにします。
アセットのサムネイル	アセットの元の寸法でサムネイルを使用できるようにします。

フォルダペインスタイルオプション

一覧	[フォルダ]ペインのデフォルトとしてリストビューを使用できるようにします。
ツリー	[フォルダ]ペインのデフォルトとしてツリービューを使用できるようにします。

名前のないスタイルオプション

未グループ化	名前のないビューの結果を並べ替えるためのデフォルトとして、 グループ化 されていないカテゴリを使用できるようにします。
グループ化	名前のないビューの結果を並べ替えるデフォルトとして、 グループ化された カテゴリを使用できるようにします。
ポップアップ オプション	
マウス カーソルを置くとポップアップがアクティブになります	マウス カーソルをホバーしてポップアップをアクティブにできるようにします。
<Shift> キーでポップアップがアクティブになります	Shift キーを押してポップアップをアクティブにできるようにします。
ポップアップを自動的に非表示にする	ポップアップの自動非表示を有効にします。
ポップアップにサムネイルを表示	元の画像のサムネイル画像をポップアップに表示できるようにします。
ポップアップに情報を表示	ポップアップに画像関連の情報を表示できるようにします。
情報の設定...	ポップアップに情報を表示するチェックボックスが有効になっている場合は、 情報を設定... ボタンをクリックして ポップアップを選択上情報 ダイアログ。利用可能な詳細は、現在表示されている詳細のリストに追加または削除でき、リスト内で上下に移動することもできます。

表示オプションを設定する

オプション ダイアログボックスを使用して、ウィンドウの背景を変更したり、ズームの方法を指定したりすることができます。

表示オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[表示] をクリックします。
3. [表示] オプションのページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

表示オプション

ズーム オプション

ズームモードの既定値	表示モードで表示される画像用に、 <u>ズームレベル</u> の既定値を指定します。
画像の変更時に、ズーム レベルを既定値にリセットする	表示される画像が変更されるたびに、ズームモードを指定した既定値にリセットします。
サイズ変更	設定されたオプションに基づいて画像のサイズを変更します。これらの選択肢がどのようにビューアに影響するかについての詳細は、 <u>画像を自動的に拡大/縮小する</u> をご覧ください。

パンツール

クリックズームを使う	このオプションが有効の場合、マウスのクリックで、既定の表示サイズと原寸表示を切り替えます。

パンニング速度

低速 - 高速	画像をパンする際の速度を指定します。

背景

既定色	表示、現像、編集モードの背景にデフォルトのACDSee究極色を使います。
カスタム色	表示、現像および編集モードの背景に使用する色を指定します。
並列画像	表示、現像および編集モードの背景に並列画像を使用します。 [参照] をクリックして、ハードディスク上にある画像を選択します。



背景色と並列画像のオプションは、フルスクリーンモードには反映されません。



ACDSee クイックビューの背景色を変更するには、クイックビューで画像を開き、**[ツール]**メニューから**[オプション]**をクリックします。

現像および編集モードオプションの設定

オプションダイアログボックスを使用して、現像および編集モードのオプションを設定することができます。

現像および編集モードのオプションを設定するには：

1. いずれかのモードで、**[ツール] > [オプション...]**をクリックします。
2. オプションダイアログボックスで、**[現像モード]**または**[編集モード]**をクリックします。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. **[OK]**をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

現像および編集モードオプション

編集

フィルタ メニュー ペインのアイコンを表示

編集で、ツールのそばにアイコンを表示します。

すべての変更を自動保存する

[自動保存]のオンとオフを切り替えます。[\[自動保存\]](#)は、[変更を保存]ダイアログを表示せずに、編集モードで変更を自動的に保存します。



自動保存はRAW画像には使用できません。

GPU選択

最適なパフォーマンスを確保するために、編集モードの一部はGPUから実行されます。ACDSee 究極はシステムに最適なGPUを自動的に選択します。このオプション (**ACDSee 写真館に判断させる**)は、デフォルトで有効になっています。

ACDSee 写真館に判断させるが有効になっていると、オプションの横にGPUモデルのテキストが表示され、編集モードがプライマリGPUで実行されているか、ACDSee 究極が検出した別のより優れたGPUで実行されているかが指定されます。ほとんどの場合、ACDSee 究極によって最適と検出・識別されたGPUは、同じもの、つまりプライマリGPUになります。

- **プライマリを使用**: 選択されたGPUではなく、自分のプライマリGPUを使用したい場合は、このオプションを ACDSee 究極 有効にします。
- **ACDSee 写真館に任せる**: ACDSeeにあるより高性能なGPUを使用するにはこのオプションを選択します。

記録したアクション フォルダ

[アクション](#) スクリプト (自分の記録) が保存されているハードドライブ上の場所へのパスが表示されます。[\[参照\]](#) ボタンをクリックして、ハードドライブ上の新しい場所を指定します。

Adobe® Photoshop® プラグインのパス

Photoshop®プラグインがあるハードディスク上の場所へのパスが表示されます。これによってACDSee 究極はプラグインがどこにあるかを確認します。できれば、Photoshop®プラグインがすでに保存されている場所のパスを指示するようにしましょう。

場所を変更または追加するには、[\[追加\]](#) を押して場所を参照し、場所を選択後に [\[フォルダを選択\]](#) を押します。



ACDSee 究極のウィンドウが複数開いている場合、プラグインのパスを変更することはできません。

場所を削除するには、対象の場所を選択して [\[削除\]](#) を押します。

一覧表示された場所にプラグインを移動するには、場所を選択して [\[フォルダを開く\]](#) を押します。これでプラグインをフォルダにドラッグできます。

現像

現像モードのRAWファイルは、クイック切り替えを有効にする

現像モードでRAWやその他の非エンコードファイルをクイック表示するため、次の画像に切り替える際に処理が終わるまでしばらく待つ必要がありません。現像モードを終了した後もバックグラウンドタスクとして処理され、画像処理をより高速に行うことができます。このオプションを非選択にすると、エンコード不可の画像は一度に1枚ずつ処理され、処理の結果を即座に見ることができます。しかし、他の画像に移るごとに、画像処理を待たなくてはなりません。

現像モードの全ての調整を自動保存

現像内で画像を自動保存するため、次の画像に切り替える際、現在の画像を保存するかなどのメッセージが表示されません。このオプションによって、多くの画像を迅速に現像し、変更を自動的に保存します。このオプションを非選択にすると、新しい画像に移るごとに、現在の画像を保存するかどうか確認します。現在のファイルに変更を保存するか、画像のコピーを保存するか、変更を破棄するかを選択できます。

⚠ 自動保存はRAW画像には使用できません。

現像ツールペインの元に戻すボタンとやり直しボタンを有効にする

[現像ツール]ペインの上部にある[元に戻す]ボタンと[やり直し]ボタンを有効にします。特に、[履歴]ペインが閉じているか非表示になっている場合に便利です。

ルーラーとガイドラインのオプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用して、編集モードでルーラーとガイドラインを設定できます。

ルーラーとガイドラインのオプションは以下の手順で設定します:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[編集モード]>[ルーラーとガイドライン]をクリックします。
3. 下記を参考にして、オプションを設定します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ルーラーとガイドラインのオプション

ガイドライン

カラー ガイドラインの色を選択します。

ルーラー

DPI レイヤーのピクセル値を1インチあたりのドット数で除算して、ルーラーのスケールを決定します。

EXIF メタデータから解像度を読み込む

[プロパティ]ペインの[ファイル]タブにある[画像の属性]セクションの[解像度(PPI)]フィールドの値を使用します。



DPIフィールドは、レイヤーのEXIFメタデータのDPIに準じて動的に更新はされません。ただし、このチェックボックスをオンにすると、EXIFメタデータ値がDPIフィールドの値を上書きします。

単位

ルーラーの測定単位を以下から選択します。

- インチ
- センチメートル
- ピクセル
- パーセント

ACDSee 365オプションを設定する

[ACDSee 365オプション]ダイアログを使って、一時フォルダの場所、ACDSeeを閉じる際ダウンロードおよびアップロードの操作をどうするか、などのオプションを設定します。

ACDSee 365オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスの[ACDSee 365]をクリックします。

3. 「ACDSee 365」のページで、下記を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee 365 オプション

フォルダの場所

一時フォルダ

[参照] ボタンをクリックして、アップロード/ダウンロード中に ACDSee 究極が一時的にファイルを保持するフォルダの場所を変更します。

アップロード/ダウンロード

シャットダウンする際、すべての転送を一時停止する

ACDSeeを閉じる際、転送作業を一時停止します。

起動する際、一時停止されたすべての転送を再開する

ACDSeeを再度起動する際、転送作業を再開します。

同時アップロード数 (1-10 まで)

同時にアップロードするファイル数を選択します。

同時ダウンロード数 (1-10 まで)

同時にダウンロードするファイル数を選択します。

重要度

重要度 1 を 5 に変換

重要度1を5つ星表示に変換します。

重要度 1 を 1 に変換

重要度1を1つ星表示に変換します。

ACDSee Showroom オプションを設定する

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーは、スライドの表示間隔、順序、移行、フレームの透明度、サイズ、フレーム スタイルなどを指定することで、自由にカスタマイズできます。

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーは、以下の手順でカスタマイズします:

1. 以下に挙げる手順いずれかを実行して、ACDSee Showroom を起動します。
 - いずれかのモードで、**[ツール] > [作成] > [ACDSee Showroom]** をクリックします。
 - **[スタート] > [プログラム] > [ACD システム] > [ACDSee Showroom]** の順にクリックします。
2. ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、**[オプション]** を選択します。
3. 以下を参照して、オプションを選択または変更します。
4. 現在選択されているオプションを新規 Showroom ウィンドウの既定値として保存するには、**[既定値として設定]** をクリックします。
5. **[OK]** をクリックして変更を適用します。

ACDSee Showroom のオプション

画像 フォルダ

サブ フォルダを含む	スライドショーにサブ フォルダの画像 も含みたい場合には、このオプションを選択します。
隠しファイルはスキップする	[オリジナル] フォルダのように、画像処理を実行 する際に作成 される隠しフォルダをスキップしたい場合には、このオプションを選択します。

スライド

長さ	各写真の表示時間を短くするにはスライドを左に、長くするにはスライドを右にドラッグします。
順序	ドロップダウンから、[順次] を選択して写真を順番に表示するか、[ランダム] を選択してランダムに表示します。
トランジション	[トランジション] ドロップダウンから、トランジション効果を使用しない場合には [なし] を、画像を右から画面に登場させ左へと移動させる場合には [スライド] を、次の画像に移る際に現在の画像の透明度を徐々に上げるには [フェード] を選択します。
すべてに適用	変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、[すべてに適用] を選択します。

Showroomウィンドウ

透明度	Showroomウィンドウの透明度を減らすにはスライドを左に、透明度を増やすにはスライドを右にドラッグします。
サイズ	[サイズ] ドロップダウンから、Showroomウィンドウのフレームサイズを [スモール]、[ミディアム]、[ラージ] のいずれかから選択します。
フレーム	[フレーム] ドロップダウンから、フレームのスタイルを選択します。
常に手前に表示する	Showroomウィンドウをその他 すべてのアプリケーションの上に表示するには、[常に手前に表示する] を選択します。
すべてに適用	変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、[すべてに適用] を選択します。

起動時に実行する

コンピュータの起動時にACDSee Showroomを自動的に起動するには、[起動時に実行する] を選択します。

ACDSee クイックビュー オプションを設定する

ACDSee クイックビュー は何通りかの方法でカスタマイズできます。クイックビュー を開いているウィンドウいずれかの上に表示したり、クイックビュー をフルスクリーンで表示したりすることもできます。また、クイックビュー ウィンドウの背景色を変更することも可能です。

ACDSee クイックビュー は以下の手順でカスタマイズします:

1. 画像をダブルクリックします。例えば、Windowsエクスプローラ内 または メールに添付された画像をダブルクリックします。
2. [ツール]>[オプション...]をクリックします。
3. 以下を参照して、オプションを選択または変更します。
4. [OK] をクリックして変更を適用します。

ACDSee クイックビュー オプション

ACDSee クイックビュー を使用する

ACDSee クイックビューを選択すると、ACDSee 究極 が閉じている際の既定の画像ビューアとして設定されます。

ガンマ補正

画像を表示する際に、指定されたガンマ補正値を適用します。

アニメーションを無効にする

動画ファイルの最初のフレームだけを表示します。

常に手前に表示する

重なったウィンドウの手前に常にクイックビュー ウィンドウを表示します。

フルスクリーン

クイックビュー ウィンドウで、画像をフルスクリーン モードで表示します。

マウスポインタを隠す

フルスクリーン モードで、マウスポインタを非表示にします。

ズームモードの既定値

画面に合わせる	クイックビューウィンドウに収まる最大の倍率で画像を拡大して表示します。クイックビューウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。
実際のサイズ	画像の実寸サイズで表示します。

背景

既定色	ACDSee 究極 の背景色をクイックビューで使います。
カスタム色	クイックビューウィンドウの背景として使用する色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

メディア オプションを設定する

ACDSeeから起動するオーディオ ファイルおよびビデオ ファイルを処理するアプリケーションを変更できます。

ACDSeeで起動するファイルに使用する既定のメディア プレーヤーは、以下の手順で変更します：

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスで、[メディア] をクリックします。
3. 音楽ファイルや動画ファイルをお使いのシステムの既定のメディア プレーヤーで開くには、[既定のメディア プレーヤーで音楽、動画ファイルを開く]オプションにチェックを入れます。
4. [OK] をクリックして変更を適用します。

ACDSeeインデクサー オプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスで、ACDSeeインデクサーの機能をカスタマイズできます。

ACDSee インデクサーは以下の手順でカスタマイズします:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[**ACDSeeインデクサー**]をクリックします。
3. ACDSeeインデクサーのページで、以下の説明に従ってオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSeeインデクサー オプション

コンピュータが次の時間以上アイドルした 場合、フォルダまたは画像を自動でインデッ スする	コンピュータのアイドル中にフォルダまたは画像のインデックスが実行されます。イン デックスが開始されるまでのコンピュータのアイドル時間を、スライダで設定します。
画像ファイルのみをインデックスする	ACDSeeが対応しているファイルタイプすべての選択を解除します。
現在のデータベース	インデックスするデータベースを表示します。
モニタリングするフォルダ	インデックスされるフォルダを表示します。
フォルダの追加...	[フォルダの追加...]ボタンをクリックして、インデックスしたいフォルダをさらに追加しま す。
フォルダの削除	リストでフォルダを選択し、[フォルダの削除]ボタンをクリックすると、インデックスされる フォルダから対象のフォルダを削除できます。
Microsoft OneDriveを含む	OneDriveフォルダのインデックス作成を有効にします。

ACDSee PicaViewオプションを設定する

[オプション]ダイアログボックスを使用して、ACDSee PicaViewの設定を変更したり、PicaViewの有効/無効を切り替えたりできます。

ACDSee PicaView オプションを調整するには:

1. [管理]モードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、**ACDSee PicaView**をクリックします。
3. ACDSee PicaViewページで、以下の説明に従いオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee Picaviewオプション

ACDSee Picaviewを有効にする

このチェックボックスをオンまたはオフにすると、ACDSee PicaViewが有効または無効になります。有効にすると、ACDSeeに対応したファイルをハードドライブ内のどこでも右クリックすることで ACDSee PicaViewを表示できます。ファイルや画像および EXIF情報のプレビュー表示、または画像ファイルのプレビューだけ、EXIF情報のプレビュー表示だけ、など選択できます。

画像の表示

画像の表示 チェックボックスをオンにすると、右クリックしたファイルのプレビューが表示されるようになります。

場所

- **画像をメインメニューに追加する:** 右クリックした画像がメインメニューに表示されます。
- **画像をサブメニューに追加する:** 右クリックした画像がサブメニューに表示されます。サブメニューは **ACDSee PicaView**横の矢印をクリックすると表示されます。

サイズ

右クリック時に表示されるプレビューのサイズを選択します。

オリジナルの表示

[**オリジナルの表示**]を選択すると現像前または編集前の画像が右クリック時に表示されます。

EXIF 情報を表示する

[**EXIF情報を表示**] チェックボックスをオン/オフすることで、右クリックした写真のEXIF情報を表示/非表示に設定できます。

ACDSee Mobile Syncオプションを設定する

ACDSee Mobile Sync設定を変更するには、オプションダイアログボックスを使用します。

ACDSee Mobile Syncオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで、[ツール] > [オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[**ACDSee Mobile Sync**]をクリックします。
3. ACDSee Mobile Syncのページで、下記のようにオプションを設定します。
4. [**OK**]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

ACDSee Mobile Syncオプション

ルート フォルダ	[フォルダを参照] ボタンをクリックして、送信済みの画像とビデオの保存先を指定します。
サーバー名	送信先サーバー(PCのACDSee)の名前をカスタマイズするには、フィールドにテキストを入力してください。この名前が、ACDSee Mobile Syncアプリの送信先一覧に表示されます。
フォルダツリーに ACDSee Mobile Sync のルート フォルダを表示する	フォルダペインにACDSee Mobile Syncのフォルダを表示します。

文書ファイルの種類オプションを設定する

[オプション]ダイアログを使用して、ドキュメントファイルの種類を開く方法をカスタマイズできます。

文書ファイルの種類についてのオプションは以下の手順で設定します:

1. いずれかのモードで、[ツール]>[オプション...]をクリックします。
2. [オプション]ダイアログボックスで、[文書ファイルの種類]をクリックします。
3. [文書ファイルの種類]ページで、各ドキュメントファイルの種類の横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。ファイルの種類のチェックボックスが有効になっていると、管理モードでファイルをダブルクリックまたは選択するか**Enter**を押すと、対象のファイルの種類が表示モードで開きます。ファイルの種類のチェックボックスがオフになっている場合、管理モードでファイルをダブルクリックまたは選択するか**Enter**を押すと、関連するアプリケーションで対象のファイルの種類が開きます。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

インポートオプション

インポートオプション ツールを使用すると、以前のバージョンの ACDSee から設定をシームレスに移行できます 2022。

ユーザーは、モード構成を除いて、オプションパネル内のすべての設定をインポートできます。

 以前のバージョンの ACDSee Photo Studio がインストールされている場合 (2022), ACDSee 写真館 2026 究極 Microsoft ストア用 ACDSee プログラムの初回実行時にオプションが自動的にインポートされます。

ツールの使用方法:

オプションは自動的にインポートされますが、オプションを再度インポートする必要がある場合があります。たとえば、新しいバージョンの ACDSee 写真館 2026 究極 をインストールし、その後、以前のバージョンに戻って設定にいくつかの変更を加えた場合です。オプションを手動でインポートすると、ソフトウェアがいつインストールされたかに関係なく、最新の設定を引き継ぐことができます。

1. ツール | オプション...をクリックします
2. ダイアログボックスで、[一般]の下に[インポートオプション]をクリックします
3. インポート...をクリックします
4. 確認ダイアログで[OK]をクリックします
5. ACDSeeを再起動するように求められたら、[OK]をクリックします

 このマシンで前のバージョンのACDSeeが起動されていない場合、オプションは表示されません。

 インポートツールは、同じ製品モデル内の古いバージョンからのみインポートします。(e.g. ACDSee 写真館 2026 究極 古いバージョンの ACDSee Photo Studio からのみオプションをインポートできます 究極.)

 インポートツールは常に、見つけた最新の以前のバージョンからインポートします。(例: ACDSee Photo Studio の場合 究極2022 および ACDSee フォトスタジオ究極2023 両方がインストールされていますが、ACDSee Photo Studio からの設定のみがインストールされています 究極2023 輸入されます。)

 検索オプションをインポートする場合、クイック検索オプションのみが影響を受けます。

ACDSee を複数のモニターで使用する

セカンドモニターを使用したデュアルモニターの場合でも、ACDSee を使えば両方のモニター上で同時に画像を表示、調整が可能です。そうすれば作業の効率が上がり、保存した画像を参照しながらその画像を調整することができます。

 ACDSee を表示したいモニターを切り替える時は、ACDSee をそのモニターへドラッグするだけです。

セカンドモニターで ACDSee を使用方法:

管理モード

1. 管理モードで画像を選択します。
2. **[表示] > [セカンドモニタ]**をクリックします。選択した画像がセカンドモニタで開きます。

 ダブルクリックするだけで、フルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

表示モード

1. 表示モードで画像を開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - **[表示] > [セカンドモニタ:ファイル一覧]**をクリックします。フルスクリーンのファイル一覧がセカンドモニタで開きます。
 - **[表示] > [セカンドモニタ:画像]**をクリックします。選択した画像がセカンドモニタで開きます。

 ダブルクリックするだけで、画像またはファイル一覧のフルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

現像および編集モード

1. 画像を現像または編集モードで開いて、次の操作を行ってください：
 - **[表示] > [セカンドモニタ:画像]**をクリックします。保存してある選択画像がセカンドモニタで開きます。この画像は現像または編集モードで加工を加える画像のライブプレビューではありません。元の画像と比較しながら加工や処理を進めることができます。
 - **[表示] > [セカンドモニタ:ファイル一覧]**をクリックします。フルスクリーンのファイル一覧がセカンドモニタで開きます。

 ダブルクリックするだけで、画像またはファイル一覧のフルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

カスタム作業領域を作成する

ユーザーの好みや ACDSee で頻繁に使用するタスクに基づいて、管理モードの作業領域を作成したり、保存したりすることができます。例えば、編集用、整理用、参照用の各作業領域を、ユーザーが使いやすいようにツールとペインを配置して作成/保存できます。

カスタムの作業領域を作成/保存するには：

1. 特定のペインを表示/非表示にしたり、ペインの移動とドッキングをしたり、ペインを重ねて表示したり、ペインのサイズを変更したりして、管理モードの作業領域を変更します。
2. ペインのレイアウトに満足したら、**[表示]**メニューから**[作業領域]**そして**[作業領域の管理]**をクリックします。
3. **[作業領域の管理]**ダイアログボックスで、**[作業領域の保存]**をクリックします。
4. その作業領域に使用する名前を入力し、**[OK]**をクリックします。
5. もう一度 **[OK]**をクリックします。

保存済みの作業領域をロードするには：

1. 管理 モードで、**[表示]**、**[作業領域]**をクリックします。
2. 保存済みの作業領域の名前を選択します。

既定の作業領域に戻すには:

管理 モードで、**[表示]**、**[作業領域]**、**[既定の作業領域]**をクリックします。

ペインとパネルを自動非表示にする

自動非表示 ボタンを使用して、ACDSee 内のパネルやペインを自動的に隠すことができます。ペインが自動非表示に設定されている場合、ペイン領域外をクリックするとペインがロールアップされ、タブが表示されます。タブ上にマウスポインタを移動すると、ペインが再表示されます。ペインやパネルが固定されていない場合、自動非表示機能は使えません。また、自動非表示に設定されているペインを移動することはできません。

ペインのタイトル バーに表示されている自動非表示 ボタンは、現在の設定を表示します:



水平に刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックすると自動非表示になるように設定されていることを示します。



斜めに刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックしても場所が固定され常に表示されることを示します。

自動非表示を設定 / 解除するには:

パネルのタイトル バーにある**[自動非表示]** ボタンをクリックし、水平または斜めの画びょうのアイコンを表示します。

タスクペインを使用する

タスクペインは、ACDSeeにおける現在のロケーションや選択範囲に基づき、メニューやツールバーで頻繁に使用するタスクグループを設定し、表示します。タスクペインは通常、管理 モードウィンドウの右手に開かれます。

タスク ペインを開くまたは閉じるには:

管理 モードで、**[ペイン]** から**[タスクペイン]**をクリックします。

タスクペインのメニューは、作業中の管理 モードの領域や、選択している項目によって変わります。例えば、ファイル一覧リストで複数のフォルダを開いている場合、タスクペインには 1 つの画像またはメディア ファイルを開いている場合とは異なるメニューが表示されます。

また、タスクペイン メニューのオプションも動的に変化します。例えば、ファイル一覧で複数の画像を選択している場合、複数の画像に使用できるオプションの一覧が**[画像の補正と修整]**メニューに表示されます。

ツールバーをカスタマイズする

表示するツールバーと、ツールバーの各ボタンやコマンドを指定することで、管理 モードと表示 モードのツールバーの外観と構成をカスタマイズすることができます。また、変更を破棄して、既定のレイアウトにいつでもリセットすることができます。

ツールバーを表示/非表示にする

管理 モードと表示 モードでは、特定のツールバーの表示/非表示を選択することができます。

ツールバーを表示 / 非表示にするには

- 管理 モードまたは表示 モードで、**[表示]** > **[ツールバー]**をクリックし、表示または非表示にするツールバーを選択します。

ツールバーの内容をカスタマイズする

次のツールバーをカスタマイズすることができます。

- 管理モード: メイン ツールバーとファイル一覧 ツールバー。
- 表示モード: 画面下のツールバー

これらのツールバーでは、ボタンの追加、削除、並び替えができます。これらのツールバーのボタンについてのテキストラベルやヒントも表示/非表示にすることができます。ツールバーのカスタマイズ オプションはすべて、[カスタマイズ] ダイアログ ボックスにあります。

[カスタマイズ] ダイアログ ボックスを表示するには

以下のいずれかの操作を行います。

- 管理モードで、[表示] > [ツールバー]をクリックし、[カスタマイズ]を選択します。
- 管理モードで、メイン ツールバーまたはファイル一覧 ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加または削除]を選択し、[カスタマイズ]を選択します。
- 表示モードで、画面下のツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加または削除]を選択し、[カスタマイズ]を選択します。

ボタンを追加または削除するには

管理モード:

メイン ツールバー:

1. メイン ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. [ボタンの追加または削除] > [メイン ツールバー]を選択し、追加または削除したいボタンの名前を選択します。

ファイル一覧 ツールバー:

- [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを開いた状態で、コマンド タブでコマンド フィールドから項目 をツールバーにドラッグすると、ボタンが追加されます。
- ボタンを削除するには、ツールバーから[カスタマイズ]ダイアログ ボックスにドラッグします。

表示モード:

画面下のツールバー:

1. 画面下のツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. [ボタンの追加または削除] > [画面下のツールバー]を選択し、追加または削除したいボタンの名前を選択します。

ツールバー ボタンを並び替えるには

[カスタマイズ]ダイアログ ボックスを開いた状態で、ツールバーの配置したい位置へボタンをドラッグします。

[ツールバー] ボタンの下のラベルを表示/非表示にするには

1. [カスタマイズ]ダイアログ ボックスを表示します。
2. [ツールバー] タブをクリックします。
3. 管理モード: [ファイル一覧 ツールバー]または[メイン ツールバー]を選択します。
表示モード: [画面下のツールバー]を選択します。
4. [テキスト ラベルを表示する]チェックボックスをオンにしてテキスト ラベルを表示させるか、[テキスト ラベルを表示する]チェックボックスを解除してテキスト ラベルを非表示にします。
5. [閉じる]をクリックします。

ツールバー ボタンのワンポイントを表示 / 非表示するには

1. [カスタマイズ] ダイアログ ボックスを表示します。
2. [オプション] タブをクリックします。
3. [ツールバーにワンポイントを表示する] を選択してワンポイントを表示するか、[ツールバーにワンポイントを表示する] をクリアしてワンポイントを非表示に設定します。このオプションを選択すると、[ワンポイントにショートカット キーを表示する] オプションを選択して、ワンポイントにショートカット キーを表示することができます。
4. [閉じる] をクリックします。

ツールバーをリセットする

すべての変更を破棄して、既定のツールバーとボタンに戻すことができます。

ツールバーをリセットするには

1. [カスタマイズ] ダイアログ ボックスを表示します。
2. [ツールバー] タブでをクリックしてから、[すべてリセット] を選択します。
3. [はい] をクリックして、ツールバーをリセットします。
4. [閉じる] をクリックします。

ツールバーとペインの位置をカスタマイズする

ほとんどのツールバーおよびペインは、好みに合わせて、非表示、サイズ変更、フロート、移動、固定することができます。管理モードで使用方法をカスタマイズするすべての方法を見るには、[\[管理モードを使用する\]](#) を参照してください。

ペインを非表示にする

管理、表示、現像、編集モードの右上部にある表示 / 非表示 ボタンを使用して、スクリーン の左、右、下部にあるペインを表示 / 非表示することができます。

左側のパネルの表示 / 非表示



下部のパネルの表示 / 非表示



右側のパネルの表示 / 非表示



表示、現像、編集モードでペインやツールバーを固定する

ペインやツールバーを、固定位置または現在のフロート位置から、新しい場所に移動することができます。

💡 ツールバーには、ドッキングコンパスが有効になっていないものがあります。

ペインまたはツールバーを移動するには:

1. 移動したいペインまたはツールバーのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが希望する場所に表示されたら、マウスボタンを放します。

- 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定 ペインまたはフローティング ペインを移動するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- ペインまたはツールバーのタブを新しい場所にドラッグします。
- ペインまたはツールバーのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。
- デュアル モニタをご利用の場合、ペインやツールバーをセカンド モニタに移動して、メイン モニタのスペースを有効に使うことができます。

表示、現像、編集 モードでペインやツールバーを固定 する

ペインやツールバーを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内外の両方に矢印を持ったブルーのコンパスです。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

 ツールバーには、ドッキングコンパスが有効になっていないものがあります。

ペインまたはツールバーを固定 するには:

ペインまたはツールバーのタイトルバーをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。ウィンドウの端に合わせてペインを固定 するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

ペインのサイズを変更 する

固定 またはフロートしているかに関係なく、すべてのペインおよびツールバーはサイズ変更 できます。

固定 されているペインのサイズを変更 するには:

- ペインまたはツールバーの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが両側に矢印が付いた線になるまで待ちます。
- ペインまたはツールバーの外枠をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更 するには:

ペインまたはツールバーの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドして、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。

 表示、現像、編集 モードで、フォルダ内の参照を手早く片付けるために、フィルムストリップを拡大 することができます。フィルムストリップのサイズを変更 するには、外枠の一部をドラッグしてください。

 ACDSee アクションバー、カラー ペイン、さらに描画および選択 ツールバーを移動 することができます。

カスタム メニューを作成 する

カスタマイズしたコマンドに素早くアクセスできるように、管理 モードで新規 メニューを作成 できます。作成した新規 メニューの名前や場所をカスタマイズすることもできます。

新規 メニューを作成 するには:

- 以下のいずれかの操作を行います。
 - 管理 モードで、[表示] > [ツールバー] をクリックし、[カスタマイズ] を選択 します。
 - 管理 モードで、メイン ツールバーまたは ファイル一覧 ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加 または削除] 次に [カスタマイズ] を選択 します。

2. カスタマイズのダイアログ ボックスでコマンドタブをクリックし、カテゴリ リストから **[新規 メニュー]** を選択します。
3. コマンド フィールドで **[新規 メニュー]** を選択し、ツールバーの設置 したい場所 までドラッグします。

新規 メニューにコマンドを追加するには:

1. カスタマイズのダイアログ ボックスでコマンドタブをクリックし、カテゴリ リストからいずれかのオプションを選択します。
2. コマンド フィールドで追加 したいコマンドを選択し、ツールバーの **新規 メニュー** までドラッグします。新規 メニューがドロップ ダウン します。メニュー 上 にコマンドをドロップ します。

新規 メニューまたはコマンドを削除するには:

 新規 メニューまたはコマンドを削除 するには、カスタマイズ ダイアログ ボックスを開 く 必要があります。

新規 メニューまたはコマンドを右 クリックして、コンテキストメニューから **[削除]** を選択します。

新規 メニューの名前を変更するには:

 新規 メニューの名前を変更 するには、カスタマイズ ダイアログ ボックスを開 く 必要があります。

1. 新規 メニューを右 クリックして、コンテキストメニューから **[ボタン表示...]** を選択します。
2. ボタン表示ダイアログボックスで、**[テキストのみ]** を選択し、ボタンテキスト フィールドに名前を入力します。
3. **[OK]** を押します。

外部 エディタを設定 する

ACDSee内 から外部の編集 アプリケーションで画像を開 くには、ACDSee 究極にてACDSee Luxea Video Editorなどのさまざまな画像 エディタで動作 するように設定 し、ACDSee 究極にてデフォルトで使 う画像 エディタを指定 してください。

 外部 エディターを設定 した後 でないと、シ ョートカットキーを割 り当てたり、ツールバーのボタンとして使 えるようになりません。

ACDSeeで外部 エディタを設定 するには:

1. 管理 モードのメインメニューで、**[ツール]>[外部 エディタ]>[エディタを設定]**の順に選択 します。
2. **[写真 エディタの設定]**ダイアログ ボックスにある**[追加]**ボタンをクリック します。
3. ハードドライブ上の画像編集 アプリケーションのあるフォルダを参照 します。
4. 編集 アプリケーションの実行 可能ファイルを選択 します。(例: ACDSee Luxea VideoEditor.exe)
5. **[開 く]**をクリック します。
6. **[名前]**フィールドにエディタ名を入力 し、**[OK]**をクリック します。

デフォルトの外部 エディタへのシ ョートカットを作成 するには:

1. メインメニューから**[ツール]>[シ ョートカットのカスタマイズ]**を選択 します。
2. **[シ ョートカットのカスタマイズ]**ダイアログ ボックスで、**[カテゴリ]**ドロップ ダウンメニューから**[ツール]**を選択 します。
3. **[コマンド]**メニューから**[デフォルトの外部 エディタ]**を選択 します。
4. **[新しいシ ョートカットキーを入力]**フィールドに、シ ョートカットキーを入力 します。
5. **[適用]**をクリックして、ダイアログ ボックスを閉 じます。

デフォルトの外部 エディタへの新しいキーボードシ ョートカットが設定 されました。

外部エディタへのショートカットを個別に作成するには:

1. メインメニューから[ツール]>[ショートカットのカスタマイズ]を選択します。
2. [ショートカットのカスタマイズ]ダイアログ ボックスで、[カテゴリ]ドロップダウンメニューから[ツール]を選択します。
3. [コマンド]メニューから、希望する外部エディターを選択します。
4. [新しいショートカットキーを入力]フィールドに、ショートカットキーを入力します。
5. [適用]をクリックして、ダイアログ ボックスを閉じます。

外部エディタへの新しいキーボードショートカットが設定されました。

管理モード内で、ファイル一覧ツールバーに外部エディタを追加するには:

1. [エディタ]と[アクション]メニューオプションの右にあるツールバーオプションのドロップダウンの矢印をクリックして、[ボタンの追加または削除]>[カスタマイズ]の順にを選択します。
2. [カスタマイズ]ダイアログ ボックスの[コマンド]タブで、[カテゴリ]リストから[ツール]を選択します。
3. ファイル一覧ツールバーに、該当する外部エディタをクリック&ドラッグします。
4. ダイアログ ボックスを閉じます。

外部エディタは、ファイル一覧のツールバーに追加されます。

表示モード内で、ファイル一覧ツールバーに外部エディタのボタンを追加するには:

1. ツールの右側にある[ツールバーオプション]ドロップダウン矢印をクリックし、[ボタンの追加と削除]>[カスタマイズ]の順に選択します。
2. [カスタマイズ]ダイアログ ボックスの[コマンド]タブで、[カテゴリ]リストから[ツール]を選択します。
3. [コマンド]リストで、[デフォルトの外部エディタ]を選択し、ツールバーへとクリック&ドラッグします。
4. ダイアログ ボックスを閉じます。

外部エディタは、ツールバーに追加されます。

画像エディタを管理するには:

1. 管理モードのメインメニューで、[ツール]>[外部エディタ]>[エディタを設定]の順に選択します。
2. [写真エディタの設定]ダイアログボックスの[エディタ]一覧から、変更したいアプリケーションを選択します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - エディタの一覧に表示されている実行ファイルの場所やアプリケーション名を変更するには、[編集]をクリックします。アプリケーションの場所と名前を設定し、[OK]をクリックします。
 - ACDSeeの既定の外部エディタとしてアプリケーションを設定するには、[既定として設定]をクリックします。
 - アプリケーションが一度に複数の画像をサポートするかどうかの設定は、[複数画像のサポート]チェックボックスをオンまたはオフにします。
 - 一覧からアプリケーションを削除するには、[削除]をクリックします。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

外部の画像エディタで画像を開くには:

1. 管理モードまたは表示モード内で、外部エディタで開きたい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [ツール]>[外部エディタ]>[デフォルトの外部エディタ]の順にクリックするか、エディタの名前を指定します。
 - **Ctrl + Alt + X**キーを押して、既定の外部エディタで画像を開きます。

キーボードショートカットをカスタマイズする

頻繁に使用されるコマンドには、既定のキーボードショートカットが設定されています。既定のショートカットを変更したり、現在ショートカットが定義されていないコマンド用にショートカットを作成したりすることが可能です。カスタマイズ ショートカットダイアログボックスで設定可能なオプションはモード依存적であり、ダイアログを開いたときのモードに依存します。

❗ あるモードでカスタマイズされたキーボードショートカットは、定義されたコマンド名が同じであっても他のモードでは無効です。

❗ 既にコマンドに割り当てられているショートカットを別のコマンドに割り当てると、元のコマンドから適用が解除されます。

キーボード ショートカットをカスタマイズするには

管理、表示、編集モードで、

1. [ツール] > [ショートカットをカスタマイズ]をクリックするか、**Ctrl + Shift + Alt + S**を押します。
2. [カテゴリ]ドロップダウンメニューから、[ファイル]、[編集]、[表示]などカテゴリを選択します。そのメニューから選択可能なコマンドが、[コマンド]一覧ボックスに表示されます。
3. [コマンド]一覧ボックスから、コマンドを選択します。
 - 選択されたコマンドにキーボードショートカットが既に設定されている場合、[現在のキー]ボックスにその組み合わせが表示されます。
 - 選択されたコマンドにキーボードショートカットがまだ設定されていない場合、[現在のキー]ボックスは空白で表示されます。

既存のキーボードショートカットを削除するには、[現在のキー]ボックスからキーボードショートカットを選択し、[削除]をクリックします。

新規のキーボード ショートカットを設定するには:

1. [新しいショートカットキーを入力]を入力してくださいテキストボックス内をクリックします。
2. 新規のショートカットとして使用したいキーの組み合わせを、実際のキーボード上で押します。
 新規のショートカットキーの入力テキストボックスに、押したキーが表示されます。入力したショートカットに既に割り当てられた機能がある場合、現在の割当フィールドに表示されます。
3. [適用]をクリックします。
 [現行キー]ボックスに新規のキーボードショートカットが表示されます。
4. 閉じるをクリックします。

カスタマイズしたキーボードショートカットをすべて削除して、既定のショートカットに戻すには、[リセット]をクリックします。

表示テーマを変更する

ACDSee 究極では表示テーマを変更してペインやツールバーの背景色を変更できます。

配色を変更するには

1. 管理モードで、[ツール] > [オプション]をクリックします。
2. オプションダイアログボックスの[管理モード]をクリックします。
3. 配色ドロップダウンリストからテーマを選択します。
4. [OK]をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

JPEGオプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスの設定を変更して、JPEG画像の画質、エンコードの方法、カラー サブサンプリングの方法、JPEG画像に埋め込まれたサムネイルの更新あるいは作成の有無などを指定することができます。

JPEGオプション

画質	スライダをドラッグして、JPEG画像の画質を指定します。
エンコード	- プログレッシブ: プログレッシブエンコードを有効にします。 - ハフマン圧縮の使用: ハフマン圧縮を最適化して圧縮率を増やします。
カラー コンポーネント サンプルング	2:1 水平方向: 水平軸に2:1 の割合でカラー チャンネルをサブサンプリングします。 2:1 垂直方向: 垂直軸に 2:1 の割合でカラー チャンネルをサブサンプルします。
埋め込みサムネイル	- 既存のサムネイルのみ更新する: 既存の埋め込みサムネイルをすべて更新します。 - 常にサムネイルを追加/更新する: 既存の埋め込みサムネイルが存在 する場合は更新を、存在しない場合は埋め込みサムネイルを作成します。 - サムネイルを追加 / 更新しない: 既存の埋め込みサムネイルを一切更新したくない、あるいは埋め込みサムネイルを作成したくない場合 に選択します。 - DCF互換サムネイルの生成: デジタルカメラ形式 (DCF) 規格を満たし、デジタルカメラのLCD上でのサムネイル表示に対応したサムネイルを生成します。160 x 120の固定解像度に強制変換し、空白部分は黒で埋められます。
これらの設定を既定値として保存する	現在のJPEG設定を既定値として保存 する場合には、このオプションを選択します。

章 12: ショートカット

管理モードのキーボードショートカット

管理モードで作業中にキーボードショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。カレンダー ペイン内でも使用可能なショートカットもあります。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして[印刷...]を選択します。

ショートカット操作	操作
Alt + F4	ACDSee を終了する。
Ctrl + Shift + Alt + S	[ショートカットをカスタマイズ]ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
入力	現在選択されている画像を [表示] モードで開く。
削除します	現在選択されている画像を削除する。
ACDSeeタブの使い方	
Ctrl + T	新規 タブで開く。
Alt + D	現在選択されているタブを重複します。
Ctrl + W	現在選択されているタブを閉じる。
Ctrl + Page Down Ctrl + Tab	現在選択されているタブの右隣のタブを有効にします。
Ctrl + Page Up Ctrl + Shift + Tab	現在選択されているタブの左にある前のタブを有効にします。
管理 モードを使用する	

ショートカット操作	操作
\ (円記号)	画像 ファイルにタグを付 けたり外したりします。

ショートカット操作	操作
` (アクサングラフ)	画像 オーディオの切り替え。

ショートカット操作	操作
Alt + 0-5	選択されている項目にカラーラベルを割り当てる。 Alt + 0 でカラーラベルを削除します。
Alt + C	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像をコピーする。
Alt + , (コンマ)	プロパティペイン内で最後に使用したタブを開く。
Alt + . (ピリオド)	プロパティペイン内の次のタブを開く。
Alt + Enter	プロパティペインを開く/閉じる。
Alt + G	[インポート] ダイアログ ボックスを開く。
Alt + I	[フィルタ] ダイアログ ボックスを開き、ファイル一覧ペインに表示するファイルタイプを指定する。
Alt + K	プロパティペインの [メタデータ] タブの IPTC グループのキーワードセクションにカーソルを置く。
Alt + M	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像を移動する。
Ctrl + 0	評価をクリア。
Ctrl + 1	評価を1にする。
Ctrl + 2	評価を2にする。
Ctrl + 3	評価を3にする。
Ctrl + 4	評価を4にする。
Ctrl + 5	評価を5にする。
Alt + 0	カラーラベルをクリア。
Alt + 1	赤いカラーラベルを付ける。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを付ける。
Alt + 3	緑のカラーラベルを付ける。
Alt + 4	青いカラーラベルを付ける。
Alt + 5	紫のカラーラベルを付ける。
Alt + Shift + F	ファイル一覧ペインを最大化する。
F2	1 つ以上の選択されたファイル名を変更する。
Alt + W	ACDSee 究極の壁紙を適用する前に使っていたデスクトップの壁紙設定を復元する。
Alt + X	画像バスケット/ファイルバスケットから、現在表示されている項目を削除する。

ショートカット操作	操作
バックスペース	現行ドライブのフォルダ構造内で 1 つ上に移動する。
Ctrl + 0-5	現在選択されている画像に、重要度を割り当てる。 Ctrl + 0 で重要度を削除します。
Ctrl + \ (円記号)	タグ付き画像を選択します。
Ctrl + A	現在のフォルダの内容全体を選択する。
Ctrl + B	選択された項目をアクティブな[画像バスケット]に追加する。
Ctrl + D	現在の画像を現像モードで開く。
Ctrl + E	現在選択されている画像を編集モードで開く。
Ctrl + Alt + M	選択中の画像で[フォトマージ]コマンドを実行する。
Ctrl + Alt + P	選択中の画像で[パノラマステッチング]コマンドを実行する。
Ctrl + Alt + H	選択中の画像で[HDR]コマンドを実行する。
Ctrl + Alt + S	選択中の画像で[多焦点合成]コマンドを実行する。
Ctrl + G	ファイル一覧をテキストドキュメントに作成する。
Ctrl + I	現在のフォルダ内にあるすべてのファイルを選択する。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集]ダイアログボックスを開く
Ctrl + K	プロパティペイン内にあるカテゴリタブのキーワードフィールドにカーソルを置く。
Ctrl + M	[メタデータプリセットの管理]ダイアログボックスを開く
Ctrl + N	ファイル一覧ペインに新しいフォルダを作成する。
Ctrl + O	[ファイルを開く]ダイアログボックスを開き、表示モードで表示する画像を 1 つ以上選択する。
Ctrl + P	選択中の画像か、ACDSee 究極の印刷ユーティリティの画像を開く。
Ctrl + X	現在選択されている項目を切り取って、クリップボードにコピーする。
Ctrl + C Ctrl + Insert	選択された項目をクリップボードにコピーする。
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける。

ショートカット操作

操作

Shift + Insert

ショートカット操作	操作
Ctrl + F	[クイック検索 バー]にフォーカスが表示されて、検索クエリの入力が始まるようになる。
F5	管理モードの内容を更新する。
F3	検索ペインを開く。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く
F4	コンテンツ バーを表示する。
F6	「サムネイル + 詳細」表示モード。
F7	「ファイル一覧」から「フィルム ストリップ」表示モードに切り替える。
F8	「ファイル一覧」から「サムネイル」表示モードに切り替える。
F9	「ファイル一覧」から「タイル」表示モードに切り替える。
F10	「ファイル一覧」から「アイコン」表示モードに切り替える。
F11	「ファイル一覧」から「リスト」表示モードへ切り替える。
F12	「ファイル一覧」から「詳細」表示モードへ切り替える。
Shift + Alt + S	AI超解像ダイアログボックスを開きます。
Shift + Delete	選択された項目をハードディスクから削除する。
Shift + F5	ファイル一覧ペインを更新する。
Shift + Tab	管理モードのフォーカスを以前のペインまたは一連のツールに移動する。
タブ	管理モードで次にフォーカスされたペインまたはツールに移動する。
Ctrl + Alt + R	画像の比較ビューに選択された画像を表示する。
Ctrl + Alt + W	選択された画像をデスクトップのストレッチ壁紙に設定する。
Ctrl + Alt + X	現在の画像を既定の編集エディタで開く。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
Ctrl + Shift + 1	フォルダペインを開く/閉じる。

ショートカット操作	操作
Ctrl + Shift + 2	カタログ ペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 3	検索 ペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 4	カレンダー ペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 5	すべての画像 バスケットを表示 または非表示にする。
Ctrl + Shift + 6	アクティビティマネージャーを開いたり閉じたりします。
Ctrl + Shift + 7	タスクペインを開いたり閉じたりします。
Ctrl + Shift + 8	現像設定を開いたり閉じたりします。
Ctrl + Shift + 9	新しい画像 バスケットを作成する。
Ctrl + Shift + -	アクティブな画像 バスケットを削除する。
Ctrl + Shift + A	現行 フォルダ内にあるすべてのファイルを選択します。
Ctrl + Shift + B	ステータス バーを表示/非表示にする。
Ctrl + Shift + C	現在選択されている画像 をクリップボードにコピーする。
Ctrl + Shift + D	現在の選択項目を解除する。
Ctrl + Shift + E	現在のファイルを既定のシステム アプリケーションで開く/ アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Shift + F	フルスクリーン表示 とファイル一覧ペインを切り替える。
Ctrl + Shift + I	現在選択されている項目以外を選択する。
Ctrl + Shift + L	ブラウズ検索 パネルを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + M	マップ ペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + N	ACDSee の新しいウィンドウを開く。
Ctrl + Shift + O	ファイル拡張子 と関連付けられているシステム アプリケーションを使ってファイルを開く。
Ctrl + Shift + T	管理 モードの既定 ツールバーを表示/非表示にする。
Ctrl + Shift + W	選択された画像 をデスクトップのタイル壁紙 に設定する。
Ctrl + Shift + Alt + W	選択された画像 をデスクトップの壁紙 として中央に設定する。

	ショートカット操作	操作
表示	Alt + 左矢印	ファイル一覧ペインで最後に表示されたフォルダを表示する。
	Alt + 右矢印	ファイル一覧ペインで最後に [戻る] で表示したフォルダに戻る。
	Ctrl + S	現在選択されている画像を使ってスライドショーを作成する。
	Ctrl + Shift + P	プレビューペインを開く/閉じる。
一括編集		
	Ctrl + Alt + E	バッチ書き出しダイアログボックスを開きます。
	Ctrl + Alt + B	一括編集ダイアログボックスを開きます。
	Shift + D	一括AIノイズ除去ダイアログボックスを開きます。
	Shift + S	一括AI超解像ダイアログボックスを開きます。
	Ctrl + R	一括リサイズダイアログボックスを開きます。
	Ctrl + Alt + F	一括ファイル形式変換ダイアログボックスを開きます。
	Ctrl + J	一括回転/反転ダイアログボックスを開きます。
	Ctrl + Alt + T	一括タイムスタンプ調整ダイアログボックスを開きます。
モード切り替え		
	Ctrl + F2	メディアモードに切り替えます。
	Ctrl + F3	表示モードで画像を開く。
	Ctrl + F4	画像を現像モードで開く。
	Ctrl + F5	画像を編集モードで開く。
	Ctrl + F6	人物モードに切り替えます。
	Ctrl + F7	365モードに切り替える。
	Ctrl + F8	ダッシュボードモードに切り替える。

管理モードのマウスショートカット

管理モードで、次のキーボードショートカットを使用して効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードで選択した画像を開きます。
右クリック	管理モードのコンテキストメニューを開く。
Shift + 左クリック	複数の画像を選択します。
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択します。画像グループの周囲に選択ボックスを描けるように、画像やフォルダではなく必ず画面の空白エリアをクリックしてからドラッグします。
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択します。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
Ctrl + ホイールアップ	サムネイルの拡大。
Ctrl + ホイールダウン	サムネイルの縮小。

レンダーペインのショートカット

基本的なカレンダーペインのオプションに慣れてきたら、次のショートカットの使用をお勧めします：

- タイトルバーにある年、月、日テーブルをクリックし、該当の年、月、日に含まれる画像を表示します。
- 年、月または日テーブルのタイトルバーを右クリックし、隣接する年、月、日をスクロールして選択します。
- 年モードのある月をダブルクリックすると、月モードに切り替わります。あるいは、月モードで任意の日をクリックすると、日モードに切り替わります。
- 月モードで、週の日を示す文字をクリックして、週のその日に含まれる画像を表示します。例えば、「**F**」をクリックすると、その月のすべての金曜日が選択されます。
- 日モードで「**AM**」または「**PM**」をクリックして、その日の午前または午後を選択します。
- イベントモードで、**Ctrl** キーをホールドしながら月や日をクリックして、該当の月や日に含まれる画像を表示します。
- 任意の月カレンダーのタイトルをクリックすると、その月に含まれているすべての画像が選択されます。
- 週の名前をクリックすると、該当の週に含まれているすべての画像が選択されます。
- カレンダーのあらゆる日をドラッグ + 選択すると、それらの日に含まれるすべての画像が選択されます。

表示モードのキーボードショートカット

表示モードで作業中にキーボードショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#) をお読みください。

ショートカット	操作
Alt + F4	ACDSee を終了 する。
` (アクサングラフ)	ステータス バーへの完全 なファイルパスの表示/非表示を切 り替 えます。
Enter Esc	前 のモードに切 り替 える。
Shift + Esc	表示、現像、編集 モードで ACDSee を最小化表示 します。
Ctrl + Shift + Alt + S	[ショートカットをカスタマイズ]ダイアログボックスを開 きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開 く
F1	ヘルプ ファイルを開 きます。
ファイル メニュー	
Ctrl + O 挿入	ファイルを開 くダイアログボックスを開 きます。
Shift + F4	現在の項目を閉じる。
Ctrl + Shift + F4	すべての画 像を閉じる。
Ctrl + S	[名前を付けて保存] ダイアログ ボックスを開 き、画 像名の変更/ファイル フォーマットの変更をする。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開 く
Shift + L	ファイル拡張子と関連付けられているシステム アプリケーシ ョンを使 ってファイルを開 く。
Shift + E	現在のファイルを既定のシステム アプリケーシ ョンで開 く/ アプリケーシ ョンを選 択 することのできるダイアログ ボックスを開 く。
Ctrl + P	ACDSee 究極の印刷 ユーティリティで現在の画 像を開 きます。
Ctrl + Shift + P	現在選 択 されているすべての画 像/現在のフォルダ内のすべての画 像を印刷 する。
Alt + L	Flickr アップローダー ダイアログボックスを開 く。
Alt+U	SmugMug アップローダー ダイアログボックスを開 く。
Alt + Z	Zenfolio アップローダー ダイアログボックスを開 く。
インターフェースをカスタマイズする	

ショートカット	操作
Ctrl + Shift + H	ヒストグラムを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + A	アクション ペインを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + M	虫めがね ペインを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + プラスキー(+)	虫めがねペインで拡大する。
Ctrl + マイナスキー(-)	虫めがねペインで縮小する。
Ctrl + Shift + S	ナビゲーター ペインを開 / 閉じるを切り替える。
Alt + Enter	プロパティペインを開 / 閉じるを切り替える。
Alt + ,	プロパティペインで左側のタブに移動する。
Alt + .	プロパティペインで右側のタブに移動する。
Ctrl + Shift + F	フィルム ストリップを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + I	情報 バレットを開 / 閉じるを切り替える。
T Ctrl + Shift + T	ツールバーを開 / 閉じるを切り替える。
B Ctrl + Shift + B	ステータス バーを開 / 閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + V	ページ表示 パネルを開 / 閉じるを切り替える。

[管理する](#)

ショートカット	操作
Ctrl + X	現在の項目を切り取って、クリップボードにコピーする。

ショートカット	操作
Ctrl + C	現在選択されているファイルをクリップボードにコピーする。

ショートカット	操作
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける。

ショートカット	操作
Alt + C	フォルダにコピー ダイアログボックスを開く。

ショートカット	操作
Alt + M	フォルダに移動 ダイアログボックスを開く。

ショートカット	操作
削除	選択された画像を削除する。
F2 Alt + R	[ファイル名の変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + B	選択された画像をアクティブな画像 バスケットに追加する。
Alt + X	アクティブな画像 バスケットから選択された画像を削除する。
Alt + A	ショートカットの追加 ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
\ (バックスラッシュ)	画像 ファイルにタグを付けたり外したりします。
Ctrl + M	[メタデータプリセットの管理] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + K	プロパティペインのキーワードセクションを開く。
Alt + K	プロパティペインのメタデータ タブを選択する。
Ctrl + Shift + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として中央に設定する。
Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル状壁紙に設定する。
Ctrl + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として拡大して設定する
Alt + W	ACDSee 究極 の壁紙を適用する前に使っていたデスクトップの壁紙設定を復元する。

ショートカット	操作
表示	
Page Arrow Right Page Down 3 (テンキー) Spaceキー	次の画像を表示します。
Page Arrow Left Page Up 9 (テンキー) Backspace	前の画像を表示します。
End	フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。
Home	フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキスト メニューを開く。
+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
Shift + Z	選択したエリアに拡大する。
/ (スラッシュ)	原寸表示。
* (テンキーのアスタリスク) Shift + 8	画像を表示領域に合わせて調整する。
Alt + Page Arrow Right	画像を幅に合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + PgDn	画像を高さに合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + \	ズーム固定のオンとオフを切り替え。
L	[パンの固定] の切り替え。
Z	[ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスを開く。
Page Arrow Right	画像を拡大した時に、右にパンする。
Page Arrow Left	画像を拡大した時に、左にパンする。
Page Down	画像を拡大した時に、下にパンする。
Page Up	画像を拡大した時に、上にパンする。
F	フルスクリーン モードの切り替え。
Ctrl + Page Arrow Right	右ペインを開く/閉じるを切り替える。

ショートカット	操作
Ctrl + Page Arrow Down	下ペインを開く/閉じるを切り替える。
O	画像の保存されたバージョンを表示する。
E	露出警告のオンとオフを切り替えます。
R	RAW デコード/埋め込みプレビューのオン/オフを切り替える。
Shift + F1	ズーム ツールで拡大した後、ハンド ツールを有効にする。
Shift + F2	選択 ツールを有効にする。
Ctrl + Q	現在の選択項目を解除する。
Shift + F3	ズーム ツールを有効にする。
Shift + F	フェイスツールをアクティブにします。
Shift + B	顔の輪郭を切り替えます。
Ctrl + N	[顔検出]ペインを開き、名前 フィールドにカーソルを置きます。
Tab	画像および顔検出 ペインの名前 フィールド間でカーソルを移動します。
Ctrl + Shift + D	顔検出 ペインを切り替えます。
Ctrl + F	顔を再検出します。
F5	表示 モード ウィンドウを更新し、現在の画像を再ロードする。
Alt + F5	第二スクリーンの画像の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Alt + F6	第二スクリーンのファイル一覧の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + 6	Light EQ™ ボタンのオンとオフを切り替える。
Alt + S	1 ～ 2 秒ごとに、自動的に次の画像に進む。
Ctrl + Alt + S	スライドショーを開始する。
Ctrl + A	ヘッダーおよびフッターを表示 / 非表示にする。
Ctrl + Shift + Q	[ヘッダー/フッターの編集] ダイアログ ボックスを開き、表示 モードで画像上に表示するテキストを編集する。
Alt + Ctrl + S	スライドショーを開始または停止します。
Shift + Page Arrow Down	マルチページ画像の次のページを表示する。
Shift + Page Arrow Up	マルチページ画像の前のページを表示する。
Shift + Home	マルチページ画像の最初のページを表示する。

ショートカット	操作
Shift + End	マルチページ画像の最後のページを表示する。
編集	
Ctrl + Shift + Page Arrow Left	現在の画像を反時計回りに 90 度回転する。
Ctrl + Shift + Page Arrow Right	現在の画像を時計回りに 90 度回転する。
Alt + E	画像を既定の画像エディタで開く。
Shift + R	編集した画像を現像したバージョンに復元する(画像が最初に現像されてから編集された場合)。
Shift + O	編集した画像を元のバージョンに復元する。
Shift + S	変更を確定する。
Shift + C	現像された画像に対してコピー設定ダイアログボックスを開く。
Shift + V	コピーした現像設定を画像にペーストする。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + Alt + N	[現像の一括処理] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + B	[編集の一括処理] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + F	[ファイル フォーマットの変換] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + J	回転/反転の一括変更 ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + R	[サイズの一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + L	[露出の一括調整] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + T	[更新日時の一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Alt + R	[名前の一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + Shift + 1	色深度をモノクロに変更する。
Ctrl + Shift + 2	色深度を 16 色グレースケールに変更する。
Ctrl + Shift + 3	色深度を 256 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift + 4	色深度を 16 色に変更する。
Ctrl + Shift + 5	色深度を 256 色に変更する
Ctrl + Shift + 6	色深度を Hi Color に変更する。
Ctrl + Shift + 7	色深度を True Color に変更する。

ショートカット	操作
Ctrl + Shift + 8	画像を 16 ビットのグレースケールに変換する。
Ctrl + Shift + 9	画像を 48 ビットのカラーパレットに変換する。
モード切り替え	
Ctrl + F1	管理モードに切り替えます。
Ctrl + F2	メディアモードに切り替えます。
Ctrl + F4	現在選択されている画像を現像モードで開く。
Ctrl + F5	現在選択されている画像を編集モードで開く。
Ctrl + F6	人物モードに切り替えます。
Ctrl + F7	365 モードに切り替える
Ctrl + F8	ダッシュボードモードに切り替える

表示モードのマウスショートカット

表示モードで作業中にマウスショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードを閉じて、前のモードに戻る。
右クリック	表示モードのコンテキストメニューを開く。
中央ボタン クリック	フルスクリーンモードの切り替え(3 つボタンのマウス)。
ホイール クリック	フルスクリーンモードの切り替え。
ホイールを上げる	前の項目を表示する。
ホイールを下げる	次の項目を表示する。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
Ctrl + ホイールアップ	画像の倍率を上げます(ズームイン)。
Ctrl + ホイールダウン	画像の倍率を下げて(ズームアウト)。
Shift + ホイールアップ	マルチページ画像の前のページを表示する。
Shift + ホイールダウン	マルチページ画像の次のページを表示する。

メディアモードのキーボードショートカット

メディアモードで作業中に次のキーボードショートカットを使うと効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
Alt + F4 Ctrl + W	ACDSee を終了する。
Alt + O	[オプション] ダイアログを開きます。
Ctrl + P	選択した画像を印刷します。
Ctrl + L	選択した画像を左に回転させます。
Ctrl + R	選択した画像を右に回転させます。
F5	更新します。
Ctrl + F	フォルダペインの表示/非表示。
Ctrl + G ALT + 入る	グループを表示または隠します。
スペース, 右, 下	次のイメージをフルスクリーンで表示
バックスペース, 左, 上	前のイメージをフルスクリーンで表示
削除	選択したファイルを削除する

モード切り替え

Ctrl + F1	管理モードに切り替えます。
Ctrl + F3	現在選択されている画像を表示モードで開く。
Ctrl + F4	現在選択されている画像を現像モードで開く。
Ctrl + F5	現在選択されている画像を編集モードで開く。
Ctrl + F6	人物モードに切り替えます。
Ctrl + F7	365 モードに切り替える
Ctrl + F8	ダッシュボードモードに切り替える

現像/編集モードのキーボードショートカット

現像および編集モードでは、次のキーボードショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)をお読みください。

編集モードのキーボードショートカット

ショートカット	操作
Alt + F4	すべてのモードで ACDSee を終了します。
Shift + Esc	表示、現像、編集モードで ACDSee を最小化表示します。
Ctrl + Shift + Alt + S	[ショートカットをカスタマイズ]ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
` (アクサングラフ)	ステータス バーへの完全なファイルパスの表示/非表示を切り替えます。
ファイル メニュー	
→ Page Down 3 (テンキー)	次の画像を開きます。
← Page Up 9 (テンキー)	前の画像を開く
Ctrl + S	画像を保存します。
Ctrl + Alt + S	コピーを保存する。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + D	現像モードに切り替えます。
End	フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。
Home	フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。
Esc Enter	前のモードに切り替える。
メニューの編集	

ショートカット	操作
Ctrl + Y	やり直します。
Ctrl + Z	元に戻します。
Ctrl + Shift + Z	すべてを元に戻す。
Ctrl + C	コピーする。
Ctrl + V	ペーストする。
Delete	削除する。

管理する

Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Ctrl + K	プロパティペインのキーワードセクションを開く。
Alt + K	プロパティペインのメタデータタブを選択する。
\ (バックスラッシュ)	写真にタグ付けする。
Ctrl + M	[メタデータプリセットの管理] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く

表示

ショートカット	操作
Ctrl + →	右ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ←	左ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ↓	下ペインを開く/閉じるを切り替える。
/ (スラッシュ)	原寸表示。
Shift + 8 * (テンキーのアスタリスク)	画像を表示領域に合わせて調整する。
+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
F	画像をフルスクリーンで表示します。
'	画像を拡大した時に、ナビゲーターの開く/閉じるを切り替える。
[	ソフトブルーフを有効にする。
]	選択したレイヤーのマスクプレビューを表示するために保持する
Z	画像の保存されたバージョンを表示する。
→	画像を拡大した時に、右にパンする。
←	画像を拡大した時に、左にパンする。
↓	画像を拡大した時に、下にパンする。
↑	画像を拡大した時に、上にパンする。
インターフェースをカスタマイズする	

ショートカット	操作
F2	フィルタ メニューを開く/閉じるを切り替える。
F3	アクション ペインを開く/閉じるを切り替える。
F4	プロパティペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + Enter	
F5	フィルム ストリップを開く/閉じるを切り替える。
F6	情報 パレットを開く/閉じるを切り替える。
F7	ヒストグラムを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + H	
F8	レイヤー ペインを開く/閉じるを切り替える。
F9	元に戻す履歴ペインを開く/閉じるを切り替える。
F10	カラー ペインを開く/閉じるを切り替える。
F11	AIアクションパネルを開いたり閉じたりします。
Alt + F1	ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F2	フィルタ ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F3	アクション ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F5	第二スクリーンの画像の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Alt + F6	第二スクリーンのファイル一覧の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + T	ルーラーのオンとオフを切り替えます。
Ctrl + Shift + G	ガイドラインへのスナップを有効/無効にします。
Ctrl + Shift + ;	すべてのガイドラインをクリアします。
Ctrl + Alt + ;	ガイドラインを所定の位置にロックします。
Ctrl + ;	ガイドラインのオンとオフを切り替えます。

選択

ショートカット	操作
Alt + A	すべて選択する。
Alt + D	選択解除する。
Alt + I	選択範囲を反転する。
Ctrl + Shift + J	AI被写体選択を適用します。
Ctrl + Shift + K	AI背景選択を適用します。
Ctrl + Shift + Q	AI空選択を適用します。
Ctrl + Shift + A	AI髪の毛選択を適用します。
Shift + Alt + P	輝度/カラー範囲ツールを開きます。
Ctrl + Alt + L	画像内の明るさに基づいた選択範囲を作成します。
Shift + Alt + N	修正ツールを開きます。
Shift + Alt + F	選択範囲にスマート消去を適用します。
Alt + Shift + P	選択範囲を特定のカラーやトーンに限定するための、ピクセルターゲットパネルを開きます。
Alt + Del	選択したピクセルを消去する。
Shift + Alt + S	選択範囲を保存する。
Shift + Alt + L	選択範囲の読み込みダイアログボックスを開きます。
Shift + Alt + M	管理選択ダイアログボックスを開く
Shift + Alt + O	オーバーレイオプションダイアログボックスを開く。

フィルタ

ショートカット	操作
Ctrl + Shift + A	ノイズ除去 ツールを開きます。

ショートカット	操作
Ctrl + Alt + G	AIフェイス編集 ツールを開きます。

ショートカット	操作
Ctrl + Shift + Alt + R	スカイリブレイスメントツールを開きます。

ショートカット	操作
Y	赤目補正ツールを開く。

ショートカット	操作
Alt + P	修復 ツールを開く。

ショートカット	操作
K	スキントーン フィルタを開く。

ショートカット	操作
Alt + W	透かしツールを開く。

ショートカット	操作
Alt + B	枠線 ツールを開く。

ショートカット	操作
V	ヴィネット効果 ツールを開く。

ショートカット	操作
Alt + S	特殊効果 パネルを開く。

ショートカット	操作
X	チルトシフト ツールを開く。
Alt + G	グレイン ツールを開く。
Alt + R	回転 ツールを開く。
Alt + F	反転 ツールを開く。
C	トリミングツールを開く。
P	透視補正 ツールを開く。
Alt + Z	レンズの歪み補正 ツールを開く。
Alt + V	レンズ補正 ツールを開きます。
J	サイズ変更 ツールを開く。
Alt + L	液状化 ツールを開く。
Alt + X	露出 ツールを開く。
L	レベル ツールを開く。
Alt + J	自動レベル ツールを開く。
U	トーンカーブ ツールを開く。
Q	Light EQ™ ツールを開く。
H	かすみ除去 ツールを開く。
D	覆い焼きと焼きこみ ツールを開く。
A	ホワイトバランス ツールを開く。
O	カラー EQ ツールを開く。
W	モノクロに変換 ツールを開く。
Alt + T	スプリット トーン ツールを開く。
Alt + M	カラー LUT ツールを開く。
Alt + N	シャープ化 ツールを開く。
Alt+U	ぼかしツールを開く。
N	ノイズ除去 ツールを開く。
Alt + C	明瞭度 ツールを開く。
I	詳細ブラシ ツールを開く。
Alt + Y	色差 ツールを開きます。

ショートカット	操作
フィルタ内部で機能する	
B	ブラシ コントロールを開 / 閉じるを切り替える。
S	フィルタの内部で機能する際のブラシ ストローク表示を切り替える。
G	グラデーション コントロールを開 / 閉じるを切り替える。
R	放射状グラデーション コントロールを開 / 閉じるを切り替える。
Spaceキー	フィルタ内部で、ブラシまたはグラデーションと共に機能する際に、ハンドツールを切り替える。
E	露出 ツールで、露出警告のオンとオフを切り替える。
レイヤーエディタ	
Ctrl + Alt + I	インポート画像をレイヤー ダイアログボックスとして開く。
Ctrl + Alt + N	新規の空のレイヤーを追加する。
Ctrl + Alt + A	選択されたレイヤーを複製する。
Ctrl + Delete	選択されたレイヤーを削除する。
Ctrl + Alt + R	レイヤーの名前変更ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + V	レイヤー表示 / 非表示のオンとオフを切り替える。
Ctrl + Alt + C	クリッピング ボタンのオンとオフを切り替える。
Ctrl + Shift+ ↓	選択されたレイヤーを下のレイヤーと結合する。
Ctrl + Alt + F	すべてのレイヤーをひとつの画像に結合する。
Shift + J	すべてのレイヤーを表示します。
Shift + Y	すべてのレイヤーを非表示にします。
Ctrl + Shift + F	周波数分離を適用します。
Ctrl + Shift + T	選択したテキストレイヤーをラスタライズします。
Ctrl + Shift + D	HDRダイアログを開きます。
Ctrl + Shift + O	多焦点合成ダイアログを開きます。
Shift + Alt + A	選択した画像の自動位置合わせをします。
Shift + Alt + B	[自動ブレンド]ダイアログを開きます。

ショートカット	操作
レイヤーマスク	
Ctrl + Alt + W	ホワイトマスクを追加する。
Ctrl + Alt + B	ブラックレイヤーマスクを追加する。
Ctrl + Alt + ,	マスクを選択範囲に追加する。
Ctrl + Alt + -	選択範囲からマスクを削除する。
Ctrl + Alt + =	マスクと選択範囲の共通領域を選択する。
Ctrl + Alt + .	現在の選択範囲からマスクを作成する。
Ctrl + Alt + J	マスクを反転する。
Ctrl + Shift + Delete	マスクを削除する。
Ctrl + Alt + P	特定のカラーおよび/またはトーンを対象としてマスクするPixel Targeting パネルを開く。
Ctrl + Shift + V	画像レイヤーを輝度マスクとして貼り付けます。
Ctrl + Shift + M	選択したマスクを無効/有効にします。
調整レイヤー	

ショートカット	操作
Shift + E	露出調整レイヤーを追加する。
Shift + B	ぼかし調整レイヤーを追加する。
Shift + Z	ポスタライズ調整レイヤーを追加する。
Shift + U	カーブ調整レイヤーを追加する。
Shift + I	ネガ調整レイヤーを追加する。
Shift + F	色の調整レイヤーを追加する。
Shift + W	モノクロ調整レイヤーを追加する。
Shift+T	しきい値調整レイヤーを追加する。
Shift + G	RGB 調整レイヤーを追加する。
Shift + R	明瞭度 調整レイヤーを追加する。
Shift + L	レベル調整レイヤーを追加する。
Shift + X	バイバランス 調整レイヤーを追加する。
Shift + V	ヴェイネット効果 調整レイヤーを追加する。
Shift + S	シャープネス調整レイヤーを追加する。
Shift + O	カラー EQ 調整レイヤーを追加する。
Shift + Q	Light EQ™ 調整レイヤーを追加する。
Shift + M	グラデーションマップ調整レイヤーを追加する。
Shift + K	スキントーン調整レイヤーを追加する。
Shift + P	写真効果調整レイヤーを追加する。
Shift + A	ホワイトバランス調整レイヤーを追加する。
Shift + H	かすみ除去調整レイヤーを追加する。
Shift + C	スプリット トーン調整レイヤーを追加する。
Shift + N	ノイズ除去調整レイヤーを追加する。
Shift + D	色 LUT 調整レイヤーを追加する。
ツール	

ショートカット	操作
Ctrl + Q	ハンドツールを起動する。
M	移動ツールを起動する。
Ctrl + Shift + C	キャンバスのサイズ変更ツールをアクティブにします。
T	テキストツールをアクティブにします。
Ctrl + Shift + R	長方形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + E	楕円形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + L	直線ツールを起動する。
Ctrl + A	矢印ツールを起動する。
Ctrl + Shift + P	多角形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + B	曲線ツールを起動する。
B	ブラシツールを起動する。
Ctrl + F	塗りつぶしツールを起動する。
Ctrl + G	グラデーションツールを起動する。
Alt + E	消しゴムツールを起動する。
Ctrl + E	スマート削除ツールを起動する。
Ctrl + Shift + I	スポイトツールを起動する。

カラーツールを使用する

Ctrl + [	前面色の設定 ダイアログボックスを開く。
Ctrl +]	背景色の設定 ダイアログボックスを開く。
Ctrl + X	前面色と背景色を入れ替える。

選択ツール

Ctrl + R	長方形選択ツールを起動する。
Ctrl + I	楕円形選択ツールを起動する。
Ctrl + L	投げなわ選択ツールを起動する。
Ctrl + W	自動選択ツールを起動する。
Ctrl + B	ブラシ選択ツールを起動する。

操作

ショートカット		操作
	Ctrl + Shift + S	記録を停止する。
	Alt + Shift + R	記録を開始する。
モード切り替え		
	Ctrl + F1	管理モードに切り替えます。
	Ctrl + F2	メディアモードに切り替えます。
	Ctrl + F3	表示モードで画像を開く
	Ctrl + F4	画像を現像モードで開く
	Ctrl + F6	人物モードに切り替えます。
	Ctrl + F7	365 モードに切り替える
	Ctrl + F8	ダッシュボードモードに切り替える

現像モード キーボードショートカット

ショートカット	操作
Alt + F4	すべてのモードで ACDSee を終了します。
Shift + Esc	すべてのモードで ACDSee を最小化する。
Ctrl + Shift + Alt + S	[ショートカットをカスタマイズ]ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、キーボードショートカットをカスタマイズできます。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
` (アクサングラフ)	ステータス バーへの完全なファイルパスの表示/非表示を切り替えます。
ファイル メニュー	
→ Page Down 3 (テンキー)	次の画像を表示します。
← Page Up 9 (テンキー)	前の画像を表示します。
Ctrl + S	画像を保存します。
Ctrl + Alt + S	コピーを保存する。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + E	編集モードに切り替える。
End	フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。
Home	フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。
Esc Enter	前のモードに切り替える。
メニューの編集	

ショートカット	操作
Ctrl + Y	やり直します。
Ctrl + Z	元に戻します。
Ctrl + Alt + C	コピー設定ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + V	コピーされた情報をペーストする。
Delete	削除する。
管理する	
Ctrl + B	選択された画像を画像バスケットに追加する。
Alt + X	選択された画像を画像バスケットから削除する。
Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Ctrl + K	プロパティペインのキーワードセクションを開く。
Alt + K	プロパティペインのメタデータタブを選択する。
\ (バックスラッシュ)	画像にタグ付けするか、タグ付けを外す。
Ctrl + M	[メタデータプリセットの管理] ダイアログボックスを開く
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログボックスを開く

ショートカット	操作
表示	

ショートカット	操作
【	ソフトブルーフを有効にする。

ショートカット	操作
Ctrl + ←	左ペインを開く/閉じるを切り替える。

ショートカット	操作
Ctrl + ↓	下ペインを開く/閉じるを切り替える。

ショートカット	操作
/ (スラッシュ)	原寸表示。

ショートカット	操作
Shift + NUM 8	画像を拡大した時に、上にスクロールする。
Shift + 8	画像を表示領域に合わせて調整する。
Alt + →	画像を幅に合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + PgDn	画像を高さに合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
F	フルスクリーン モードの切り替え。
B	分割表示モードを切り替えます。
,	画像を拡大した時に、ナビゲーターの開く/閉じるを切り替える。
Z	画像の保存されたバージョンを表示する。
→	画像を拡大した時に、右にパンする。
←	画像を拡大した時に、左にパンする。
↓	画像を拡大した時に、下にパンする。
↑	画像を拡大した時に、上にパンする。
Alt + E	すべてのツールグループを拡張表示する。
Alt + C	すべてのツールグループを折りたたむ。
Alt + A	ツールグループで、他のツールグループが開いた際にスクロールバーを使えないようにするために閉じる設定を切り替える。
V	プレビューを開く/閉じるを切り替える。
H	ヒストグラムを開く/閉じるを切り替える。
Alt + Enter	プロパティペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + F	フィルム ストリップを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + I	情報パレットを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + T	現像ツールを開く/閉じるを切り替える。

ショートカット	操作
P	スナップショットペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F5	第二スクリーンの画像の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Alt + F6	第二スクリーンのファイル一覧の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + P	[現像プリセット]ペインを開きます。
Ctrl + Shift + U F9	履歴ペインを開きます。
Ctrl + Shift + H F7 H	ヒストグラムペインを開きます。
モード切り替え	
Ctrl + F3	表示モードで画像を開く
Ctrl + E Shift + E Ctrl + F5	画像を編集モードで開く。
Ctrl + F1	管理モードに切り替えます。
Ctrl + F2	メディアモードに切り替えます。
Ctrl + F6	人物モードに切り替えます。
Ctrl + F7	365 モードに切り替える
Ctrl + F8	ダッシュボードモードに切り替える
現像モードを使用する	

ショートカット	操作
I	ブラシストロークを反転する。
Spaceキー	拡大した状態で、ブラシまたはグラデーションと共に機能する際に、ハンドツールを切り替える。画像をパンするためにハンドツールが使用できます。
E	露出ツールで、露出警告のオンとオフを切り替える。
Alt + I	トリミングツールで、グリッドのオンとオフを切り替える。
C	トリミングツールで、トリミング画像プレビューのオンとオフを切り替える。
Ctrl + T	調整タブに切り替える。
Ctrl + D	ディテールタブに切り替える。
Ctrl + G	ジオメトリタブに切り替える。
Ctrl + R	修復タブに切り替える。
Ctrl + P	新規スナップショットダイアログボックスを開く。

現像/編集モードのマウスショートカット

現像および編集モードで次のマウスショートカットを使用して、画像作業の効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
Shift + 左クリック	ペイン内で、グループの自動折りたたみ機能をオフに設定。
Shift + マウス ホイール	スライダに大きな調整を行う。現像ペインでスクロールがアクティブの場合、ホイールはペインをスクロールします。
Spaceキー + クリック + ドラッグ	マウスをドラッグして画像をスクロール。現像で画像を拡大表示して、ツールを使用している場合に使用します。
右クリック	任意のスライダを既定値にリセット。
スライダ上でマウス ホイール	スライダに細かい調整を行います。スライダ上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンします。
画像上でマウス ホイール	ブラシのサイズを変更します。画像上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンしてペン先の幅を調整します。
Shift + マウス ホイール	フェザリングを調整します。画像上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンしてフェザリングを調整します。

365 モードのキーボードショートカット

転送モードでは、次のキーボードショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#) をお読みください。

ショートカット	操作
Alt + A	選択されたフォルダを同期フォルダとして設定する。
Alt + D	選択されたファイルとフォルダをダウンロードする。
Alt + Enter	転送モードのスクリーン下半部に、プロパティペインを表示する。
Alt + Num +	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて昇順。
Alt + Num -	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて降順。
Alt + O	オプションダイアログを開く。
Alt + U	選択されたファイルとフォルダをアップロードする。
Alt + Shift + U	すべてのファイルを同期する。
Ctrl + \	タグの付いているファイルを選択する。
Ctrl + A	すべてのファイルとフォルダを選択する。
Ctrl + F8	転送モードの上部にある表示方法を、サムネイル表示に変更する。
Ctrl + F12	転送モードの上部にある表示方法を、詳細表示に変更する。
Ctrl + Shift + D	画像の選択をクリア。
Ctrl + Shift + I	画像の選択を反転。
Ctrl + Shift + 1	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダペインを表示する。
Ctrl + Shift + 2	転送モードのスクリーン下半部に、カタログペインを表示する。
Ctrl + Shift + 3	転送モードのスクリーン下半部に、検索ペインを表示する。
Ctrl + Shift + 4	転送モードのスクリーン下半部に、カレンダーペインを表示する。
Ctrl + Shift + 5	すべての画像バスケットを表示または非表示にする。
Ctrl + W	ACDSeeを終了する。
削除	ファイルまたはフォルダを削除する。
Enter	現在選択されている画像を[表示]モードで開く。
F2	ファイルまたはフォルダの名前を変更。
F5	表示を更新する。
F6	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルと詳細を表示する。
F7	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのフィルムストリップを表示する。
F8	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルを表示する。
F9	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのタイルを表示する。

ショートカット	操作
F10	転送 モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのアイコンを表示する。
F11	転送 モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの一覧を表示する。
F12	転送 モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの詳細を表示する。
Num +	転送 モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを昇順に並べ替えます。
Num -	転送 モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを降順に並べ替えます。
Shift + Alt + A	365.acdsee.com モードを表示する。
Shift + Alt + C	URL のコピー。
Shift + Alt + T	転送 モードを表示する。

365 モードのマウス ショートカット

転送 モードでは、次のマウス ショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択します。
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択します。
Shift + 左クリック	複数の画像を選択します。

ACDSee PicaView のキーボードショートカット

ACDSee PicaVewでは、次のキーボードショートカットを使用して効率アップを図ることができます。

ショートカット操作	操作
画像を Shift + 右クリック	• 画像の表示を有効にしている場合：メインのコンテキストメニューに画像が表示されません。 • 画像の表示を無効にしている場合：メインのコンテキストメニューに画像が表示されます。

章 13: ファイル フォーマット

サポートされるファイルフォーマットACDSee 究極

ACDSeeで読み取ることができるファイル:

ABR	Adobe™ブラシ形式	
ACDC	ACDSee 写真館 ACDCイメージ	
AFPHOTO	Affinity	サムネイルのみ
ANI	Windows アニメーションカーソル	カーソルアニメーションを表示します
ARW	Sony RAW	
AVIF	AV1 画像 ファイル形式	アニメーションAVIFファイルはサポート対象外です。EXIF のみサポートします。IPTC メタデータは AVIF ファイルには対応していません。
BMP	Windows ビットマップ	WindowsおよびOS/2、2/8/16/24/32bpp、RLEおよび非圧縮
CNV	キャンバス	サムネイルのみ
CR2	Canon RAW CR2	
CR3	Canon RAW CR3	該当するカメラを確認するには、ACDSee Webサイトで サポートされているRAW形式のページ を参照してください。
cRAW	Sony cRAW	
CRW	Canon RAW CRW	
CS1	Sinar RAW	「画像タイプ」メタデータフィールドでは、このファイル形式は「RAW」と呼ばれます。
CUR	Windows カーソル	
CVX	キャンバス	サムネイルのみ
DCR	Kodak RAW DCR	
DCX	複数 ページPCX	すべてのサブタイプと複数 ページをサポート
DNG	デジタルネガ	RAW ファイルのオープンソースアーカイブ形式
EMF	拡張 メタファイル形式	Win32拡張配置可能 メタファイル
ERF	Epson RAW	
FFF	Hasselblad RAW FFF	「画像タイプ」メタデータフィールドでは、このファイル形式は「RAW」と呼ばれます。
GIF	Graphics Interchange Format	アニメーション化された単一 ページ、87aおよび89a
GPR	GoPro RAW	
HDR	Creo RAW	
HEIC/HEIF	High Efficiency Image File Format	HIF ファイルのサポートが含まれます。EXIFのみをサポートします。IPTC メタデータは HEIC ファイルではサポートされていません
ICN	AT&T ICN	

ICO	Windows アイコン	複数の解像度を別々のページとして表示します
JBR	Corel ブラシ形式	
JP2	JPEG2000	48ビットサポート
JPC	JPEG2000	48ビットサポート
JPG	JPEG JFIF	JFIFとAdobe CMYK
JXL	JPEG-XL	IPTCメタデータは、XMPを含むJPEG-XLファイルをサポートしています。
MOS	Creo RAW	「画像タイプ」メタデータフィールドでは、このファイル形式は「RAW」と呼ばれます。
MRW	Konica Minolta RAW	
NEF	Nikon RAW	
ORF	Olympus RAW	
PBR	Corel PaintShop Pro ブラシ形式	最大 3072×2048 の解像度 (16BASE)
PCX	ZSoft Publishers Paintbrush	すべてのサブタイプをサポート
PEF	Pentax RAW PEF、Samsung RAW	
PCT	Macintosh PICT	
PNG	Portable Network Graphics	すべてのサブタイプをサポート
PSD	Adobe PhotoShop ドキュメント	RGB、グレースケール、ダブルトーン、パレット、およびグレースケールのみとして解釈される2レベルのラボカラー
RAF	FujiFilm RAW	
RAW	Pentax RAW、Leica RAW、Contax RAW、Casio RAW、Panasonic RAW	
RWL	Leica RAW	
sRAW	Canon sRAW	
SRW	Samsung SRW	
SVG	スケーラブルベクターグラフィックス	
TGA	Targa TGA	すべてのサブタイプをサポート
TIFF	Tagged Image File Format	Bilevel / RGB / Paletted / CMYK / YCrCb / LOGL / LOGLUV、Uncompressed / PackBits / LZW / ThunderScan / SGILog / CCITT / ZIP / NEXT / New-JPEG(v6.0 JPEGサポートなし) 複数ページドキュメントのサポート Kodak RAW TIFF、Canon RAW TIFF
WBMP	Wireless Bitmap	

WEBP	Google WebP形式	
WMF	Windows メタファイル形式	Win 3.x 配置可能 メタファイル

ACDSeeで書き込むことができるファイル:

ACDC	ACDSee 写真館 ACDCイメージ	ACDSee Pro 9およびACDSee 19ではサポートされていません
AVIF	AV1 画像 ファイル形式	EXIFのみサポート。IPTCメタデータはAVIFファイルには対応していません。
BMP	Windows ビットマップ	Windows 1/8/24 bpp
GIF	Graphics Interchange Format	インターレースされていないGIF 89aのみ
GPR	GoPro RAW	
JP2	JPEG2000	
JPG	JPEG JFIF	
JXL	JPEG-XL	IPTCメタデータは、XMPを含むJPEG-XLファイルをサポートしています。
PCX	ZSoft Publishers Paintbrush	8および24bpp; RLE圧縮
PNG	Portable Network Graphics	1/4/8bpp カラーマップ; 24 bpp RGB
PSD	Adobe PhotoShop ドキュメント	RGB、グレースケール、ダブルトーン、パレット、およびグレースケールのみとして解釈される2レベルのラボカラー
WBMP	Wireless Bitmap	
WEBP	Google WebP形式	
TGA	Targa TGA	8および24bpp。RLEおよび非圧縮のトップダウンおよびボトムアップ
TIFF	タグイメージファイル 形式	1/8/24ビット/ピクセル、単一ページ。非圧縮、CCITT3、CCITT4、LZW、Deflate(ZIP)、およびJPEG圧縮。調整可能なDPIタグ

アーカイブ読み取りサポート形式:

ARJ	ARJ アーカイブ	ARJ形式
CAB	CABアーカイブ	Microsoft CABファイル形式
GZ	GZアーカイブ	Unix GZIP(GnuZIP)
RAR	RARアーカイブ	RAR形式 (RAR5はサポートされていません)
TAR	TARアーカイブ	Unix TAR形式
TGZ	TGZアーカイブ	GZIPで圧縮されたTAR形式
ZIP	ZIPアーカイブ	StoreとDeflate

アーカイブ書き込みサポート形式:

ZIP	ZIPアーカイブ	Store(無圧縮)とDeflate

ビデオとオーディオの読み取りサポート形式:

AAC	Audio Data Transport Format
ADST	Audio Data Transport Stream
ASF	Active Streaming File – HotMetaL Pro
AVI	AVI動画形式
M4A	MPEG-4
M4V	MPEG-4
MOV	MPEG-4
MP3	MPEG Layer III 圧縮 オーディオ
MP4	MPEG-4
WAV	サウンドファイル
VMA	サウンドファイル
WMV	Windows メタファイル

ドキュメント表示のサポート形式:



ACDSee 写真館 で Microsoft®Office ドキュメントを表示するには、Microsoft®Office 2010 以降がインストールされている必要があります。

DOC	Microsoft®Office Word
DOCX	Microsoft®Office Open XML
PDF	Portable Document Format
PPS	Microsoft® Office PowerPoint
PPSX	Microsoft® Powerpoint Open XML
PPT	Microsoft® Office Powerpoint
PPTX	Microsoft® Powerpoint Open XML
RTF	リッチテキスト形式
XLS	Microsoft® Office Excel
XLSB	Microsoft® Excel Binary Workbook
XLSX	Microsoft® Excel Open XML
XPS	Microsoft® XML 用紙仕様

RAW ファイルについて

RAW ファイルはネガのようなものです。写真撮影時にデジタルカメラのセンサーが収集した全データが入っています。未処理のまま RAW ファイルを表示すると、真っ暗な画像として表示されます。そのため、RAW ファイルを写真を生成するように処理する必要があります。

ACDSee 究極は、色、コントラスト、露出が改善された新しいRAW処理エンジンを搭載しています。また、ACDSee 究極はPro3以前のバージョンで開発されたRAW画像用のPro3のパイプラインをエミュレートします。

現像モードや編集モードを使用して、RAW 画像ファイルの露出、色、シャープネスの設定を選択することができます。各 RAW ファイルの固有設定を選択/保存したり、一般的な設定をプリセットとして選択/保存したりすることもできます。一般設定をプリセットとして保存すると、一括処理ツールを使用するか、管理モードで[ツール] > [処理] > [プリセットの適用]に移動してプリセットを選択することで、大量の RAW ファイルに設定を適用することができます。

オリジナルの RAW ファイルは恒久的に変更することはできません。RAW ファイルは処理後も変更を受けないため、カメラで取得した全データが保持されたままになります。特定の画像に対し選択された処理設定は、その RAW 画像の XMP ファイルに保存され、データベースでその画像と関連付けられます。

RAW ファイルへの変更を保存するには、別のファイル形式(例えば JPEG や TIFF など)で別のファイルとして保存する必要があります。処理済みのファイルを同時に複数のフォーマットで保存したい場合は、現像モードの複数フォーマットオプションを使用します。画像を現像したら、[保存] ボタンをクリックして[エクスポート]を選択します。エクスポートダイアログボックスで、エクスポート設定を選択し、[OK]をクリックします。



ACDSee はジオメトリの歪みを修正するタグを含む DNG ファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ4/3rds カメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することがあります。

ファイルの関連付け

ACDSee 究極はさまざまなファイルフォーマットに対応しています。ACDSee 究極を、特定のファイルタイプを開くデフォルトのアプリケーションとして設定することができます。このプロセスはファイルの関連付けと呼ばれています。ファイルの種類を関連付けると、ファイルをダブルクリックする際に開く既定のプログラムとしてACDSee 究極を設定することになります。

ACDSee でファイルの関連付けオプションを設定するには:

1. [ツール] > [ファイルの関連付け設定]をクリックします。
2. 4 つのフォーマットセクションで、ACDSee 究極と関連付けたいファイル形式(画像フォーマット、RAW フォーマット、メディアフォーマット、アーカイブフォーマット)のチェックボックスをオンにします。
3. [保存]をクリックします。

ファイルタイプと ACDSee の関連付けを解除するには:

1. [ツール] > [ファイルの関連付け設定]をクリックします。
2. 4 つのフォーマットセクションで、ACDSee 究極への関連付けを外したいファイル形式(画像フォーマット、RAW フォーマット、メディアフォーマット、アーカイブフォーマット)のチェックボックスをオフにします。
3. [保存]をクリックします。

用語集

A

アクション、ACDSee アクション

編集モードで画像を編集するときに実行した手順を記録できます。その後、それらを「ACDSeeアクション」として保存できます。保存したアクションは、他の画像に適用できます。これは、バッチ編集に特に役立ちます。

アルバム

画像の集まり。テーマやイベントごとに管理されていることが多い。ACDSee ではハードドライブの画像が保存されているディレクトリへのショートカットをアルバム内に入れることができます。

エイリアシング

ピクセルが原因で生じた画像の端のギザギザ。低解像度の画像や、拡大された画像で最も頻繁に起こります。[ジャギー](#)を参照してください。

アンチエイリアシング、アンチ・エイリアシング

ざざざの線、または「ジャギー」を軽減するソフトウェア技術。グレーとカラーの色合いを使って、近隣のピクセル間にあるコントラストをスムーズにします。

縦横比

画像の横と縦の比率。たとえば、縦横比 3:1 の画像は、横が縦よりも 3 倍長くなっています。

アジマス

画像のエッジから伸びる影の方向。では ACDSee 究極 画像にエンボス効果を適用する際に、アジマスをコントロールできます。

B

バックグラウンド処理

ユーザー操作なしで起動するタスクまたはプログラムのこと。

バレル歪み

バレル歪みでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。

一括処理

サイズ変更、変換、名前変更などの何らかの処理またはツールで、複数の画像またはファイルを調整するために同時に使用できるもの。

ビット

ビットは、コンピュータで扱うデータの最小単位のこと。画像の色深度は、色情報を格納するために必要なビット数で制約されています。例えば、8 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 256 の異なる値を格納することができます。同様に、18 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 65,536 の異なる値を格納することができます。

ブラックポイント

画像の最も暗い領域。ブラックポイントを調整して、画像の暗さをコントロールすることができます。

ブレンドモード

ツールの効果や選択されたオブジェクトの外観を変更するフィルタ。

明るさ

画像に見られる光の強度。明るさを調整することで、画像の外観を明るくまたは暗くできます。

ブラシ

編集モードまたは現像モードで、効果または調整を適用したいピクセルを分離または指定するために使用するツール。描画ツール内のブラシは、画像にカラーで描画するために使用できます。[スマートブラッシング](#)を参照してください。

C

キャッシュ

高速の格納メカニズム。ACDSee のデータベースはキャッシュです。

キャプション

印刷画像に追加されるファイルに関連するテキスト、コメント、説明。

カタログ化

ファイル情報を ACDSee 究極 データベースに追加します。

カテゴリ

カテゴリを指定することによって、画像の並べ替えや管理がより簡単になります。

色収差

レンズによって生じるもので、写真のハイコントラスト領域にフリッジが現れます。

CMYK

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック(キー)を原色とするカラーモデル。

カラーキャスト

カラーキャストは、画像に影響を与える目に見える色合いです。たとえば、多くのデジタルカメラは、わずかに青いカラーキャストの画像を生成します。ACDSee 究極 不要なカラーキャストを取り除くツールが含まれています。

カラーチャンネル値

単一カラーに対するすべてのピクセル情報が含まれています。グレースケールの画像には 1 つのチャンネル、RGB 画像には 3 つ(赤、緑、青)のチャンネルがあります。カラーを編集する際、RGB の値で調整することができます。

色域

プリンタやモニタなどのデバイスが再現または表示することのできる色の範囲。

色の管理

プリンタで印刷される色がモニタで表示される色と一致するように、コンピュータの設定を調整する処理。

色空間

色空間には、デバイス独立(デバイス・インディペンデント)、デバイス依存(デバイス・ディペンデント)の 2 種類があります。RGB を代表とするデバイス独立(デバイス・インディペンデント)色空間では、すべての可能な色を使って表示されます。デバイス依存(デバイス・ディペンデント)色空間は、特定のデバイスで再現することができる、デバイス独立色空間から集められた色で表示されます。デバイス依存色空間は、モニタ・プリンタ間などの複数デバイス間で色のマッピングを行い、色が忠実に再現されるようにします。

圧縮

オリジナルのデータよりも、サイズの小さい保存用のフォーマットにデータを変換すること。

コンタクトシート

複数の小さい画像をまとめたページのことで、通常縦横に並べられます。

コンテキストメニュー

プログラム内で右クリックすると表示されるメニューのこと。

コントラスト

画像における色と明るさの差の度合い。

変換

あるフォーマットから別のフォーマットにファイルを変更すること。例えば、ファイルのサイズを減らすために、ビットマップ(.bmp)をJPEG(.jpg)に変換することを指します。

トリミング

画像の不必要な領域を削除すること。

D

データベース

格納されたデータに素早くアクセスする電子ファイルシステムのこと。ACDSee データベースは、キャッシュされたサムネイル ファイルと情報ファイルの 2 つから構成されています。キャッシュされたサムネイル ファイルは、小さな画像のコピー(サムネイル)を含んでいます。情報ファイルは、システム上のファイルに関する詳細情報(説明、日付、作者、注記、キーワード、カテゴリなど)を含んでいます。

データベースの日付

ファイルのプロパティに用いられる、ACDSee データベースに保存された日付。

説明

ACDSee 究極 は説明を **descript.ion** という名前の隠しファイルに保存します。ファイル名やキャプションなどの説明は、この **descript.ion** ファイルに含まれます。

ドッキング

別のスクリーン領域に、ツールバー、ウィンドウ、ペインなどを結合すること。

DPI (ドット/インチ)

画像の解像度を示す単位。例えば、92 DPI = 横 92 ドット x 縦 92 ドット = 8,464 ドット/スクエアインチ となります。スクエアインチあたりのドット数が増えるほど、高解像度、高画質になります。

ダイナミックレンジ

画像のダイナミックレンジは、その画像を撮影したデジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジと直接関係しています。デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジが大きいと、シャドウまたはハイライトのクリッピングを発生させず、最も暗い影と最も明るいハイライトを同時にキャプチャすることができます。(RAW 画像は、デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジを保持します。) 画像のトーン範囲を調整すると、モニタあるいは画像に表示されているダイナミックレンジを変更することになります。

E

高度

画像上の仮想光源の高さ。光源の高さと方向が一緒になって 3D のエンボス効果を生み出します。

エンコード

ファイルフォーマットを書き込み、あるいは保存すること。

暗号化

データを保護されたフォーマットに変換する方法。暗号化されたファイルを読解するには、パスワードまたはキーが必要です。

EXIF (エクステンシブル イメージ ファイル)

JPEG 圧縮の画像を主とする、情報保存の標準規格。ほとんどのデジタルカメラは EXIF 情報を作成し、画像ファイル内に埋め込みます。例えば、EXIF 情報にはシャッタースピードやフラッシュ発光の有無などの情報が含まれます。

エクスポート

あるアプリケーションから別のアプリケーションへ、データを移動すること。エクスポートされたデータは、別のアプリケーションが理解できるフォーマットに置き換えられます。

露出

画像撮影時に、デジタルカメラのセンサーが光に露出された時間の量を指します。

F

顔検出、顔認識

顔検出は、画像内の人物の顔を検出します。顔に名前を割り当てると、ACDSee は今後、人物を認識するようになります。画像に含まれる人物の名前を使用して画像を検索することができます。

フェザー

画像のエッジを背景とブレンドし、画像をソフトに仕上げること。

ファイル一覧

ACDSee では、管理モードで現在表示されているファイルの一覧を指します。

ファイルフォーマット

ファイルの情報をエンコードするための方法。各種のファイルには、情報の管理方法を指定する異なったファイル形式があります。

フィルタ

エンボスやセピアなど、画像に効果を加えることができるプログラムのこと。

魚眼歪み

魚眼では、画像が球体を包んでいるかのように、中心から外に向かって膨張して見えます。

G

ガンマ

モニタ、スキャナ、プリンタで表示することができる色の値の範囲。ガンマ値を補正すると、光のスペクトルの強さが増減します。

グレースケール画像

グレーの濃淡で構成されている画像。

H

ハイライト

ハイライトとは、画像の最も明るい部分、最も白い部分を指します。

ヒストグラム

画像のシャドウとハイライトのダイナミックレンジを表したグラフ。

色相

画像内に見られる優勢な(主となる)色。

I

画像エディタ

画像を作成したり、編集したりするために使うプログラムのこと。ACDSee 究極 は画像エディタです。

画像解像度

画像の詳細と色のクオリティ。モニタの表示能力やプリンタ印刷能力を表す際にも使われます。

画像ビューア

画像を表示するプログラム。ACDSee 究極 は画像ビューアです。

インポート

取り込み先のアプリケーションが理解できるフォーマットを使って、別のアプリケーションからデータを取り込むこと。

補間法

近隣のピクセルを使って、新しいピクセルの色を推定し、大きな画像にそれらの色を加える方法。例えば、補間法はデジタル画像を引き伸ばす際に使用されます。

IPTC

画像内に情報をエンコードする標準の方法で、説明的なコメント、著作権などの情報を画像と一緒に転送することができます。

J-K

ジャギー

解像度の低い画像に見られるギザギザのこと。画像のピクセルの見え方により、線や曲線が生じてギザギザに見えます。

L

レンズのヴィネット

画像の四隅に見られる暗い領域で、カメラのレンズが画像の隅々まで必要な光を取り込めないことによって発生します。

可逆圧縮

画像のデータとクオリティのすべてを保持する圧縮の方法。

可逆回転と反転

JPEG 画像の回転方法で、画質が劣化しません。8 または 16 の倍数のサイズの画像を回転する際に最も適しています。

非可逆圧縮

不要なデータを削除した圧縮方法。データを削除するため、画質に影響を及ぼします。

M

マーカー

画像の選択範囲を示す破線で囲まれた枠のこと。ツールによっては、下にある画像に変化を加えて、あるいは加えることなく、マーカーのサイズを変更したり移動することができます。

メタデータ

画像の撮影状態を示す情報。これは、画像自体またはサイドカーファイルに保存できます。例えば、デジタルカメラで撮影された画像のメタデータには、画像が撮影された日時、シャッタースピード、カメラの露出設定、フラッシュ発光の有無などが含まれます。

モノクロ画像

単一カラー（白黒）の画像。

N

ノイズ

同系色の範囲内で、様々なピクセルカラーが使用されている場合に生じます。ノイズは、ISO の感度を高く設定したり、スローなシャッタースピードで撮影される場合に発生します。

O

不透明度

画像または選択範囲に効果を適用する場合、どの程度見えるようにするかを決定します。不透明度の値を上げるとはっきりと見えるようになり、値を下げるとほとんど見えなくなります。

露出オーバー

露出が多すぎると、ハイライト過多になり色あせて見えるようになります。通常、デジタルカメラのセンサーを長時間光に露出しすぎることによって引き起こされます。

P-Q

パンニング

拡大された画像を上下、左右、対角線上に移動して画像の特定部分を表示すること。

PDF

Portable Document Format の頭字語。フリーの Adobe Reader® ソフトウェアを使用することで、どのようなコンピュータでも PDF を見ることができます。

知覚

別の色の範囲内に収まるよう、全色をある色の範囲内に調整するレンダリングの方法。色そのものよりも他の色間との関係を忠実に保つため、写真に最も適した方法です。

遠近の歪み

ワイドアングルや望遠レンズによって引き起こされる歪みで、大型あるいは遠方のオブジェクトが歪んで見える現象を指します。例えば、高層ビルを撮影した場合、ビルは上から下まで幅が同じであっても、上の方が狭くなっているように見えます。

フォトアルバム

[アルバム](#)を参照してください。

写真エディタ

[画像エディタ](#)をご覧ください。

ピンクッション（糸巻き）歪み

ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。

ピクセル（または画像要素）

縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のこと。

プラグイン

比較的大きなプログラムに機能を追加するソフトウェアモジュール。

PPI（インチ毎ピクセル）

画像の解像度を示す単位。インチあたりのピクセル数が増えるほど、高画質になります。

プリセット

プリセットには画像補正の設定が入っています。プリセットを作成して使用すると、すべての画像に適用する設定を統一できるようになります。

原色

混ぜ合わせることで他の色を生み出すことができる色のこと。例えば、RGB カラーモデルでは、赤(R)、緑(G)、青(B)が原色となります。

R

ラスタ画像

長方形のピクセルグリッドで構成された画像。各ピクセルに、色、サイズ、画像の場所を定義した値が含まれています。そのため、サイズ変更すると画質に影響を与えます。

ラスタライズ

ベクターレイヤーをピクセルに変換し、解像度を定義します。レイヤーをラスタライズすることは、編集できなくなるために、レイヤーを完成させたと見なすことができます。

重要度

1 から 5 までの値を画像に割り当てることで、管理と検索がより簡単になります。

RAW

画像ファイル形式の1つ。RAW ファイルには、デジタルカメラのセンサーがキャプチャした、画像の全データが含まれています。RAW ファイルはカメラによって処理されないため、現像モードで RAW 画像を処理する必要があります。

再帰的

スライドショーのように反復を繰り返すことができるプログラムまたはタスクのこと。

赤目

デジタルカメラのフラッシュが被写体の網膜で反射したときに起きます。被写体の目が実際の色ではなく赤く見えます。

相対カラーメトリック

入力と出力デバイスの両方に忠実な色の範囲を使って色をマップするレンダリングの方法。色域外の色は単色にマッピングされるので、単色の画像または色が制限された画像に最適です。

レンダリング

画像をスクリーンに描くこと。

レンダリングの方法

ある色の範囲から別の色の範囲へ、色をマップするために使用される方法。レンダリングには[知覚](#)、[相対カラリメトリ](#)、[彩度](#)、[絶対カラリメトリ](#)の4種類があります。

解像度

ピクセル、DPI (Dots Per Inch) または PPI (Pixels Per Inch) で測定され、画像の質とクラリティを示します。

RGB

赤(R)、緑(G)、青(B)の3色を原色として使用するカラーモデル。

波打つ乱れ

画像の圧縮やサイズ変更によって生じた、画像のエッジに見られる歪み。

S

彩度

色の純度。彩度の値が高くなるほど、グレーの色味が強くなります。

彩度（レンダリングの方法）

ある色の範囲から別の色の範囲に、色の彩度を保ちながらレンダリングする方法。実際に表示される色よりも、色の鮮度が重要な画像に適しています。

選択

選択範囲ツールを使って定義した画像の領域。選択範囲の周りにはマーキーが表示されます。

セピア

セピア画像は、茶色のトーンで構成されています。古い写真のほとんどに、セピアトーンが見られます。

シャープネス

【シャープ化】ツールは画像をシャープにするために使用します。オリジナル画像はわずかにぼかされます。オリジナルの画像から、ぼかしのついたバージョンの画像が取り除かれるため、エッジがはっきり表示されるようになります。コントラストを増やすことで、エッジをよりシャープにすることが可能です。

シャープネス

画像のシャープネスは、主にデジタルカメラのレンズとセンサで決まります。画像のエッジ間にあるコントラストを増やすことで、シャープネスを加えることが可能です。

ショートカットメニュー

プログラム内で右クリックすると表示されるメニューのこと。コンテキストメニューとも言います。

スライドショー

画像を連続して表示すること。のようなスライドショーソフトウェアを使用して ACDSee 究極 画像グループをスライドショーとして表示することができます。

スマートブラシ

対象を、特定の色、明るさ、または色と明るさの組み合わせに絞ったブラシ処理。スマートブラシは、ピクセル値がブラシストロークの中央と同じ部分にのみ有効で、調整をこれらのピクセルにのみ適用することができます。

ソフトブルーフ

コンピュータのモニタをブルーフデバイスとして使用します。プリンタで実際どのような色で印刷されるかをシミュレーションしてモニタに表示します。

X

タグ付け

カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、画像をまとめて管理することができます。クリック 1 回で写真にタグを付けることができます。同様に、タグ付けされたすべての画像をクリック 1 回で表示することができます。

サムネイル

フルサイズ画像の縮小版プレビュー。

タイムスタンプ

ファイルに付随する日付と時間。

トランジション

スライドショー、スクリーンセーバー、動画において、画像や動画のセグメント間に使用される特殊効果のこと。

U

露出アンダー

露出アンダーの画像には、影がたくさん含まれています。通常、デジタルカメラのセンサー光に露出する時間が足りないとこの現象が起こります。

V

ベクタ画像

ピクセルではなく個々のオブジェクトから構成されている画像のこと。オブジェクトは数学的な方程式で定義されます。ベクタ画像のサイズを変更しても、画像のクラリティと画質に影響はありません。

W

透かし

画像の背景に埋め込まれたテキストやグラフィックのことで、通常、著作権保護を目的として使用されます。

ホワイトバランス

カラーキャストを削除して、画像に適切な光を与えます。撮影する前にカメラの設定を適切なホワイトバランスに設定するか、撮影後に ACDSee を使用してホワイトバランスを補正します。

ホワイトポイント

画像の最も明るい領域。ホワイトポイントを調整して、画像の明るさをコントロールすることができます。

X-Z

XML (拡張可能マークアップ言語)

Web ドキュメントに使用される標準言語。

ズーム

ACDSee では、ズームは画像表示の拡大/縮小プロセス。拡大すると画像の一部を細かく表示することができます。縮小すると画像全体、あるいは画像のより広い範囲を表示することができます。